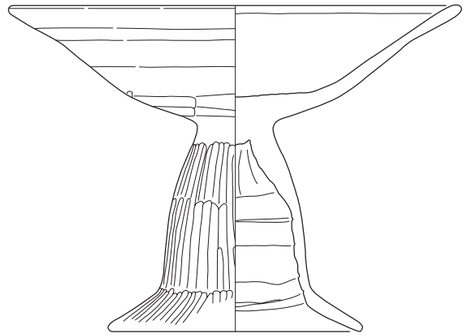
茨城県石岡市

佐久上ノ内遺跡

－H25 農村交流基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－



２０１４

茨　　城　　県
石岡市教育委員会
株式会社東京航業研究所

茨城県石岡市　佐久上ノ内遺跡

２０１４

茨城県・石岡市教育委員会・株式会社東京航業研究所

茨城県石岡市

佐久上ノ内遺跡

－H25 農村交流基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－

２０１４

茨　　城　　県
石 岡 市 教 育 委 員 会
株式会社東京航業研究所

序

石岡市は平成17年に石岡市と八郷町が合併し、新生石岡市として人口約8万人の都市となりました。石岡地区は国特別史跡の常陸国分寺・尼寺、国指定史跡の常陸国府跡・舟塚山古墳などが存在し、八郷地区は全国的にも最大規模の瓦窯跡と判明した県指定史跡の瓦塚、太田資正の居城である片野城などが存在し、ともに文化財が豊富な地区と言えるでしょう。

これらの文化財は一度形状が変更されてしまうと二度とは元に戻せないものです。したがって、可能な限り現状を維持しながら将来に引き継ぐ必要がある一方でその重要性を広く市民に周知するべく活用を図る必要もあります。

本書は平成25年度の調査を通して新たに確認された弥生時代・古墳時代・奈良平安時代の集落及び古墳時代の豪族居館の跡です。遺跡付近の恋瀬川左岸には県指定史跡である丸山古墳、市指定史跡である佐自塚古墳など重要古墳が存在するとともに、右岸からは古墳時代中から後期の集落が近年多く確認されています。これらの遺跡の在り方は八郷盆地はおろか常陸国の古墳時代社会の典型となる貴重な類例のひとつと言えるでしょう。

本書が学術的な研究資料としてはもとより、石岡市の歴史に関する理解を深め、ひいては教育・文化の向上の一助として、広く活用いただければ幸いです。

平成26年3月

石岡市教育委員会
教育長　櫻井　信

例　言

1　本書は茨城県石岡市佐久 670 ほかに所在する佐久上ノ内遺跡の発掘調査報告書である。

2　発掘調査はＨ 25 農村交流基盤整備事業に伴い、石岡市の委託を受けて、株式会社東京航業研究所が実施した。

3　発掘調査は石岡市教育委員会の指導を受けて実施した。

4　本報告書の編集は、石岡市教育委員会の指導のもと、林　邦雄が担当した。執筆は第１章第１節を石岡市教育委員会の小杉山大輔・谷仲俊雄が、第１章第２～４節・第２章・第４章を宅間が、第３章・第４章を林が執筆した。

5　調査内容および調査組織は下記の通りである。

所在地　　茨城県石岡市佐久 670 ほか

調査面積　1,600 ㎡

調査期間　発掘調査　平成 25 年９月 25 日～平成 25 年 12 月 14 日

整理作業　平成 25 年 12 月 15 日～平成 26 年３月 19 日

事務局・調査指導

石岡市教育委員会教育長	櫻　井　　信
教育部長	鈴　木　信　充
次　　長	大　関　敏　文
生涯学習課長	櫻　井　俊　充
生涯学習課長補佐	箕　輪　健　一
生涯学習課係長	安　藤　敏　孝
生涯学習課係長	小杉山　大　輔
生涯学習課主幹	谷　仲　俊　雄

調査担当　林　邦雄（株式会社東京航業研究所）

調査および整理作業参加者

石割裕二郎　市村　浩男　丑尾田幸男　遠藤　幸子　荻嶋　新一　笠原　悦子
柏　昌実　　神山　道子　川村　宜央　菊池久美子　倉持　進　　五味　和夫
金野　照子　酒井　洋　　坂入辰一郎　佐藤としえ　鈴木　昇　　仙波由美子
田上　達恵　塚田　弘　　殿井貴代子　富永　義昭　中嶋千世子　長江　陽子
永瀬　敬子　永田　正博　西郡　明　　西村久由規　野村　果央　平林　敬子
藤田　貞子　本田　仁子　牧田　保身　吉田　豊　　渡辺喜代三　渡辺由美子
（敬称略）

6　本報告書の作成にあたり、次の方々からご指導・ご協力を賜った。ここに記して感謝の意を表したい。
茨城県教育庁文化課　ＪＴ空撮　株式会社東新建設　小坂　延仁　斉藤　弘道　鈴木　正博
長井　光彦　的野　美佐　的野　善行（順不同敬称略）

凡　例

1　実測図・一覧表・遺物観察表などで使用している記号は次の通りである。
　竪穴住居跡－SI　掘立柱建物跡－SB　溝－SD　道路状遺構－SF　土坑－SK　ピット－SP

2　遺構の規模は壁の上端を、深度は遺構確認面を基準とする。遺構の長軸方位は座標北からの角度を示す。

3　座標値は世界測地系を使用している。標高値はT.P.（東京湾平均海水面）を基準とする。
　全体図・遺構図の北は座標北を示す。

4　土層観察と遺物における色調の判定は『新版標準土色帖』（農林水産庁農林水産技術会議監修　財団法人日本色彩研究所色票監修　2008年度版）を使用した。

5　本文中に掲載した図面は原則として以下の通りである。
　全体図1：400、1：200　竪穴住居跡1：60　掘立柱建物跡1：60　溝1：100、1：80、1：60
　道路状遺構1：60　土坑1：40　ピット1：40　遺物1：4、1：3、2：3
　原則として図面末尾にスケールを表示した。

6　本書に掲載した遺物番号は本文、実測図と一致する。

7　遺物観察表における計測値の（　）内の数値は推定値、〈　〉内の数値は残存値を示す。

8　遺構・遺物実測図中の表示は、次の通りである。
　●土器　△石器・石製品　×鉄製品　□瓦

9　挿図中のスクリーントーンは下記に示す通りである。

遺構図　····カマド材　····炉跡

遺物図　····赤彩　····赤色付着物　····黒色付着物　····黒色
　····墨書　····釉・灰釉（灰釉断面）　····須恵器断面

目　次

序
例言　凡例
目次
第１章　調査に至る経緯と調査経過 ……1
　１－１　調査に至る経緯 ……1
　１－２　調査の経過 ……1
　１－３　調査の方法 ……1
　１－４　基本土層 ……2
第２章　遺跡の位置と環境 ……3
　２－１　地理的環境 ……3
　２－２　歴史的環境 ……3
第３章　調査の成果 ……13
　３－１　検出された遺構と遺物 ……13
　３－２　縄文時代 ……13
　　（１）土坑 ……13
　３－３　弥生時代 ……15
　　（１）住居跡 ……15
　３－４　古墳時代 ……21
　　（１）住居跡 ……21
　　（２）溝 ……58
　　（３）土坑 ……72
　３－５　奈良・平安時代 ……75
　　（１）住居跡 ……75
　　（２）掘立柱建物跡 ……151
　　（３）土坑 ……152
　３－６　中世 ……155
　　（１）土坑 ……155
　３－７　近世以降 ……162
　　（１）溝 ……162
　　（２）道路状遺構 ……167
　　（３）土坑 ……168
　３－８　ピット ……168
　　（１）ピット ……168
　３－９　遺構に伴わない表土の遺物 ……186
　　（１）縄文時代 ……186
　　（２）弥生時代 ……190
　　（３）古墳時代 ……200
　　（４）奈良・平安時代 ……203
　　（５）中世 ……211
第４章　総括 ……230
写真図版
抄録

挿図目次

第１図　基本土層図 ……2
第２図　遺跡の位置 ……3
第３図－１　周辺遺跡（１：25,000）……4
第３図－２　周辺遺跡（１：5,000）……5
第４図　遺跡全体図 ……7～8
第５図　遺構区割図（１）……9
第６図　遺構区割図（２）……10
第７図　遺構区割図（３）……11
第８図　遺構区割図（４）……12
第９図　１・２・７・11・32・37号土坑 ……14
第10図　38号住居跡 ……16
第11図　38号住居跡地床炉 ……17
第12図　38号住居跡出土遺物（１）……18
第13図　38号住居跡出土遺物（２）……19
第14図　１号住居跡 ……22
第15図　１号住居跡カマド ……23
第16図　１号住居跡出土遺物 ……24
第17図　２号住居跡 ……24
第18図　２号住居跡出土遺物 ……25
第19図　４号住居跡 ……26
第20図　４号住居跡カマド ……27
第21図　４号住居跡出土遺物 ……27
第22図　５号住居跡 ……29
第23図　５号住居跡出土遺物（１）……30
第24図　５号住居跡出土遺物（２）……31
第25図　６号住居跡（１）……33
第26図　６号住居跡（２）……34
第27図　６号住居跡カマド ……34

第 28 図　6 号住居跡出土遺物 ……35
第 29 図　12 号住居跡（1）……36
第 30 図　12 号住居跡（2）……37
第 31 図　12 号住居跡カマド……38
第 32 図　12 号住居跡出土遺物（1）……39
第 33 図　12 号住居跡出土遺物（2）……40
第 34 図　15 号住居跡……42
第 35 図　15 号住居跡出土遺物……42
第 36 図　17 号住居跡……43
第 37 図　17 号住居跡カマド……44
第 38 図　17 号住居跡出土遺物……45
第 39 図　26 号住居跡……47
第 40 図　26 号住居跡カマド……48
第 41 図　26 号住居跡出土遺物……49
第 42 図　31 号住居跡……51
第 43 図　31 号住居跡カマド……52
第 44 図　31 号住居跡出土遺物……53
第 45 図　35 号住居跡……55
第 46 図　35 号住居跡カマド……56
第 47 図　35 号住居跡出土遺物……57
第 48 図　1 号溝 ……59
第 49 図　1 号溝（北溝）（1）……60
第 50 図　1 号溝（北溝）（2）……61
第 51 図　1 号溝（北溝）（3）……62
第 52 図　1 号溝（東溝）……63
第 53 図　1 号溝出土遺物（1）……64
第 54 図　1 号溝出土遺物（2）……65
第 55 図　1 号溝出土遺物（3）……66
第 56 図　1 号溝出土遺物（4）……67
第 57 図　1 号溝出土遺物（5）……68
第 58 図　1 号溝出土遺物（6）……69
第 59 図　6・22・28・29・34・35・36 号土坑‥74
第 60 図　22 号土坑出土遺物……74
第 61 図　3 号住居跡 ……75
第 62 図　3 号住居跡出土遺物 ……75
第 63 図　7 号住居跡 ……76
第 64 図　7 号住居跡出土遺物 ……77
第 65 図　8 号住居跡 ……78
第 66 図　9 号住居跡 ……78
第 67 図　9 号住居跡出土遺物 ……79
第 68 図　10 号住居跡……80
第 69 図　10 号住居跡 1 号カマド……81
第 70 図　10 号住居跡 2 号カマド……81
第 71 図　10 号住居跡出土遺物……82
第 72 図　11 号住居跡……83
第 73 図　11 号住居跡カマド……84
第 74 図　11 号住居跡出土遺物（1）……84
第 75 図　11 号住居跡出土遺物（2）……85
第 76 図　13 号住居跡……87
第 77 図　13 号住居跡 1 号カマド……88
第 78 図　13 号住居跡 2 号カマド……88
第 79 図　13 号住居跡出土遺物（1）……89
第 80 図　13 号住居跡出土遺物（2）……90
第 81 図　13 号住居跡出土遺物（3）……91
第 82 図　14 号住居跡……93
第 83 図　14 号住居跡出土遺物……93
第 84 図　16 号住居跡……94
第 85 図　16 号住居跡カマド……95
第 86 図　16 号住居跡出土遺物（1）……95
第 87 図　16 号住居跡出土遺物（2）……96
第 88 図　18 号住居跡……98
第 89 図　19 号住居跡……99
第 90 図　19 号住居跡出土遺物……99
第 91 図　20 号住居跡……100
第 92 図　20 号住居跡出土遺物（1）……101
第 93 図　20 号住居跡出土遺物（2）……102
第 94 図　21 号住居跡……104
第 95 図　21 号住居跡出土遺物……105
第 96 図　22 号住居跡……106
第 97 図　22 号住居跡カマド……107
第 98 図　22 号住居跡出土遺物（1）……108
第 99 図　22 号住居跡出土遺物（2）……109
第 100 図　22 号住居跡出土遺物（3）……110
第 101 図　23 号住居跡……112
第 102 図　23 号住居跡カマド……113
第 103 図　23 号住居跡出土遺物（1）……114
第 104 図　23 号住居跡出土遺物（2）……115
第 105 図　24 号住居跡……117

第 106 図　24 号住居跡カマド……118
第 107 図　24 号住居跡地床炉……118
第 108 図　24 号住居跡出土遺物（１）……119
第 109 図　24 号住居跡出土遺物（２）……120
第 110 図　25 号住居跡……122
第 111 図　25 号住居跡出土遺物……123
第 112 図　27 号住居跡……125
第 113 図　27 号住居跡カマド……126
第 114 図　27 号住居跡出土遺物……127
第 115 図　28 号住居跡……129
第 116 図　28 号住居跡カマド……130
第 117 図　28 号住居跡出土遺物……131
第 118 図　29 号住居跡……133
第 119 図　29 号住居跡カマド……134
第 120 図　29 号住居跡出土遺物（１）……135
第 121 図　29 号住居跡出土遺物（２）……136
第 122 図　30 号住居跡……138
第 123 図　30 号住居跡カマド……139
第 124 図　30 号住居跡出土遺物……139
第 125 図　32 号住居跡……141
第 126 図　32 号住居跡カマド……142
第 127 図　32 号住居跡出土遺物……143
第 128 図　33 号住居跡……145
第 129 図　33 号住居跡カマド……145
第 130 図　33 号住居跡出土遺物……146
第 131 図　34 号住居跡……147
第 132 図　34 号住居跡出土遺物……147
第 133 図　36 号住居跡……148
第 134 図　37 号住居跡……149
第 135 図　37 号住居跡カマド……149
第 136 図　37 号住居跡出土遺物……150
第 137 図　１号掘立柱建物跡……151
第 138 図　５・８・９・10・12・15・38 号土坑
……153
第 139 図　３・４・13・14・17 ～ 21・23 号土坑
……157
第 140 図　24 ～ 27・30・31・33・39 号土坑…159
第 141 図　30 号土坑出土遺物……161
第 142 図　31 号土坑出土遺物……161
第 143 図　33 号土坑出土遺物……161
第 144 図　２号溝……163
第 145 図　３号溝……164
第 146 図　３号溝出土遺物……164
第 147 図　４号溝……165
第 148 図　５号溝……166
第 149 図　１号道路状遺構……167
第 150 図　16 号土坑……168
第 151 図　１・３～６・８～ 12・14 ～ 17
・20 号ピット……169
第 152 図　21 ～ 26・29 ～ 36・38 号ピット…170
第 153 図　40 ～ 43・46 ～ 62 号ピット……171
第 154 図　63 ～ 67・71 ～ 73・75 ～ 80・82
・83 号ピット……172
第 155 図　84 ～ 90・92 ～ 99 号ピット……173
第 156 図　101・114 ～ 116・119 ～ 125
・128 ～ 131・144 号ピット……174
第 157 図　132 ～ 142・145 ～ 149・172 号ピット
……175
第 158 図　150・151・153 ～ 162・164 ～ 167
・171 号ピット……176
第 159 図　168 ～ 170・176・185・187・189 ～
192・195 ～ 198 号ピット……177
第 160 図　200 ～ 202・204・206 ～ 214 号ピット
……178
第 161 図　215・217 ～ 220・222・223・225・227
・236 ～ 238・239 号ピット……179
第 162 図　縄文時代遺構外出土遺物（１）……186
第 163 図　縄文時代遺構外出土遺物（２）……187
第 164 図　縄文時代遺構外出土遺物（３）……188
第 165 図　弥生時代遺構外出土遺物（１）……190
第 166 図　弥生時代遺構外出土遺物（２）……191
第 167 図　弥生時代遺構外出土遺物（３）……192
第 168 図　弥生時代遺構外出土遺物（４）……193
第 169 図　古墳時代遺構外出土遺物（１）……200
第 170 図　古墳時代遺構外出土遺物（２）……201
第 171 図　奈良・平安時代
遺構外出土遺物（１）……203
第 172 図　奈良・平安時代

遺構外出土遺物（２）……204
第 173 図　奈良・平安時代
遺構外出土遺物（３）……205
第 174 図　奈良・平安時代
遺構外出土遺物（４）……206
第 175 図　奈良・平安時代
遺構外出土遺物（５）……207
第 176 図　中世遺構外出土遺物 ……211
第 177 図　時代別遺構配置 ……231
第 178 図　茨城県内の豪族居館 ……234
第 179 図　佐久上ノ内遺跡と恋瀬川流域の
前期古墳 ……237

表目次

第１表　周辺遺跡一覧表 ……５
第２表　38 号住居跡ピット一覧表 ……17
第３表　38 号住居跡出土遺物観察表 ……20
第４表　１号住居跡ピット一覧表 ……23
第５表　１号住居跡出土遺物観察表 ……24
第６表　２号住居跡ピット一覧表 ……25
第７表　２号住居跡出土遺物観察表 ……25
第８表　４号住居跡ピット一覧表 ……26
第９表　４号住居跡出土遺物観察表 ……28
第 10 表　５号住居跡ピット一覧表 ……28
第 11 表　５号住居跡出土遺物観察表 ……31
第 12 表　６号住居跡ピット一覧表 ……32
第 13 表　６号住居跡出土遺物観察表 ……35
第 14 表　12 号住居跡ピット一覧表 ……37
第 15 表　12 号住居跡出土遺物観察表 ……40
第 16 表　15 号住居跡ピット一覧表 ……42
第 17 表　15 号住居跡出土遺物観察表 ……42
第 18 表　17 号住居跡ピット一覧表 ……44
第 19 表　17 号住居跡出土遺物観察表 ……45
第 20 表　26 号住居跡土坑・ピット一覧表 ……48
第 21 表　26 号住居跡出土遺物観察表 ……50
第 22 表　31 号住居跡ピット一覧表 ……51
第 23 表　31 号住居跡出土遺物観察表 ……54
第 24 表　35 号住居跡土坑・ピット一覧表 ……56
第 25 表　35 号住居跡出土遺物観察表 ……57
第 26 表　１号溝出土遺物観察表 ……69
第 27 表　22 号土坑出土遺物観察表 ……74
第 28 表　３号住居跡出土遺物観察表 ……75
第 29 表　７号住居跡ピット一覧表 ……76
第 30 表　７号住居跡出土遺物観察表 ……77
第 31 表　８号住居跡ピット一覧表 ……78
第 32 表　９号住居跡出土遺物観察表 ……79
第 33 表　10 号住居跡ピット一覧表 ……80
第 34 表　10 号住居跡出土遺物観察表 ……82
第 35 表　11 号住居跡ピット一覧表 ……83
第 36 表　11 号住居跡出土遺物観察表 ……86
第 37 表　13 号住居跡ピット一覧表 ……87
第 38 表　13 号住居跡出土遺物観察表 ……91
第 39 表　14 号住居跡出土遺物観察表 ……93
第 40 表　16 号住居跡ピット一覧表 ……94
第 41 表　16 号住居跡出土遺物観察表 ……96
第 42 表　19 号住居跡ピット一覧表 ……98
第 43 表　19 号住居跡出土遺物観察表 ……100
第 44 表　20 号住居跡ピット一覧表 ……101
第 45 表　20 号住居跡出土遺物観察表 ……102
第 46 表　21 号住居跡出土遺物観察表 ……104
第 47 表　22 号住居跡ピット一覧表 ……107
第 48 表　22 号住居跡出土遺物観察表 ……110
第 49 表　23 号住居跡ピット一覧表 ……113
第 50 表　23 号住居跡出土遺物観察表 ……115
第 51 表　24 号住居跡ピット一覧表 ……117
第 52 表　24 号住居跡出土遺物観察表 ……120
第 53 表　25 号住居跡土坑・ピット一覧表 ……122
第 54 表　25 号住居跡出土遺物観察表 ……124
第 55 表　27 号住居跡ピット一覧表 ……126
第 56 表　27 号住居跡出土遺物観察表 ……128
第 57 表　28 号住居跡ピット一覧表 ……129
第 58 表　28 号住居跡出土遺物観察表 ……132
第 59 表　29 号住居跡ピット一覧表 ……133
第 60 表　29 号住居跡出土遺物観察表 ……136
第 61 表　30 号住居跡ピット一覧表 ……138
第 62 表　30 号住居跡出土遺物観察表 ……140

第 63 表　32 号住居跡ピット一覧表 ‥‥‥‥‥140
第 64 表　32 号住居跡出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥144
第 65 表　33 号住居跡ピット一覧表 ‥‥‥‥‥145
第 66 表　33 号住居跡出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥146
第 67 表　34 号住居跡出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥147
第 68 表　37 号住居跡ピット一覧表 ‥‥‥‥‥148
第 69 表　37 号住居跡出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥150
第 70 表　１号掘立柱建物跡ピット一覧表 ‥‥‥151
第 71 表　30 号土坑出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥161
第 72 表　31 号土坑出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥161
第 73 表　33 号土坑出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥161
第 74 表　３号溝出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥‥165
第 75 表　ピット計測表 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥180
第 76 表　縄文時代遺構外出土遺物観察表 ‥‥‥188
第 77 表　弥生時代遺構外出土遺物観察表 ‥‥‥194
第 78 表　古墳時代遺構外出土遺物観察表 ‥‥‥201
第 79 表　奈良・平安時代
　　遺構外出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥‥208
第 80 表　中世遺構外出土遺物観察表 ‥‥‥‥‥211
第 81 表　出土遺物計量表 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥212
第 82 表　時代別石英含有率 ‥‥‥‥‥‥‥‥232

図版目次

図版 1　調査区全景　垂直　調査区全景（西より）
図版 2　調査区全景（東より）　調査区西側
図版 3　調査区西側完掘（東より）　調査区東側完掘（西より）　１・２号住居跡完掘（南より）　３号住居跡完掘（南より）　４号住居跡完掘（東より）　４号住居跡カマド完掘（南より）　５号住居跡完掘（東より）　５号住居跡遺物出土状況（西より）
図版 4　６号住居跡完掘（西より）　７号住居跡完掘（西より）　８号住居跡完掘（南西より）　９号住居跡完掘（南より）　10 号住居跡完掘（西より）　10 号住居跡１号カマド完掘状況（南より）　10 号住居跡２号カマド完掘状況（西より）　11 号住居跡完掘（東より）
図版 5　11 号住居跡遺物出土状況（南より）　11 号住居跡カマド完掘（南より）　11 号住居跡カマド遺物出土状況（南より）　12 号住居跡完掘（南より）　12 号住居跡遺物出土状況（西より）　12 号住居跡カマド完掘（南より）　13 号住居跡完掘（西より）　13 号住居跡遺物出土状況（北東より）
図版 6　13 号住居跡２号カマド完掘（西より）　14 号住居跡完掘（北東より）　15 号住居跡完掘（西より）　16 号住居跡完掘（西より）　16 号住居跡カマド完掘（西より）　16 号住居跡２号ピット遺物出土状況（北より）　16 号住居跡５号ピット遺物出土状況（北より）　17 号住居跡完掘（南東より）
図版 7　17 号住居跡カマド完掘状況（南より）　18 号住居跡完掘（北より）　19 号住居跡完掘（南より）　20 号住居跡完掘（南西より）　20 号住居跡遺物出土状況（東より）　21 号住居跡完掘（南西より）　22 号住居跡完掘（南西より）　22 号住居跡遺物出土状況（南東より）
図版 8　22 号住居跡カマド完掘（南より）　23･27 号住居跡完掘（南西より）　23 号住居跡遺物出土状況（西より）　23 号住居跡カマド完掘（南より）　23 号住居跡カマド遺物出土状況（南より）　27 号住居跡カマド完掘（南より）　24 号住居跡完掘（南より）　24 号住居跡カマド完掘（南より）
図版 9　24 号住居跡カマド遺物出土状況（南より）　24 号住居跡銅鋺出土状況（西より）　24 号住居跡１・２号地床炉（西より）　25 号住居跡完掘（南西より）　26 号住居跡完掘（北東より）　26 号住居跡遺物出土状況１（南より）　26 号住居跡遺物出土状況２（南より）　26 号住居跡カマド完掘（南より）
図版 10　28 号住居跡完掘（西より）　28 号住居跡カマド完掘状況（南より）　29･31 号住居跡完掘（東より）　29・31 号住居跡遺物出土状況（北より）　29 号住居跡カマド完掘（南より）　31 号住居跡鉄製品出土状況（北より）　31 号住居跡カマド完掘（南より）　30 号住居跡完掘（西より）

図版 11　30 号住居跡カマド完掘（西より） 30 号住居跡 4 号ピット遺物出土状況（西より） 32 号住居跡完掘（南より） 32 号住居跡遺物出土状況（北東より） 32 号住居跡カマド完掘（南より） 33・36 号住居跡完掘（南西より） 33 号住居跡カマド完掘（南より） 34 号住居跡完掘（東より）

図版 12　35 号住居跡完掘（南より） 35 号住居跡カマド完掘状況（南より） 35 号住居跡カマド遺物出土状況（南より） 37 号住居跡完掘（東より） 37 号住居跡カマド完掘（南より） 38 号住居跡完掘（南東より） 38 号住居跡遺物出土状況（南東より） 38 号住居跡地床炉完掘（北東より）

図版 13　１号掘立柱建物跡完掘（東より） １号溝（東溝）完掘（南より） １号溝（北溝）完掘（西より） １号溝遺物集中区検出状況１（南西より） １号溝遺物集中区検出状況２（南より） １号溝遺物集中区検出状況３（東より） １号溝石製品出土状況（南より） １号溝石製品出土状況（西より）

図版 14　１号溝Ａ～Ａ'土層断面（東より） １号溝Ｂ～Ｂ'土層断面（東より） １号溝Ｃ～Ｃ'土層断面（東より） １号溝Ｄ～Ｄ'土層断面（西より） １号溝Ｅ～Ｅ'土層断面（南より） １号溝Ｆ～Ｆ'土層断面（南より） １号溝Ｇ～Ｇ'土層断面（北より） １号溝Ｈ～Ｈ'土層断面（北より）

図版 15　２号溝完掘（南より） ３号溝完掘（南より） ４号溝完掘（南より） ５号溝完掘（南西より） 223 号ピット土層断面（東より） １号土坑完掘（西より） ２号土坑･39 号ピット完掘（東より） ３号土坑・37 号ピット完掘（南より）

図版 16　４号土坑完掘（南より） ５号土坑完掘（北より） ６号土坑完掘（東より） ７号土坑完掘（北より） ８号土坑完掘（南より） ９号土坑完掘（東より） 10 号土坑完掘（南より） 11 号土坑完掘（南より）

図版 17　12 号土坑完掘（西より） 13 号土坑完掘（南より） 14 号土坑完掘（北より） 15 号土坑・176 号ピット完掘（南より） 16 号土坑完掘（南より） 17 号土坑・152・177 号ピット完掘（南より） 18 号土坑・170・178 号ピット完掘（南より） 19 号土坑・169 号ピット完掘（北より）

図版 18　20･21 号土坑完掘（東より） 22 号土坑完掘（北より） 23 号土坑完掘（南より） 24 号土坑完掘（西より） 25 号土坑完掘状況（東より） 26 号土坑完掘（東より） 27 号土坑完掘（南より）28 号土坑・182 号ピット完掘（南より）

図版 19　29 号土坑完掘（北より） 30・31 号土坑完掘（東より） 32 号土坑完掘（南より） 33 号土坑完掘（東より） 34 号土坑完掘（南より） 35 号土坑完掘（南より） 36 号土坑完掘（南より） 37 号土坑完掘（北より）

図版 20　38 号土坑完掘（東より） 39 号土坑・239 号ピット完掘（東より） １号道路状遺構検出状況（南より） 西側調査区中央部ピット群（西より） １号テストピット基本土層（北より） ２号テストピット基本土層（北より） ３号テストピット基本土層（北より） ４号テストピット基本土層（南より）

図版 21　１号住居跡出土遺物　２号住居跡出土遺物　３号住居跡出土遺物　４号住居跡出土遺物　５号住居跡出土遺物（１）

図版 22　５号住居跡出土遺物（２） ６号住居跡出土遺物

図版 23　７号住居跡出土遺物　９号住居跡出土遺物　10 号住居跡出土遺物　11 号住居跡出土遺物（１）

図版 24　11 号住居跡出土遺物（２） 12 号住居跡出土遺物

図版 25　13 号住居跡出土遺物（１）

図版 26　13 号住居跡出土遺物（２） 14 号住居跡出土遺物　15 号住居跡出土遺物　16 号住居跡出土遺物（１） 16 号住居跡出土遺物（２）

図版 27　16 号住居跡出土遺物（３）　17 号住居跡出土遺物　19 号住居跡出土遺物
図版 28　20 号住居跡出土遺物　21 号住居跡出土遺物
図版 29　22 号住居跡出土遺物（１）
図版 30　22 号住居跡出土遺物（２）　23 号住居跡出土遺物
図版 31　24 号住居跡出土遺物
図版 32　25 号住居跡出土遺物　26 号住居跡出土遺物（１）
図版 33　26 号住居跡出土遺物（２）　27 号住居跡出土遺物（１）
図版 34　27 号住居跡出土遺物（２）　28 号住居跡出土遺物
図版 35　29 号住居跡出土遺物（１）
図版 36　29 号住居跡出土遺物（２）　30 号住居跡出土遺物
図版 37　31 号住居跡出土遺物
図版 38　32 号住居跡出土遺物　33 号住居跡出土遺物　34 号住居跡出土遺物　35 号住居跡出土遺物（１）
図版 39　35 号住居跡出土遺物（２）　37 号住居跡出土遺物
図版 40　38 号住居跡出土遺物（１）
図版 41　38 号住居跡出土遺物（２）　１号溝出土遺物（１）
図版 42　１号溝出土遺物（２）
図版 43　１号溝出土遺物（３）
図版 44　１号溝出土遺物（４）　３号溝出土遺物　22 号土坑出土遺物　30 号土坑出土遺物　31 号土坑出土遺物　33 号土坑出土遺物
図版 45　縄文時代遺構外出土遺物
図版 46　弥生時代遺構外出土遺物（１）
図版 47　弥生時代遺構外出土遺物（２）
図版 48　弥生時代遺構外出土遺物（３）
図版 49　弥生時代遺構外出土遺物（４）　古墳時代遺構外出土遺物（１）
図版 50　古墳時代遺構外出土遺物（２）　奈良・平安時代遺構外出土遺物（１）
図版 51　奈良・平安時代遺構外出土遺物（２）
図版 52　奈良・平安時代遺構外出土遺物（３）
図版 53　奈良・平安時代遺構外出土遺物（４）　中世遺構外出土遺物

第１章　調査に至る経緯と調査経過

１－１　調査に至る経緯

平成 19 年４月 12 日、当時茨城県土浦土地改良事務所（現茨城県県南農林事務所）より田園交流基盤整備事業（八郷中央地区における農道整備）に伴い「埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて」照会文書が石岡市教育委員会に提出された。照会地は周知の遺跡の範囲内ではなかったが、現地踏査の結果土器が表面採集されたため、試掘調査を行った。

試掘調査は平成 19 年７月３日から平成 20 年１月 24 日にかけて断続的に行った。その結果、古墳時代から奈良・平安時代にかけての竪穴住居跡などが確認されたため、平成 20 年２月７日付で茨城県教育委員会に「佐久上ノ内遺跡」として「遺跡発見の通知」を行った。

その後、平成 20 年４月 22 日付で茨城県土浦土地改良事務所から茨城県教育委員会に「埋蔵文化財発掘の通知」を行い、同年５月 13 日付で茨城県教育委員会から、工事着手前に発掘調査を実施するように通知があった。

これらの経緯を経て、本年度は該当する工事部分のうち、佐久上ノ内遺跡の発掘調査を東京航業研究所に委託し、本調査を実施することとなった（この時同時に「佐久松山遺跡」も確認されたが、平成 20 年度に調査は完了している）。　（小杉山・谷仲）

１－２　調査の経過

本遺跡の調査は、発掘調査を平成 25 年９月 25 日から翌 25 年 12 月 14 日まで行い、整理作業を平成 25 年 12 月 15 日から翌 26 年３月 10 日まで行った。９月 25 日より重機による表土除去作業を行った。表土除去作業と並行して 10 月１日まで遺構検出作業を進め、その結果、竪穴住居跡 38 軒や掘立柱建物跡、溝、土坑、ピットなど多数の遺構を確認した。遺構は 10 月２日より調査区の西側の住居跡から掘削を始めた。調査区東側部分は作物の収穫を待ち、11 月５日から重機により表土除去作業を行なっている。12 月 10 日に石岡市教育委員会立会いの下終了確認を行った後、重機による埋め戻し作業を 12 月 14 日まで行い、発掘調査は終了した。

整理作業は、平成 25 年 12 月 15 日から行っている。まず水洗い・注記・接合作業を行い、その後掲載遺物の抽出作業を行った。平成 26 年１月６日から実測、拓本、トレース作業と並行して、原稿の執筆や遺物の写真撮影、版下の作成等を行った。遺物については、報告書掲載遺物、非掲載遺物に分け、遺構ごとにビニル袋に小分けして、収納箱に収納した。収納箱は内容物がわかるように明示して、台帳に記録している。

（林）

１－３　調査の方法

調査区の座標は公共座標を基準に設定した。

調査区は東西に走る農道工事予定地に設定されている。面積は 1,600 ㎡を測る。

調査にあたっては、重機を用いて表土・耕作土層を撤去し、主として人力で遺構確認面までの掘り下げを

行った。包含層および遺構内出土の主たる遺物については、原則として光波測量機を用いて３次元記録を実施した。また、遺構については、デジタルカメラによる写真測量と手実測作業を併用した。写真撮影にあたっては 35 ㎜モノクロフィルム、35 ㎜カラーリバーサルフィルム、デジタルカメラ（1330 万画素）を併用し、適宜、記録撮影を行った。（林）

１－４　基本土層（第１図）

今回の調査区は農道を挟み、北西側と南東側に大きく分けられる。

北西側では調査区南壁に北側から TP-1、TP-2、TP-3 をほぼ等間隔に設定し基本層序の確認を行った。

南東側では調査区中央北壁に TP-4 を設定し基本層序の確認を行った。耕作深度がソフトローム上面に達するため、いずれのテストピットでも、第Ⅱ層を確認することは出来なかった。

（基本土層）

第Ⅰ層　表土・耕作土

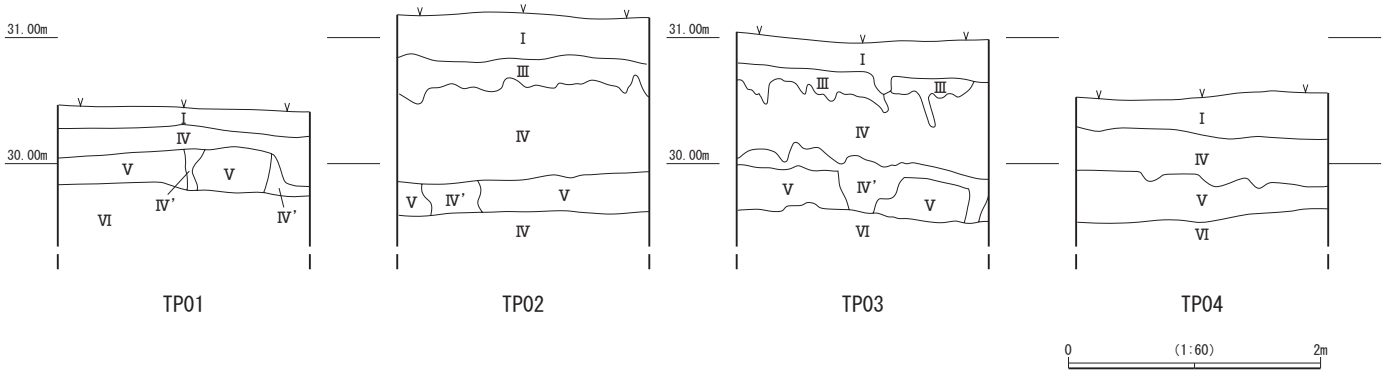
第Ⅲ層　10YR4/4　褐色土層　ロームブロックを少量含む。粘性・締まり強い。（ソフトローム）

第Ⅳ層　10YR6/4　にぶい黄橙色土層　黒色スコリアを微量含む。粘性・締まり強い。（ハードローム）

第Ⅳ'層　10YR6/4　にぶい黄橙色土層　鹿沼土粒を多量に、黒色スコリアを微量含む。粘性･締まり強い。

第Ⅴ層　10YR8/8　黄橙色土層　鹿沼土層

第Ⅵ層　10YR5/4　にぶい黄褐色土層　鹿沼土粒を多量に含む。粘性・締まり強い。（林）



第１図　基本土層図（１：60）

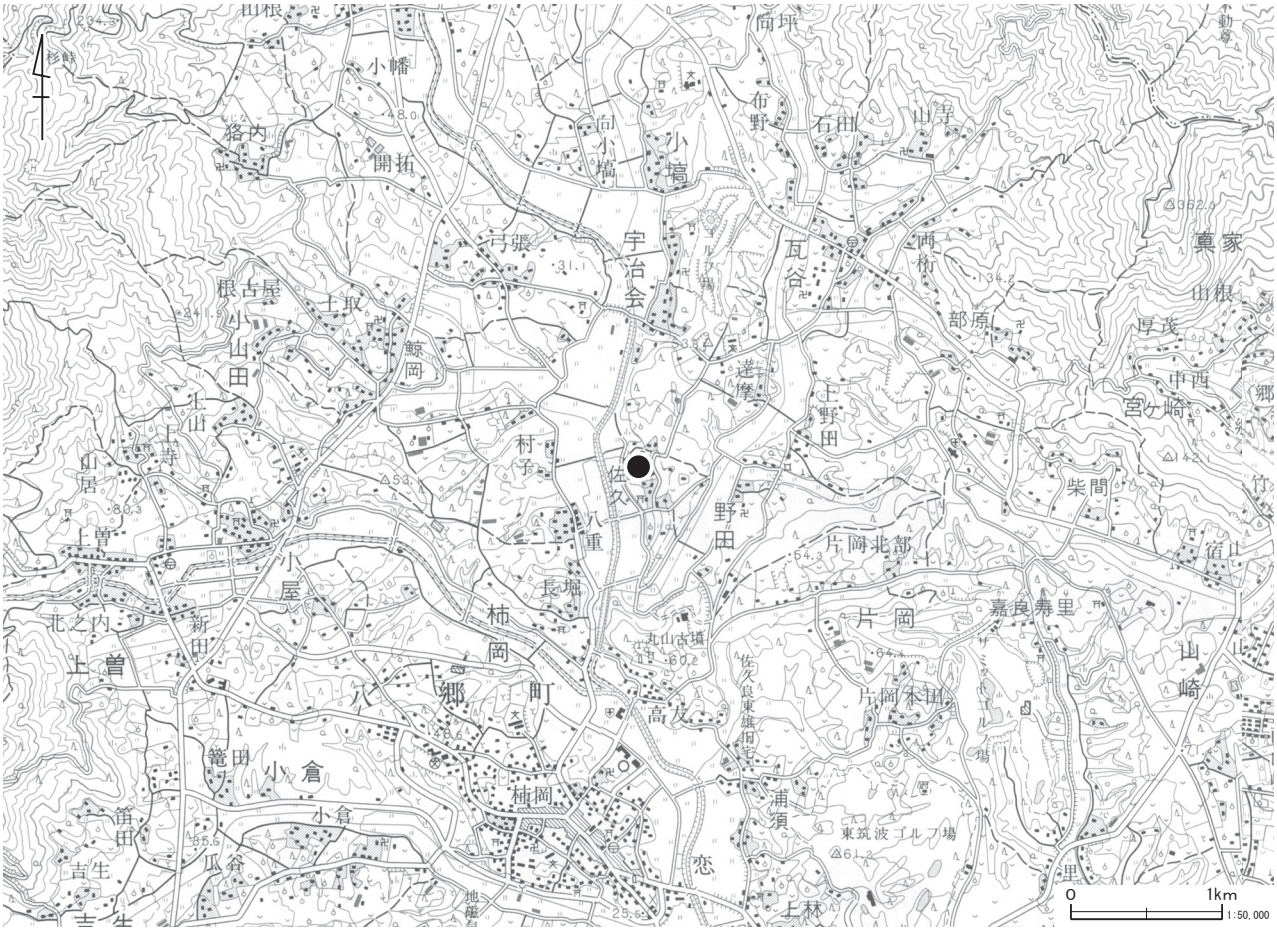
第２章　遺跡の位置と環境

２－１　地理的環境

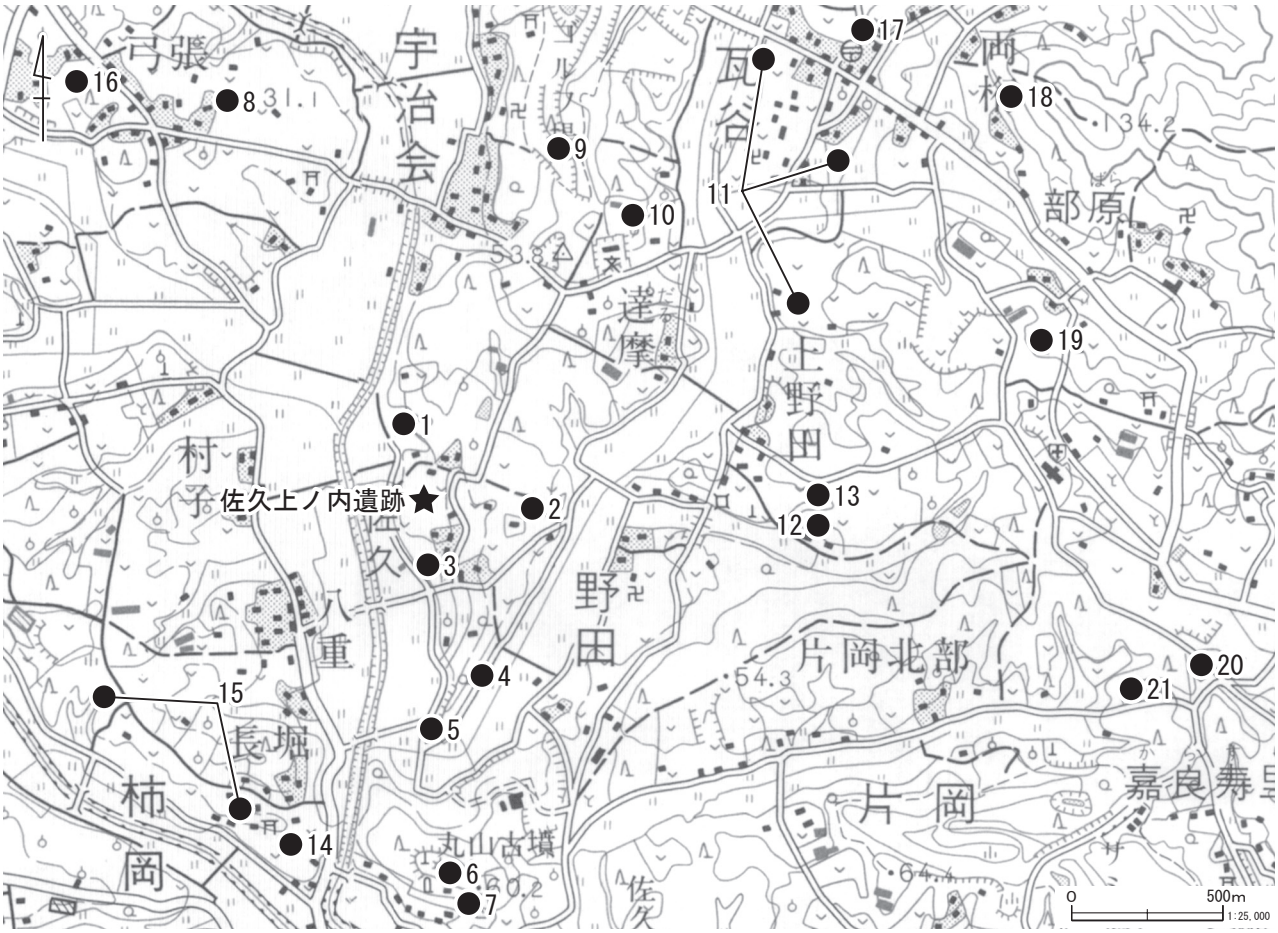
石岡市は茨城県のほぼ中央部に位置し、南東部は霞ヶ浦を望み、西側は筑波山系に接している。平成 17 年 10 月 1 日に石岡市と八郷町が合併し新たな石岡市が誕生した。市域は北東側で笠間市、東側で小美玉市、南側でかすみがうら市･土浦市、南西側ではつくば市、北西側では桜川市と接している。佐久上ノ内遺跡は、JR 常磐線羽鳥駅の北東約 8.0 ㎞の旧八郷町佐久地区に位置している。遺跡は恋瀬川とそれに流れ込む支流の稲荷川に挟まれた、南北に長い狭隘な台地上に位置している。この台地は四周に低地が巡りさながら独立台地の様相を呈している。遺跡はこの台地の南東部に占地し、東に低地を望む。標高は約 31m 前後である。

２－２　歴史的環境

ここでは、本遺跡で検出した遺構の主たる時期である弥生時代から古代を中心に周辺遺跡について見て行きたい。弥生時代については旧八郷町内では少量の土器が知られているに過ぎない。石岡市内では、霞ヶ浦北西岸の台地上で、中期末の土器が出土した新池台遺跡や後期初頭の土器が出土した餓鬼塚遺跡が知られている。何れも少量の遺物が出土しただけで遺構の検出はなされていない。



第２図　遺跡の位置（１：50,000）



第３図－１　周辺遺跡（１：25,000）

後期末になると外山遺跡のように土師器と共伴する時期であるが、住居跡が検出されている。住居跡からは紡錘車が多数見つかっており、その当時の生業の一端をうかがわせる。

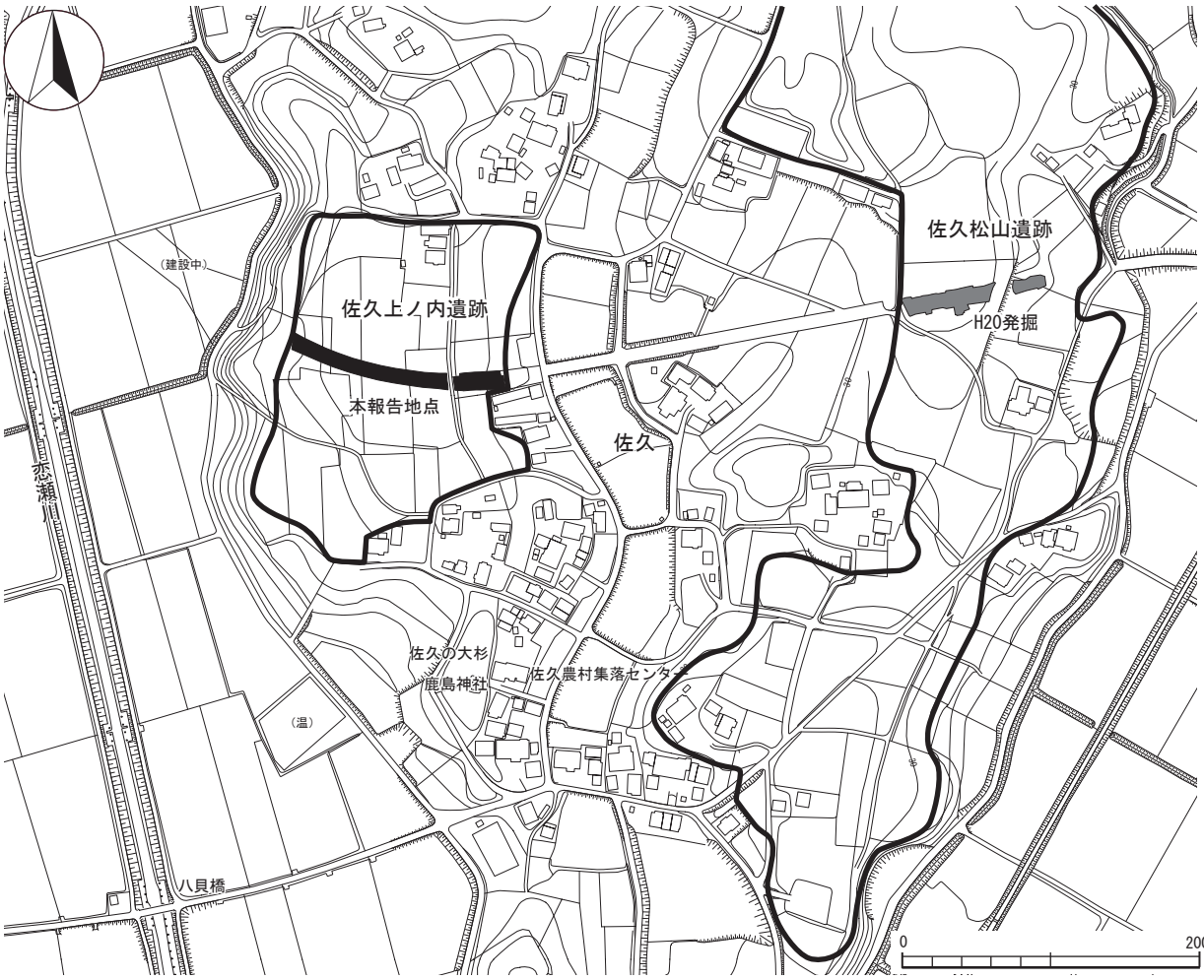
本遺跡周辺では、古墳時代になると台地の縁辺部に古墳群が築かれるようになる。その中で前期から中期初頭に築かれた古墳が存在する。本遺跡と同一台地の南端部に立地する佐自塚古墳（5）・稲荷川を挟み対峙する台地上には丸山古墳（6）が、恋瀬川対岸の台地上には長堀２号墳（15）が位置する。墳形は丸山古墳及び長堀２号墳が前方後方墳で佐自塚古墳が前方後円墳である。丸山古墳と佐自塚古墳では内部主体の調査も行われている。丸山古墳は後方部中央付近に内部主体があり、黒褐色の有機質層から木棺が直葬されたと考えられている。副葬品は仿製内行花文鏡・玉類・銅鏃・大刀・剣・刀子が見つかっている。

佐自塚古墳では、後円部中央に粘土槨の主体部を持ち、管玉・小玉・竹櫛・刀子と共に壷が副葬されていた。また埋葬施設の上層からも器台や高坏が見つかっている。また、前方部の裾付近から底部に穿孔のある二重口縁壷が出土している。

古墳時代後期では瓦谷に所在する兜塚古墳（17）が存在した。すでに湮滅しているが明治年間に調査され、三室に分れた石室に数体の人骨と共に玉類・金環・銅鋺・鉄鏃・鉄刀・馬具が見つかったという。

その他石岡市内では、県内最大の前方後円墳である舟塚山古墳を中心とした舟塚山古墳群が霞ヶ浦北西岸台地に築かれるようになる。

古代以降は、恋瀬川と山王川に挟まれた石岡台地に遺跡が数多く見つかっている。台地中央部には常陸国



第３図－２　周辺遺跡（１：5,000）

第１表　周辺遺跡一覧表

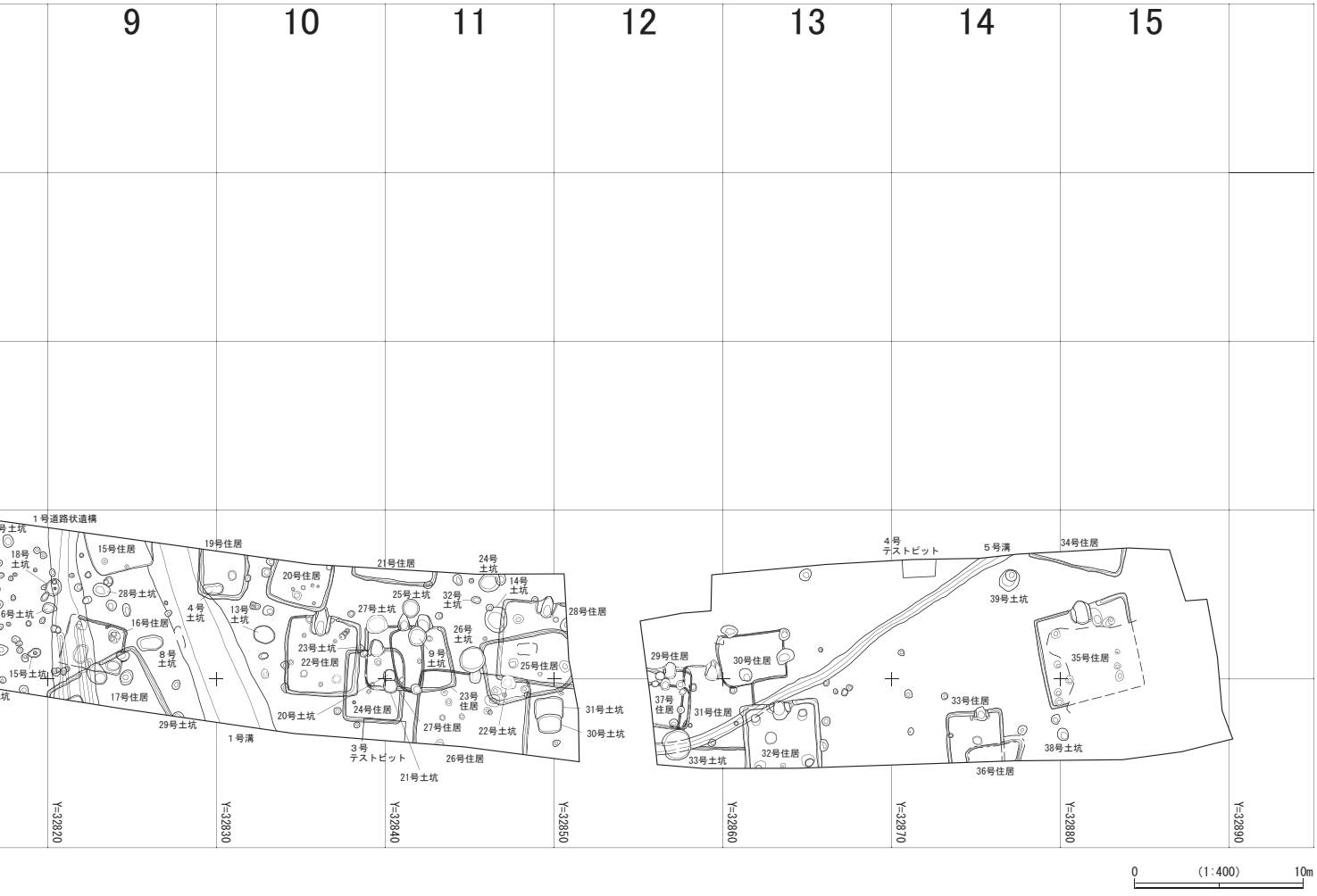
遺跡番号	遺跡名	時代・時期							遺跡番号	遺跡名	時代・時期						
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世			旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世
★	佐久上ノ内遺跡		○	○	○	○	○	○	11	瓦谷古墳群				○			
1	佐久上ノ内古墳群				○				12	野田館跡				○		○	
2	佐久松山遺跡				○	○	○		13	片蓋遺跡					○		
3	鹿島神社境内遺跡					○			14	長堀稲荷台遺跡				○	○		
4	息栖遺跡			○	○	○			15	長堀古墳群				○			
5	佐自塚古墳				○				16	柴崎稲荷塚							○
6	丸山古墳群				○				17	兜塚古墳				○			
7	高友古塁址						○		18	瓦塚窯跡					○		
8	備中遺跡				○	○			19	和尚塚久保古墳				○			
9	二条山館址						○		20	嘉良寿理経塚						○	
10	二子塚古墳群				○				21	片岡遺跡				○	○		

の国府跡が確認されており、掘立柱建物跡や豊富な遺物が出土している。また、国府に関連する遺跡としては、官営工房跡と考えられる鹿の子Ｃ遺跡があり、武器などの生産が行われていた事が分っている。また、具注暦など漆紙文書なども見つかり、当時の生産体制を知るうえで重要な遺跡となっている。

また、旧八郷町内の部原に所在する瓦塚窯跡（18）は国府・国分寺に葺かれた瓦を焼いた窯跡として知られている。（宅間）

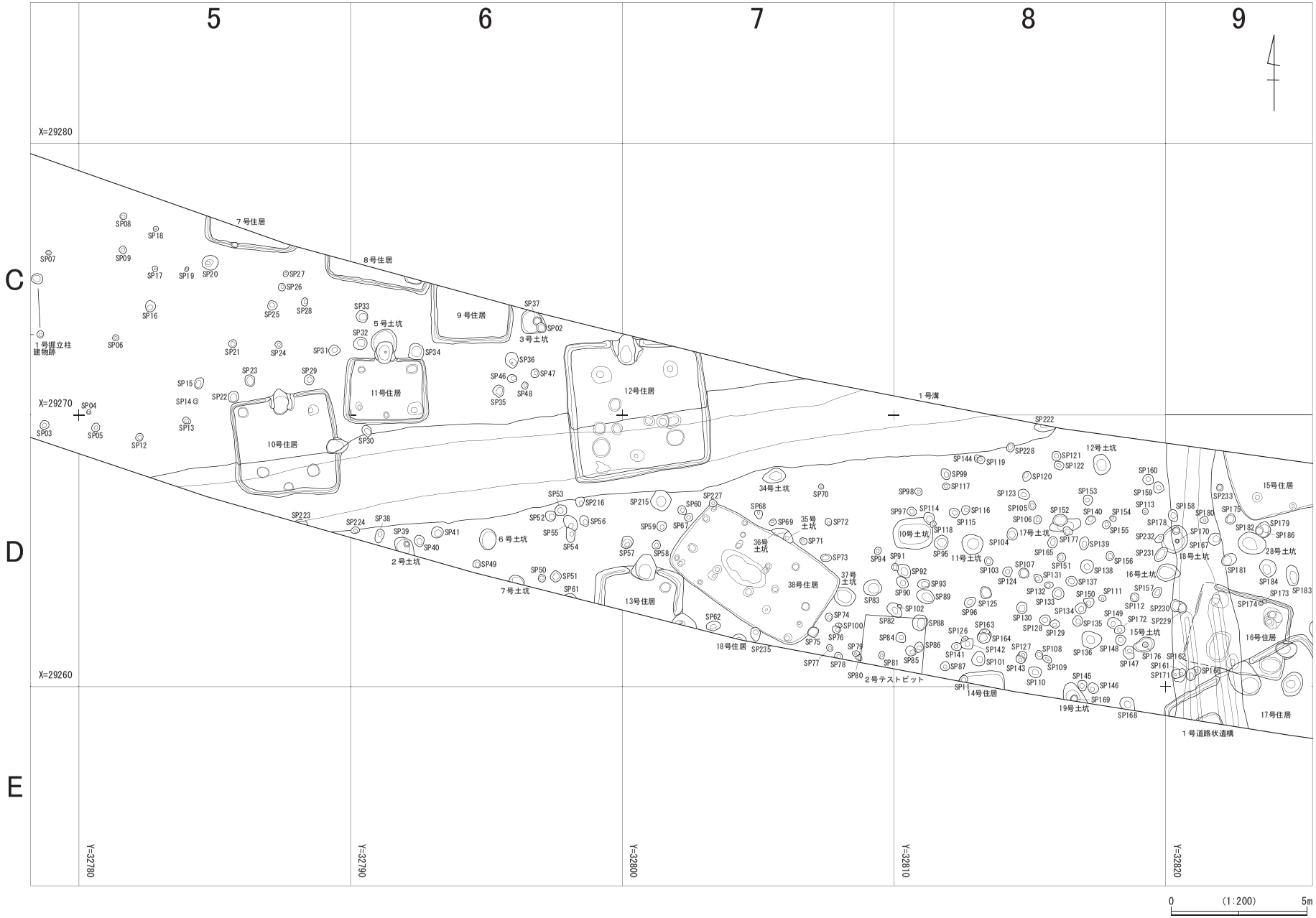
1
2
3
4
5
6
7
8
A
B
C
D
E
X=29290
X=29280
X=29270
X=29260
X=29250
Y=32740
Y=32750
Y=32760
Y=32770
Y=32780
Y=32790
Y=32800
Y=32810
2号住居
3号住居
1号住居
4号住居
5号住居
6号住居
2号溝
1号
テストピット
3号溝
4号溝
1号土坑
1号掘立柱
建物跡
7号住居
8号住居
9号住居
3号土坑
12号住居
5号土坑
11号
住居
10号住居
1号溝
34号土坑
36号土坑
10号土坑
11号土坑
17号
土坑
35号
土坑
6号土坑
2号土坑
7号土坑
13号住居
18号住居
38号住居
37号土坑
14号住居
19号土
2号
テストピット

第４図　遺跡全


9
10
11
12
13
14
15
1号道路状遺構
18号土坑
15号住居
19号住居
21号住居
24号土坑
20号住居
14号土坑
28号土坑
25号土坑
32号土坑
28号住居
4号土坑
13号土坑
27号土坑
16号住居
26号土坑
23号土坑
22号住居
8号土坑
9号土坑
25号住居
15号土坑
17号住居
23号住居
31号土坑
20号土坑
24号住居
27号住居
22号土坑
30号土坑
29号土坑
1号溝
3号テストピット
26号住居
21号土坑
4号テストピット
5号溝
34号住居
39号土坑
29号住居
30号住居
35号住居
37号住居
31号住居
33号住居
38号土坑
33号土坑
32号住居
36号住居
Y=32820
Y=32830
Y=32840
Y=32850
Y=32860
Y=32870
Y=32880
Y=32890
0
(1:400)
10m

体図（1：400）

第５図　遺構区割図（１）（１：200）



第６図　遺構区割図（２）（１：200）

第７図　遺構区割図（３）（１：200）

第８図　遺構区割図（４）（１：200）

第３章　調査の成果

３－１　検出された遺構と遺物

今回の発掘調査地点は佐久上ノ内遺跡の中央部に位置する。東側の佐久松山遺跡では平成 20 年度に発掘調査が行われている。今回の調査は、農道工事に伴う記録保存を目的として実施された発掘調査である。調査区は農道工事の行われる予定の長さ約 120 m、幅約 10 mの不整な長方形に設定している。遺構を確認した面は概ねソフトローム上面である。検出された遺構としては竪穴住居跡 38 軒、掘立柱建物跡 1 棟、溝 5 条、道路状遺構 1 条、土坑 39 基、ピット 239 基を数える。遺物は縄文時代から近世以降まで合計で約 17,000 点、約 250 kg出土している。主な出土遺物は、縄文土器、玦状耳飾、石鏃、石皿、弥生時代後期の土器、土製紡錘車、古墳時代前期から後期の土師器、須恵器、鉄製品、奈良時代・平安時代の土師器、須恵器、鉄製品、銅鋺、瓦、中世期の砥石である。

以下から時代ごとに検出された遺構の説明をおこなうが、ピットについては規則的な配列などは確認できなかったため、最後に若干の言及と表にて法量を提示するに留める。（林）

３－２　縄文時代

（１）土坑

１号土坑（第 9 図、図版 15）

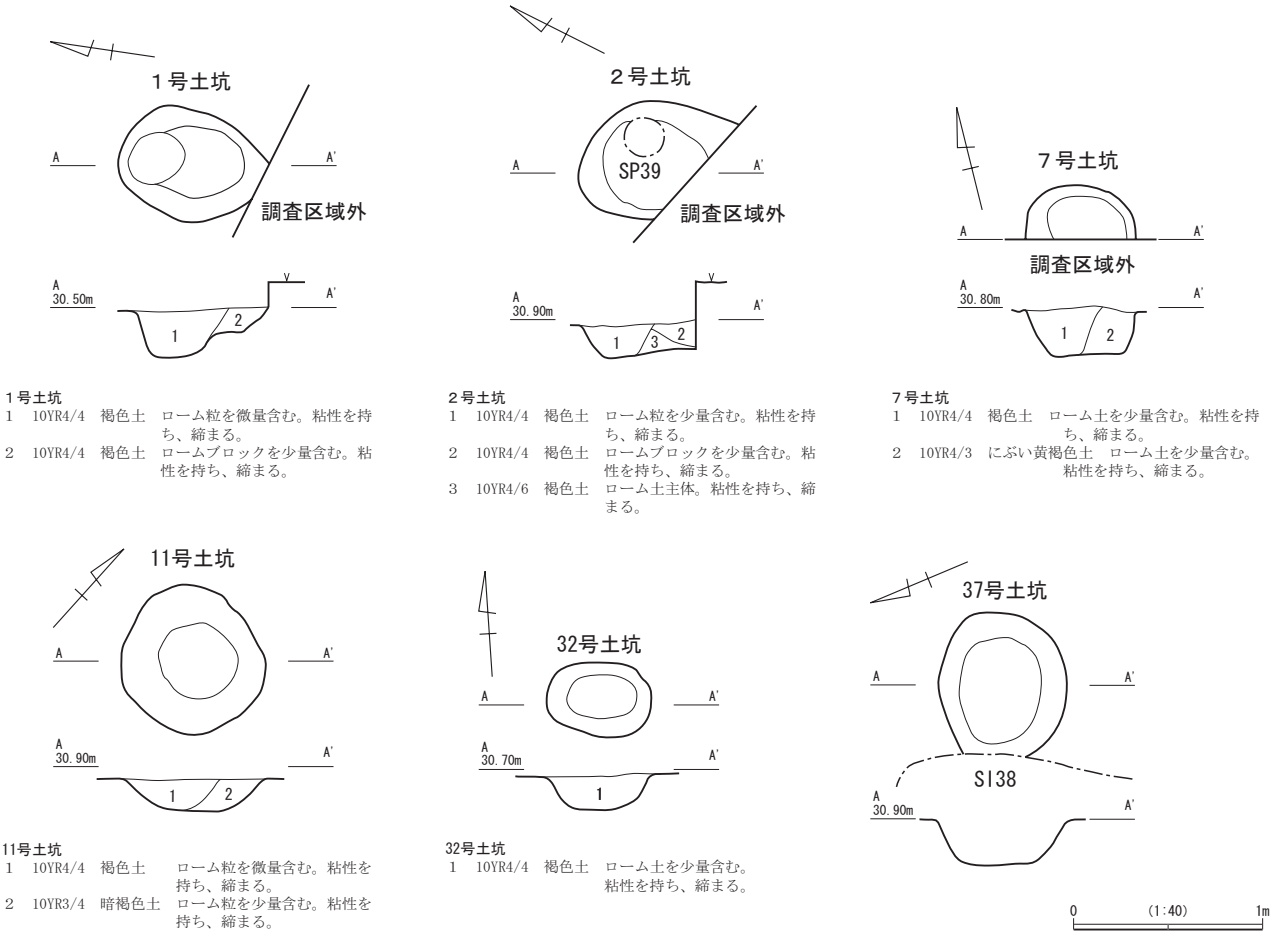
Ｃ－４・Ｄ－４グリッドに位置する。本跡南側の一部が調査区外である。平面形は楕円形で、長径 74 ㎝以上、短径 57 ㎝、深さ 24 ㎝を測る。断面形は有段の筒状を呈する。主軸方位はＮ－６°－Ｅを示す。壁は急角度で立ち上がり、底面は丸味を帯びる。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。遺物は出土していない。遺構の形状や覆土の状況から判断して縄文時代から弥生時代の所産であろうが性格は不明である。

２号土坑（第 9 図、図版 15）

Ｄ－６グリッドに位置する。本跡南側 1/3 が調査区外である。平面形は不整楕円形で、長径 63 ㎝、短径 53 ㎝以上、深さ 16 ㎝を測る。断面形は箱状を呈する。主軸方位はＮ－ 16°－Ｗを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は３層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。遺物は出土していない。切り合い関係は 39 号ピットに先行する。遺構の形状や覆土の状況、切り合い関係から判断して縄文時代から弥生時代の所産であろうが性格は不明である。

７号土坑（第 9 図、図版 16）

Ｄ－６グリッドに位置する。本跡南側 1/2 が調査区外である。平面形は推定円形で、直径 57 ㎝、深さ 26 ㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。遺物は出土していない。遺構の形状、覆土の状況から判断して縄文時代から弥生時代の所産であろうが性格は不明である。



1号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

2号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/6　褐色土　ローム土主体。粘性を持ち、締まる。

7号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

11号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

32号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第９図　１・２・７・11・32・37 号土坑（１：40）

11 号土坑（第 9 図、図版 16）

Ｄ－８グリッドに位置する。平面形は円形で、直径 77 ㎝、深さ 15 ㎝を測る。断面形は皿状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は丸味を帯びる。覆土は２層に分けられ、自然な埋没状況を示す。遺物は出土していない。遺構の形状、覆土の状況から判断して縄文時代から弥生時代の所産であろう。

32 号土坑（第 9 図、図版 19）

Ｄ－ 11 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 55 ㎝、短径 38 ㎝、深さ 17 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 77°－Ｗを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は丸味を帯びる。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。遺物は出土していない。遺構の形状、覆土の状況から判断して縄文時代から弥生時代の所産であろうが性格は不明である。

37 号土坑（第 9 図、図版 19）

Ｄ－７グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 78 ㎝、短径 65 ㎝、深さ 23 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 74°－Ｗを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。遺物は出土していない。切り合い関係は 38 号住居跡に先行する。遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して縄文時代から弥生時代の所産であろうが性格は不明である。

３－３　弥生時代

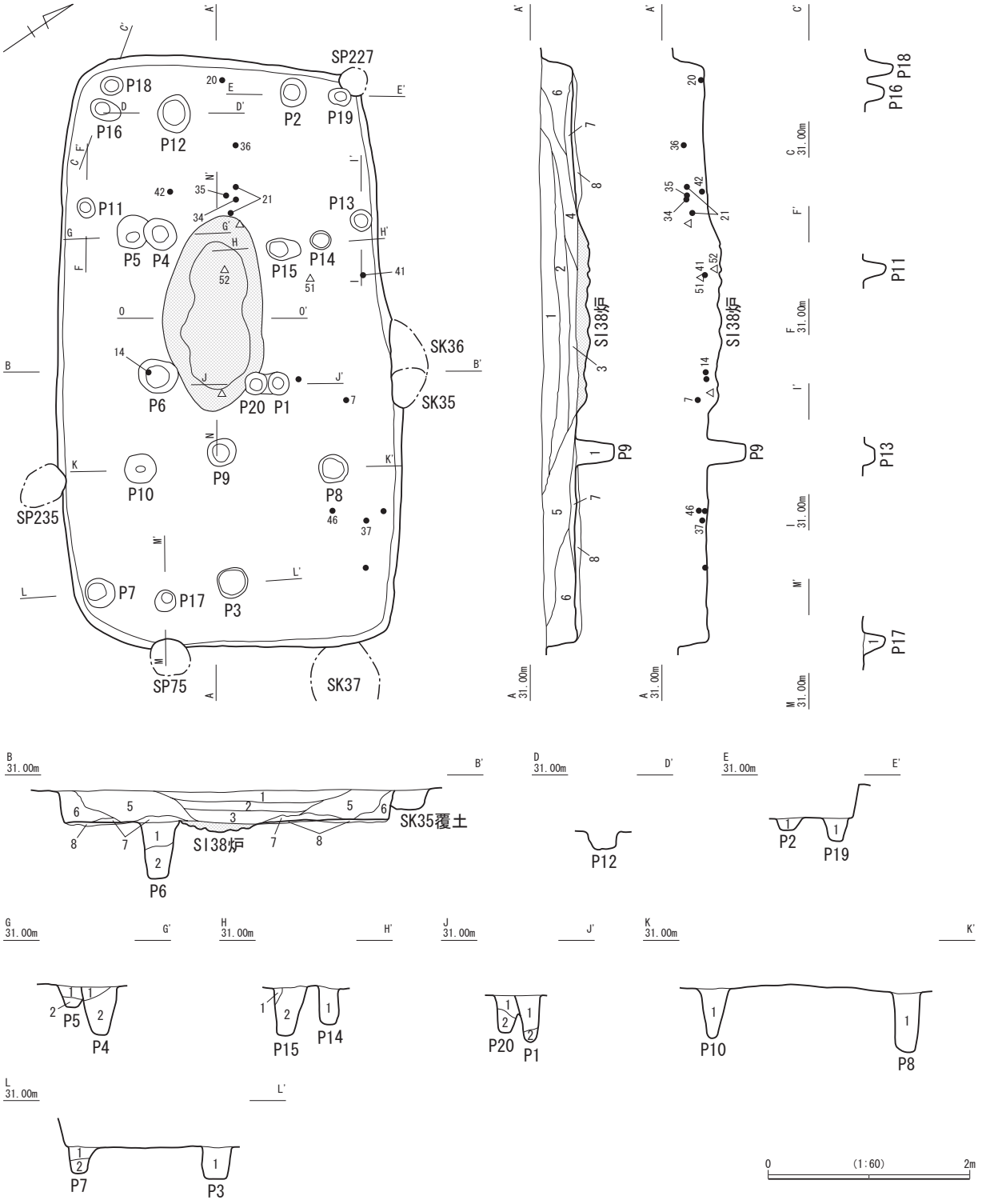
（１）住居跡

38 号住居跡（第 10 ～ 13 図、第 2・3 表、図版 12・40・41）

Ｄ－７グリッドに位置する。本住居跡西側 0.2 ｍに 13 号住居跡、北側１ｍに１号溝、南側 0.5 ｍで 18 号住居跡、北西側２ｍで 12 号住居跡がそれぞれ分布する。東側で 37 号土坑、75 号ピット、北側で 35・36 号土坑、南側で 235 号ピット、北西側で 227 号ピットと重複する。平面形は長軸 581 ㎝、短軸 345 ㎝の隅丸長方形を呈する。主軸方位はＮ－ 54°－Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 31 ㎝ほどを測る。床面は全面に硬質な貼り床が検出されている。覆土は７層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は検出されなかった。ピットは 20 基検出されている。P1・4 ～ 6・8・10・14・15・20 が主柱穴と考えられるが、このうちの P1･4･14 は住居建て替え時の後続するピットである。また、住居跡中央部に２基の地床炉（FP）が検出されている。南側の FP01 は平面形が楕円形で長径 193 ㎝、短径 98 ㎝、深さ８㎝を測り、断面形は皿状を呈する。火床面は強く赤化していて、起伏に富む。北側の FP02 は平面形が楕円形で長径 191 ㎝、短径 96 ㎝、深さ９㎝を測り、断面形は皿状を呈する。火床面は強く赤化していて、起伏に富む。FP02 が先行する。どちらも主軸方位はＮ－ 50°－Ｗを示す。掘り方は全面に及び、深さ３～５㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中などから、244 点で 3289.6 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 24 点、弥生土器は壺が 187 点、土師器は坏が５点、甕・壺が７点、石器は黒曜石製の剥片が２点、石英塊は 16 点、焼成土塊は１点、礫は２点出土している。このうち弥生土器の壺、黒曜石の剥片、石英塊を 53 点図示することが出来た。図示した土器は弥生土器であるが、茨城県における弥生時代後期頃の器形の特徴として壺か甕か不明確など土器が多いことが従来から知られていて、今回出土した土器もその状況であった。したがって、図示した遺物の大半が細片で器形が想定し難いことに加え、時期的な特徴で壺か甕か判断が付かなかった。今回は壺と報告するが、甕も含まれる可能性が高いことを念頭においてほしい。

１～６は口縁部片である。複合口縁で、下端に刺突文や押圧文を施す。外面に附加条縄文１種を施す。４は多段となる。１・３・５・６は口唇部に縄文の押捺やキザミを施す。７～ 11 は口縁部から頸部片である。７は頸部がナデ調整される。８・９は頸部に５及び７条１単位の櫛歯状工具で山形文を横走する。10･11 は８・９と同様の工具で波状文を横走させる。12 ～ 16 は頸部片である。12 ～ 14 は３及び４条１単位の櫛歯状工具による波状文を横走させる。15 は斜条線を交差させる。16 は撚糸文が施される。17 ～ 25 は頸部～胴部片である。17 は頸部に櫛歯状工具で山形文を横走させる。18 ～ 23 は頸部に波状文を横走させる。24 は頸部に条線文を横走させ、胴部に羽縄文を施す。25 は頸部が無文である。26 ～ 38 は胴部片である。26 ～ 37 は附加条縄文１種を施す。38 は垂下させる多条の沈線で縦区画を作り、区画内に斜条線を施している。39 ～ 48 は胴部～底部片である。39 ～ 42 は胴部が附加条縄文１種、底部は木葉痕が確認できる。43 ～ 45 は胴部が附加条縄文１種、底部はナデ、46 は胴部撚糸文、底部木葉痕、47 は原体不明の縄文と底部木葉痕、48 は胴部に多条の沈線で縦区画を作り、区画内に連弧文を施している。49・50 は黒曜石の剥片である。51・52 は石英塊である。土器製作時の混和材として使用されていた可能性を持つ。切り合い関係は 35 号土坑、75・227・235 号ピットに先行して、36・37 号土坑に後続する。出土遺物や覆土の状況、切り合い関係などから判断して弥生時代後期中葉の所産であろう。



38号住居跡

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/4　褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR3/4　暗褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P２・３・８～10

1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P４

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P５・７

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P６・21

1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

P14

1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P15・20

1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

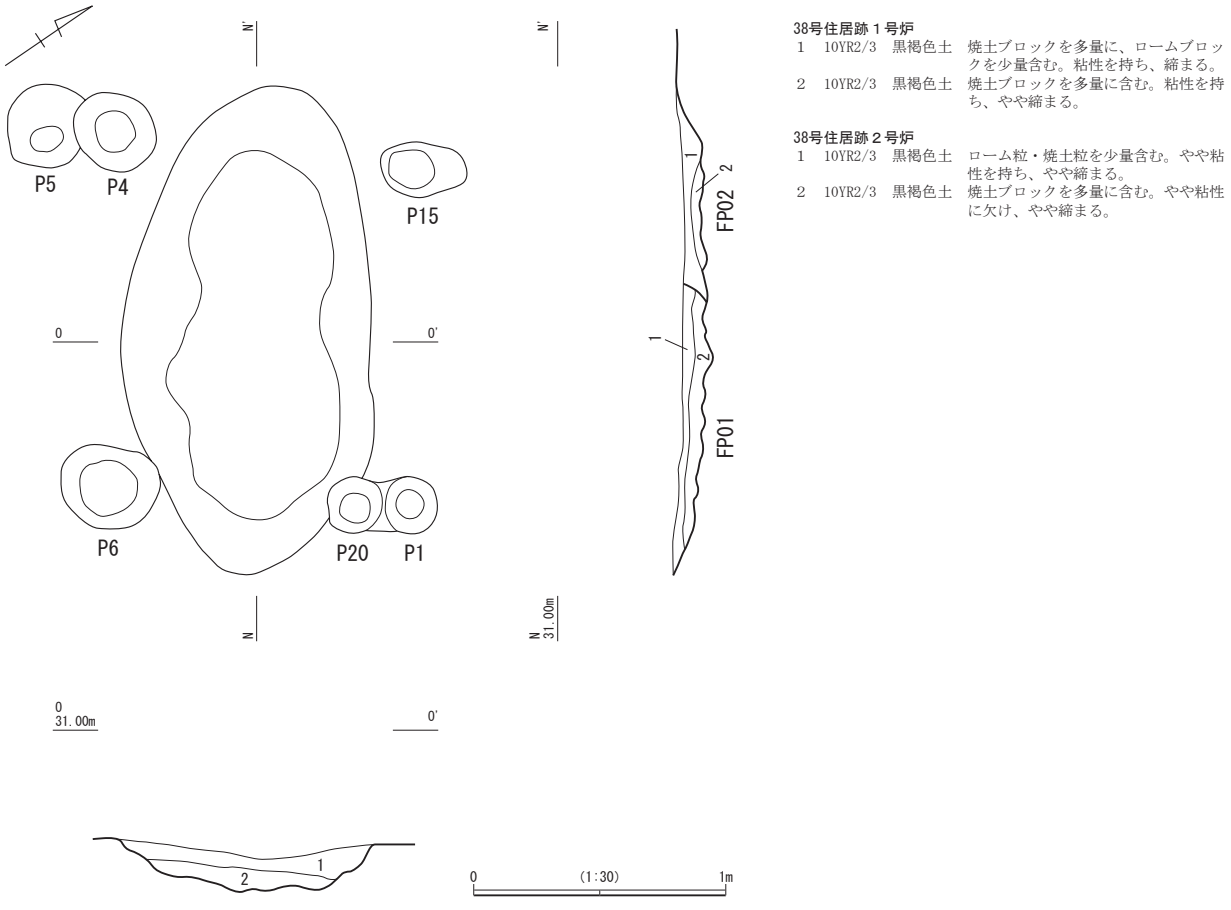
P17・19

1　10YR3/4　暗褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

第10図　38号住居跡（1：60）

第２表　38 号住居跡ピット一覧表

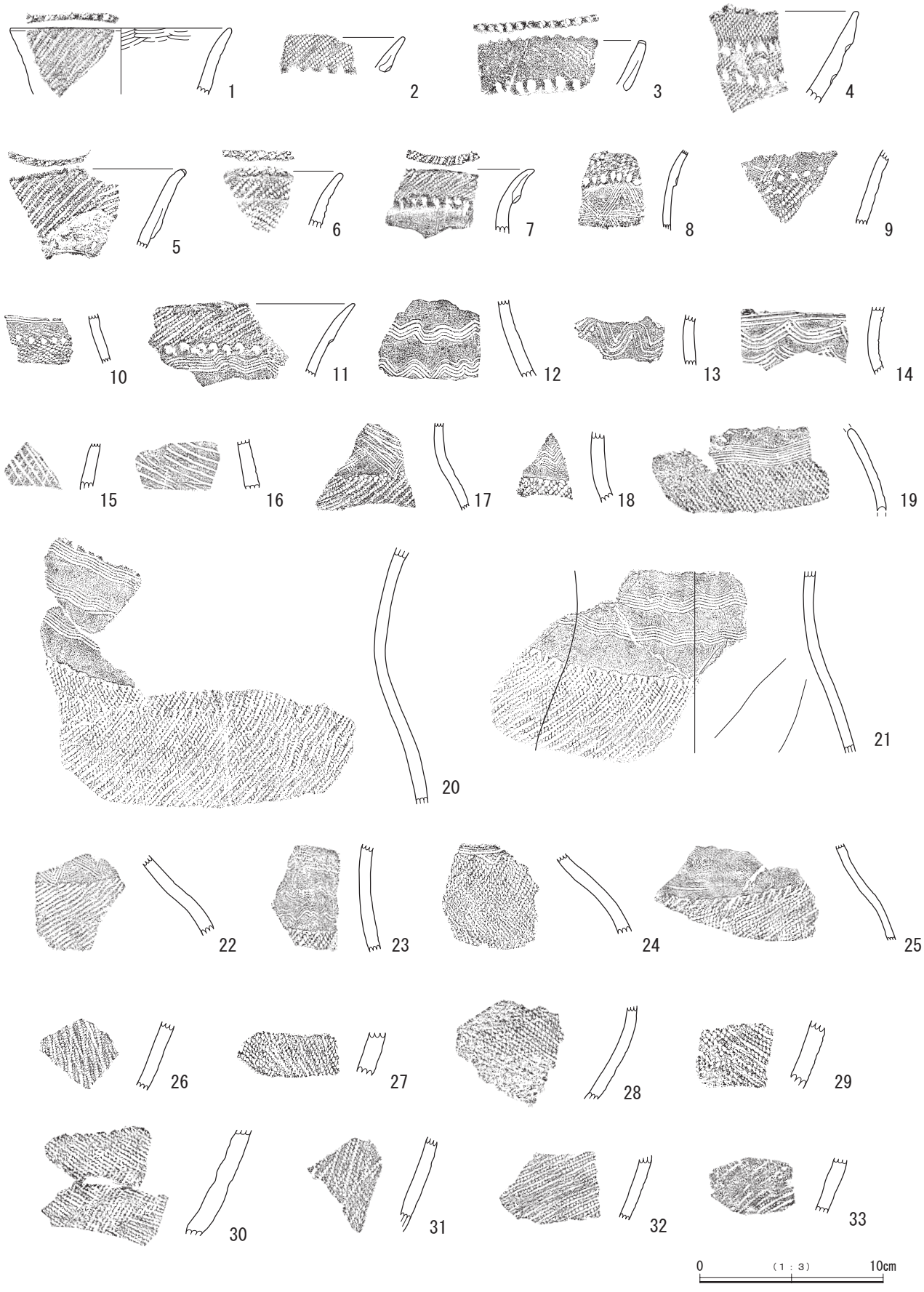
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	中央部やや北東側	円形	21	－	46	筒状	垂直	丸味	SI38P20 に後続	主柱穴	P20 と建て替え
P2	北西側	円形	26	－	12	逆台形状	緩やか	平坦			
P3	東側	円形	30	－	31	筒状	垂直	平坦			
P4	南西側	円形	30	－	46	筒状	急角度	丸味	SI38P5 に後続	主柱穴	P5 と建て替え
P5	南西側	円形	35	－	21	筒状	緩やか	丸味	SI38P4 に先行	主柱穴	
P6	中央部	不整円形	36	33	55	筒状	垂直	丸味			
P7	南東側	円形	30	－	26	筒状	急角度	丸味			
P8	北東側	円形	30	－	61	筒状	垂直	丸味		主柱穴	
P9	中央部	円形	25	－	38	筒状	垂直	丸味			
P10	中央部やや南東側	円形	31	－	50	逆円錐状	急角度	丸味		主柱穴	
P11	南西側	円形	16	－	22	筒状	垂直	丸味			
P12	南西側	楕円形	38	32	19	逆台形状	急角度	平坦			
P13	北東側	円形	22	－	12	逆台形状	緩やか	平坦			
P14	北東側	円形	21	－	38	筒状	垂直	丸味		主柱穴	P15 と建て替え
P15	北東側	長楕円形	35	21	49	筒状	急角度	丸味		主柱穴	
P16	南西側	楕円形	31	20	18	筒状	急角度	丸味			
P17	南東側	円形	20	－	22	筒状	急角度	丸味			
P18	南西側	楕円形	22	18	27	筒状	急角度	丸味			
P19	中央部やや東側	楕円形	22	15	22	筒状	急角度	丸味			
P20	中央部やや北東側	円形	21	－	36	筒状	垂直	丸味	SI38P1 に先行	主柱穴	



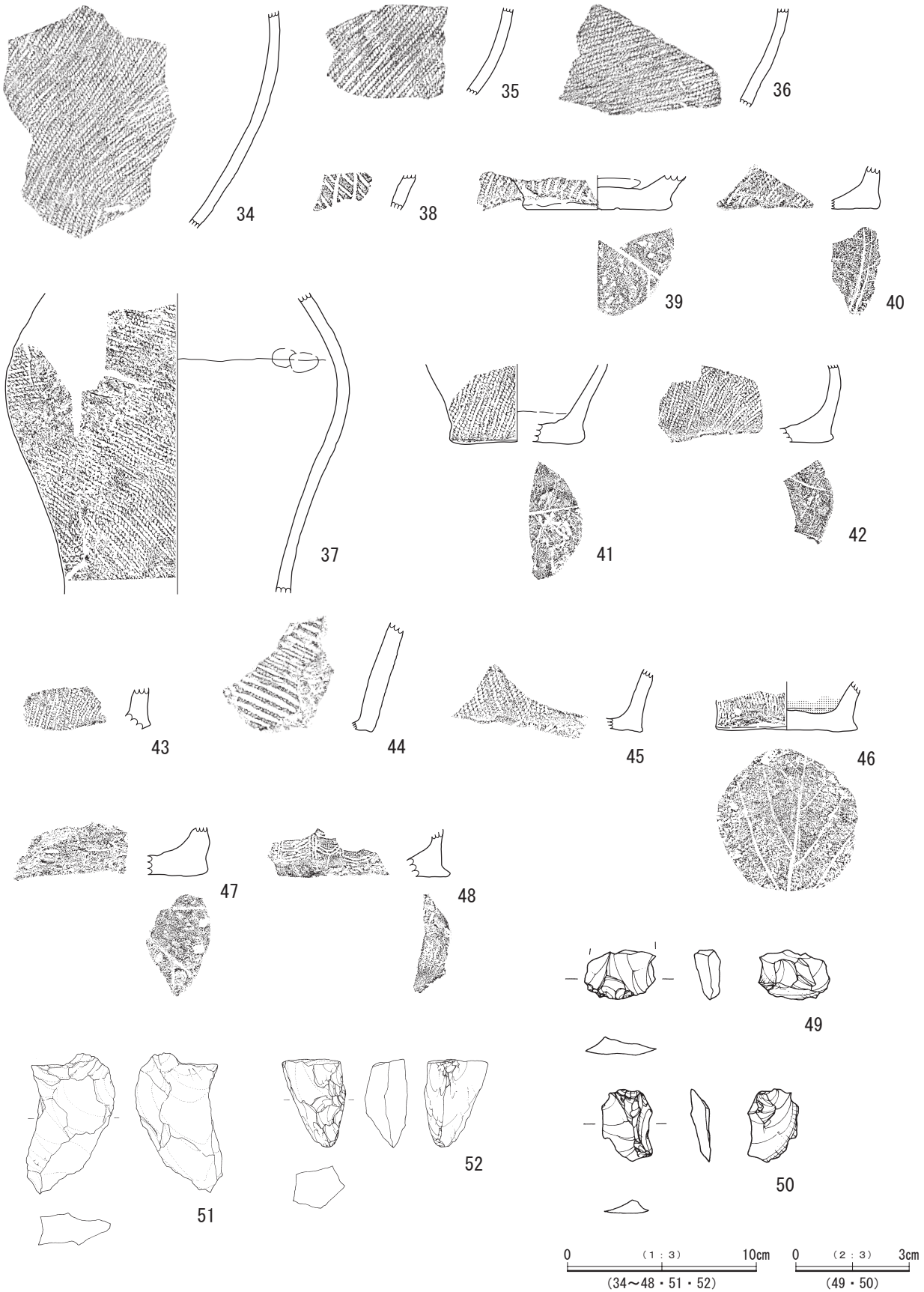
38号住居跡１号炉
1　10YR2/3　黒褐色土　焼土ブロックを多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　焼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

38号住居跡２号炉
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒・焼土粒を少量含む。やや粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　焼土ブロックを多量に含む。やや粘性に欠け、やや締まる。

第 11 図　38 号住居跡地床炉（１：30）



第 12 図　38 号住居跡出土遺物（1）



第 13 図　38 号住居跡出土遺物（2）

第３表　38 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	弥生土器	壷	口縁部	細片	(12.0)	−	<3.6>	口唇部に縄文を押捺、口縁部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
2	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走、外面 LR 縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい黄橙色	
3	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走､口唇部キザミ。外面 RL ＋ L･L ？の附加条縄文を斜走。	白色粒子・白雲母片	不良	にぶい黄橙色	
4	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	多段の複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。外面 LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
5	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走、口唇部縄文を押捺。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
6	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、外面 LR と RL による羽状縄文を施す。口唇部縄文を押捺。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	FP02 から出土
7	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を施す。口唇部縄文を押捺。頸部ナデ。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	灰黄褐色	
8	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。外面 LR 縄文？を施す。頸部５条１単位の櫛歯状工具による条線文を横走、その上下に同一工具による山形文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
9	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走、外面 LR 縄文を斜走。頸部７条１単位の櫛歯状工具による山形文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
10	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。頸部数条１単位の櫛歯状工具による波状文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	
11	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走、外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を施す。口唇部に縄文を押捺。頸部５条１単位の櫛歯状工具による波状文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
12	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	４条１単位の櫛歯状工具で波状文を多段に横走。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
13	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	４条１単位の櫛歯状工具で波状文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
14	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	３条１単位の条線文を横走、その下位に多段の連弧文を巡らす。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	暗褐色	
15	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	斜条線文を交差させる。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
16	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	軸縄不明の R を付加。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
17	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	−	−	−	頸部数条１単位の櫛歯状工具による山形文を横走、斜条線を施文。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
18	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	−	−	−	頸部７条１単位の櫛歯状工具による波状文を横走。頸部と胴部の境に縄文を押捺。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	灰褐色	
19	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	−	−	−	頸部ナデ、胴部との境に７条１単位の櫛歯状工具による波状文を横走。胴部 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	37 と同一個体
20	弥生土器	壷	頸部～胴部	20	−	−	−	頸部上端に棒状工具による押圧文を横走、その下位に５条１単位の櫛歯状工具による波状文を２段横走。頸部と胴部の境に縄文を押捺。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	21 と同一個体
21	弥生土器	壷	頸部～胴部	20	−	−	−	頸部５条１単位の櫛歯状工具による波状文を２段横走。頸部と胴部の境に縄文を押捺。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	暗褐色	20 と同一個体
22	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	−	−	−	頸部３条以上の櫛歯状工具による波状文を横走。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
23	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	−	−	−	頸部３条１単位の櫛歯状工具による波状文を多段に横走。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
24	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	−	−	−	頸部多条の櫛歯状工具による条線文を横走。胴部 LR ＋ R・R と RL ＋ L・L の附加条縄文による羽状縄文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
25	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	−	−	−	頸部ナデ、途中で消える沈線を１条横走、頸部と胴部の境に縄文を押捺。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	黒褐色	37 と同一個体
26	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
27	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	灰褐色	
28	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒色	37 と同一個体
29	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
30	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	
31	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	LR ＋ R・R の附加条縄文を横及び斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄褐色	
32	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	LR ＋ R・R の附加条縄文を縦走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
33	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	LR ＋ R・R の附加条縄文を縦走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
34	弥生土器	壷	胴部	20	－	－	－	LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒黄褐色	37 と同一個体
35	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	37 と同一個体
36	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	灰黄褐色	37 と同一個体
37	弥生土器	壷	胴部	30	－	－	－	RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	19・25・28・34・35・36 と同一個体
38	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	沈線を多単位垂下させ縦の区画、区画内斜沈線を多段に施す。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
39	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	(7.9)	<1.8>	胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
40	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	<2.2>	胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい黄褐色	
41	弥生土器	壷	胴部～底部	10	－	(7.0)	<4.2>	胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	灰褐色	
42	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	<4.1>	胴部 LR（直前段４条）を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
43	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	<2.1>	胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。底部ナデ。	石英粒	良好	にぶい黄褐色	
44	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	<5.7>	胴部 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。底部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
45	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	<3.3>	胴部 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
46	弥生土器	壷	胴部～底部	10	－	7.5	<2.5>	胴部 L 撚糸文を施す。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
47	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	<2.6>	胴部原体不明の細縄文を斜走後ナデ。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄色	
48	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	<2.5>	胴部平行沈線を多単位垂下させ区画、区画内平行沈線による連弧文を多段に巡らす。底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	浅黄橙色	弥生時代中期
49	石器	剥片	－	－	長さ 1.3	幅 1.8	厚さ 0.5	表面は大きく、裏面は細かく剥離する。	－	－	－	黒曜石製 重量 1.58 g
50	石器	剥片	－	－	長さ 1.9	幅 1.8	厚さ 0.4	表面の一部に原礫面を残す。	－	－	－	黒曜石製 重量 0.84 g
51	礫	－	－	－	長さ 6.8	幅 4.1	厚さ 1.5	砕片。土器の混和材原材料ヵ。	－	－	－	石英 重量 34.00 g
52	礫	－	－	－	長さ 4.6	幅 3.1	厚さ 2.0	砕片。土器の混和材原材料ヵ。	－	－	－	石英 重量 32.79 g

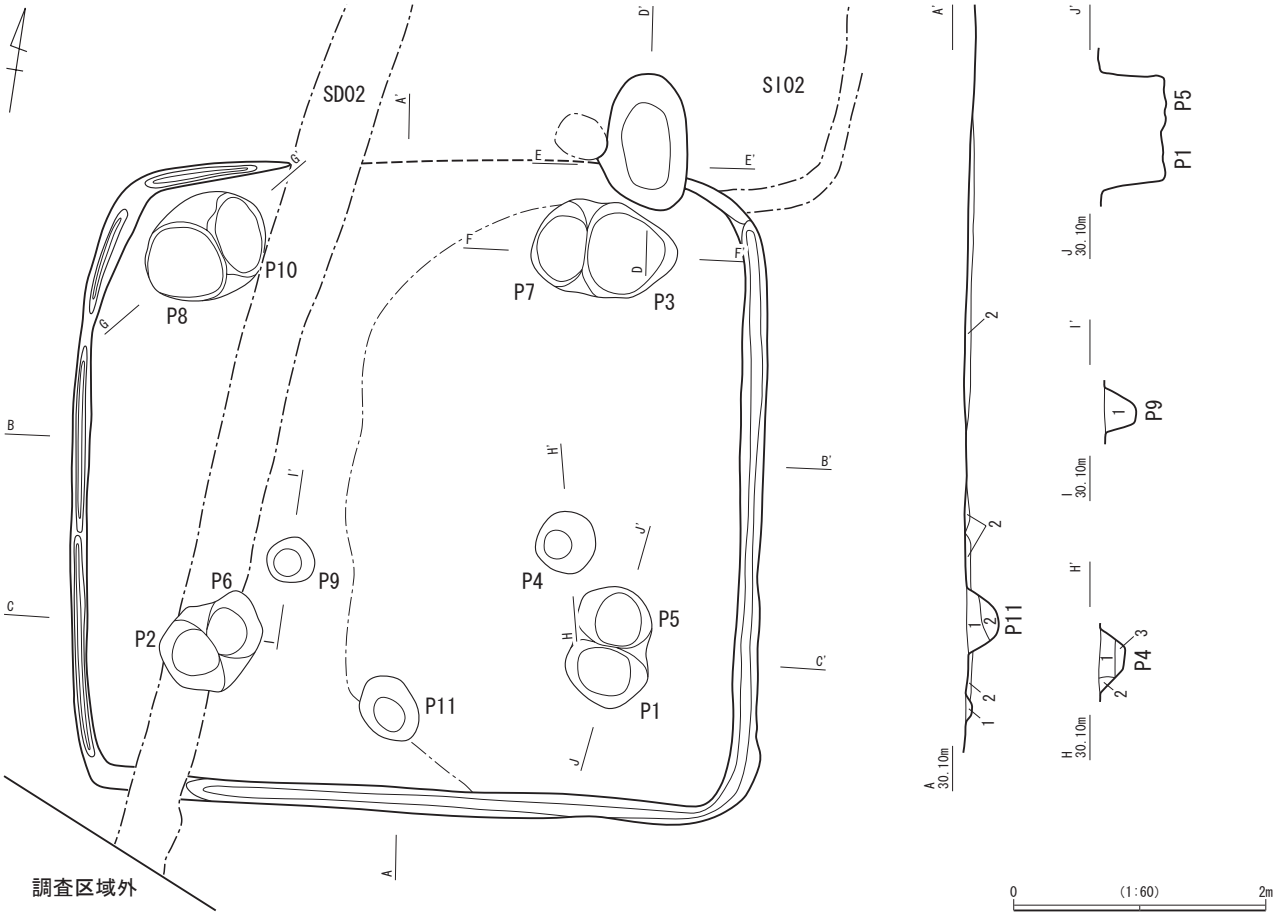
３－４　古墳時代

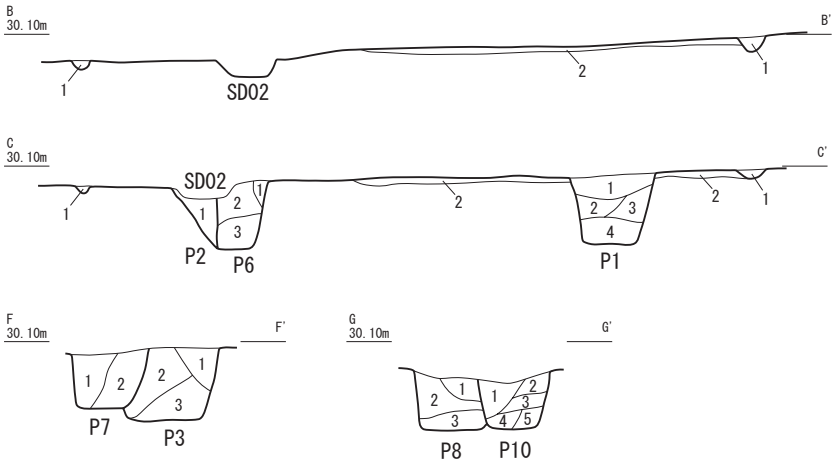
（１）住居跡

１号住居跡（第 14 ～ 16 図、第４・５表、図版３・21）

Ｂ－２・Ｃ－２グリッドに位置する。本住居跡北東側２ｍに３号住居跡、東側に５ｍに４・５号住居跡がそれぞれ分布する。北側で２号住居跡、中央部に２号溝と重複する。耕作による攪乱で西側約半分が削平されている。平面形は長軸 548 ㎝、短軸 507 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－５°－Ｗを示す。壁は上面が削平されているため、不明である。床面は地山を硬化させ床面としている。全体的にほぼ平坦である。周溝は幅 12 ～ 22 ㎝、深さ２～ 11 ㎝を測り、南西側の一部を除き全周する。ピットは 11 基検出された。本住居跡四隅に位置する P1 ～ 3・8 の４基及び P5 ～ 7・10 の４基が主柱穴と考えられる。P1 ～ 3・8 が P5 ～ 7・10 に先行する。柱の建て替えであろう。また、P4・9 はその位置から主柱穴に対する添え柱と考えられる。Ｐ 11 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。

カマドは住居跡北壁東側に位置し、壁外に逆Ｕ字状に 65 ㎝ほど突出する。袖部は残存していなかった。





1号住居跡
1　10YR4/4　褐色土　鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土ブロック・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P１
1　10YR3/3　暗褐色土　鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

P２
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　褐色土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P３
1　10YR3/3　暗褐色土　鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

P４
1　10YR4/4　褐色土　褐色土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
3　10YR4/4　褐色土　暗褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P６
1　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　褐色土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　焼土粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

P７
1　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土ブロック・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P８
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P９
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。

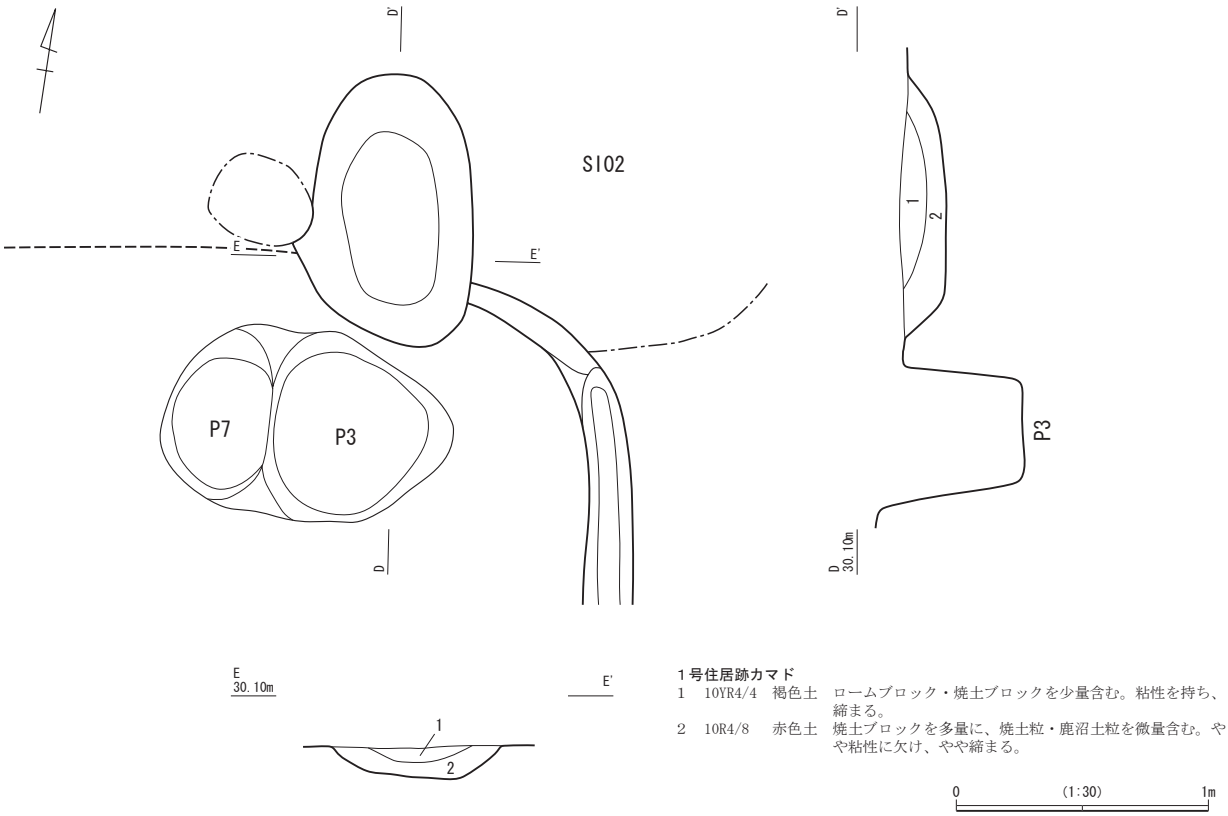
P10
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/4　褐色土　鹿沼土粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
5　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P11
1　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土ブロック・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第14図　1号住居跡（1：60）

第４表　１号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	南東側	楕円形	66	47	49	逆台形	急角度	平坦	SI05P5 に先行	主柱穴	
P2	南西側	不整円形	69	40	55	逆台形	緩やか	平坦	SI01P6 に先行	主柱穴	
P3	北東側	不整円形	73	71	53	逆台形	急角度	平坦	SI01P7 先行	主柱穴	
P4	中央部	円形	50	－	20	逆台形	緩やか	平坦			
P5	南側	楕円形	51	46	50	逆台形	急角度	平坦	SI01P11 に後続	主柱穴	
P6	南西側	不整円形	70	52	55	逆台形	急角度	平坦	SI01P2 に後続	主柱穴	
P7	北東側	楕円形	67	45	57	箱状	垂直	平坦	SI01P3 に後続	主柱穴	
P8	北西側	円形	71	－	52	箱状	垂直	平坦	SI01P10 に先行	主柱穴	
P9	中央部	円形	37	－	27	筒状	急角度	丸味		添え柱ヵ	
P10	北西側	楕円形	71	57	58	逆台形	急角度	平坦	SI01P8 に後続	主柱穴	
P11	南側	不整円形	56	42	26	筒状	緩やか	丸味		出入口ピット	

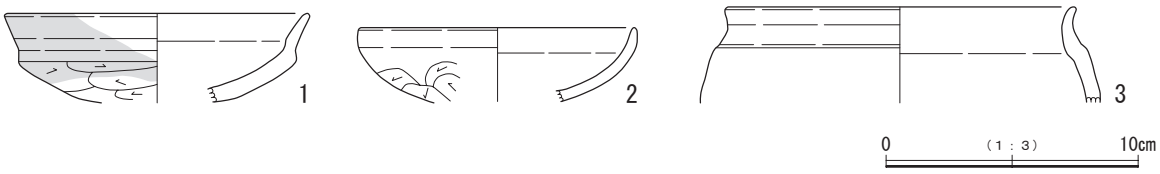


第 15 図　１号住居跡カマド（１：30）

燃焼部は楕円形で長径 108 ㎝、短径 70 ㎝を測る。火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部はやや丸味を帯び、深さ 21 ㎝ほどの皿状に掘り込まれている。掘り方は東側の一部で確認され、深さ４㎝ほどを測り、やや起伏を持つ。

遺物は覆土中やカマドなどから、67 点で 673.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が２点、弥生土器は壷が２点、須恵器は坏が２点、蓋が１点、土師器は坏が 26 点、埦が１点、甕・壷が 32 点、焼成土塊は１点出土している。このうち須恵器の蓋、土師器の坏や埦を４点図示することが出来たが、須恵器の蓋は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１・２は土師器の坏で、１は須恵器の模倣坏、２は口縁部が短く直立する器形である。３の土師器壷は口縁部が長く上端が外反する器形である。

切り合い関係は２号溝に先行し、２号住居跡に後続する。出土した土師器坏や埦の器形や覆土の状況、切り合い関係などから判断して６世紀後葉～７世紀前葉の所産であろう。



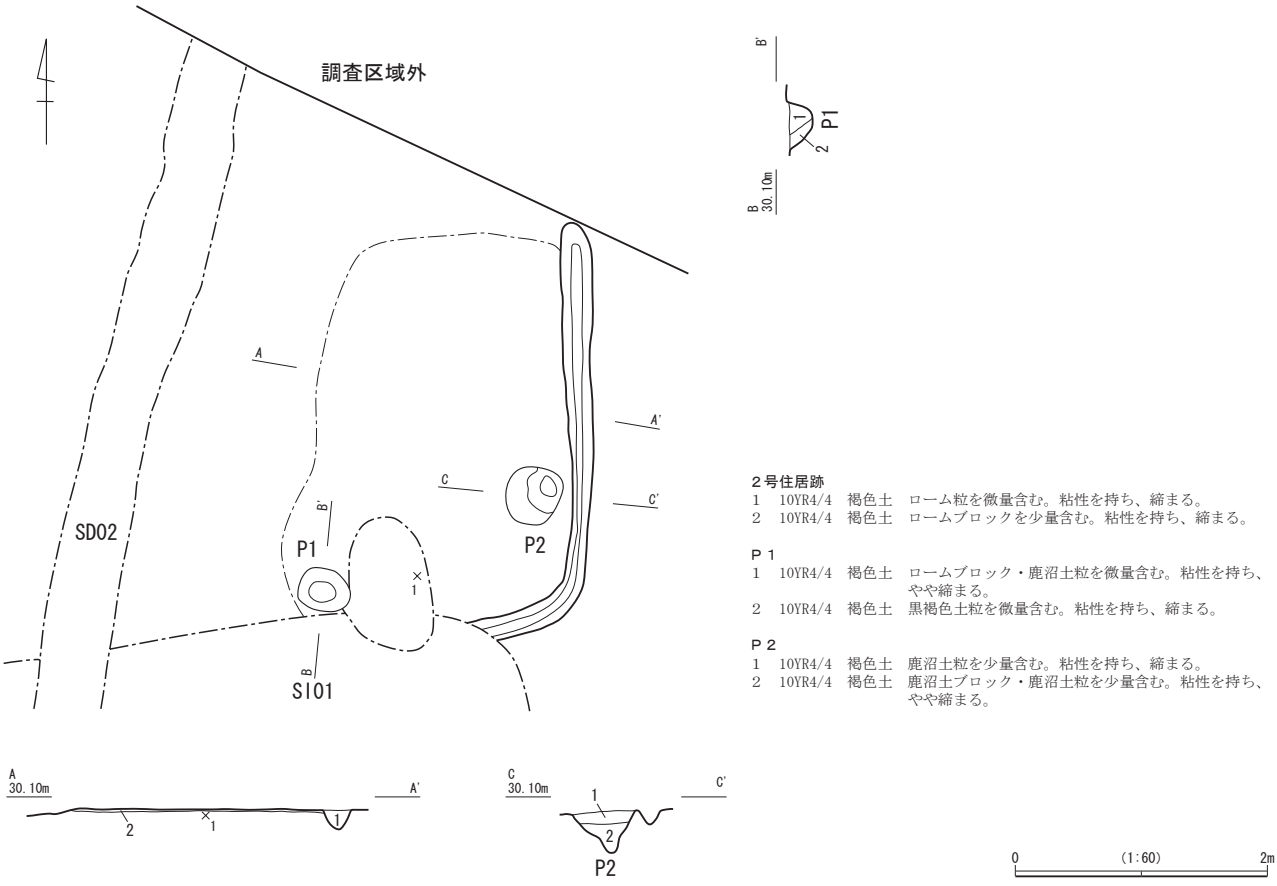
第16図　1号住居跡出土遺物

第5表　1号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	10	(11.9)	－	<3.5>	須恵器模倣坏。口縁部僅かに外傾して、体部との境に明瞭な稜。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白・赤色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	体部外面に赤彩 6世紀後葉 掘り方から出土
2	土師器	坏	口縁部～体部	10	(10.8)	－	<2.8>	口縁部は短く直立。内外面ヨコナデ。体部外面他方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	6世紀後葉～7世紀前葉 カマドから出土
3	土師器	壷	口縁部～胴部	細片	(13.8)	－	<3.9>	口縁部長く上端外反、体部との境に段を持つ。内外面ヨコナデ。胴部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	6世紀後葉～7世紀前葉 カマドから出土

2号住居跡（第17・18図、第6・7表、図版3・21）

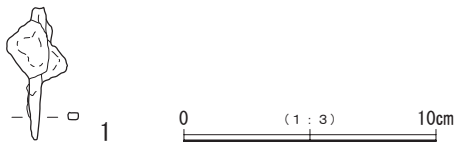
B－2グリッドに位置する。本住居跡北側1/2が調査区外である。東側0.5ｍに3号住居跡、東側に5ｍに4・5号住居跡がそれぞれ分布する。南側で1号住居跡、西側で2号溝が重複する。耕作による攪乱で西側2/3が削平されている。平面形は長軸421㎝以上、短軸241㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はN－1°－Eを示す。壁は上面が削平されているため、不明である。床面は地山を硬化させて床面として



第17図　2号住居跡（1：60）

第６表　２号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	東側	不整円形	41	35	20	筒状	緩やか	丸味			
P2	南側	円形	49	－	52	有段 逆円錐状	緩やか	丸味			



第 18 図　２号住居跡出土遺物

第７表　２号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	鉄製品	鉄鏃？	基部	30	長さ <5.2>	幅 0.5	厚さ 0.3	茎（なかご）部のみ残存。断面四角形。	－	－	－	重量 5.91 g

いる。全体的にほぼ平坦である。周溝は幅 14 ～ 24 ㎝、深さ４～ 13 ㎝を測り、東及び南側の一部に確認されている。ピットは２基検出されているが、その位置などから主柱穴ではないであろう。カマドや炉は検出されていない。掘り方は東側の一部で確認され、深さ１㎝ほどを測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中などから、９点で 88.3 g の遺物が出土した。内訳は、土師器は坏が３点、甕・壷が５点、鉄製品は鉄鏃が１点出土している。このうち鉄鏃１点を図示することが出来た。１は茎部のみ残存している鉄鏃である。

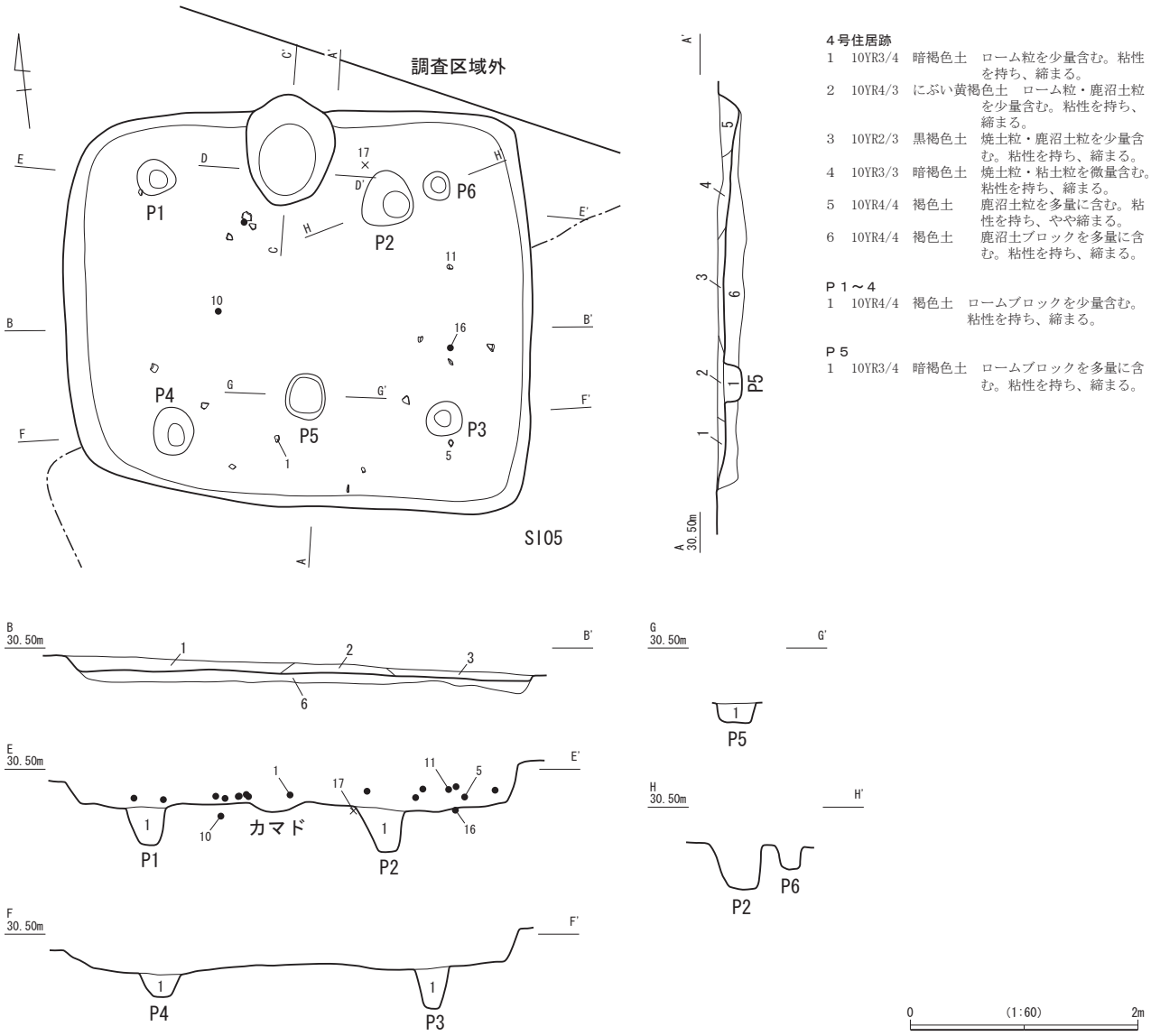
切り合い関係は１号住居跡、２号溝に先行する。出土遺物や覆土の状況、切り合い関係などから判断して６世紀後葉～７世紀前葉以前の所産であろう。

４号住居跡（第 19 ～ 21 図、第８・９表、図版３・21）

Ｂ－３グリッドに位置する。本住居跡北東側３ｍに３号住居跡、西側に５ｍに１・２号住居跡がそれぞれ分布する。南側で５号住居跡に重複する。平面形は長軸 410 ㎝、短軸 347 ㎝の隅丸方形を呈する。主軸方位はＮ－ 10°－Ｅを示す。壁は緩やかに立ち上がり、最大壁高は３㎝ほどを測る。床面は全面にやや軟弱な貼り床が検出されている。覆土は５層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は検出されていない。ピットは６基検出された。本住居跡四隅に位置する P1 ～ 4 の４基が主柱穴と考えられる。また、P5 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。

カマドは住居跡北壁中央部に位置し、壁外に逆Ｕ字状に 13 ㎝ほど突出する。袖部は残存していなかった。燃焼部は楕円形で長径 97 ㎝、短径 77 ㎝を測る。火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 15 ㎝ほどの皿状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は全面に及び、深さ５～ 16 ㎝を測り、やや起伏に富む。

遺物は覆土中やカマドなどから、641 点で 5247.8 g の遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が４点、浅鉢が１点、弥生土器は壷が 23 点、須恵器は坏が 19 点、甕が５点、土師器は坏が 150 点、甕･壷が 414 点、高坏が９点、器台が３点、ミニチュア土器は壷が１点、鉄製品は刀子が１点、焼成土塊は 11 点出土している。

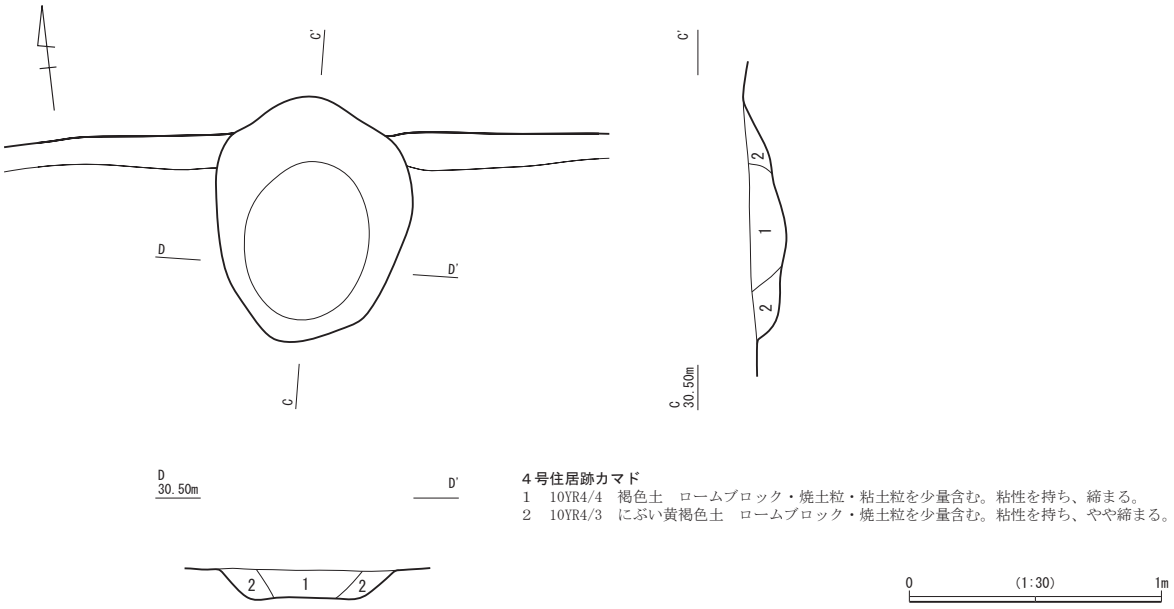


第19図　4号住居跡（1：60）

第8表　4号住居跡ピット一覧表

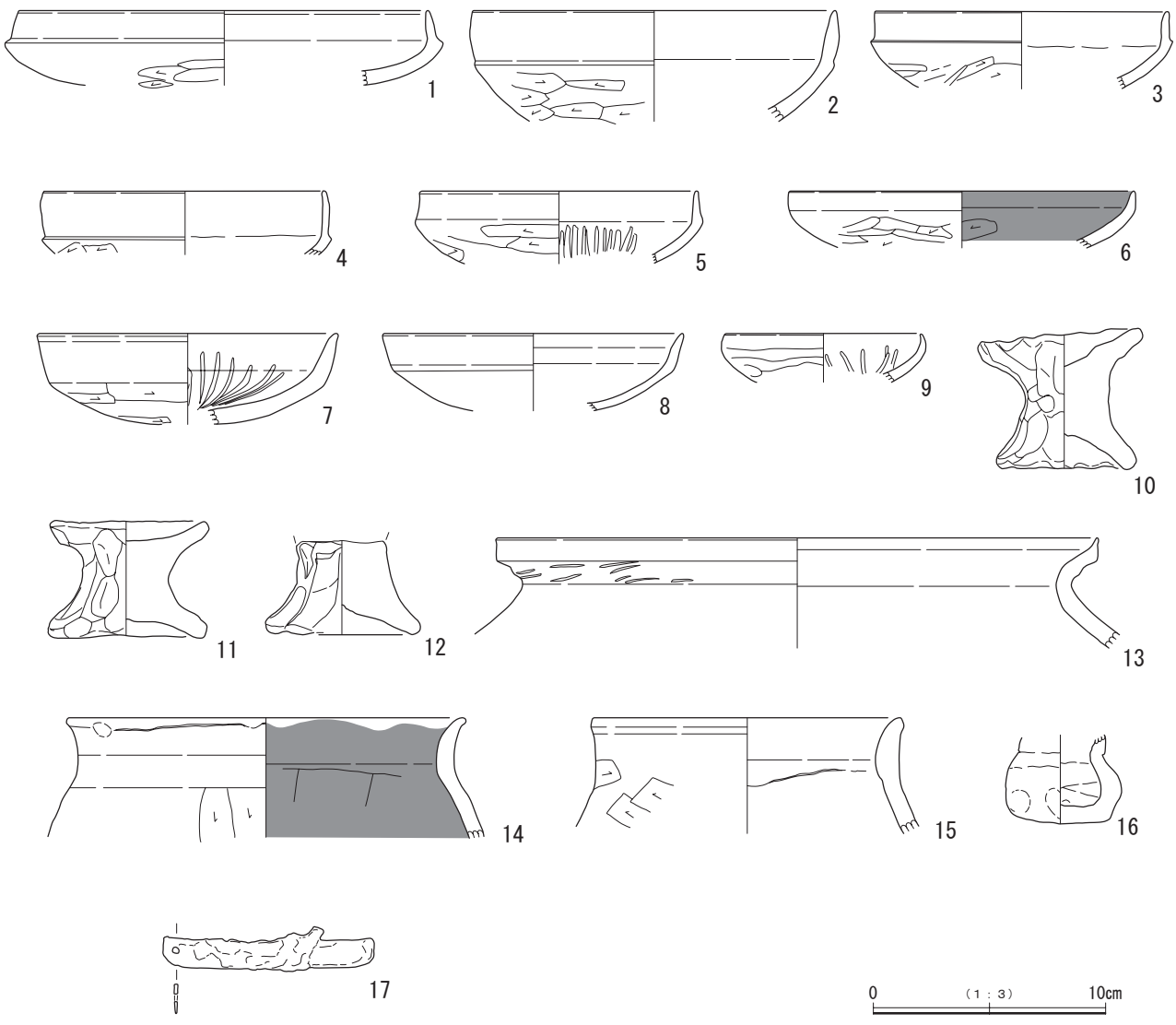
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	不整円形	35	32	32	筒状	急角度	丸味		主柱穴	
P2	北東側	不整円形	49	45	38	逆台形状	急角度	平坦		主柱穴	
P3	南東側	円形	33	－	31	筒状	急角度	平坦		主柱穴	
P4	南西側	不整円形	42	35	20	筒状	緩やか	平坦		主柱穴	
P5	中央部やや南側	隅丸方形	40	35	15	箱状	急角度	平坦		出入口ピット	
P6	北東側	円形	25	－	22	筒状	急角度	平坦			

このうち縄文土器の浅鉢や弥生土器の壷、須恵器の坏や甕、土師器の坏や甕、壷、器台、鉄製品の刀子などを25点図示することが出来たが、縄文土器の浅鉢や弥生土器、須恵器の坏などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第9節に図示することとする。1～9は土師器の坏である。1～5は口縁部が直立して、体部との境に稜を持つ。6～9は口縁部が短く直立して、体部との境に稜を持たない。10～12は土師器の器台である。すべて手づくねで成形されている。13～15は土師器の甕である。13は常総型である。16は土師器のミニチュア土器である。手づくねで成形する。17は刀子である。刃部の基部近くに円孔が穿たれている。



４号住居跡カマド
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・焼土粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・焼土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

第 20 図　４号住居跡カマド（１：30）



第 21 図　４号住居跡出土遺物

第９表　４号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	10	(17.6)	－	<3.2>	須恵器模倣坏。口縁部短く、体部との境に明瞭な稜。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい橙色	口縁部内外面に黒色付着物少量 ６世紀後葉
2	土師器	坏	口縁部～体部	20	(15.6)	－	<4.8>	口縁部長く直立する。体部との境に不明瞭な稜、内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	にぶい橙色	体部外面に火襷痕 ７世紀前葉
3	土師器	坏	口縁部～体部	10	(12.6)	－	<3.3>	口縁部直立する。体部との境に明瞭な稜、内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白・赤色粒子・石英粒	良好	橙色	６世紀後葉
4	土師器	坏	口縁部～体部	10	(12.2)	－	<2.7>	口縁部長く直立する。体部との境に明瞭な稜、内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白･黒･赤色粒子･チャート粒	良好	灰褐色	６世紀後葉
5	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(11.8)	－	<3.1>	口縁部直立し、体部との境に明瞭な稜。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ、放射状暗文。	白･黒･赤色粒子･石英粒	良好	灰褐色	６世紀後葉
6	土師器	坏	口縁部～体部	10	(14.8)	－	<2.4>	口縁部短く直立する。体部との境に稜を持たない。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	内面黒色処理 ６世紀後葉
7	土師器	坏	口縁部～体部	20	(12.8)	－	<3.9>	口縁部直立して、体部との境に稜を持たない。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ、放射状暗文。	白・黒色粒子・石英粒	良好	明赤褐色	６世紀後葉
8	土師器	坏	口縁部～体部	10	(12.8)	－	<3.3>	口縁部直立して、体部との境に稜を持たない。内外面ヨコナデ。体部内外面丁寧なナデ。	白･黒･赤色粒子･石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	６世紀後葉
9	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(8.3)	－	<2.1>	口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ、放射状暗文。	白色粒子	良好	灰色	６世紀後葉
10	土師器	器台	受部～裾部	80	6.8	5.7	6.0	手づくね。全面ナデ、指頭痕。	白・赤色粒子・石英粒	良好	黒褐色	
11	土師器	器台	受部～裾部	60	6.6	－	4.8	手づくね。全面ナデ、指頭痕。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
12	土師器	器台	脚部	20	－	(6.6)	<4.1>	手づくね。全面ナデ、指頭痕。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
13	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(25.8)	－	<4.7>	常総型甕。口縁部大きく外反し、口唇部を斜上方に摘み出す。内外面ヨコナデ。胴部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	明黄褐色	
14	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(17.0)	－	<5.1>	口縁部長く上端が外側に折れる。内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい橙色	内面黒色処理
15	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	(13.2)	－	<4.7>	口縁部上端が外傾。内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄橙色	
16	土師器	壷	口縁部～底部	60	(4.3)	4.2	<3.8>	ミニチュア土器。平底。手づくね。全面ナデ。	白・赤色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
17	鉄製品	刀子	刃部	40	長さ 0.7	幅 9.1	厚さ 0.1	先端部及び基部欠損。刃部の基部近くに円孔。	－	－	－	重量 8.10 g

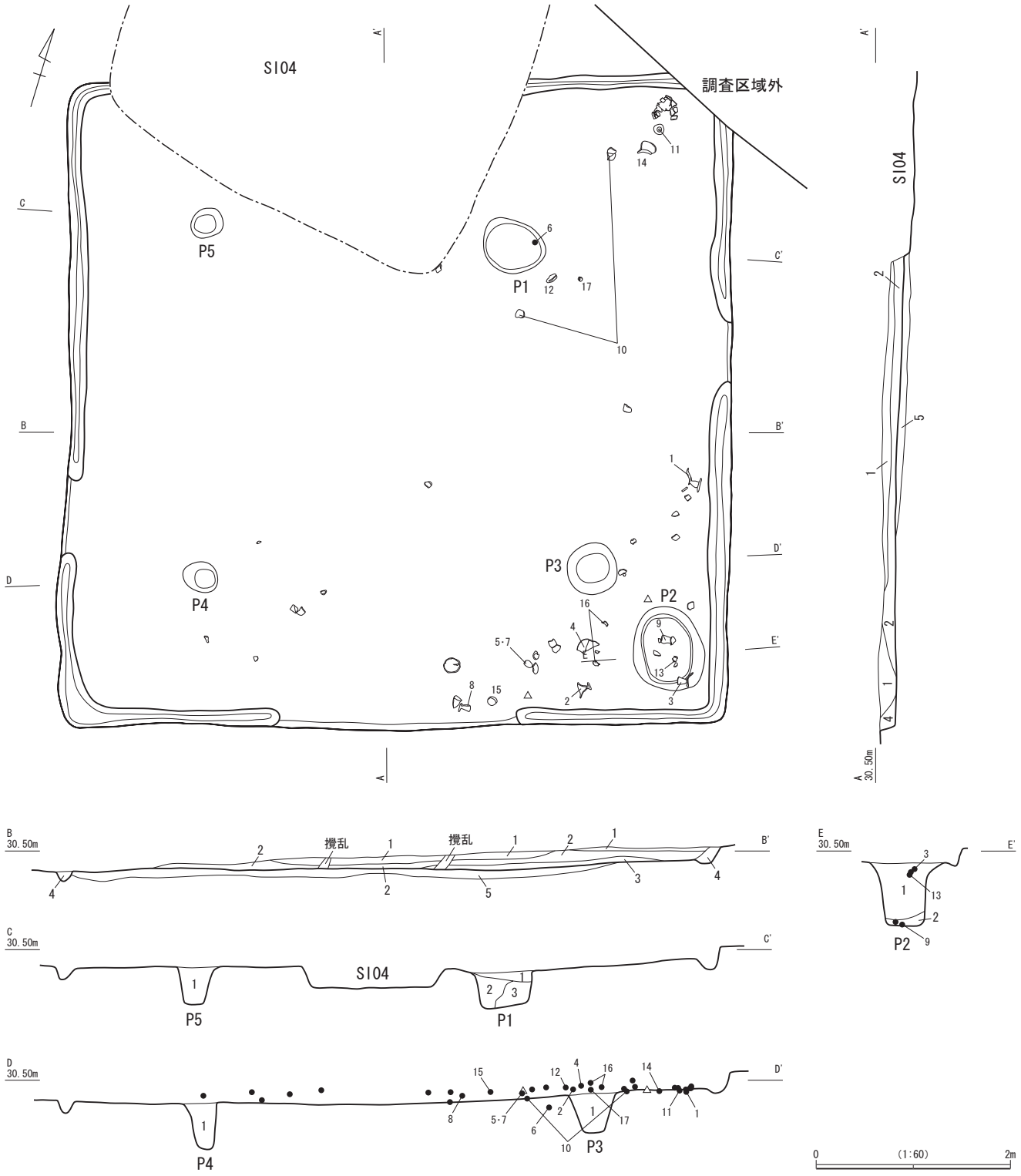
切り合い関係は５号住居跡に後続する。出土した土師器坏の器形や覆土の状況、切り合い関係などから判断して６世紀後葉から７世紀前葉の所産であろう。

５号住居跡（第 22 ～ 24 図、第 10・11 表、図版 3・21・22）

Ｂ－３・Ｂ－４・Ｃ－３・Ｃ－４グリッドに位置する。本住居跡北東隅が調査区外である。東側 0.5 ｍに３号溝、西側５ｍに１・２号住居跡、南側 1.5 ｍで６号住居跡がそれぞれ分布する。北側で４号住居跡に重複する。耕作による攪乱で西側約半分が削平されている。平面形は長軸 676 ㎝、短軸 664 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－ 16°－Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 13 ㎝ほどを測る。床面は全面に

第 10 表　５号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北東側	不整円形	66	53	38	箱状	垂直	平坦		主柱穴	
P2	南東側	楕円形	88	74	67	箱状	垂直	平坦		貯蔵穴ヵ	
P3	南東側	円形	51	－	40	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P4	南西側	楕円形	35	32	46	逆台形状	急角度	平坦		主柱穴	
P5	北西側	円形	32	－	37	逆台形状	急角度	平坦		主柱穴	



５号住居跡
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　鹿沼土ブロック・鹿沼土粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
5　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

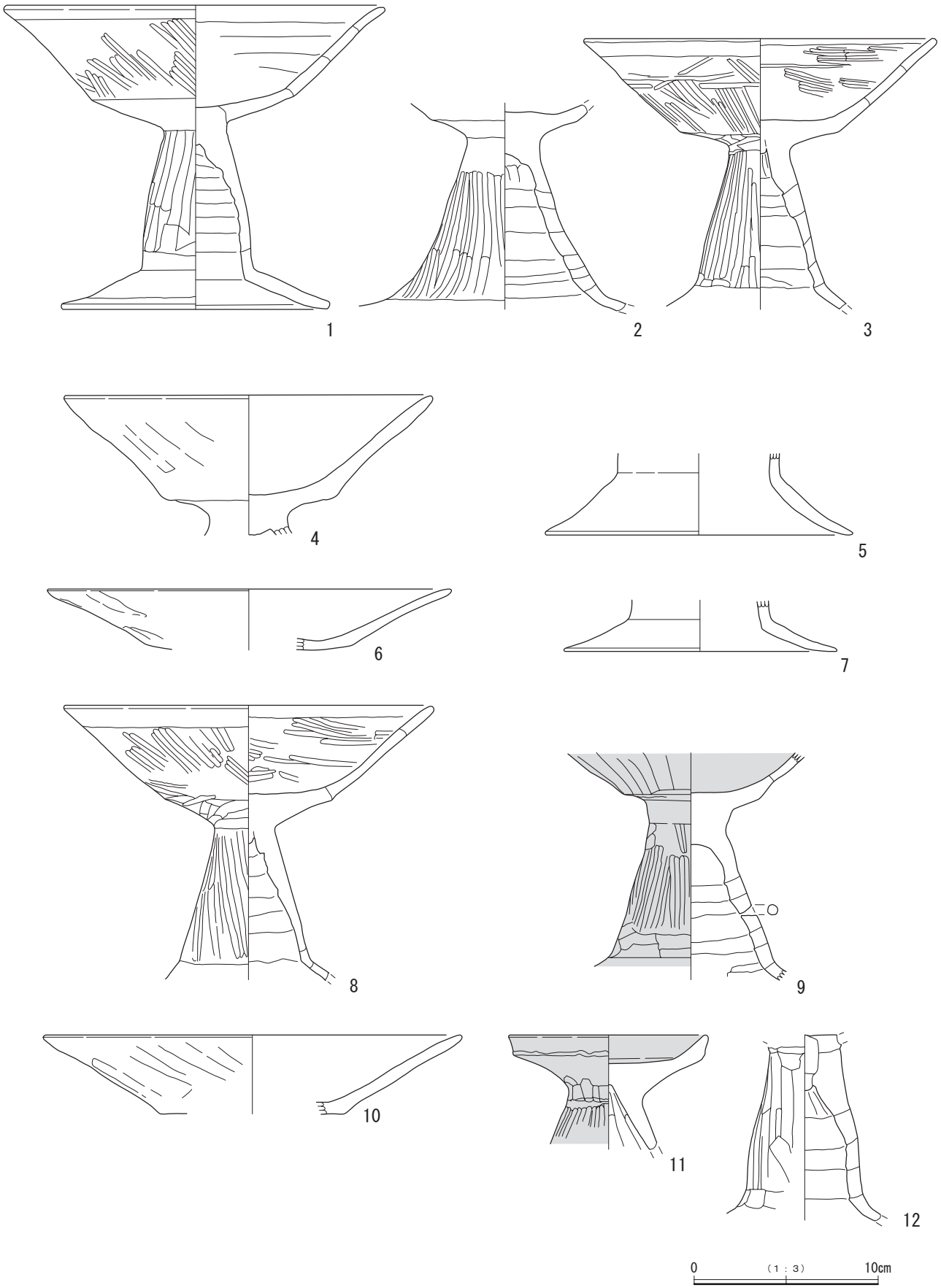
Ｐ１
1　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　　鹿沼土ブロック・鹿沼土粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ２
1　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロック・黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

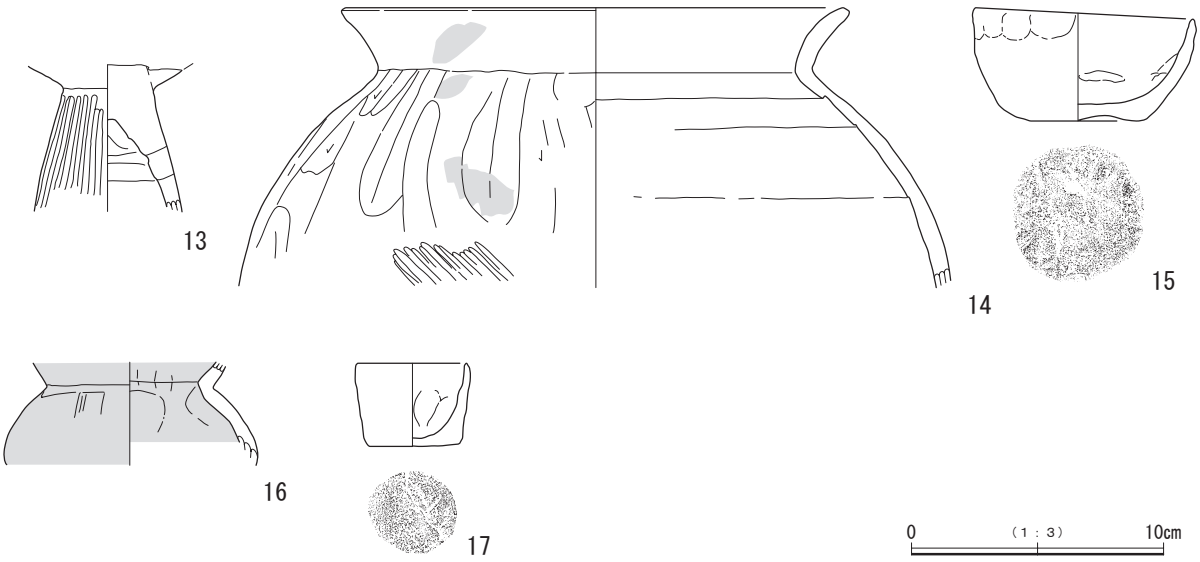
Ｐ３・４
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ５
1　10YR4/4　褐色土　鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

第 22 図　５号住居跡（１：60）



第 23 図　５号住居跡出土遺物（１）



第 24 図　５号住居跡出土遺物（２）

第 11 表　５号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	高坏	坏部～裾部	80	19.5	16.5	16.5	坏部口縁部外反、体部直線的だが中位で僅かに角度を変える。口縁部外面ヨコナデ、下位ナデ。内面横方向ヘラナデ後ナデ。見込み部ナデ。脚部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ヘラケズリ。裾部内外面丁寧なナデ、端部内外面ヨコナデ。坏部からの嵌め込み接合。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄褐色	５世紀前葉～中葉
2	土師器	高坏	坏部～裾部	60	－	－	<11.7>	坏部見込み部ナデ、体部外面横方向ヘラナデ後ナデ。接合部縦方向ヘラケズリ。脚部外面縦方向ミガキ、内面輪積み痕。裾部内外面ナデ、端部ヨコナデ。	白色粒子･チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	５世紀前葉～中葉
3	土師器	高坏	坏部～裾部	70	19.0	－	<14.7>	坏部外面斜方向ミガキ、下端横方向ヘラケズリ後ナデ。見込み部ナデ、脚部外面縦方向ミガキ、下端横方向ヘラナデ、内面輪積み痕、絞り痕。裾部内外面ナデ、ヨコナデ。坏部からの嵌め込み接合。	白･黒･赤色粒子･白雲母片・黒雲母片	良好	橙色	５世紀前葉～中葉 P1 から出土
4	土師器	高坏	坏部～脚部	50	(19.8)	－	<7.6>	体部僅かに外反する。体部内外面斜方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、内面丁寧なナデ。脚部貼り付け後ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	黄橙色	５世紀前葉～中葉 ５と同一個体
5	土師器	高坏	裾部	10	(16.5)	－	<4.5>	全面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明黄褐色	５世紀前葉～中葉 ４と同一個体
6	土師器	高坏	坏部体部～接合部	20	(21.2)	－	<3.3>	体部下位で僅かに角度を変え、直線的に立ち上がる。体部外面一部縦方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	５世紀前葉～中葉 ７と同一個体 P1 から出土
7	土師器	高坏	裾部	10	(14.8)	－	<2.9>	裾部外面ミガキ、丁寧なナデ。内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	５世紀前葉～中葉 ６と同一個体
8	土師器	高坏	坏部～脚部	70	19.8	－	<15.0>	坏部口縁部内外面ヨコナデ。体部外面斜方向ミガキ、下端斜方向ヘラケズリ、内面横方向ミガキ。見込み部ナデ。脚部外面縦方向ミガキ、内面横方向ヘラケズリ。坏部からの嵌め込み接合。	白・赤色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	橙色	５世紀前葉～中葉
9	土師器	高坏	坏部～脚部	60	－	－	<12.3>	体部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ、器面の剥離多い。脚部縦方向ミガキ、下端横方向ヘラケズリ、中央部に単孔の焼成後穿孔。内面輪積み痕、ナデ。	白・黒色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明赤褐色	外面脚部赤彩。坏部は不明瞭 ４世紀後葉～５世紀前葉 P1 から出土
10	土師器	高坏	坏部口縁部～接合部	20	(25.0)	－	<4.3>	体部直線的に立ち上がる。体部外面斜方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、内面丁寧なナデ。	白･黒･赤色粒子･石英粒・白雲母片	良好	橙色	
11	土師器	器台	受け部体部～脚部	20	－	－	<6.1>	受け部体部輪積み部分で欠損。内外面ナデ。脚部外面縦方向ミガキ、内面絞り痕。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	橙色	内外面赤彩
12	土師器	高坏	脚部	20	－	－	<10.2>	脚部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ。内面輪積み痕。坏部からの嵌め込み接合。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
13	土師器	高坏	脚部	10	－	－	<5.8>	脚部外面縦方向ミガキ、内面絞り痕、ナデ。	白・赤色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	橙色	P1 から出土
14	土師器	壷	口縁部～胴部	10	(19.8)	－	<10.8>	口縁部大きく外傾、胴部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面上位斜方向ヘラケズリ後ナデ、中位斜方向ミガキ、内面丁寧なナデ、輪積み痕顕著。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	明黄褐色	口縁部外面僅かな赤彩
15	土師器	埦	胴部～底部	30	8.8	4.8	4.5	手づくね。全面ナデ。胴部外面一部に指頭痕。	白・黒色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
16	土師器	小型壷	口縁部～胴部	20	－	－	<4.0>	口縁部大きく外傾。胴部縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面縦方向ヘラナデ。	白・黒色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	全面赤彩
17	土師器	ミニチュア	胴部～底部	10	(4.4)	(3.7)	3.3	手づくね。全面ナデ。胴部外面一部に指頭痕。	白・赤色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	

やや軟弱な貼り床が検出されている。覆土は４層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 12 ～ 23 ㎝、深さ３～ 12 ㎝を測り、東側や西側、南側の一部で途切れるが概ね全周する。ピットは５基検出された。本住居跡四隅に位置する P1・3 ～ 5 の４基が主柱穴と考えられる。また、P2 はその位置や出土した遺物から貯蔵穴の可能性が高いが、形状から今回はピットとして報告する。カマドや炉は検出されていない。掘り方は全面に及び、深さ２㎝～８㎝を測り、やや起伏に富む。

遺物は覆土中などから、249 点で 6250.4 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が１点、弥生土器は壷が４点、須恵器は坏が１点、甕が１点、蓋が１点、土師器は坏が 32 点、甕･壷が 157 点、高坏が 47 点、ミニチュア土器は壷が３点、石英塊は２点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の甕や蓋、土師器の高坏や壷などを 21 点図示することが出来たが、弥生土器の壷、須恵器の甕や蓋などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１～ 10・12・13 は坏部の体部が概ね直線的に立ち上がる土師器の高坏である。11 は器台である。14・15 は土師器の壷である、15 が手づくねで成形されている。16 は土師器の小型壷、17 は土師器のミニチュア土器である。切り合い関係は４号住居跡に先行する。

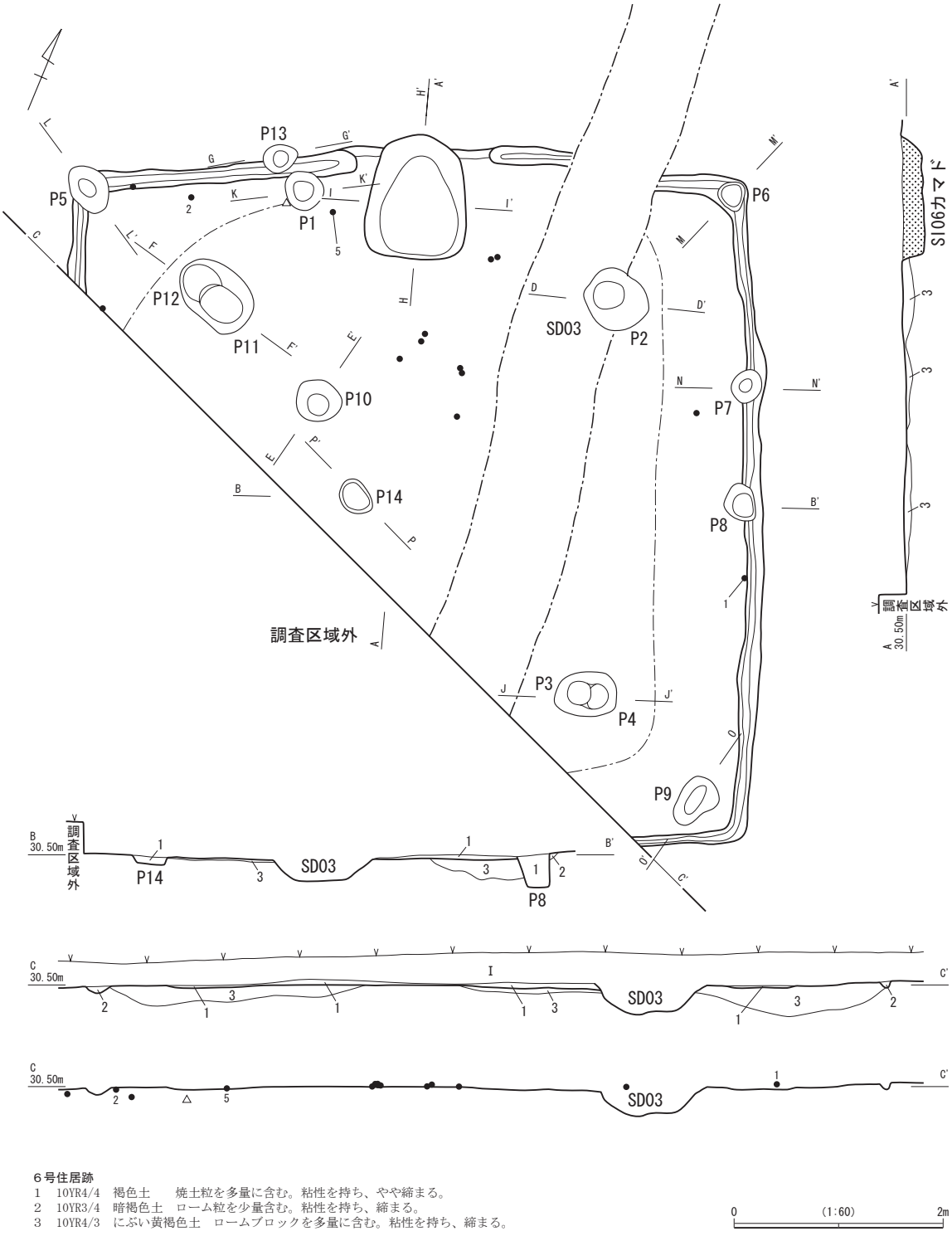
出土した高坏体部や脚部の特徴、覆土の状況、切り合い関係などから判断して５世紀前葉から中葉の所産であろう。

６号住居跡（第 25 ～ 28 図、第 12・13 表、図版 4・22）

Ｃ－３・Ｃ－４グリッドに位置する。本住居跡南側が 1/2 が調査区外である。北側 1.5 ｍに５号住居跡、東側２ｍに４号溝がそれぞれ分布する。中央部で３号溝に重複する。平面形は長軸 656 ㎝、短軸 638 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－ 26° －Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は４㎝ほどを測る。床面は周縁部以外に貼り床が検出されている。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅８～ 22 ㎝、深さ７～ 18 ㎝を測り、北壁カマド部分を除き全周する。ピットは 14 基検出された。本住居跡北東に位置する P2、南東に位置する P3･4、北西に位置するＰ 11･12 が主柱穴と考えられる。また、P4 ～ 9･

第 12 表　６号住居跡ピット一覧表

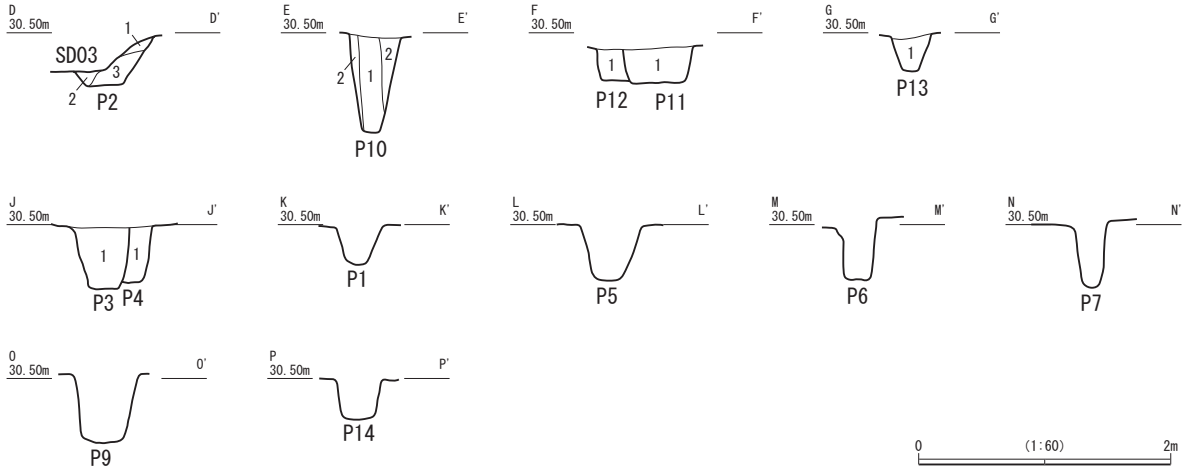
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	円形	36	－	31	筒状	緩やか	丸味			
P2	北東側	不整円形	64	58	47	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P3	南東側	円形	41	－	50	筒状	急角度	丸味	SI06P4 に後続	主柱穴	P4 の建て替え
P4	南東側	円形	41	－	43	筒状	急角度	丸味	SI06P3 に先行	主柱穴	
P5	北西隅	楕円形	49	33	44	筒状	急角度	丸味		側柱	
P6	北東隅	不整円形	27	25	45	箱状	垂直	平坦		側柱	
P7	北東側	円形	30	－	49	筒状	急角度	丸味		側柱	
P8	東側中央部	不整円形	36	31	25	筒状	急角度	平坦		側柱	
P9	南東側	不整楕円形	50	28	52	筒状	緩やか	丸味		側柱ヵ	
P10	中央部	不整円形	44	38	76	筒状	急角度	平坦			柱痕あり
P11	北西側	楕円形	54	48	28	箱状	垂直	平坦	SI06P12 に後続	主柱穴	P12 の建て替え
P12	北西側	円形	48	－	31	箱状	垂直	平坦	SI06P11 に先行	主柱穴	
P13	北側	楕円形	31	27	26	筒状	急角度	平坦		側柱	
P14	中央部	不整楕円形	38	26	30	筒状	垂直	平坦			



第25図　6号住居跡（1）（1：60）

13は主柱穴との位置関係などから側柱の可能性が高い。また、P3と4、P11と12から柱の建て替えが行われている。

カマドは住居跡北壁中央部に位置し、壁外に逆U字状に13㎝ほど突出する。袖部は残存していなかった。燃焼部は隅丸方形で長径108㎝、短径96㎝を測る。火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部は起伏に富み、深さ18㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は周縁部を大きく掘



P２
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

P３
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

P４
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P８
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

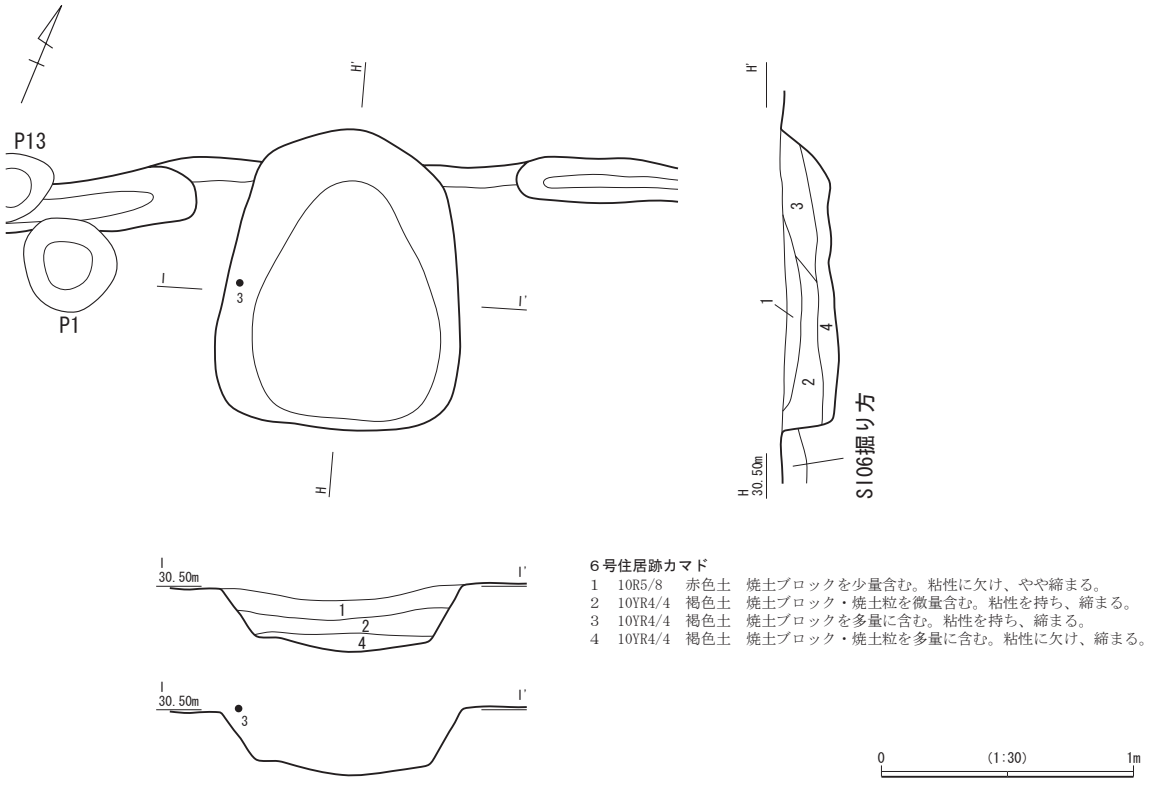
P10
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

P11
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

P12
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

P13
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第26図　６号住居跡（２）（１：60）



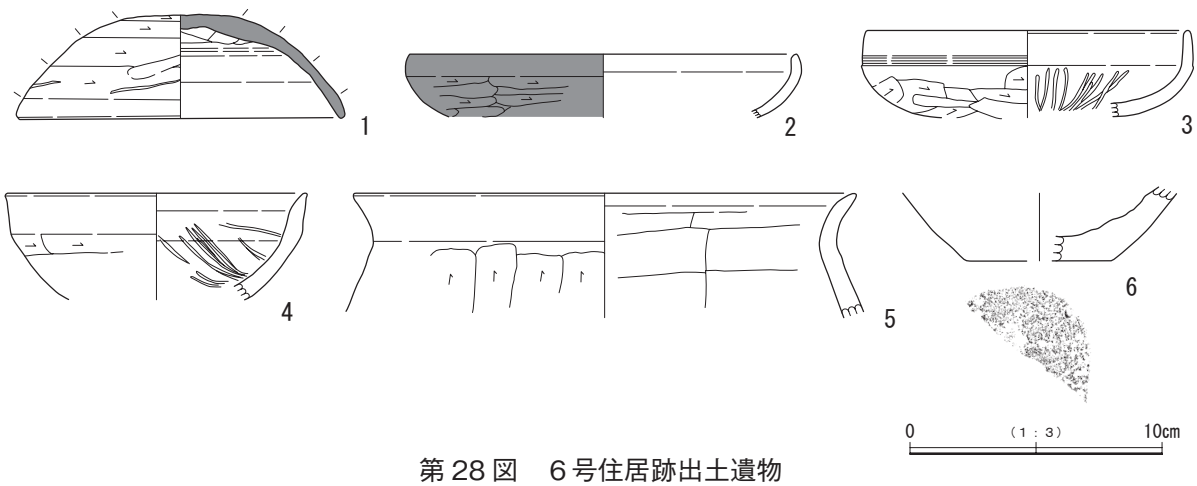
６号住居跡カマド
1　10R5/8　赤色土　焼土ブロックを少量含む。粘性に欠け、やや締まる。
2　10YR4/4　褐色土　焼土ブロック・焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　焼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/4　褐色土　焼土ブロック・焼土粒を多量に含む。粘性に欠け、締まる。

第27図　６号住居跡カマド（１：30）

り込んでいて、深さ２～21㎝を測り、起伏に富む。

遺物は覆土中やカマドなどから、184点で1557.1ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が３点、弥生土器は壷が22点、須恵器は坏が２点、壷が１点、土師器は坏が61点、甕・壷が79点、高坏が３点、陶器は埦が１点、土製品は土偶が１点、石英塊は４点、焼成土塊は７点出土している。このうち弥生土器の壷や須恵器蓋、土師器坏、甕、土偶など12点図示することが出来たが、縄文時代の土偶や弥生土器の壷は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は須恵器の蓋坏である。胎土から東海系、特に駿河東部の産と思われる。１は想定される時期が合うが、流れ込みの可能性も否定できない。２～４は土師器の丸底坏である。口縁部はどれも直立する。５は口縁部が大きく外反する器形、６は底部外面をナデ調整する土師器の甕である。切り合い関係は３号溝に先行する。

出土した土師器坏の器形や覆土の状況、切り合い関係などから判断して６世紀後葉の所産であろう。



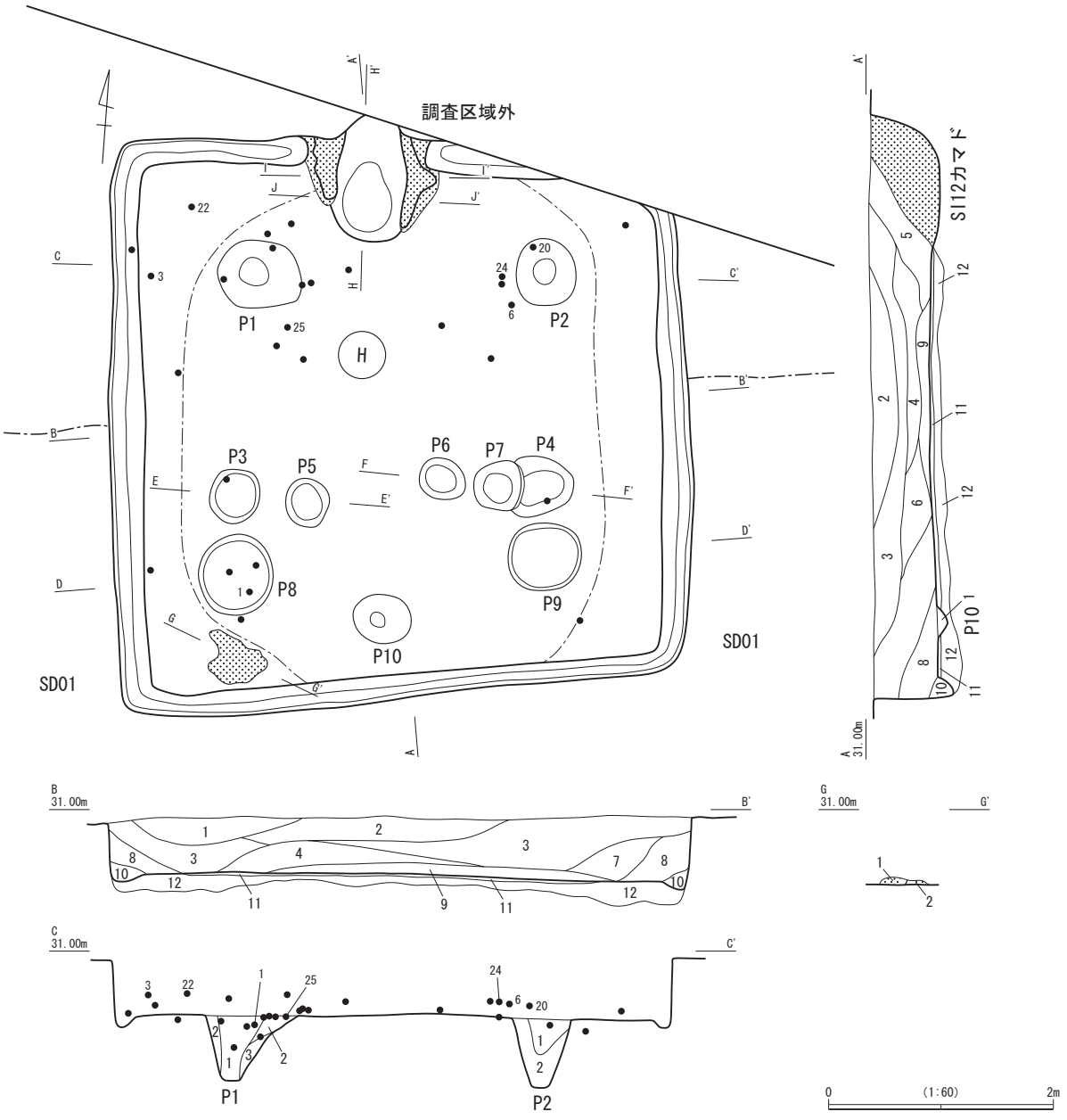
第28図　６号住居跡出土遺物

第13表　６号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	蓋	天井部～口縁端部	40	(12.8)	－	<4.1>	蓋坏。天井部外面回転ヘラケズリ後ナデ、内面回転ナデ、ヘラナデ。口縁端部ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	青灰色	駿河東部産ヵ
2	土師器	坏	口縁部～体部	10	(15.4)	－	<2.5>	口縁部短く直立する。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	黒褐色	外面黒色処理 ６世紀後葉
3	土師器	坏	口縁部～体部	20	(12.8)	－	<3.4>	口縁部直立して、体部との境に稜を持たない。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ、放射状暗文。	白色粒子・白雲母片・黒雲母片	良好	にぶい橙色	６世紀後葉
4	土師器	坏	口縁部～体部	20	(11.8)	－	<4.2>	口縁部直立して、体部との境に稜を持たない。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ後ナデ、内面丁寧なナデ後斜方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片・黒雲母片	良好	にぶい褐色	６世紀後葉 掘り方から出土
5	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(19.8)	－	<4.9>	口縁部大きく外反。内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白・赤色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	明赤褐色	
6	土師器	甕	胴部～底部	細片	－	(5.8)	<2.6>	胴部内外面及び底部外面ナデ。	白・黒色粒子・チャート粒	良好	橙色	掘り方から出土

12 号住居跡（第 29 ～ 33 図、第 14 ～ 15 表、図版 5・24）

Ｃ－６・Ｃ－７・Ｄ－６・Ｄ－７グリッドに位置する。本住居跡北東隅が調査区外である。北西側２ｍに９号住居跡、南側４ｍで 13 号住居跡、南西側２ｍで 38 号住居跡がそれぞれ分布する。南側で１号溝と重複する。平面形は長軸 517 ㎝、短軸 508 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－１° －Ｗを示す。壁は垂直に立ち



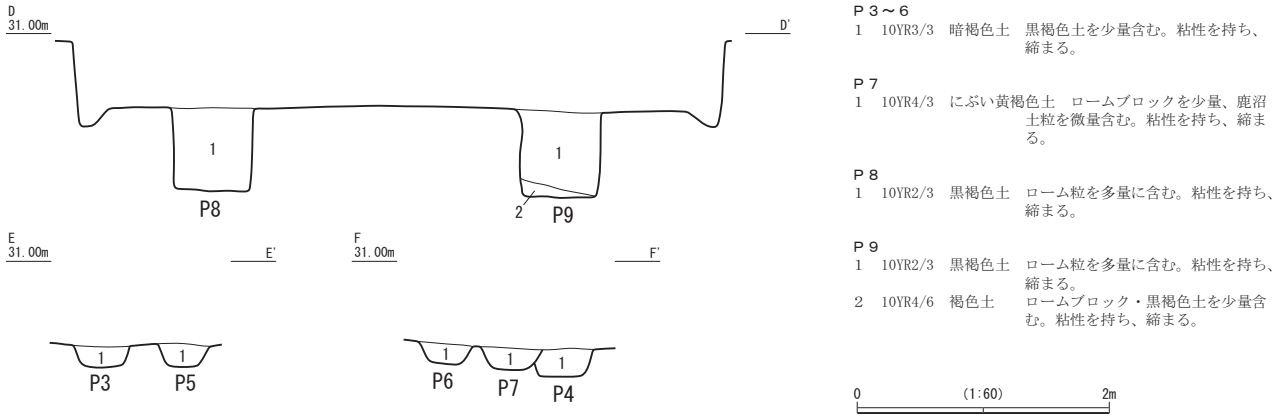
12号住居跡
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量、ロームブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒・焼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR2/3　黒褐色土　焼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/6　褐色土　ローム粒を少量、焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
9　10YR2/3　黒褐色土　焼土粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
10　10YR4/4　褐色土　焼土粒を多量含む。粘性を持ち、締まる。
11　10YR3/3　暗褐色土　暗褐色土ブロック主体。粘性を持ち、強く締まる。
12　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

12号住居跡粘土
1　5Y8/1　灰白色土　粘土主体。粘性・締まりを強く持つ。
2　10YR2/3　黒褐色土　粘土粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ１
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　鹿沼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ２
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

第 29 図　12 号住居跡（１）（１：60）



第 30 図　12 号住居跡（２）（１：60）

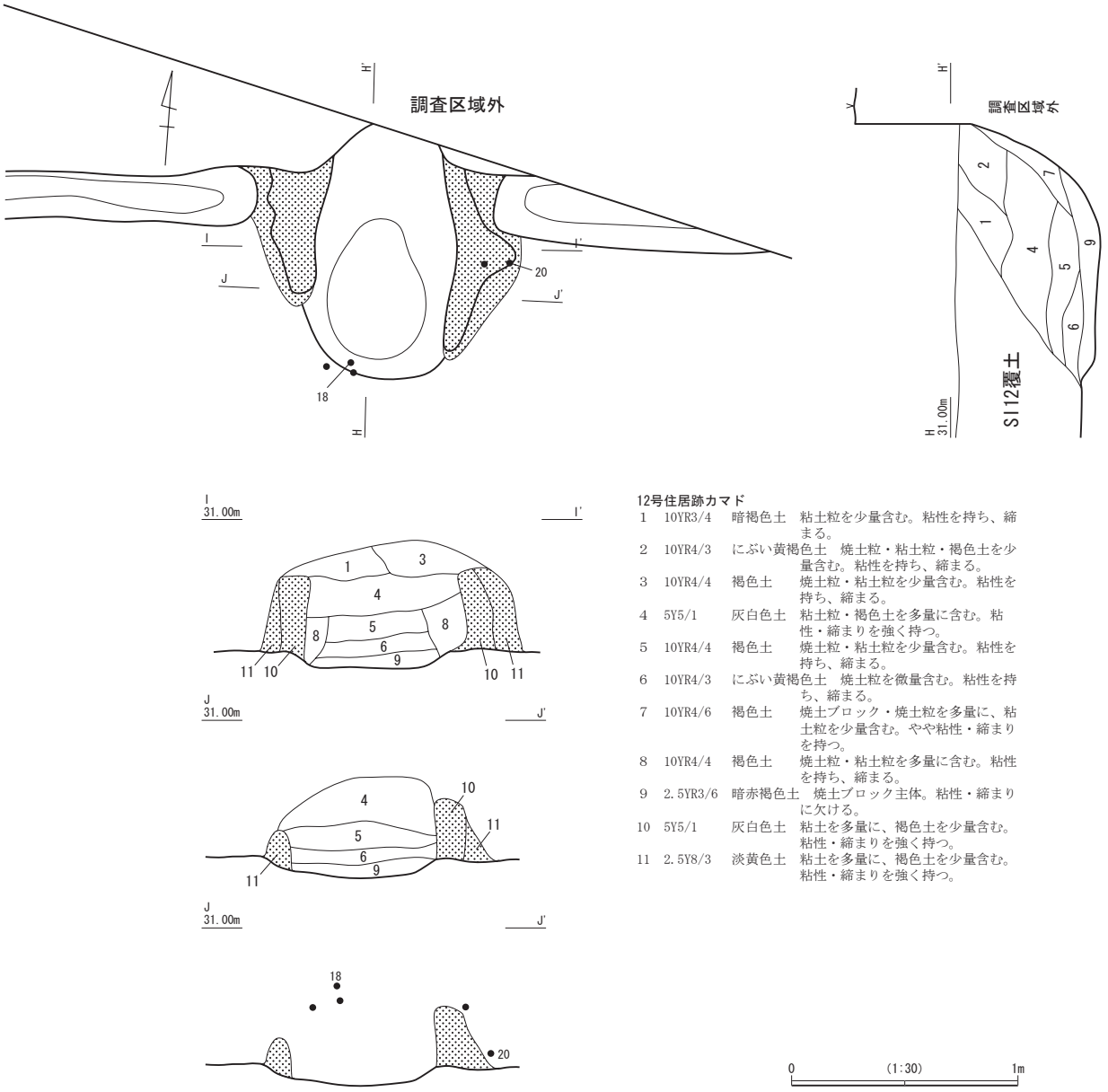
第 14 表　12 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	不整楕円形	74	60	57	逆台形状	西側急角度 東側緩やか	平坦		主柱穴	柱痕あり 抜き取り痕（東側に倒す）
P2	北東側	楕円形	60	54	62	筒状	急角度	丸味		主柱穴	
P3	西側	円形	50	−	15	逆台形状	緩やか	平坦			
P4	東側	不整楕円形	58	52	21	逆台形状	緩やか	平坦	SI12P7 に先行		
P5	西側	円形	41	−	19	逆台形状	緩やか	平坦			
P6	中央部	楕円形	44	38	16	逆台形状	緩やか	平坦			
P7	東側	不整円形	47	44	16	逆台形状	緩やか	平坦	SI12P4 に後続		
P8	南西側	円形	72	−	66	箱状	垂直	平坦		主柱穴	
P9	南東側	円形	67	−	68	箱状	垂直	平坦		主柱穴	
P10	南側	楕円形	52	43	37	逆円錐状	急角度	丸味		出入口ピット	

上がり、最大壁高は 61 cmほどを測る。床面は周縁部を除き貼り床が検出されている。住居跡南東隅付近の床面上で粘土塊が出土した。カマド構築材と同一の色調をしめすことから、カマド補強や補修用のものと思われる。覆土は 11 層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 19 ～ 29 cm、深さ５～ 14 cmを測り、カマド部分を除き全周する。ピットは 10 基検出された。本住居跡四隅に位置する P1・2・8・9 が主柱穴と考えられる。また、P10 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。P1 には東側への柱抜き取痕が確認されている。

カマドは住居跡北壁中央部やや西側に位置するが、煙道部分の 1/2 が調査区外である。壁外に逆Ｕ字状に 18 cmほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 60 cmを測る。燃焼部は楕円形で長径 110 cm以上、短径 80 cmを測る。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 14 cmほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ７～ 22 cmを測り、起伏に富む。

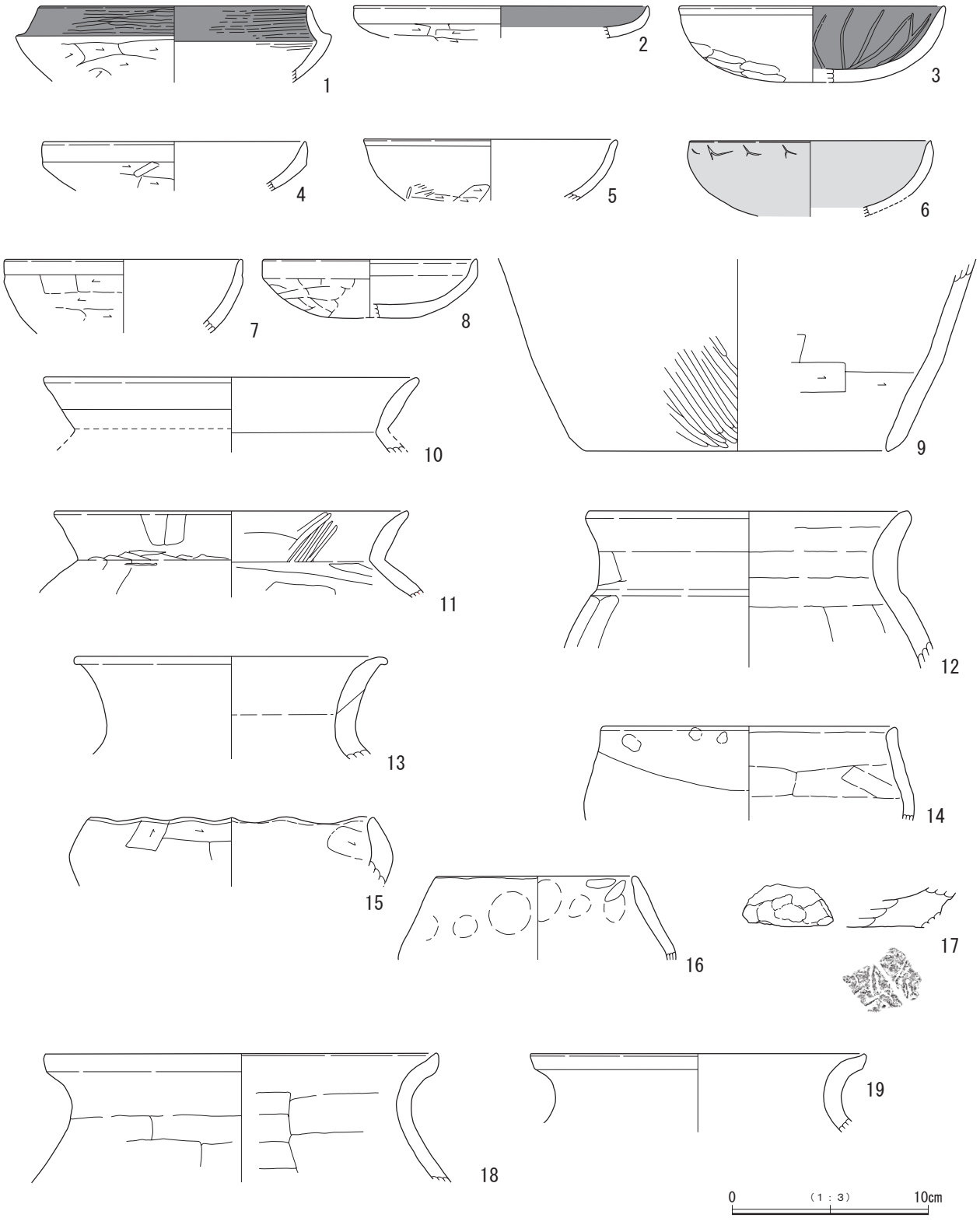
遺物は覆土中やカマドなどから、1152 点で 15880.9 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 16 点、弥生土器は壷が 72 点、紡錘車が１点、須恵器は坏が 10 点、壷が４点、甕が１点、提瓶が１点、蓋が１点、土師器は坏が 154 点、甑が２点、甕・壷が 797 点、高坏が 73 点、器台が２点、灰釉陶器は壷が１点、土製品は紡錘車が１点、鉄製品は釘が２点、焼成土塊が 12 点、石英塊は２点出土している。このうち縄文土器の深鉢や弥生土器の壷、須恵器の坏や壷、提瓶、蓋、土師器の坏や高坏、器台、甑、壷、甕、灰釉陶器の壷、土製紡錘車、釘など 59 点を図示することが出来たが、縄文土器の深鉢や弥生土器の壷、須恵器の坏や壷、蓋、土師器の高坏、器台、壷、灰釉陶器の壷などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図



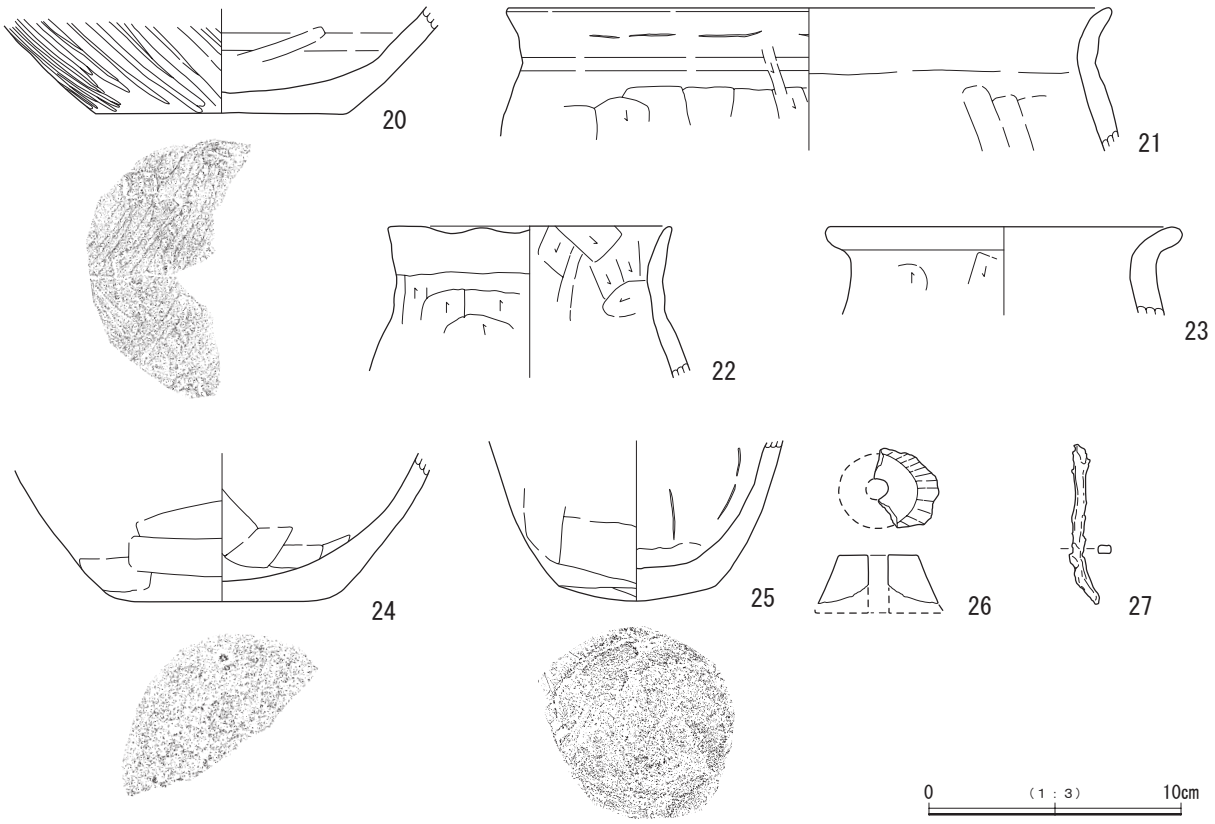
第 31 図　12 号住居跡カマド（ 1 : 30 ）

示することとする。１～８は土師器の坏である。１は口縁部が直立して、体部との境に稜を持つ。２～８は口縁部が短く直立して、体部との境に稜を持たない。３は内面黒色処理を施し、６は器面の全面に赤彩が施されている。９は単孔の常総型甑である。10 ～ 13 は素口縁の土師器壷である。14 ～ 17 は手づくねで成形された土師器の壷である。18 ～ 25 は土師器の甕である。18 ～ 20 は常総型である。26 は全面を丁寧になで整形される土製紡錘車である。27 は断面四角形の釘である。また、本住居跡南西隅に長さ 60 ㎝、幅 39 ㎝、厚さ７㎝ほどの粘土塊が床面直上で検出されているが、性格は不明である。切り合い関係は１号溝に後続する。

出土遺物や覆土の状況、切り合い関係などから判断して６世紀後葉～７世紀前葉の所産であろう。



第 32 図　12 号住居跡出土遺物（1）



第 33 図　12 号住居跡出土遺物（2）

第 15 表　12 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	20	(13.7)	－	<4.0>	須恵器模倣坏。内黒。口縁部直立し、体部との境に明瞭な稜を持つ。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面横方向ミガキ。	白色粒子	良好	黒褐色	6 世紀後葉
2	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(15.0)	－	<1.6>	口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒	良好	褐灰色	7 世紀前葉
3	土師器	坏	口縁部～底部	40	(13.6)	－	<4.0>	丸底内黒坏。口縁部短く直立する。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、内面丁寧なナデ、１条１単位の放射状暗文。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	7 世紀前葉
4	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(13.4)	－	<2.6>	口縁部直立、体部との境に稜を持たない。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子	良好	褐灰色	7 世紀前葉
5	土師器	坏	口縁部～体部	10	(12.8)	－	<3.3>	口縁部内面に１条の沈線。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子	良好	にぶい橙色	7 世紀前葉
6	土師器	坏	口縁部～体部	10	(12.2)	－	<4.9>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面丁寧なナデ。口縁部外面直下に輪積み痕。	白色粒子・黒雲母片	良好	橙色	全面赤彩 7 世紀前葉
7	土師器	坏	口縁部～体部	10	(12.0)	－	<3.8>	口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	7 世紀前葉
8	土師器	坏	口縁部～体部	30	(10.8)	－	<3.0>	丸底。口縁部短く直立。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ後ナデ、内面丁寧なナデ。１条１単位の放射状暗文。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	内面白色付着物少量 6 世紀後葉
9	土師器	甑	胴部～底部	細片	－	(14.8)	<9.5>	常総型甑。胴部外面斜方向ミガキ、内面ナデ。内面下端横方向ヘラケズリで孔を作る。単孔。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
10	土師器	壷	口縁部	細片	(19.0)	－	<3.8>	口縁部外傾、内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
11	土師器	壷	口縁部～胴部	細片	(18.0)	－	<4.4>	口縁部外反。内外面ヨコナデ。口縁部外面下位から胴部外面縦方向ヘラケズリ、胴部内面斜方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
12	土師器	壷	口縁部～胴部	細片	(16.2)	－	<8.0>	口縁部肥厚して外反、上位が直立。内外面ヨコナデ、一部横方向ヘラナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面縦方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
13	土師器	壷	口縁部	細片	(15.2)	－	<5.3>	口縁部長く外反、上端を外側に折る。内外面ヨコナデ。	白・赤色粒子	良好	橙色	

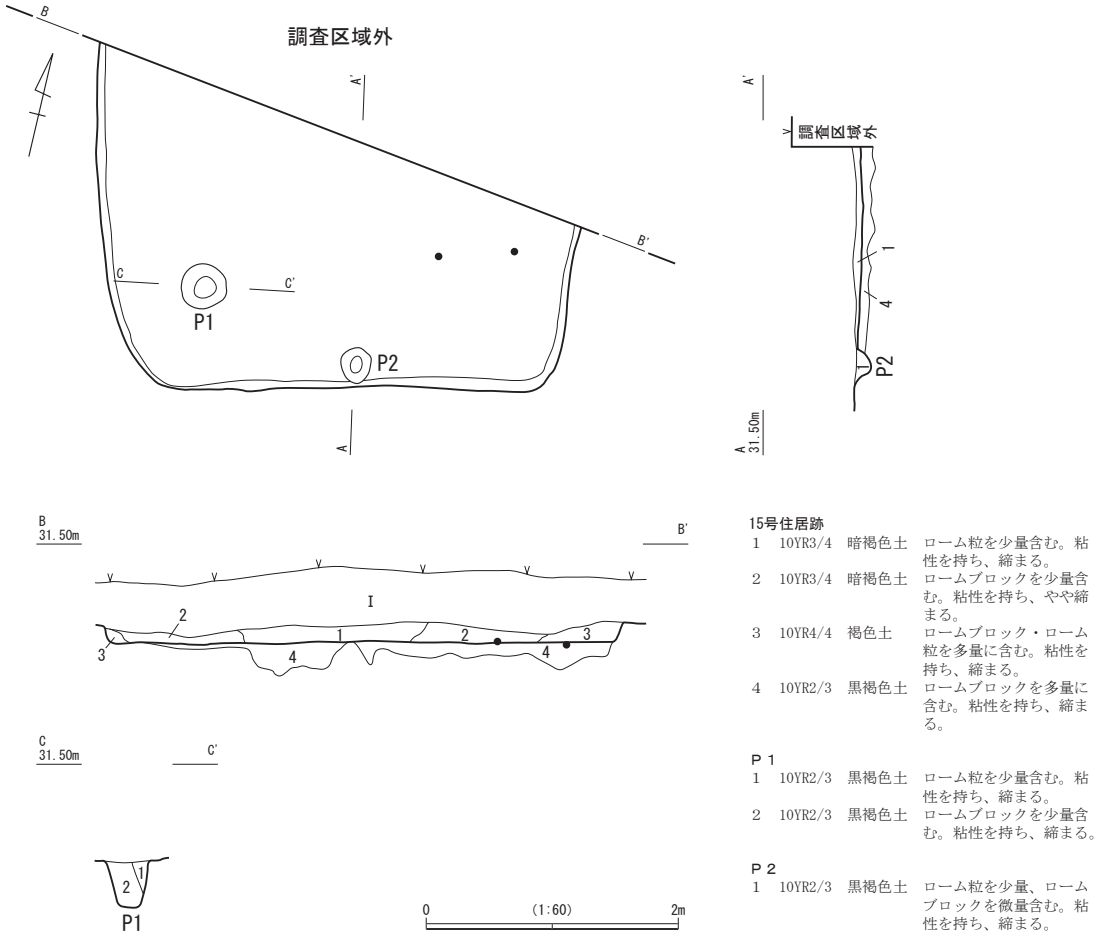
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
14	土師器	壷	口縁部～胴部	20	(14.8)	－	<4.8>	粗雑な器形。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、内面横方向ヘラナデ。胴部外面一部指頭痕。	白色粒子・石英・白雲母片	良好	明黄褐色	
15	土師器	壷	口縁部～胴部	細片	(14.5)	－	<3.5>	粗雑な器形。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、内面横方向ヘラナデ。胴部外面一部指頭痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	不良	橙色	
16	土師器	壷	口縁部～胴部	10	(10.1)	－	<4.3>	手づくね。器形の歪み大きい。口縁部内外面ヨコナデ。胴部内外面ナデ、指頭痕。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい橙色	カマドから出土
17	土師器	壷	底部	細片	－	－	－	手づくね成形。全面ナデ。底部外面木葉痕。	白色粒子・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	
18	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	(20.0)	－	<6.6>	常総型甕。口唇部上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面横方向ヘラナデ、内面縦方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
19	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	(17.0)	－	<4.0>	常総型甕。口唇部上方に摘み出す。内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
20	土師器	甕	胴部～底部	20	－	(10.0)	<4.2>	常総型甕。胴部外面斜方向ミガキ、内面ナデ。底部外面一方向ミガキ、内面ナデ。胴部輪積み部分で欠損。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
21	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(24.0)	－	<5.1>	口縁部上端が外反。内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面縦方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
22	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(11.0)	－	<6.0>	口縁部僅かに外傾、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面多方向ヘラナデ。器形の歪み大きい。	白・赤色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	橙色	
23	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	(14.0)	－	<3.5>	器厚厚い。口縁部短く外反、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
24	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(7.0)	<5.9>	胴部外面横方向ヘラケズリ、内面縦方向ヘラナデ後ナデ。底部外面丸味を帯びる。ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
25	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(6.2)	<6.4>	胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ。内面多方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
26	土製品	紡錘車	－	30	上面 <3.0>	下面 －	高さ <1.8>	全面丁寧なナデ。焼成前穿孔。	白色粒子	良好	にぶい黄橙色	重量 9.85 g
27	鉄製品	釘	頂部～基部	80	長さ <6.4>	幅 0.4	厚さ 0.3	断面方形、上端を折って頂部とする。	－	－	－	重量 3.64 g

15 号住居跡（第 34・35 図、第 16・17 表、図版 6・26）

D－9 グリッドに位置する。本住居跡北側 1/2 が調査区外である。西側 0.4 mに 1 号道路状遺構、東側 3 mに 19 号住居跡、南側 3 mで 16 号住居跡がそれぞれ分布する。東側で 1 号溝と重複する。平面形は長軸 377 ㎝、短軸 275 ㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はN－ 12° －Wを示す。壁は緩やかに立ち上がり、最大壁高は 17 ㎝ほどを測る。床面は全面に貼り床が検出されている。覆土は 3 層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は検出されていない。ピットは 2 基検出され、それぞれ南西側及び南側に位置する。南西側の P1 は主柱穴と考えられる。南側の P2 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。カマドや炉は検出されなかった。掘り方は全面に及び、深さ 1 ㎝～ 23 ㎝を測り、起伏に富む。

遺物は覆土中などから、84 点で 818.2 g の遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 1 点、弥生土器は壷が 2 点、土師器は坏が 13 点、甕・壷が 67 点、礫は 1 点出土している。このうち土師器の坏と甕を 2 点図示することが出来た。1 は口縁部が直立して、体部との境に稜を持つ土師器の丸底坏である。2 は常総型の土師器甕である。切り合い関係は 1 号溝に後続する。

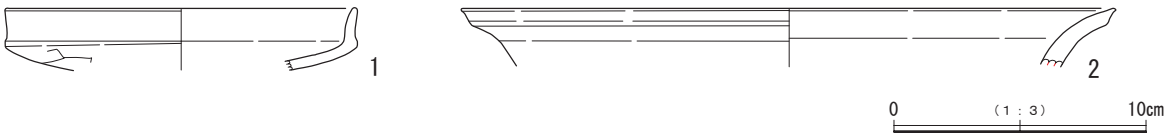
出土した土師器坏の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 6 世紀後葉から 7 世紀前葉の所産であろう。



第 34 図　15 号住居跡（ 1：60 ）

第 16 表　15 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	南西側	円形	36	−	37	筒状	急角度	平坦		主柱穴ヵ	
P2	南側	楕円形	29	24	11	筒状	緩やか	丸味		出入口ピット	



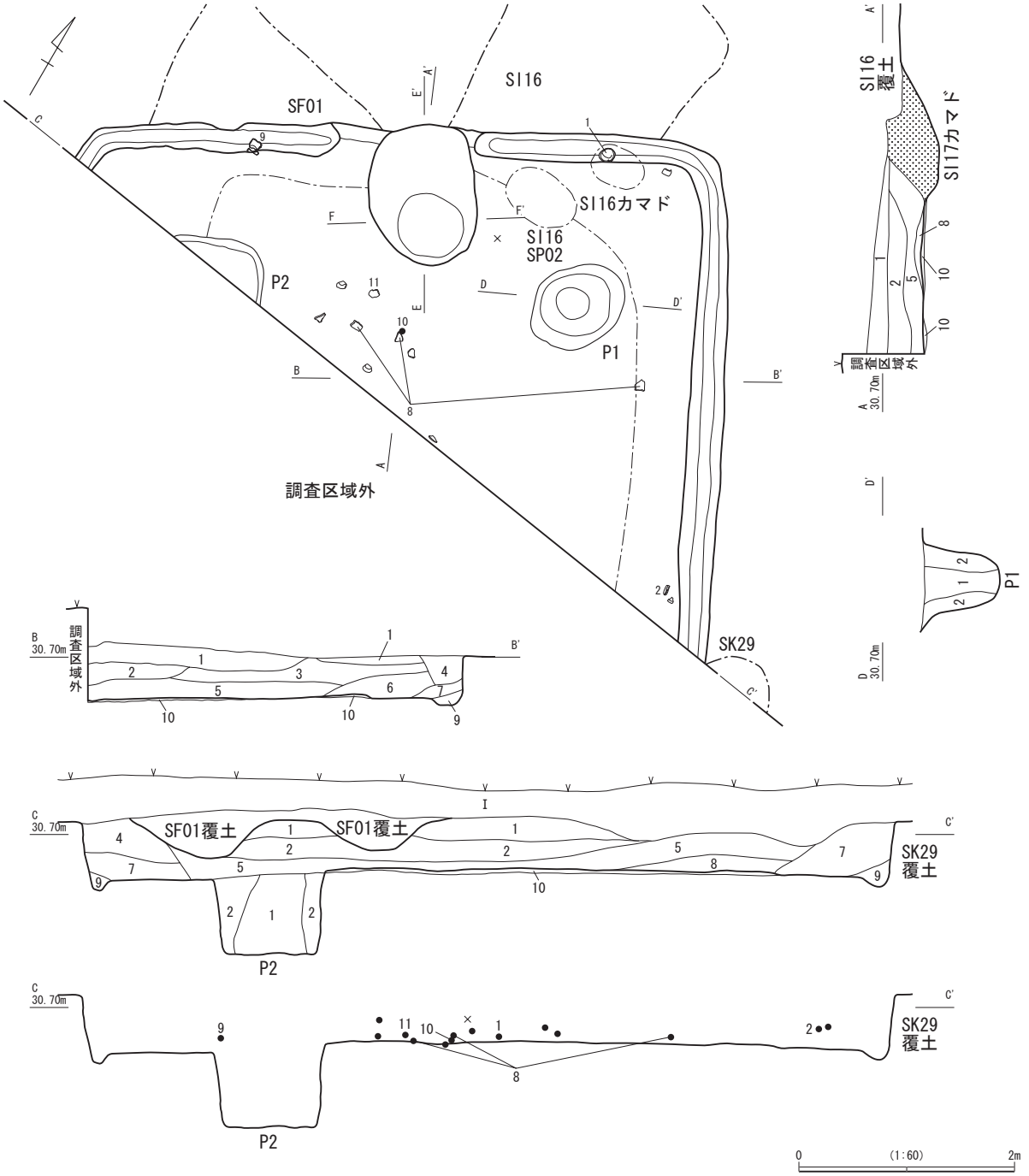
第 35 図　15 号住居跡出土遺物

第 17 表　15 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(13.8)	−	<2.5>	須恵器模倣坏。口縁部直立し、体部との境に明瞭な稜を持つ。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子	良好	褐灰色	6 世紀後葉
2	土師器	甕	口縁部	10	(12.9)	−	<2.3>	常総型甕。口縁部大きく外傾。口唇部斜上方に摘み出す。内外面ヨコナデ。	白色粒子・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	

17 号住居跡（第 36 ～ 38 図、第 18・19 表、図版 6・7・27）

Ｄ－９・Ｅ－８・Ｅ－９グリッドに位置する。本住居跡南側 1/2 が調査区外である。西側２ｍに１号溝が分布する。北側で 16 号住居跡と重複する。平面形は長軸 601 ㎝以上、短軸 461 ㎝以上の方形を呈する。主軸方位はＮ－ 27° －Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 53 ㎝ほどを測る。床面は周縁部を



17号住居跡

1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量、焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR2/2　黒色土　ローム粒を少量、炭化粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。
9　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
10　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ１

1　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを多量含む。粘性を持つが、締まりに欠ける。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

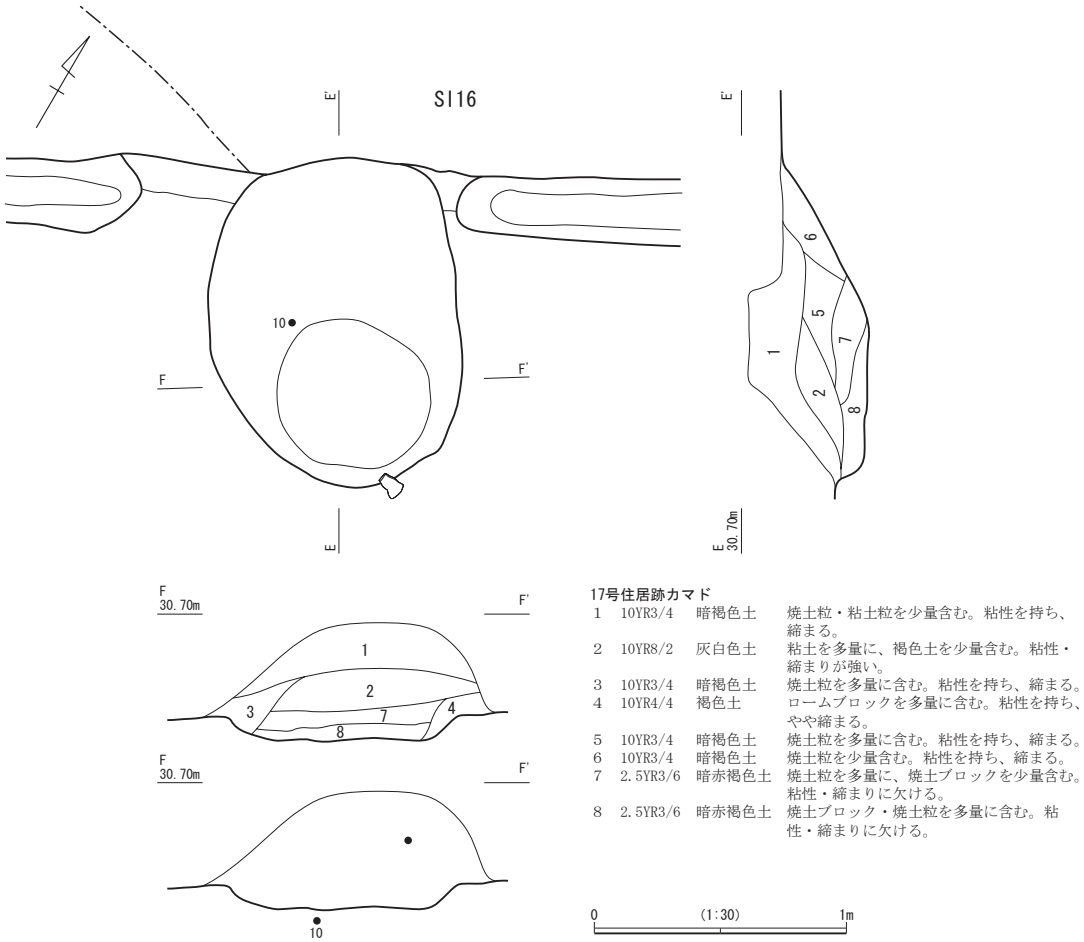
Ｐ２

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

第 36 図　17 号住居跡（１：60）

第 18 表　17 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北東側	楕円形	93	74	69	有段筒状	垂直	丸味		主柱穴	柱痕あり
P2	北西側	隅丸方形	80 以上	54 以上	73	箱状	垂直	平坦		主柱穴	柱痕あり 南側 1/2 が調査区外

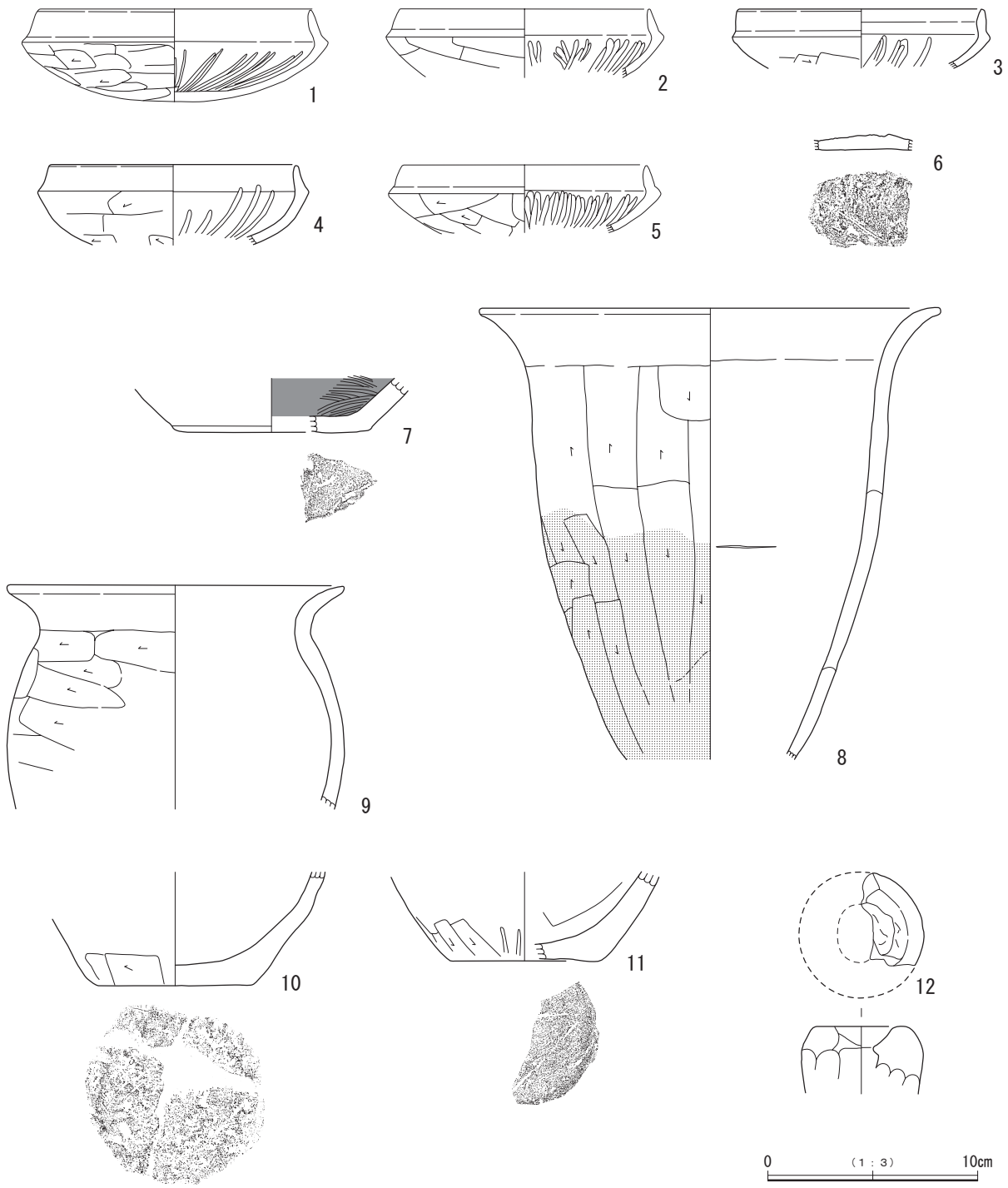


第 37 図　17 号住居跡カマド（1：30）

除き貼り床が検出されている。覆土は８層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 21 ～ 31 ㎝、深さ５～７㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは２基検出された。本住居跡北西側に位置する P1、北東側に位置する P2 が北側の主柱穴と考えられる。

カマドは住居跡北壁中央部で検出され、壁外に逆Ｕ字状に４㎝ほど突出する。袖部は残存していない。燃焼部は楕円形で長径 131 ㎝、短径 97 ㎝を測る。火床面は円形で弱く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ５㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は浅く全面に及び、深さ１～２㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中やカマドなどから、452 点で 5708.4 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が２点、弥生土器は壷が 37 点、須恵器は坏が２点、壷が１点、鉢が１点、蓋が１点、土師器は坏が 35 点、高台付坏が１点、鉢が１点、甕・壷が 340 点、高坏が 25 点、土製品は羽口が１点、鉄滓が１点、石英塊は１点、焼成土塊が３点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の壷、鉢、土師器の坏、鉢、甕・壷、羽口を



第 38 図　17 号住居跡出土遺物

第 19 表　17 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～底部	95	(13.0)	−	<4.4>	須恵器模倣坏。丸底。口縁部僅かに内傾、体部との境に明瞭な稜を持つ。内外面ヨコナデ。体部外面多方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ、２条１単位の放射状暗文。	白色粒子・白雲母片	良好	灰褐色	７世紀前葉
2	土師器	坏	口縁部～体部	20	(11.8)	−	<3.2>	須恵器模倣坏。丸底。口縁部僅かに内傾、体部との境に明瞭な稜を持つ。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ、２条１単位の放射状暗文。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	７世紀前葉
3	土師器	坏	口縁部～体部	10	(11.8)	−	<2.8>	須恵器模倣坏。丸底。口縁部僅かに内傾、体部との境に明瞭な稜を持つ。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ、１条１単位の放射状暗文。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	７世紀前葉 カマドから出土

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
4	土師器	坏	口縁部～体部	10	(11.7)	－	<2.8>	須恵器模倣坏。丸底。口縁部僅かに内傾、体部との境に不明瞭な稜を持つ。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ、１条１単位の放射状暗文。	白・赤色粒子	良好	橙色	７世紀前葉 カマドから出土
5	土師器	坏	口縁部～体部	20	(11.6)	－	<3.3>	須恵器模倣坏。丸底。口縁部僅かに内傾、体部との境に明瞭な稜を持つ。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ、１条１単位の放射状暗文。	白・赤色粒子	良好	にぶい橙色	７世紀前葉
6	土師器	坏	底部	細片	－	－	－	底部外面切り離し技法不明、ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	底部外面文字種不明のヘラ書き。
7	土師器	鉢	胴部～底部	細片	－	(9.0)	<2.6>	内黒鉢。胴部外面ナデ、内面横方向ミガキ。底部内面一方向ミガキ、外面一方向ヘラケズリ。	白色粒子・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	
8	土師器	甕	口縁部～胴部	30	(21.8)	－	<21.5>	口縁部大きく外反、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ後ナデ。最大径は口縁部。	白色粒子･チャート粒・白雲母片・金雲母片	良好	明黄褐色	
9	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(16.0)	－	<10.6>	口縁部外反、内外面ヨコナデ。胴部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子･チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
10	土師器	甕	胴部～底部	20	－	(7.3)	<5.4>	胴部外面ナデ、内面ヘラナデ、ナデ。底部内外面ナデ。	白色粒子･チャート粒・小礫・白雲母片	不良	にぶい褐色	
11	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(7.2)	<4.3>	胴部外面下位ナデ、下端縦方向ヘラケズリ、内面ヘラナデ、ナデ。底部内面ナデ、外面木葉痕、ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・金雲母片	良好	にぶい橙色	
12	土製品	羽口	先端部	細片	直径(5.7)	孔径 2.7 × 2	－	先端部にガラス質の溶解した炉壁が付着。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	灰白色	重量 38.06 g

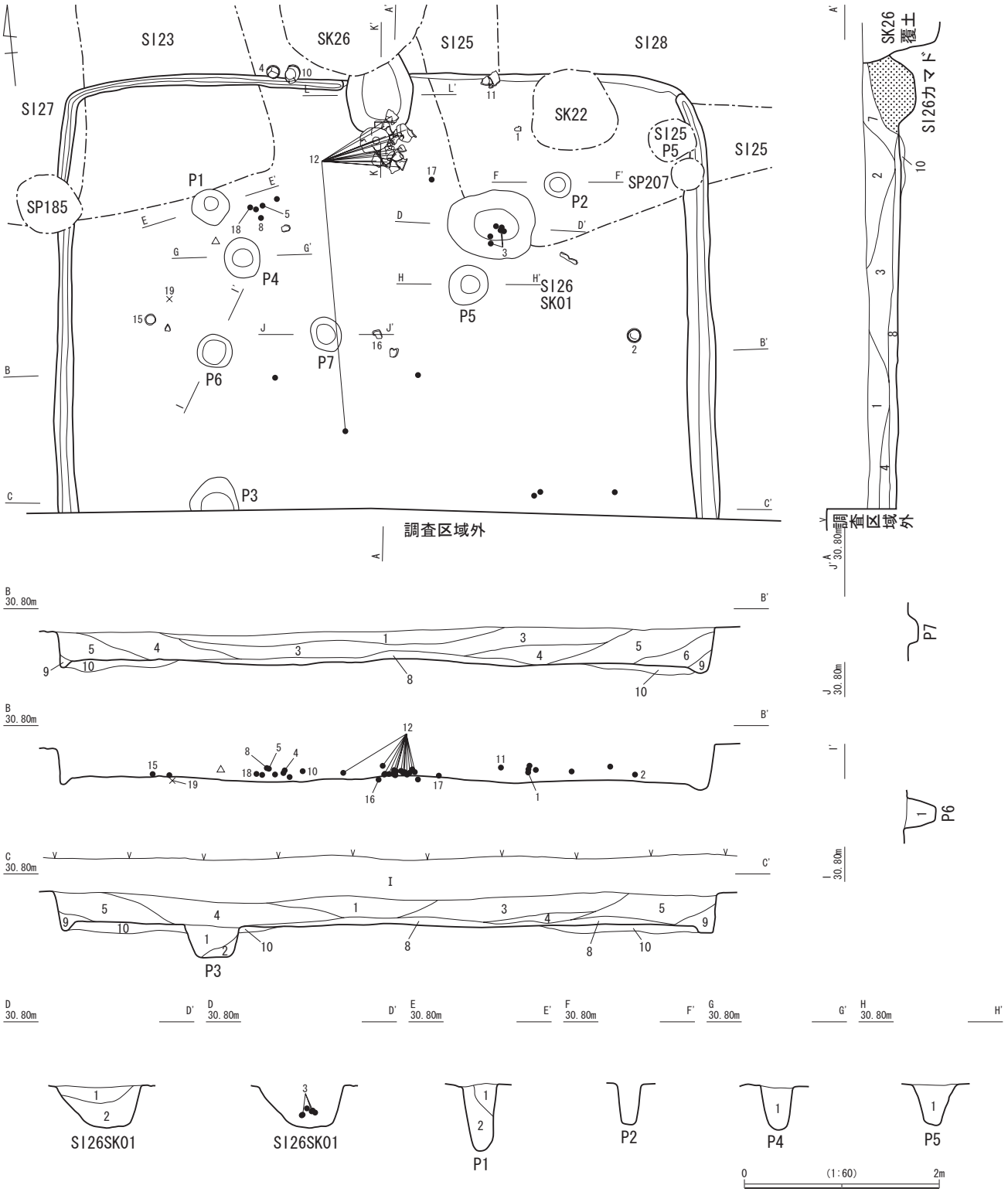
21 点図示することが出来たが、弥生土器の壷、須恵器の壷などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１～６は土師器の坏である。１～５は丸底の須恵器模倣坏で、口縁部と体部の境に稜を持つ。６は底部外面に文字種不明のヘラ書きを確認できる。７は内黒処理された土師器の鉢である。内面にミガキ処理が施される。８～ 11 の土師器の甕である。12 は羽口の先端部であるが、この住居跡を含め、鍛冶炉などの痕跡は確認されていない。切り合い関係は 16 号住居跡、１号道路状遺構に先行する。

出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して６世紀後葉～７世紀前葉の所産であろう。

26 号住居跡（第 39 ～ 41 図、第 20・21 表、図版 9・32・33）

Ｄ－ 11・Ｅ－ 11 グリッドに位置する。本住居跡南側 1/3 が調査区外である。西側１ｍに 28 号住居跡、４ｍに 22 号住居跡、北側１ｍに 28 号住居跡、北東側１ｍに 27 号住居跡がそれぞれ分布する。北側で 25・27・28 号住居跡、22 号土坑、南側で 207 号ピット、西側で 185 号ピットと重複する。平面形は長軸 681 ㎝、短軸 441 ㎝以上の方形を呈する。主軸方位はＮ－６°－Ｅを示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 39 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床だが、全面的に被熱を受けて軟弱になっている。覆土は９層に分けられ、下層が人為的で中層以上は自然な埋没状況を示す。周溝は幅 11 ～ 29 ㎝、深さ５～９㎝を測り、北東部及びカマド部分を除き全周する。ピットは７基検出されている。北西側、北東側、南西側に位置する P1 ～３が主柱穴と考えられる。また、西側に位置する P6 は側柱であろうか。住居跡北東側に土坑が１基検出されている。貯蔵穴の可能性が高い。

カマドは住居跡北壁中央部で検出され、壁外に逆Ｕ字状に 27 ㎝ほど突出する。袖部は検出されていない。燃焼部は楕円形で長径 82 ㎝以上、短径 67 ㎝を測る。火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 18 ㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ 11 ㎝ほどを測り、やや起伏を持つ。



26号住居跡

1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒・炭化粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に、炭化粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR3/4　暗褐色土　炭化粒を少量、ローム粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。
6　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・焼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR4/6　褐色土　ロームブロック・焼土ブロックを多量に、炭化粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
9　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
10　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

26号住居跡１号土坑

1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

Ｐ１

1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

Ｐ３

1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。
2　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

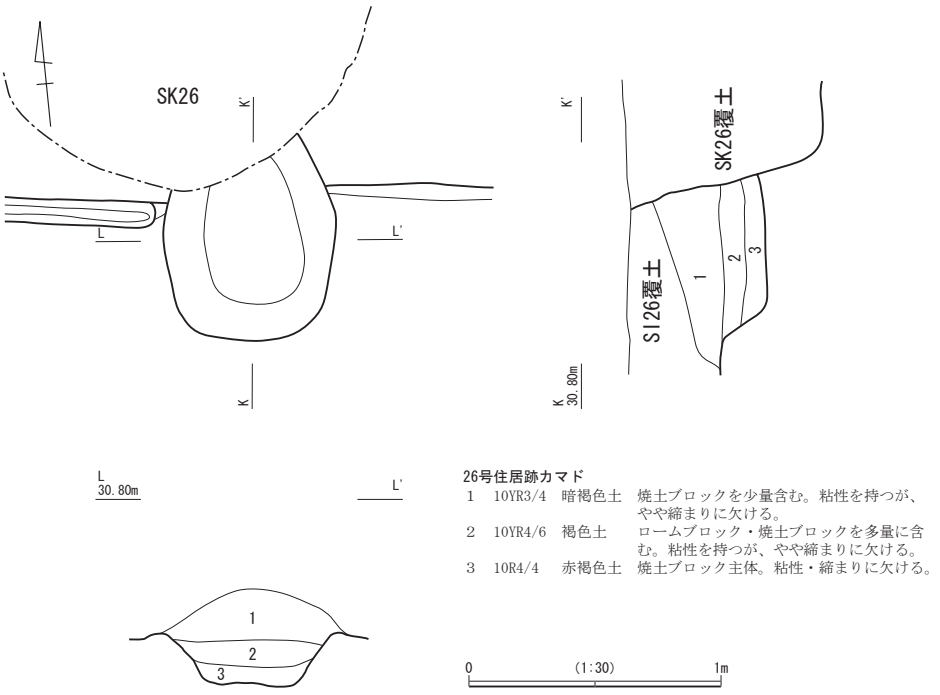
Ｐ４～６

1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

第 39 図　26 号住居跡（ 1 : 60 ）

第 20 表　26 号住居跡土坑・ピット一覧表

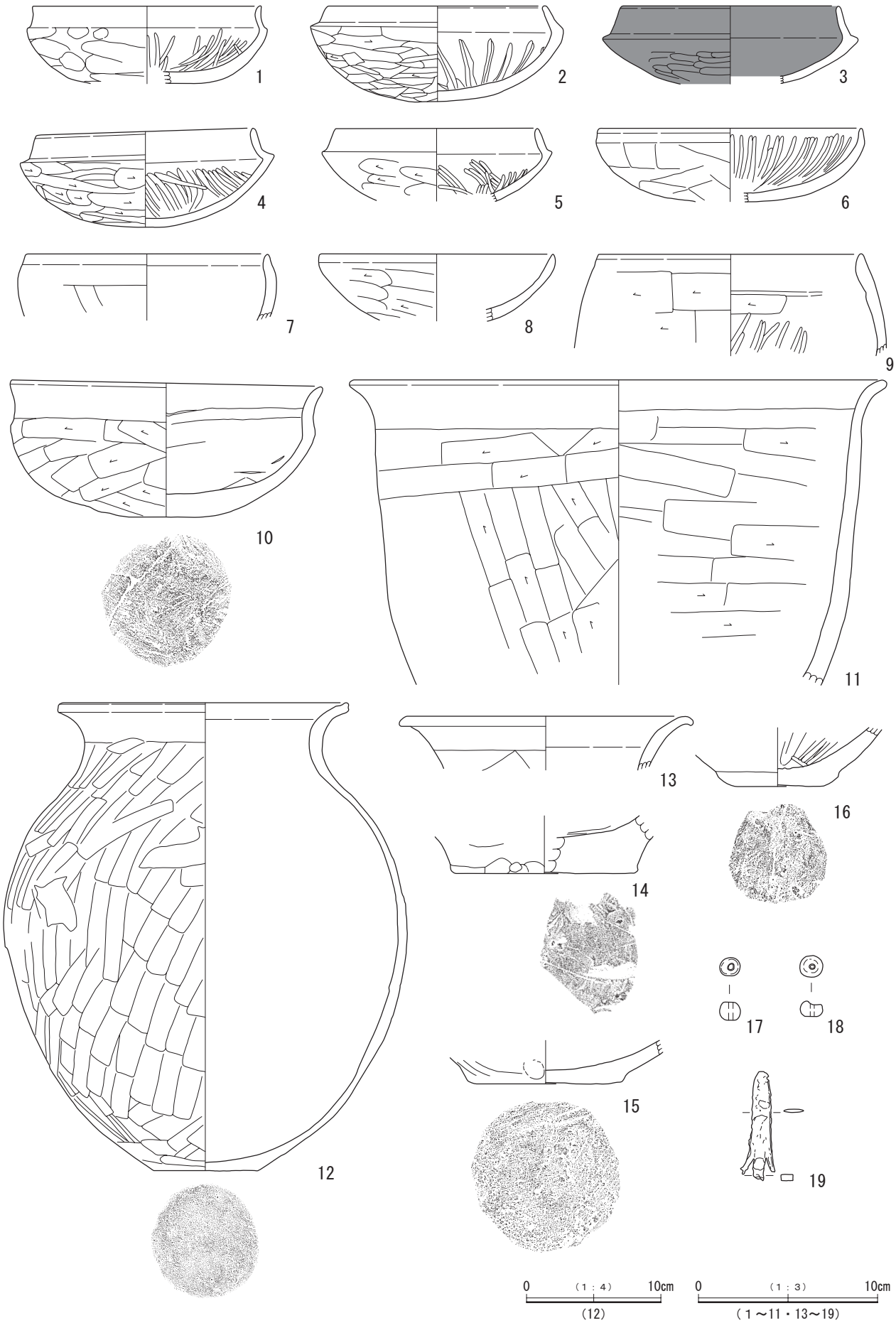
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
SK01	北東側	不整楕円形	86	70	42	逆台形状	緩やか	平坦		貯蔵穴ヵ	N－77°－W
P1	北西側	不整円形	40	36	69	筒状	垂直	丸味		主柱穴	
P2	北東側	円形	28	－	40	筒状	垂直	平坦		主柱穴	
P3	南西側	不整円形	50	34 以上	32	箱状	急角度	平坦		主柱穴	南側 1/2 が調査区外
P4	北西側	楕円形	40	35	42	筒状	急角度	丸味			
P5	中央部	円形	43	－	41	筒状	急角度	丸味			
P6	西側	楕円形	36	32	28	筒状	急角度	平坦		側柱ヵ	
P7	中央部	楕円形	38	30	8	逆台形状	緩やか	平坦			



第 40 図　26 号住居跡カマド（1：30）

遺物は覆土中やカマドなどから、547 点で 7223.3 g の遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 56 点、弥生土器は壷が 33 点、須恵器は坏が 3 点、甕が 2 点、土師器は坏が 190 点、埦が 1 点、鉢が 1 点、高坏が 1 点、甕・壷が 248 点、土製品は土玉が 2 点、石器は石鏃が 1 点、鉄製品は鉄鏃が 1 点、片岩片は 6 点、礫は 2 点出土している。このうち縄文土器の深鉢、弥生土器の壷、土師器の坏、埦、鉢、壷、甕、土玉、石鏃、鉄鏃の 29 点を図示することが出来たが、縄文土器の深鉢、弥生土器の壷、石鏃は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第 9 節に図示することとする。1 ～ 6 は土師器の丸底須恵器模倣坏である。口縁部は内傾して、体部の境に稜を持つ。3 は内外面黒色処理を施す。6 ～ 9 は土師器の丸底坏ではあるが、口縁部は短く、体部の境に稜を持たない。9 は器体の歪みが大きい。10 は土師器の平底埦で、口縁部が長く外反して、体部との境に稜を持つ。11 は鉢である。12 は常総型壷である。13 ～ 16 は土師器の甕である。15・16 は底部が突出する。17・18 は土玉である。19 は茎部が欠損している柳葉形の鉄鏃である。

切り合い関係は 25・27・28 号住居跡、22 号土坑、185・207 号ピットに先行する。また、本住居跡下層部分において焼土ブロックや炭化粒が一定量覆土に混入していることや、床面の全面が被熱を受けているから、焼失住居跡の可能性が高い。出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 6 世紀後葉～ 7 世紀前葉の所産であろう。



第 41 図　26 号住居跡出土遺物

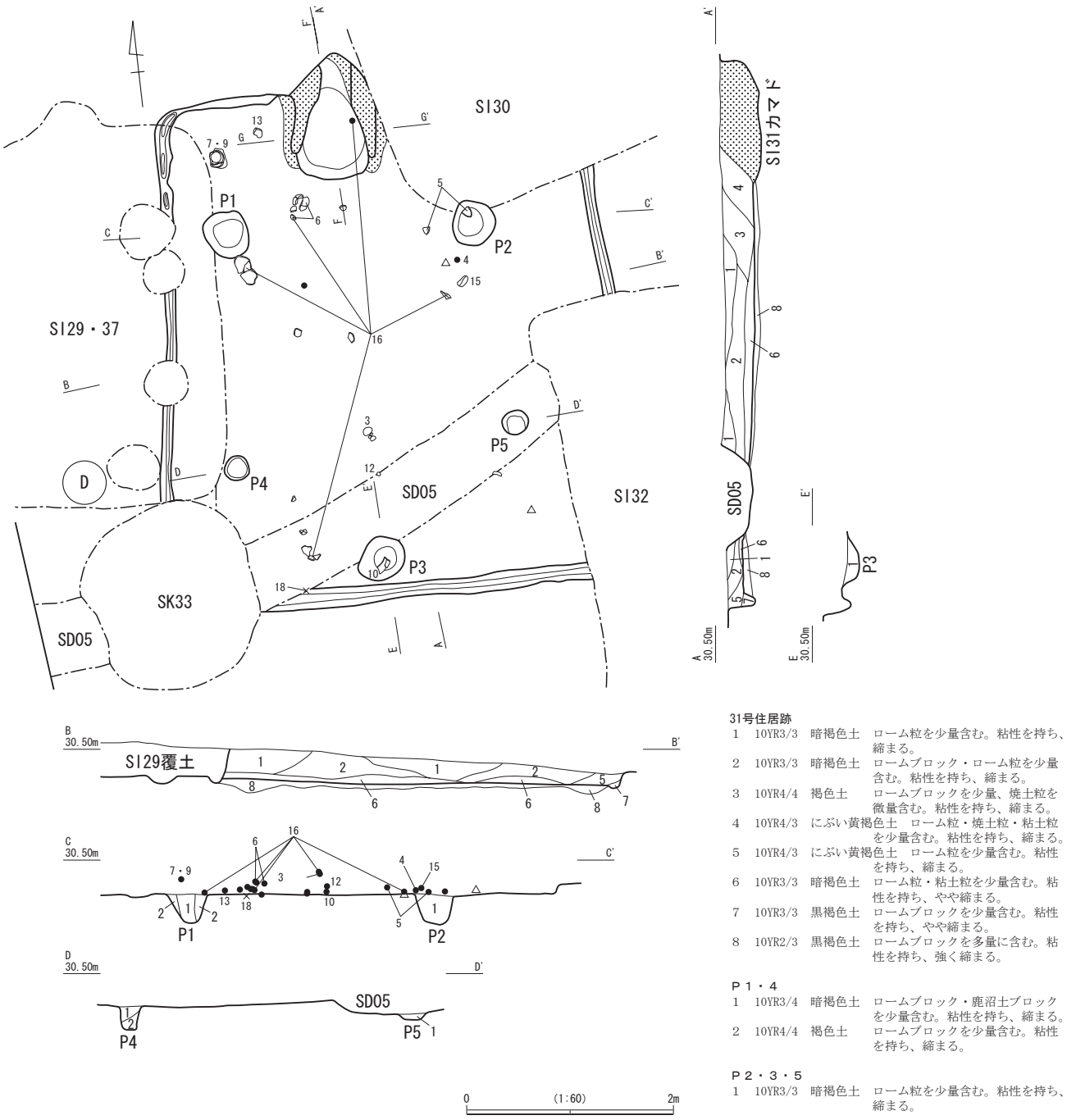
第 21 表　26 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	30	(15.7)	－	<4.3>	須恵器模倣坏。口縁部やや短く内傾して、体部との境に明瞭な稜。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ、２条１単位の放射状暗文。	白色粒子・白雲母片	良好	灰黄褐色	７世紀前葉
2	土師器	坏	口縁部～底部	90	12.2	14.1	5.4	須恵器模倣坏。丸底。口縁部内傾して、体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、見込み部ナデ、２条１単位の放射状暗文。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	灰黄褐色	７世紀前葉
3	土師器	坏	口縁部～体部	40	(12.1)	－	<4.4>	須恵器模倣坏。口縁部内傾して、体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子	良好	黒色	器面全体黒色化 ７世紀前葉 SK01 から出土
4	土師器	坏	口縁部～底部	80	12.0	－	5.5	須恵器模倣坏。丸底。口縁部内傾して、体部との境に明瞭な稜。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面斜方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	７世紀前葉
5	土師器	坏	口縁部～体部	30	(11.2)	－	<4.1>	須恵器模倣坏。口縁部僅かに内傾して、体部との境に明瞭な稜。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ、１条１単位の放射状暗文。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	７世紀前葉
6	土師器	坏	口縁部～底部	40	(14.6)	－	<4.1>	丸底。口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ、１条１単位の放射状暗文。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	橙色	６世紀後葉～７世紀前葉 掘り方から出土
7	土師器	坏	口縁部～体部	20	(13.3)	－	<3.8>	口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面斜方向ヘラケズリ後ナデ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	７世紀前葉 掘り方から出土
8	土師器	坏	口縁部～体部	20	(12.9)	－	<3.7>	口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・白雲母片・黒雲母片	良好	明赤褐色	６世紀後葉
9	土師器	坏	口縁部～胴部	細片	(14.8)	－	<5.7>	器形の歪み大きい。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面横方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラケズリ。放射状暗文。	白・赤色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい褐色	
10	土師器	埦	口縁部～底部	60	17.2	5.0	7.7	平底。口縁部長く外反、体部との境に不明瞭な稜。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ、指頭痕。底部外面一方向ヘラケズリ、見込み部一方向ヘラナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明赤褐色	６世紀後葉
11	土師器	鉢	口縁部～胴部	30	(29.6)	－	<17.0>	口縁部大きく外反、内外面ヨコナデ。胴部外面上位横方向、中位以下縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白・赤色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	黒色	
12	土師器	壷	口縁部～底部	80	21.2	7.8	34.7	常総型の壷。口唇部肥厚、口縁部大きく外反、内外面ヨコナデ。胴部外面上～中位斜方向ヘラナデ、下位斜方向ミガキ、内面多方向ヘラナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
13	土師器	甕	口縁部	細片	(15.8)	－	<3.0>	口唇部玉縁状、口縁部外反、内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
14	土師器	甕	胴部～底部	細片	－	(10.1)	<3.2>	胴部外面ナデ、指頭痕、内面ヘラナデ。底部内面及び底部外面ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
15	土師器	甕	胴部～底部	10	－	8.5	2.5	底部僅かに突出。胴部外面斜方向ヘラナデ、内面及び底部内面一方向ヘラナデ。底部外面一方向ヘラケズリ後ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	不良	灰黄褐色	
16	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(5.0)	<3.3>	底部突出。胴部外面ナデ、内面及び底部内面細い斜方向ヘラケズリ。底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	灰黄褐色	
17	土製品	土玉	－	100	長さ 1.0	幅 1.2	厚さ 1.0	全面ナデ成形。焼成前穿孔。	白色粒子・石英粒	良好	明灰黄色	孔径 0.2 ㎝ 重量 1.65 ｇ
18	土製品	土玉	－	80	長さ 1.2	幅 1.3	厚さ 0.8	全面ナデ成形。焼成前穿孔。	白色粒子・石英粒	良好	明灰黄色	孔径 0.2 ㎝ 重量 1.58 ｇ
19	鉄製品	鉄鏃	鏃部	80	長さ <6.1>	幅 1.1	厚さ 0.2	腸抉柳葉鏃。茎部の大部分が欠損。	－	－	－	重量 5.62 ｇ

31 号住居跡（第 42 ～ 44 図、第 22・23 表、図版 10・37）

D－12･D－13･E－12･E－13 グリッドに位置する。本住居跡西側で 29･37 号住居跡、南側で 33 号土坑、５号溝、北東側で 30 号住居跡、南西側で 32 号住居跡と重複する。平面形は長軸 501 ㎝、短軸 450 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－2°－Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 24 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は７層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 11 ～ 18 ㎝、深さ５～ 13 ㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは５基検出されている。本住居跡四隅に位置する P1・2・4・5 が主柱穴と考えられる。また、P3 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。

カマドは住居跡北壁中央部やや西寄りで検出され、壁外に逆Ｕ字状に 34 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色



31号住居跡

1	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを少量、焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
4	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒・焼土粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
7	10YR3/3	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
8	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。

P1・4

1	10YR3/4	暗褐色土	ロームブロック・鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

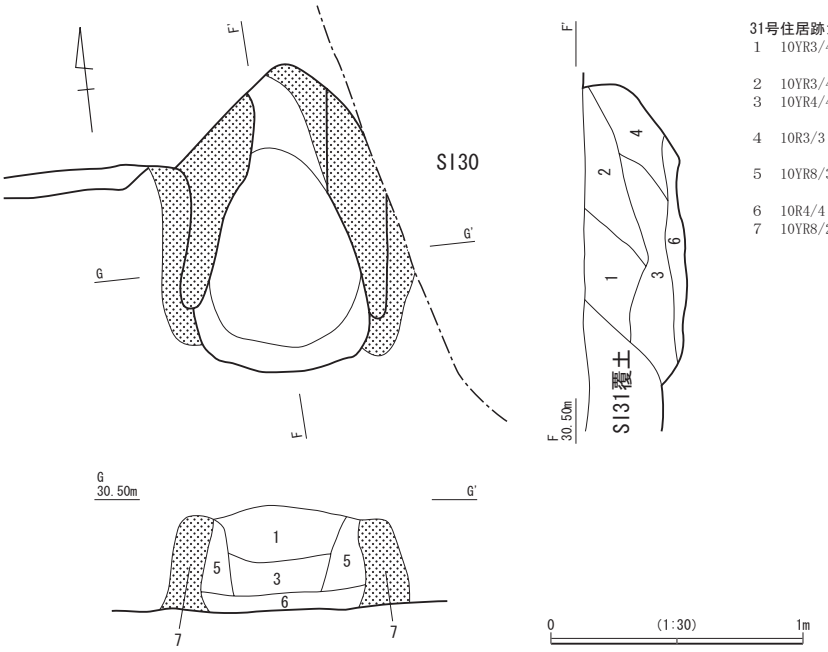
P2・3・5

1	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第 42 図　31 号住居跡（ 1 : 60 ）

第 22 表　31 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	不整円形	49	46	29	筒状	緩やか	丸味		主柱穴	柱痕あり
P2	北東側	不整円形	43	40	30	筒状	緩やか	丸味		主柱穴	
P3	南側	不整円形	50	40	11	逆台形状	緩やか	平坦		出入口ピット	
P4	南西側	円形	24	−	22	筒状	垂直	丸味		主柱穴	
P5	南東側	円形	23	−	5	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	



31号住居跡カマド

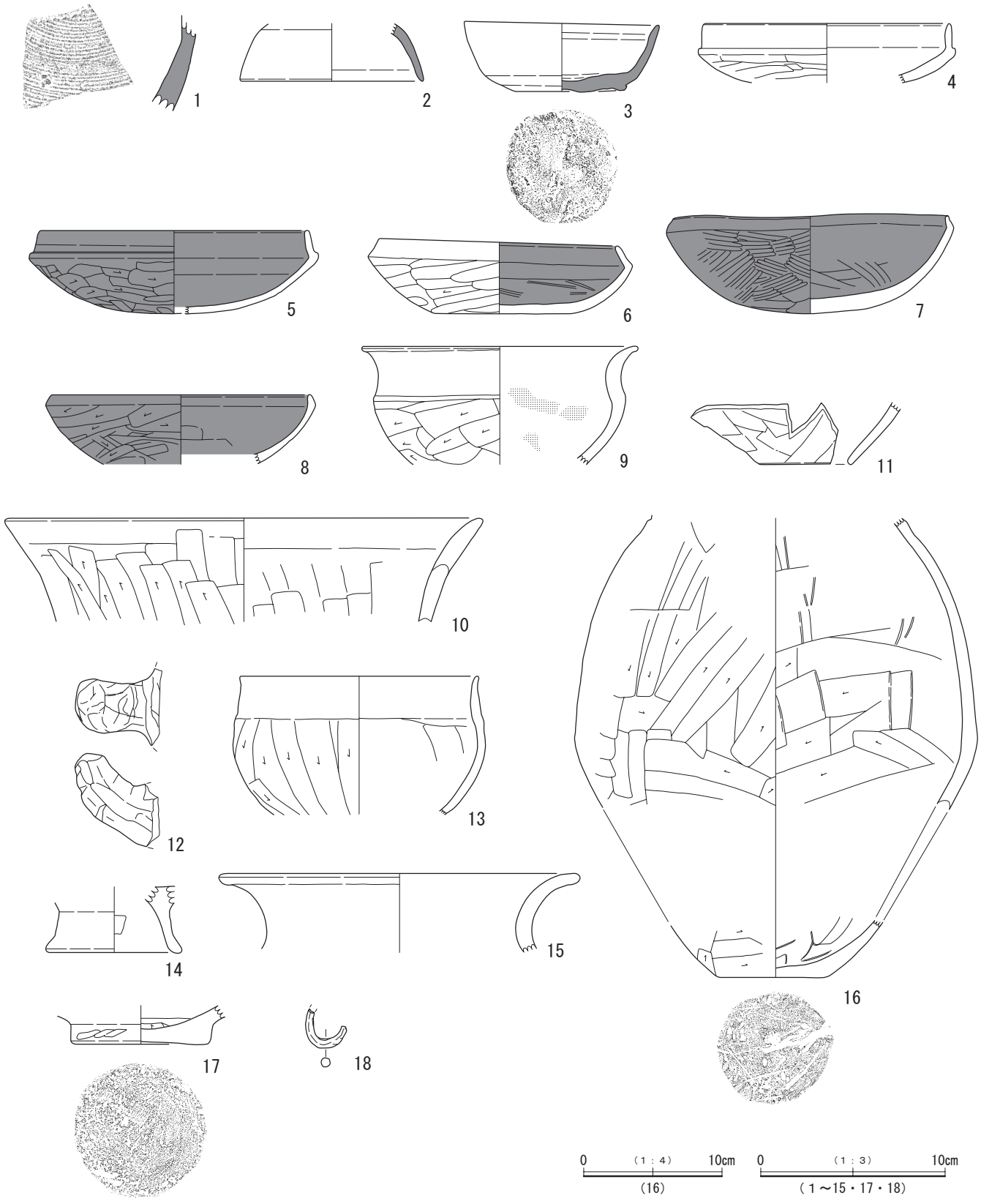
1	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒・焼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR3/4	暗褐色土	粘土粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR4/4	褐色土	ロームブロック・焼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
4	10R3/3	暗赤褐色土	焼土ブロックを多量に含む。粘性・締まりに欠ける。
5	10YR8/3	浅黄橙色土	粘土を多量に、褐色土を少量含む。粘性・締まりが強い。
6	10R4/4	赤褐色土	焼土ブロック主体。粘性・締まりに欠ける。
7	10YR8/2	灰白色土	粘土粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

第 43 図　31 号住居跡カマド（ 1 : 30 ）

粘土を用いて造られ、両袖間は 67 ㎝を測る。燃焼部は楕円形で長径 121 ㎝、短径 87 ㎝を測る。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ８㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかだが上方で垂直に近い角度となる。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ２～13㎝を測り、やや起伏を持つ。

遺物は覆土中やカマドなどから、514 点で 6850.6 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 26 点、弥生土器は壷が 27 点、須恵器は坏が 23 点、甕が７点、高坏が１点、提瓶が１点、蓋が３点、土師器は坏が 104 点、埦が３点、鉢が２点、甑が３点、甕・壷が 288 点、台付甕が１点、小型壷が１点、器台が１点、平瓦は２点、不明土製品は１点、片岩片が１点、石英塊が２点、焼成土塊が 17 点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の甕、高坏、提瓶、蓋、土師器の坏、埦、鉢、甑、甕・壷、器台、平瓦、不明土製品を 28 点図示することが出来たが、弥生土器の壷、須恵器の甕、高坏、平瓦は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は内面をナデ整形の須恵器の提瓶である。２は須恵器の蓋坏である。１・２は東海系であろうか。３は新治窯跡群産の坏である。４～８は土師器の坏である。４は口縁部が直立、５・６は内傾して体部との境に稜を持つ器形、７・８は口縁部が短く体部との境に稜を持たない器形の土師器の坏である。６は内黒処理、５・７・８は内外面黒色処理が施される。９は口縁部が長く上端が外反して、体部との境に稜を持つ土師器の埦である。10 は土師器の鉢、11・12 は土師器の甑である。11 は単孔、12 は把手部分である。13 は土師器の小型壷、14 は土師器の台付甕脚部、15 ～ 17 は土師器の甕である。18 は不明土製品である。粘土紐を円形に曲げる。

切り合い関係は 29・30・32・37 号住居跡、33 号土坑、５号溝に後続する。出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して６世紀後葉～７世紀前葉の所産であろう。



第 44 図　31 号住居跡出土遺物

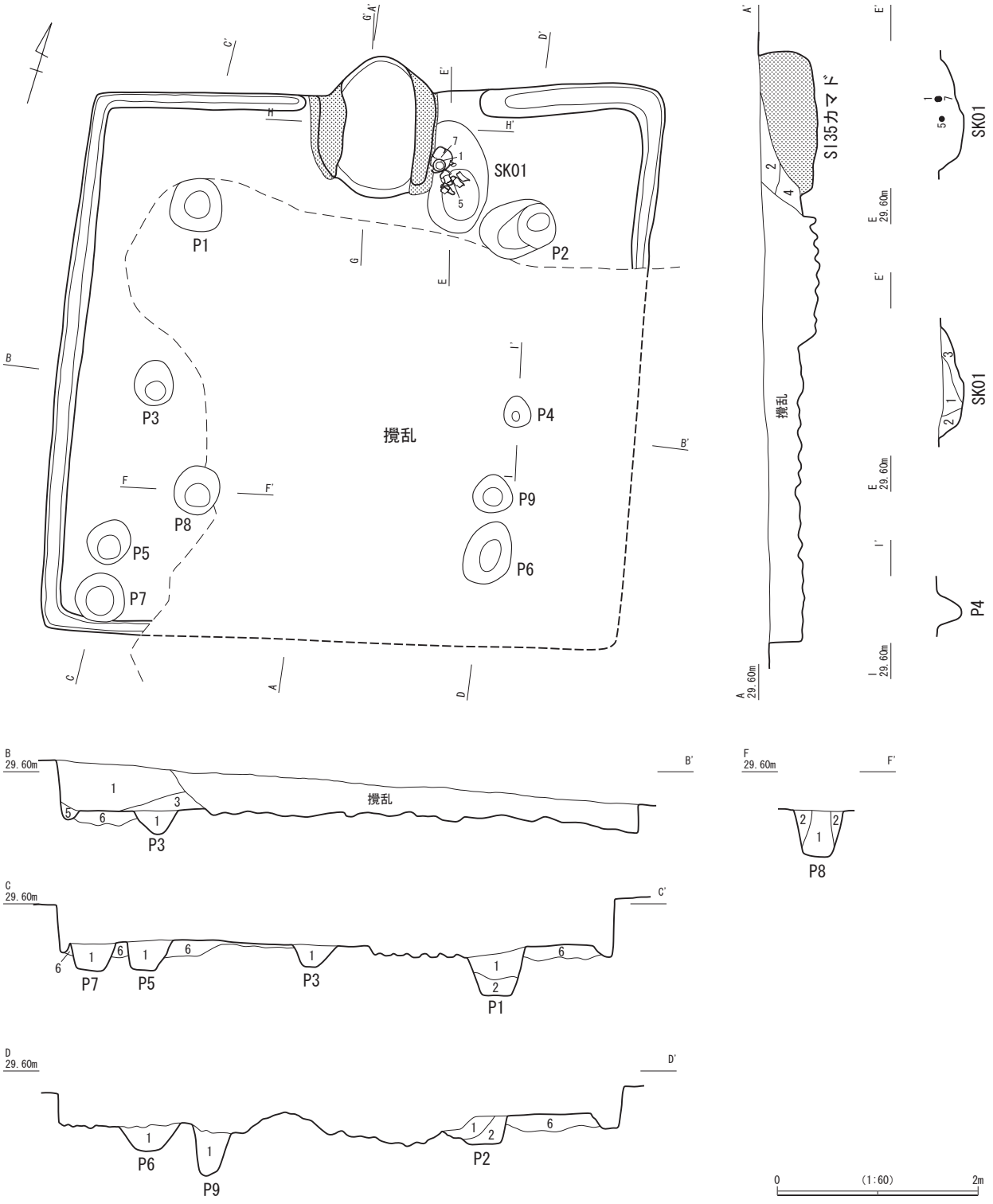
第 23 表　31 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	提瓶	胴部	細片	−	−	−	胴部外面同心円状のカキ目、内面ナデ。	白色粒子	良好	灰色	東海系ヵ
2	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(10.0)	−	<3.1>	蓋坏。天井部外面回転ナデ、端部内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	東海系ヵ
3	須恵器	坏	口縁部～底部	60	10.5	6.3	3.8	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面回転ヘラ切り離し後ナデ。	白・黒色粒子・石英粒	良好	灰色	新治窯跡群産 内面黒色湧出物少量 8 世紀中葉
4	土師器	坏	口縁部～体部	10	(13.2)	(14.0)	<3.2>	口縁部直立して体部との境に明瞭な稜を持つ。体部外面横及び斜方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	6 世紀後葉
5	土師器	坏	口縁部～底部	50	(14.4)	(15.6)	<4.5>	須恵器模倣坏。丸底。内外面黒色化。口縁部僅かに内傾、体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	黒褐色	6 世紀後葉
6	土師器	坏	口縁部～底部	90	12.8	7.6	4.1	内黒坏。平底様。須恵器模倣坏。口縁部内傾して、体部との境に明瞭な稜を持つ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	7 世紀前葉
7	土師器	坏	口縁部～底部	80	14.8	15.6	5.4	丸底。内外面黒色化。口縁部短く内傾、内外面ヨコナデ。体部外面上位横方向ミガキ、下位多方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。見込み部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	7 世紀前葉
8	土師器	坏	口縁部～体部	20	(14.0)	−	<3.7>	内外面黒色化。口縁部短く、体部との境に稜を持たない。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面斜方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒色	7 世紀前葉
9	土師器	埦	口縁部～体部	50	(14.8)	−	<6.4>	口縁部長く大きく外反、体部との境に不明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面斜方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白・赤色粒子・石英粒	良好	にぶい赤褐色	内面黒色付着物少量 カマド、掘り方から出土
10	土師器	鉢	口縁部～胴部	20	(26.0)	−	<5.6>	口縁部僅かに外傾、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面縦方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
11	土師器	甑	胴部	細片	−	−	−	胴部外面斜方向ヘラケズリ後ナデ、内面縦方向ヘラケズリ、下端ヘラケズリ。単孔。	白・赤色粒子・石英粒	良好	灰色	
12	土師器	甑	把手部	細片	長さ 3.8	幅 2.9	厚さ <5.0>	全面ナデ成形。指頭痕。	白・赤色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい黄褐色	
13	土師器	小型壺	口縁部～胴部	30	(13.0)	−	<7.5>	口縁部上位僅かに外反。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ。内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐色	新治窯跡群産 7 世紀後葉
14	土師器	台付甕	脚部	細片	−	(7.0)	<3.6>	脚部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	浅黄橙色	
15	土師器	甕	口縁部	細片	(19.1)	−	<4.3>	口縁部上位大きく外反、内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
16	土師器	甕	胴部～底部	30	−	7.7	<33.3>	胴部外面上位横方向ヘラケズリ、中位斜及び縦方向ヘラケズリ、下位横方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。底部内面多方向ヘラナデ、外面多方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
17	土師器	甕	底部	10	−	7.2	<2.1>	底部突出。底部内面多方向ヘラナデ、外面多方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄褐色	P4 から出土
18	土製品	不明	−	50	長さ <2.1>	幅 2.1	厚さ 0.5	粘土紐を円形に曲げる。ナデ成形。	白色粒子・石英粒	良好	明褐色	用途不明 重量 1.58 g

35 号住居跡（第 45 ～ 47 図、第 24・25 表、図版 12・38・39）

D − 14・D − 15・E − 14・E − 15 グリッドに位置する。本住居跡北側及び西側の一部以外が攪乱により掘り方以下まで破壊されている。北側 2 mに 34 号住居跡、北西側 3 mに 33 号住居跡、南西側 4 mで 5 号溝がそれぞれ分布する。平面形は推定長軸 570 cm、推定短軸 540 cmの方形を呈すると思われる。主軸方位は N − 17° − E を示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 50 cmほどを測る。床面は残存していた範囲で貼り床が検出されている。覆土は 6 層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 15 ～ 18 cm、深さ 8 ～ 14 cmを測り、カマド部分及び攪乱で破壊されている部分を除き全周する。ピットは 9 基検出されている。位置から P1 ～ 6 が主柱穴と考えられる。また、カマドの東側に貯蔵穴と考えられる土坑が 1 基検出されている。

カマドは住居跡北壁中央部で検出され、壁外に逆 U 字状に 37 cmほど突出する。袖部は淡黄色粘土を用いて造られ、両袖間は 71 cmを測る。燃焼部は楕円形で長径 140 cm、短径 114 cmを測る。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 14 cmほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩や



35号住居跡

1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ローム粒・粘土粒・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/6　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/6　褐色土　ローム粒・粘土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR2/2　黒褐色土　鹿沼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。

35号住居跡１号土坑

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒・鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ１

1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ２

1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ３・５～７

1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ８

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

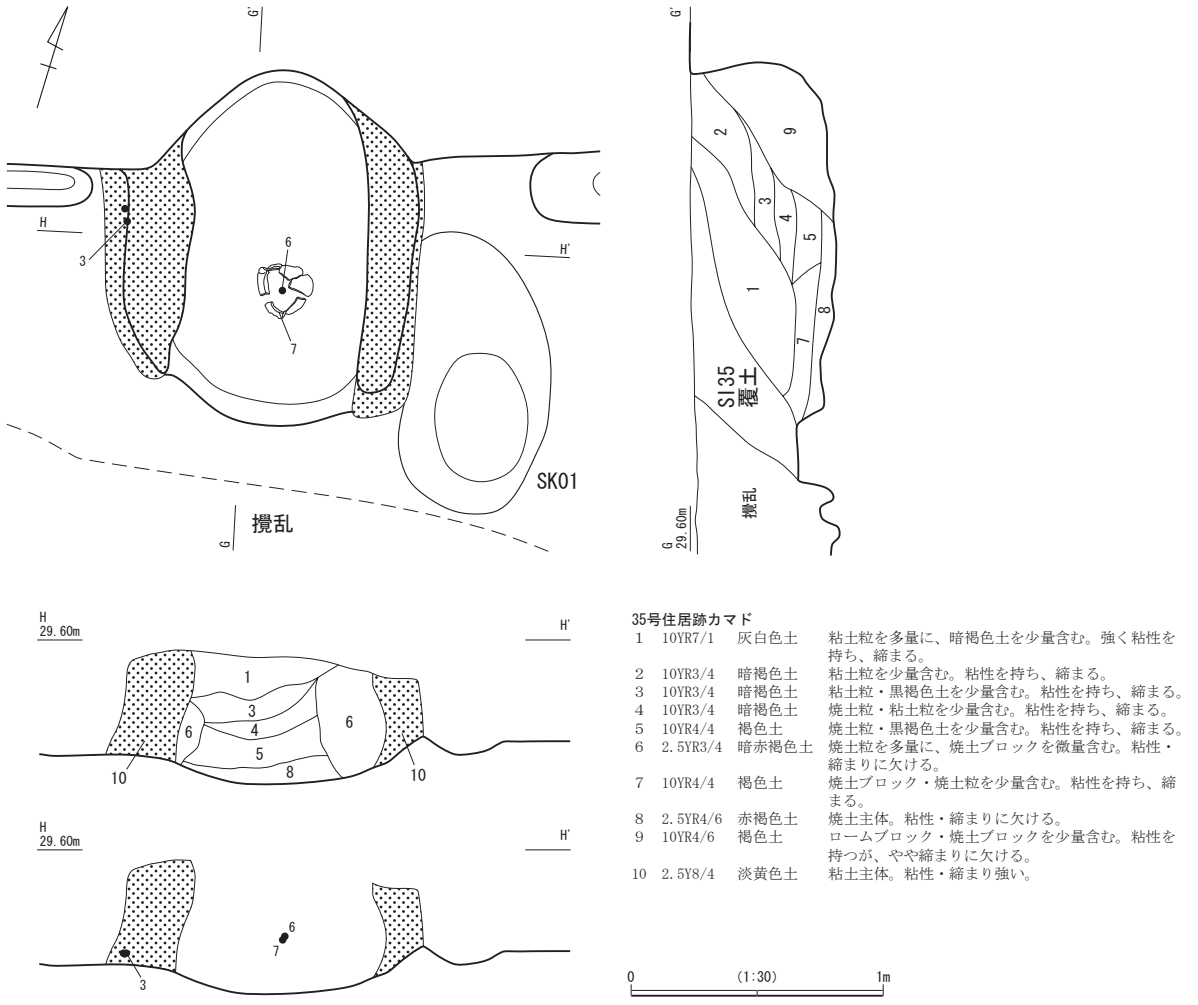
Ｐ９

1　10YR3/3　暗褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

第 45 図　35 号住居跡（ 1：60 ）

第 24 表　35 号住居跡土坑・ピット一覧表

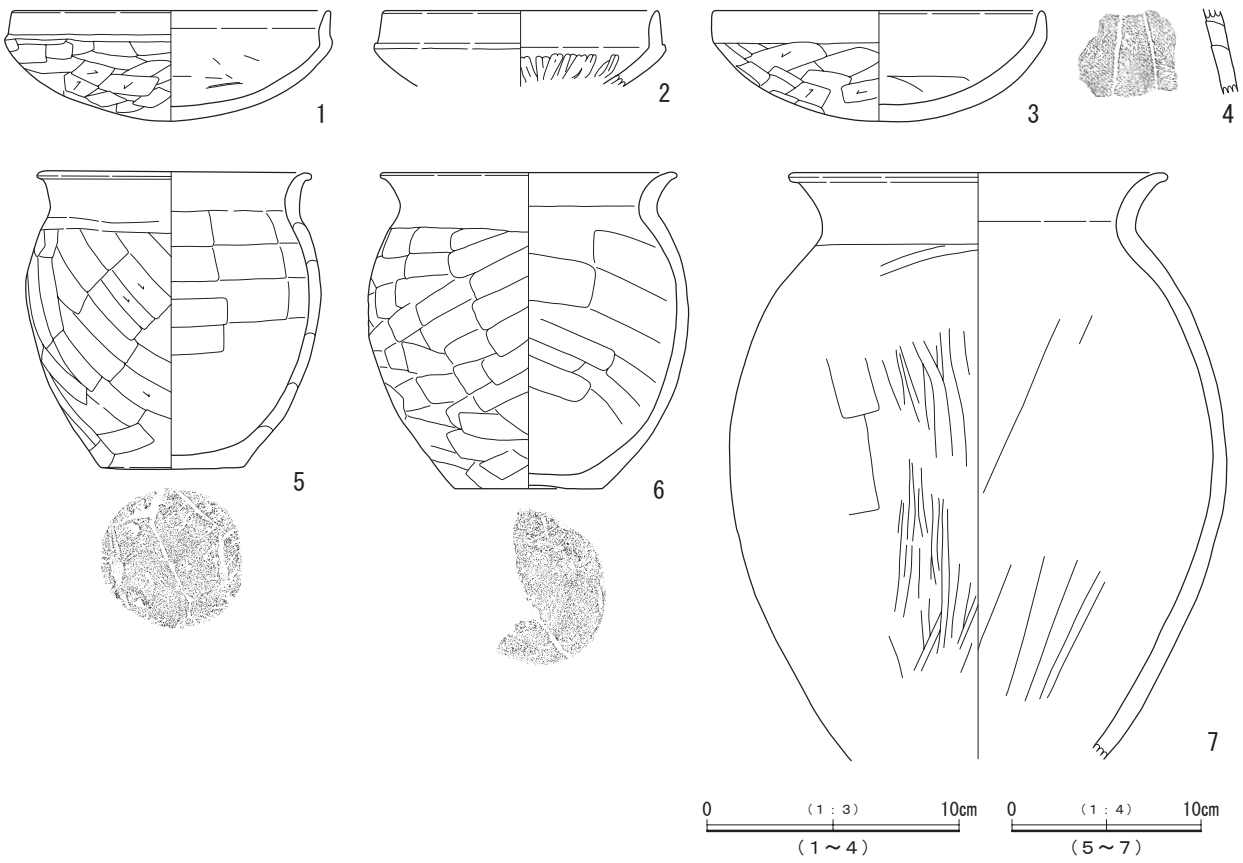
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
SK01	北側	長楕円形	111	60	20	逆台形状	緩やか	やや起伏		貯蔵穴	カマド東側 N－23°－W
P1	北西側	隅丸方形	52	52	50	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P2	北東側	不整楕円形	76	54	32	有段 逆台形状	南西側 緩やか 北東側 急角度	平坦		主柱穴	抜き取り痕（南西側に倒す）
P3	南東側	楕円形	44	40	21	有段 逆台形状	南西側 緩やか 北東側 急角度	丸味		主柱穴	抜き取り痕（南西側に倒す）
P4	東側	楕円形	33	27	23	逆円錐状	急角度	丸味		主柱穴	
P5	南西側	不整円形	43	41	27	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P6	南東側	楕円形	65	45	31	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P7	南西側	円形	47	－	26	逆台形状	緩やか	平坦			
P8	南西側	円形	50	－	45	筒状	急角度	平坦			柱痕あり
P9	南東側	不整円形	40	36	55	筒状	急角度	丸味			



第 46 図　35 号住居跡カマド（1：30）

かに立ち上がる。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ 1 ～ 15 ㎝を測り、起伏に富む。

遺物は覆土中やカマドなどから出土しているが、前述の通り住居跡の大半が撹乱であったため、遺物の混入が多量にあると考えられる。したがって参考資料として提示することを注意していただきたい。遺物は合計 527 点で 12924.8 g の遺物が出土している。内訳は、縄文土器は深鉢が 3 点、弥生土器は壷が 12 点、須恵器は坏が 15 点、高台付盤が 2 点、鉢が 2 点、甕が 6 点、土師器は坏が 47 点、埦が 2 点、高台付坏が 9 点、甕・



第 47 図　35 号住居跡出土遺物

第 25 表　35 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～底部	90	12.5	－	4.4	須恵器模倣坏。丸底。口縁部直立、体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい赤褐色	6 世紀後葉 SK01 から出土
2	土師器	坏	口縁部～体部	20	(10.8)	－	<3.0>	須恵器模倣坏。口縁部直立、体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面剥離、内面丁寧なナデ。	白・赤色粒子	良好	黒褐色	6 世紀後葉
3	土師器	坏	口縁部～底部	100	13.0	－	4.4	丸底。口縁部短く直立、体部との境に明瞭な稜を持たない。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、見込み部ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい褐色	6 世紀後葉
4	土師器	高坏	脚部	細片	－	－	－	脚部外面縦方向沈線で透かしを表現、ナデ。内面ナデ、輪積み痕。	白色粒子・白雲母片	良好	明黄褐色	
5	土師器	壷	口縁部～底部	90	14.5	7.5	15.8	口縁部外反。内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。底部内面ナデ、外面一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	SK01 から出土
6	土師器	壷	口縁部～底部	60	15.3	7.7	16.8	口縁部上端を大きく外反、内外面ヨコナデ。胴部外面上～中位斜方向ヘラケズリ、下位横方向ヘラケズリ、内面斜方向ヘラナデ。底部内外面ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
7	土師器	甕	口縁部～胴部	30	(19.6)	－	<30.0>	口縁部長く大きく外反、内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ及びミガキ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	SK01、カマドから出土

壷が 319 点、高坏が５点、陶器は埦が１点、磁器は碗が１点、土師質土器は小皿が６点、平瓦は１点、片岩片は１点、石英塊は３点、焼成土塊は１点、礫は５点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の高台付盤、土師器の坏、高台付坏、甕・壷、高坏、平瓦を 14 点図示することが出来たが、弥生土器の壷、須恵器の高台付盤、土師器の高台付坏、平瓦は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１～３は土師器の坏である。１・２は丸底の須恵器模倣坏で、口縁部が直立して、体部との境に稜を持つ。３は口縁部が短く直立して、体部との境に稜を持たない。４は脚部外面に沈線で透かしを表

現する土師器高坏である。５・６は口縁部が素口縁で大きく外反する土師器の壷である。７は土師器の甕である。

出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況などから判断して６世紀後葉の所産であろう。

（２）溝

１号溝（第 48 ～ 58 図、第 26 表、図版 13・14・41 ～ 44）

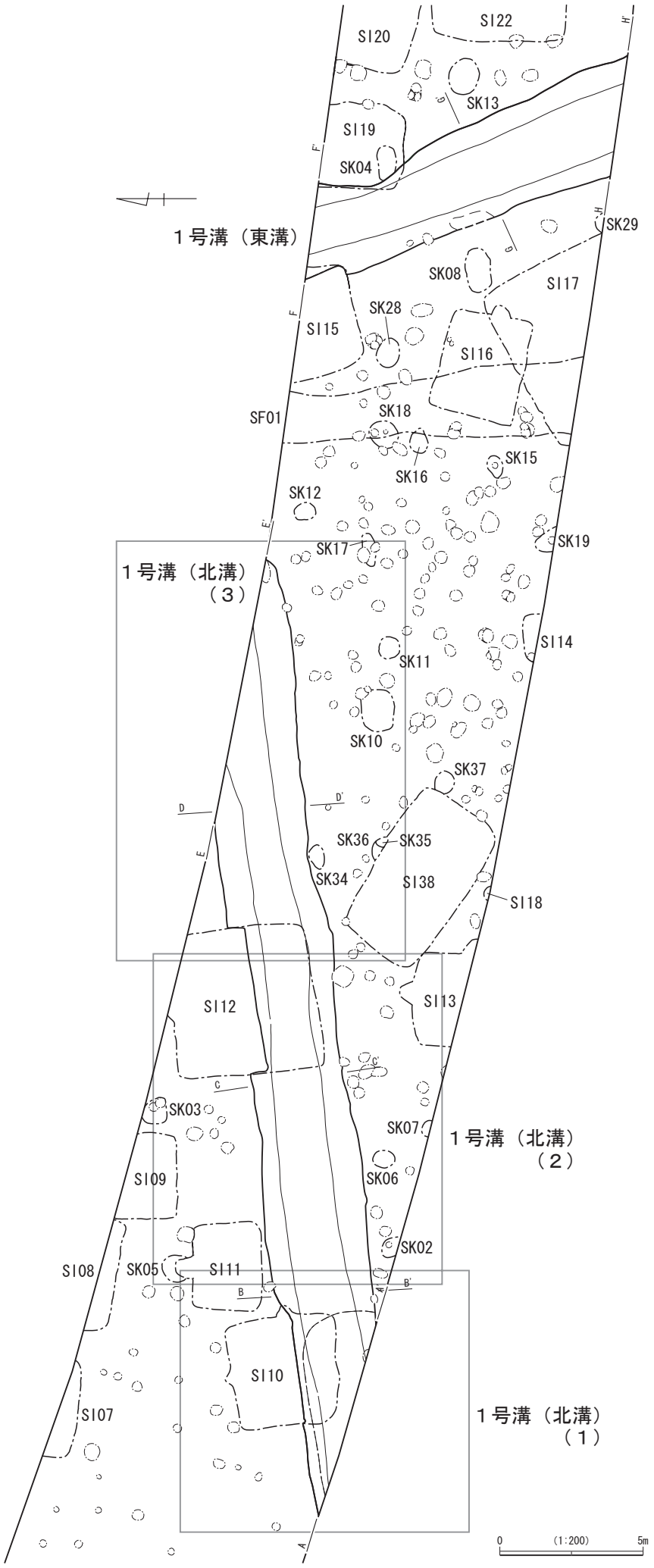
Ｃ－６・Ｃ－７・Ｃ－８・Ｄ－５・Ｄ－６・Ｄ－７・Ｄ－８・Ｄ－９・Ｄ－ 10・Ｅ－９・Ｅ－ 10 グリッドに位置して、調査区の中央部を南西から北東方向に直進して、調査区外へ至る。調査区外で南側に折れ、再度北から南方向に直進して、南側で調査区外へ至る。この２条の溝は、出土遺物や断面形、覆土の状況、位置関係などから同一の溝と判断している。10 ～ 12・15・19 号住居跡、30・215・216・222 ～ 226・228 号ピットが重複する。溝の北側屈曲部と南側は調査区外であるため全容は不明である。以下それぞれを北溝・東溝と呼称する。

確認部分の全長は北溝が 26.6 ｍ、東溝が 11.2 ｍ、上幅は北溝が 311 ～ 357 ㎝、東溝が 253 ～ 373 ㎝、底面幅は北溝が 115 ～ 287 ㎝、東側が 150 ～ 211 ㎝、深さは北溝が 89 ～ 123 ㎝、東溝が 93 ～ 107 ㎝を測る。主軸方位は北溝がＮ－ 84° －Ｅ、東溝がＮ－ 21° －Ｗを示す。断面形はどちらも逆台形状を呈する。底面は概ね平坦で、壁は底面から急角度に立ち上がり、囲繞される内外で立ち上がりの角度はほぼ等しい。ただし G-G′ ライン付近では、内側の立ち上がりに比して、外側が若干緩やかである。覆土は 20 層に分けられ、自然な埋没状況を示す。

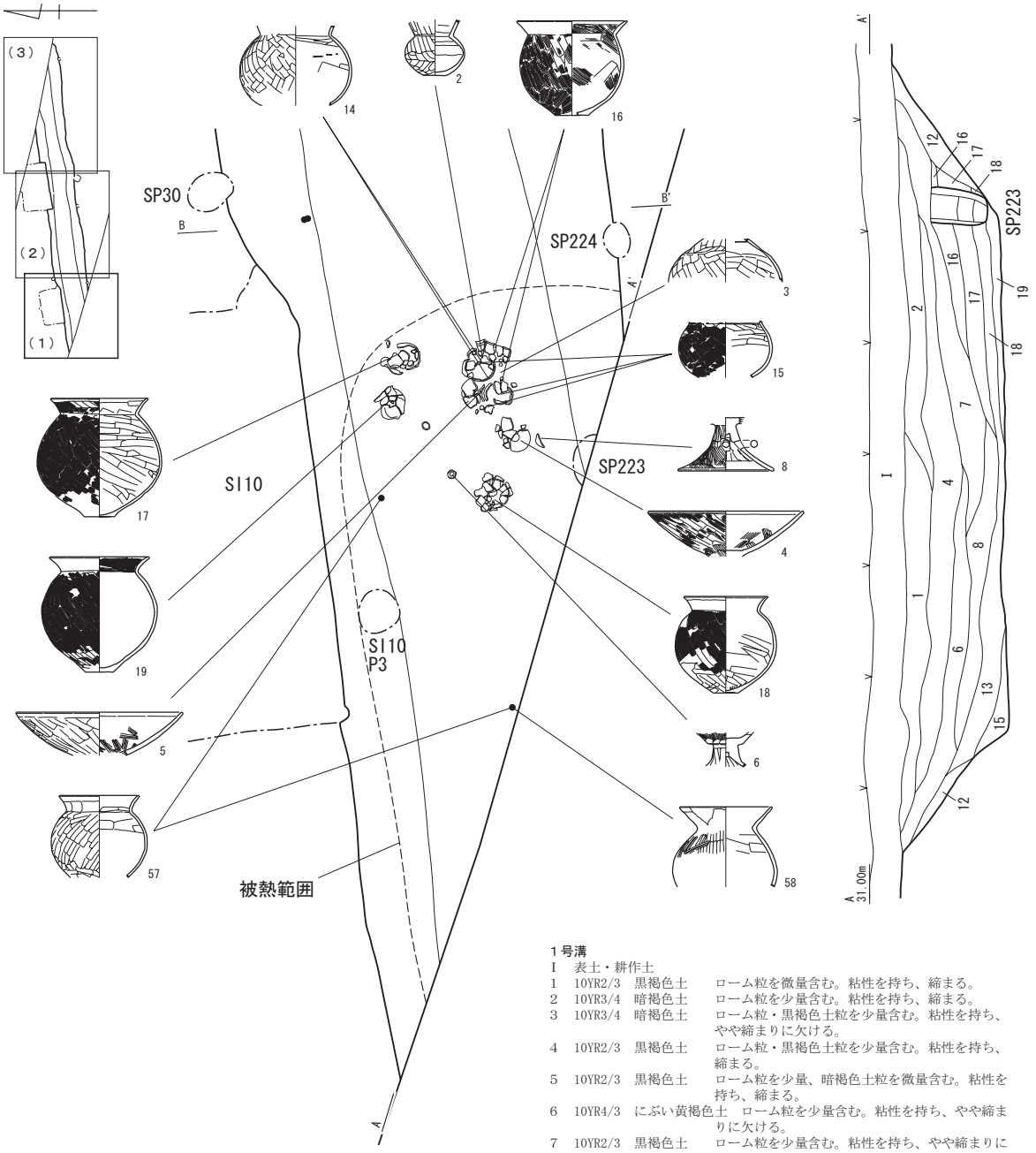
遺物は概ね上層と下層から集中して出土し、中層からの出土は少ない。合計 1532 点で 32369.1 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 120 点、弥生土器は壷が 592 点、器台が１点、須恵器は坏が５点、甕が２点、蓋が１点、円面硯が１点、土師器は坏が 61 点、高台付坏が１点、甕･壷が 362 点、小型壷が 18 点、甑が１点、高坏が 228 点、器台が 11 点、坩が 79 点、土製品はミニチュア土器の壷が１点、不明土製品が１点、石製品は敲石が１点、石核が１点、黒曜石とチャートの剥片が各１点、玦状耳飾が２点、鉄製品は不明鉄製品が１点､焼成土塊は５点､石英塊は１点､片岩片は３点､礫は 27 点出土している。このうち縄文土器の深鉢、弥生土器の壷、器台、須恵器の坏、蓋、円面硯、土師器の坏、高台付坏、甕･壷、小型壷、甑、高坏、器台、坩、ミニチュア土器の壷、不明土製品、石製品は敲石、石核、黒曜石とチャートの剥片、玦状耳飾、不明鉄製品を 163 点図示することが出来たが、縄文土器の深鉢、弥生土器の壷、器台、須恵器の坏、蓋、円面硯、土師器の坏、高台付坏、敲石、石核、黒曜石とチャートの剥片、玦状耳飾は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。

本遺構に伴う遺物は古墳時代前期後半と中期初頭の二時期に分かれる。出土層も明確に分かれている。即ち、前期後半の遺物は溝底面付近から、中期初頭のそれは上層より出土している。遺物は北溝上層で３ヶ所、下層で１ヶ所遺物の集中区が検出されている。東溝では北溝に比べやや散漫であるが上下層で各１箇所集中区が見られる。両溝とも上下層で集中区が重なることはなく、若干分布を異にしている。北溝の調査区南端の下層遺物集中区付近では溝底面や壁が弱く被熱している。またその付近の覆土に炭化物や炭化粒が混入していることは祭祀儀礼などを行った可能性を指摘できる。切り合い関係は 10 ～ 12・15・19 号住居跡、30・215・216・222 ～ 226・228 号ピットに先行する。出土遺物や覆土の状況、切り合い関係などから判断して古墳時代前期後半から中期初頭の、その規模や平面分布などから判断して居館の区画溝であろう。

遺物は、第 53 図１～第 54 図 19 が前期後半の、第 55 図 20 ～第 58 図 70 が中期初頭の時期に該当するで



第 48 図　１号溝（１：200）

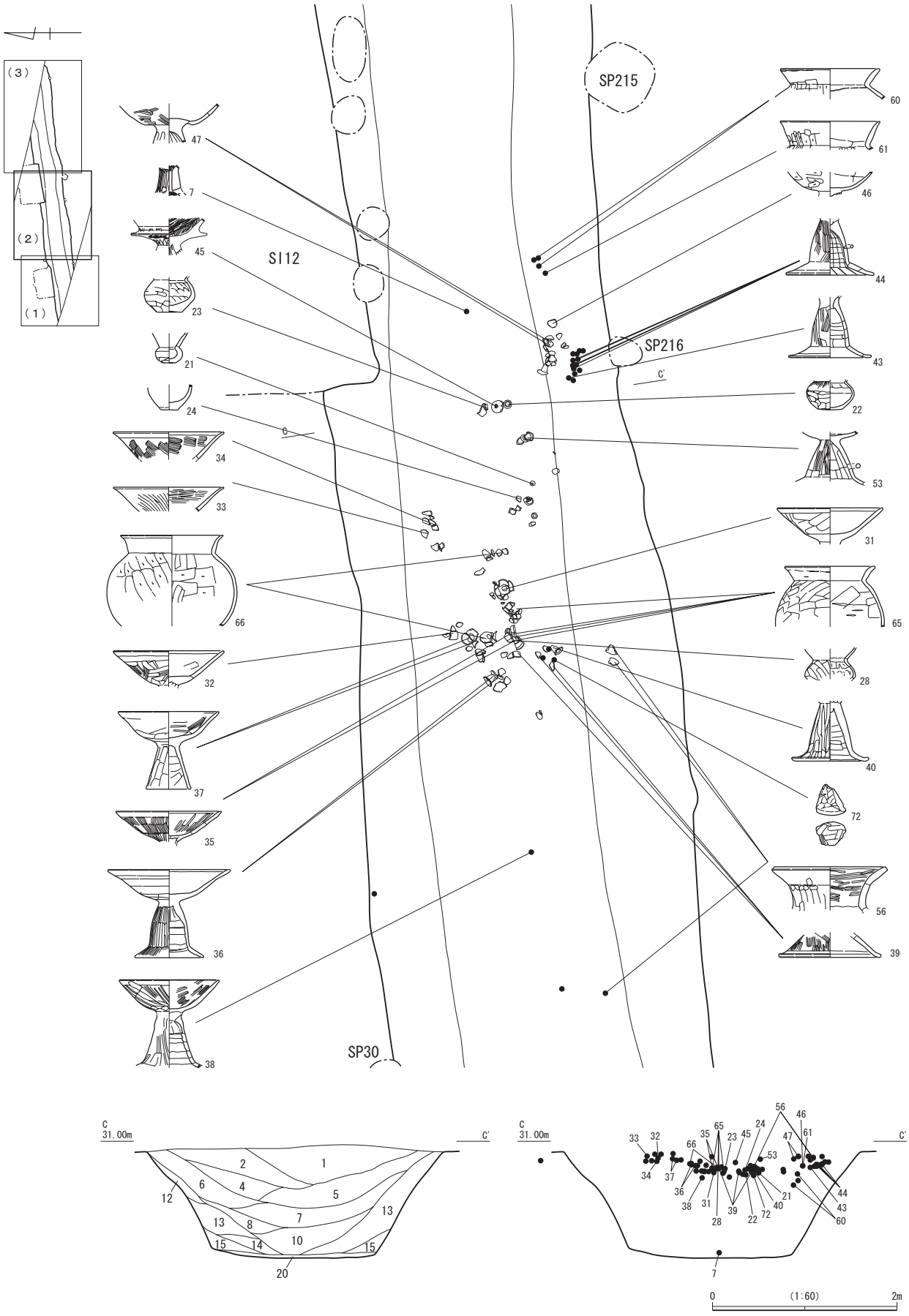


1号溝

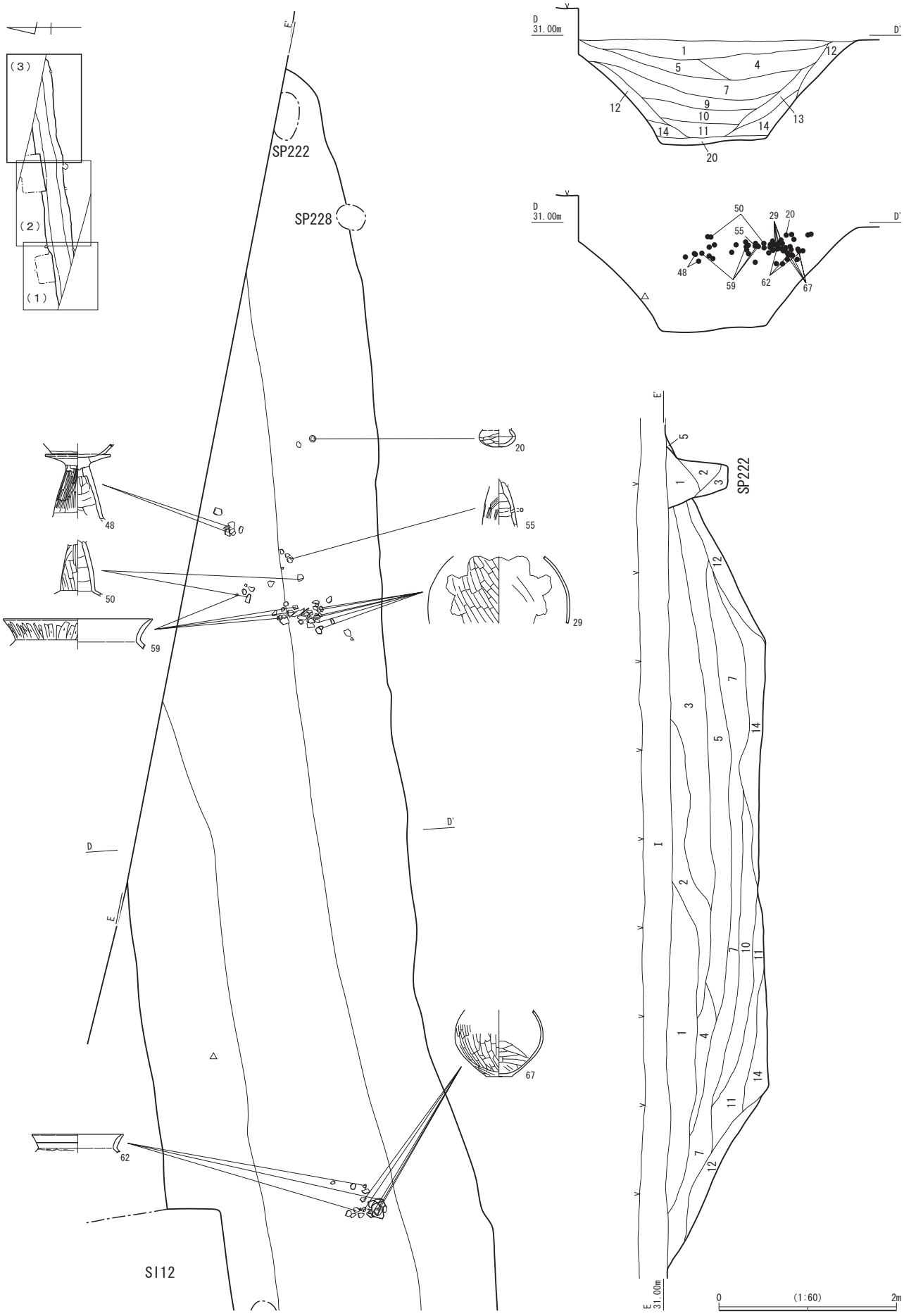
I		表土・耕作土	
1	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒・黒褐色土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。
4	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒・黒褐色土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒を少量、暗褐色土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
6	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。
7	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。
8	10YR4/4	褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
9	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
10	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
11	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒・鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
12	10YR4/4	褐色土	黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
13	10YR4/4	褐色土	ローム土・黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
14	10YR7/6	明黄褐色土	ローム土を多量に、黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
15	10YR4/4	褐色土	ロームブロック・黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
16	10YR4/6	褐色土	ロームブロックを少量、鹿沼土粒・炭化粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。
17	10YR4/6	褐色土	ローム粒・鹿沼土粒を少量、炭化粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
18	10YR4/6	褐色土	ロームブロック・鹿沼土ブロック・炭化粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
19	10YR4/6	褐色土	ロームブロック・鹿沼土ブロック・黒褐色土ブロック・炭化粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
20	10YR4/6	褐色土	ロームブロック・鹿沼土ブロック・黒褐色土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

0 (1:60) 2m

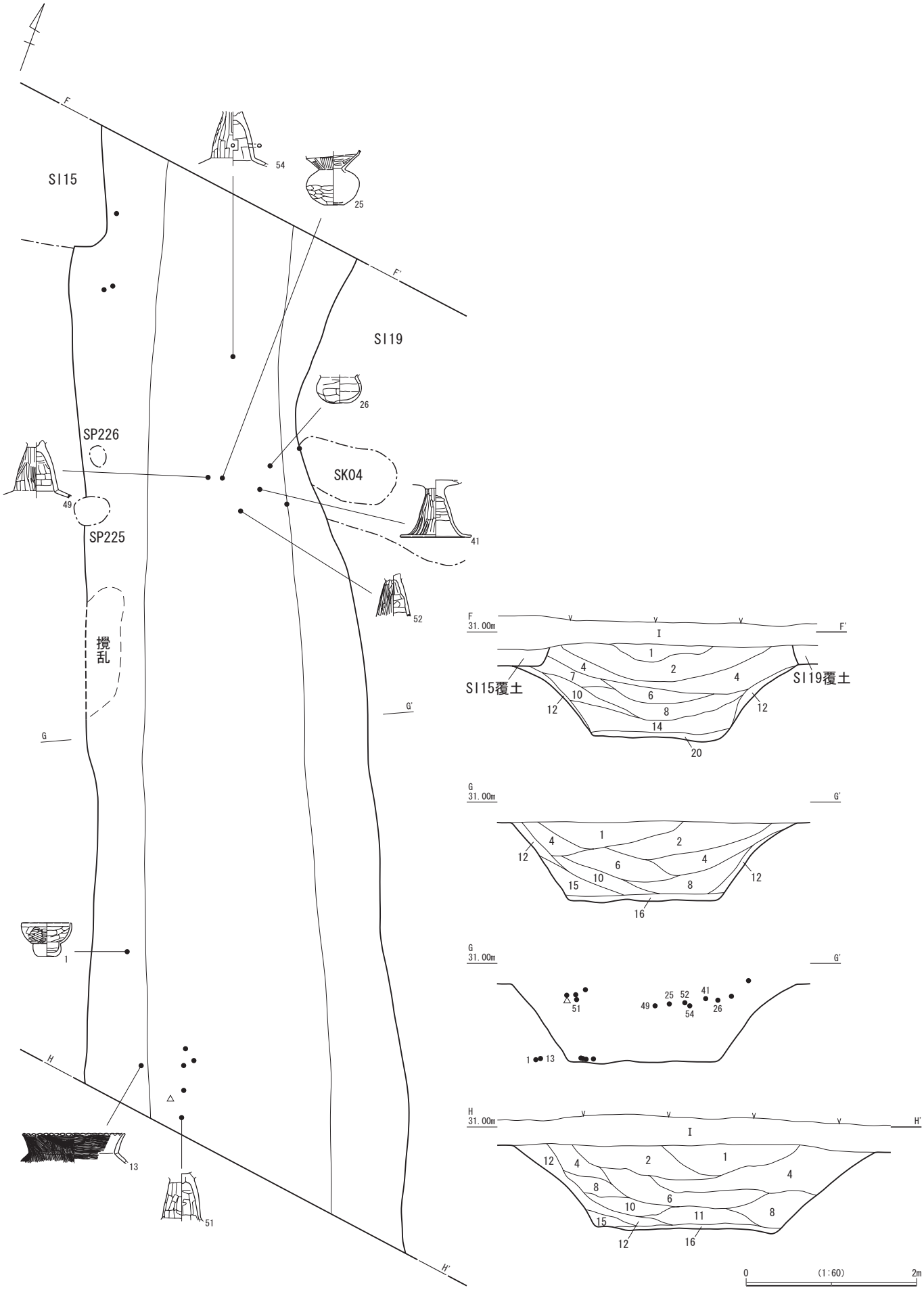
第49図　1号溝（北溝）（1）（1：60）



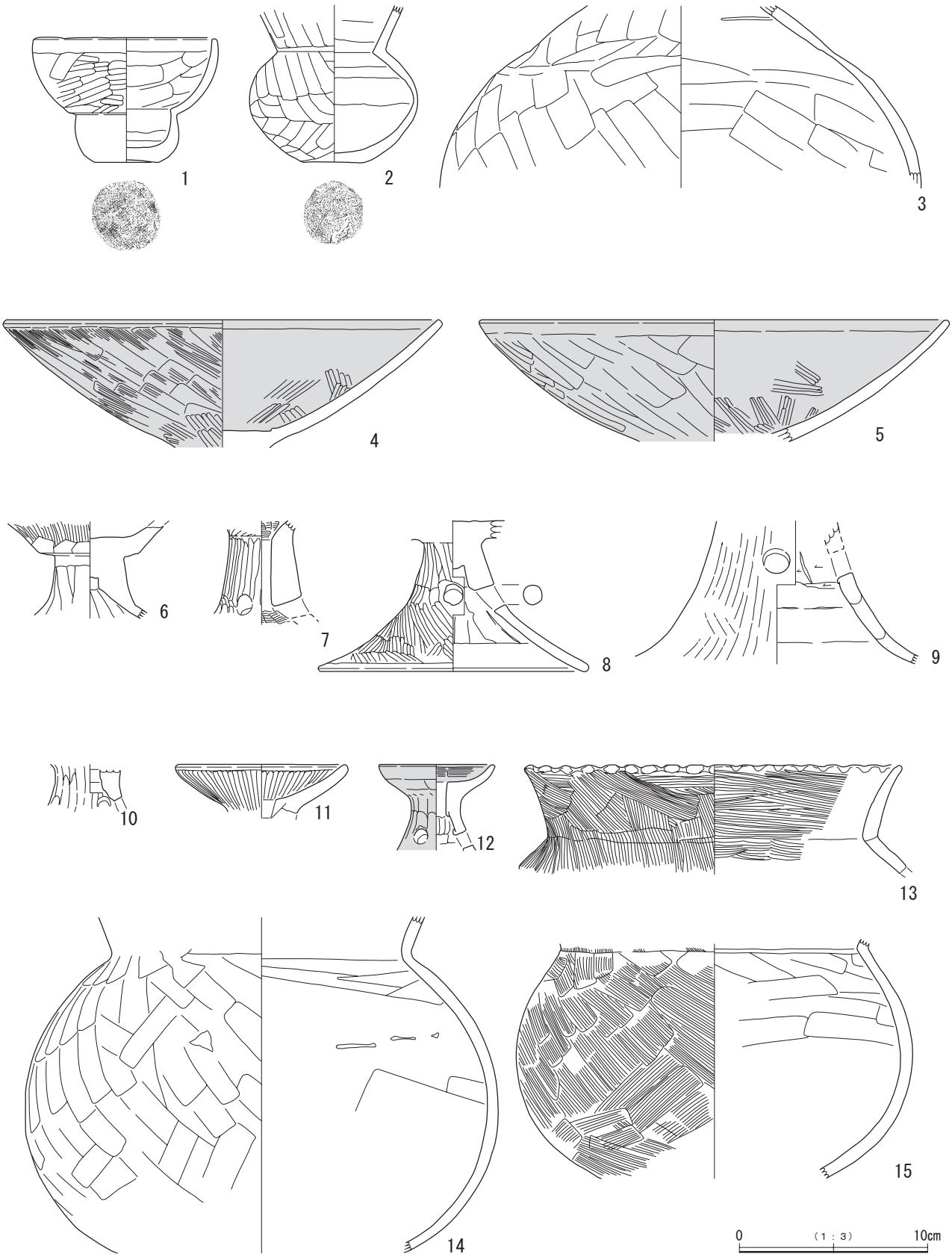
第 50 図　1 号溝（北溝）（2）（1：60）



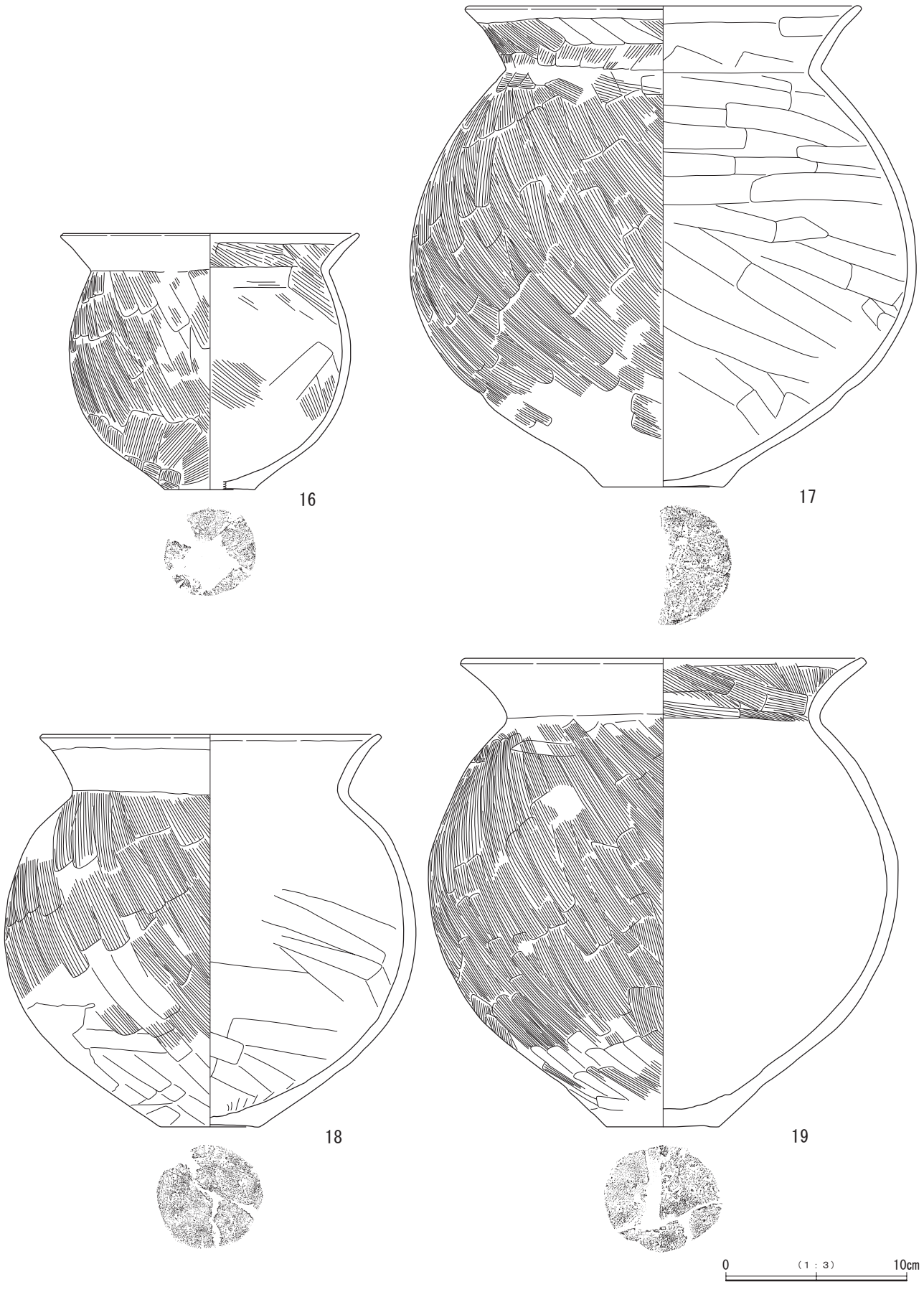
第 51 図　1 号溝（北溝）（3）（1：60）



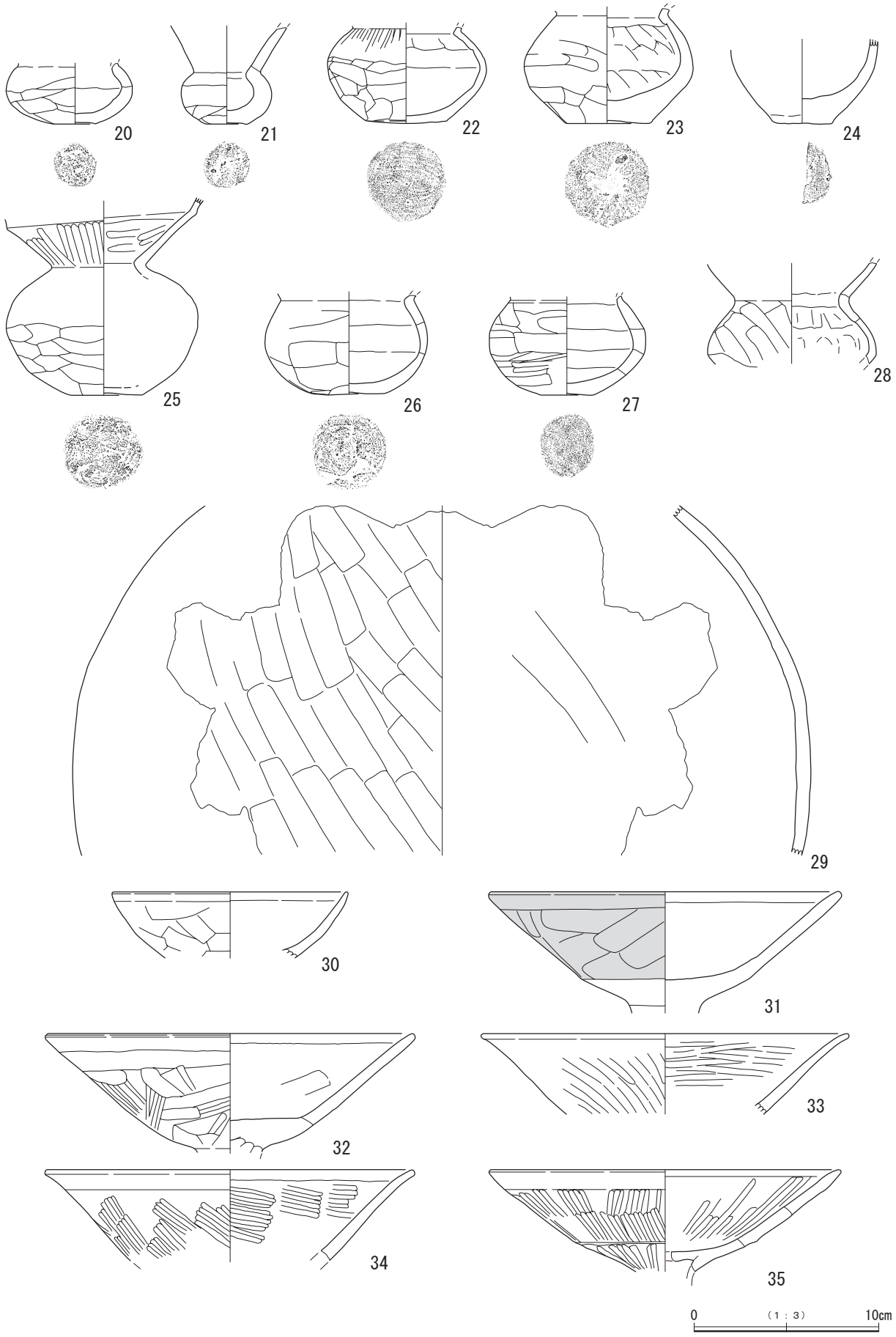
第 52 図　1 号溝（東溝）（ 1 : 60 ）



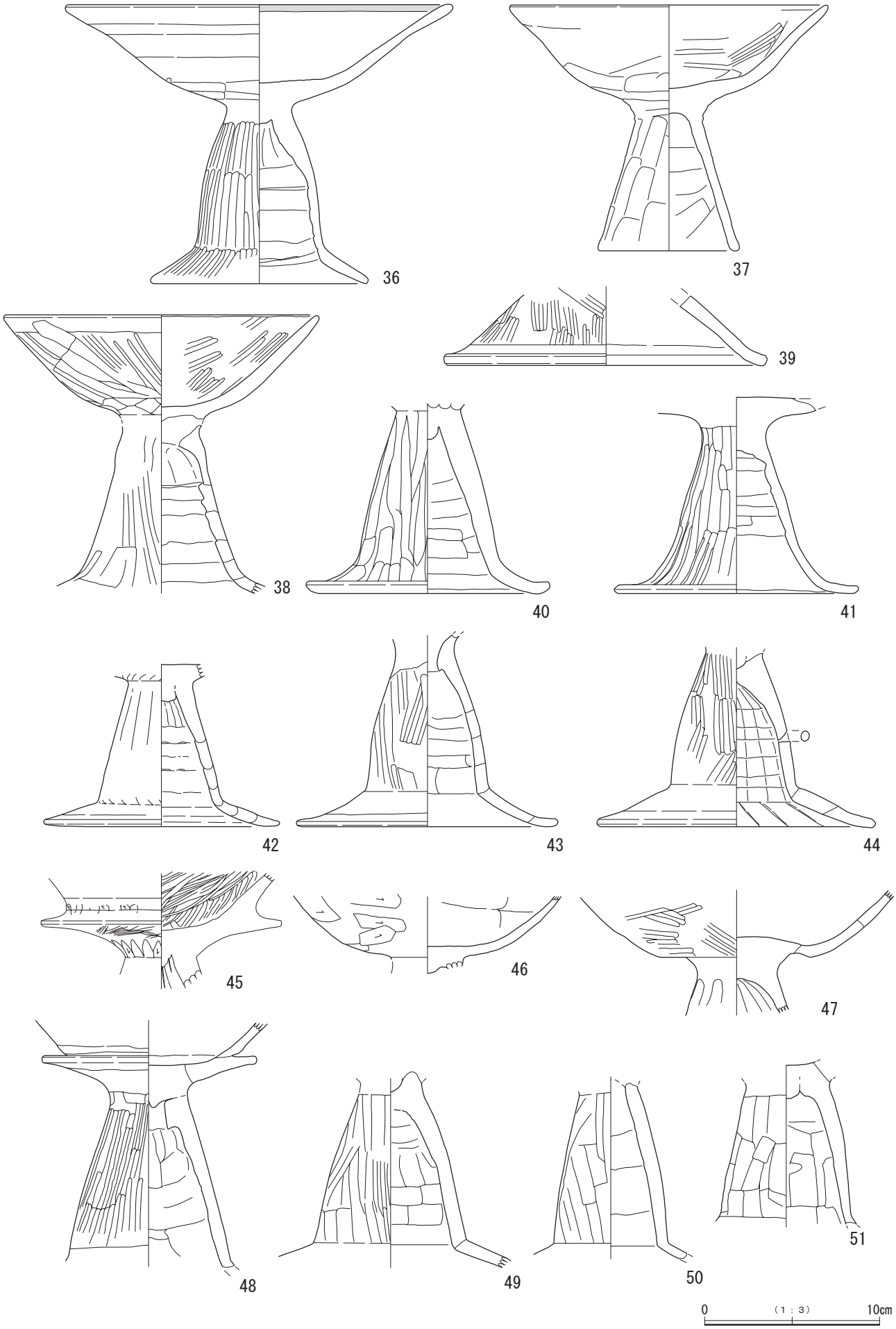
第 53 図　1 号溝出土遺物（1）



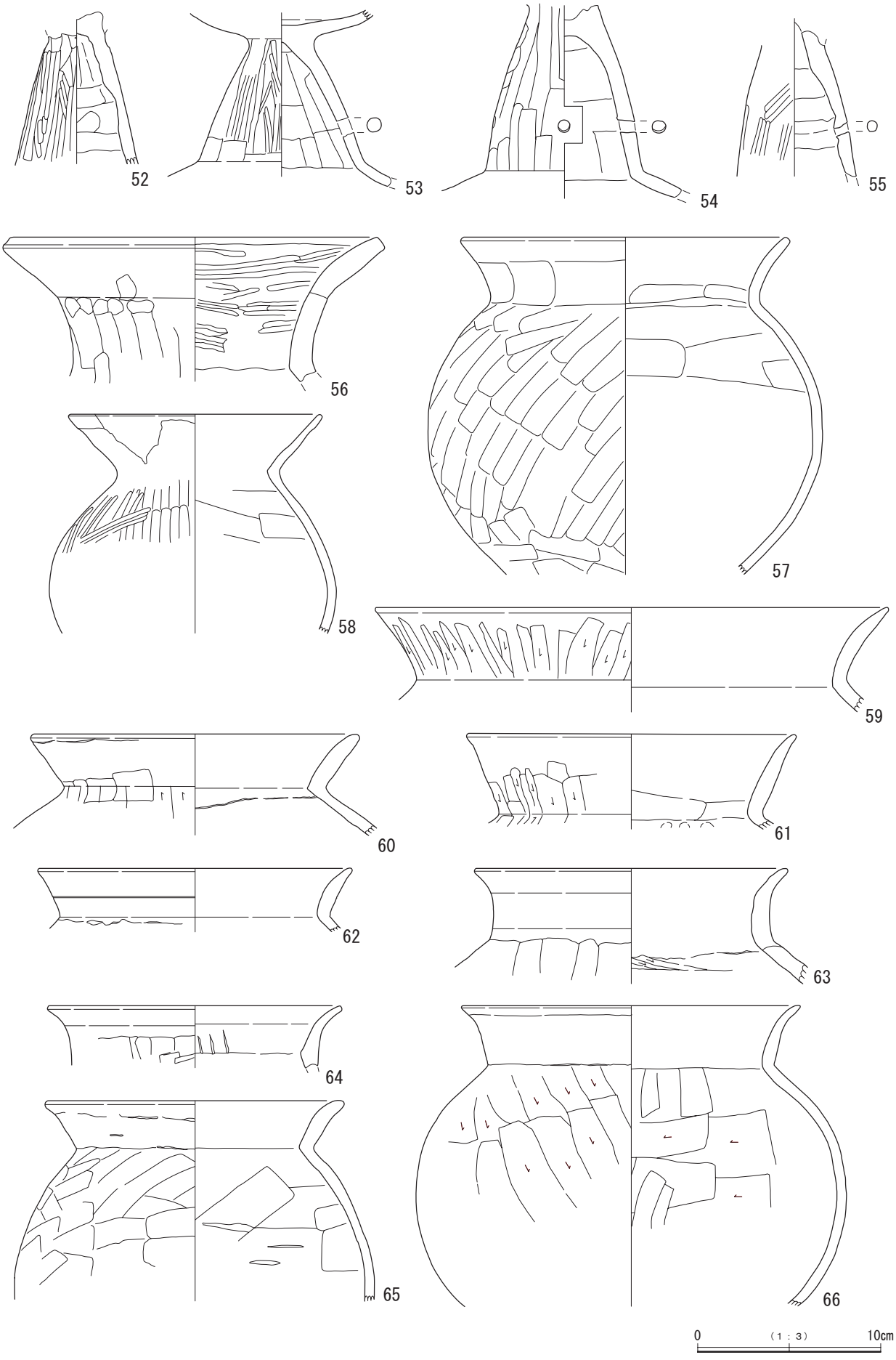
第 54 図　1 号溝出土遺物（2）



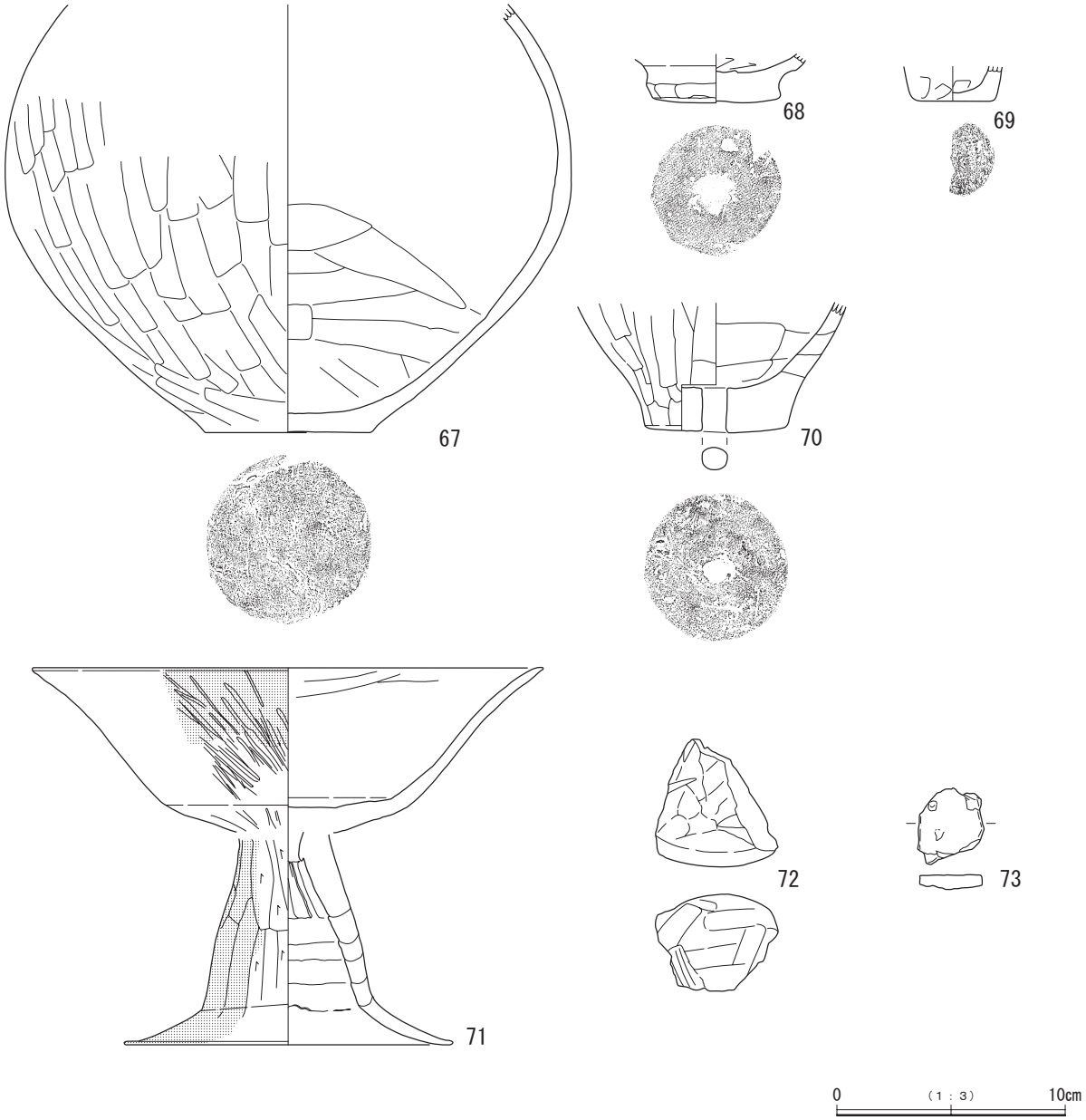
第 55 図　1 号溝出土遺物（3）



第 56 図　1 号溝出土遺物（4）



第 57 図　1 号溝出土遺物（5）



第 58 図　1 号溝出土遺物（6）

第 26 表　1 号溝出土遺物観察表

番号	層位	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
1	底面	土師器	坩	口縁部～底部	70	9.7	3.3	6.6	口縁部大きく内湾して口縁部を平坦、胴部僅かに膨らみを持つ。平底。口縁部上端内外面ヨコナデ。外面横方向にミガキ後ナデ、内面斜方向ヘラケズリ、胴部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	明黄褐色	
2	上層	土師器	小型壷	口縁部～底部	60	－	(3.1)	<8.6>	胴部膨らみを持つ。平底。口縁部内外面ヨコナデ、外面下位縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。胴部外面上位斜方向ヘラケズリ、下位角度を変えて斜方向ヘラケズリ、内面ナデ。底部多方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
3	底面	土師器	壷	胴部	20	－	－	<8.6>	胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	暗褐色	胴部外面黒色付着物多量
4	底面	土師器	高坏	坏部口縁部～接合部	60	23.0	－	<6.8>	坏部体部直線的に立ち上がる。口縁部内外面ヨコナデ、体部外面斜方向ハケ目後ナデ、内面多方向ハケ目後弱いミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	坏部内外面赤彩
5	底面	土師器	高坏	坏部口縁部～体部	40	25.7	－	<7.5>	口縁部内外面ヨコナデ、体部外面斜及び縦方向ハケ目後ナデ、内面横方向ハケ目後斜方向ミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明赤褐色	坏部内外面赤彩

番号	層位	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
6	底面	土師器	高坏	付部体部～脚部	30	－	－	<6.1>	坏部外面縦方向ハケ目、内面丁寧なナデ。脚部短い。外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	にぶい黄橙色	
7	底面	土師器	器台	脚部	10	－	－	<4.9>	脚部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、３孔。内面棒状の焼成前穿孔。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
8	底面	土師器	器台	脚部～裾部	40	－	(14.2)	<8.0>	脚部ラッパ状に開く。外面縦及び斜方向ミガキ。内面横方向ヘラナデ。裾部ナデ、端部内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
9	上層	土師器	器台	脚部～裾部	20	－	－	<7.6>	大型、脚部～裾部外面縦方向ミガキ、内面ナデ。裾部内面横方向ナデ。３孔ヵ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
10	覆土	土師器	器台	脚部	10	－	－	<2.5>	脚部４孔。外面縦方向ヘラミガキ後丁寧なナデ、内面ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	褐色	
11	中層	土師器	器台	受け部	30	(9.0)	－	<2.5>	受け部見込み部焼成前穿孔、端部内外面ヨコナデ。体部内外面縦方向ミガキ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
12	中層	土師器	器台	受け部～脚部	20	(3.2)	－	<4.5>	受け部端部内外面ヨコナデ、体部外面縦方向ヘラナデ後ナデ、内面丁寧なナデ。脚部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ。３孔。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	外面全面赤彩
13	底面	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(19.2)	－	<4.8>	口唇部に内側から棒状工具により連続して押圧して低い波状縁を成す。口縁部内外面ヨコナデ後胴部外面と一体の斜及び縦方向ハケ目。内面は縦方向ハケ目。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	褐色	
14	底面	土師器	甕	胴部	30	－	－	<18.8)	胴部膨らみを持つ。外面斜方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。輪積み痕顕著。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
15	底面	土師器	甕	胴部	40	－	－	<13.3>	胴部膨らみを持つ。外面斜方向ハケ目、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
16	底面	土師器	甕	口縁部～底部	80	17.2	(5.9)	15.2	口縁部大きく外傾、内外面ヨコナデ、胴部外面上～中位斜方向ハケ目、下位角度を変え斜方向ハケ目、内面口縁部中位より多方向ハケ目、底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	
17	底面	土師器	甕	口縁部～底部	50	22.5	7.6	27.7	口縁部大きく外傾、胴部膨らみを持つ。底部突出。口縁部内外面胴部からの斜方向ハケ目後ヨコナデ、胴部上～中位斜方向ハケ目、下位ナデ、内面横及び斜方向ハケ目。底部外面一方向ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
18	底面	土師器	甕	口縁部～底部	70	19.6	6.5	22.8	口縁部大きく外傾、上端を外反。内外面ヨコナデ。胴部外面上～中位斜方向ハケ目、下位斜方向ヘラケズリ。内面口縁部上位より横及び斜方向ハケ目。底部外面一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
19	下層	土師器	甕	口縁部～底部	90	23.0	7.1	27.0	口縁部僅かに外反、胴部膨らみを持つ。底部僅かに突出、口縁部内外面ヨコナデ後胴部からの斜方向ハケ目。胴部外面上～中位斜方向ハケ目、下位斜方向ヘラケズリ、内面斜方向ヘラナデ。底部外面一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
20	中層	土師器	坩	体部～底部	40	－	2.2	<3.3>	体部膨らみを持つ。平底。体部外面上位ナデ、中位以下横方向ヘラケズリ、内面ナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
21	中層	土師器	坩	口縁部～底部	70	－	2.2	<5.3>	ミニチュア土器。口縁部長く外傾、内外面ヨコナデ。胴部外面上位ナデ、中位以下横方向ヘラケズリ、内面ナデ。底部一方向ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	
22	中層	土師器	小型壷	胴部～底部	70	－	4.2	<5.1>	胴部膨らみを持つ。平底。胴部外面上位縦方向ヘラナデ、中位以下横方向ヘラケズリ、内面ナデ。底部外面一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	にぶい橙色	
23	上～中層	土師器	小型壷	胴部～底部	60	－	4.3	<6.3>	胴部膨らみを持つ。平底胴部外面上位ナデ、中位以下横方向ヘラケズリ後ナデ、内面斜方向ヘラナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明赤褐色	
24	上層	土師器	小型壷	胴部～底部	20	－	(3.0)	<4.5>	底部突出。胴部内外面ナデ、底部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	
25	上層	土師器	小型壷	口縁部～底部	90	－	(3.8)	<10.5>	口縁部長く上位で角度を変える、胴部膨らみを持つ。平底。口縁部内外面ヨコナデ。外面縦方向ミガキ、胴部外面上位ナデ、中位以下横方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ。底部外面多方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片・黒雲母片	良好	にぶい黄橙色	
26	上層	土師器	小型壷	胴部～底部	60	－	3.7	<5.1>	胴部外面上位横方向ミガキ、下位横方向ヘラナデ。内面ヘラナデ後ナデ。底部外面一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
27	上層	土師器	小型壷	胴部～底部	40	－	2.7	<5.2>	胴部膨らみを持つ。平底。胴部外面横方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ、輪積み痕。底部外面一方向ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	褐色	
28	上層	土師器	小型壷	口縁部～胴部	20	－	－	<5.4>	口縁部長い、胴部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ後ナデ、内面口縁部の接合痕、ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	

番号	層位	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
29	上層	土師器	壷	胴部	30	－	－	<20.0>	胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
30	下層	土師器	坏	口縁部～体部	20	(12.8)	－	<3.6>	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面丁寧なナデ、内面横方向ミガキ。	白・赤色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	内面黒色付着物少量
31	上層	土師器	高坏	坏部口縁部～接合部	50	19.8	－	<7.6>	体部下位で僅かに角度を変える。立ち上がりは直線的。口縁部内外面ヨコナデ、体部外向斜方向ヘラナデ、外面接合部ナデ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい褐色	口縁部～体部外面赤彩
32	上層	土師器	高坏	坏部口縁部～底部	20	(19.8)	－	<6.5>	体部直線的。口縁部内外面ヨコナデ、体部横方向ヘラナデ及び多方向ミガキ後ナデ、下端部縦方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。見込み部ナデ。	白色粒子・石英粒・金雲母片・黒雲母片	良好	にぶい橙色	
33	上層	土師器	高坏	坏部口縁部～体部	20	(20.0)	－	<4.4>	坏部口縁部内外面ヨコナデ。体部内面丁寧なナデ、外面斜方向ヘラナデ後丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	橙色	
34	上層	土師器	高坏	坏部口縁部～体部	10	(19.8)	－	<5.3>	坏部口縁部内外面ヨコナデ。体部外面斜方向ミガキ後丁寧なナデ、内面横方向ミガキ、丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	橙色	内面黒色化
35	上層	土師器	高坏	坏部口縁部～底部	30	18.8	－	<5.5>	坏部体部直線的に立ち上がる、下位で僅かに角度を変える。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面縦方向ミガキ、体部外面下位輪積み痕顕著。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	不良	黒褐色	外面黒色化
36	上層	土師器	高坏	口縁部～裾部	60	22.8	13.1	17.0	坏部体部直線的にたちあがる、下位で僅かに角度を変える。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、下位及び接合部横方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ。脚部～裾部縦方向ミガキ、脚部内面絞り痕、輪積痕、ナデ。裾部内面丁寧なナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	口縁部内面赤彩
37	上層	土師器	高坏	坏部口縁部～脚部	70	18.0	7.8	14.1	坏部体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面上位丁寧なナデ、下位斜方向ヘラケズリ、内面多方向ヘラナデ後ナデ、ミガキ。脚部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい赤褐色	
38	上層	土師器	高坏	坏部口縁部～脚部	40	(17.8)	－	<16.0>	坏部体部直線的に立ち上がる、下位で僅かに角度を変える。口縁部内外面ヨコナデ。体部斜方向ミガキ、下位横方向ヘラケズリ、内面斜方向ミガキ。脚部縦方向ミガキ、内面輪積み痕。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい橙色	
39	上層	土師器	高坏	裾部	10	－	(18.1)	<4.5>	裾部外面縦方向ミガキ後ナデ、内面横方向ヘラナデ。端部内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	明赤褐色	
40	上層	土師器	高坏	脚部～裾部	30	(13.0)	－	<10.8>	脚部外面縦方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、内面横方向ヘラケズリ。裾部短く、外面縦方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、端部内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい赤褐色	
41	上層	土師器	高坏	坏部底部～裾部	40	－	13.8	<11.2>	坏部内面ナデ、脚部外面縦方向ミガキ、内面輪積み痕。裾部内外面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	灰黄褐色	
42	上層	土師器	高坏	脚部～裾部	30	－	(13.5)	<9.3>	器面擦れ多い。脚部外面縦方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、内面ナデ、輪積み痕顕著。裾部内外面ナデ、端部外面ヨコナデ。輪積み痕顕著。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	明黄褐色	
43	上層	土師器	器台	脚部～裾部	60	－	(14.8)	<10.6>	脚部外面丁寧なナデ、内面ナデ、輪積み痕顕著。裾部内外面ナデ。	白色粒子･チャート粒・白雲母片	良好	褐色	
44	上層	土師器	高坏	脚部	50	－	－	<10.1>	脚部外面縦方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、内面絞り痕。裾部内外面ナデ。	白色粒子・黒雲母片	良好	橙色	
45	上層	土師器	高坏	坏部体部～底部	30	－	－	<6.6>	坏部外面下位に突出物を持つ。坏部内外面多方向ミガキ、接合部縦方向ヘラケズリ。嵌め込み接合。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	橙色	
46	上層	土師器	高坏	坏部体部～接合部	20	－	－	<4.4>	坏部体部外面横方向ヘラケズリ、体部内面横方向ヘラナデ後ナデ。	白・黒色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
47	上層	土師器	高坏	坏部～脚部	30	－	－	<7.0>	坏部体部外面多方向ヘラミガキ、内面ナデ。脚部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面ヘラナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	坏部内面一部黒色化
48	上層	土師器	器台	受部～脚部	40	－	－	<14.5>	有段坏ⅰ型。体部下位に稜を持つ。体部内外面ナデ。脚部外面縦方向ミガキ、内面接合ヘラナデ、絞り痕、嵌め込み接合。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	にぶい赤褐色	
49	上層	土師器	高坏	脚部～裾部	30	－	－	<11.1>	脚部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ヘラケズリ。裾部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
50	上層	土師器	高坏	脚部	20	－	－	<9.9>	脚部縦方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、横方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	
51	上層	土師器	高坏	脚部	20	－	－	<9.5>	脚部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラケズリ。坏部からの接合。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	橙色	
52	上層	土師器	高坏	脚部	10	－	－	<8.3>	坏部外面縦方向ミガキ後ナデ、内面輪積み痕。脚部からの接合、	白色粒子・石英粒・黒雲母片・白色針状物質	良好	にぶい黄橙色	
53	上層	土師器	器台	受け部底部～裾部	40	－	－	<9.0>	受け部内外面ナデ。脚部外面縦方向ミガキ、下端横方向ヘラナデ、内面横方向ヘラケズリ。裾部丁寧なナデ。２孔ヵ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	

番号	層位	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
54	上層	土師器	器台	脚部～裾部	40	－	－	<10.5>	脚部縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ヘラケズリ。裾部ナデ。４孔。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
55	上層	土師器	器台	脚部	10	－	－	<8.4>	脚部外面縦及び斜方向ミガキ後丁寧なナデ､内面輪積み痕､ナデ。３孔ヵ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	橙色	
56	上層	土師器	甕	口縁部～胴部	20	（19.8）	－	<7.8>	口縁部長い、中位以上を外反、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面口縁部中位より横方向ミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
57	中～下層	土師器	甕	口縁部～底部	60	17.5	－	<18.5>	口縁部外反、胴部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面上～中位斜方向ヘラケズリ後ナデ、下位横方向ヘラケズリ、内面口縁部下位より横及び斜方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
58	中層	土師器	甕	口縁部～胴部	30	（14.6）	－	<12.0>	口縁部長く外傾、内面ヨコナデ。外面多方向ミガキ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、ミガキ、内面多方向ヘラナデ後ナデ。	白・赤色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
59	上層	土師器	甕	口縁部	20	（28.0）	－	<5.7>	口縁部「く」字状、外面縦方向ヘラケズリ後ヨコナデ、内面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
60	上層	土師器	甕	口縁部～胴部	10	（17.6）	－	<5.5>	口縁部大きく外反。内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
61	上層	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	（17.7）	－	<5.2>	口縁部長く外傾。内外面ヨコナデ、口縁部外面下位から胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
62	上層	土師器	甕	口縁部	10	（17.0）	－	<3.5>	口縁部「く」字状、内外面ヨコナデ	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
63	上層	土師器	甕	口縁部～胴部	10	（17.0）	－	<3.4>	口縁部上端外反､内外面ヨコナデ.胴部外面たてヘラケズリ後ナデ. 内面ヘラナデ	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	明赤褐色	
64	上層	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	（16.0）	－	<3.4>	口縁部外反、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面斜方向ヘラナデ、下位横方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	
65	上層	土師器	甕	口縁部～胴部	40	17.0	－	<12.0>	口縁部外傾、内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。輪積み痕顕著。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	
66	上層	土師器	甕	口縁部～胴部	30	（18.5）		<16.4>	口縁部「く」字状に折れる。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラナデ後ナデ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	褐灰色	
67	上層	土師器	甕	胴部～底部	40	－	7.2	<18.8>	底部突出。胴部外面縦方向ヘラケズリ、下端斜方向ヘラケズリ、内面横及び斜方向ヘラナデ。底部外面一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
68	中層	土師器	壷	胴部～底部	10	－	5.6	<2.1>	底部突出。胴部外面横方向ヘラナデ、内面斜方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄色	
69	覆土	土師器	壷	胴部～底部	10	－	（3.3）	<1.5>	ミニチュア土器。全面ナデ成形。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
70	中層	土師器	甑	胴部～底部	10	－	（6.1）	<5.6>	胴部外面縦方向ハケ目、内面横方向ヘラナデ。底部ナデ。焼成前穿孔。単孔。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片・黒雲母片	良好	にぶい黄橙色	
71	上層	土師器	高坏	坏部口縁部～裾部	40	（22.2）	14.2	<16.5>	坏部口縁部内外面ヨコナデ。体部から底部内外面ナデ。脚部外面縦方向ヘラケズリ、内面上位絞り痕、下位ナデ、輪積み痕顕著。裾部全面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	黒色付着物
72	上層	土製品	不明	不明	不明	長さ <5.7>	幅 <5.3>	厚さ <4.1>	２面をナデで成形、そのうちの１面が底部状の面を持つ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい赤褐色	
73	上層	鉄製品	不明	不明	不明	長さ 3.1	幅 2.8	厚さ 0.6	磁力あり。板状の製品ヵ	－	－	－	重量 17.69 g

あろう。第 58 図 71 はこれらの遺物よりやや後出するものと思われる。図示した遺物では両時期とも､高坏･坩（小形壷）の比率が高い。壷は第 53 図 3、第 55 図 29 のみで、良好な資料は得られていない。

（３）土坑

６号土坑（第 59 図、図版 16）

Ｄ－６グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 77 ㎝、短径 66 ㎝、深さ 13 ㎝を測る。断面形は箱状を呈する。主軸方位はＮ－４°－Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、土師器の甕･壷が１点で 5.9 ｇ出土しているが、細片のため図示することは出来なかった。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況から判断して古墳時代以降の所産であろうが性格は不明である。

22 号土坑（第 59・60 図、第 27 表、図版 18・44）

Ｄ－ 11・Ｅ－ 11 グリッドに位置する。平面形は不整円形で、長径 95 ㎝、短径 90 ㎝、深さ 46 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 45°－Ｗを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は急角度で立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、37 点で 242.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が１点、弥生土器は壷が４点、土師器は坏が 16 点、埦が２点、甕・壷が 14 点出土している。このうち弥生土器の壷と土師器の坏を３点図示することが出来た。１は須恵器模倣坏である。口縁部は外反して、体部との境に稜を持つ。切り合い関係は 25・28 号住居跡に後続する。出土した土師器坏の器形の特徴や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して６世紀後葉から７世紀前葉の所産であろうが性格は不明である。

28 号土坑（第 59 図、図版 18）

Ｄ－９グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 104 ㎝、短径 77 ㎝、深さ 30 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 84°－Ｗを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや起伏を持つ。

遺物は覆土中から土師器の甕･壷が１点で 7.3 ｇ出土しているが､細片のため図示することは出来なかった。

切り合い関係は 182・186 号ピットに先行する。切り合い関係や出土遺物、遺構の形状などから判断して古墳時代以降の所産であろうが性格は不明である。

29 号土坑（第 59 図、図版 19）

Ｅ－９グリッドに位置する。本跡南側 1/3 が調査区外である。平面形は楕円形で、長径 70 ㎝、短径 27 ㎝以上、深さ 20 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 81°－Ｗを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。遺物は出土していない。

切り合い関係は 17 号住居跡に後続する。遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して６世紀後葉以降の所産であろうが性格は不明である。

34 号土坑（第 59 図、図版 19）

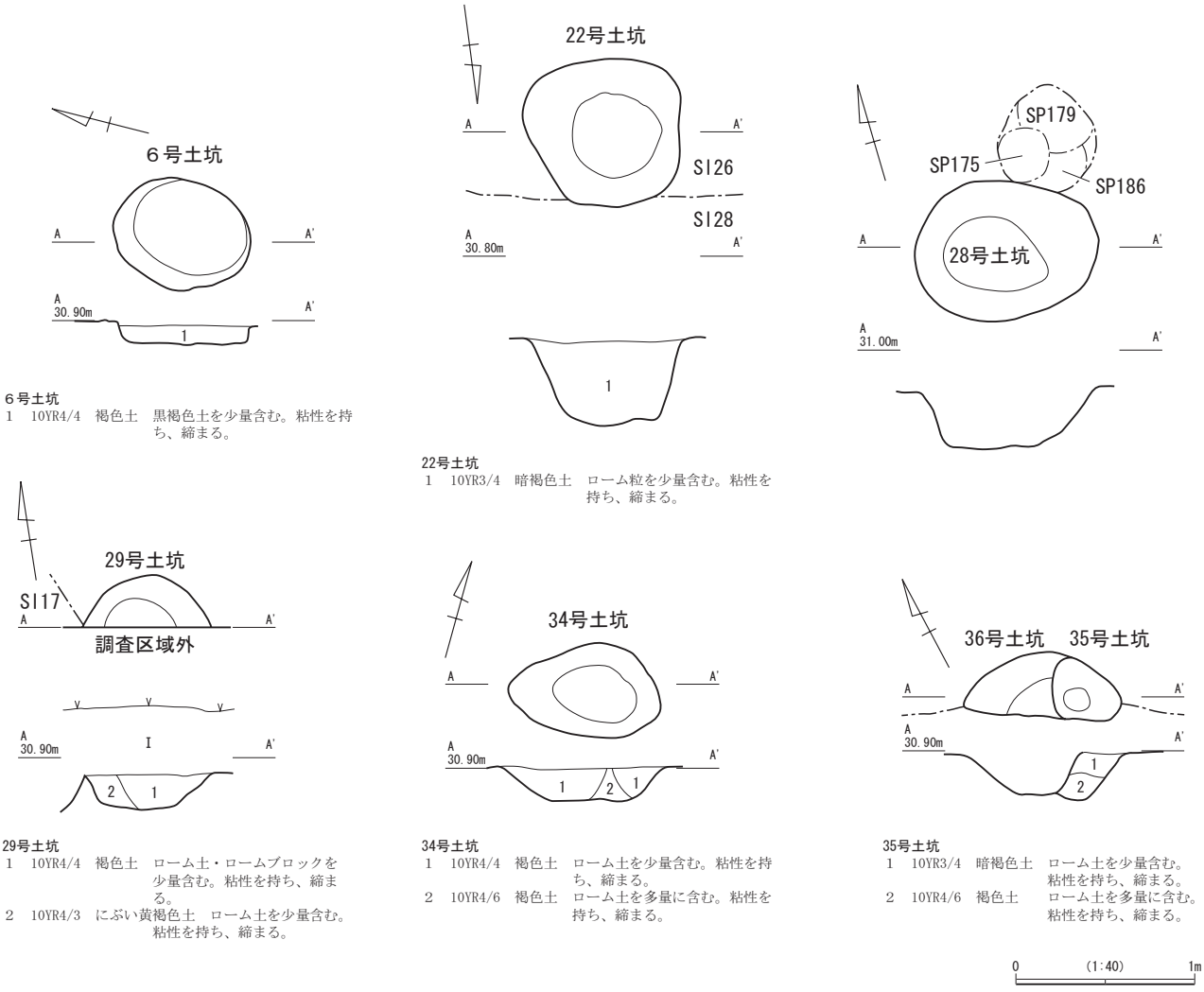
Ｄ－７グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 85 ㎝、短径 51 ㎝、深さ 16 ～ 18 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 81°－Ｅを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から土師器の甕･壷が１点で 6.0 ｇ出土しているが､細片のため図示することは出来なかった。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況から判断して古墳時代以降の所産であろうが性格は不明である。

35 号土坑（第 59 図、図版 19）

Ｄ－７グリッドに位置する。平面形は不整円形で、長径 40 ㎝、短径 30 ㎝、深さ 26 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 25°－Ｅを示す。断面形は筒状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は丸味を帯びる。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から土師器の甕･壷が１点で 5.2 ｇ出土しているが､細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は 36 号土坑に先行して、38 号住居跡に後続する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して古墳時代以降の所産であろうが性格は不明である。



6号土坑
1　10YR4/4　褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

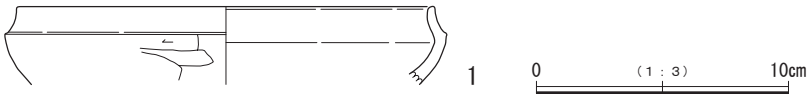
22号土坑
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

29号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

34号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

35号土坑
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

第59図　6・22・28・29・34・35・36号土坑（1：40）



第60図　22号土坑出土遺物

第27表　22号土坑出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(16.6)	－	<3.1>	須恵器模倣坏。口縁部僅かに外反して、体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子	良好	褐灰色	6世紀後葉～7世紀前葉

36号土坑（第59図、図版19）

D－7グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径65㎝、短径44㎝、深さ21㎝を測る。主軸方位はN－59°－Eを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。遺物は出土していない。

切り合い関係は38号住居跡、35号土坑に後続する。遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して古墳時代以降の所産であろうが性格は不明である。

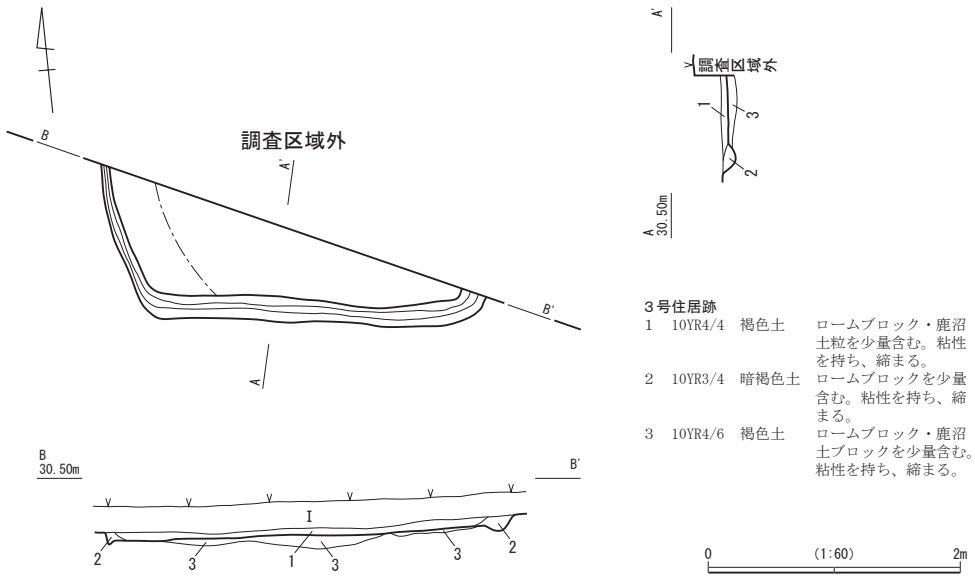
3－5　奈良・平安時代

（1）住居跡

3号住居跡（第 61・62 図、第 28 表、図版 3・21）

Ｂ－２・Ｂ－３グリッドに位置する。本住居跡北側 2/3 が調査区外である。西側 0.5 ｍに２号住居跡、南西側に２ｍに１号住居跡、南東側３ｍで４号住居跡がそれぞれ分布する。平面形は長軸 275 ㎝以上、短軸 125 ㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－６°－Ｅを示す。壁は緩やかに立ち上がり、最大壁高は６㎝ほどを測る。床面は周縁部以外にやや軟弱な貼り床が検出されている。全体的にほぼ平坦である。覆土は２層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅６～ 21 ㎝、深さ３～ 10 ㎝を測り、確認された範囲で全周する。カマドや炉、ピットなどの付帯施設は検出されていない。掘り方は全面に及び、深さ１～ 10 ㎝を測り、やや起伏を持つ。

遺物は覆土中などから、４点で 42.0 ｇの遺物が出土した。内訳は、土師器の坏は１点、甕・壷が２点、高坏が１点出土している。このうち土師器坏１点及び壷１点を図示することが出来たが、土師器の壷は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は口縁部が外反する土師器の坏である。出土した土師器坏の口縁部形状や覆土の状況などから判断して９世紀～ 10 世紀の所産であろう。



第 61 図　３号住居跡（１：60）

第 62 図　３号住居跡出土遺物

第 28 表　３号住居跡出土遺物観察表

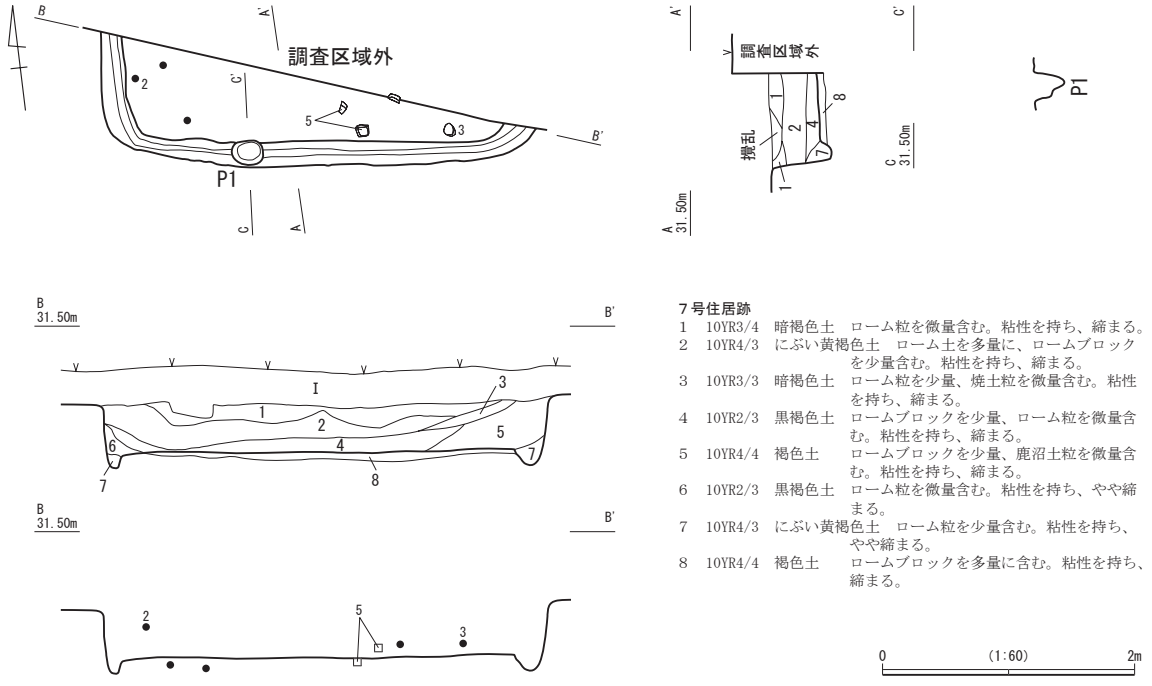
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(14.0)	－	<1.8>	内黒坏。口縁部僅かに外反、内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	９世紀～ 10 世紀代

７号住居跡（第 63・64 図、第 29・30 表、図版 4・23）

Ｃ－５グリッドに位置する。本住居跡北側が 3/4 が調査区外である。東側１ｍに８号住居跡が分布する。平面形は長軸 345 ㎝以上、短軸 115 ㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－８°－Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 40 ㎝ほどを測る。床面は全面に貼り床が検出されている。覆土は７層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 15 ～ 20 ㎝、深さ 10 ～ 15 ㎝を測り、確認された範囲では全周する。ピットは１基検出されたが､その位置から主柱穴ではないであろう。カマドや炉は検出されなかった。掘り方は全面に及び、深さ１～８㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中などから、55 点で 892.3 ｇの遺物が出土した。内訳は、弥生土器は壷が５点、須恵器は坏が４点、土師器は坏が 10 点、高台付坏が３点、甕・壷が 27 点、平瓦は２点、焼成土塊は１点出土している。このうち土師器の坏や高台付坏、甕、平瓦を５点図示することが出来たが、弥生土器の壷は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は内黒の土師器坏である。内面は横方向のミガキが施される。２は底部が突出する土師器の坏である。内面に黒色付着物が確認される。３は内黒の土師器高台付坏である。見込み部に多方向ミガキが施され、体部外面文字種不明の墨書が確認できる。４は常総型の土師器甕である。５は凸面に長縄圧痕が確認できた平瓦である。

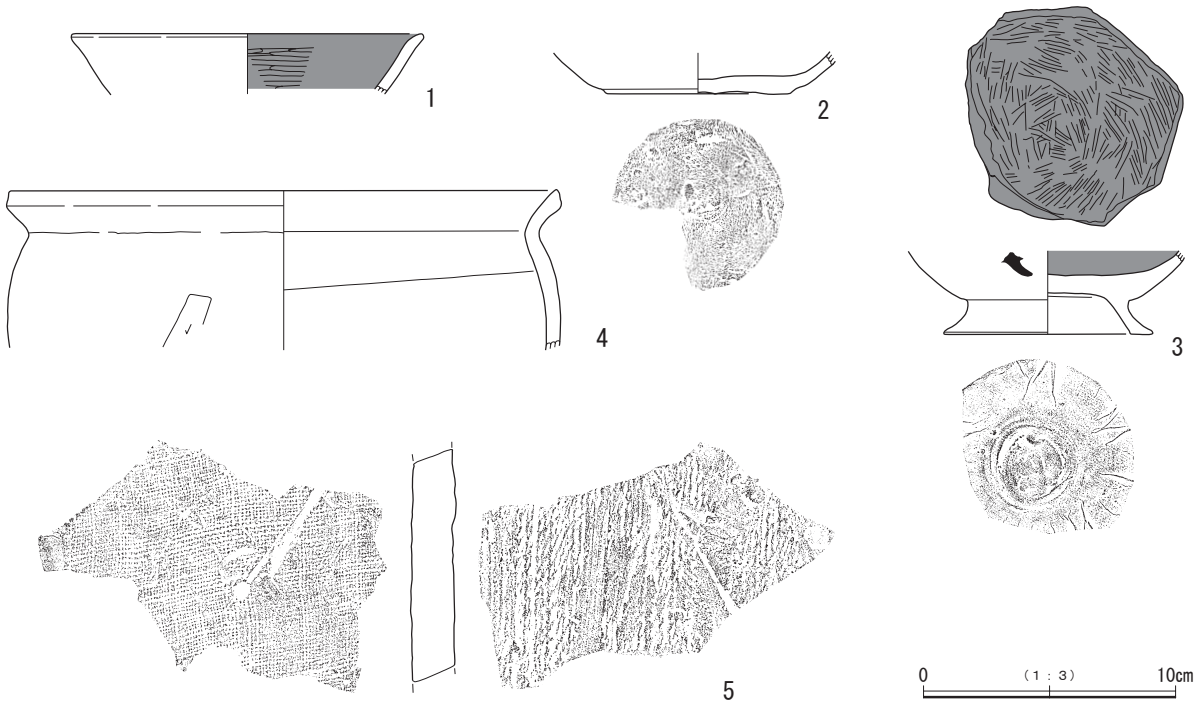
出土した土師器の坏や高台付坏の器形の特徴や覆土の状況などから判断して９世紀後葉から 10 世紀前葉の所産であろう。



第 63 図　７号住居跡（１：60）

第 29 表　７号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	南側	楕円形	24	19	24	筒状	垂直	平坦			



第 64 図　７号住居跡出土遺物

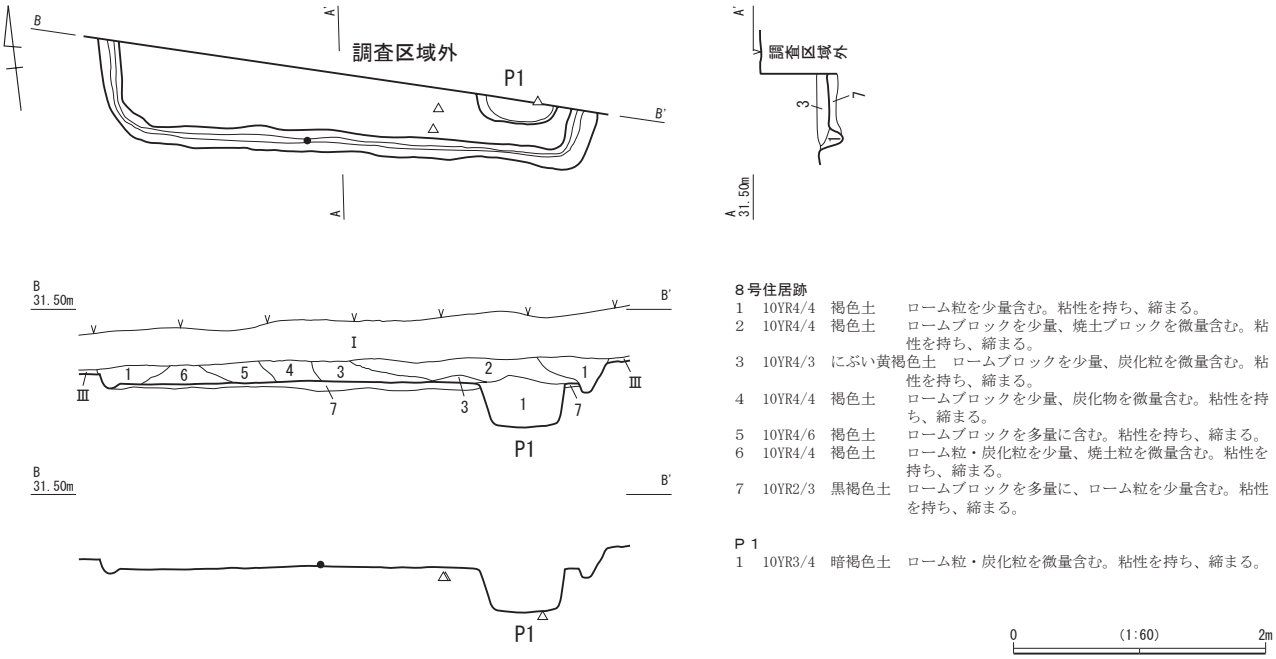
第 30 表　７号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(14.0)	－	<2.4>	内黒坏。口縁部僅かに外反、内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	９世紀後葉～ 10 世紀前葉
2	土師器	坏	底部	20	－	(7.2)	<1.7>	底部やや突出する。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。見込み部ナデ。	白色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	底部内面黒色付着物少量
3	土師器	高台付坏	体部～底部	30	－	(8.2)	<3.3>	内黒高台付坏。高台部大きく開く。体部外面下端回転ヘラケズリ。底部外面左回転ヘラ切り離し後丁寧なナデ、見込み部多方向ミガキ。	白･黒･赤色粒子･白雲母片	良好	にぶい橙色	体部外面文字種不明の墨書
4	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(21.7)	－	<6.3>	常総型甕。口唇部上方に摘み出す。内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	暗灰黄色	
5	瓦	平瓦	右側部	10	長さ <11.5>	幅 <14.5>	厚さ 1.6	凸面長縄圧痕後ナデ。凹面ナデ。右側面面取り１回。	白・赤色粒子・石英粒・小礫・白雲母片	良好	橙色	

８号住居跡（第 65 図、第 31 表、図版 4）

Ｃ－５・Ｃ－６グリッドに位置する。本住居跡北側が 3/4 が調査区外である。西側１ｍに７号住居跡、東側 0.2 ｍで９号住居跡、南側２ｍで 10 号住居跡がそれぞれ分布する。平面形は長軸 397 ㎝以上、短軸 77 ㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－９°－Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 18 ㎝ほどを測る。床面は全面に貼り床が検出されている。覆土は６層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 11 ～ 18 ㎝、深さ２～７㎝を測り、確認された範囲では全周する。ピットは１基検出されたが、その位置などから主柱穴ではないであろう。カマドや炉は検出されなかった。掘り方は全面に及び、深さ１～８㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中などから、48 点で 2561.0 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が２点、弥生土器は壷が３点、須恵器は坏が５点、土師器は坏が 14 点、甕・壷が 19 点、焼成土塊は２点、礫は３点出土しているが、すべて細片のため図示出来なかった。出土遺物や覆土の状況などから判断して９世紀代の所産であろう。



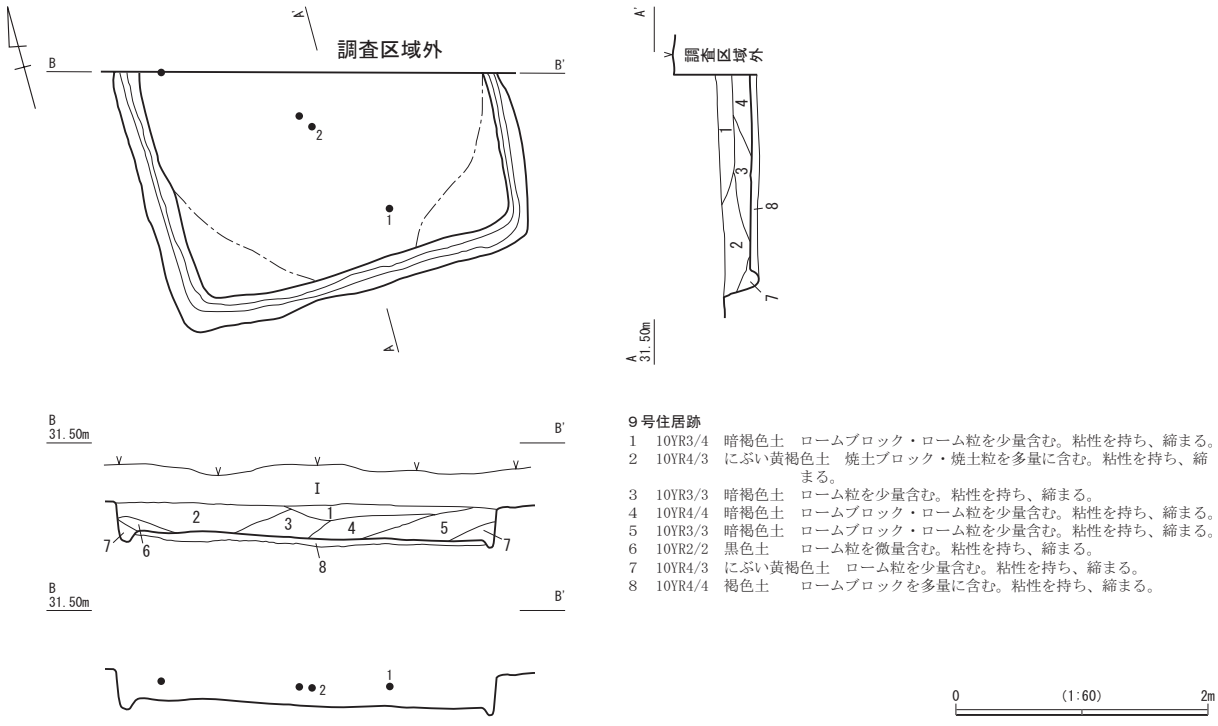
第 65 図　8号住居跡（1：60）

第 31 表　8号住居跡ピット一覧表

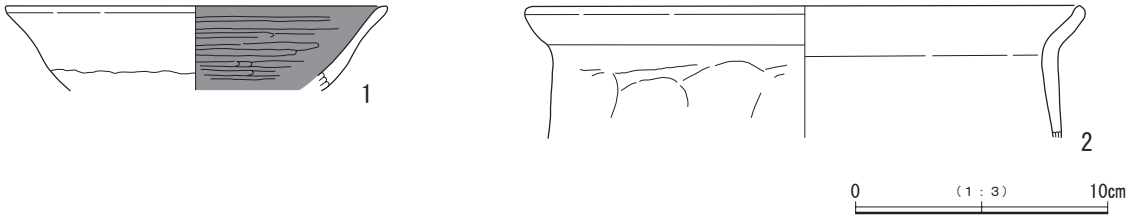
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	南側	隅丸方形	65	18以上	40	箱状	急角度	平坦			北側 1/2 が調査区外

9号住居跡（第 66・67 図、第 32 表、図版 4・23）

C－6 グリッドに位置する。本住居跡北側が 1/2 が調査区外である。西側 0.2 mに 8 号住居跡、東側 2 mで 12 号住居跡、南側 3 mで 1 号溝、南西側 1 mで 11 号住居跡がそれぞれ分布する。平面形は長軸 301 ㎝、



第 66 図　9号住居跡（1：60）



第 67 図　９号住居跡出土遺物

第 32 表　９号住居跡出土遺物観察表

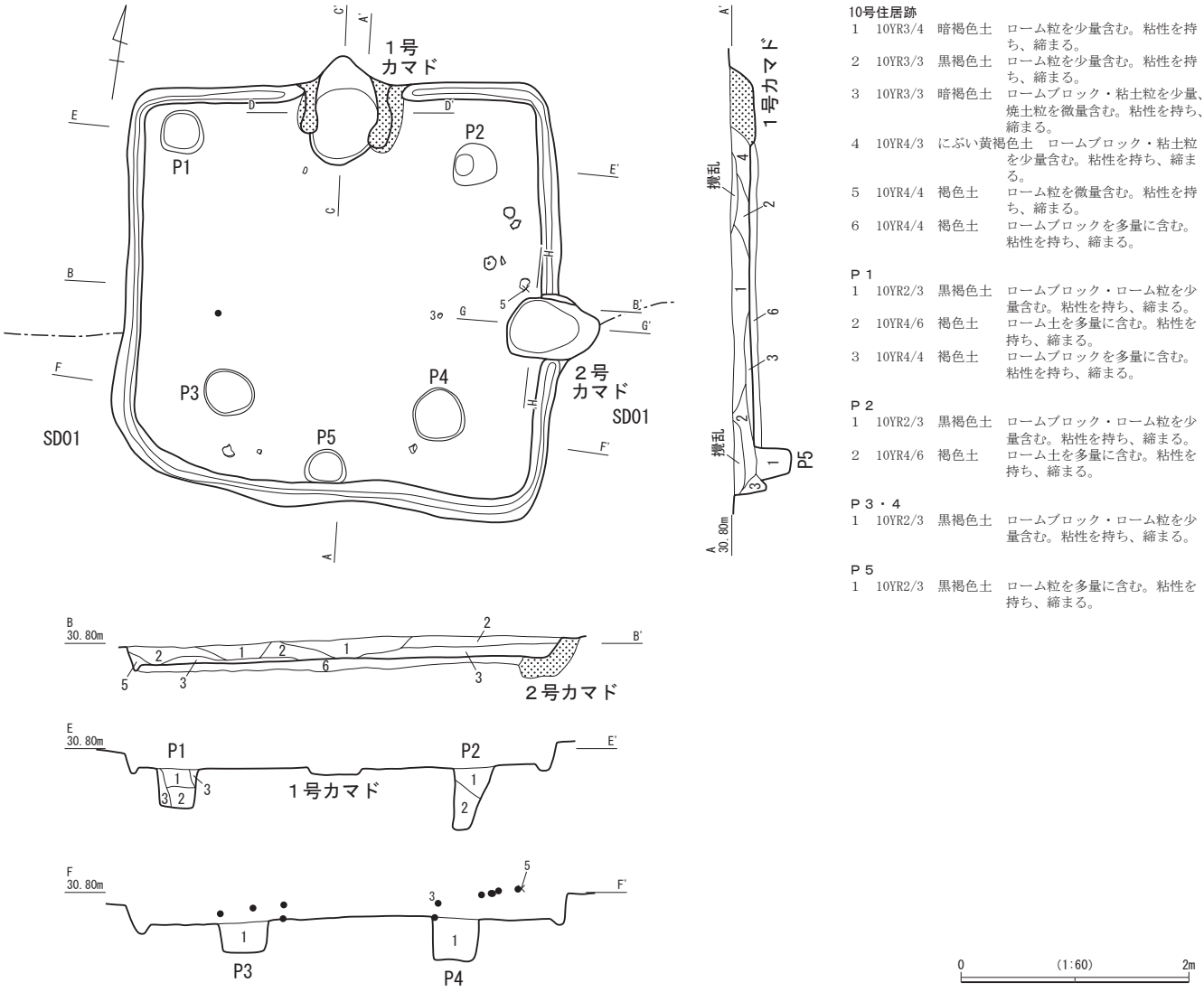
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	20	(15.0)	－	<3.5>	内黒坏。口縁部上端外反。内外面ヨコナデ。体部内面横方向ミガキ。	白色粒子	良好	橙色	口縁部から体部上位の外面黒色化 10 世紀中葉～後葉
2	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	(22.0)	－	<5.2>	常総型甕。口唇部斜上方に摘み出す。口縁部大きく外反。内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白・赤色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	オリーブ褐色	

短軸 218 ㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－１°－Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 26 ㎝ほどを測る。床面は住居跡隅部分以外に貼り床が検出されている。覆土は７層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅９～ 21 ㎝、深さ４～７㎝を測り、確認された範囲では全周する。カマドや炉、ピットなどの付帯施設は検出されなかった。掘り方は全面に及び、深さ５～７㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中などから、74 点で 715.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が１点、弥生土器は壷が３点、須恵器は坏が４点、高台付坏が１点、鉢が１点、甕が１点、土師器は坏が 12 点、高台付坏が１点、甕・壷が 46 点、焼成土塊が２点、黒曜石製の二次加工のある剥片は１点、礫は１点出土している。このうち土師器の坏と甕、石器の二次加工のある剥片の３点図示することが出来たが、黒曜石の二次加工のある剥片は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は土師器の口縁部が外反する内黒坏である。内面は横方向ミガキを施される。２は常総型の土師器甕である。出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況などから判断して 10 世紀中葉～後葉の所産であろう。

10 号住居跡（第 68 ～ 71 図、第 33・34 表、図版 4・23）

Ｃ－５・Ｄ－５グリッドに位置する。本住居跡西側 0.4 ｍに 11 号住居跡が分布する。南側で１号溝と重複する。平面形は長軸 378 ㎝、短軸 371 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－７°－Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 28 ㎝ほどを測る。床面は全面に貼り床が検出されている。覆土は５層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 12 ～ 21 ㎝、深さ８㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは５基検出された。本住居跡四隅に位置する P1 ～ 4 が主柱穴と考えられる。また、P5 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。



10号住居跡

1	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR3/3	黒褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロック・粘土粒を少量、焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
4	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ロームブロック・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR4/4	褐色土	ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
6	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ１

1	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR4/6	褐色土	ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ２

1	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR4/6	褐色土	ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ３・４

1	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

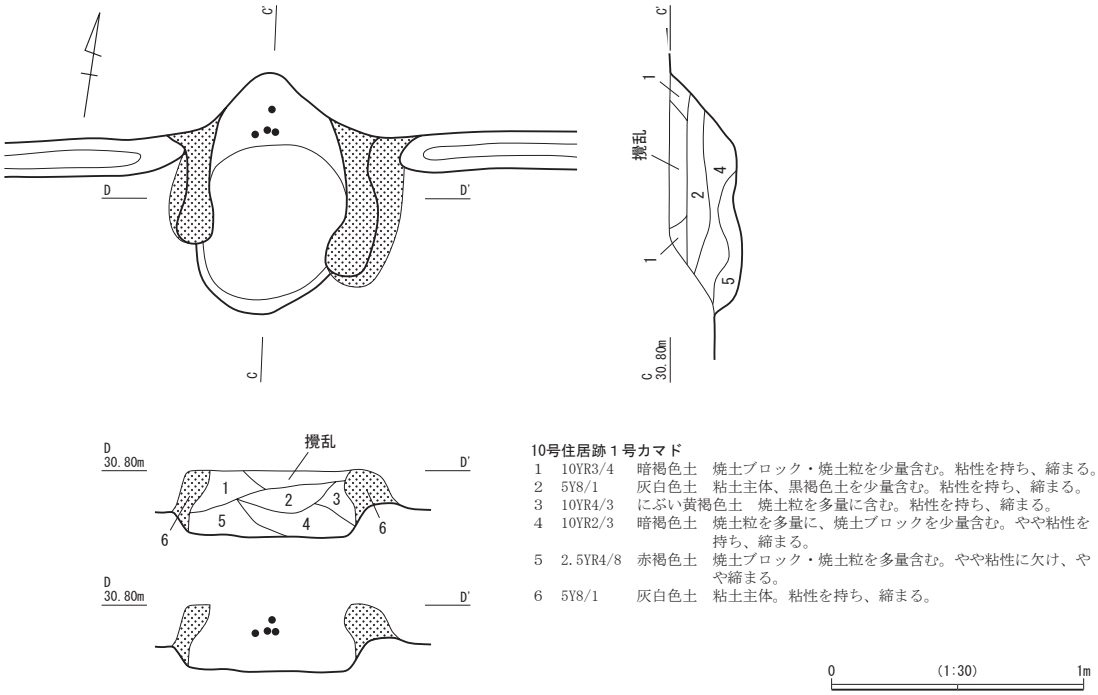
Ｐ５

1	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

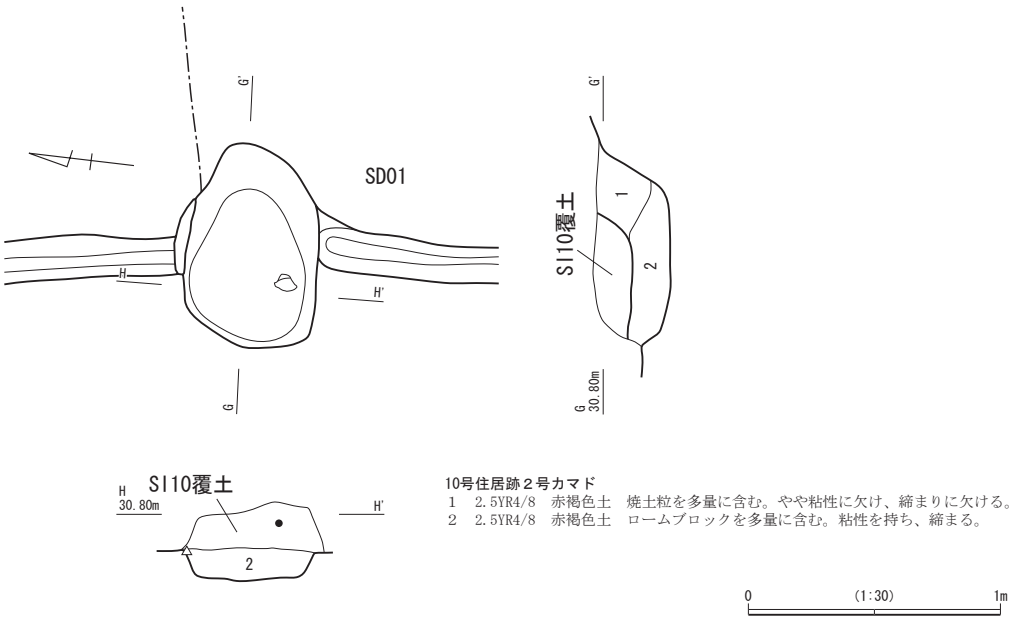
第 68 図　10 号住居跡（１：60）

第 33 表　10 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西隅	不整円形	38	35	35	筒状	垂直	平坦		主柱穴	柱痕あり
P2	北東隅	不整円形	39	35	53	筒状	東側緩やか 西側垂直	平坦		主柱穴	抜き取り痕（東側に倒す）
P3	南西側	不整円形	45	40	25	箱状	垂直	平坦		主柱穴	
P4	南東側	円形	46	－	37	箱状	垂直	平坦		主柱穴	
P5	南側	楕円形	36	29	30	筒状	垂直	平坦		出入口ピット	

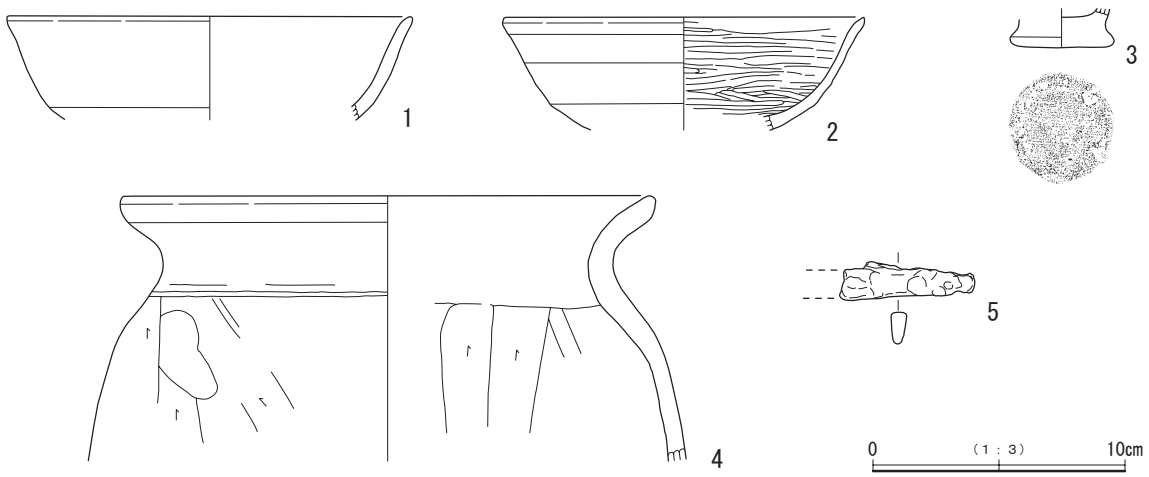


第 69 図　10 号住居跡１号カマド（１：30）



第 70 図　10 号住居跡２号カマド（１：30）

カマドは住居跡北壁中央部及び東壁中央部の２基検出された。北側の１号カマドは東側の２号カマドに後続する。１号カマドは壁外に逆Ｕ字状に 23 cmほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 50 cmを測る。燃焼部は楕円形で長径 96 cm、短径 65 cmを測る。火床面は円形で強く赤化しており、基底部は起伏に富み、深さ８cmほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。２号カマドは住居跡内に造られ、袖部は残存していなかった。しかし、２号カマド北側にカマドと周溝間に長さ 30 cm、幅 20 cmほどの片岩が縦に突き刺した状況で検出されている。燃焼部は楕円形で長径 80 cm、短径 52 cmを測る。



第 71 図　10 号住居跡出土遺物

第 34 表　10 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	20	(15.8)	－	<4.0>	口縁部僅かに外反して、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面ナデ。	赤色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	9 世紀後葉～ 10 世紀前葉
2	土師器	坏	口縁部～体部	30	(14.2)	－	<4.5>	口縁部僅かに外反して、体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。	赤色粒子・白雲母片	良好	黄灰色	9 世紀後葉～ 10 世紀前葉
3	土師器	鉢ヵ	底部	10	－	(3.7)	<1.6>	底部大きく突出、側面外側へ開く。全面ナデ。	白・赤色粒子・石英粒	良好	橙色	9 世紀代
4	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(21.0)	－	<10.5>	常総型甕。口縁部大きく外反して、上端を僅かに上方へ折る。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ後ナデ、内面縦方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
5	鉄製品	刀子	刃部	40	長さ <1.2>	幅 5.3	厚さ 0.6	先端部及び基部欠損。短い。	－	－	－	重量 9.86 g

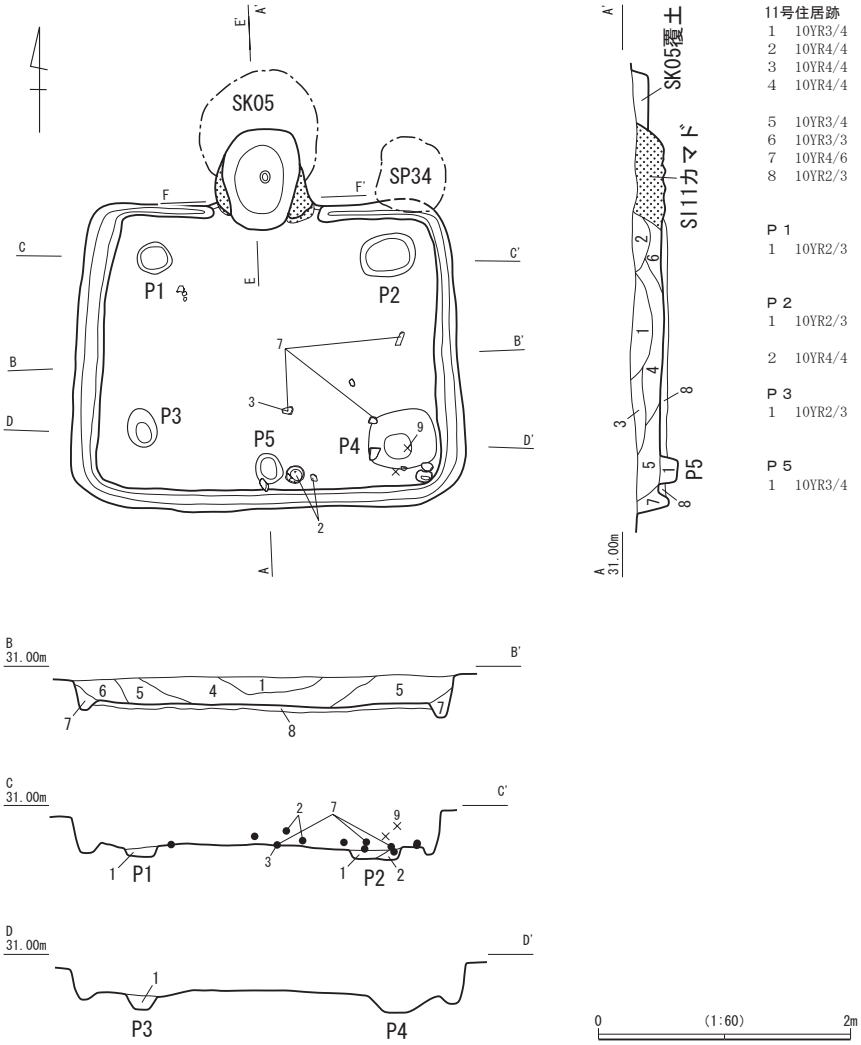
火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部は起伏に富み、深さ 10 ㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は全面に及び、深さ 4 ～ 10 ㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中やカマドなどから、398 点で 5262.3 g の遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 36 点、弥生土器は壷が 62 点、須恵器は坏が 9 点、高台付坏が 1 点、鉢が 1 点、蓋が 1 点、土師器は坏が 81 点、埦が 1 点、甕・壷が 181 点、高坏が 9 点、ミニチュア土器の壷が 2 点、鉄製品は刀子が 1 点、片岩片は 6 点、石英塊は 4 点、礫は 3 点出土している。このうち縄文土器の深鉢、弥生土器の壷、須恵器の蓋、土師器の坏や高坏、壷、甕、刀子など 31 点を図示することが出来たが、縄文土器の深鉢、弥生土器の壷、須恵器の蓋、土師器の壷や高坏などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第 9 節に図示することとする。1・2 は体部が僅かに膨らみを持つ土師器坏である。3 は底部大きく突出して、側面が外側へ開く底部を持つ。鉢と思われる。4 は常総型甕である。5 は先端部及び基部欠損する刀子である。切り合い関係は 1 号溝に後続する。

出土した土師器坏の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 9 世紀後葉～ 10 世紀前葉の所産であろう。

11 号住居跡（第 72 ～ 75 図、第 35・36 表、図版 4・5・23・24）

Ｃ－５・Ｃ－６・Ｄ－５・Ｄ－６グリッドに位置する。本住居跡北東側１ｍに９号住居跡、南側 0.2 ｍで１号溝､南西側 0.4 ｍで 10 号住居跡がそれぞれ分布する。北側で５号土坑､北東側で 34 号ピットと重複する。平面形は長軸 312 ㎝、短軸 242 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－２°－Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 21 ㎝ほどを測る。床面は全面に貼り床が検出されている。覆土は７層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 13 ～ 23 ㎝、深さ５～ 11 ㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは５基検出された。本住居跡四隅に位置する P1 ～ 4 が主柱穴と考えられる。また、P5 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。



11号住居跡

1	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR4/4	褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4	10YR4/4	褐色土	ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
7	10YR4/6	褐色土	ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
8	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ１

1	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ２

1	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR4/4	褐色土	ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ３

1	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

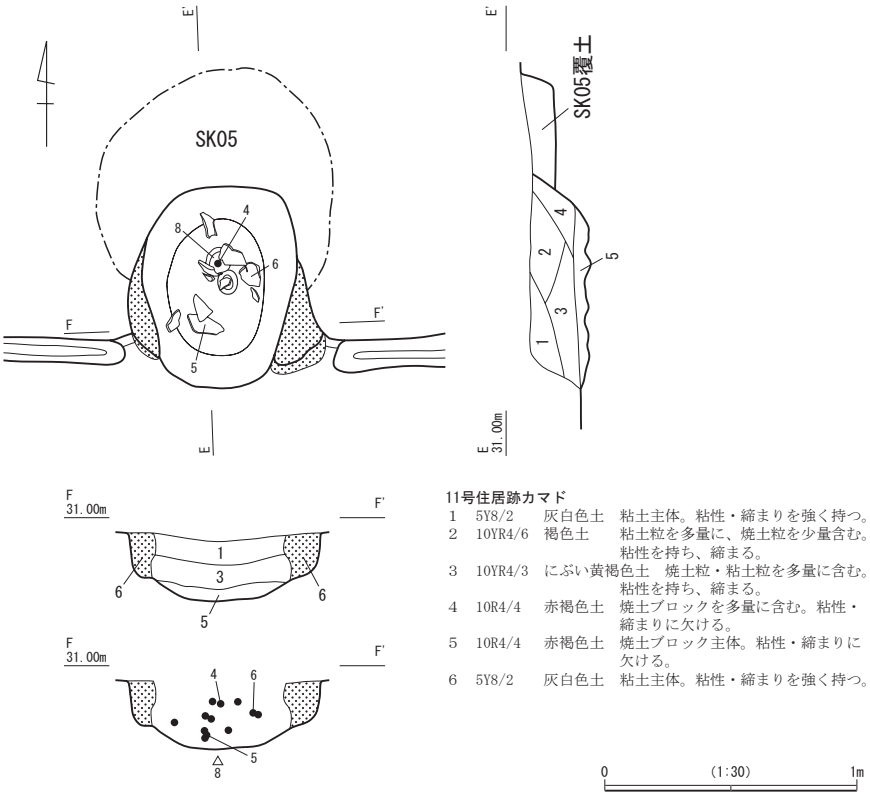
Ｐ５

1	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒・黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

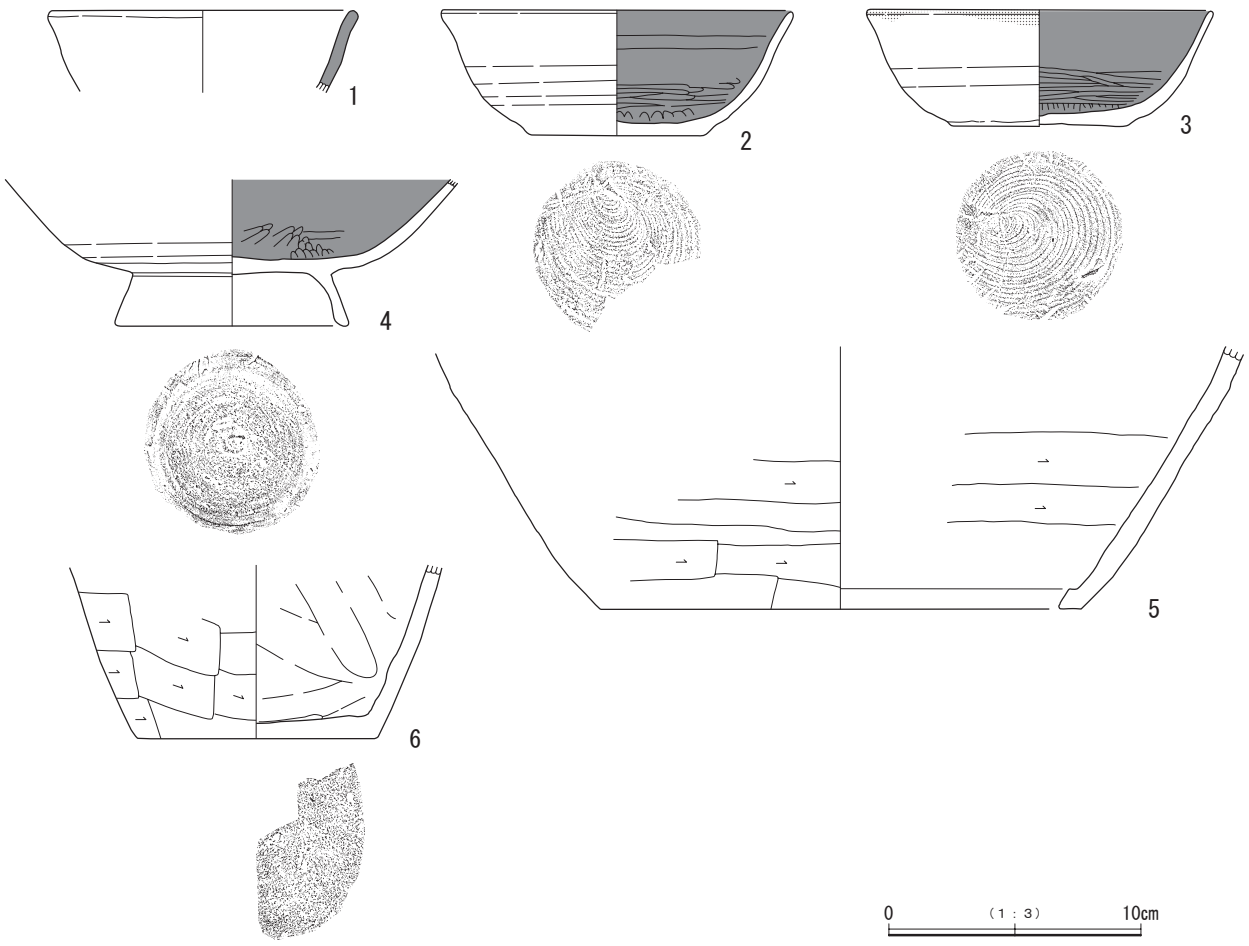
第 72 図　11 号住居跡（１：60）

第 35 表　11 号住居跡ピット一覧表

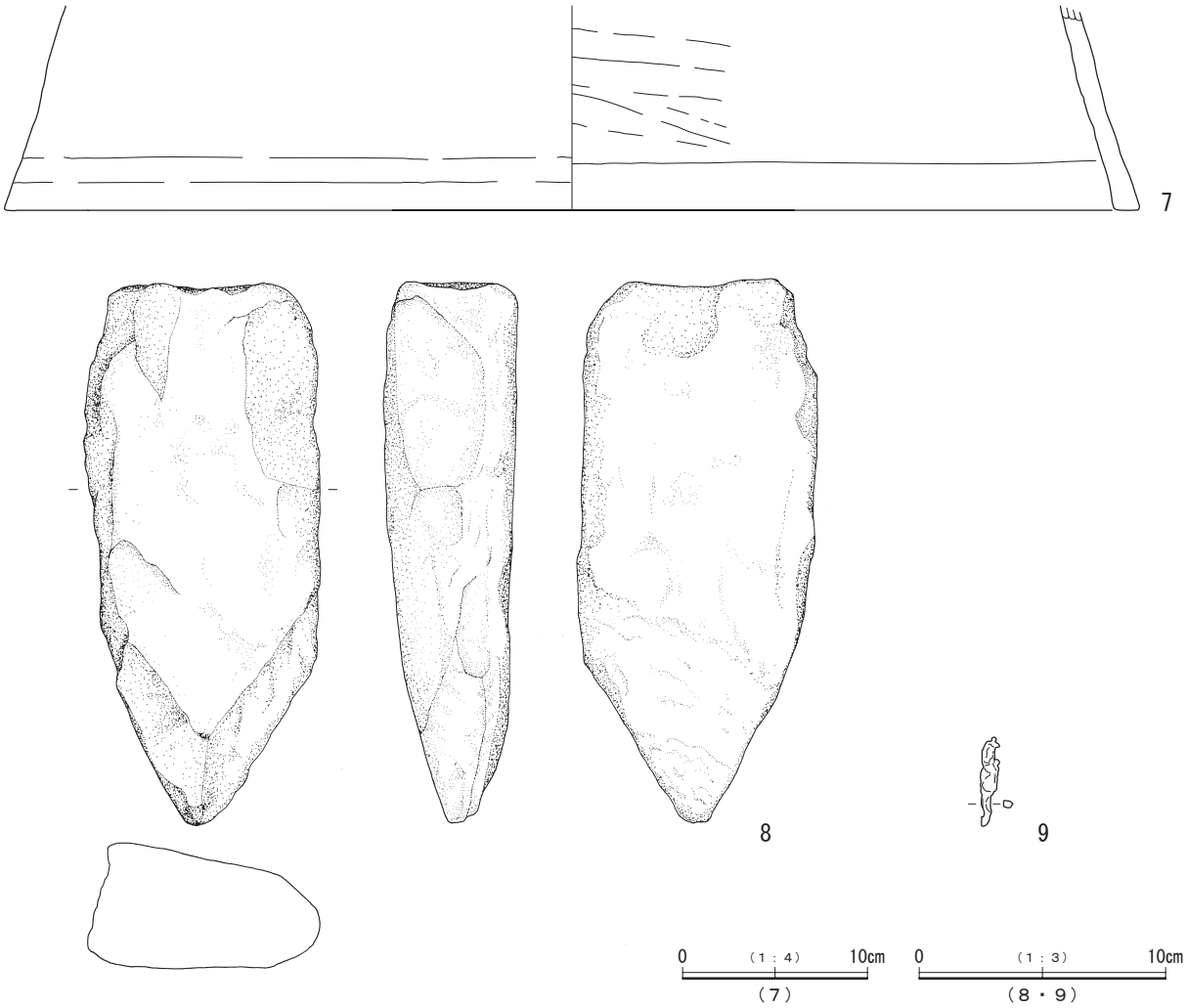
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	不整円形	28	15	8	箱状	急角度	平坦		主柱穴	
P2	北東側	隅丸方形	45	33	8	箱状	急角度	平坦		主柱穴	
P3	南西側	楕円形	30	23	12	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P4	南東側	隅丸方形	54	45	11	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P5	南側中央部	楕円形	24	22	15	箱状	急角度	平坦		出入口ピット	



第 73 図　11 号住居跡カマド（1：30）



第 74 図　11 号住居跡出土遺物（1）



第 75 図　11 号住居跡出土遺物（2）

カマドは住居跡北壁中央部に位置し、壁外に逆Ｕ字状に 61 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 49 ㎝を測る。燃焼部は隅丸方形で長径 80 ㎝、短径 52 ㎝を測る。燃焼部の中央部に石製の支脚が位置する。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部は起伏に富み、深さ４㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は急角度で立ち上がる。基底部の北側に石製支脚が起立している。掘り方は全面に及び、深さ２㎝～５㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中やカマドなどから、347 点で 4984.9 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 23 点、浅鉢が１点、弥生土器は壷が 37 点、須恵器は坏が 12 点、甕が３点、甑が６点、蓋が３点、土師器は坏が 113 点、高台付坏が６点、甑が２点、甕･壷が 132 点、高坏が１点、平瓦は１点、石器はチャート製楔形石器が１点、土製品は移動式カマドが１点、石製品は支脚が１点、鉄製品は釘が１点、石英塊は１点、鉄滓は２点出土している。このうち縄文土器の深鉢や弥生土器の壷、須恵器の坏、土師器の坏や高台付坏、高坏、甑、甕、石器の楔形石器、石製支脚など 17 点を図示することが出来たが、縄文土器の深鉢や弥生土器の壷、土師器の高坏、石器の楔形石器などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は新治窯跡群産の須恵器坏である。２・３は底部糸切り離しの土師器内黒坏である。４は内黒の土師器高台付坏である。５は単孔の土師器甑、６は土師器の甕底部である。７は移動式カマドの胴部から底部片、８

第 36 表　11 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	口縁部～体部	細片	(18.5)	－	<3.2>	口縁部僅かに外反。内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄灰色	新治窯跡群産 10 世紀前葉
2	土師器	坏	口縁部～底部	80	13.8	6.8	5.0	内黒坏。口縁部外反し、体部膨らみを持つ。内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、下端回転ヘラケズリ。内面横方向ミガキ。底部外面左回転糸切り離し後ナデ。見込み部一方向ミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	内面黒色処理 10 世紀前葉～中葉
3	土師器	坏	口縁部～底部	80	13.6	6.8	4.6	内黒坏。体部膨らみを持つ。内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。底部外面左回転糸切り離し後ナデ。見込み部一方向ミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	口縁部外面黒色付着物 内面黒色処理 10 世紀前葉
4	土師器	高台付坏	体部～底部	30	－	9.0	<5.8>	内黒高台付坏。体部外面回転ナデ、下端回転ヘラケズリ、内面横及び斜方向ミガキ。底部外面左回転ヘラ切り離し後未調整、見込み部一方向ミガキ。高台部貼り付け。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	内面黒色処理 10 世紀中葉 カマドから出土
5	土師器	甕	胴部	10	－	(19.0)	<10.4>	胴部外面横方向ヘラケズリ、下端横方向ヘラケズリ。内面横方向ヘラナデ。単孔。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明黄褐色	カマドから出土
6	土師器	甕	胴部～底部	20	－	(9.5)	<6.8>	胴部外面横方向ヘラケズリ、内面横及び斜方向ヘラナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	カマドから出土
7	土製品	移動式カマドヵ	胴部～底部	10	－	(61.4)	<11.1>	胴部外面縦方向ヘラナデ、下端横方向ヘラナデ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片		にぶい橙色	
8	石製品	支脚	－	100	長さ 21.9	幅 9.5	厚さ 5.0	板碑状に割れている片岩の片側を平坦にする。	－	－	－	片岩製 重量 1451.6g
9	鉄製品	釘	頂部～先端部	100	長さ 3.6	幅 0.7	厚さ 0.3	断面四角形、頂部は折り曲げて造る。	－	－	－	重量 1.15 g

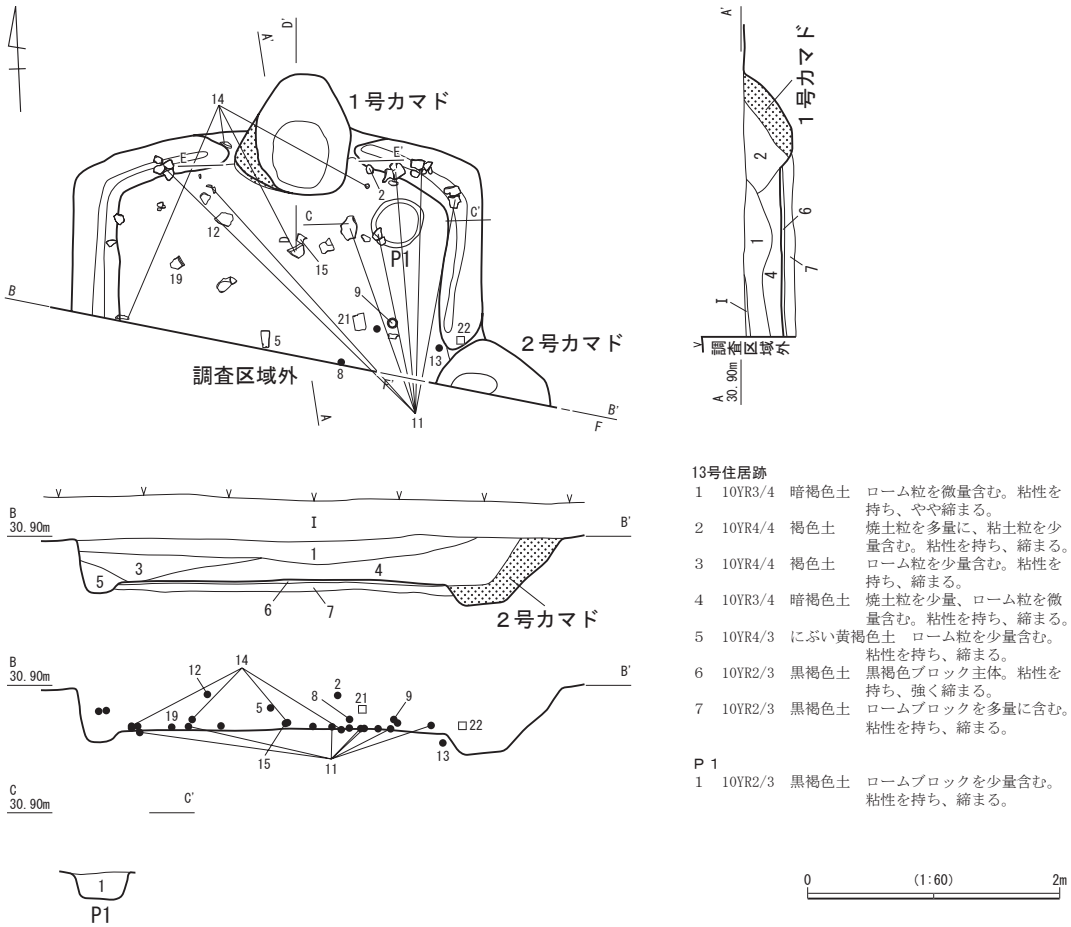
はカマド支脚として使われていた片岩を用いた石製支脚である。9 は鉄製釘で上端部を折り曲げて頂部としている。切り合い関係は 34 号ピットに先行して、5 号土坑に後続する。

出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 10 世紀前葉～中葉の所産であろう。

13 号住居跡（第 76 ～ 81 図、第 37・38 表、図版 5・6・25・26）

Ｄ－６・Ｄ－７グリッドに位置する。本住居跡南側 1/2 が調査区外である。北側３ｍに１号溝、４ｍに 12 号住居跡、北東側 0.1 ｍで 38 号住居跡、東側２ｍで 18 号住居跡がそれぞれ分布する。平面形は長軸 326 ㎝、短軸 197 ㎝以上の方形を呈する。主軸方位はＮ－７° －Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 40 ㎝ほどを測る。床面は全面に厚めの貼り床が検出されている。覆土は５層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 35 ～ 37 ㎝、深さ５～ 12 ㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは１基検出され、北東側に位置する。主柱穴と考えられる。

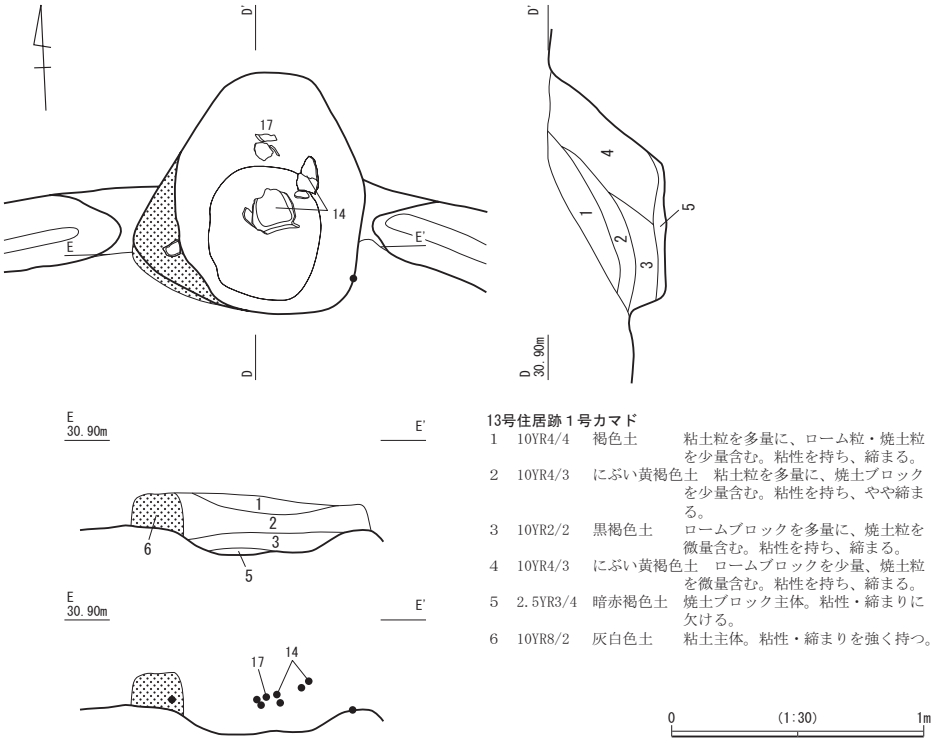
カマドは住居跡北壁中央部及び東壁中央部の２基検出された。北側の１号カマドは東側の２号カマドに後続する。１号カマドは壁外に逆Ｕ字状に 45 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 70 ㎝を測る。燃焼部は楕円形で長径 94 ㎝、短径 82 ㎝を測る。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 14 ㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。２号カマドは南側 1/2 が調査区外で、壁外に逆Ｕ字状に 58 ㎝ほど突出する、袖部は残存していなかった。燃焼



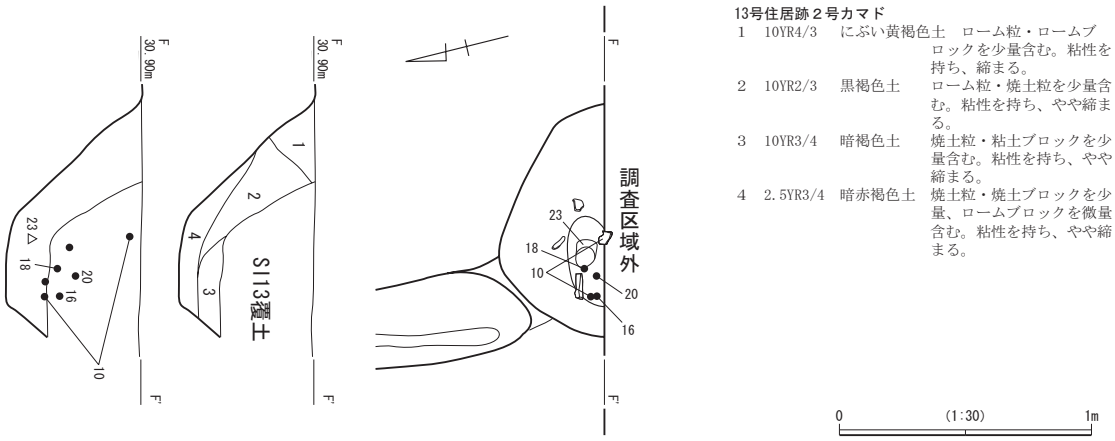
第 76 図　13 号住居跡（１：60）

第 37 表　13 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北東側	円形	43	－	20	箱状	垂直	平坦		主柱穴ヵ	



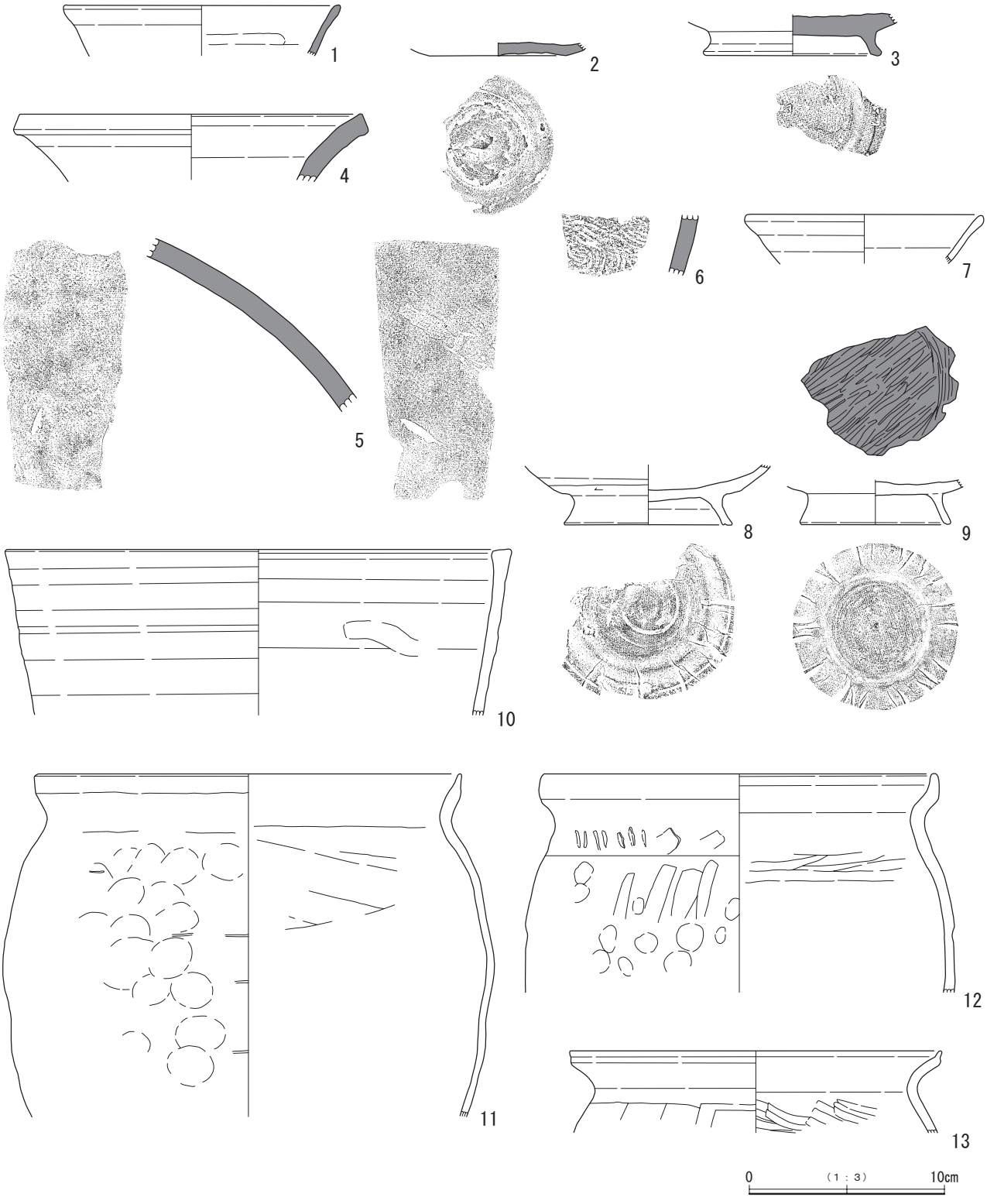
第 77 図　13 号住居跡１号カマド（１：30）



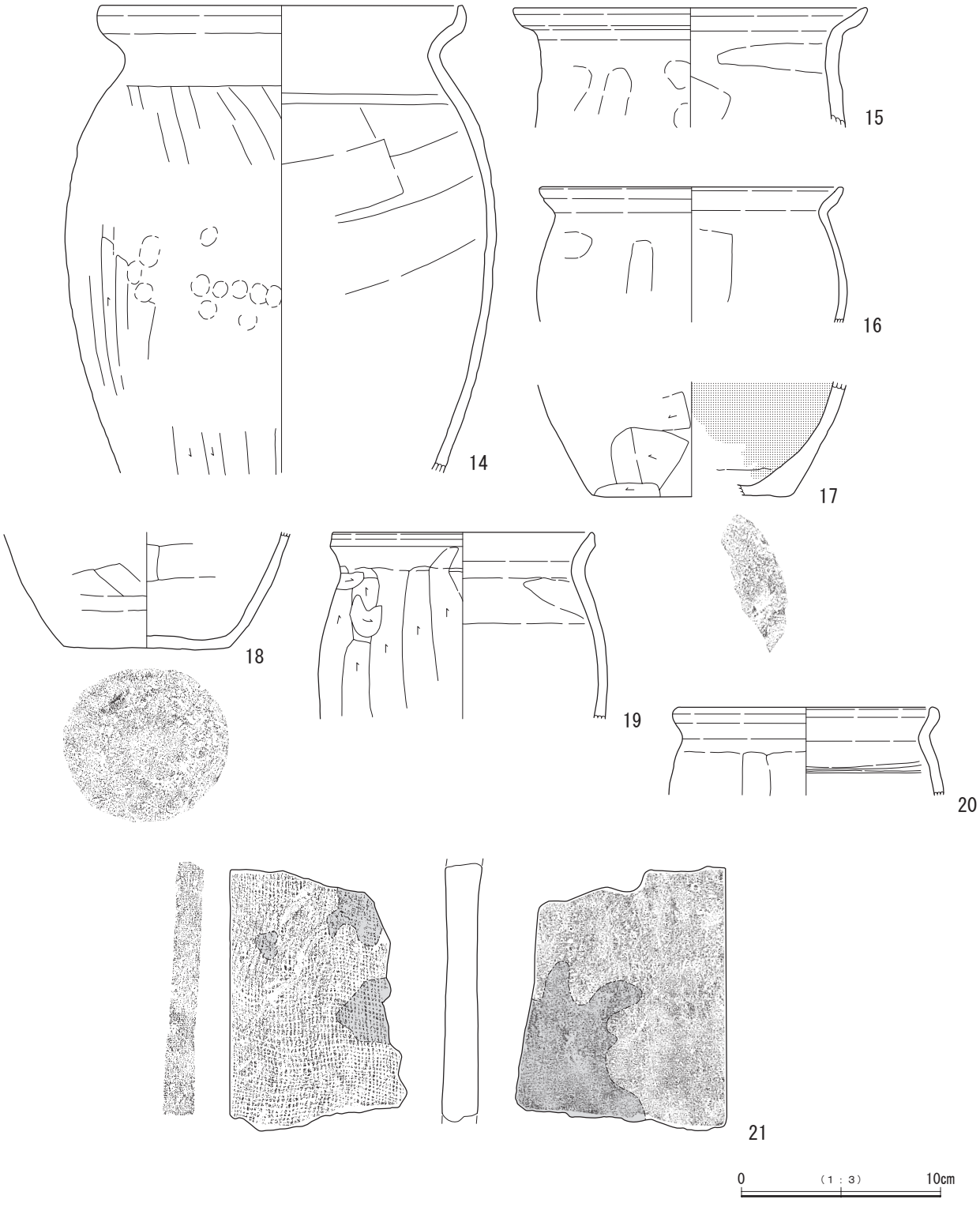
第 78 図　13 号住居跡２号カマド（１：30）

部は楕円形で長径 94 ㎝、短径 43 ㎝以上を測る。火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部は丸みを帯び、深さ 16 ㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。基底部の東側に石製の支脚が位置する。掘り方は全面に及び、深さ７～９㎝を測り、概ね平坦である。

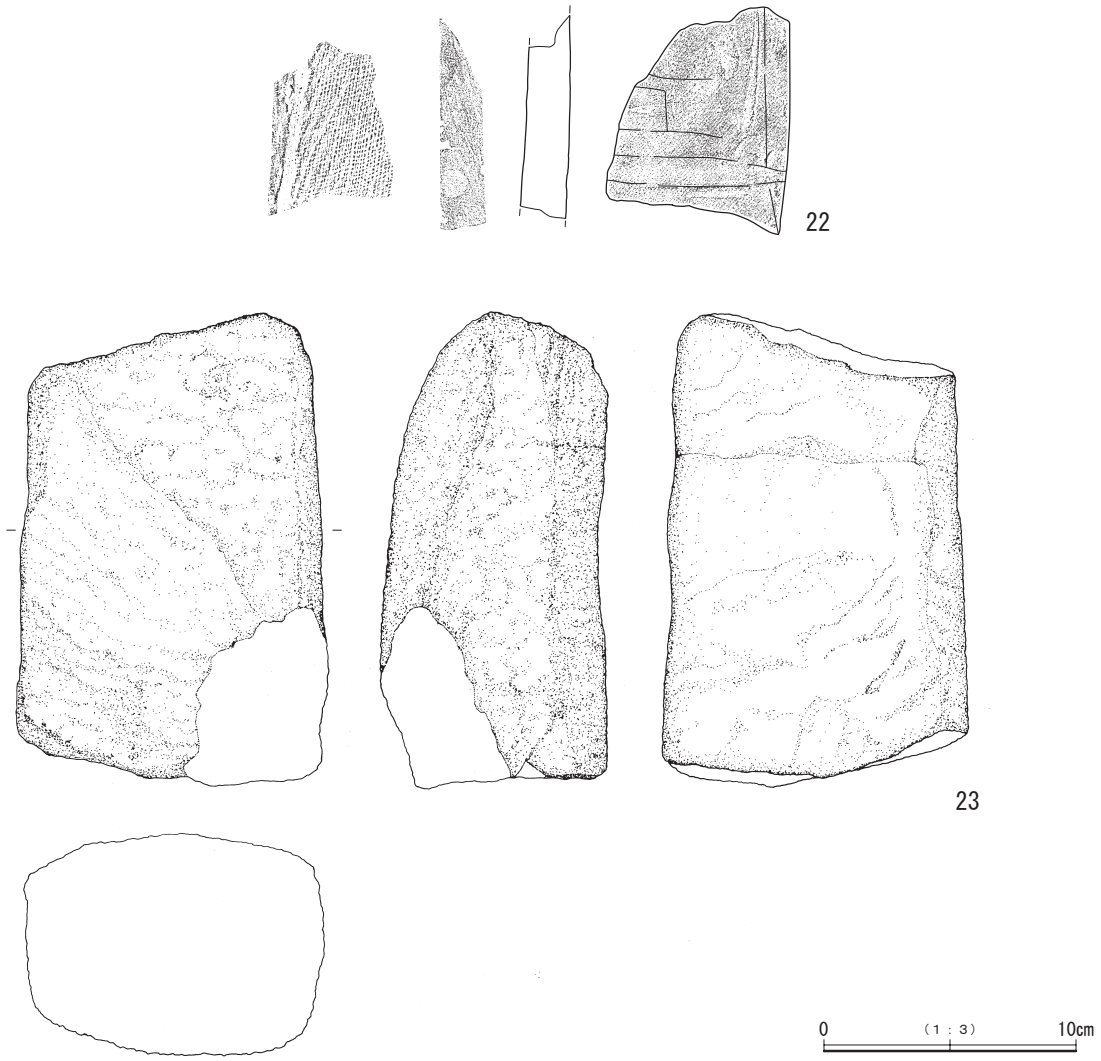
遺物は覆土中やカマドなどから、535 点で 10613.9 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が２点、弥生土器は壷が２点、須恵器は坏が 12 点、高台付坏が２点、甕が８点、鉢が１点、壷が１点、土師器は坏が 80 点、高台付坏が６点、鉢が４点、高坏が 13 点、甕・壷が 399 点、平瓦は２点、石製品は支脚が１点、焼成土塊は２点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の坏、高台付坏、甕、鉢、土師器の坏、高台付坏、鉢、甕・壷、平瓦、石製支脚の 24 点を図示することが出来たが、弥生土器の壷は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１・２は須恵器坏、３は新治窯跡群産の須恵器高台付坏、４は鉢の口縁部、５・６は甕である。５は外面を平行叩き、６は青海波文が確認された。７



第 79 図　13 号住居跡出土遺物（1）



第 80 図　13 号住居跡出土遺物（2）



第 81 図　13 号住居跡出土遺物（3）

第 38 表　13 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(14.0)	－	<2.6>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片	不良	にぶい橙色	新治窯跡群産 9 世紀中葉
2	須恵器	坏	底部	10	－	(7.0)	<0.6>	見込み部左回転のロクロ目顕著。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・白雲母片	不良	明黄褐色	新治窯跡群産
3	須恵器	高台付坏	底部	10	－	(9.0)	<2.1>	見込み部回転ナデ。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け、下端は外側に開がる。	白色粒子・白雲母片	良好	灰黄色	新治窯跡群産
4	須恵器	鉢	口縁部	細片	(17.6)	－	<3.5>	口縁部大きく外反。口唇部平坦で上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	黄灰色	新治窯跡群産
5	須恵器	甕	胴部	細片	－	－	<8.8>	胴部外面斜方向平行叩き後ナデ。内面ナデ、当具痕。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白色針状物質	良好	灰褐色	木葉下窯跡群産
6	須恵器	甕	胴部	細片	－	－	<3.1>	胴部外面青海波文後ナデ。内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産
7	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(12.0)	－	<2.5>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	9 世紀中葉～後葉
8	土師器	高台付坏	体部～底部	30	－	(8.6)	<3.1>	体部外面右回転ヘラケズリ、内面ナデ。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け、接地面に 1 条の沈線。	白色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	
9	土師器	高台付坏	底部	20	－	(7.6)	<2.3>	内黒坏。見込み部一方向ミガキ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け。	白色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
10	土師器	鉢	口縁部～胴部	10	(25.8)	－	<8.5>	ロクロ成形。口縁部外反。口唇部平坦で斜方向へ摘み出す。胴部外面回転ナデ、内面丁寧なナデ。	白・赤色粒子・白雲母片・黒雲母片	良好	橙色	カマドから出土
11	土師器	甕	口縁部～胴部	60	(21.8)	－	<17.9>	常総型甕。口唇部上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、指頭痕。内面斜方向ヘラナデ。	白・赤色粒子・石英粒・砂粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	

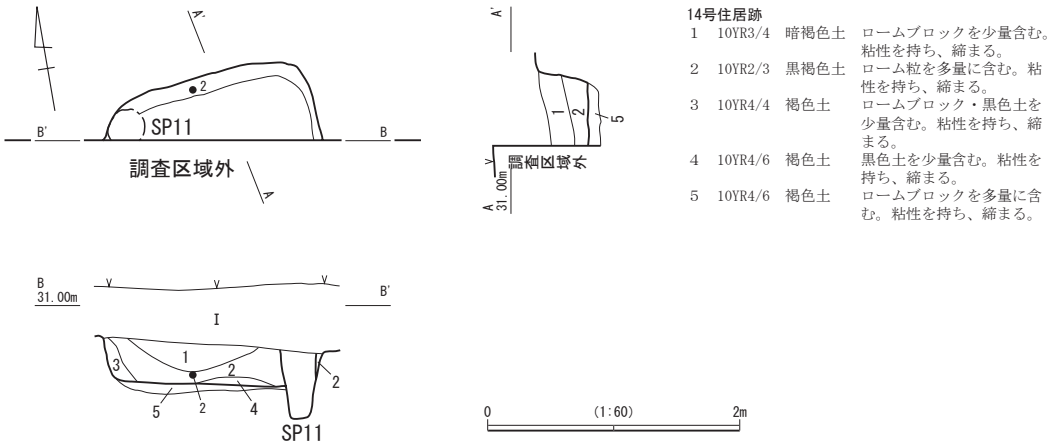
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
12	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(20.0)	－	<11.2>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部肥厚して直立。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、指頭痕、内面斜方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	にぶい橙色	
13	土師器	甕	口縁部	10	(19.0)	－	<4.2>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部斜上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面斜方向ヘラナデ。	白・赤色粒子	良好	にぶい黄橙色	カマドから出土
14	土師器	甕	口縁部～胴部	50	(18.1)	－	<23.5>	常総型甕。口唇部上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面上位斜方向ヘラケズリ後ナデ、指頭痕、下位縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	カマドから出土
15	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(17.6)	－	<6.0>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部斜上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、指頭痕、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	明褐色	
16	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(15.8)	－	<6.8>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部斜上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面斜方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	カマドから出土
17	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(10.0)	<5.7>	胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	褐灰色	胴部内面黒色付着物多量 カマドから出土
18	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(8.4)	<5.7>	胴部外面多方向のヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ、底部内面横方向ヘラナデ後丁寧なナデ、外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	カマドから出土
19	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(13.0)	－	<9.3>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
20	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(12.6)	－	<4.3>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部肥厚して上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向強いヘラナデ。	白色粒子・金雲母片	良好	灰褐色	カマドから出土
21	瓦	平瓦	左側部	20	長さ<13.0>	幅<10.7>	厚さ1.8	凸面横方向ヘラナデ後ナデ。凹面布目。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	橙色	23と同一個体 凹面に赤色付着物少量
22	瓦	平瓦	右側部	10	長さ<8.0>	幅<7.0>	厚さ1.8	凸面横方向ヘラナデ後ナデ、周縁部縦方向ヘラナデ。凹面布目。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	橙色	22と同一個体 カマドから出土
23	石製品	支脚	－	100	長さ19.5	幅12.2	厚さ8.7	縦長礫の両端を打ち欠き、面とする。	－	－	－	輝石安山岩製 重量3322.1g

は土師器の坏、８・９は土師器の高台付坏で、９は内黒である。10は土師器の鉢、11～16は常総型の甕、口縁部～胴部である。17・18は土師器の甕、胴部～底部である。19・20は常総型の甕であるが、口径が小さいため、壷となる可能性を持つが、今回は甕として報告する。21・22は凸面ヘラナデ調整の平瓦である。胎土や色調から同一個体であろう。23の輝石安山岩製の石製支脚は２号カマドに据えられていたものである。出土した須恵器の坏や土師器の坏、甕の特徴や覆土の状況などから判断して９世紀中葉～後葉の所産であろう。

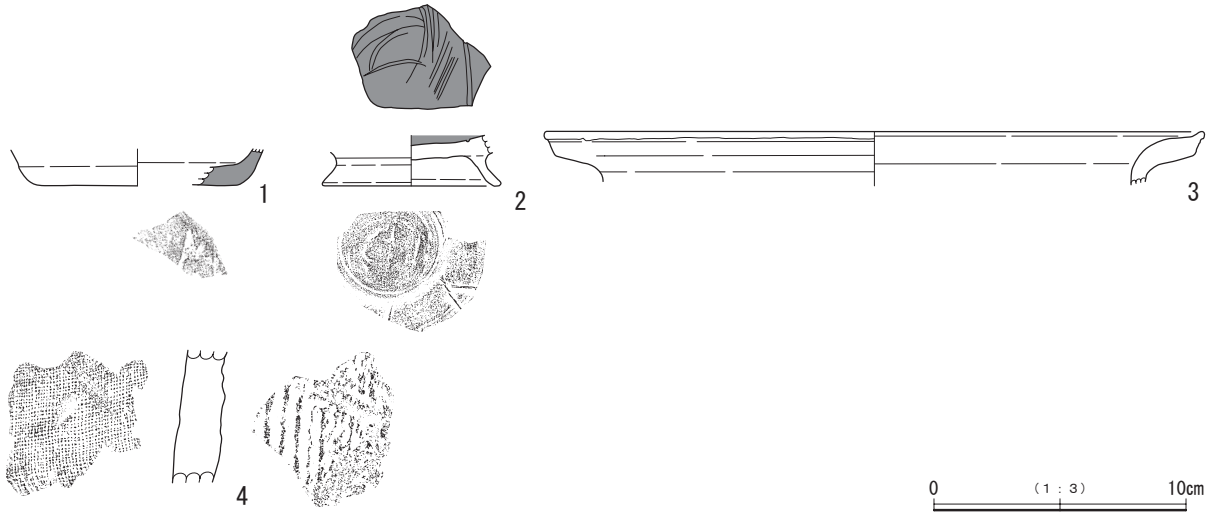
14号住居跡（第82・83図、第39表、図版6・26）

Ｄ－８・Ｅ－８グリッドに位置する。本住居跡南側2/3が調査区外である。西側で11号ピットと重複する。平面形は長軸167㎝以上、短軸62㎝以上の隅丸方形を呈する。主軸方位はＮ－５°－Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は40㎝ほどを測る。床面は地山を硬化させて床面としている。覆土は４層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝を含めカマドや炉、ピットなどの付帯施設は検出されていない。掘り方は全面に及び、深さ２～８㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中から、46点で417.5ｇの遺物が出土した。内訳は、須恵器は坏が１点、鉢が１点、土師器は坏が９点、高台付坏が１点、甕・壷が31点、高坏が２点、平瓦は１点出土している。このうち須恵器の坏、土師器の高台付坏、甕、平瓦の４点図示することが出来た。１は新治窯跡群産の須恵器坏である。２は内土師器の黒高台付坏、見込み部は多方向ミガキを施される。３は土師器の常総型甕であるが、内面に赤彩と思われる部分が確認される。４は凸面が長縄圧痕を施される平瓦である。切り合い関係は11号ピットに後続する。出土した須恵器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して９世紀～10世紀の所産であろう。



第 82 図　14 号住居跡（ 1 : 60 ）



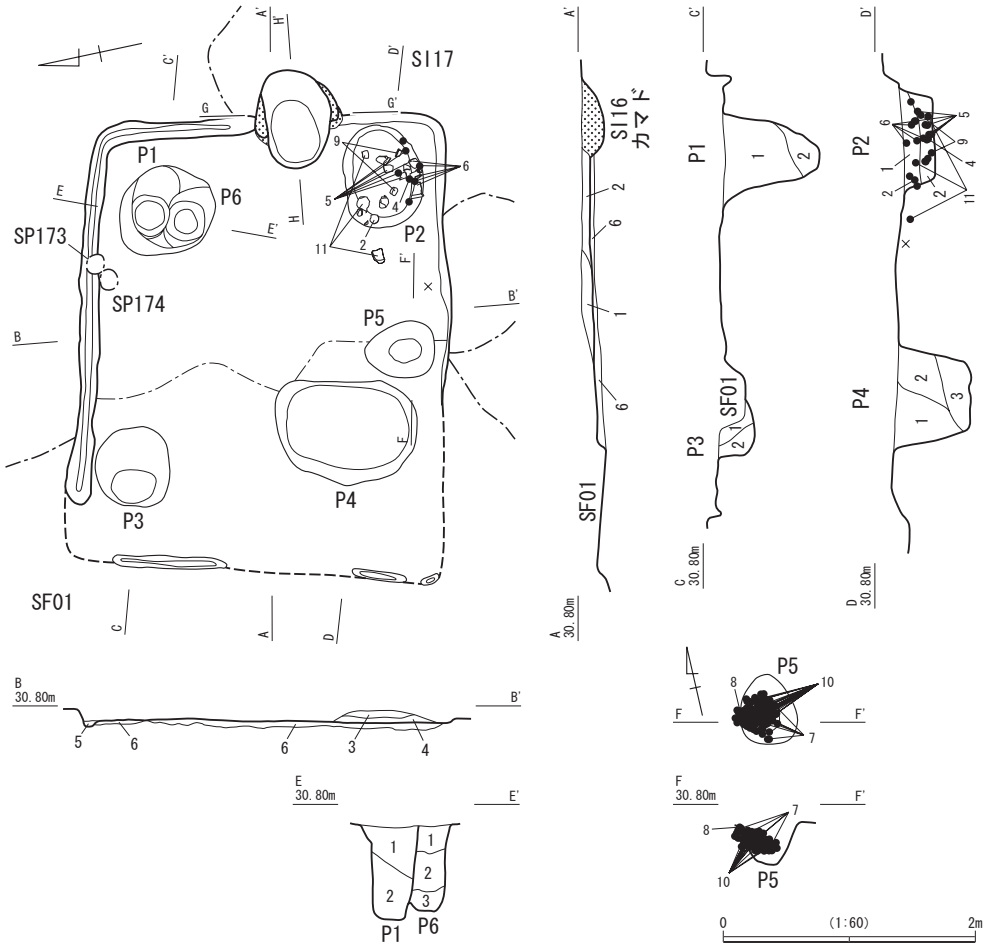
第 83 図　14 号住居跡出土遺物

第 39 表　14 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	体部～底部	細片	－	(8.0)	<1.4>	体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面切り離し技法不明、ナデ。	白・黒色粒子・白雲母片	良好	灰白色	新治窯跡群産
2	土師器	高台付坏	底部	細片	－	(7.0)	<2.0>	内黒高台付坏。見込み部多方向ミガキ。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け。	白色粒子・砂粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
3	土師器	甕	口縁部	細片	(26.0)	－	<2.1>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部外側に摘み出す。内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい橙色	内面赤彩ヵ
4	瓦	平瓦	基部	細片	長さ 5.2	幅 7.0	厚さ 1.8	凸面長縄圧痕、凹面布目。	白色粒子・石英粒・小礫	良好	黄灰色	

16 号住居跡（第 84 ～ 87 図、第 40・41 表、図版 6・26・27）

Ｄ－９・Ｅ－９グリッドに位置する。本住居跡北側３ｍに 15 号住居跡、東側３ｍに１号溝がそれぞれ分布する。西側で１号道路状遺構、南側で 17 号住居跡、北側で 173・174 号ピットと重複する。平面形は長軸 352 ㎝、短軸 288 ㎝の長方形を呈する。主軸方位はＮ－ 74°－Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がると思われるが、西側は１号道路状遺構により上面が床面下まで削平され、最大壁高は東側の 13 ㎝ほどを測る。床面は西側が削平されているが、東側の全面に貼り床が検出されている。覆土は５層に分けられ、自然な埋没



16号住居跡

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　焼土粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
6　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P1・2

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P3

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P4

1　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/6　褐色土　ローム土主体。粘性を持ち、やや締まる。

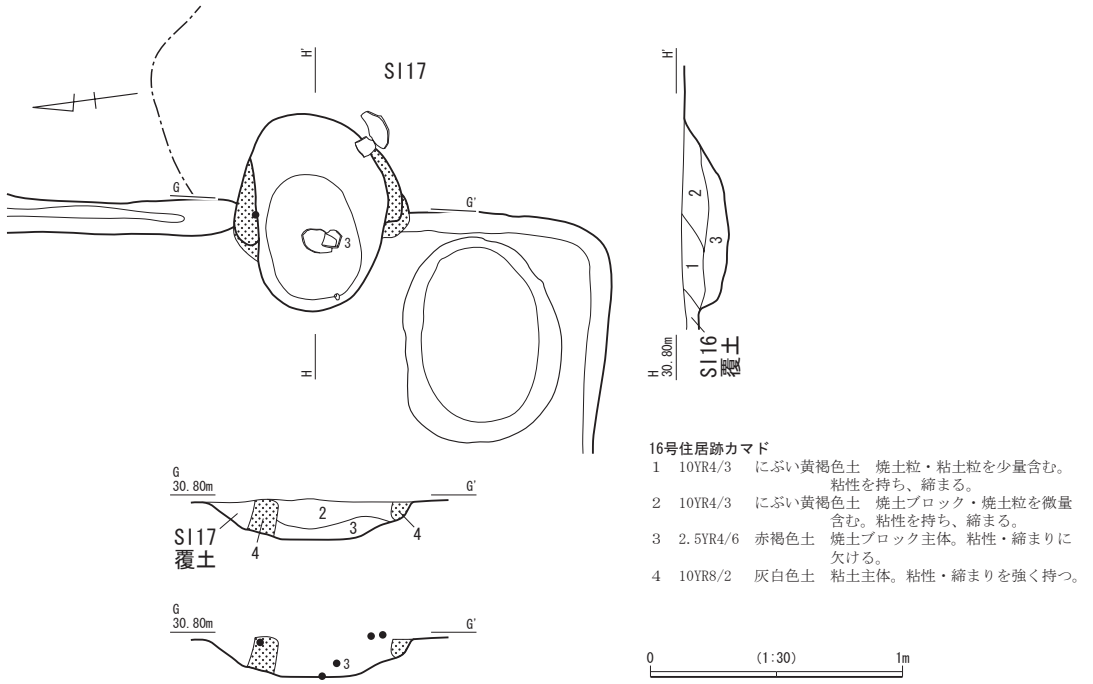
P6

1　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

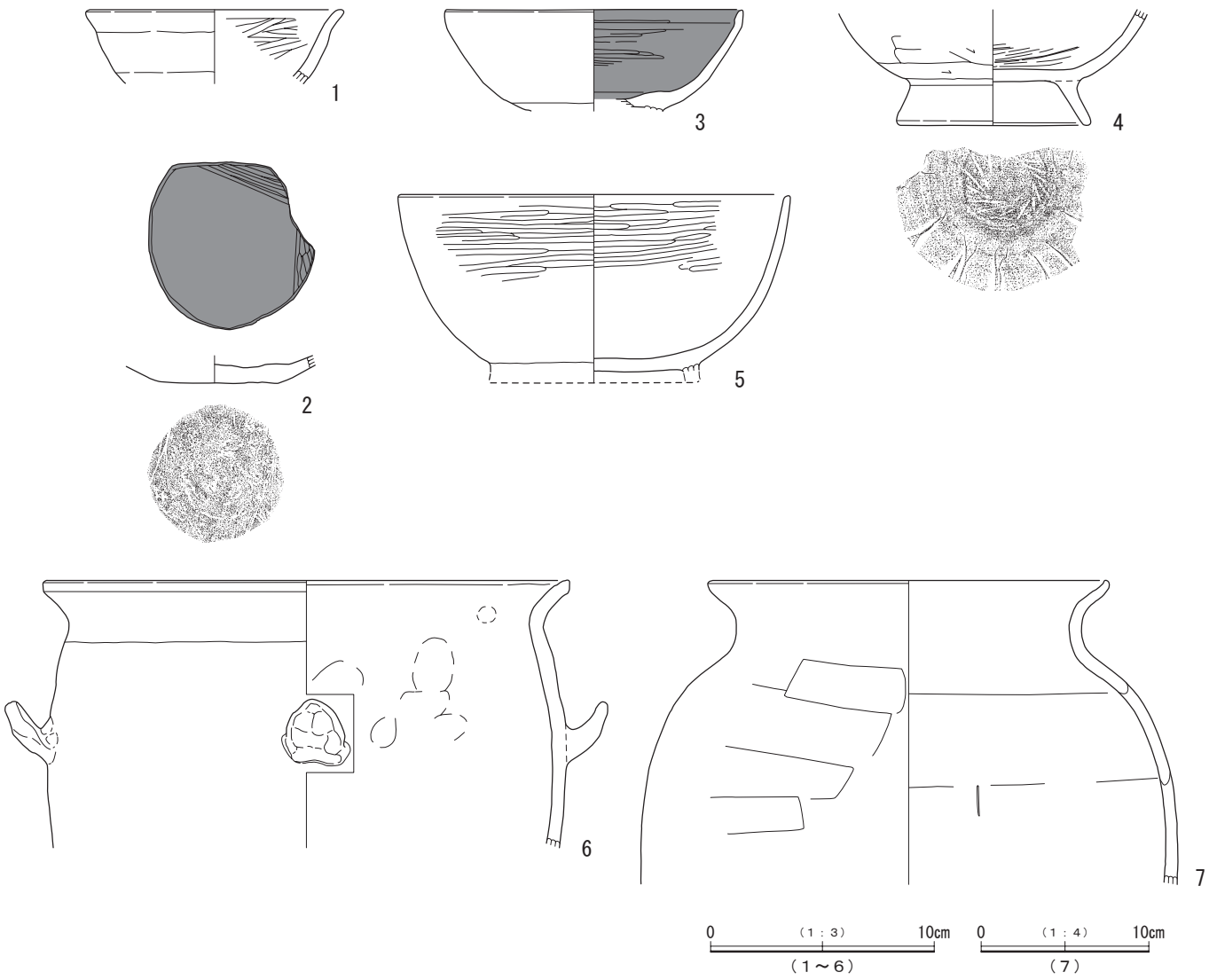
第84図　16号住居跡（1：60）

第40表　16号住居跡ピット一覧表

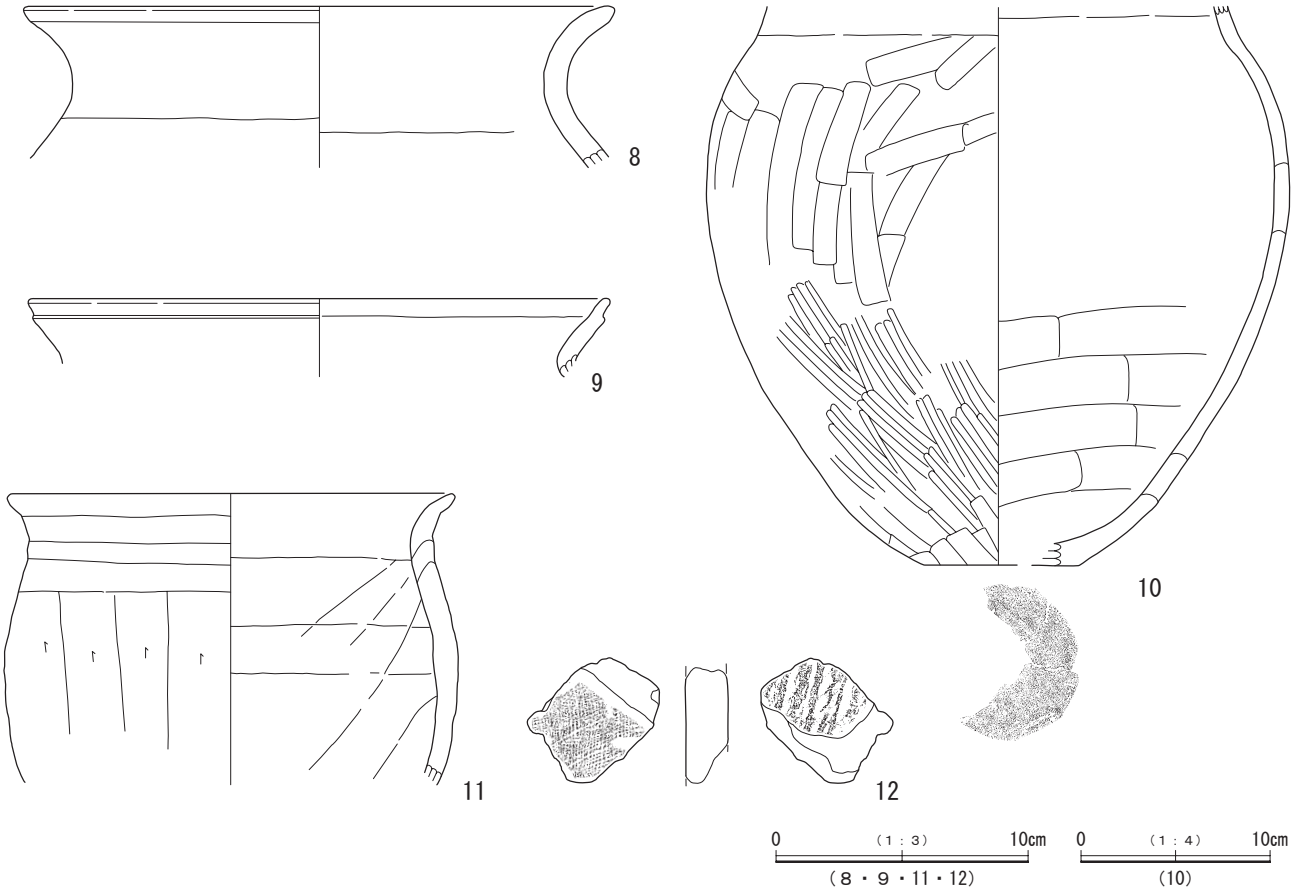
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北東側	円形	45	－	75	有段筒状	垂直	平坦	SI16P6に後続	主柱穴	P6と建て替え
P2	南東側	楕円形	82	61	24	逆台形状	急角度	平坦		主柱穴	遺物多量に出土
P3	北西側	不整円形	62	59	35	筒状	垂直	丸味		主柱穴	
P4	南西側	隅丸方形	112	82	58	逆台形状	急角度	平坦		主柱穴	貯蔵穴を伴う可能性
P5	南側	楕円形	54	44	38	筒状	緩やか	丸味		出入口ピット	遺物多量に出土
P6	北東側	円形	30	－	64	筒状	垂直	丸味	SI16P1に先行	主柱穴	P1と建て替え



第 85 図　16 号住居跡カマド（1：30）



第 86 図　16 号住居跡出土遺物（1）



第 87 図　16 号住居跡出土遺物（2）

第 41 表　16 号住居跡出土遺物観察表

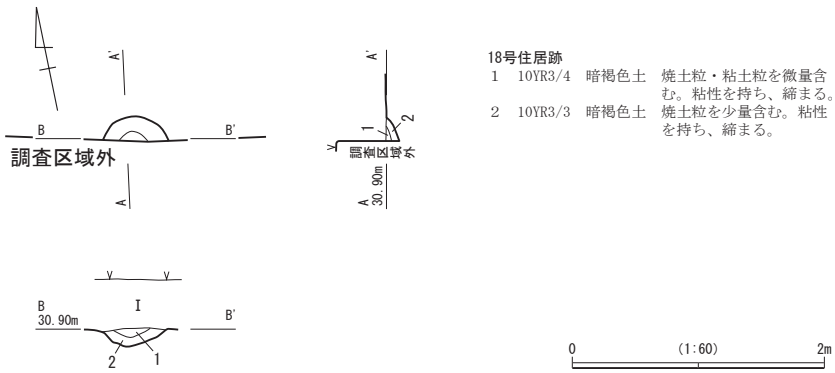
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	10	(11.2)	−	<3.3>	ロクロ成形。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	9 世紀～ 10 世紀代 P2 から出土
2	土師器	坏	体部～底部	20	−	5.1	<0.8>	内黒坏。体部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部ナデ、底部外面切り離し技法不明、ナデ。	白・赤色粒子・金雲母片	良好	にぶい黄褐色	P2 から出土
3	土師器	高台付坏	口縁部～底部	20	(13.2)	−	<4.5>	内黒高台付坏。高台部欠損。体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ、底部外面欠損。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	10 世紀中葉
4	土師器	高台付坏	体部～底部	30	−	(8.5)	<5.2>	体部膨らみを持つ。体部外面下端右回転ヘラケズリ、内面横方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ、底部外面左回転ヘラ切り離し後未調整。高台部貼り付け。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄褐色	10 世紀前葉～中葉 P2 から出土
5	土師器	高台付埦	口縁部～体部	40	17.3	−	<7.9>	高台部欠損。体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部多方向ミガキ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子	良好	にぶい黄褐色	10 世紀中葉 P2 から出土
6	土師器	甑ヵ	口縁部～胴部	30	(23.9)	−	<12.0>	常総型。口縁部大きく外反、口唇部斜上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後丁寧なナデ、内面横方向ヘラナデ。胴部外面上位に手づくねの把手貼り付け。	白色粒子・砂粒・白雲母片	良好	橙色	P2 から出土
7	土師器	甕	口縁部～胴部	40	(23.5)	−	<18.1>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部斜上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面横方向ヘラナデ後ナデ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	P5 から出土
8	土師器	甕	口縁部	10	(23.1)	−	<6.4>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部斜上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	P5 から出土
9	土師器	甕	口縁部	細片	(22.3)	−	<3.1>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	褐色	P2 から出土
10	土師器	甕	胴部～底部	60	−	(7.8)	<30.5>	常総型甕。胴部外面上位斜方向ヘラケズリ、下位斜方向ミガキ。内面横方向ヘラナデ後ナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄橙色	P5、P6 から出土

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
11	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(17.5)	－	<11.5>	口縁部短く外反、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子･チャート粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい橙色	P2 から出土
12	瓦	平瓦	基部	細片	長さ 5.0	幅 5.3	厚さ 1.7	凸面長縄圧痕、凹面布目。	白色粒子・石英粒・砂粒	良好	灰白色	

状況を示すと思われる。周溝は幅 11 ～ 15 ㎝、深さ 4 ～ 12 ㎝を測り、本住居跡南側や南東側、カマド部分を除き全周する。ピットは 6 基検出された。本住居跡四隅に位置する P1 ～ 4 及び 6 が主柱穴と考えられる。P1 は P6 に後続することから、建て替えが行なわれた可能性が高い。また、P4 は土坑状の平面・断面形を持ち、貯蔵穴の可能性も否定できない。しかし、位置関係から今回はピットとして報告する事とする。また、P5 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。

カマドは住居跡東壁中央部で検出され、壁外に逆Ｕ字状に 34 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 49 ㎝を測る。燃焼部は楕円形で長径 77 ㎝、短径 55 ㎝を測る。火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 9 ㎝ほどの皿状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は浅く全面に及び、深さ 1 ～ 5 ㎝を測り、概ね平坦である。遺物は覆土中やカマドなどから、424 点で 7785.2 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 2 点、弥生土器は壷が 10 点、須恵器は坏が 5 点、甕が 1 点、土師器は坏が 40 点、高台付坏が 3 点、高台付埦が 9 点、甑が 5 点、甕・壷が 347 点、鉄製品は釘が 1 点、平瓦が 1 点出土している。このうち弥生土器の壷、土師器の坏、高台付坏、高台付埦、甑、甕･壷、平瓦の 16 点を図示することが出来たが、弥生土器の壷などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第 9 節に図示することとする。１・２は土師器の坏で、２は内黒である。３・４は内面横方向ミガキ、見込み部一方向ミガキが施される土師器の高台付坏で、３は内黒である。５は内面横方向ミガキ、見込み部多方向ミガキが施される土師器の高台付埦である。６は胴部に把手貼り付ける土師器甑と思われる器種である。７～ 11 は土師器の甕であるが、７～ 10 は常総型、11 は素口縁の甕である。12 は凸面に長縄圧痕が施される平瓦である。住居跡内 P5 より７・８・10 の土師器の甕が多量に投棄された様相で出土している。切り合い関係は 1 号道路状遺構、173・174 号ピットに先行して、17 号住居跡に後続する。

出土遺物や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 10 世紀前葉～中葉の所産であろう。



第 88 図　18 号住居跡（ 1：60 ）

18 号住居跡（第 88 図、図版 7）

Ｄ－７グリッドに位置する。本住居跡はカマド煙道部分のみの検出である。北側 0.5 ｍに 38 号住居跡、西側２ｍに 13 号住居跡がそれぞれ分布する。平面形は長径 51 ㎝以上、短径 20 ㎝以上の円形を呈する。主軸方位はＮ－ 13°－Ｅを示す。壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられる。本住居跡についてはその他の状況は不明である。遺物は出土していない。

カマドの存在から古墳時代から平安時代の所産であろうが、詳細は不明である。

19 号住居跡（第 89・90 図、第 42・43 表、図版 7・27）

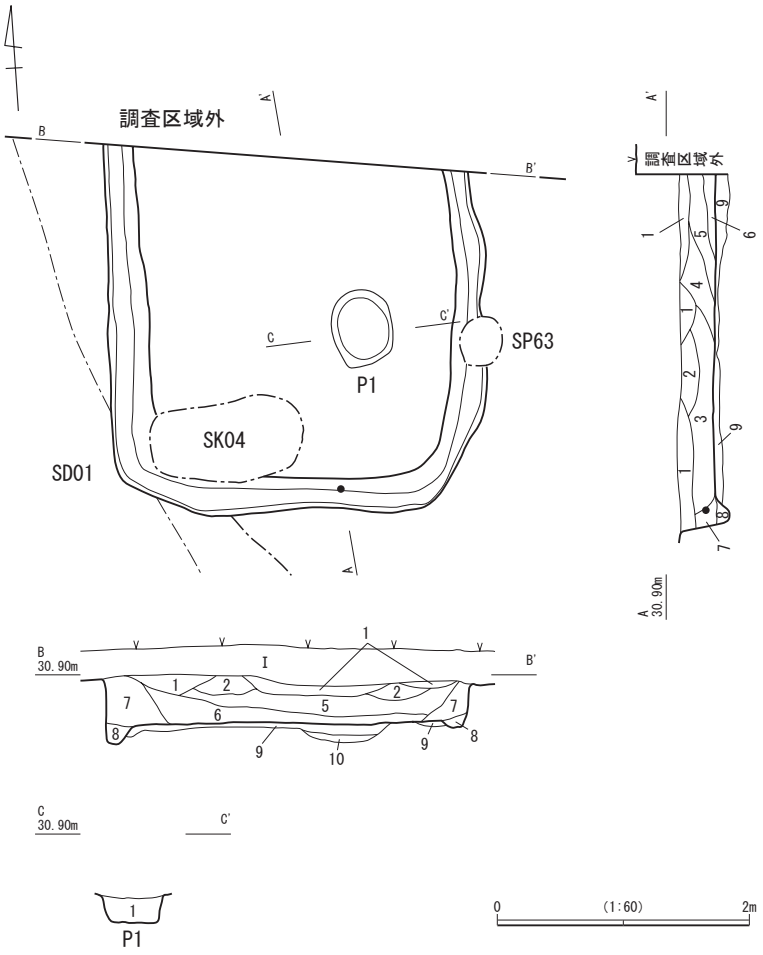
Ｄ－９・Ｄ－ 10 グリッドに位置する。本住居跡北側 1/3 が調査区外である。西側３ｍに 15 号住居跡、東側２ｍに 20 号住居跡、南東側３ｍに 22 号住居跡がそれぞれ分布する。西側で１号溝、東側で 63 号ピット、南西側で４号土坑と重複する。平面形は長軸 308 ㎝以上、短軸 297 ㎝の方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－４°－Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 38 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は８層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 16 ～ 31 ㎝、深さ３～ 11 ㎝を測り、確認された範囲で全周する。ピットは中央部やや南東よりで１基検出されたが、その位置などから主柱穴ではないであろう。カマドや炉は検出されなかった。掘り方は全面に及び、深さ１㎝～ 14 ㎝を測り、起伏に富む。

遺物は覆土中などから、206 点で 2152.6 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 12 点、弥生土器は壷が 18 点、須恵器は坏が 14 点、高台付坏が１点、鉢が４点、甕が４点、蓋が４点、土師器は坏が 33 点、鉢が１点、甕・壷が 106 点、高坏が２点、石英塊は３点、焼成土塊が２点、石器は石皿が１点、礫が１点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の甕、蓋、土師器の坏、甕・壷、石皿を 13 点図示することが出来たが、弥生土器の壷や石皿などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は須恵器の甕口縁部である。２・３は新治窯跡群産須恵器の鈕部と天井部である。４は土師器の坏、５は最大径が口縁部となる土師器甕である。切り合い関係は４号土坑、63 号ピットに先行して、１号溝に後続する。

出土した須恵器の蓋や土師器の坏の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して９世紀前葉の所産であろう。

第 42 表　19 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	中央部やや南東側	楕円形	59	46	29	逆台形状	急角度	平坦			



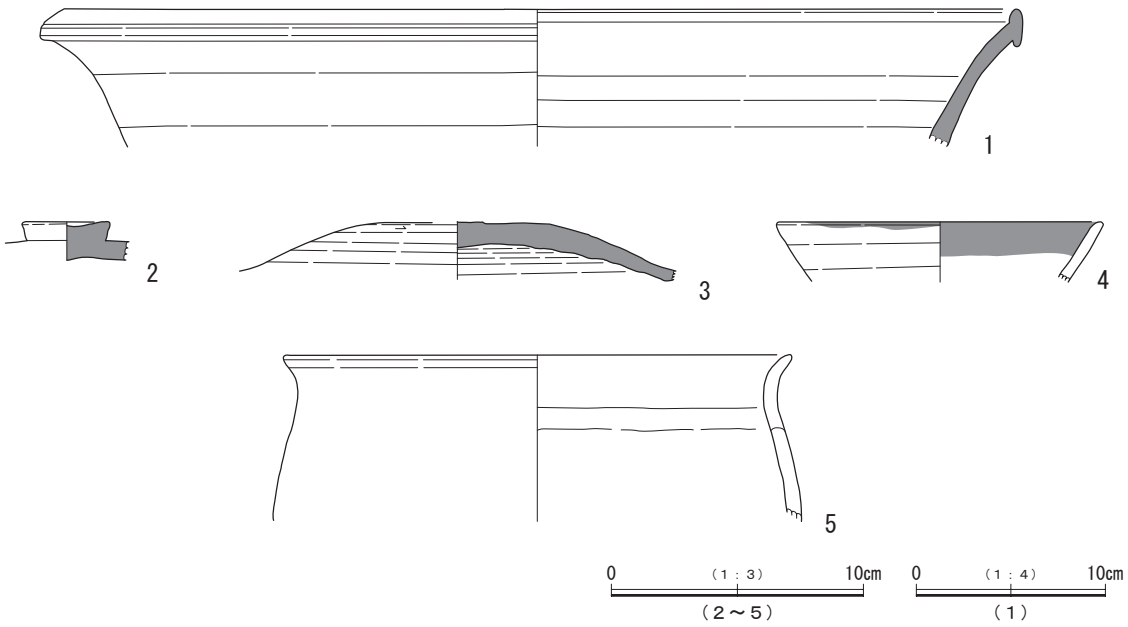
19号住居跡

1	10YR3/4	暗褐色土	焼土粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
2	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を少量、焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
7	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒・焼土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。
8	10YR4/6	褐色土	ローム土主体。粘性を持ち、やや締まる。
9	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
10	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P1

1	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第89図　19号住居跡（1：60）



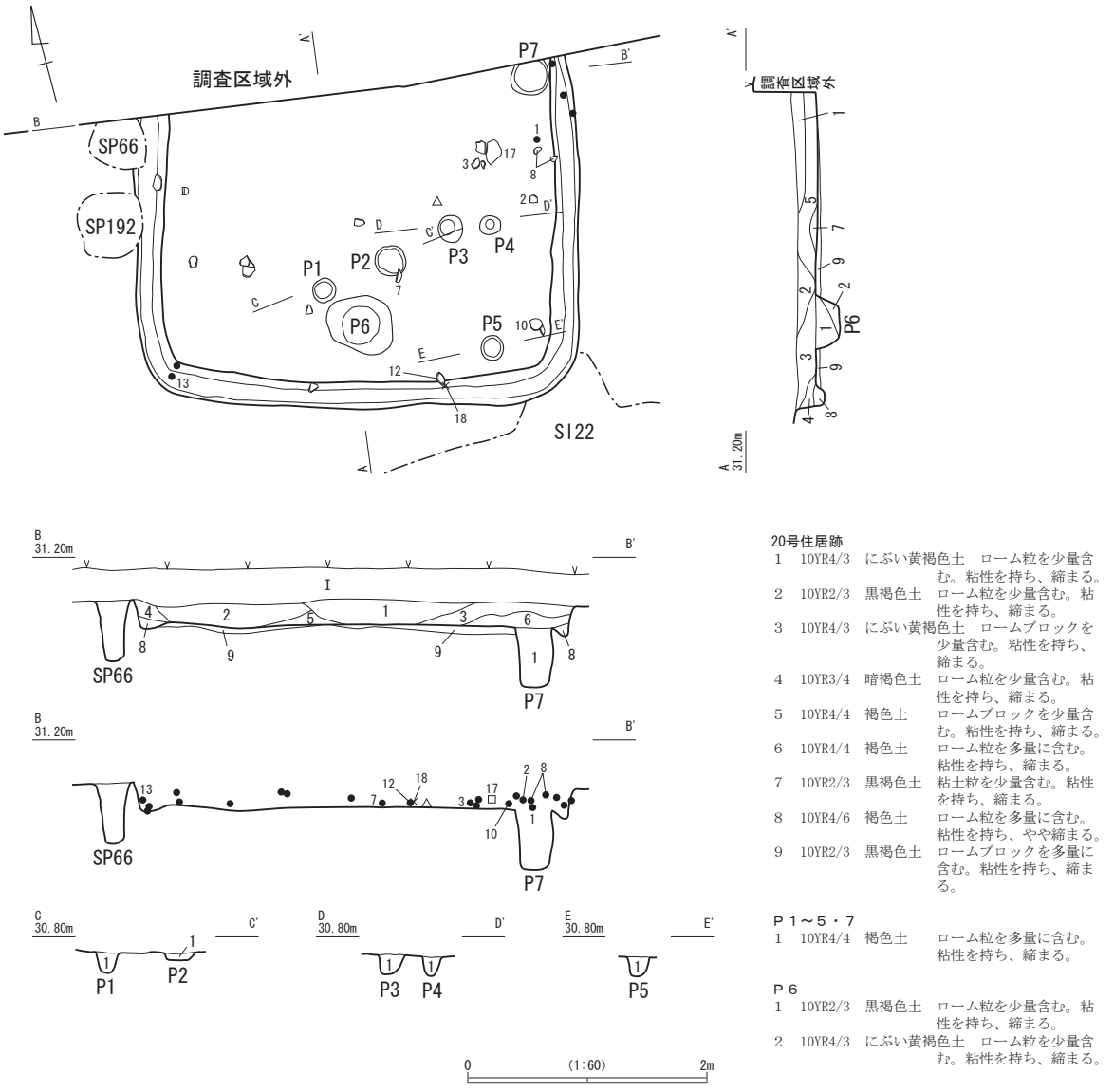
第90図　19号住居跡出土遺物

第 43 表　19 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	甕	口縁部	細片	(52.6)	−	<7.3>	口縁部大きく外反、口唇部上下に摘み出す。口縁部外面ヨコナデ、内面ヨコナデ後ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	黄灰色	
2	須恵器	蓋	鈕部	細片	−	−	<1.5>	偏平擬宝珠状鈕。中央部を僅かに上方へ突出、側面を内傾。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産
3	須恵器	蓋	天井部	10	−	−	<2.3>	天井部外面右回転ヘラケズリ及び回転ナデ。内面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄灰色	新治窯跡群産
4	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(12.4)	−	<2.4>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	9 世紀前葉 口縁部内外面・体部内面黒色処理
5	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(20.0)	−	<6.6>	口縁部大きく外反。内外面ヨコナデ。胴部内外面丁寧なナデ、最大径口縁部。	白･黒･赤色粒子･チャート粒	良好	橙色	

20 号住居跡（第 91 ～ 93 図、第 44・45 表、図版 7・28）

D − 10 グリッドに位置する。本住居跡北側 1/3 が調査区外である。西側 2 mに 19 号住居跡、3.5 mに 1 号溝、東側 1 mに 21 号住居跡がそれぞれ分布する。南側で 22 号住居跡、西側で 66・192 号ピットと重複する。平



20号住居跡

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR2/3　黒褐色土　粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR4/6　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
9　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P 1～5・7

1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

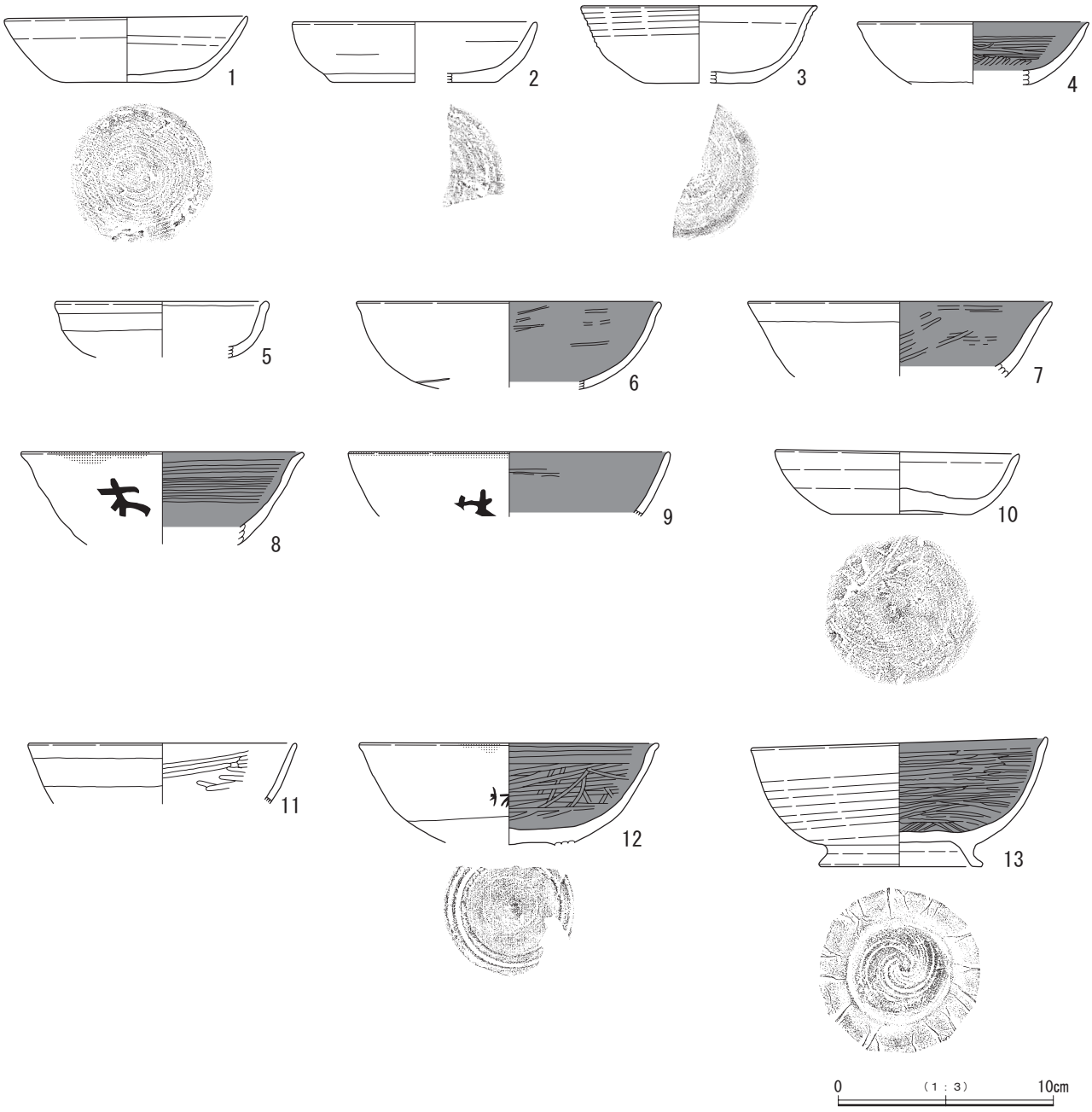
P 6

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

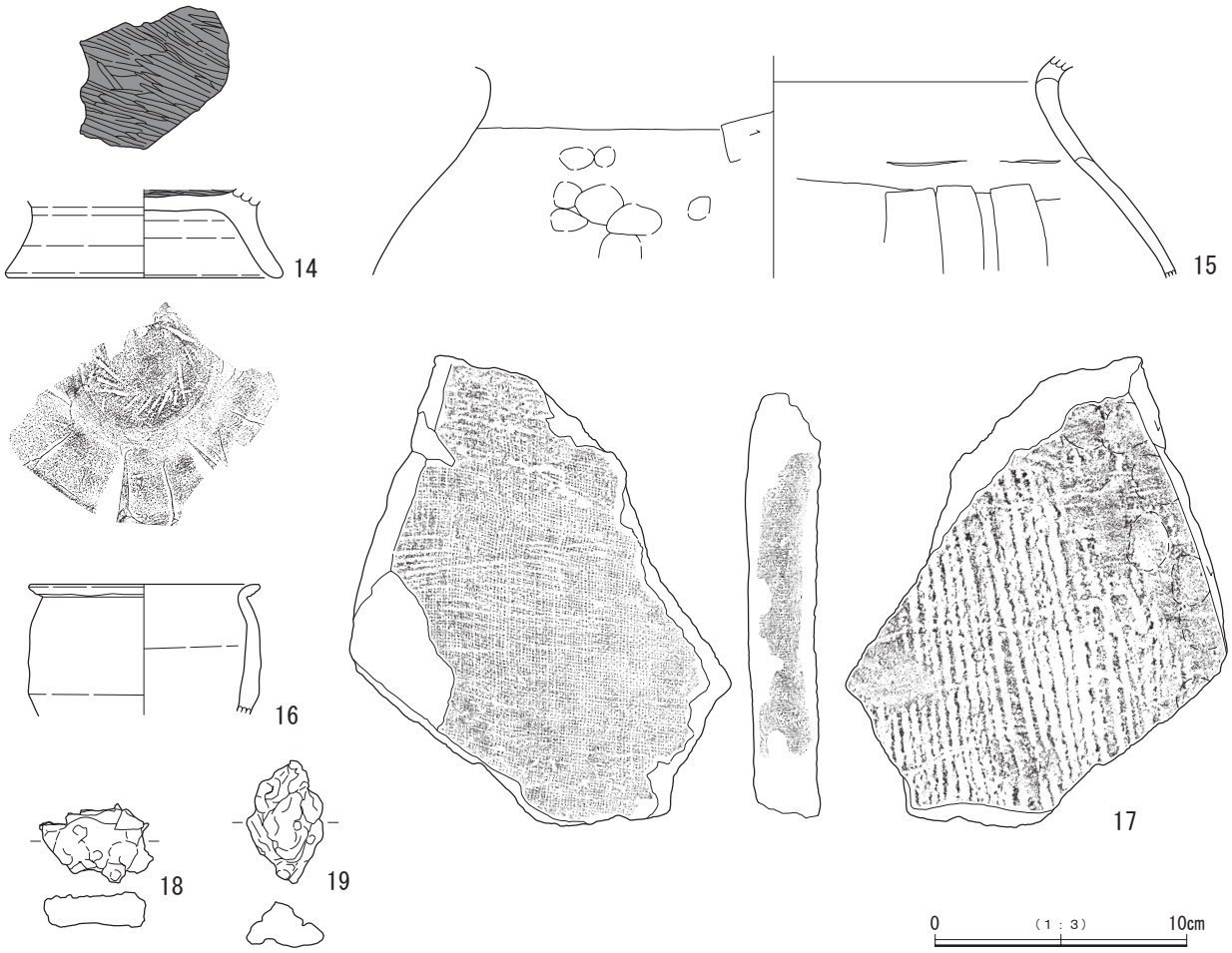
第 91 図　20 号住居跡（ 1：60 ）

第 44 表　20 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	中央部やや南側	円形	19	−	17	筒状	急角度	丸味			
P2	中央部やや南側	円形	25	−	6	逆台形状	緩やか	平坦			
P3	中央部やや東側	円形	22	−	15	筒状	急角度	丸味			
P4	中央部やや東側	円形	14	−	16	筒状	急角度	丸味			
P5	南東側	円形	20	−	16	筒状	急角度	丸味		主柱穴ヵ	
P6	南側	楕円形	61	46	19	逆台形状	緩やか	平坦		出入口ピットヵ	
P7	北東側	円形	34	−	49	筒状	垂直	平坦		主柱穴ヵ	



第 92 図　20 号住居跡出土遺物（1）



第 93 図　20 号住居跡出土遺物（2）

第 45 表　20 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～底部	100	11.1	5.6	3.1	器高低い。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉
2	土師器	坏	口縁部～底部	40	(13.7)	(7.7)	2.8	器高低い。体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白・赤色粒子・金雲母片	良好	にぶい橙色	10 世紀後葉～ 11 世紀前葉
3	土師器	坏	口縁部～底部	40	(10.8)	(5.0)	3.6	ロクロ成形。器高低い。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。ロクロ目顕著。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉
4	土師器	坏	口縁部～体部	10	(10.7)	－	<2.9>	内黒坏。器高低い。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀後葉～ 11 世紀前葉
5	土師器	坏	口縁部～体部	10	(9.7)	－	<2.6>	器高低い。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉
6	土師器	坏	口縁部～体部	20	(14.0)	－	<4.1>	内黒坏。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、内面横方向ミガキ。内面器面摺れ多い。	白色粒子・白雲母片	不良	橙色	10 世紀後葉～ 11 世紀前葉
7	土師器	坏	口縁部～体部	20	(14.0)	－	<3.5>	内黒坏。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、内面横及び斜方向ミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉
8	土師器	坏	口縁部～体部	40	(13.1)	－	<4.3>	内黒坏。口縁部大きく外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。口縁部外面一部黒色化。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	体部外面「木」墨書 10 世紀後葉
9	土師器	坏	口縁部～体部	10	(14.8)	－	<3.0>	内黒坏。ロクロ成形。体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。口縁部外面一部黒色化。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	体部外面文字種不明の墨書 10 世紀後葉

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
10	土師器	坏	口縁部～底部	70	(11.3)	(6.5)	<3.0>	ロクロ成形。体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。見込み部左回転ロクロ目顕著、底部外面左回転糸切り離し後ナデ。	白・黒色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉
11	土師器	坏	口縁部～体部	10	(12.4)	－	<2.8>	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀後葉
12	土師器	高台付坏	口縁部～底部	50	13.8	－	<4.7>	内黒高台付坏。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部多方向ミガキ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部欠損。	白色粒子・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	体部外面文字種不明墨書 10 世紀後葉
13	土師器	高台付坏	口縁部～底部	70	(13.5)	(7.5)	<6.0>	内黒高台付坏。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面丁寧なナデ、内面横方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ、底部外面右回転ヘラ切り離し後未調整。高台部貼り付け下端外反する。	白・黒色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀後葉
14	土師器	高台付坏	底部	20	－	(10.8)	<3.5>	内黒高台付坏。高足高台。見込み部一方向ミガキ。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉～後葉
15	土師器	壷	口縁部～胴部	30	－	－	<8.8>	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、指頭痕。内面縦方向ヘラナデ後ナデ、輪積み痕顕著。器面の剥離多い。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	不良	にぶい黄橙色	
16	土師器	壷	口縁部～胴部	10	(9.1)	－	<5.2>	ロクロ成形。口縁部短く外反、内外面ヨコナデ。胴部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
17	瓦	平瓦	右側部	10	長さ<18.7>	幅<15.2>	厚さ1.7	凸面長縄圧痕、周縁部ナデ、指頭痕。凹面布目。側面２面面取り。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
18	鉄製品	不明	不明	不明	長さ4.0	幅2.6	厚さ1.0	円形の製品ヵ	－	－	－	重量 45.08 g
19	鉄滓	－	－	－	長さ4.8	幅2.9	厚さ1.7	磁力あり。	－	－	－	重量 18.56 g

面形は長軸 364 ㎝、短軸 281 ㎝以上の方形を呈する。主軸方位はＮ－ 17° －Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 21 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は８層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 10 ～ 26 ㎝、深さ３～７㎝を測り、確認された範囲で全周する。ピットは７基検出された。本住居跡南東側に位置する P5、北東側に位置する P7 が北側の主柱穴と考えられる。また、P6 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。カマドや炉は検出されていない。掘り方は全面に及び、深さ１㎝～７㎝を測り、概ね平坦である。

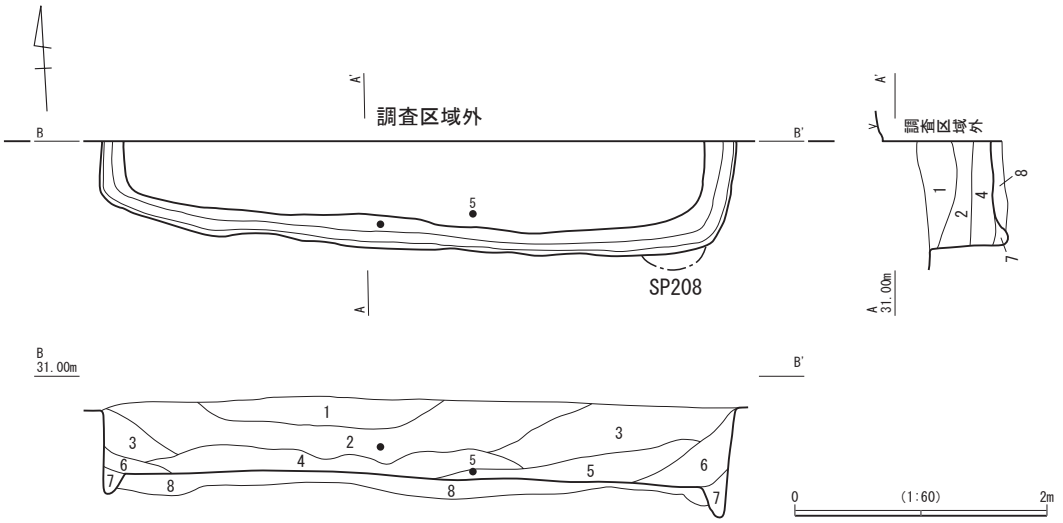
遺物は覆土中などから、252 点で 7452.5 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が９点、弥生土器は壷が３点、須恵器は坏が１点、高台付坏が１点、高台付壷が１点、甕が５点、土師器は坏が 78 点、高台付坏が 20 点、高台付皿が１点、甕・壷が 125 点、平瓦は１点、不明鉄製品は１点、石英塊は３点、鉄滓は１点、焼成土塊が１点、礫は１点出土している。このうち須恵器の高台付壷、甕、土師器の坏、高台付坏、壷、平瓦、不明鉄製品、鉄滓を 22 点図示することが出来たが、須恵器の高台付壷、甕は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１～ 11 は土師器坏である。１～５は器高が低い。６～８は口縁部が外反する。口縁部が外反する器形を持つ坏は高台を伴う可能性を持つ。４・６～９は内黒坏で、８の体部外面に「木」銘墨書、９の体部外面に文字種不明の墨書が確認できた。12 ～ 14 は土師器高台付坏である。３点ともに内黒処理を施され、ミガキを伴う。12 の体部外面には文字種不明墨書が確認できた。15・16 は土師器の壷だが、16 は短頸壷を模した器形である。17 は凸面に長縄圧痕が施された平瓦である。18 は鉄製品であるが用途は不明である。19 は鉄滓である。切り合い関係は 66・192 号ピットに先行して、22 号住居跡に後続する。

出土した器高の低い土師器に坏や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 10 世紀後葉の所産であろう。

21 号住居跡（第 94・95 図、第 46 表、図版 7・28）

D－10･D－11 グリッドに位置する。本住居跡北側 3/4 が調査区外である。西側 1 mに 20 号住居跡、南側 2.5 mに 22・23・27 号住居跡、 4 mに 24 号住居跡、南東側 4.5 mに 25・28 号住居跡がそれぞれ分布する。南東側で 208 号ピットと重複する。平面形は長軸 500 ㎝以上、短軸 92 ㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－８° －Ｅを示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 61 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は７層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 16 ～ 26 ㎝、深さ 14 ～ 26 ㎝を測り、確認された範囲で全周する。カマドや炉、ピットなどの付帯施設は検出されなかった。掘り方は全面に及び、深さ 11 ～ 17 ㎝を測り、やや起伏を持つ。

遺物は覆土中から、154 点で 2368.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が６点、弥生土器は壷が８点、須恵器は坏が 15 点、甕が６点、壷が１点、土師器は坏が 24 点、甕・壷が 88 点、鉢が１点、石英

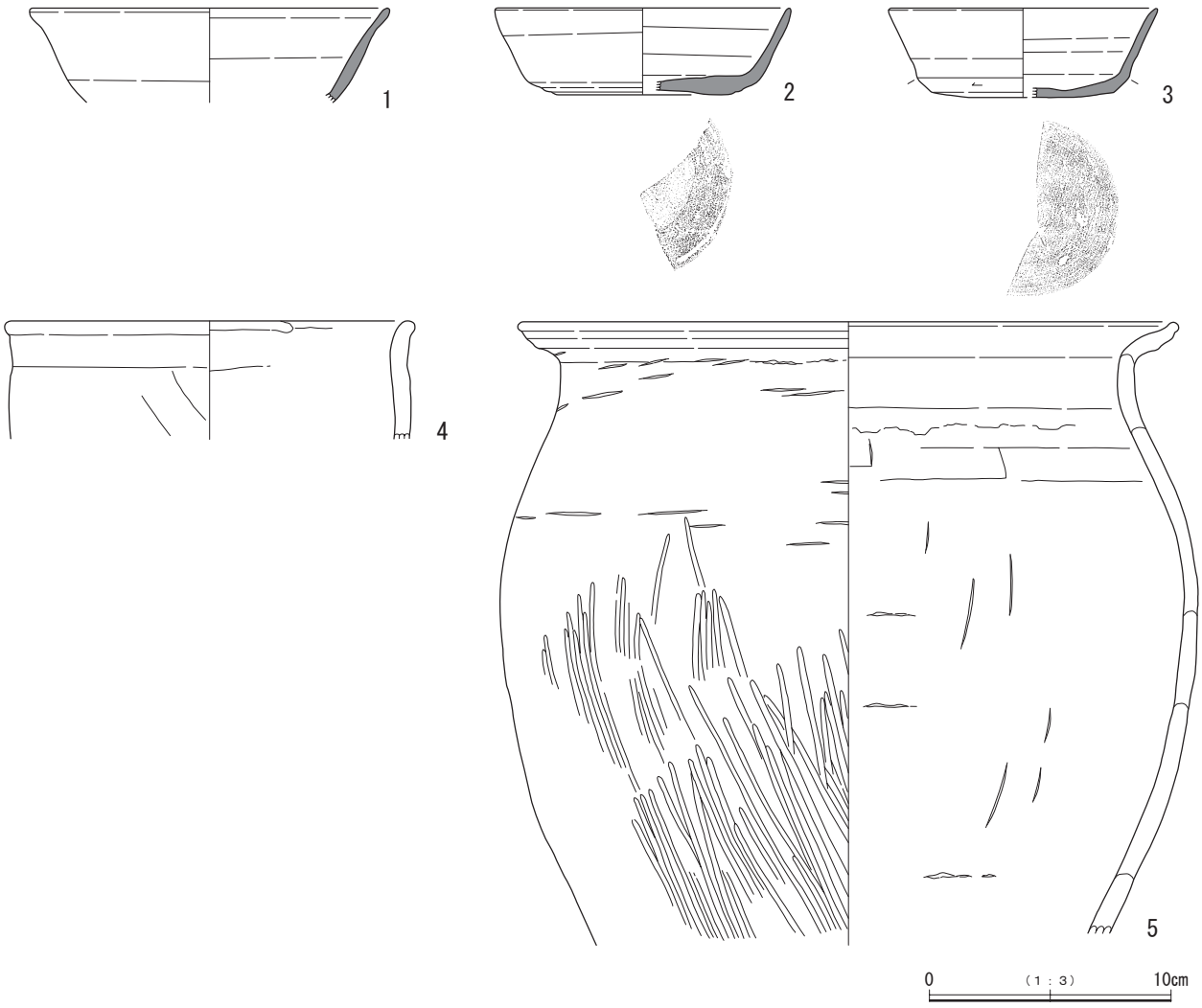


21号住居跡
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・焼土粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量含む。粘性を持ち、強く締まる。

第 94 図　21 号住居跡（１：60）

第 46 表　21 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	口縁部～体部	20	(15.0)	－	<3.9>	口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産 ９世紀前葉
2	須恵器	坏	口縁部～底部	40	(12.2)	(7.4)	3.6	体部中央部僅かに内湾。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰白色	木葉下窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉
3	須恵器	坏	口縁部～底部	40	(11.2)	(7.5)	3.7	体部下端僅かに段を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端左回転ヘラケズリ。見込み部回転ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後未調整。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産 ９世紀前葉
4	土師器	鉢	口縁部～胴部	細片	(17.0)	－	<4.9>	口唇部玉縁状、外側に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい褐色	
5	土師器	甕	口縁部～胴部	60	27.4	－	<25.3>	常総型甕。口縁部外反、口唇部斜上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面上位～中位ナデ、下位斜方向ミガキ、内面縦方向ヘラナデ後ナデ。最大径は胴部中位。	白・黒色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	掘り方から出土



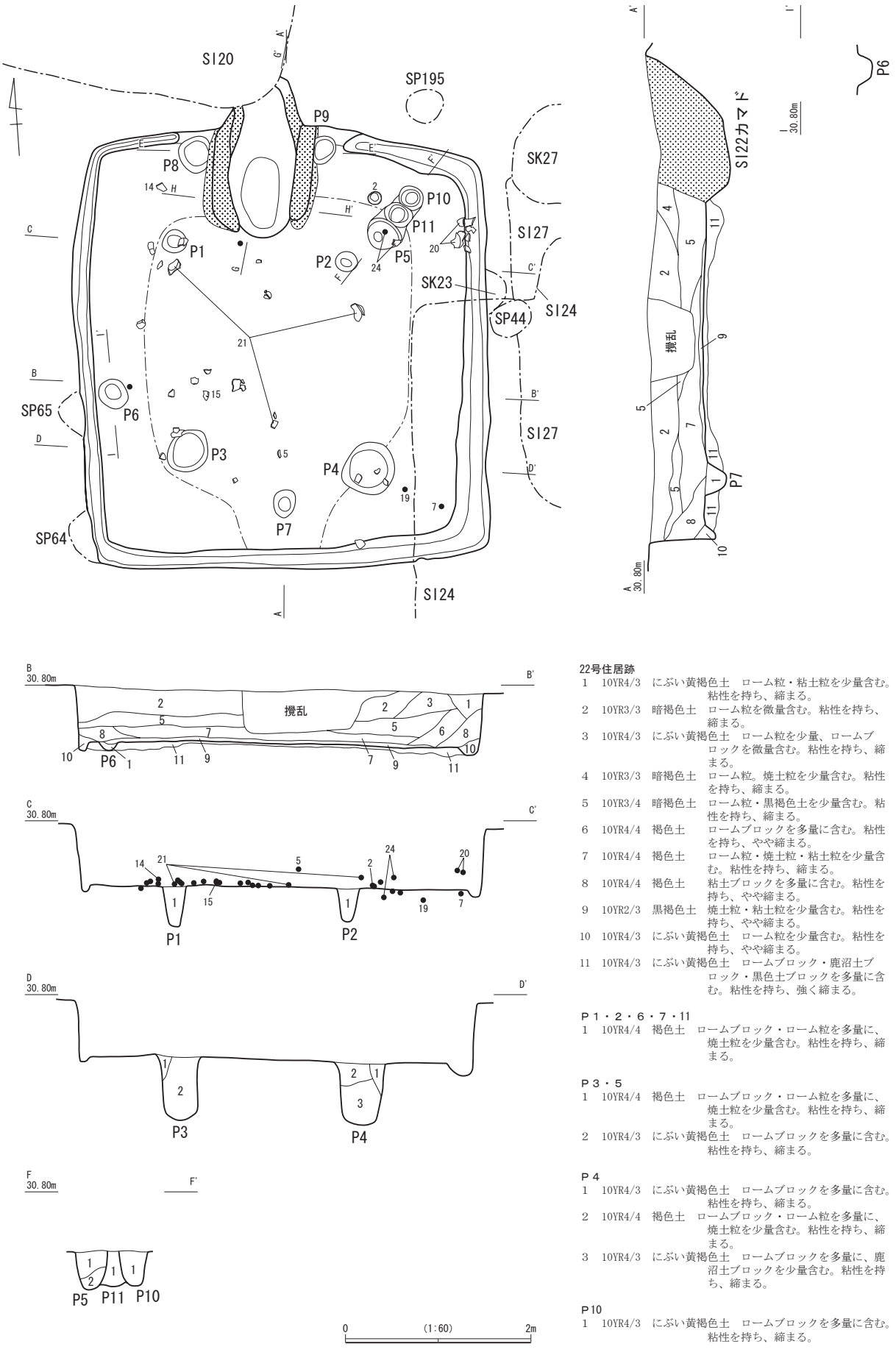
第 95 図　21 号住居跡出土遺物

塊は１点、焼成土塊は４点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の坏、土師器坏。鉢、甕を７点図示することが出来たが、弥生土器の壷などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１～３は須恵器の坏である。１は新治窯跡群産、２・３は木葉下窯跡群産である。４は土師器の鉢、５は常総型の土師器甕である。切り合い関係は 208 号ピットに後続する。

出土した須恵器坏の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して８世紀後葉～９世紀前葉の所産であろう。

22 号住居跡（第 96 ～ 100 図、第 47・48 表、図版 7・8・29・30）

Ｄ－ 10・Ｅ－ 10 グリッドに位置する。本住居跡西側２ｍに１号溝、東側 0.2 ｍに 27 号住居跡、２ｍに 23 号住居跡、４ｍに 26 号住居跡がそれぞれ分布する。西側で 64・65 号ピット、東側で 24・27 号住居跡、23 号土坑、42 号ピット、北側で 20 号住居跡と重複する。平面形は長軸 475 ㎝、短軸 441 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－５°－Ｗを示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 60 ㎝ほどを測る。床面は周縁部を除き貼り床が検出されている。覆土は 10 層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 11 ～ 32 ㎝、深さ７～ 14 ㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは 11 基検出された。本住居跡四隅に位置する P1・3 ～ 5 が主柱穴と考えられる。また、カマド際の P8・9 は側柱であろう。P7 はその位置から出入口施



22号住居跡

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量、ロームブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒。焼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒・黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
7　10YR4/4　褐色土　ローム粒・焼土粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR4/4　褐色土　粘土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
9　10YR2/3　黒褐色土　焼土粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
10　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
11　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロック・黒色土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。

P1・2・6・7・11

1　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・ローム粒を多量に、焼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P3・5

1　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・ローム粒を多量に、焼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P4

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・ローム粒を多量に、焼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量に、鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

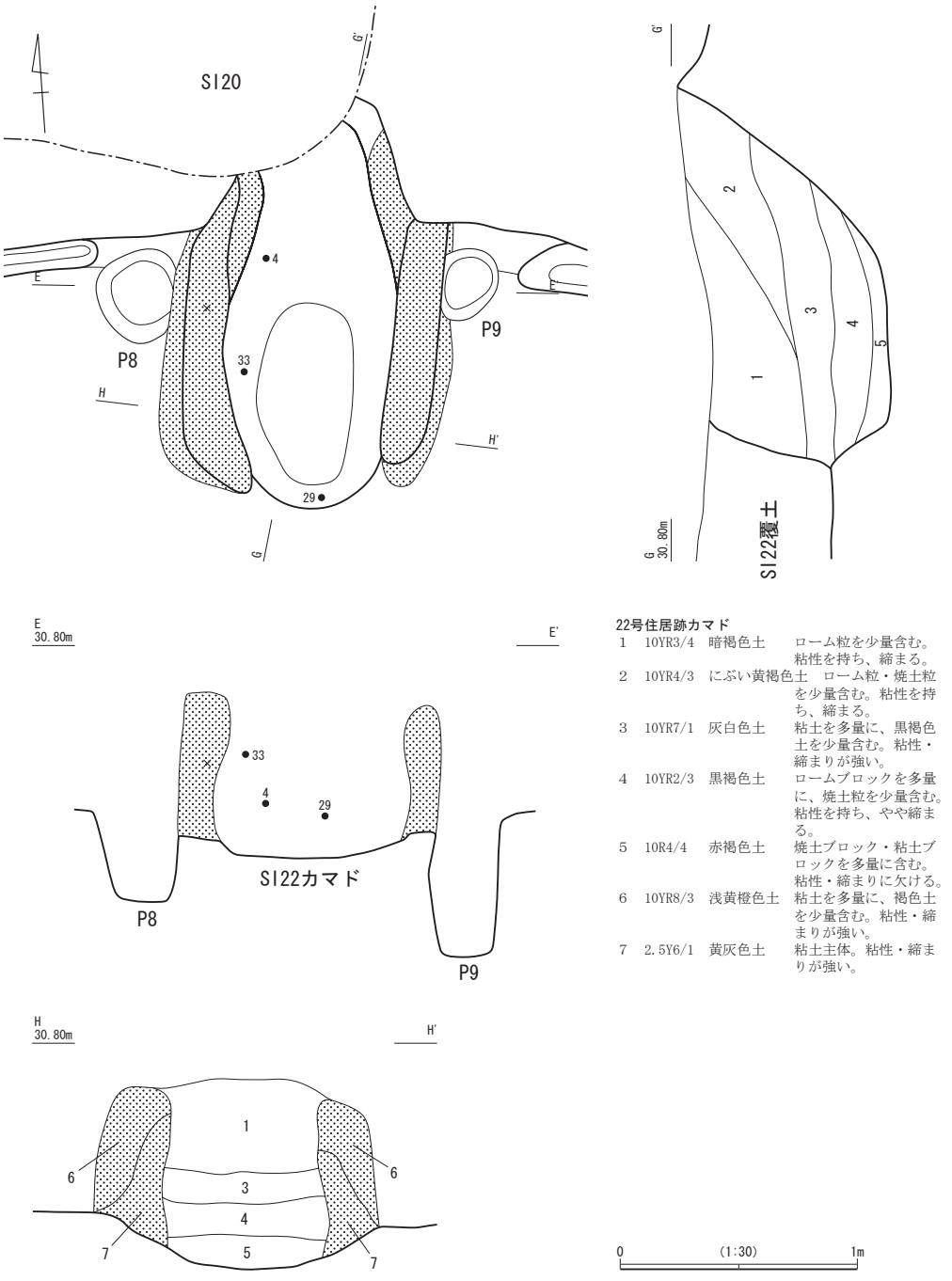
P10

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

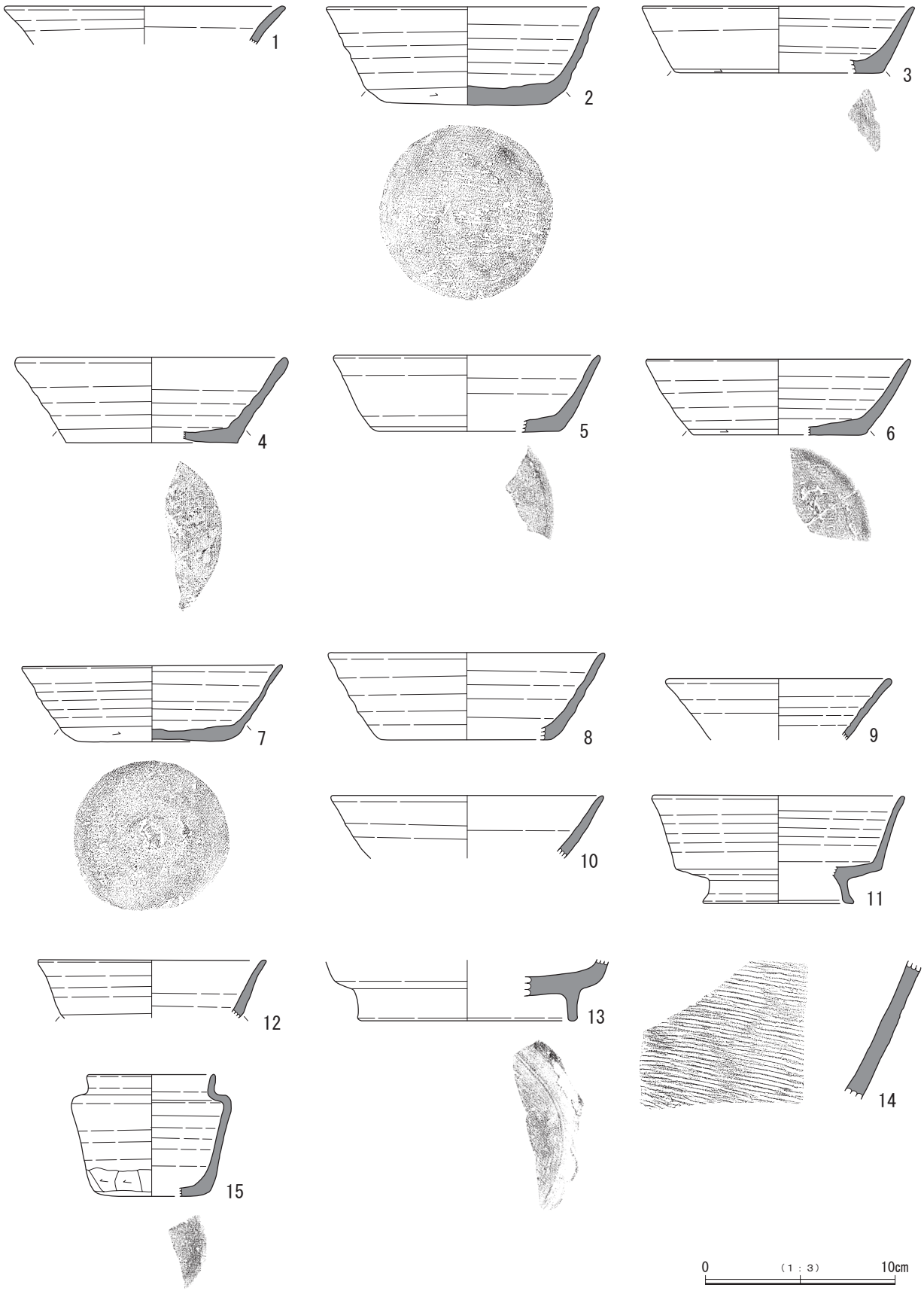
第96図　22号住居跡（1：60）

第 47 表　22 号住居跡ピット一覧表

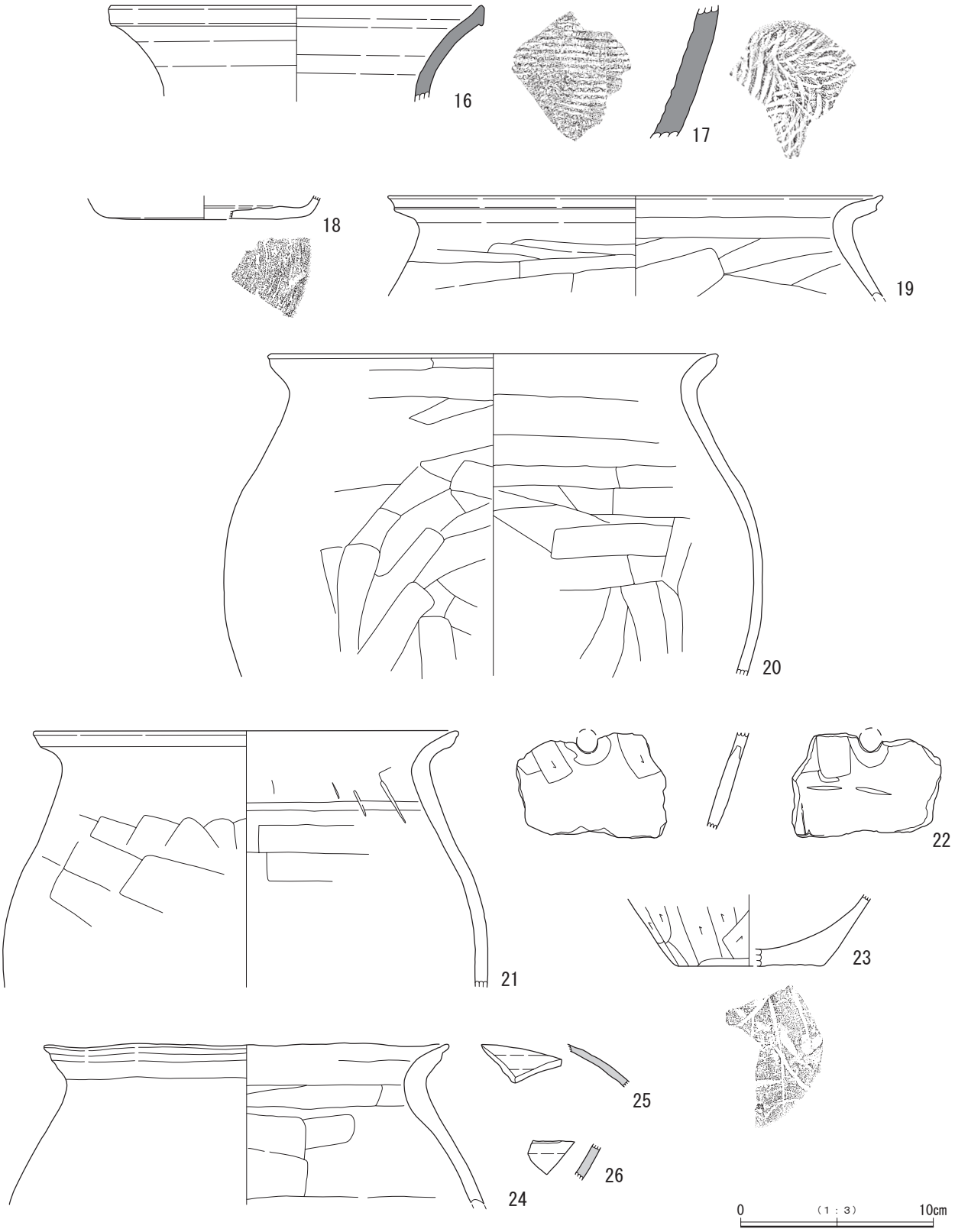
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	円形	27	−	43	筒状	急角度	平坦		主柱穴	
P2	北東側	楕円形	24	21	36	筒状	急角度	平坦			
P3	南西側	楕円形	51	40	66	筒状	垂直	丸味		主柱穴	
P4	南東側	円形	56	−	66	筒状	垂直	丸味		主柱穴	
P5	北東側	楕円形	39	32	41	筒状	垂直	丸味	SI22P11 に後続	主柱穴	
P6	西側	円形	31	−	14	筒状	垂直	丸味			
P7	南側	楕円形	29	24	10	筒状	緩やか	丸味		出入口ピット	
P8	北側	円形	39	−	35	筒状	急角度	平坦		側柱	カマド際
P9	北側	円形	33	−	57	筒状	垂直	平坦		側柱	カマド際
P10	北東側	円形	26	−	37	筒状	垂直	丸味	SI22P11 に後続		
P11	北東側	楕円形	32	24	36	筒状	垂直	丸味	SI22P5・10 に先行		



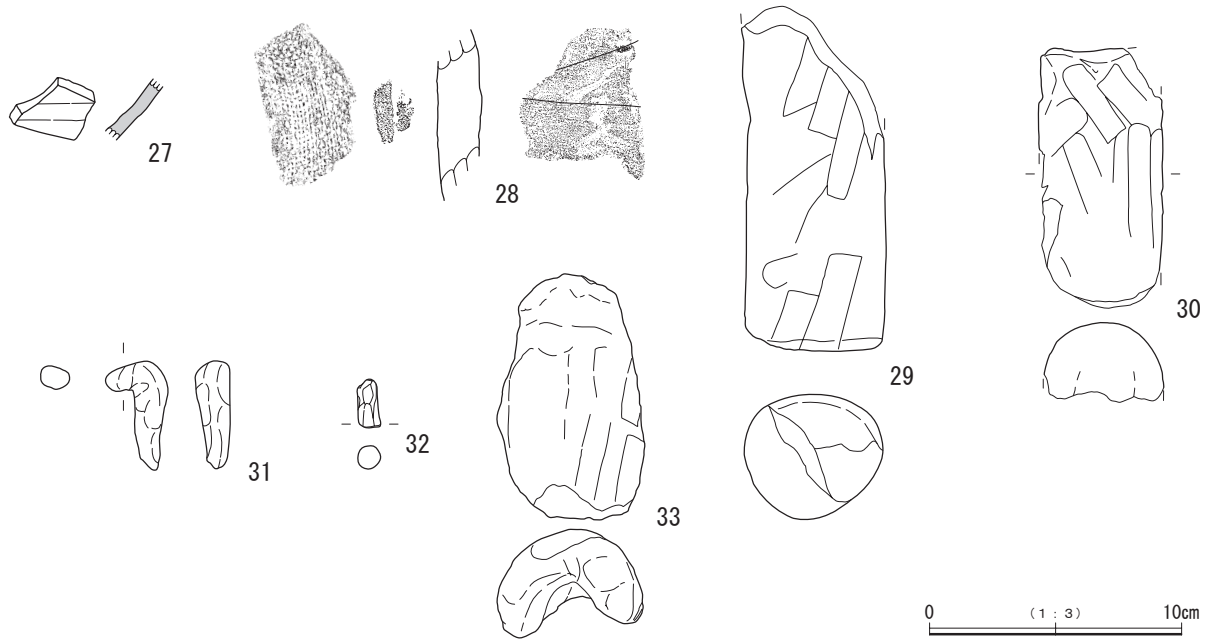
第 97 図　22 号住居跡カマド（ 1 : 30 ）



第 98 図　22 号住居跡出土遺物（1）



第 99 図　22 号住居跡出土遺物（2）



第 100 図　22 号住居跡出土遺物（3）

第 48 表　22 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(14.4)	−	<2.0>	口縁部僅かに外反。内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白・黒色粒子	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉
2	須恵器	坏	口縁部～底部	90	14.2	8.8	5.2	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端回転ヘラケズリ。見込み部左回転ナデ、巻き上げ痕顕著、底部外面切り離し技法不明、一方向ヘラケズリ。ロクロ目顕著。	白・黒色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	灰黄色	木葉下窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉
3	須恵器	坏	口縁部～底部	30	(14.2)	(11.0)	<3.5>	底部肥厚。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端細い回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面切り離し技法不明、丁寧なナデ。	白色粒子	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産ヵ 8世紀後葉～9世紀前葉
4	須恵器	坏	口縁部～底部	30	(14.0)	(9.0)	4.5	口縁部僅かに肥厚、内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端横方向手持ちヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面切り離し技法不明、丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	灰黄色	新治窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉
5	須恵器	坏	口縁部～底部	30	(13.8)	(9.4)	4.0	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端細い回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面切り離し技法不明、丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	灰黄色	新治窯跡群産 8世紀後葉
6	須恵器	坏	体部～底部	40	(13.8)	(9.0)	4.0	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端細い回転ヘラケズリ。見込み部回転ナデ、底部外面切り離し技法不明、一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉
7	須恵器	坏	口縁部～底部	70	13.5	8.0	4.0	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端回転ヘラケズリ。見込み部回転ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後丁寧なナデ。ロクロ目顕著。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	暗灰黄色	見込み部黒色付着物少量 木葉下窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉 掘り方から出土
8	須恵器	坏	口縁部～体部	20	(14.3)	(8.8)	<4.5>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。ロクロ目顕著。	白色粒子・白雲母片	良好	灰白色	新治窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉
9	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(11.7)	−	<3.2>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。内面ロクロ目顕著。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉
10	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(14.2)	−	<3.3>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄色	新治窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉
11	須恵器	高台付坏	体部	10	(13.2)	(7.8)	5.7	体部下位で大きく角度を変える、高台部下端外反する。全面ナデ。	白・黒色粒子・石英粒	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産ヵ 8世紀後葉～9世紀前葉
12	須恵器	高台付坏	口縁部～体部	20	(12.0)	−	<3.0>	口縁部僅かに外反、内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産 8世紀後葉～9世紀前葉
13	須恵器	高台付盤	体部～底部	20	−	(11.2)	<3.2>	体部内外面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後未調整。高台部貼り付け、ナデ。	白・黒色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄色	新治窯跡群産 8世紀後葉
14	須恵器	鉢	胴部	細片	−	−	<7.3>	胴部外面横方向平行叩き、内面斜方向ヘラナデ後丁寧なナデ。	白色粒子	良好	黄灰色	新治窯跡群産

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
15	須恵器	小型壺	口縁部～底部	40	(6.6)	(6.2)	<6.4>	口縁部は直立、肩部は狭く、胴部は直線的。口縁部内外面ヨコナデ。胴部内外面及び底部内面回転ナデ、底部外面丁寧なナデ。	白・黒色粒子・石英粒	良好	灰黄色	木葉下窯跡群産 ８世紀後葉
16	須恵器	甕	口縁部	10	(19.2)	－	<4.7>	口縁部外反、口唇部上下に摘み出し側面を平坦。口縁部内外面ヨコナデ。	白・黒色粒子	良好	灰黄色	新治窯跡群産
17	須恵器	甕	胴部	細片	－	－	<6.8>	胴部外面横方向平行叩き、内面青海波文。	白色粒子・石英粒	良好	オリーブ灰色	
18	土師器	坏	体部～底部	10	－	(10.0)	<1.2>	体部内外面及び見込み部ナデ。底部外面左回転ヘラ切り離し後未調整。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	浅黄橙色	
19	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(25.2)	－	<5.2>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部斜上方に摘み出し、その下位有段。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面横方向ヘラナデ、内面斜方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	掘り方から出土
20	土師器	甕	口縁部～胴部	40	(23.0)	－	<16.7>	常総型甕。口縁部外反、口唇部斜上方に摘み出し、側面を窪ませる。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面多方向ヘラナデ後ナデ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
21	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(22.0)	－	<13.3>	常総型甕。口縁部外反、口唇部斜上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面斜及び横方向ヘラナデ後ナデ、内面横方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
22	土師器	甕	胴部	細片	－	－	<5.0>	常総型甕。胴部外面斜方向ヘラケズリ後ナデ、内面縦方向ヘラナデ。外面から意図的な穿孔。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
23	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(7.7)	<3.7>	胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面ナデ。底部内面ナデ、外面木葉痕。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	カマドから出土
24	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(10.8)	－	<8.3>	常総型甕。口縁部外反、口唇部斜上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、内面横方向ヘラナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	不良	橙色	
25	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	<2.2>	胴部内外面回転ナデ。外面全面施釉。	白・黒色粒子	良好	灰黄色	26 と同一個体 東海系ヵ
26	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	<1.8>	胴部内外面回転ナデ。外面全面施釉。	白・黒色粒子	良好	暗灰黄色	25 と同一個体 東海系ヵ カマドから出土
27	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	－	内外面回転ナデ。	白色粒子	良好	灰黄色	東海系ヵ
28	瓦	平瓦	基部	細片	長さ <7.0>	幅 <4.5>	厚さ 1.7	凸面横方向ヘラナデ後ナデ、凹面布目。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	浅黄橙色	
29	土製品	支脚	基部～端部	50	長さ <13.6>	幅 <5.5>	厚さ <4.9>	中実。外面を多方向ヘラケズリ後ナデで成形。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	重量 390.6 g
30	土製品	支脚	基部	30	長さ <10.3>	幅 <4.8>	厚さ <3.0>	中実。外面を多方向ヘラケズリ後ナデで成形。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	重量 150.1 g
31	土製品	不明	不明	不明	長さ 4.3	幅 1.3	厚さ 0.9	粘土紐の片側を直角に折り曲げる。全面ナデ。用途不明。	白・赤色粒子・石英粒	良好	橙色	重量 7.37 g
32	土製品	不明	不明	不明	長さ <2.3>	幅 2.6	厚さ 0.7	全面ナデ成形。粘土紐状。	白色粒子	良好	明黄褐色	重量 2.3 g
33	石製品	支脚	基部	30	長さ <9.6>	幅 <5.8>	厚さ <2.8>	円柱状。丁寧に加工。	－	－	－	安山岩製 縄文時代石器転用ヵ 重量 140.2 g カマドから出土

設であった可能性が高い。

カマドは住居跡北壁中央部やや西寄りで検出され、壁外に逆Ｕ字状に 45 cmほど突出する。袖部は黄灰色粘土を用いて造られ、両袖間は 66 cmを測る。燃焼部は長楕円形で長径 174 cm、短径 86 cmを測る。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 23 cmほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。カマド覆土内から 29・30 の土製支脚、33 の石製支脚が出土しているが、元位置ではない。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ３～ 21 cmを測り、起伏に富む。

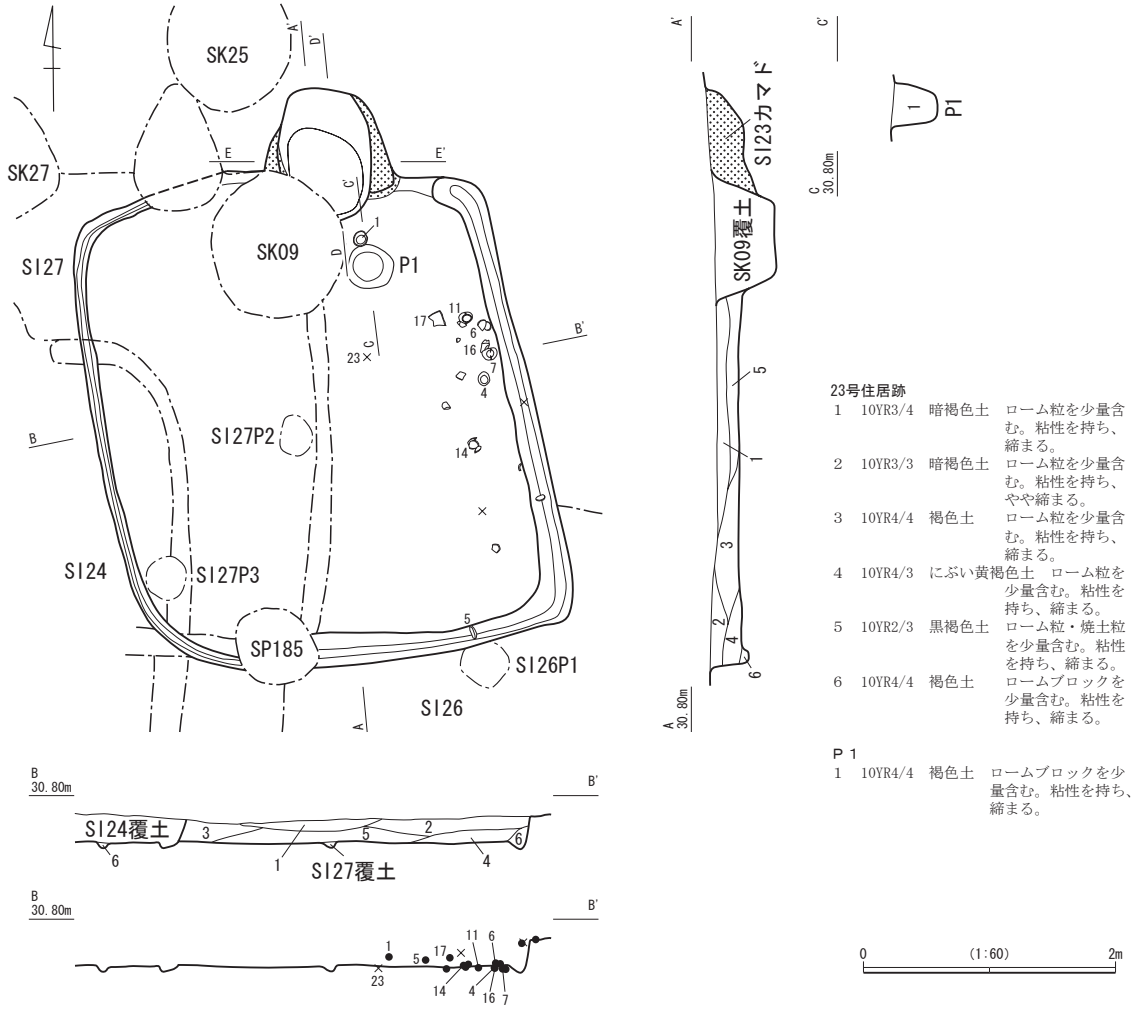
遺物は覆土中やカマドなどから、680 点で 11680.2 g の遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 10 点、弥生土器は壷が 27 点、須恵器は坏が 111 点、高台付坏が３点、高台付盤が４点、鉢が５点、壷が４点、甕が 73 点、蓋が９点、土師器は坏が 79 点、高台付坏が３点、甕・壷が 325 点、高坏が２点、灰釉陶器は壷が３点、平瓦は１点、石器はチャート製剥片が１点、土製品は支脚が２点、不明土製品が２点、石製品は支脚が１点、焼成土塊が 15 点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の坏、高台付坏、高台付盤、鉢、壷、甕、蓋、土師器の坏、甕・壷、灰釉陶器の壷、平瓦、チャート製剥片、土製支脚、不明土製品、石製支脚の 44

点を図示することが出来たが、弥生土器の壷、チャート製剥片などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第9節に図示することとする。1～10は須恵器の坏である。1～3・6・7は木葉下窯跡群産、4・5・8～10は新治窯跡群産である。11・12は須恵器の高台付坏である11は木葉下窯跡群産の可能性が高い、12は新治窯跡群産である。13は新治窯跡群産の須恵器高台付盤である。14は外面横方向平行叩きの新治窯跡群産の須恵器鉢である。15は木葉下窯跡群産の須恵器小型壷である。16・17は須恵器甕である。17は外面横方向平行叩き、内面青海波文が施される。18は底部ヘラ切り離しの土師器の坏である。19～24は土師器の甕である。23以外は常総型であり、24は小型の製品である。25～27は東海系と思われる灰釉陶器の壷である。25と26は同一個体の可能性が高い。28は凸面ヘラナデ整形の平瓦である。29・30は土製支脚、31・32は粘土紐状の用途不明の土製品である。33は安山岩の石製支脚である。切り合い関係は20・24・27号住居跡、23号土坑、42・64・65号ピットに先行する。

出土した須恵器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して8世紀後葉～9世紀前葉の所産であろう。

23号住居跡（第101～104図、第49・50表、図版8・30）

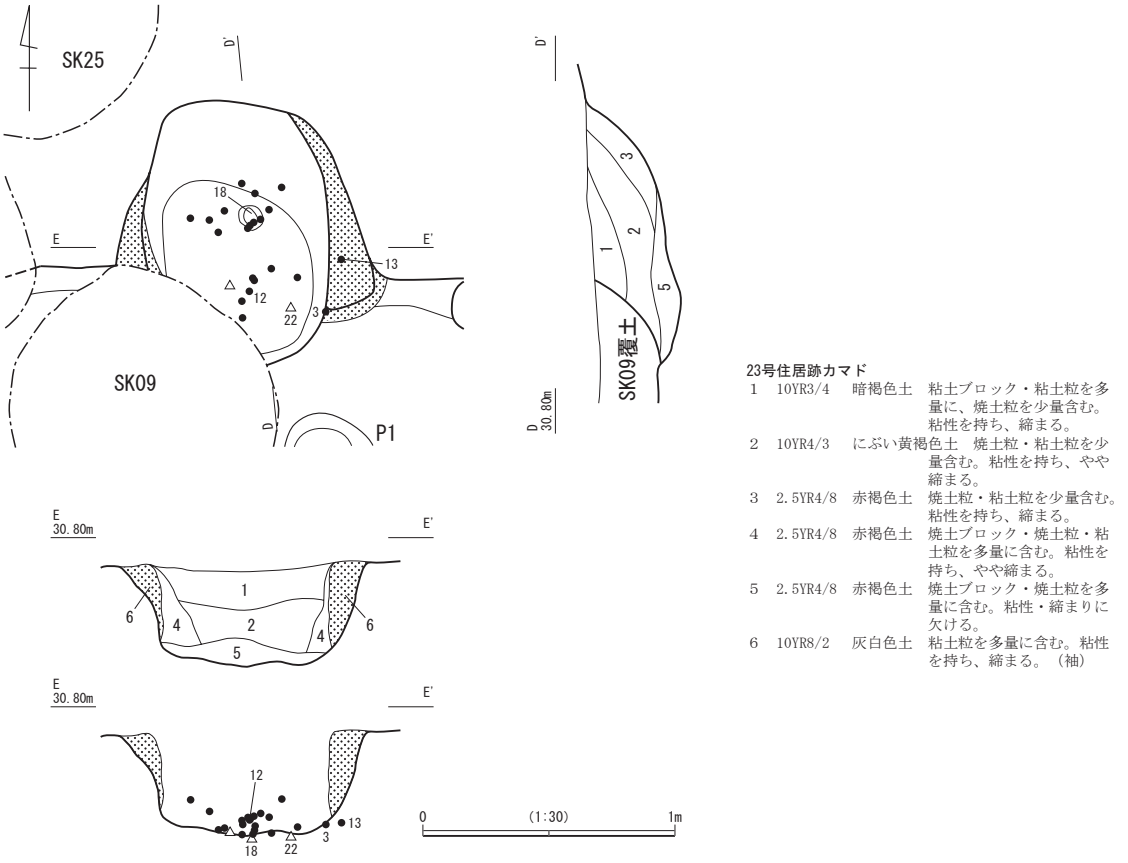
D－11・E－11グリッドに位置する。本住居跡西側2mに22号住居跡、東側2mに25号住居跡、3mに28号住居跡、北側2.5mに21号住居跡がそれぞれ分布する。西側で24・27号住居跡、北側で9号土坑、



第101図　23号住居跡（1：60）

第 49 表　23 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北東側	円形	37	－	36	筒状	垂直	平坦			

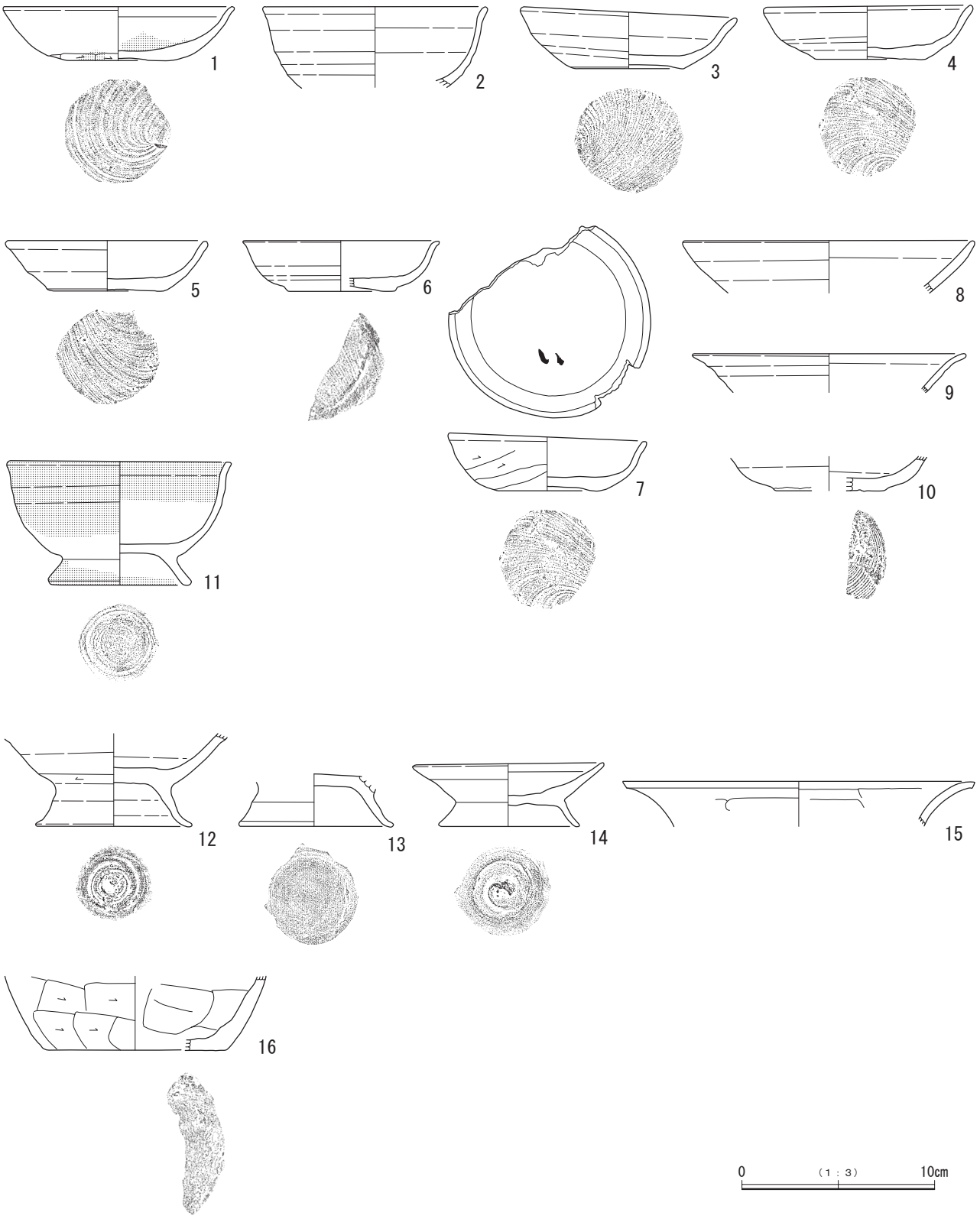


第 102 図　23 号住居跡カマド（１：30）

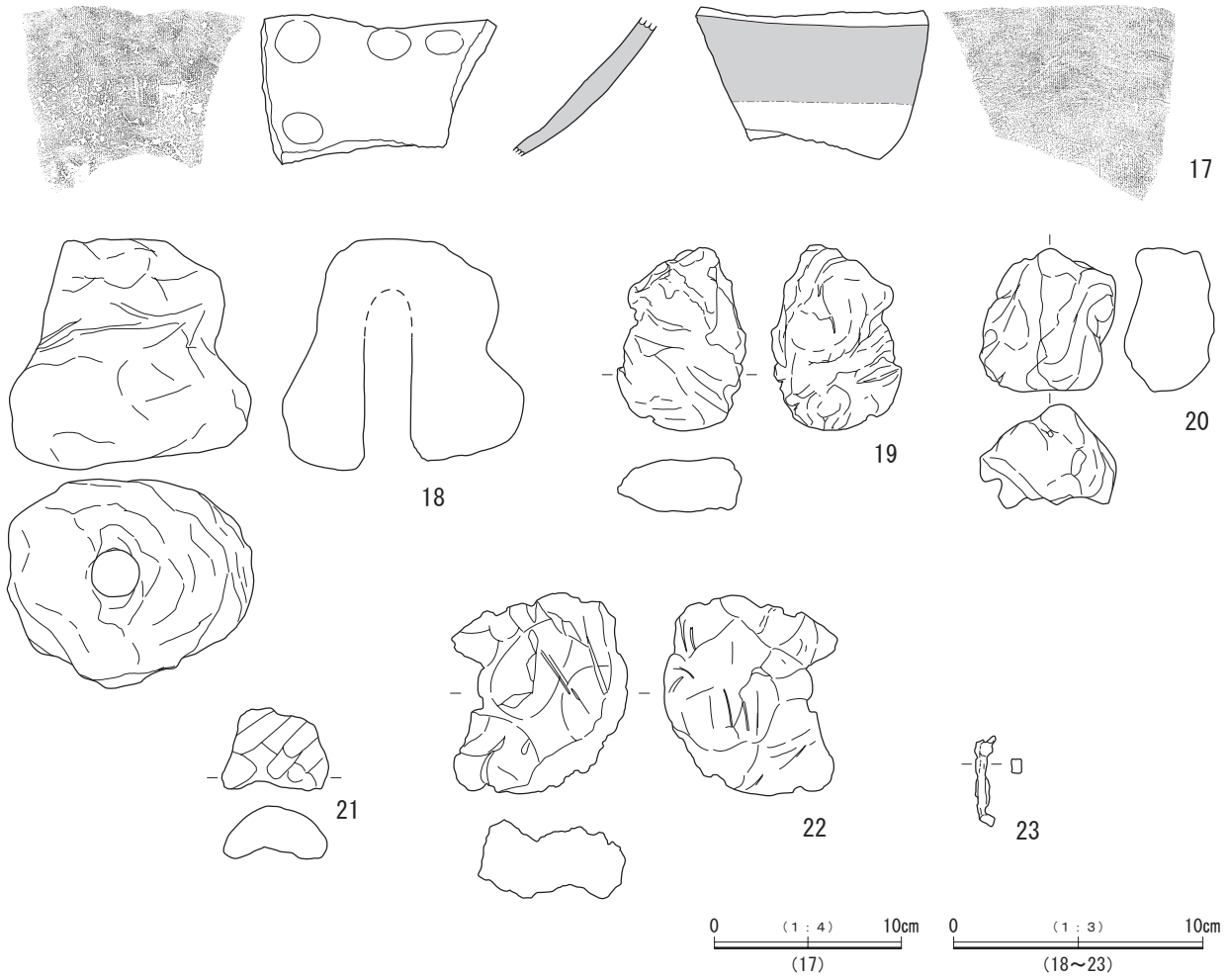
南側で 26 号住居跡、185 号ピットと重複する。平面形は長軸 400 ㎝、短軸 351 ㎝の方形を呈する。主軸方位はＮ－３°－Ｗを示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 24 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は６層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 15 ～ 27 ㎝、深さ４～６㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは北東側に１基検出されているが、その位置などから主柱穴ではないであろう。

カマドは住居跡北壁中央部やや東寄りで検出され、壁外に逆Ｕ字状に 64 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 73 ㎝を測る。燃焼部は隅丸方形で長径 104 ㎝、短径 74 ㎝を測る。火床面は不整円形で強く赤化しており、基底部は起伏に富み、深さ８㎝ほどの筒状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は確認されなかった。基底部北側に 18 の土製支脚が起立していた。

211 点で 2396.9 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が３点、弥生土器は壷が４点、須恵器は坏が 10 点、甕が２点、蓋が１点、土師器は坏が 57 点、埦が１点、高台付坏が 19 点、高台付皿が３点、甕・壷が 100 点、灰釉陶器の壷が１点、土製品は炉壁が１点、支脚が４点、鉄製品は釘が１点、鉄滓が１点、焼成土塊が２点出土している。このうち縄文土器の深鉢、弥生土器の壷、須恵器の蓋、土師器の坏、高台付坏、高台付皿、甕、灰釉陶器の壷、平瓦、土製支脚、炉壁、釘を 27 点図示することが出来たが、縄文土器の深



第 103 図　23 号住居跡出土遺物（1）



第 104 図　23 号住居跡出土遺物（2）

第 50 表　23 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～底部	90	11.8	5.0	2.8	ロクロ成形。器高低い。体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ、体部外面下端横方向手持ちヘラケズリ。底部外面左回転糸切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	体部内外面黒色不着物少量 10 世紀後葉
2	土師器	坏	口縁部～体部	40	(11.6)	－	<4.2>	口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。	白色粒子	良好	灰白色	10 世紀後葉 カマド出土
3	土師器	坏	口縁部～底部	70	11.0	5.5	3.3	ロクロ成形。器高低い。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ、体部外面下端横方向手持ちヘラケズリ。底部外面左回転糸切り離し、未調整。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片・黒雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉 カマド出土
4	土師器	坏	口縁部～底部	80	10.7	5.2	2.7	ロクロ成形。器高低い。口縁部僅かに肥厚、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ、体部外面下位横方向回転ヘラケズリ。底部外面左回転糸切り離し、未調整。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉～後葉
5	土師器	坏	口縁部～底部	100	10.2	5.8	2.6	器高低い。口縁部外反、内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ、体部外面下位横方向回転ヘラケズリ。底部外面左回転糸切り離し、未調整。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉～後葉
6	土師器	坏	口縁部～底部	30	(10.0)	(5.0)	2.6	器高低い。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下位回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面静止糸切り離し後未調整。	白色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀後葉
7	土師器	坏	口縁部～底部	70	10.0	5.2	3.0	ロクロ成形。器高低い。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面左回転糸切り離し、未調整。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	見込み部墨痕 10 世紀後葉

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
8	土師器	坏	口縁部～体部	20	(15.0)	－	<2.7>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉
9	土師器	坏	口縁部～体部	10	(14.0)	－	<2.0>	器面薄い。口縁部外反、内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	明黄褐色	10 世紀後葉
10	土師器	坏	体部～底部	10	－	(5.6)	<1.8>	体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面左回転糸切り離し後未調整。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	
11	土師器	高台付坏	口縁部～底部	70	11.4	7.2	6.4	ロクロ成形。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。見込み部左回転の巻き上げ痕、底部外面左回転ヘラ切り離しナデ。高台部貼り付け。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	体部から底部内外面黒色付着物少量 10 世紀後葉
12	土師器	高台付坏	体部～底部	30	－	(8.0)	<4.8>	高足高台。体部外面回転ナデ、下端左回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後未調整。	白・黒色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい橙色	10 世紀中葉
13	土師器	高台付坏	底部	20	－	(7.8)	<2.9>	高足高台。高台部下端大きく外反。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部接合。	白・赤色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀後葉 カマドから出土
14	土師器	高台付皿	口縁部～底部	60	10.0	(7.0)	3.3	ロクロ成形。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下位回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・金雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉～ 11 世紀前葉
15	土師器	甕	口縁部	細片	(18.2)	－	<2.3>	口縁部外反、口唇部平坦。口縁部内外面ヨコナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	カマドから出土
16	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(9.4)	<3.8>	胴部外面横方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。底部内外面ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
17	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	－	胴部内外面丁寧なナデ。外面中位施釉。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	東濃系ヵ
18	土製品	支脚	完存	100	長さ 8.4	幅 9.8	厚さ 9.0	中空で上面は貫通していない。粘土の積み重ねて成形。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	孔径 1.9 ㎝ 重量 483.1 g
19	土製品	支脚	基部	細片	長さ <7.3>	幅 <4.4>	厚さ <2.0>	外面をナデで整形。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	21 と同一個体 重量 75.15 g
20	土製品	支脚	基部	細片	長さ <5.7>	幅 <5.1>	厚さ 3.4	外面をナデで整形。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	20 と同一個体 重量 94.10 g
21	土製品	支脚	基部	細片	長さ <3.0>	幅 <4.2>	厚さ <1.7>	ナデ成形。	白色粒子	良好	にぶい橙色	重量 21.58 g
22	土製品	炉壁	－	細片	長さ <8.2>	幅 <6.0>	厚さ <2.3>	スサ混入、一部ガラス質に発泡。	－	－	にぶい黄橙色	重量 89.97 g
23	鉄製品	釘	頂部～基部	40	長さ <3.6>	幅 0.4	厚さ 0.6	断面四角形、頂部は折り曲げて造る。	－	－	－	重量 2.23 g

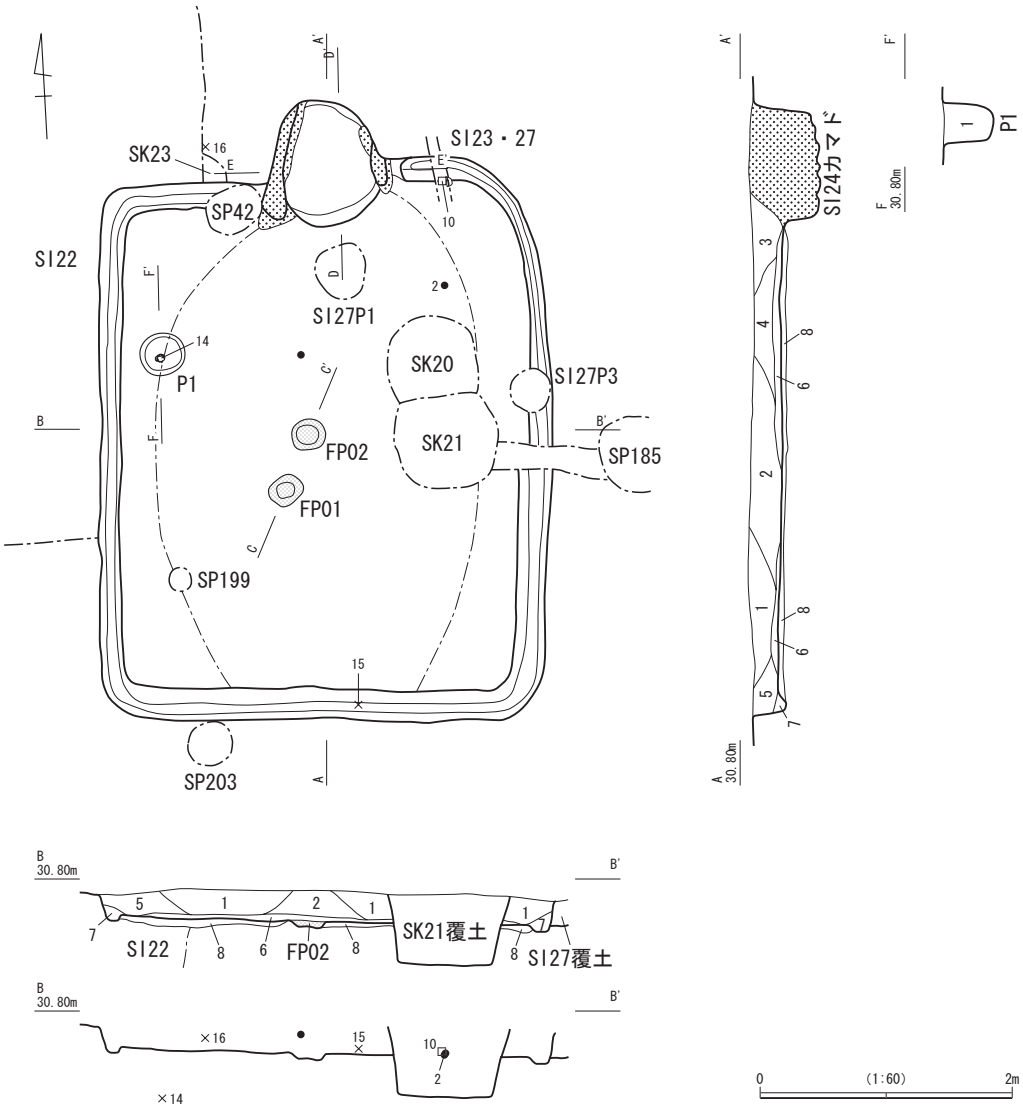
鉢、弥生土器の壷、須恵器の蓋などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第 9 節に図示することとする。1 ～ 10 は土師器の坏である。1 ～ 7 は器高が低い。11 ～ 13 は土師器の高台付坏である。12・13 の高台部は長い。坏及び高台付坏はどれも内黒処理はなされていない。14 は土師器の高足高台付皿である。口縁部は横に拡がる器形である。15・16 は土師器の甕である。17 は東濃系と思われる灰釉陶器の壷である。18 ～ 21 は土製支脚である。18 はカマド中央部に起立して出土しているが、19 ～ 21 は覆土中からの出土で、本住居跡に伴うものか不明である。22 は炉壁片である。全体の形状は不明だが、本住居跡や他の住居跡から羽口や鉄滓などが出土しているため、鍛冶炉などの施設がこの周辺に存在していたと考えられる。23 は鉄製の釘である。切り合い関係は 24 号住居跡、9 号土坑、185 号ピットに先行して、26・27 号住居跡に後続する。

出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 10 世紀中葉～後葉の所産であろう。

24 号住居跡（第 105 ～ 109 図、第 51・52 表、図版 8・9・31）

D － 10・D － 11・E － 10・E － 11 グリッドに位置する。本住居跡西側 4 ｍに 1 号溝、5 ｍに 25 号住居跡、東側 1 ｍに 26 号住居跡、北側 4 ｍに 21 号住居跡がそれぞれ分布する。北側で 23 号住居跡、北西側で 22 号住居跡、北東側で 23 号土坑、42 号ピット、中央部で 20・21 号土坑、199 号ピットと重複する。平面形は長軸 427 ㎝、短軸 358 ㎝の長方形を呈する。主軸方位はＮ － 1° － Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最

大壁高は23㎝ほどを測る。床面は周縁部を除き貼り床が検出されている。覆土は７層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅16～25㎝、深さ３～５㎝を測り、カマド部分を除き全周する。住居跡北西側で主柱穴と考えられるピットが１基確認されている。また、中央部で地床炉（FP）が２基検出されている。平面形は円形でFP01は径28㎝、FP02は径26㎝を測り、断面形は皿状で、深さはFP01が４㎝、FP02が６㎝を測る。どちらも弱く被熱している。



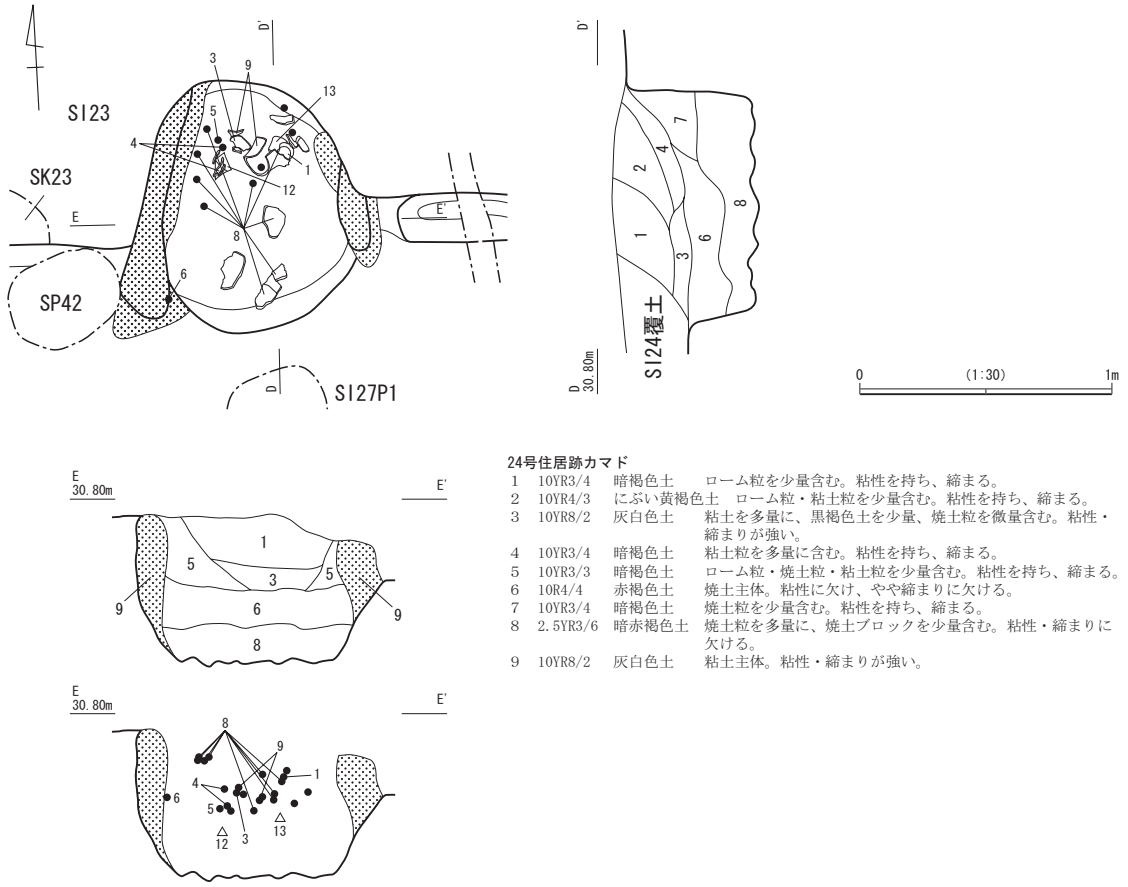
24号住居跡
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/4　暗褐色土　焼土ブロックを少量、粘土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒・焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR3/4　暗褐色土　粘土ブロック・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ１
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

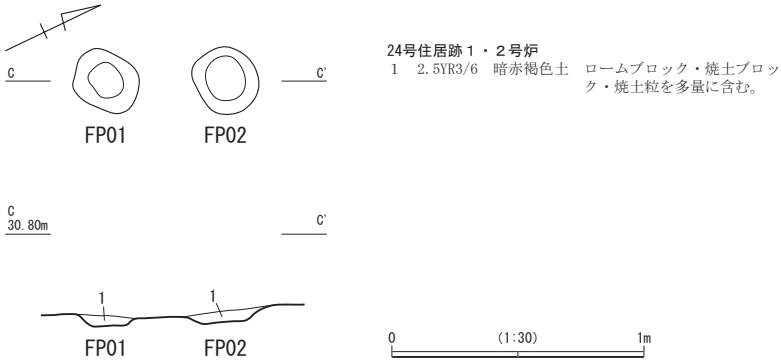
第105図　24号住居跡（１：60）

第51表　24号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	円形	33	－	27	筒状	垂直	平坦		主柱穴ヵ	底部で銅鋺出土



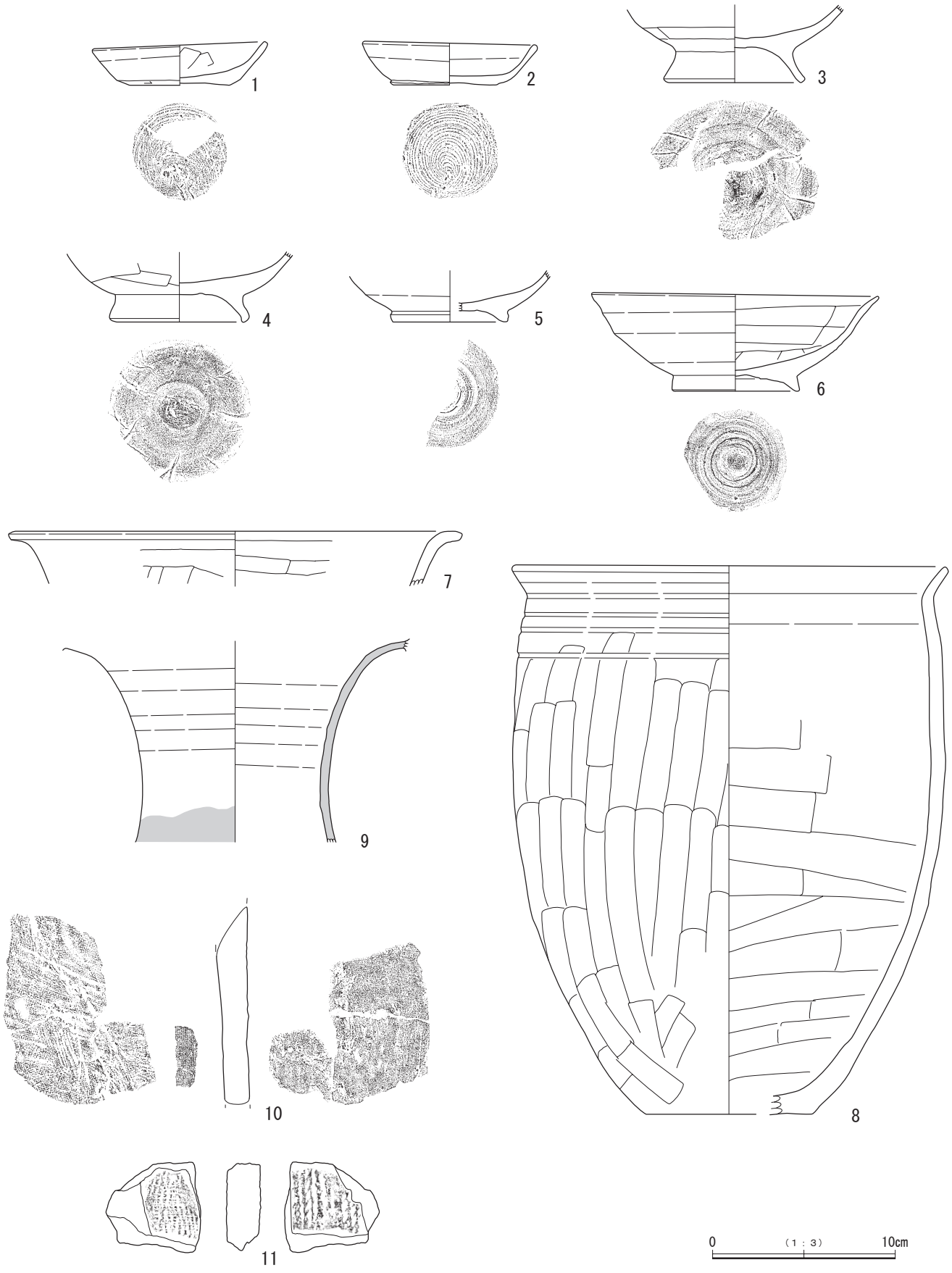
第 106 図　24 号住居跡カマド（ 1 : 30 ）



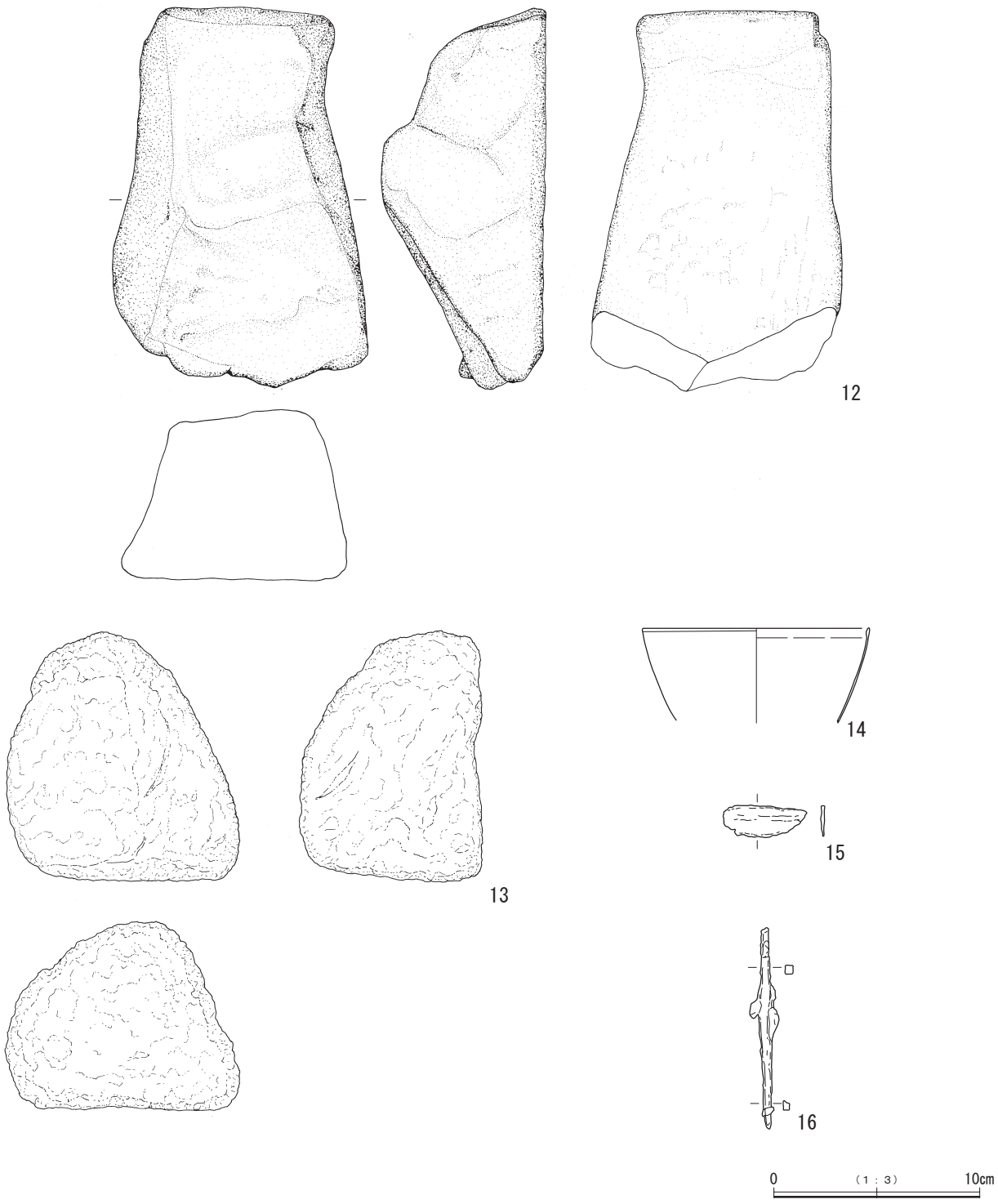
第 107 図　24 号住居跡地床炉（ 1 : 30 ）

カマドは住居跡北壁中央部で検出され、壁外に逆Ｕ字状に 57 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 72 ㎝を測る。燃焼部は楕円形で長径 97 ㎝、短径 82 ㎝を測る。火床面は円形で強く赤化しており、基底部は起伏に富み、深さ 29 ㎝ほどの箱状に掘り込まれている。煙道部はほぼ垂直に立ち上がる。基底部の北側に石製支脚が２点平列していた。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ１㎝～６㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中やカマドなどから、617 点で 9227.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 16 点、弥生土器は壷が８点、須恵器は坏が 26 点、高坏は２点、鉢が６点、甕が６点、土師器は坏が 218 点、高台付坏が 31 点、高台付埦が４点、甕・壷が 270 点、灰釉陶器は長頸壷が２点、陶器は皿が１点、急須が１点、平瓦は古代瓦が 12 点、近代瓦が２点、石製品は支脚が２点、鉄製品は紡錘車の軸部が１点、銅製品は銅鋺



第 108 図　24 号住居跡出土遺物（1）



第 109 図　24 号住居跡出土遺物（2）

第 52 表　24 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～底部	80	9.4	5.4	2.4	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ、外面下端回転ヘラケズリ。底部外面左回転糸切り離し、未調整。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉 カマドから出土
2	土師器	坏	口縁部～底部	60	9.3	5.8	2.4	口縁部上端僅かに肥厚、内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面左回転糸切り離し、未調整。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉
3	土師器	高台付坏	体部～底部	30	－	7.3	<4.3>	体部膨らみを持つ、内外面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面切り離し技法不明、ヘラナデ。高台部接地面内側、貼り付け。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい褐色	10 世紀中葉～後葉 カマドから出土

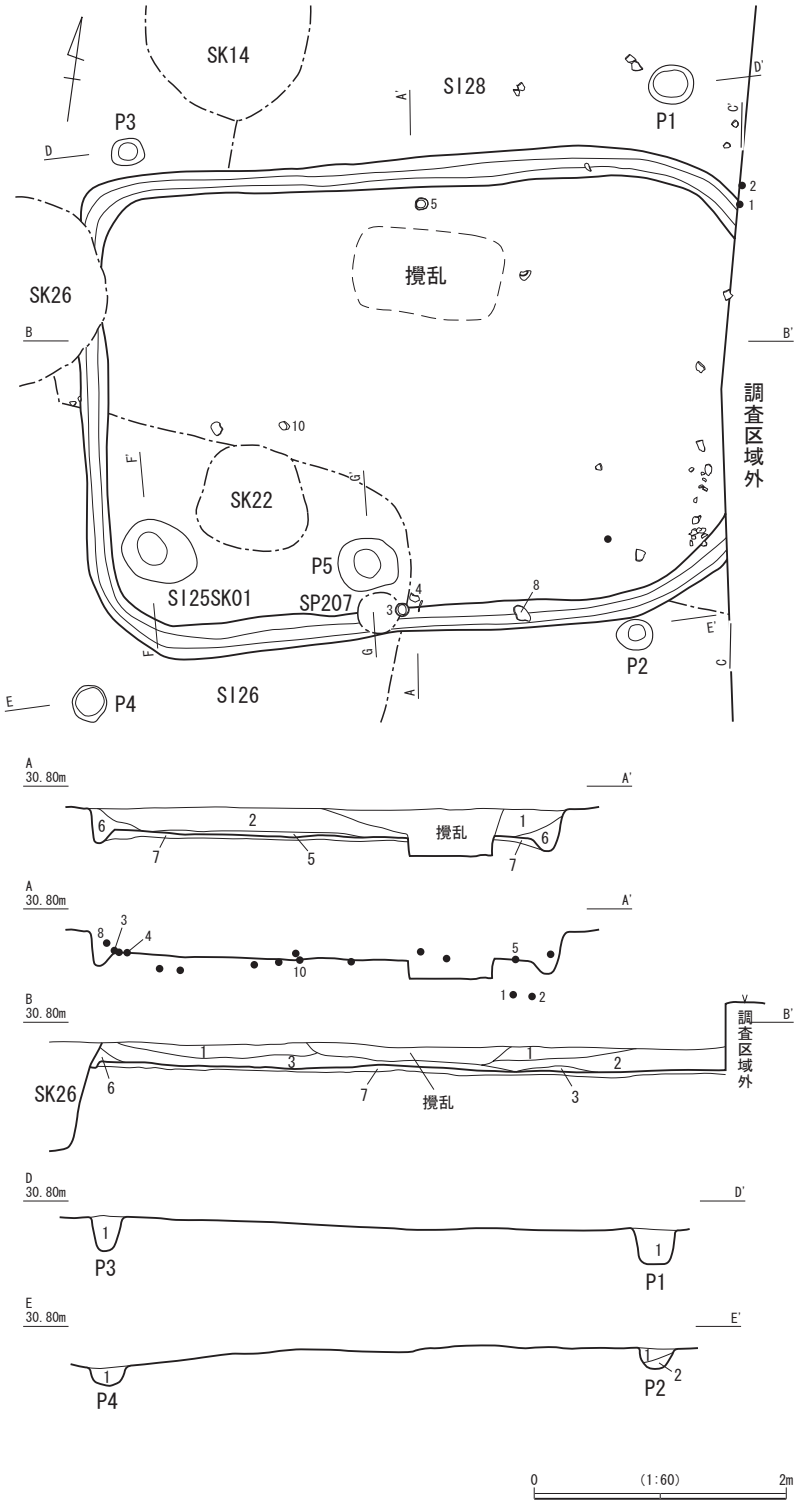
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
4	土師器	高台付坏	体部～底部	40	－	7.0	<3.8>	体部膨らみを持つ。内外面回転ナデ。見込み部丁寧なナデ、底部外面切り離し技法不明、丁寧なナデ。高台部接地面内側、貼り付け。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉～後葉 カマドから出土
5	土師器	高台付坏	体部～底部	30	－	5.2	<2.8>	体部膨らみを持つ、外面回転ナデ、内面及び見込み部丁寧なナデ。底部外面回転ヘラ切り離し、未調整。高台部貼り付け、断面形三角形。	白・黒色粒子・石英粒・金雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉～後葉
6	土師器	高台付埦	口縁部～底部	60	15.6	6.8	5.4	口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横及び縦方向ヘラナデ。見込み部ナデ、底部外面回転ヘラ切り離し、未調整。高台部貼り付け。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明黄褐色	10 世紀中葉～後葉
7	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	(24.2)	－	<3.0>	口唇部平坦。口縁部「く」字状に折れる。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
8	土師器	甕	胴部	40	(23.5)	(9.1)	30.0	胴部外面上位横方向ヘラナデ、中位縦方向ヘラケズリ、下位多方向ヘラケズリ、内面上位横方向ヘラナデ、中位斜方向ヘラナデ、下位横方向ヘラナデ。底部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
9	灰釉陶器	長頸壷	頸部	30	－	－	<11.0>	大型、全面回転ナデ。	白・黒色粒子・白雲母片	良好	黄灰色	東海系 カマドから出土
10	瓦	平瓦	左側部	10	長さ <10.7>	幅 <8.7>	厚さ 1.6	凸面縦方向ヘラナデ後ナデ、凹面布目。左側部ヘラケズリ後ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	にぶい黄褐色	
11	瓦	平瓦	基部	細片	長さ <4.9>	幅 <5.2>	厚さ 1.9	凸面長縄圧痕、凹面布目。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
12	石製品	支脚	－	100	長さ 18.6	幅 9.5	厚さ 5.0	方形の礫を利用。	－	－	－	砂岩製 重量 2271.1g
13	石製品	支脚	－	100	長さ 11.9	幅 8.7	厚さ 11.0	円柱状の礫を利用。	－	－	－	輝石安山岩製 重量 1497.2g
14	銅製品	銅鋺	口縁部～体部	不明	(10.9)	－	<4.9>	5片折り重なりように出土。口縁部は短い折り返し。	－	－	－	15 と同一個体ヵ 重量 37.27 g P1 から出土
15	銅製品	銅鋺	体部	細片	長さ <1.5>	幅 <0.5>	厚さ 0.2	－	－	－	－	14 と同一個体ヵ 重量 2.65 g
16	鉄製品	紡錘車	軸部	－	長さ <9.3>	幅 0.5	厚さ 0.4	断面四角形。	－	－	－	重量 8.91 g

が6点、片岩片が1点、石英塊が2点出土している。このうち縄文土器の深鉢、須恵器の坏、高坏、甕、土師器の坏、高台付坏、高台付埦、甕・壷、灰釉陶器の長頸壷、古代の平瓦、石製支脚、鉄製紡錘車、銅鋺の20点を図示することが出来たが、縄文土器の深鉢、須恵器の坏、鉢、甕は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第9節に図示することとする。1・2は土師器坏である。底部を回転糸切りで切り離している。3～5は内面をナデ調整が施される土師器高台付坏である。6は土師器高台付埦である。7・8は土師器の甕である。9は大型の灰釉陶器長頸壷の頸部である。10は凸面ヘラナデ、11は凸面に長縄圧痕を施される平瓦である。12･13は石製支脚である。かまどに並列して起立していた。12が砂岩製で向かって左側、13が輝石安山岩製で向かって右側である。14･15は銅鋺片である。14はP1の底部に潰れて5片が折り重なっていた。15は覆土中層からの出土である。同一個体であろう。16は鉄製紡錘車の軸部である。紡錘車自体は出土していない。切り合い関係は20・21・23号土坑、42・199号ピットに先行して、22・23・27号住居跡に後続する。14・15の銅鋺から住居建設時における祭祀の可能性を持つ。

出土した土師器坏の器形の特徴からや覆土の状況、切り合い関係などから判断して10世紀中葉～後葉の所産であろう。

25号住居跡（第110・111図、第53・54表、図版9・32）

D－11・D－12・E－11・E－12グリッドに位置する。本住居跡東側1/5が調査区外である。西側2mに23号住居跡、4.5mに21号住居跡、東側5mに29・37号住居跡、南西側5mに24号住居跡がそれぞれ分布する。北側で28号住居跡、西側で22・26号土坑、南側で26号住居跡、207号ピットと重複する。平面形は長軸516㎝以上、短軸375㎝の長方形を呈する。主軸方位はN－82°－Eを示す。壁はほぼ垂直



25号住居跡
1　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/4　褐色土　ロームブブロック・焼土粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
7　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

25号住居跡1号土坑
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

P1・3
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P2
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

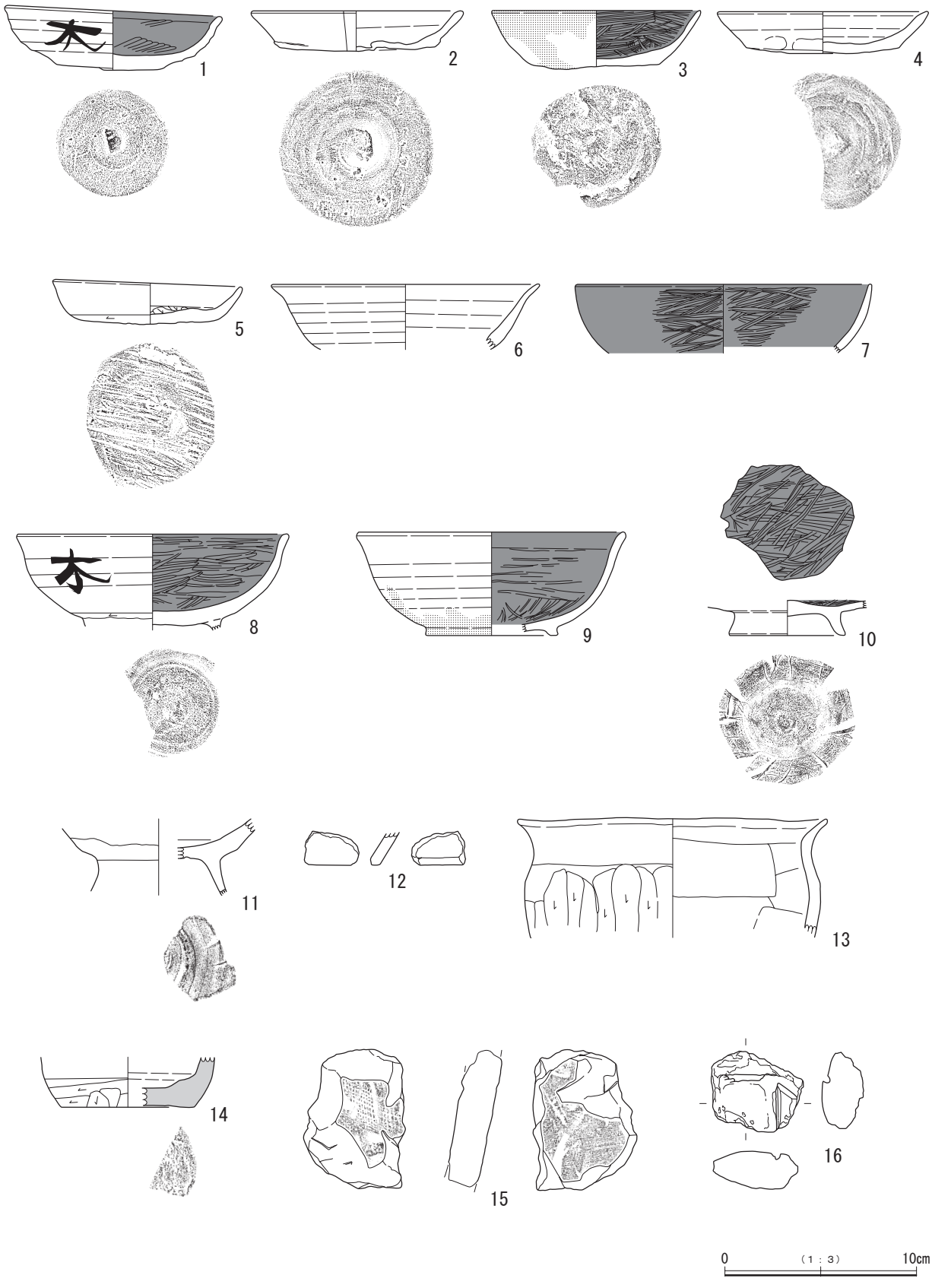
P4
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。

P5
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第110図　25号住居跡（1：60）

第53表　25号住居跡土坑・ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
SK01	南西側	楕円形	61	46	25	筒状	緩やか	丸味		貯蔵穴ヵ	N－77°－W
P1	住居外北東側	楕円形	36	30	28	筒状	垂直	平坦		主柱穴	
P2	住居外南東側	楕円形	29	23	15	筒状	緩やか	丸味		主柱穴	
P3	住居外北西側	楕円形	25	21	27	筒状	急角度	丸味		主柱穴	
P4	住居外南西側	円形	26	－	16	筒状	急角度	丸味		主柱穴	
P5	南側	隅丸方形	46	40	24	筒状	緩やか	丸味		出入口ピット	



第 111 図　25 号住居跡出土遺物

第 54 表　25 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～底部	100	11.5	5.7	3.4	ロクロ成形。内黒坏。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、ロクロ目顕著。内面横方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	体部外面「木」墨書 10 世紀後葉
2	土師器	坏	口縁部～底部	100	10.9	8.1	2.1	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面左回転ヘラ切り離し後周縁部回転ヘラケズリ。内面ロクロ巻き上げ痕顕著。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	10 世紀後葉
3	土師器	坏	口縁部～底部	100	10.8	6.8	3.1	口縁部内外面ヨコナデ。内黒坏。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部多方向ミガキ、底部外面回転ヘラ切り離し後一方向ヘラケズリ。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	体部外面から底部外面黒色付着物少量 10 世紀中葉～後葉
4	土師器	坏	口縁部～底部	40	(10.8)	(8.0)	<2.2>	ロクロ成形。器高低い。体部下位で僅かに窪む。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り離し、ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	
5	土師器	坏	口縁部～底部	60	(9.7)	(6.8)	<2.3>	ロクロ成形。器高低い。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ、体部外面下端回転ヘラケズリ。底部外面切り離し技法不明、一方向の粗いヘラケズリ。	白色粒子・白雲母片	良好	浅黄橙色	10 世紀後葉
6	土師器	坏	口縁部～体部	10	(13.8)	－	<3.4>	口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉
7	土師器	坏	口縁部～体部	10	(15.2)	－	<3.6>	内外面黒色化。体部膨らみを持つ。体部内外面横方向ミガキ。	白色粒子	良好	黒色	掘り方から出土
8	土師器	高台付坏	口縁部～底部	70	(14.0)	－	<5.0>	ロクロ成形。内黒高台付坏。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部多方向ミガキ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け。	白色粒子・黒雲母片	良好	にぶい黄橙色	体部外面「木」墨書 10 世紀中葉～後葉
9	土師器	高台付坏	口縁部～底部	40	(13.8)	(6.8)	<5.4>	ロクロ成形。内黒高台付坏。口縁部外反して体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部多方向ミガキ。高台部低く貼り付け。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	体部外面黒色付着物少量 10 世紀中葉 掘り方から出土
10	土師器	高台付坏	底部	20	－	(6.0)	<1.8>	内黒高台付坏。体部外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り離し後ナデ。見込み部多方向ミガキ、高台部貼り付け。	白・赤色粒子	良好	にぶい褐色	10 世紀中葉
11	土師器	高台付坏	体部～底部	10	－	－	<4.0>	体部内外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り離し、未調整。高台部長く貼り付け。	白色粒子・白雲母片	不良	にぶい黄橙色	10 世紀後葉
12	土師器	甑	胴部	細片	－	－	－	胴部外面斜方向ヘラケズリ、下端横方向ヘラケズリ、内面ナデ。単孔。	白・赤色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	
13	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(16.0)	－	<6.2>	口縁部大きく外反、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
14	灰釉陶器	壷	胴部～底部	細片	－	－	<2.6>	胴部外面下端横方向ヘラケズリ、内面ナデ。底部外面ナデ。ロクロ目顕著。	白・黒色粒子・石英粒	良好	浅黄色	東濃系ヵ
15	瓦	平瓦	基部	細片	長さ <7.1>	幅 <5.3>	厚さ 1.9	凸面ナデ、凹面布目。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
16	土製品	不明	不明	不明	長さ 4.2	幅 4.8	厚さ 2.2	外面に断面Ｖ字状の太い沈線で三角形を区画。	白色粒子・石英粒・金雲母片・繊維	良好	にぶい黄橙色	重量 31.21 g

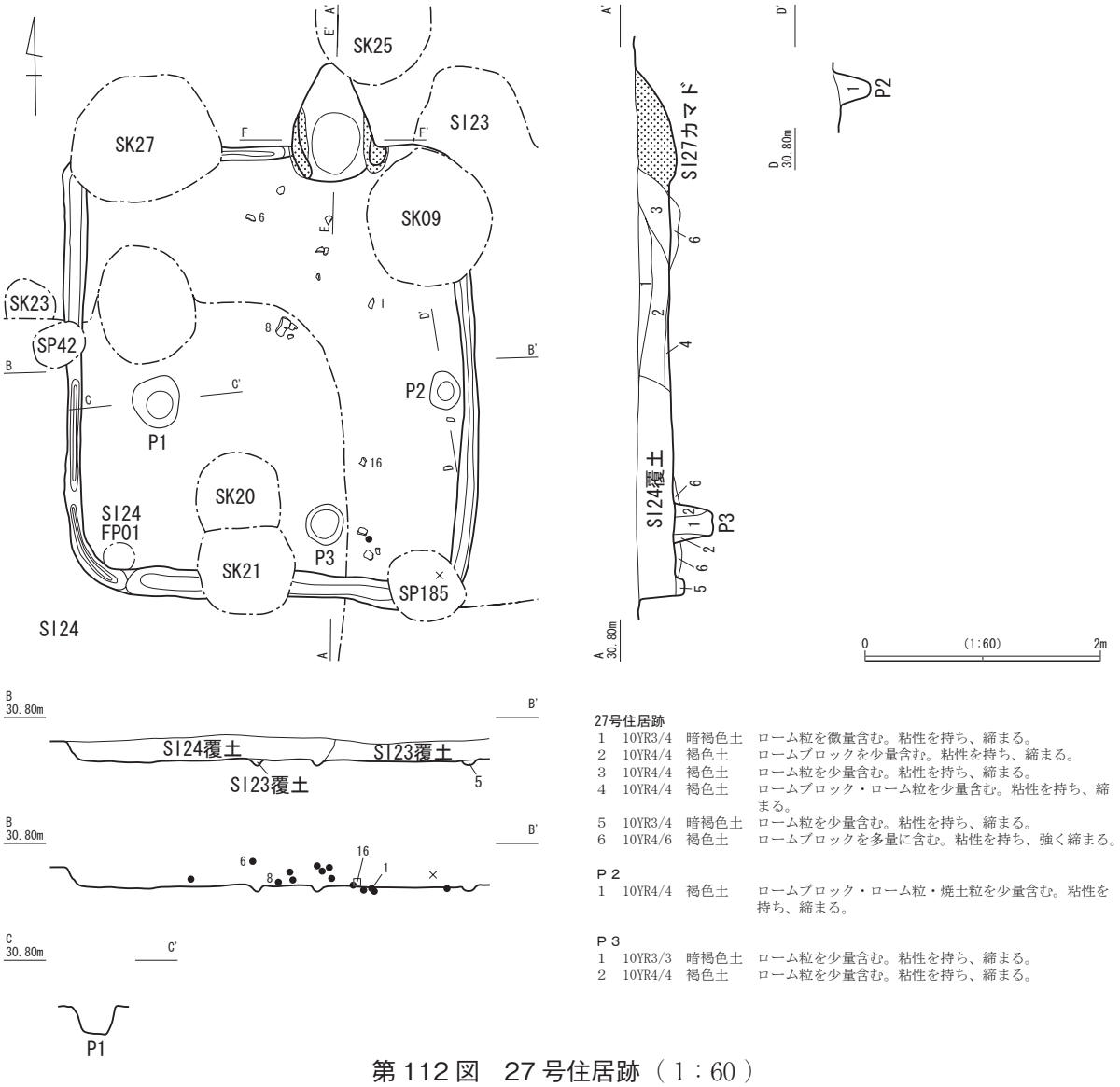
に立ち上がり、最大壁高は 20 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は６層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 16 ～ 26 ㎝、深さ３～ 18 ㎝を測り、確認された範囲で全周する。ピットは５基検出されている。本住居跡外四隅に位置する P1 ～４が主柱穴であろう。また、P5 その位置から出入口施設であった可能性が高い。住居跡南西隅に土坑が１基検出されている。貯蔵穴の可能性が高い。カマドや炉は検出されていないが、Ｃ～Ｃ’の土層断面より粘土粒や焼土粒が確認されている状況から本住居跡は東側にカマドを持つと考えられる。掘り方は全面に及び、深さ２～５㎝を測り、平坦である。

遺物は覆土中などから、636 点で 6742.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 18 点、弥生土器は壷が 16 点、須恵器は坏が 45 点、高台付坏が 16 点、鉢が３点、蓋が３点、土師器は坏が 151 点、高台付坏が８点、甕・壷が 356 点、甑が１点、灰釉陶器は壷が１点、土製品は不明土製品が２点、平瓦は１点、石英塊は２点、焼成土塊は 10 点、礫は３点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の甕、蓋、土師器の坏、高台付坏、甑、甕、灰釉陶器の壷、平瓦、不明土製品を 21 点図示することが出来たが、弥生土器

の壷、須恵器の甕、蓋などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１～７は土師器の坏である。１～５は低い器高で底部をヘラで切り離している。１は体部外面に「木」銘の墨書が確認できる。６は口縁部が外反する器形、７は内外面が黒色処理され、ミガキが伴うものである。８～11は土師器の高台付坏である。８～10は内黒処理を施される。11は高台部が他のものより長い。12は単孔の土師器甑である。13は土師器の甕である。14は灰釉陶器の壷である。胎土から東濃系であろうか。15は凸面をナデ整形する平瓦である。16は外面に断面Ｖ字状の太い沈線で三角形を区画する用途不明の土製品である。胎土にスサが混入している。切り合い関係は22・26号土坑、207号ピットに先行して、26・28号住居跡に後続する。出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して10世紀後葉の所産であろう。

27号住居跡（第112～114図、第55・56表、図版８・33・34）

Ｄ－10・Ｄ－11・Ｅ－10・Ｅ－11グリッドに位置する。本住居跡西側0.2ｍに22号住居跡、北側2.5ｍに21号住居跡、南西側１ｍに26号住居跡がそれぞれ分布する。北側で９･25･27号土坑、42号ピット、南側で24号住居跡、20・21号土坑、東側で23号住居跡と重複する。平面形は長軸387㎝、短軸351㎝の



27号住居跡
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。

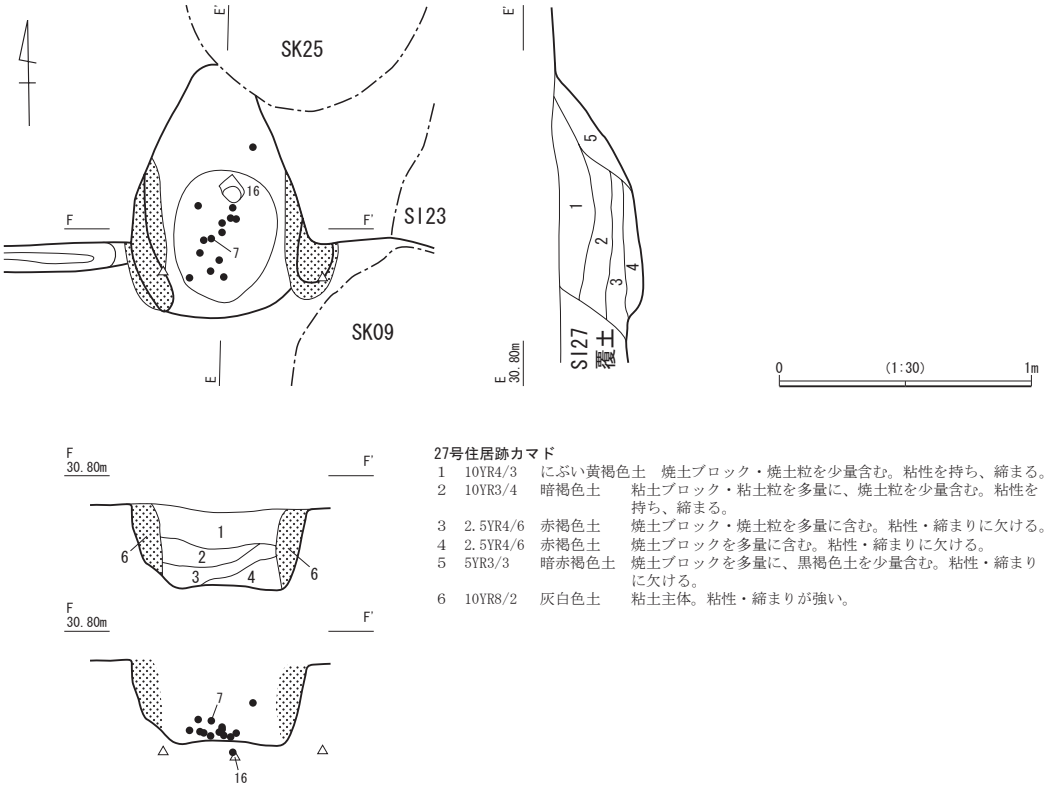
Ｐ２
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・ローム粒・焼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

Ｐ３
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第112図　27号住居跡（１：60）

第 55 表　27 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	西側	不整円形	42	41	24	逆台形状	緩やか	平坦			
P2	東側	不整円形	32	25	26	筒状	急角度	丸味			
P3	南側	円形	33	－	32	筒状	急角度	平坦		出入口ピットヵ	柱痕あり

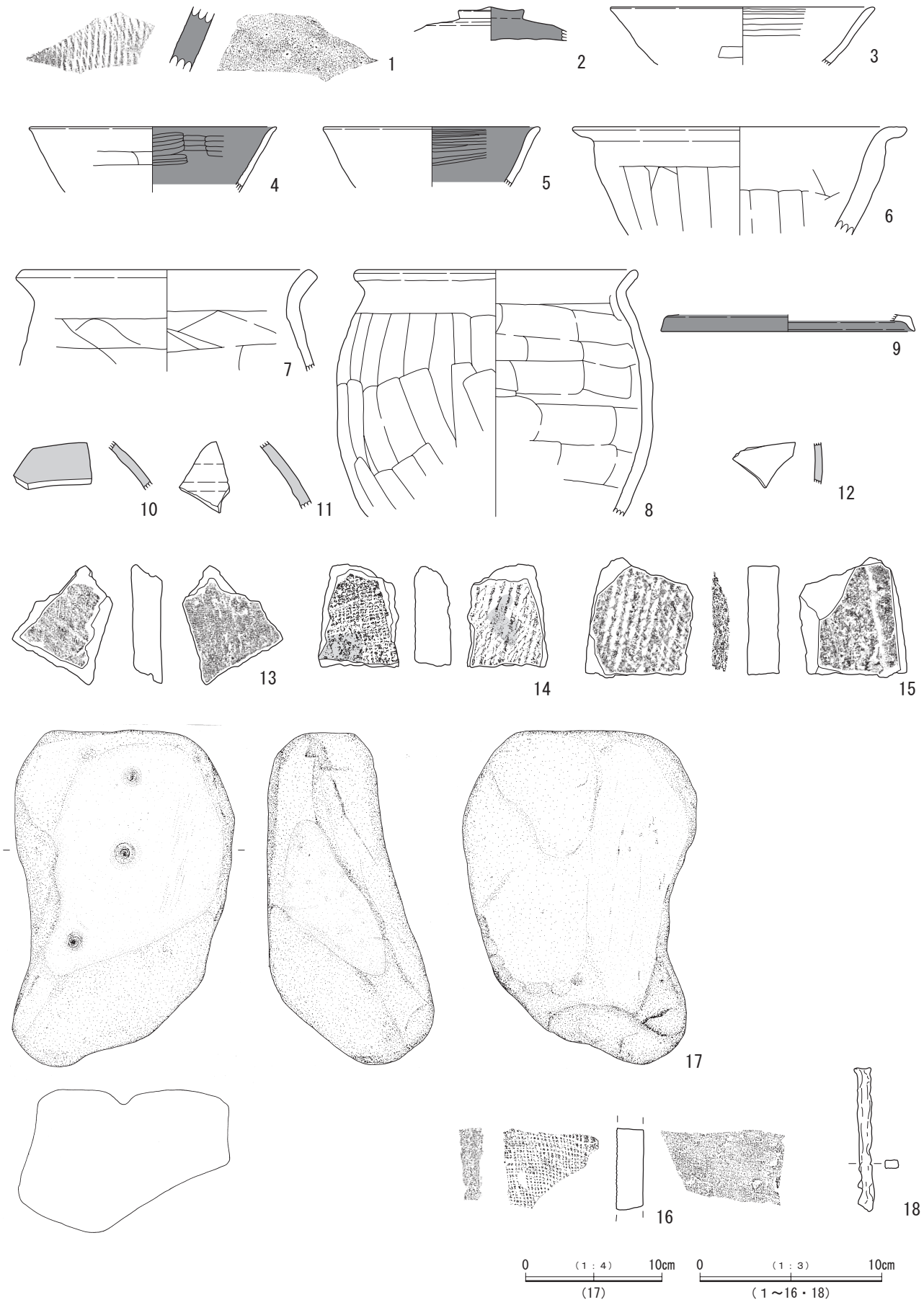


第 113 図　27 号住居跡カマド（ 1 : 30 ）

方形を呈する。主軸方位はＮ－４°－Ｗを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 34 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は６層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 10 ～ 16 ㎝、深さ５㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは３基検出されている。位置から見て出入り口施設と考えられる P3 の他は、その位置から主柱穴ではないであろう。

カマドは住居跡北壁中央部東寄りで検出され、壁外に逆Ｕ字状に 70 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 48 ㎝を測る。燃焼部は長楕円形で長径 101 ㎝、短径 67 ㎝を測る。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ５㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。基底部の北側に大型の礫を用いた支脚が位置する。掘り方は全面に及び、深さ３～５㎝を測り、概ね平坦である。

遺物は覆土中やカマドなどから、114 点で 14015.5 ｇの遺物が出土した。内訳は、弥生土器は壷が４点、須恵器は坏が１点、鉢が１点、甕が２点、蓋が２点、土師器は坏が 10 点、高台付坏が３点、甕･壷が 40 点、蓋が１点、灰釉陶器は壷が３点、平瓦は３点、熨斗瓦は１点、石製品は支脚が１点、鉄製品は釘が２点、焼成土塊が 36 点、礫が２点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の甕、蓋、土師器の坏、甕･壷、蓋、灰釉陶器の壷、平瓦、熨斗瓦、石製支脚、釘を 18 点図示することが出来たが、弥生土器の壷は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は外面に平行叩き目の角度を変えて



第 114 図　27 号住居跡出土遺物

第 56 表　27 号住居跡出土遺物観察表

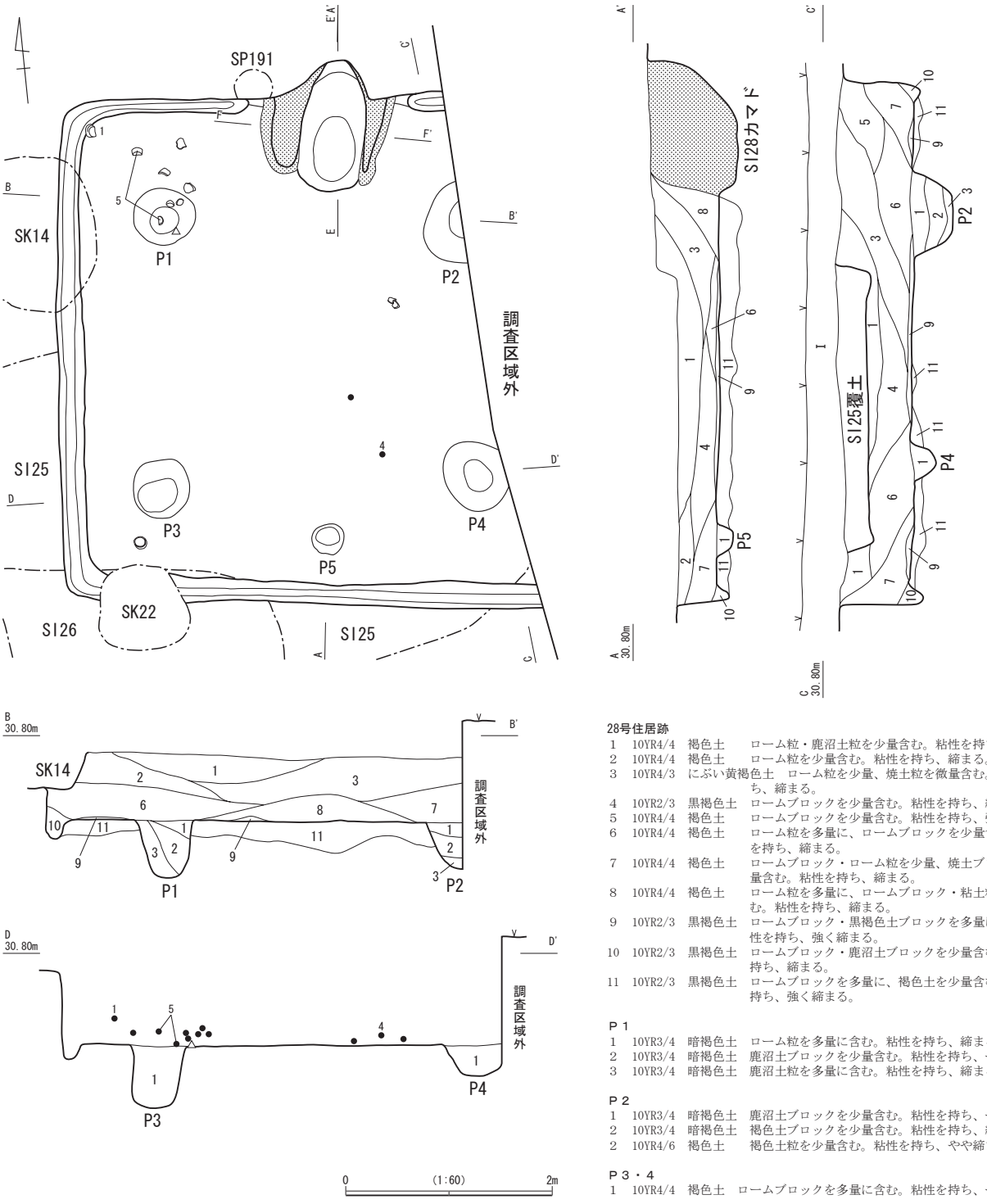
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	甕	胴部	細片	−	−	−	胴部外面斜格子状となる平行叩き、内面ナデ。	白・黒色粒子	良好	褐灰色	
2	須恵器	蓋	鈕部～天井部	10	−	−	<1.8>	偏平擬宝珠状鈕。ナデ。天井部外面左回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	新治窯跡群産 赤焼け。
3	土師器	坏	口縁部～体部	20	(14.4)	−	<3.2>	口縁部外反、体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面ナデ。	白色粒子	良好	にぶい黄橙色	9 世紀後葉
4	土師器	坏	口縁部～体部	10	(13.5)	−	<3.6>	内黒坏。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。	白・黒色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	9 世紀後葉～ 10 世紀前葉 P1 から出土
5	土師器	坏	口縁部～体部	10	(11.7)	−	<3.3>	内黒坏。口縁部外反、内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	褐灰色	9 世紀中葉～後葉
6	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(18.2)	−	<6.0>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部上方へ摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面上位ナデ、中位以下縦方向ヘラケズリ、内面上位横方向ヘラナデ、中位以下縦方向ヘラナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
7	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(15.7)	−	<5.6>	口縁部肥厚させ、口唇部平坦。「く」字状に折れ、内外面ヨコナデ。胴部外面横方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
8	土師器	甕	口縁部～胴部	30	(15.3)	−	<13.6>	口縁部「く」字状に折れ、内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
9	土師器	蓋	端部	細片	(13.8)	−	<0.9>	内外面黒色化、端部外反。全面ナデ。	黒雲母片	良好	黒色	
10	灰釉陶器	壷	胴部	細片	−	−	−	内外面回転ナデ。外面施釉。	白色粒子	良好	灰黄色	東海系ヵ
11	灰釉陶器	壷	胴部	細片	−	−	<3.7>	胴部内外面回転ナデ。	白色粒子	良好	灰黄色	東海系ヵ
12	灰釉陶器	壷	胴部	細片	−	−	−	胴部内外面回転ナデ。外面施釉。	白・黒色粒子	良好	灰白色	東海系ヵ
13	瓦	平瓦	基部	細片	長さ <6.6>	幅 <5.5>	厚さ 1.7	凸面ヘラナデ、凹面布目。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
14	瓦	平瓦	基部	細片	長さ <5.7>	幅 <5.4>	厚さ <2.0>	凸面長縄圧痕、凹面布目。	白・黒色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	橙色	凹凸面赤色付着物少量 P1 から出土
15	瓦	熨斗瓦	右側部	細片	長さ <6.7>	幅 <6.0>	厚さ 1.8	凸面長縄圧痕、凹面布目後ヘラケズリ、ナデ。右側部ヘラケズリ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
16	瓦	平瓦	左側部	細片	長さ <4.5>	幅 <6.5>	厚さ 1.5	凸面ナデ、凹面布目。左側部ヘラケズリ後ナデ。	白・赤色粒子・金雲母片	良好	橙色	
17	石製品	支脚	−	100	長さ 24.6	幅 15.7	厚さ 14.6	1 面に 3 ヶ所の窪み。	−	−	−	縄文時代石器蜂の巣石を転用 重量 4890.1g
18	鉄製品	釘	基部	50	長さ 7.9	幅 0.7	厚さ 0.5	断面四角形。	−	−	−	重量 10.97 g

施し、斜格子目としている須恵器の甕である。2 は偏平擬宝珠状鈕を持つ須恵器蓋である。3 ～ 5 は土師器の坏である。4 ・ 5 は内黒処理が施される。6 ～ 8 は土師器の甕で、6 は常総型である。9 は内外面黒色処理を施した土師器蓋である。10 ～ 12 は灰釉陶器の壷であるが、どれも胎土から東海系と考えられるが、12 のみ胎土が違うため窯が違う可能性がある。13 は凸面ヘラナデ、14 は凸面長縄圧痕を施される平瓦である。15 は凸面長縄圧痕が施される熨斗瓦である。16 は凸面ナデ調整の平瓦である。17 は縄文時代蜂の巣石を利用した石製支脚である。18 は断面四角形の釘である。また、焼成土塊が大量に出土しているが、土製支脚の粉砕したものと考えられ、本住居跡で特殊な作業が行なわれた可能性は低い。切り合い関係は 23・24 号住居跡、9 ・20・21・25・27 号土坑、42 号ピットに先行して、22 号住居跡に後続する。

出土した須恵器の蓋や土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 9 世紀中葉～後葉の所産であろう。

28 号住居跡（第 115 ～ 117 図、第 57・58 表、図版 10・34）

D － 11・D － 12・E － 11・E － 12 グリッドに位置する。本住居跡東側 1/3 が調査区外である。西側 3 mに 23 号住居跡、東側 5 mに 29・37 号住居跡、北西側 4 mに 21 号住居跡、南西側 1 mに 26 号住居跡がそれぞれ分布する。西側で 14 号土坑、南側で 25 号住居跡、北側で 191 号ピット、南側で 207 号ピットと重複する。平面形は長軸 489 ㎝、短軸 459 ㎝以上の方形を呈する。主軸方位はＮ － 9° －Ｗを示す。壁はほぼ垂



28号住居跡

1　10YR4/4　褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量、焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、強く締まる。
6　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量、焼土ブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。
8　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に、ロームブロック・粘土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
9　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・黒褐色土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。
10　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
11　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に、褐色土を少量含む。粘性を持ち、強く締まる。

P１

1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
3　10YR3/4　暗褐色土　鹿沼土粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P２

1　10YR3/4　暗褐色土　鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　褐色土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　褐色土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

P３・４

1　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

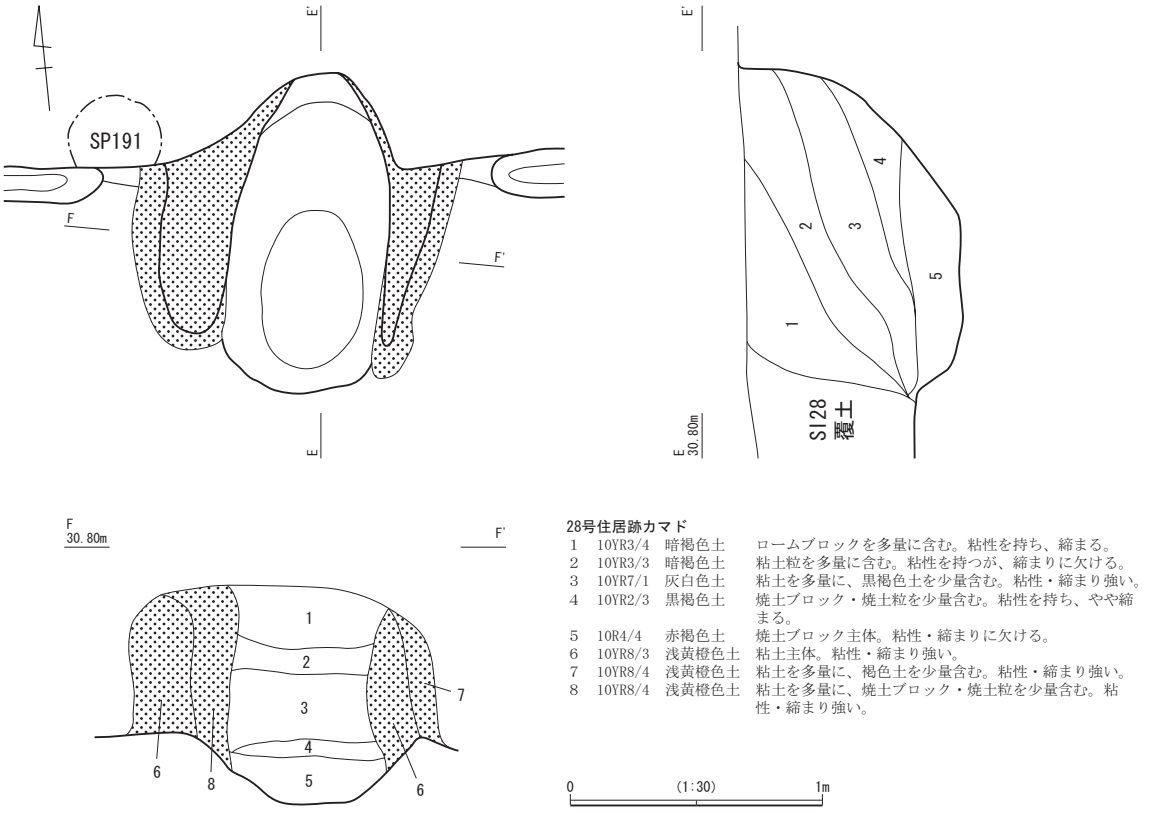
P５

1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

第115図　28号住居跡（1：60）

第57表　28号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	楕円形	60	56	55	筒状	急角度	丸味		主柱穴	
P2	北東側	楕円形	78	39以上	45	筒状	急角度	丸味		主柱穴	
P3	南西側	円形	56	－	60	筒状	垂直	丸味		主柱穴	
P4	南東側	楕円形	74	56以上	35	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P5	南側	円形	31	－	14	逆台形状	緩やか	平坦		出入口ピット	

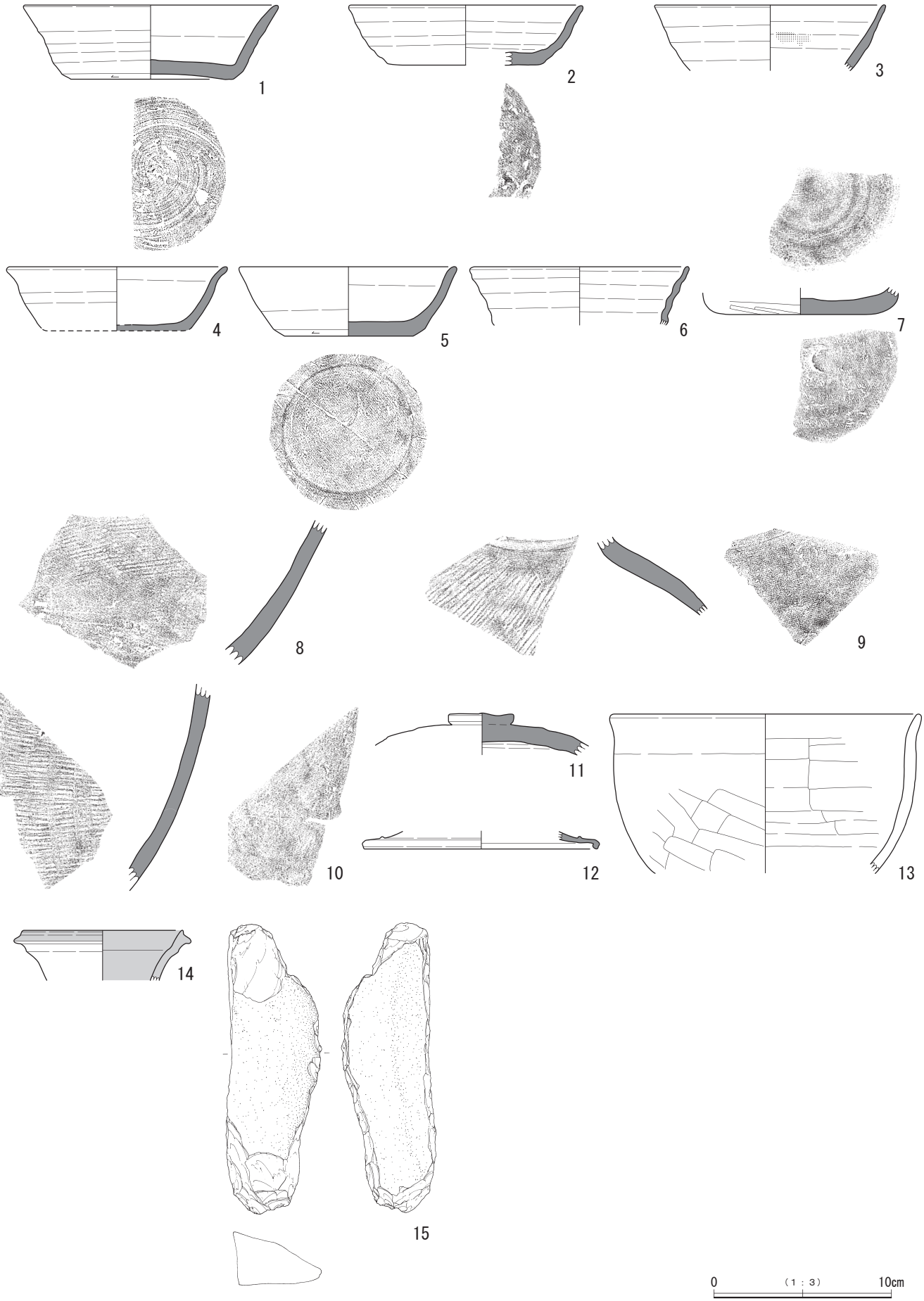


第 116 図　28 号住居跡カマド（１：30）

直に立ち上がり、最大壁高は 65 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は 10 層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 13 ～ 28 ㎝、深さ５～ 15 ㎝を測り、カマド部分を除き確認された範囲で全周する。ピットは５基検出された。本住居跡四隅に位置する P1 ～ 4 が主柱穴と考えられる。また、P5 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。

カマドは住居跡北壁中央部で検出され、壁外に逆Ｕ字状に 36 ㎝ほど突出する。袖部は浅黄橙色粘土を用いて造られ、両袖間は 59 ㎝を測る。燃焼部は長楕円形で長径 130 ㎝、短径 78 ㎝を測る。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 15 ㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかだが上方で垂直に近い角度となる。支脚は出土したが、カマド覆土中で、原位置には無かった。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ 13 ～ 31 ㎝を測り、起伏に富む。

遺物は覆土中やカマドなどから、544 点で 8435.9 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 47 点、浅鉢が１点、弥生土器は壷が 13 点、須恵器は坏が 49 点、高台付坏が１点、鉢が４点、壷が１点、甕が 27 点、蓋が５点、土師器は坏が 43 点、高台付坏が５点、甕･壷が 339 点、灰釉陶器は壷が１点、石製品は支脚が１点、石英塊は１点、焼成土塊が６点出土している。このうち縄文土器の深鉢、浅鉢、弥生土器の壷、須恵器の坏、鉢、壷、甕、蓋、土師器の坏、壷、灰釉陶器の壷、石製支脚を 21 点図示することが出来たが、縄文土器の深鉢、浅鉢、弥生土器の壷は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１～７は須恵器の坏である。３以外は新治窯跡群産、３は木葉下窯跡群産である。３は内面に漆状の黒色付着物が確認されている。７は見込み部に「×」のヘラ書きが確認されている。８は須恵器の鉢である。新治窯跡群産で未還元焼成である。９は新治窯跡群産の須恵器壷である。外面に斜方向平行叩きを施される。10 は木葉下窯跡群産の須恵器甕である。外面に斜方向平行叩きを施される。11・12 は須恵器蓋である。11 は新治窯跡群産である。13 は口縁部が短く直立する土師器壷である。14 は東海系と思われる灰釉陶器の壷で



第 117 図　28 号住居跡出土遺物

第 58 表　28 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	口縁部～底部	60	(14.2)	9.2	4.2	厚手。体部僅かに外反。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、下端左回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後未調整。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉
2	須恵器	坏	口縁部～底部	20	(13.0)	(8.8)	3.4	体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面切り離し技法不明、ナデ。ロクロ目顕著。	白・黒色粒子・チャート粒・金雲母片	良好	灰白色	新治窯跡群産 ９世紀前葉
3	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(12.8)	－	<3.7>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。ロクロ目顕著。	白色粒子	良好	暗灰黄色	内面漆状の付着物。 木葉下窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉 （SI28 の遺物）
4	須恵器	坏	口縁部～体部	30	(12.3)	(9.0)	<3.6>	口縁部大きく外反、内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。見込み部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄灰色	新治窯跡群産
5	須恵器	坏	口縁部～底部	50	(12.2)	7.3	3.9	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、指頭痕。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉
6	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(12.0)	－	<3.3>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。外面ロクロ目顕著。	白色粒子・白雲母片	良好	灰白色	新治窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉
7	須恵器	坏	底部	10	－	(8.2)	<1.5>	体部外面回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面切り離し技法不明、一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄灰色	新治窯跡群産 見込み部「×」ヘラ書き
8	須恵器	鉢	胴部	10	－	－	－	胴部外面上位斜方向平行叩き、下位斜方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	新治窯跡群産 未還元焼成
9	須恵器	壷	胴部	細片	－	－	－	胴部外面斜方向平行叩き、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産 P2 から出土
10	須恵器	甕	胴部	細片	－	－	<11.7>	胴部外面斜方向平行叩き、内面ナデ。	白・黒色粒子・白色針状物質	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産
11	須恵器	蓋	鈕部～天井部	10	－	－	<2.4>	偏平擬宝珠状鈕、ナデ。天井部外面左回転ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	新治窯跡群産 赤焼け
12	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(12.8)	－	<3.7>	かえりなし。かえし僅かに内傾。天井部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	
13	土師器	壷	口縁部～胴部	20	(17.1)	－	<9.0>	口縁部短く直立、内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子･チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
14	灰釉陶器	壷	口縁部	細片	(8.9)	－	<2.8>	口縁部外反、口唇部上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。内面に釉。	黒色粒子・黒雲母片	良好	灰白色	東海系ヵ
15	石製品	支脚	完存	100	長さ 16.3	幅 4.9	厚さ 3.0	縦長の礫を支脚として使用	－	－	－	片岩製 重量 329.1 g カマドから出土

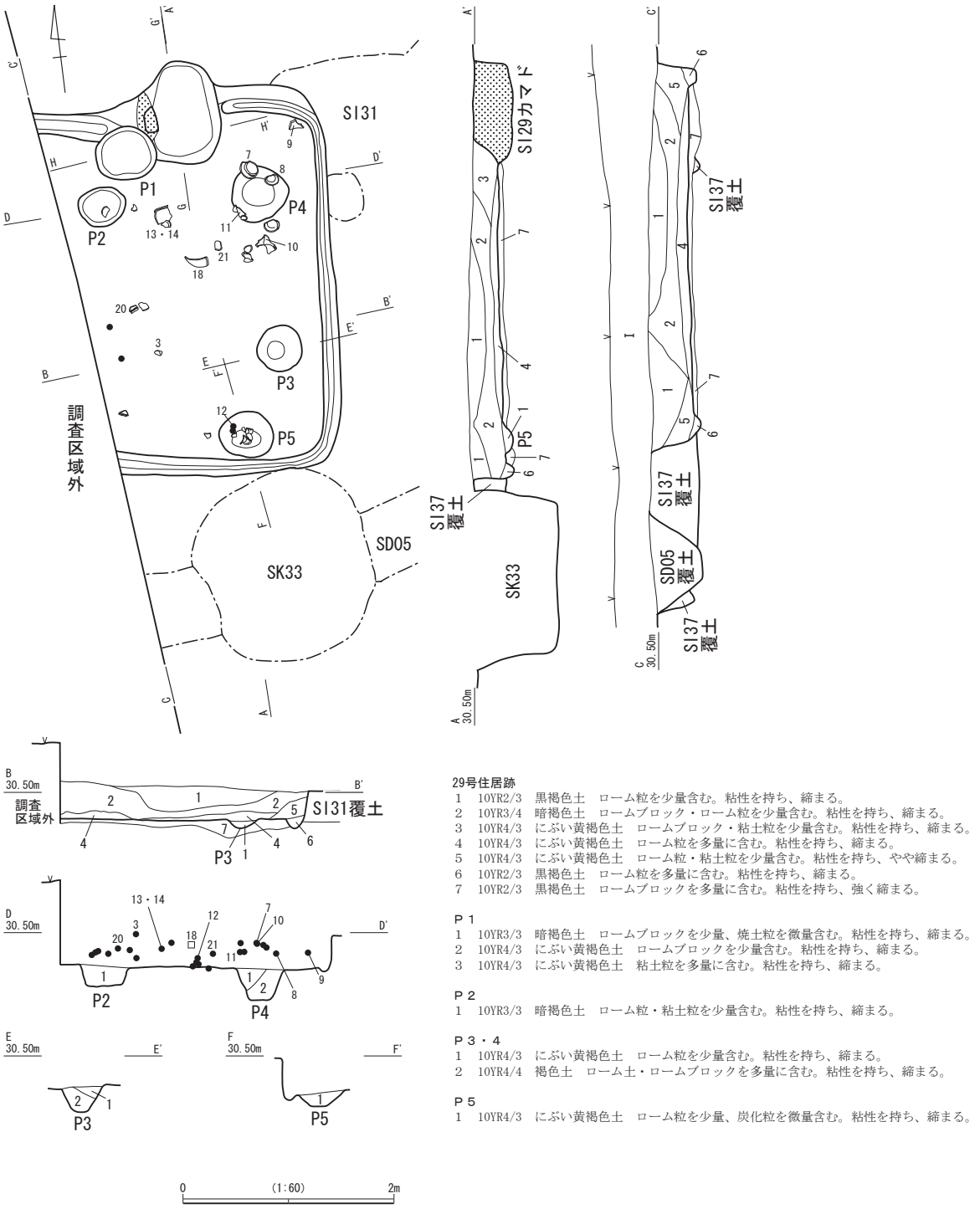
ある。15 は縦長の片岩片を利用した礫で石製支脚と思われる。切り合い関係は 25 号住居跡、14・22 号土坑に先行して、191 号ピットに後続する。出土した須恵器坏の器形の特徴や覆土の状況、

切り合い関係などから判断して８世紀後葉～９世紀前葉の所産であろう。

29 号住居跡（第 118 ～ 121 図、第 59・60 表、図版 10・35・36）

Ｄ－ 12･Ｅ－ 12 グリッドに位置する。本住居跡西側 1/3 が調査区外である。西側５ｍに 25･28 号住居跡、東側４ｍに 32 号住居跡、南側１ｍに５号溝、北東側２ｍに 30 号住居跡がそれぞれ分布する。東側で 31 号住居跡、直下に 37 号住居跡と重複する。平面形は長軸 367 ㎝、短軸 267 ㎝以上の方形を呈する。主軸方位はＮ－７°－Ｅを示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 28 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は６層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅９～ 24 ㎝、深さ２～８㎝を測り、カマド部分を除き確認された範囲で全周する。ピットは５基検出された。北西側に位置する P2、南東側に位置する P3、北東側に位置する P4 がそれぞれ主柱穴と考えられる。また、北壁際中央部に位置する P1 は断面形などから貯蔵穴であった可能性が高いが、それを積極的に確認できなかったため、今回はピットとして報告する。

カマドは住居跡北壁中央部で検出され、壁外に逆Ｕ字状に 29 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 59 ㎝を測る。燃焼部は隅丸方形で長径 97 ㎝、短径 75 ㎝を測る。火床面は隅丸方形で



29号住居跡
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
6　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
7　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。

P1
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロックを少量、焼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　粘土粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P2
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

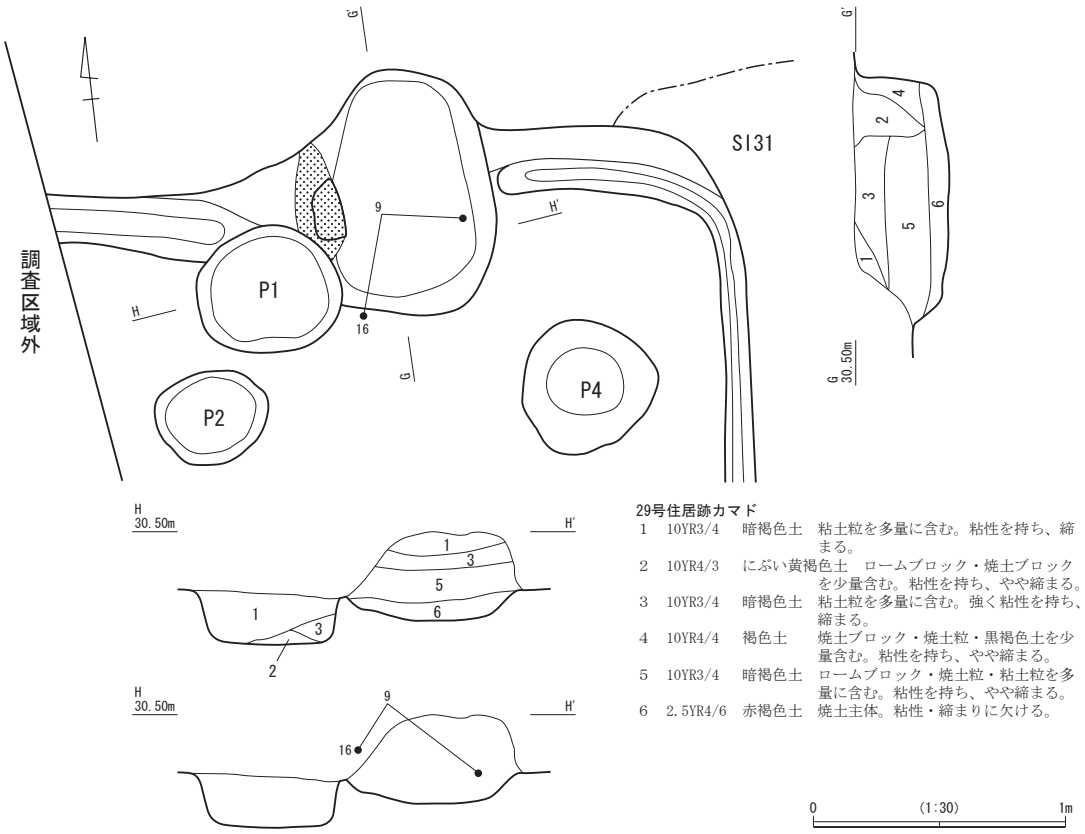
P3・4
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム土・ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

P5
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量、炭化粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

第118図　29号住居跡（1：60）

第59表　29号住居跡ピット一覧表

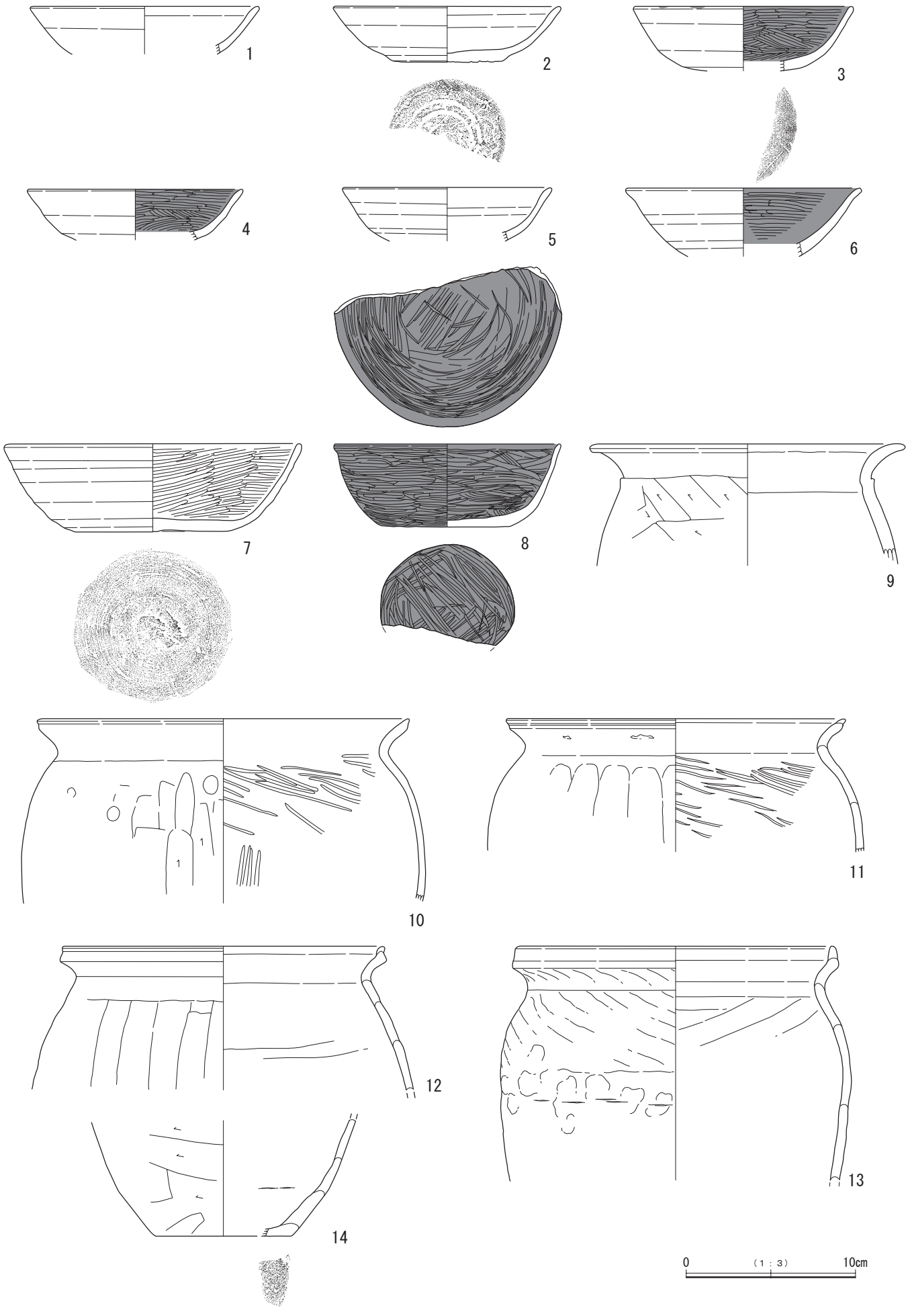
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北側	楕円形	56	50	21	箱状	垂直	平坦		貯蔵穴ヵ	N－83°－W
P2	北西側	楕円形	45	36	20	逆台形状	急角度	平坦		主柱穴	
P3	南東側	円形	43	－	23	筒状	緩やか	丸味		主柱穴	
P4	北東側	不整円形	54	52	28	逆台形状	緩やか	平坦		主柱穴	
P5	南東側	楕円形	51	43	11	逆台形状	緩やか	平坦			



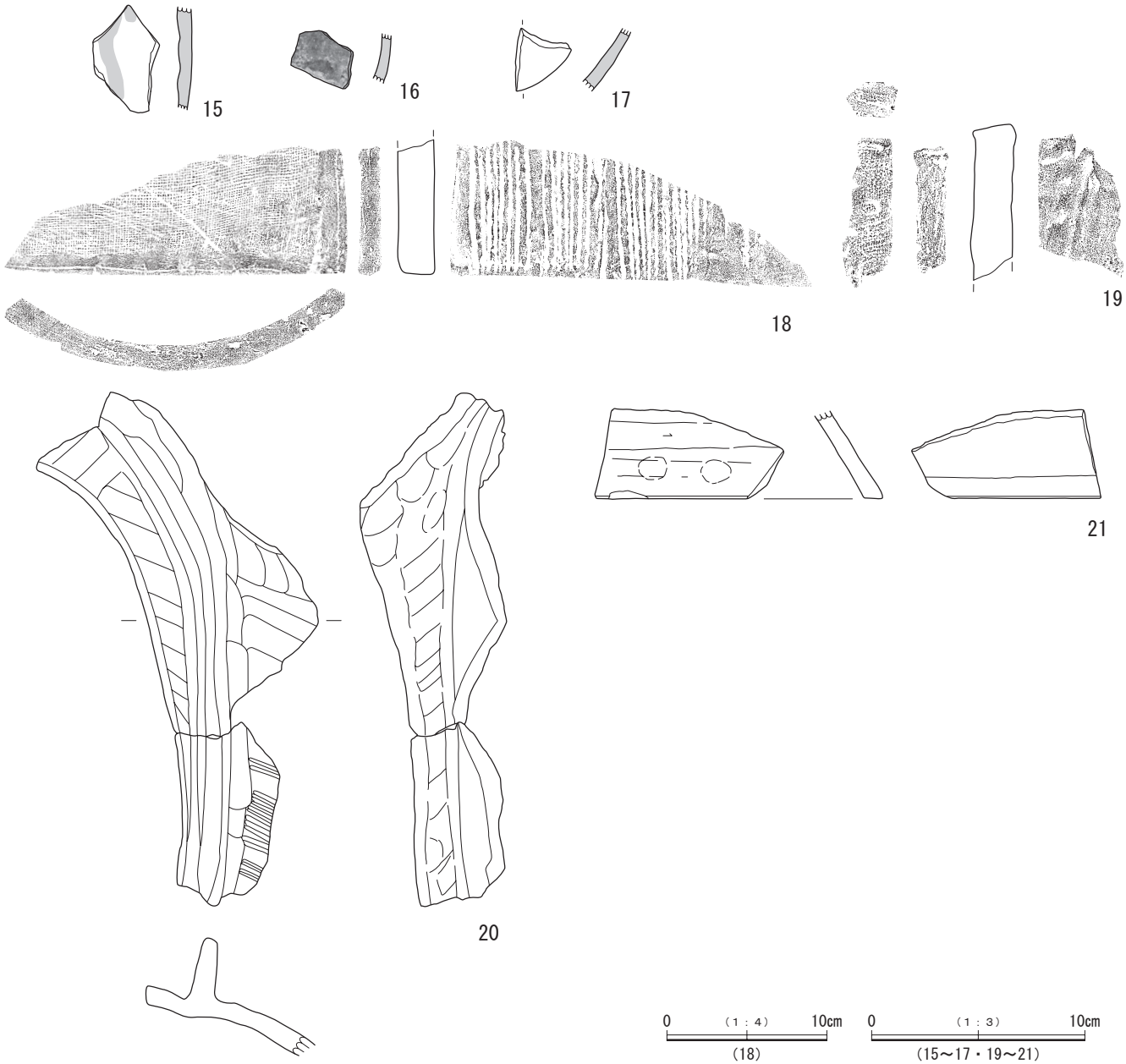
第 119 図　29 号住居跡カマド（ 1 : 30 ）

強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 11 cmほどの箱状に掘り込まれている。煙道部はほぼ垂直に立ち上がる。掘り方は全面に及ぶが、下位に 37 号住居跡が存在していたためなのか、その貼り床面までである。

遺物は覆土中やカマドなどから、530 点で 6352.8 g の遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 16 点、浅鉢が 1 点、弥生土器は壷が 12 点、須恵器は坏が 10 点、高台付坏が 1 点、鉢が 4 点、壷が 1 点、甑が 6 点、甕が 14 点、蓋が 5 点、土師器は坏が 124 点、高台付坏が 8 点、甕・壷が 306 点、灰釉陶器は壷が 3 点、平瓦は 4 点、土製品は移動式カマドが 5 点、焼成土塊が 9 点出土している。このうち縄文土器の浅鉢、須恵器の鉢、壷、甑、甕、土師器の坏、高台付坏、甕、灰釉陶器の壷、平瓦、移動式カマドを 28 点図示することが出来たが、縄文土器の浅鉢、須恵器の鉢、壷、甑、甕土師器の高台付坏などは本住居跡に伴わないと考えられるため､一括して第 9 節に図示することとする。 1 ～ 6 は土師器の坏である。 1 ～ 5 は器高が低い。 3・4・6 は内黒処理が施される。 7 は底部ヘラ切り離し後周縁部回転ヘラケズリ調整を施す土師器の埦である。 8 は土師器坏で内外面黒色処理が施される。 9 ～ 14 は土師器の甕である。10 ～ 13 は常総型である。15 ～ 17 は東海系と考えられる灰釉陶器の壷である。18 は凸面が長縄圧痕、19 は凸面がナデ整形の平瓦である。20・21 は同一個体の可能性を持つ移動式カマドである。20 は鍔が火入れ部の周縁に巡らされている。切り合い関係は 31・37 号住居跡に後続する。出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 10 世紀中葉～後葉の所産であろう。



第 120 図　29 号住居跡出土遺物（1）



第 121 図　29 号住居跡出土遺物（2）

第 60 表　29 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	10	(13.6)	−	<2.8>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	10 世紀中葉
2	土師器	坏	口縁部～底部	30	(13.5)	6.5	3.3	体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・金雲母片・黒雲母片	良好	明黄褐色	10 世紀中葉～後葉 カマドから出土
3	土師器	坏	口縁部～底部	10	(13.0)	−	<3.8>	内黒坏。体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横及び斜方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ、底部外面ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀中葉
4	土師器	坏	口縁部～体部	10	(12.8)	−	<3.0>	内黒坏。口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀中葉～後葉
5	土師器	坏	口縁部～体部	20	(12.4)	−	<3.2>	器高低い。体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉 カマド袖部、P1 から出土
6	土師器	坏	口縁部～底部	10	(14.0)	−	<4.1>	内黒坏。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀中葉～後葉

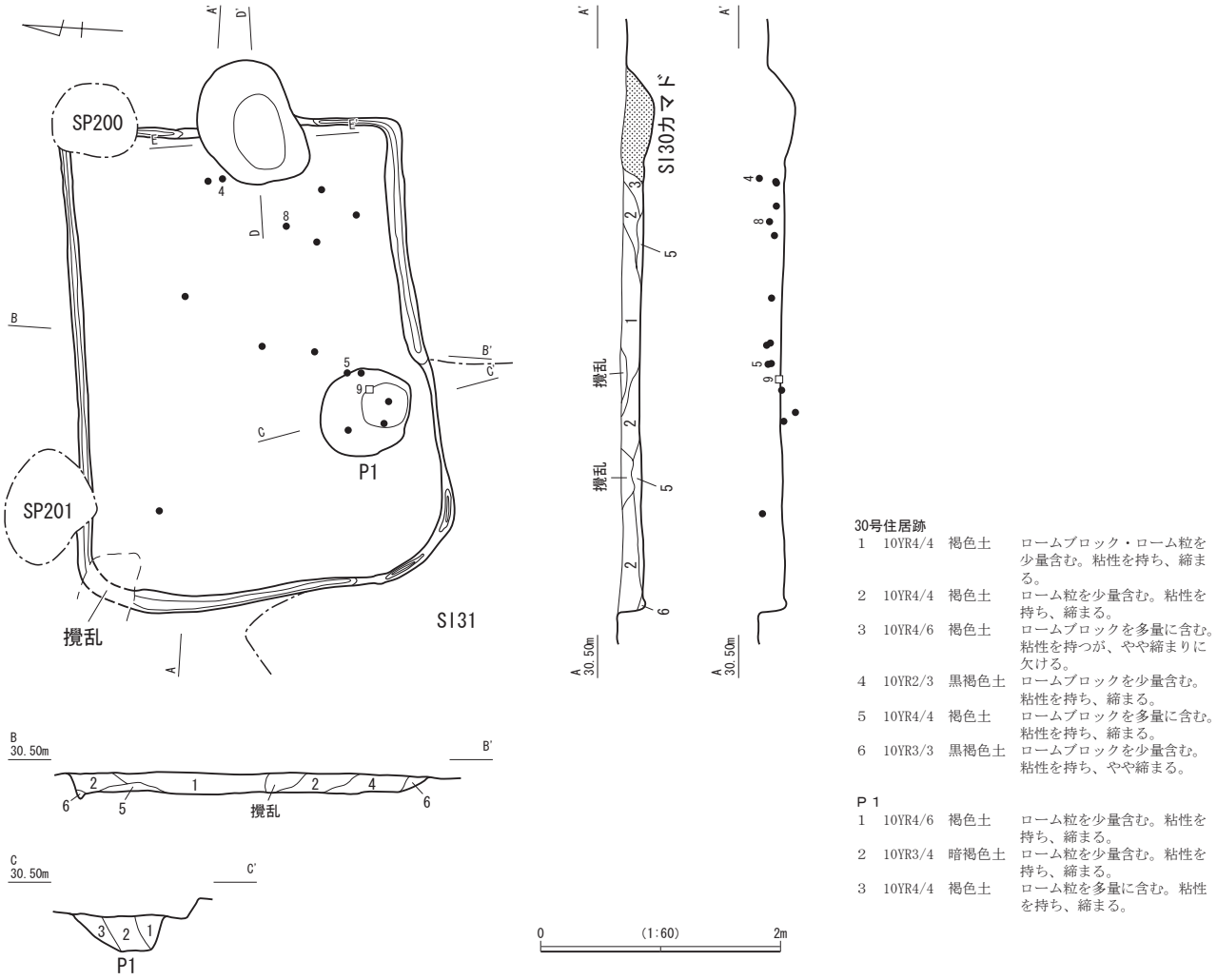
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
7	土師器	埦	口縁部～底部	70	17.6	9.2	5.2	体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ヘラケズリ、内面横方向ミガキ。見込み部多方向ミガキ、底部外面左回転ヘラ切り離し後周縁部回転ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	8世紀中葉
8	土師器	坏	口縁部～底部	50	13.2	7.5	4.9	内外面黒色化。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面横方向ミガキ、見込み部及び底部外面一方向ミガキ。	白色粒子・石英粒	良好	黒色	9世紀前葉
9	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(18.0)	－	<7.2>	口縁部大きく外反、体部との境に明瞭な稜を持つ。胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白・赤色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
10	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(21.8)	－	<10.8>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部斜上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、指頭痕、内面斜方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰褐色	
11	土師器	甕	口縁部～胴部	20	(20.0)	－	<7.9>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面斜方向ミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明褐色	
12	土師器	甕	口縁部～胴部	30	(19.0)	－	<8.5>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、内面横方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
13	土師器	甕	口縁部～胴部	40	18.5	－	<13.8>	常総型甕。口縁部大きく外反。口唇部上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、指頭痕。内面横方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	カマドから出土
14	土師器	甕	胴部～底部	細片	－	(8.0)	<6.9>	胴部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい褐色	
15	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	－	胴部外面横方向ヘラケズリ、内面回転ナデ。外面釉薬垂れる。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	東海系ヵ カマド袖部から出土
16	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	<2.3>	全面ナデ。外面施釉。	白色粒子	良好	灰オリーブ色	東海系ヵ
17	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	－	内外面ナデ。	白・黒色粒子	良好	灰黄褐色	東海系ヵ
18	瓦	平瓦	広端部～左側部	10	長さ<9.0>	幅<21.5>	厚さ2.3	凸面長縄圧痕、凹面布目。広端部及び左側面ヘラケズリ、２面面取り。	赤色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	
19	瓦	平瓦	狭端部～左面側部	細片	長さ<7.3>	幅<4.1>	厚さ2.2	凸面斜方向ヘラケズリ後ナデ、凹面布目。狭端部及び左側面ヘラケズリ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	不良	にぶい黄橙色	カマドから出土
20	土製品	移動式カマド	胴部	30	長さ－	幅<5.5>	厚さ<8.0>	火入れ部上方に断面三角形の鍔を貼り付け。胴部外面ナデ、内面ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	橙色	21と同一個体ヵ カマドから出土
21	土製品	移動式カマド	胴部～底部	10	－	－	－	胴部外面横方向ヘラケズリ、指頭痕、下端ナデ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	暗灰褐色	20と同一個体ヵ

30号住居跡（第122～124図、第61・62表、図版10・11・36）

Ｄ－12・Ｄ－13・Ｅ－12・Ｅ－13グリッドに位置する。本住居跡南側１ｍに５号溝、２ｍに32号住居跡、南西側２ｍに29・37号住居跡がそれぞれ分布する。北側で201号ピット、東側で200号ピット、南西側で31号住居跡と重複する。平面形は長軸399㎝、短軸297㎝の長方形を呈する。主軸方位はＮ－82°－Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は17㎝ほどを測る。床面は地山を硬化させ床面としている。覆土は６層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅８～13㎝、深さ２～４㎝を測り、カマド部分及び南東側の一部を除き全周する。ピットは南西側で１基検出されているが、その位置などから主柱穴ではないであろうが、その平・断面形などから貯蔵穴であった可能性を持つ。

カマドは住居跡東壁中央部で検出され、壁外に逆Ｕ字状に50㎝ほど突出する。袖部は残存していなかった。燃焼部は不整楕円形で長径106㎝、短径76㎝を測る。火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部は起伏に富み、深さ６㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は確認されなかった。

遺物は覆土中やカマドなどから、396点で2945.7ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が７点、弥生土器は壷が20点、須恵器は坏が13点、高台付坏が２点、高台付盤が１点、鉢が１点、甕が10点、蓋が２点、土師器は坏が103点、高台付坏が15点、甕・壷が218点、鉢が１点、灰釉陶器は壷が１点、平瓦



30号住居跡

1	10YR4/4	褐色土	ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR4/4	褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR4/6	褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。
4	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
6	10YR3/3	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

P1

1	10YR4/6	褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR4/4	褐色土	ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

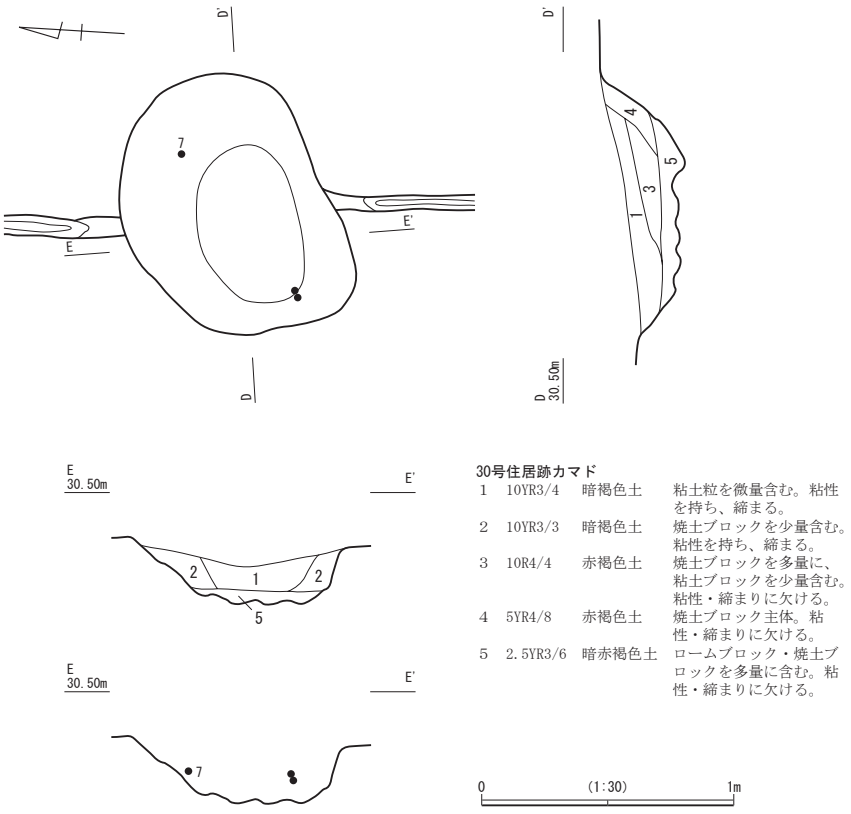
第 122 図　30 号住居跡（ 1 : 60 ）

第 61 表　30 号住居跡ピット一覧表

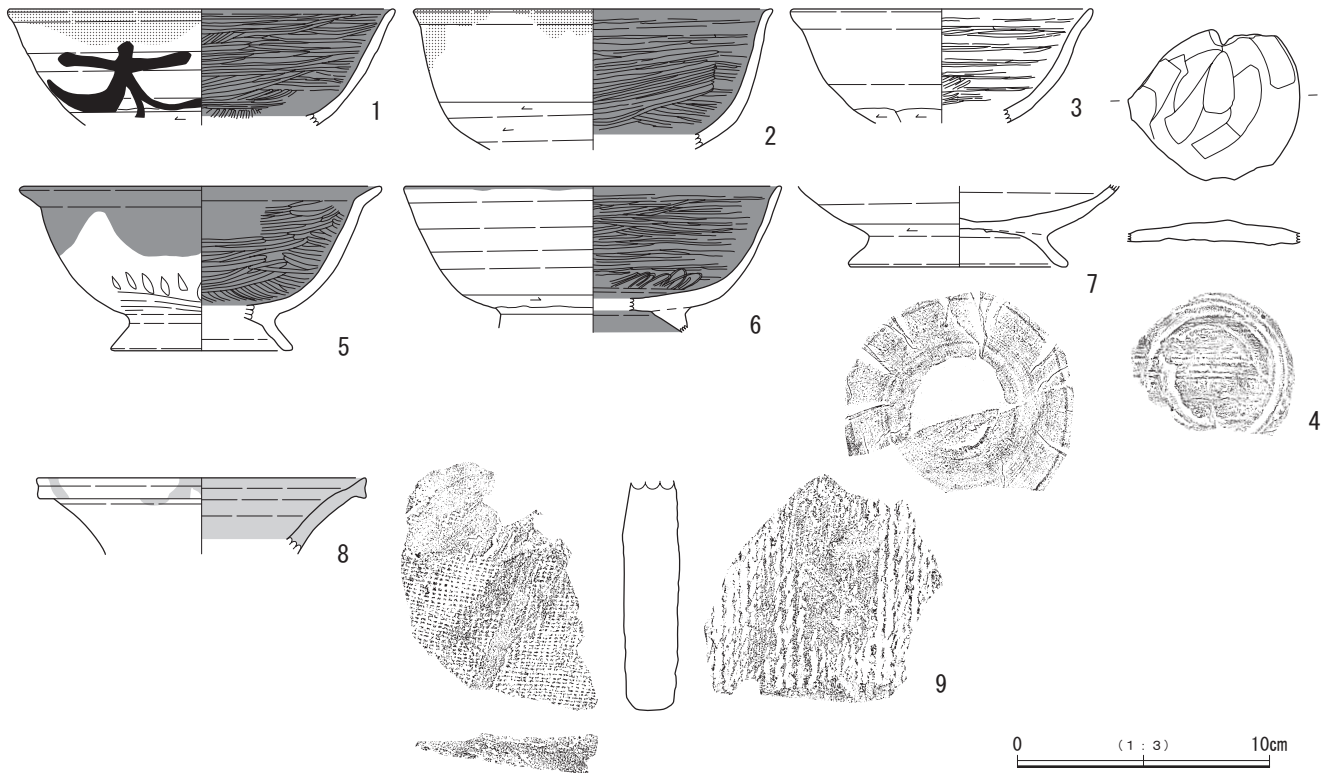
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	南西側	不整円形	82	68	26	逆台形状	緩やか	平坦			

は 1 点、陶器は擂鉢が 1 点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の高台付盤、鉢、土師器の坏、高台付坏、灰釉陶器の壷、平瓦を 14 点図示することが出来たが、弥生土器の壷、須恵器の高台付盤、鉢などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第 9 節に図示することとする。1 ～ 4 は土師器の坏である。1 ～ 3 は口縁部が外反して、1 ・ 2 は内黒処理が施される。4 は底部に簾状の圧痕が確認できる。1 の体部外面に「木ヵ」銘の墨書が確認された。5 ～ 7 は土師器の高台付坏である。5 ・ 6 は内黒処理が施される。8 は東海系と思われる灰釉陶器の壷である。9 は凸面が長縄圧痕を施される平瓦である。

切り合い関係は 200 ・ 201 号ピットに先行して、31 号住居跡に後続する。出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して 10 世紀中葉の所産であろう。



第 123 図　30 号住居跡カマド（ 1 : 30 ）



第 124 図　30 号住居跡出土遺物

第 62 表　30 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師器	坏	口縁部～体部	20	(15.2)	−	<4.6>	内黒坏。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい橙色	体部外面「木ヵ」墨書 10 世紀中葉
2	土師器	坏	口縁部～体部	20	(14.0)	−	<5.6>	内黒坏。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、下位回転ヘラケズリ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	体部外面一部黒色化 10 世紀中葉 カマドから出土
3	土師器	坏	口縁部～体部	20	(11.8)	−	<4.5>	口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、下端横方向手持ちヘラケズリ、内面回転ナデ後横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	10 世紀前葉～中葉
4	土師器	坏	底部	10	−	−	<1.0>	見込み部回転ナデ後ヘラナデ。底部外面回転ヘラ切り離し後未調整。粗い簾状圧痕。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	
5	土師器	高台付坏	口縁部～底部	40	(14.1)	(7.0)	6.5	内黒高台付坏。口縁部大きく外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面丁寧なナデ、下端右方向手持ちヘラケズリ、内面横方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ。高台部貼り付け。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉
6	土師器	高台付坏	口縁部～体部	10	(14.8)	−	<5.8>	内黒高台付坏。体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、下端回転ヘラケズリ、内面横方向ミガキ。高台部断面Ｖ字状、貼り付け。	赤色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	10 世紀中葉～後葉
7	土師器	高台付坏	体部～底部	20	−	8.5	<3.2>	体部内外面及び見込み部回転ナデ、外面下端回転ヘラケズリ。底部外面切り離し技法不明、ナデ。高台部貼り付け。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	赤褐色	10 世紀中葉～後葉 カマド、掘り方から出土
8	灰釉陶器	壷	口縁部	10	(13.0)	−	<3.0>	口唇部やや窪ませて、口縁部大きく外反、内外面ヨコナデ。内面施釉。	白・黒色粒子	良好	灰白色	東海系ヵ
9	瓦	平瓦	広端部	20	長さ <9.1>	幅 <8.6>	厚さ 2.1	凸面長縄圧痕、凹面布目、強いナデ、周縁部面取り。広端部ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒	良好	灰白色	P1 から出土

32 号住居跡（第 125 ～ 127 図、第 63・64 表、図版 11・38）

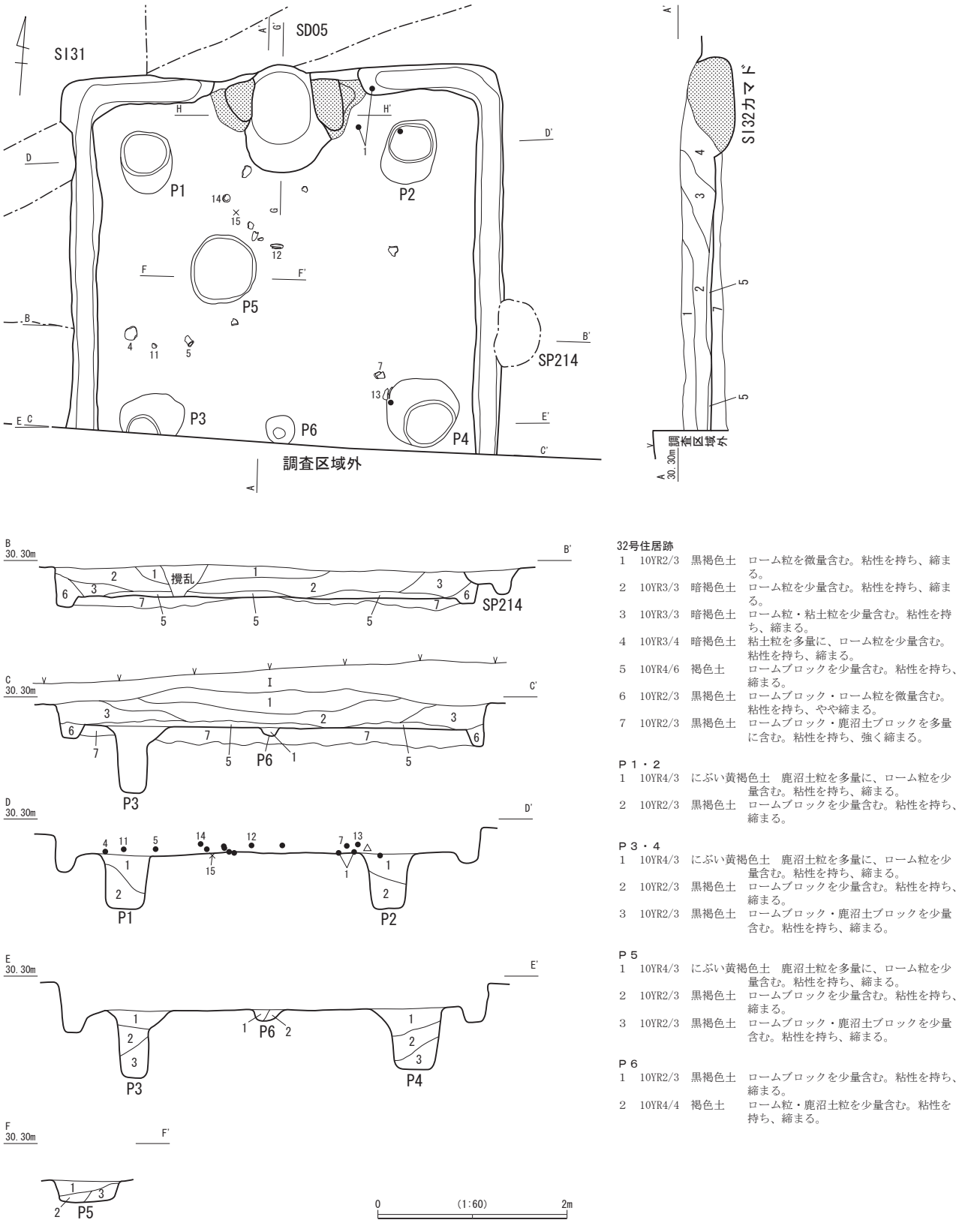
Ｅ－ 13 グリッドに位置する。本住居跡南側 1/5 が調査区外である。西側 4 ｍに 29・37 号住居跡、東側 8 ｍに 33 号住居跡、北側 2 ｍに 30 号住居跡がそれぞれ分布する。北西側で５号溝、東側で 214 号ピットと重複する。平面形は長軸 457 ㎝、短軸 385 ㎝以上の方形を呈する。主軸方位はＮ－７°－Ｗを示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 41 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は６層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 26 ～ 29 ㎝、深さ８～ 20 ㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは６基検出されている。本住居跡四隅及び中央部に位置する P1 ～５が主柱穴と考えられる。また、P6 はその位置から出入口施設であった可能性が高い。

カマドは住居跡北壁中央部で検出され、壁外に逆Ｕ字状に 11 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 70 ㎝を測る。燃焼部は不整楕円形で長径 113 ㎝、短径 108 ㎝を測る。火床面は楕円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 23 ㎝ほどの箱状に掘り込まれている。煙道部は始め内傾して上方で緩やかとなる。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ９～ 18 ㎝を測り、やや起伏を持つ。

遺物は覆土中やカマドなどから、215 点で 4354.5 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 13 点、浅鉢が１点、弥生土器は壷が 18 点、須恵器は坏が 14 点、壷が１点、長頸壷が１点、甕が２点、提瓶が２点、

第 63 表　32 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	楕円形	66	54	56	筒状	垂直	平坦		主柱穴	
P2	北東側	不整円形	69	53	55	筒状	垂直	平坦		主柱穴	
P3	南西側	楕円形	63	42 以上	70	有段筒状	垂直	平坦		主柱穴	南側一部が調査区域外
P4	南東側	円形	75	−	61	有段筒状	垂直	平坦		主柱穴	
P5	中央部	円形	76	−	22	箱状	垂直	平坦		主柱穴	
P6	南側	円形	30	−	19	逆円錐状	急角度	丸味		出入口ピット	



32号住居跡
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR3/4　暗褐色土　粘土粒を多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。
7　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。

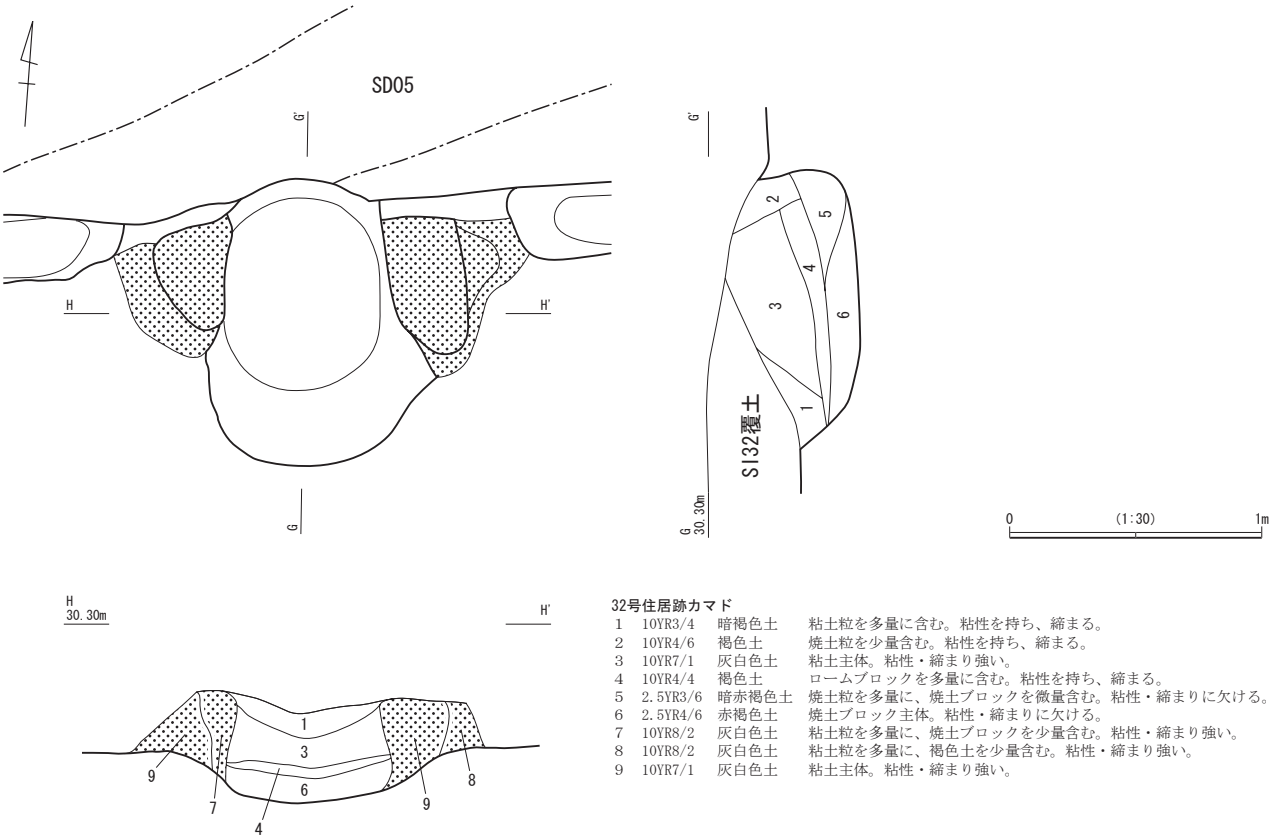
P１・２
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　鹿沼土粒を多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

P３・４
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　鹿沼土粒を多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

P５
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　鹿沼土粒を多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

P６
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

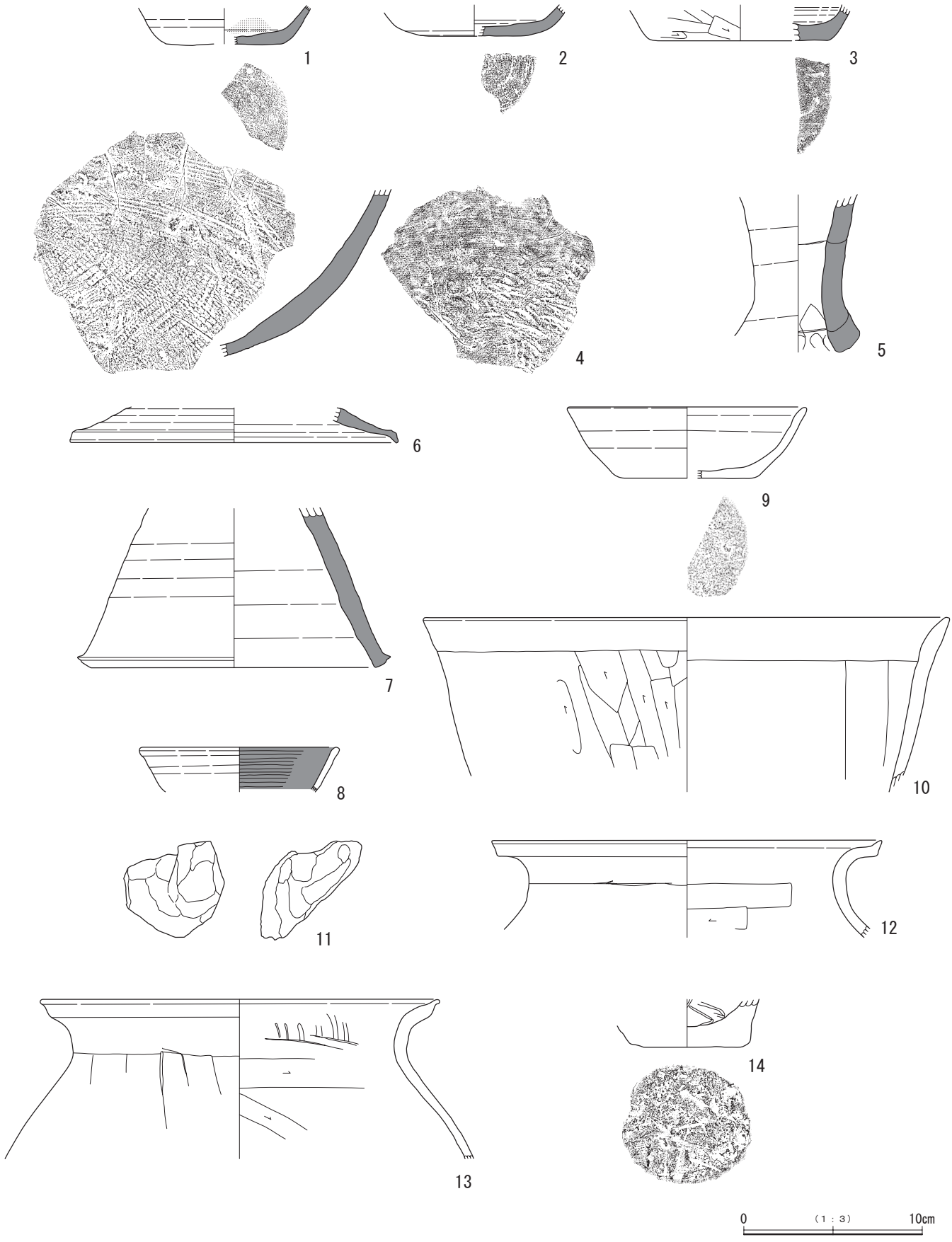
第125図　32号住居跡（１：60）



第 126 図　32 号住居跡カマド（１：30）

蓋が４点、円面硯が１点、土師器は坏が 39 点、鉢が３点、甕・壷が 106 点、石器は砥石が１点、安山岩製二次加工のある剥片が１点、片岩片が２点、石英塊が１点、焼成土塊が４点出土している。このうち縄文土器の浅鉢、弥生土器の壷、須恵器の坏、長頸壷、提瓶、甕、蓋、円面硯、土師器の坏、鉢、甕・壷、砥石、二次加工のある剥片を 24 点図示することが出来たが、縄文土器の浅鉢、弥生土器の壷、砥石、二次加工のある剥片などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１～３は新治窯跡群産の須恵器坏である。４は外面格子目状叩きの須恵器甕である。５は器厚が厚い須恵器長頸壷の頸部である。６は木葉下窯跡群産の須恵器蓋である。７は体部に透かしが伴わない須恵器円面硯である。８・９は土師器坏である。８は内黒処理である。10・11 は土師器の鉢で、11 は把手部である。12 ～ 14 は土師器の甕である。12・13 は常総型である。

切り合い関係は５号溝、214 号ピットに先行する。出土した土師器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して９世紀前葉～中葉の所産であろう。



第 127 図　32 号住居跡出土遺物

第 64 表　32 号住居跡出土遺物観察表

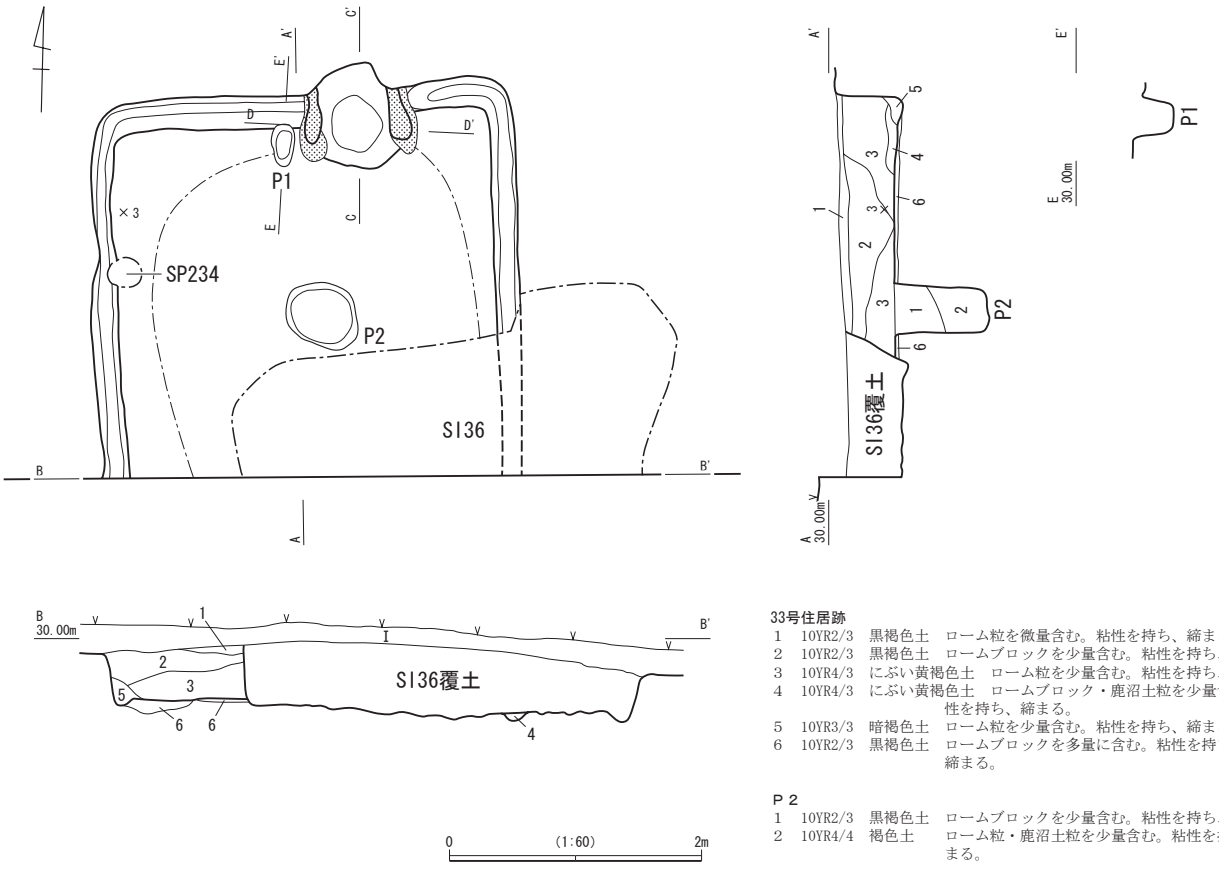
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	体部～底部	20	－	(6.6)	<2.0>	器面の擦れや剥落多い。体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面切り離し技法不明、ナデ。	白色粒子・石英粒・金雲母片	不良	にぶい黄橙色	内面黒色付着物少量 新治窯跡群産
2	須恵器	坏	体部～底部	細片	－	(6.0)	<1.7>	体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面左回転ヘラ切り離し後周縁部左回転ヘラケズリ。	白色粒子･チャート粒・白雲母片	良好	灰色	新治窯跡群産 ９世紀前葉
3	須恵器	坏	体部～底部	10	－	(9.8)	<2.0>	体部下端斜方向手持ちヘラケズリ、内面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面切り離し技法不明、一方向ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子・白雲母片	不良	灰白色	新治窯跡群産 ８世紀～９世紀代
4	須恵器	甕	胴部	10	－	－	－	胴部外面格子目状叩き、内面青海波文。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	
5	須恵器	長頸壺	頸部	20	－	－	<8.8>	内外面回転ナデ、内面一部指頭痕、ヘラナデ。胴部に嵌め込み接合。外面一部自然釉。	白・黒色粒子・石英粒・チャート粒	良好	灰白色	木葉下窯跡群産
6	須恵器	蓋	天井部～端部	10	(18.2)	－	<2.0>	かえりなし。かえし斜方向に折る。天井部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白色針状物質	良好	灰黄色	木葉下窯跡群産
7	須恵器	円面硯	体部～底部	10	－	(15.8)	<9.0>	底部接地面内側、僅かに外側に突出。体部内外面回転ナデ。	白・黒色粒子・石英粒	良好	黄灰色	
8	土師器	坏	口縁部～体部	10	(11.0)	－	<2.5>	内黒坏。口縁部僅かに外反、内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい橙色	９世紀前葉～中葉
9	土師器	坏	口縁部～底部	20	(13.2)	(7.4)	4.0	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部ナデ。底部外面切り離し技法不明、ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい赤褐色	内外面火襷痕 ９世紀前葉
10	土師器	鉢	口縁部～胴部	10	(29.2)	－	<9.8>	口縁部僅かに外反、内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ、内面縦方向ヘラケズリ後丁寧なナデ。	白色粒子・金雲母片	良好	にぶい黄褐色	
11	土師器	甑	把手部	10	長さ<4.9>	幅<6.0>	厚さ<5.9>	手づくね成形。把手先端部欠損。全面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
12	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(21.6)	－	<5.4>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部斜上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
13	土師器	甕	口縁部～胴部	細片	(20.0)	－	<8.9>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部斜上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラナデ後ナデ、内面斜方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
14	土師器	甕	底部	10	－	(6.2)	<2.7>	底部突出。底部内面ナデ、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	

33 号住居跡（第 128 ～ 130 図、第 65・66 表、図版 11・38）

Ｅ－ 14 グリッドに位置する。本住居跡南側 1/5 が調査区外である。西側８ｍに 32 号住居跡、北東側３ｍに 35 号住居跡がそれぞれ分布する。南側で 36 号住居跡、東側で 234 号ピットと重複する。平面形は長軸 339 ㎝、短軸 304 ㎝以上の方形を呈する。主軸方位はＮ－１°－Ｅを示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 41 ㎝ほどを測る。床面は周縁部を除き貼り床が検出されている。覆土は５層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。周溝は幅 13 ～ 24 ㎝、深さ５～８㎝を測り、カマド部分を除き全周する。ピットは２基検出されているが、その位置などから主柱穴ではないであろう。

カマドは住居跡北壁中央部東寄りで検出され、壁外に逆Ｕ字状に 25 ㎝ほど突出する。袖部は灰白色粘土を用いて造られ、両袖間は 54 ㎝を測る。燃焼部は不整楕円形で長径 82 ㎝、短径 74 ㎝を測る。火床面は円形で強く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち、深さ 20 ㎝ほどの筒状に掘り込まれている。煙道部は始め垂直に立ち上がり、上方で緩やかとなる。掘り方は周縁部を大きく掘り込んでいて、深さ３～ 12 ㎝を測り、やや起伏を持つ。

遺物は覆土中やカマドなどから、115 点で 1582.4 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 17 点、弥生土器は壷が７点、須恵器は坏が２点、土師器は坏が 11 点、高台付坏が１点、甕・壷が 69 点、高坏が２点、灰釉陶器は高台付皿が１点、陶器は皿が１点、鉄製品は釘が１点、鉄鏃が１点、片岩片は２点出土している。このうち弥生土器の壷、灰釉陶器の高台付皿、釘、鉄鏃を５点図示することが出来たが、弥生土器の壷は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は灰釉陶器の高台付



33号住居跡

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
6　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。

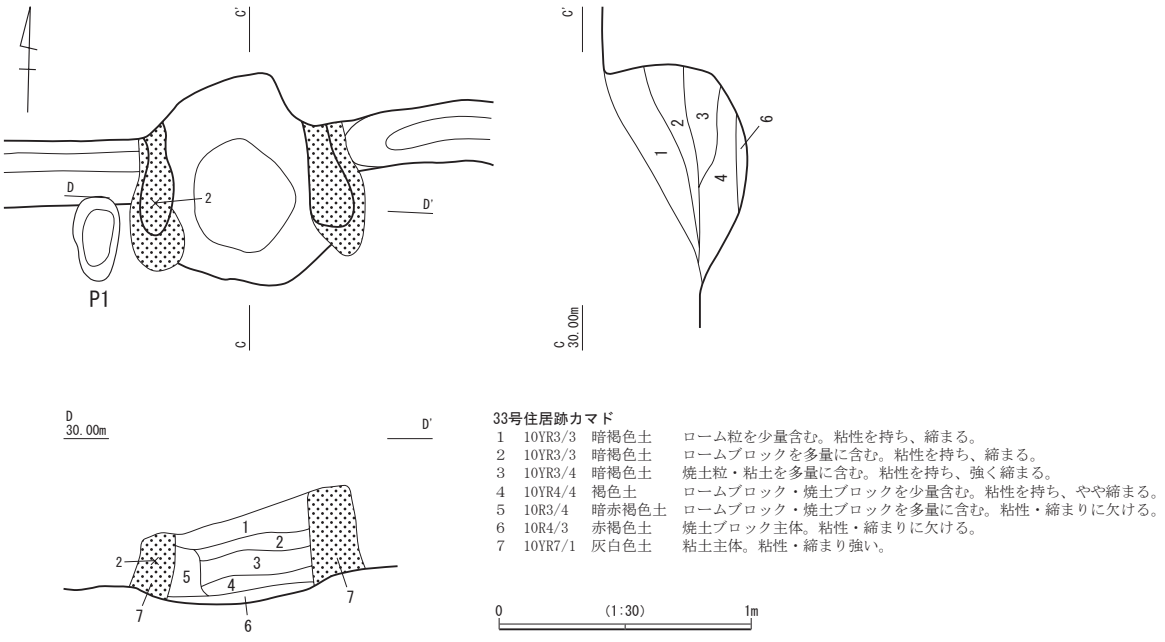
P２

1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第 128 図　33 号住居跡（ 1：60 ）

第 65 表　33 号住居跡ピット一覧表

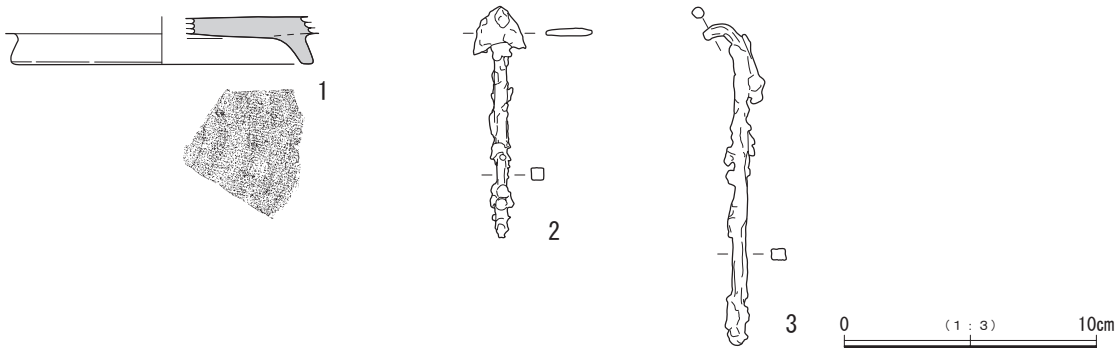
遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北側	長楕円形	33	18	32	筒状	急角度	丸味			
P2	中央部	不整円形	62	48	73	筒状	垂直	平坦			



33号住居跡カマド

1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/4　暗褐色土　焼土粒・粘土を多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。
4　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・焼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
5　10R3/4　暗赤褐色土　ロームブロック・焼土ブロックを多量に含む。粘性・締まりに欠ける。
6　10R4/3　赤褐色土　焼土ブロック主体。粘性・締まりに欠ける。
7　10YR7/1　灰白色土　粘土主体。粘性・締まり強い。

第 129 図　33 号住居跡カマド（ 1：30 ）



第 130 図　33 号住居跡出土遺物

第 66 表　33 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	灰釉陶器	高台付皿	底部	10	－	(11.7)	<1.9>	見込み部回転ナデ、外面左回転ヘラ切り離し後未調整。高台部貼り付け。	白・黒色粒子	良好	灰色	
2	鉄製品	鉄鏃	鏃部～茎部	80	長さ <9.2>	幅 0.6	厚さ 0.3	長頸三角鏃。茎部の下位が欠損。	－	－	－	重量 11.08 g
3	鉄製品	釘	頂部～基部	70	長さ 12.8	幅 0.6	厚さ 0.5	断面四角形、頂部は折り曲げて造る。	－	－	－	重量 11.35 g

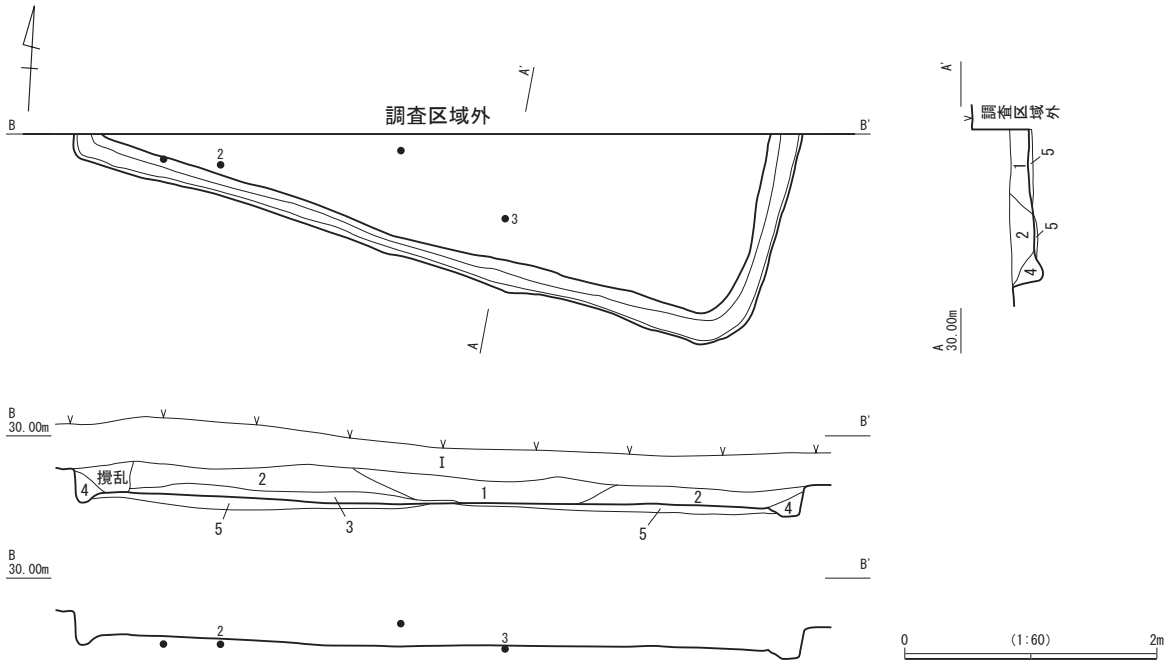
皿の底部である。２は茎部の下位が欠損しているが、鏃身部が三角形の鉄鏃である。３は頂部を折り曲げて造る釘である。切り合い関係は 36 号住居跡に先行して、234 号ピットに後続する。出土した灰釉陶器の高台付皿や覆土の状況、切り合い関係などから判断して８世紀後葉以降の所産であろう。

34 号住居跡（第 131・132 図、第 67 表、図版 11・38）

Ｄ－ 14・Ｄ－ 15 グリッドに位置する。本住居跡北側 3/4 が調査区外である。東側１ｍに５号溝、南側２ｍに 35 号住居跡がそれぞれ分布する。平面形は長軸 558 ㎝、短軸 179 ㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－ 12°－Ｅを示す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、最大壁高は 27 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は４層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 13 ～ 27 ㎝、深さ５㎝を測り、確認された範囲で全周する。カマドや炉、ピットなどの付帯施設は検出されていない。掘り方は全面に及び、深さ５㎝～ 17 ㎝を測り、やや起伏を持つ。

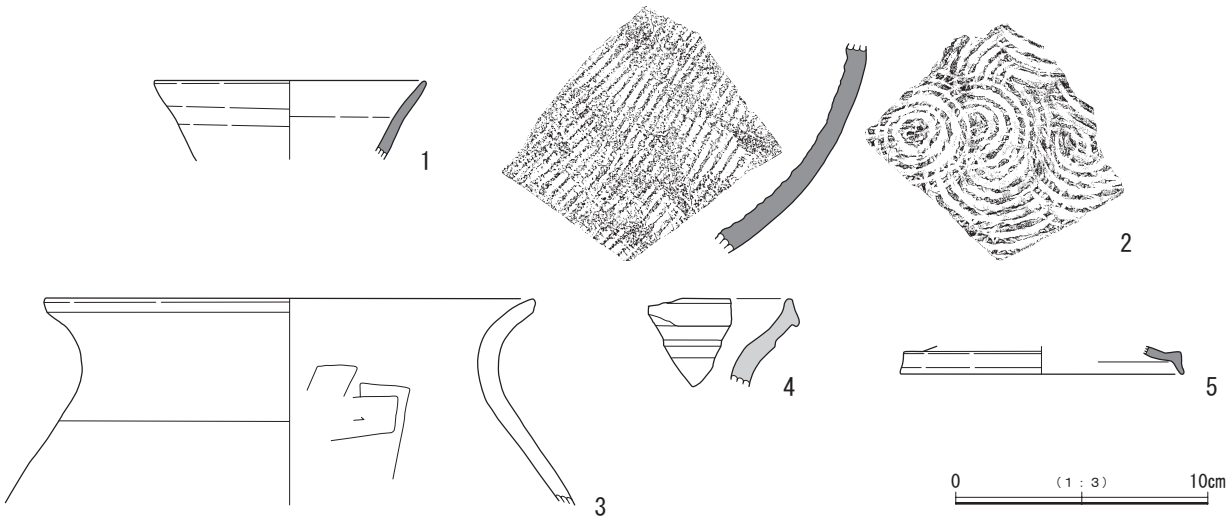
遺物は覆土中から、123 点で 1595.9 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 17 点、弥生土器は壷が８点、須恵器は坏が３点、甕が２点、蓋が３点、土師器の坏が 13 点、高台付坏が１点、甕･壷が 72 点、高坏が１点、灰釉陶器は壷が１点、蓋が１点、片岩片は１点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の坏、甕、蓋、土師器の甕・壷、灰釉陶器の壷、蓋を 11 点図示することが出来たが、弥生土器の壷は本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は木葉下窯跡群産須恵器坏である。２は外面に平行叩きを施される須恵器甕である。３は常総型の土師器甕である。４は東海系と思われる灰釉陶器の壷である。５は須恵器の蓋である。

出土した須恵器坏の器形の特徴や覆土の状況などから判断して８世紀後葉～９世紀前葉の所産であろう。



34号住居跡
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒・鹿沼土ブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
5　10YR4/4　褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

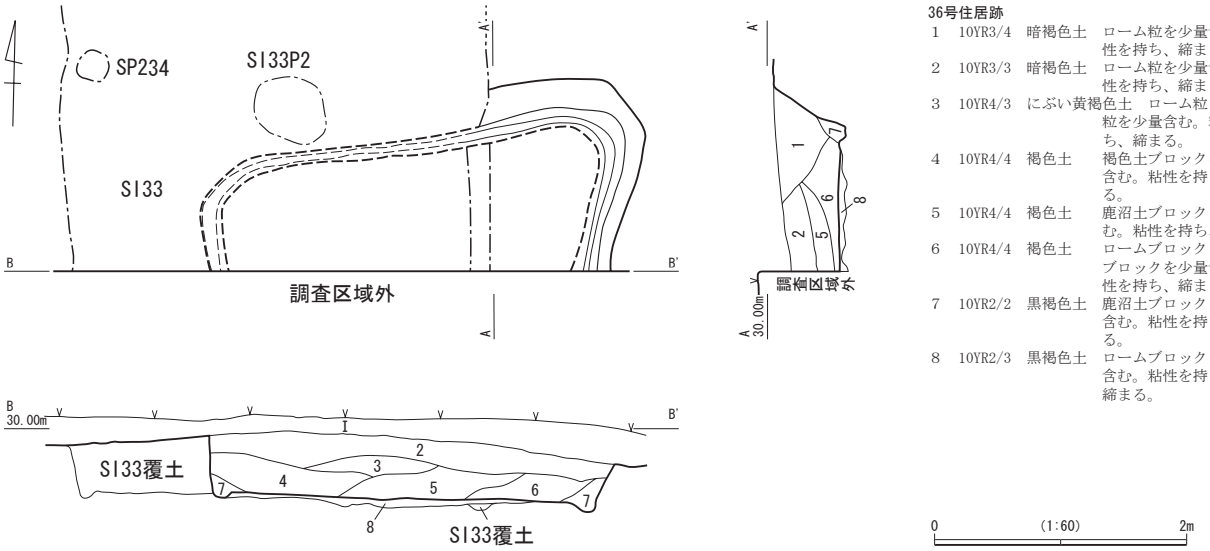
第 131 図　34 号住居跡（ 1：60 ）



第 132 図　34 号住居跡出土遺物

第 67 表　34 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	口縁部～体部	細片	(10.6)	−	<3.1>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	灰色	木葉下窯跡群産 8 世紀後葉～ 9 世紀前葉
2	須恵器	甕	胴部	細片	−	−	−	胴部外面斜方向平行叩き、内面青海波文。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	
3	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(19.2)	−	<8.2>	常総型甕。口縁部大きく外反、口唇部斜上方に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、内面縦方向ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
4	灰釉陶器	壷	口縁部	細片	−	−	−	口縁部大きく外反して、口唇部上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。	白・黒色粒子・石英粒	良好	褐灰色	東海系ヵ 掘り方から出土
5	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(11.0)	−	<1.4>	かえりなし。かえし垂下。天井部内外面回転ナデ。外面自然釉。	白色粒子	良好	灰白色	



第 133 図　36 号住居跡（ 1 : 60 ）

36 号住居跡（第 133 図、図版 11）

Ｅ－ 14 グリッドに位置する。本住居跡南側 2/3 が調査区外である。北東側２ｍに 35 号住居跡が分布する。北側で 33 号住居跡と重複する。平面形は長軸 353 ㎝、短軸 146 ㎝以上の方形ないし隅丸方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－８°－Ｗを示す。壁は北側や東側は緩やかだが、西側は垂直に立ち上がる。最大壁高は 46 ㎝ほどを測る。床面は全面貼り床が検出されている。覆土は７層に分けられ、自然な埋没状況を示す。周溝は幅 13 ～ 26 ㎝、深さ３～７㎝を測り、確認された範囲で全周する。カマドや炉、ピットなどの付帯施設は検出されなかった。掘り方は全面に及び、深さ３㎝～ 10 ㎝を測り、起伏に富む。

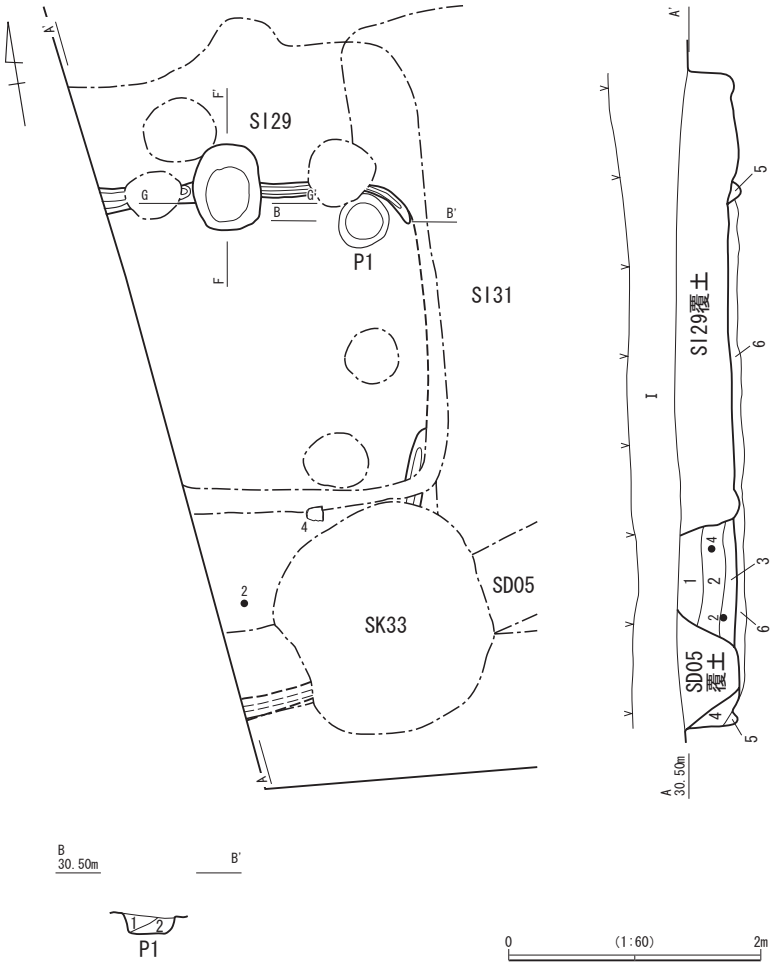
遺物は覆土中やカマドなどから、７点で 83.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が２点、弥生土器は壷が１点、土師器は坏が１点、甕・壷が３点出土しているが、どれも細片のため、図示することは出来なかった。切り合い関係は 33 号住居跡に後続する。出土遺物や覆土の状況、切り合い関係などから判断して８世紀後葉以降の所産であろう。

37 号住居跡（第 134 ～ 136 図、第 68・69 表、図版 12・39）

Ｄ－ 12・Ｅ－ 12 グリッドに位置する。本住居跡西側 1/2 が調査区外である。西側５ｍに 25・28 号住居跡、東側４ｍに 32 号住居跡、北東側３ｍで 30 号住居跡がそれぞれ分布する。東側で 31 号住居跡、南側に 33 号土坑、５号溝、上面で 29 号住居跡と重複する。平面形は長軸 426 ㎝、短軸 218 ㎝以上の方形を呈すると思われる。主軸方位はＮ－８°－Ｗを示す。壁は垂直に立ち上がり、最大壁高は 46 ㎝ほどを測る。床面は全面に硬質な貼り床が検出されている。覆土は５層に分けられ、自然な埋没状況を示すと思われる。周溝は幅 10 ～ 22 ㎝、深さ４㎝を測り、東側で一部途切れる部分があるが、確認された範囲で全周する。ピットは１基検出されているが、その位置などから主柱穴ではないであろう。

第 68 表　37 号住居跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北東側	円形	42	－	15	逆台形状	緩やか	平坦			



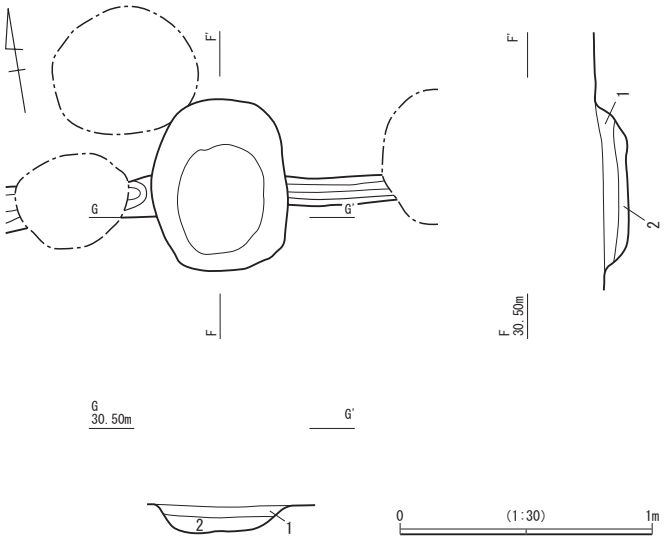
37号住居跡

1	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
4	10YR4/6	褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
6	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、強く締まる。

P1

1	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

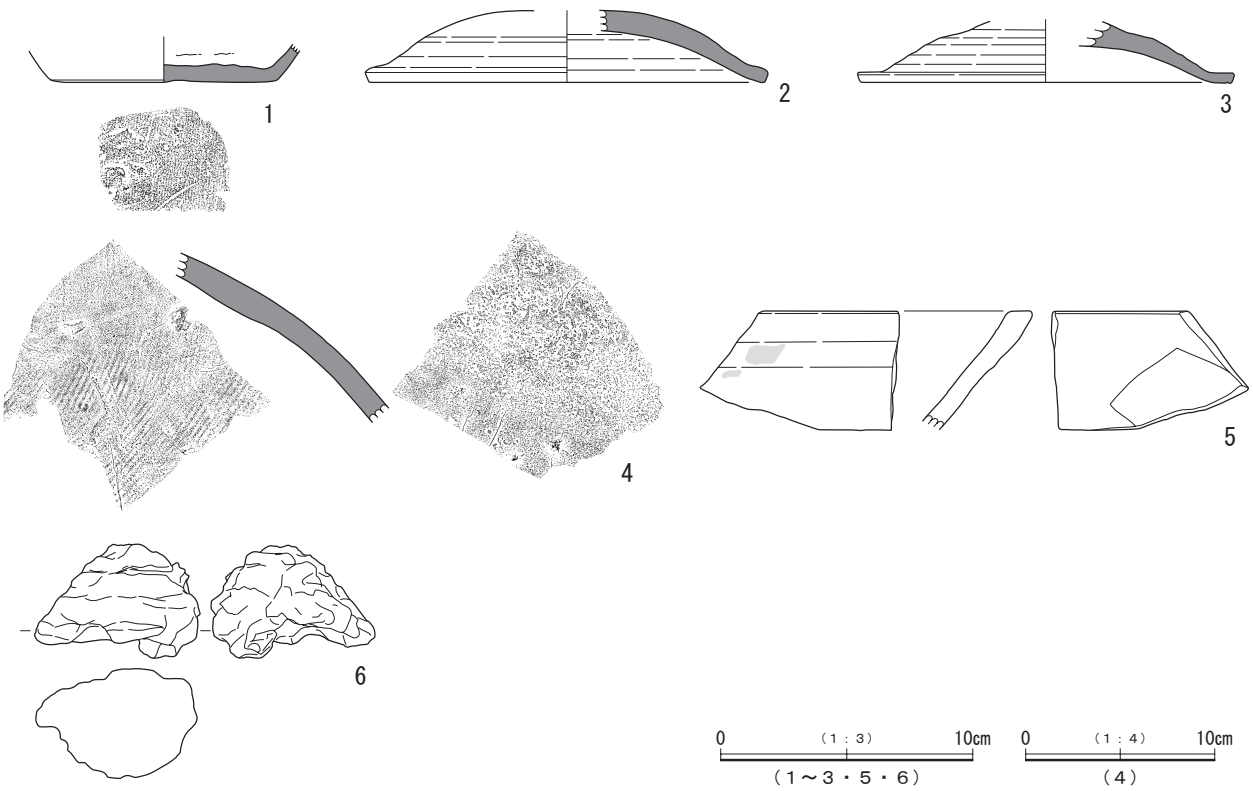
第134図　37号住居跡（1：60）



37号住居跡カマド

1	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・焼土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2	2.5YR3/6	暗赤褐色土	焼土ブロック主体。粘性・締まりに欠ける。

第135図　37号住居跡カマド（1：30）



第 136 図　37 号住居跡出土遺物

第 69 表　37 号住居跡出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	須恵器	坏	体部～底部	10	－	(9.0)	<1.5>	体部内外面回転ナデ。底部外面左回転ヘラ切り離し後多方向全面ヘラケズリ、見込み部巻上げ痕顕著。	白色粒子･チャート粒	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産
2	須恵器	蓋	天井部～端部	30	(15.8)	－	<2.9>	かえりなし。天井部外面上位左回転ヘラケズリ、下位及び内面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	新治窯跡群産
3	須恵器	蓋	天井部～端部	30	(14.8)	－	<2.4>	かえりなし。かえし短く僅かに垂下する。側面平坦。天井部外面上位右回転ヘラケズリ、下位回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	新治窯跡群産
4	須恵器	甕	胴部	細片	－	－	<9.0>	胴部外面斜方向平行叩き、内面ナデ。外面自然釉。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	
5	土師器	鉢	口縁部～胴部	10	－	－	－	口縁部大きく外反、口唇部平坦。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面回転ナデ、内面斜方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	P1 から出土 赤色付着物
6	土製品	支脚	基部	細片	長さ <4.2>	幅 <6.4>	厚さ <4.3>	ナデ成形。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	重量 55.32 g

カマドは住居跡北壁中央部で検出され､壁外に逆Ｕ字状に 31 ㎝ほど突出する。袖部は残存していなかった。燃焼部は隅丸方形で長径 68 ㎝、短径 53 ㎝を測る。火床面は楕円形で弱く赤化しており、基底部はやや起伏を持ち､深さ９㎝ほどの逆台形状に掘り込まれている。煙道部は緩やかに立ち上がる。掘り方は全面に及び、深さ６～８㎝を測り、やや起伏を持つ。

遺物は覆土中やカマドなどから、34 点で 772.1 ｇの遺物が出土した。内訳は、弥生土器の壷が２点、須恵器は坏が１点、甕が２点、蓋が３点、土師器は坏が 11 点、鉢が２点、甕･壷が 11 点、土製品は支脚が１点、石器はチャート製の剥片が１点出土している。このうち弥生土器が壷、須恵器が坏、甕、蓋、土師器が坏、埦、鉢、土製支脚、剥片を 10 点図示することが出来たが、弥生土器が壷、剥片などは本住居跡に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。１は須恵器坏で木葉下窯跡群産である。２・３は新治窯跡群産の須恵器蓋である。４は斜方向平行叩きを施される須恵器甕である。５は口唇部平坦となる土師

器鉢である。６は覆土中から出土した土製支脚である。本住居跡カマドに伴うか不明である。

切り合い関係は 29 号住居跡、33 号土坑、５号溝に先行して、31 号住居跡に後続する。出土した須恵器坏の器形の特徴や覆土の状況、切り合い関係などから判断して９世紀前葉～中葉の所産であろう。

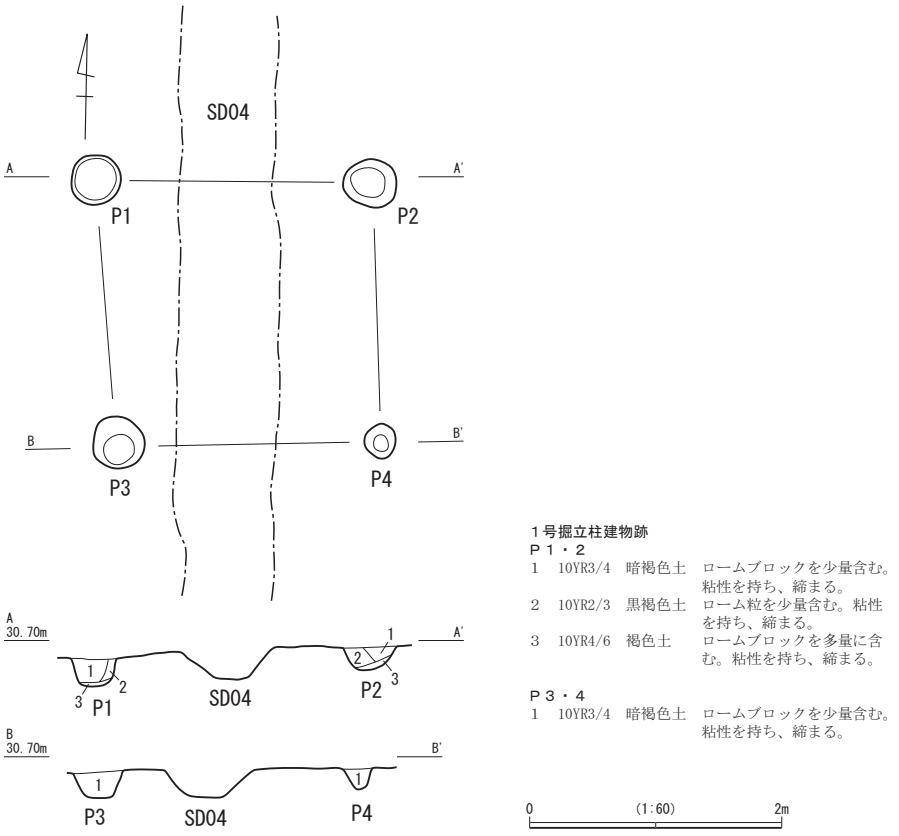
（２）掘立柱建物跡

１号掘立柱建物跡（第 137 図、第 70 表、図版 13）

Ｃ－４グリッドに位置する。本建物跡西側２ｍに６号住居跡が分布する。中央部で４号溝が重複する。４本柱の建物跡で、桁行約 214 ㎝、梁行 212 ㎝の建物である。主軸方位はＮ－１°－Ｅを示す。ピットは円形･楕円形・不整円形を呈し、直径平均 38 ㎝、深さ平均 18 ㎝を測る。

遺物はピット覆土中から、９点で 64.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、１号ピットから縄文土器の深鉢が１点、２号ピットから土師器の甕・壷が３点、３号ピットから土師器の甕・壷が５点、４号ピットからは遺物は出土しなかった。しかし、全て細片のため図示することは出来なかった。

出土遺物や覆土の状況、切り合い関係などから判断して古墳時代以降の所産であろう。また、その規模から上面を削平された住居跡の主柱穴とも考えられる。



第 137 図　１号掘立柱建物跡（１：60）

第 70 表　１号掘立柱建物跡ピット一覧表

遺構番号	住居跡内の位置	平面形	規模（cm）			断面形	壁の状況	底部状況	切り合い関係	性格	備考
			長軸	短軸	深さ						
P1	北西側	円形	38	－	20	逆台形状	急角度	平坦			
P2	北東側	楕円形	41	38	17	筒状	緩やか	丸味			
P3	南西側	不整円形	43	37	20	逆台形状	急角度	丸味			
P4	南東側	不整円形	29	23	15	筒状	急角度	丸味			

（3）土坑

5号土坑（第138図、図版16）

C－6グリッドに位置する。平面形は円形で、直径93㎝、深さ13㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、土師器の甕・壷が3点で15.8ｇ出土しているが、全て細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は11号住居跡に先行する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して10世紀中葉以前の古墳時代から平安時代の所産であろうが性格は不明である。

8号土坑（第138図、図版16）

D－9グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で、長径154㎝、短径90㎝、深さ8～12㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。主軸方位はN－84°－Eを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示すと思われる。

遺物は覆土中から、5点で57.1ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が2点、須恵器は坏が1点、土師器は甕・壷が1点、土製品は管玉が1点出土している。このうち管玉を図示することが出来たが、本土坑に伴わない遺物であるため、第9節においてまとめて図示することとする。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況から判断して奈良・平安時代以降の所産であろうが性格は不明である。

9号土坑（第138図、図版16）

D－11グリッドに位置する。平面形は円形で、直径108㎝、深さ50㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は2層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、3点で36.6ｇの遺物が出土した。内訳は、須恵器の甕が1点、土師器の甕・壷が2点出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況から判断して奈良・平安時代以降の所産であろうが性格は不明である。

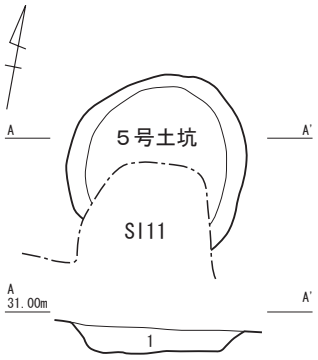
10号土坑（第138図、図版16）

D－7・D－8グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で、長径146㎝、短径115㎝、深さ19㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。主軸方位はN－88°－Eを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は2層に分けられ、自然な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、46点で245.0ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が5点、弥生土器は壷が3点、須恵器は坏が1点、土師器は坏が7点、高台付坏が1点、甕・壷が28点、焼成土塊が1点出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は114・118号ピットに先行する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して奈良・平安時代以降の所産であろうが性格は不明である。

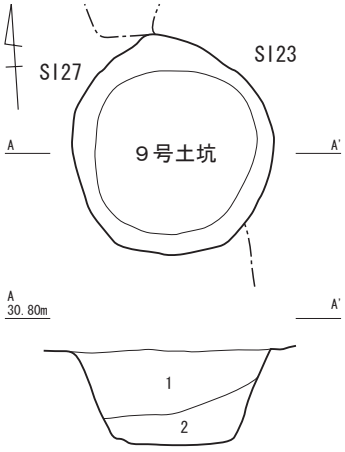
12号土坑（第138図、図版17）

D－8グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径73㎝、短径61㎝、深さ19㎝を測る。断面形は皿状を呈する。主軸方位はN－11°－Wを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は丸味を帯びる。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

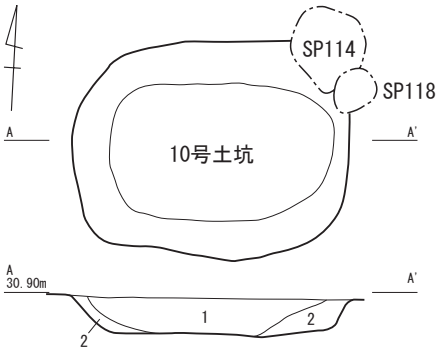


５号土坑
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

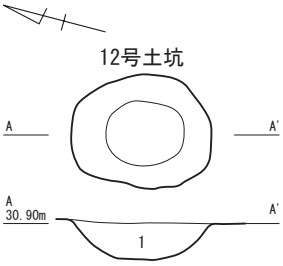
８号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。



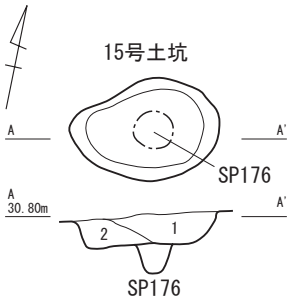
９号土坑
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・焼土ブロック・焼土粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。



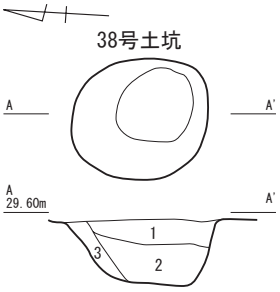
10号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。



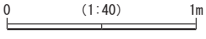
12号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。



15号土坑
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。



38号土坑
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。



第138図　５・８・９・10・12・15・38号土坑（１：40）

遺物は覆土中から、土師器の高台付坏が１点で 7.5 ｇ出土しているが、細片のため図示することは出来なかった。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況から判断して奈良・平安時代以降の所産であろうが性格は不明である。

15 号土坑（第 138 図、図版 17）

Ｄ－８グリッドに位置する。平面形は不整楕円形で、長径 78 ㎝、短径 54 ㎝、深さ 15 ㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。主軸方位はＮ－ 72° －Ｅを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、土師器の甕・壷が２点で 13.2 ｇ出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は 176 号ピットに後続する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して奈良・平安時代以降の所産であろうが性格は不明である。

38 号土坑（第 138 図、図版 20）

Ｅ－ 14・Ｅ－ 15 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 70 ㎝、短径 63 ㎝、深さ 34 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 10° －Ｅを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。

遺物は覆土中から、15 点で 55.1 ｇの遺物が出土した。内訳は、須恵器は坏が２点、土師器は坏が３点、甕･壷が 10 点出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況から判断して奈良・平安時代以降の所産であろうが性格は不明である。

３－６　中世

（１）土坑

３号土坑（第 139 図、図版 15）

Ｃ－６グリッドに位置する。本跡北側の一部が調査区外である。平面形は不整円形で、長径 84 ㎝、短径 82 ㎝、深さ 30 ㎝を測る。断面形は有段の箱状を呈する。主軸方位はＮ－ 16°－Ｗを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は２層に分けられ、自然な埋没状況を示す。

遺物は出土していない。切り合い関係は２・37 号ピットに後続する。遺構の形状や覆土の状況、切り合い関係から判断して中世以降の所産であろうが性格は不明である。

４号土坑（第 139 図、図版 16）

Ｄ－９・Ｄ－ 10 グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で、長軸 120 ㎝、短軸 63 ㎝、深さ 47 ～ 54 ㎝を測る。断面形は箱状を呈する。主軸方位はＮ－ 37°－Ｅを示す。壁は垂直に立ち上がり、底面は起伏に富む。覆土は４層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、26 点で 172.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、弥生土器は壷が１点、須恵器は坏が１点、土師器は坏が７点、甕・壷が 17 点出土しているが、全て細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は 19 号住居跡に後続する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世以降の所産であろうが性格は不明である。

13 号土坑（第 139 図、図版 17）

Ｄ－ 10 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 127 ㎝、短径 103 ㎝、深さ 51 ～ 63 ㎝を測る。断面形は箱状を呈する。主軸方位はＮ－ 71°－Ｗを示す。壁は垂直に立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は３層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、12 点で 266.6 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が１点、須恵器は坏が１点、高台付坏が１点、鉢が１点、土師器は坏が３点、高台付坏が２点、甕・壷が３点出土しているが、このうち須恵器の坏を図示することが出来たが、本土坑に伴わない遺物であるため、第９節においてまとめて図示することとする。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況から判断して中世期の土壙墓であろう。

14 号土坑（第 139 図、図版 17）

Ｄ－ 11 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 149 ㎝、短径 131 ㎝、深さ 33 ㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。主軸方位はＮ－２°－Ｅを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、94 点で 805.7 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が８点、弥生土器は壷が４点、須恵器は坏が２点、甕が１点、壷が２点、土師器は坏が 18 点、高台付坏が 15 点、甕・壷が 44 点出土している。このうち弥生土器の壷１点を図示することが出来たが、本土坑に伴わない遺物であるため、第９節においてまとめて図示することとする。切り合い関係は 28 号住居跡、205 号ピットに後続する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の土壙墓であろう。

17 号土坑（第 139 図、図版 17）

Ｄ－８グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径 117 ㎝、短径 45 ㎝、深さ 13 ～ 15 ㎝を測る。断面形は皿状を呈する。主軸方位はＮ－ 77°－Ｅを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや起伏を持つ。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は出土していない。切り合い関係は 152・177 号ピットに先行する。遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世以降の所産であろう。

18 号土坑（第 139 図、図版 17）

Ｄ－８・Ｄ－９グリッドに位置する。平面形は円形で、口径 97 ㎝、深さ 43 ㎝を測る。断面形は不整逆台形状を呈する。主軸方位はＮ－ 20°－Ｅを示す。壁は急角度で立ち上がり、底面は起伏に富む。覆土は４層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、４点で 30.3 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が２点、土師器は甕・壷が１点、高坏が１点出土している。このうち縄文土器の深鉢１点を図示することが出来たが、本土坑に伴わない遺物であるため、第９節においてまとめて図示することとする。切り合い関係は１号道路状遺構、170・178・231・232 号ピットに先行する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世から近世の所産であろうが性格は不明である。

19 号土坑（第 139 図、図版 17）

Ｄ－８・Ｅ－８グリッドに位置する。本跡南側 1/2 が調査区外である。平面形は楕円形で、長径 76 ㎝、短径 60 ㎝、深さ 21 ㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。主軸方位はＮ－ 19°－Ｗを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は４層に分けられ、自然な埋没状況を示す。

遺物は出土していない。切り合い関係は 169 号ピットに後続する。遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世以降の所産であろうが性格は不明である。

20 号土坑（第 139 図、図版 18）

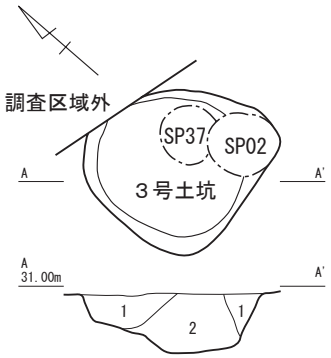
Ｄ－ 10・Ｄ－ 11・Ｅ－ 10・Ｅ－ 11 グリッドに位置する。平面形は円形で、直径 71 ㎝、深さ 39 ㎝を測る。断面形は箱状を呈する。壁は垂直に立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、22 点で 104.6 ｇの遺物が出土した。内訳は、須恵器は坏が１点、土師器は坏が 10 点、甕・壷が 11 点出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は 23・24・27 号住居跡、21 号土坑に先行する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の土壙墓であろう。

21 号土坑（第 139 図、図版 18）

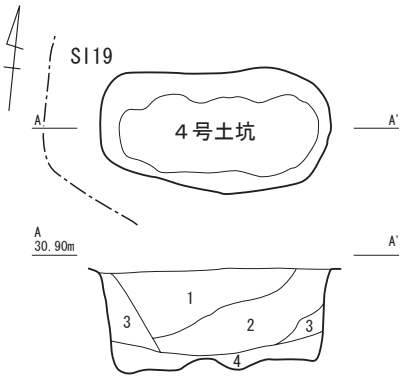
Ｄ－ 10・Ｄ－ 11・Ｅ－ 10・Ｅ－ 11 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 85 ㎝、短径 83 ㎝、深さ 56 ㎝を測る。主軸方位はＮ－２°－Ｗを示す。断面形は箱状を呈する。壁は垂直に立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、51 点で 364.9 ｇの遺物が出土した。内訳は、弥生土器は壷が３点、須恵器は坏が２点、



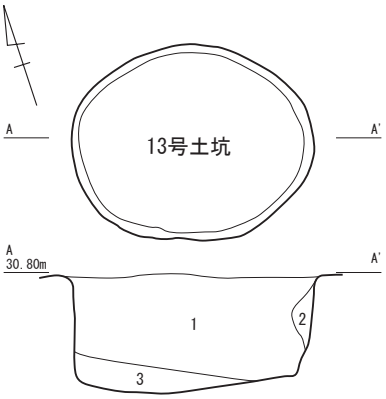
3号土坑

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。



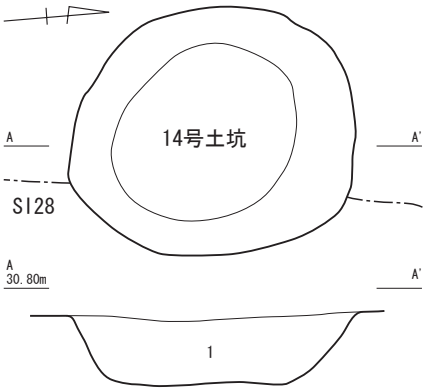
4号土坑

1　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR3/3　暗褐色土　骨粉を少量含む。粘性を持ち、締まりに欠ける。



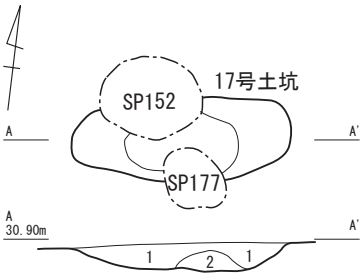
13号土坑

1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・炭化粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR6/6　明黄褐色土　ローム土主体。粘性を持ち、やや締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。



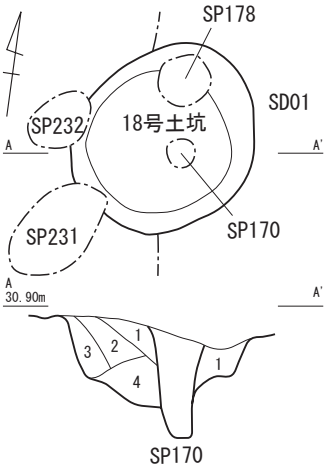
14号土坑

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。



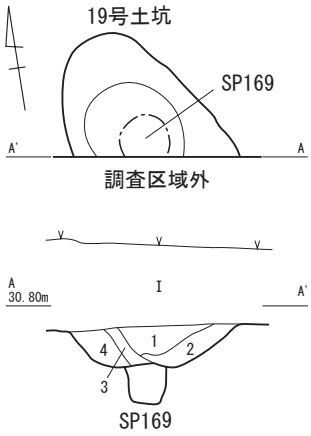
17号土坑

1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR3/3　暗褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。



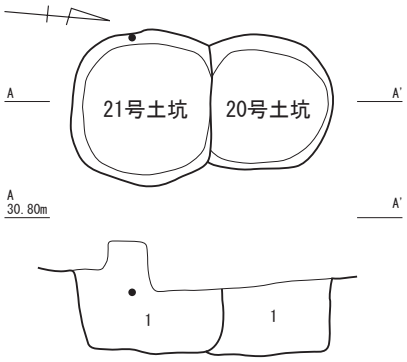
18号土坑

1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR6/6　明黄褐色土　ローム土主体。粘性を持ち、締まる。



19号土坑

1　10YR2/3　黒褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR6/6　明黄褐色土　ローム土主体。粘性を持ち、締まる。

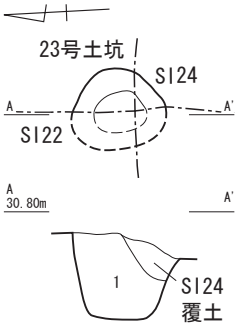


20号土坑

1　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

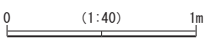
21号土坑

1　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを少量、ローム粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。



23号土坑

1　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。



第139図　3・4・13・14・17～21・23号土坑（1：40）

甕が1点、蓋が1点、土師器は坏が13点、高台付坏が1点、甕・壷が29点、石器は黒曜石製の石核が1点出土している。このうち弥生土器の壷、須恵器の蓋、土師器の坏、黒曜石の石核を図示することが出来たが、本土坑に伴わない遺物であるため、第9節においてまとめて図示することとする。切り合い関係は23・24・27号住居跡・20号土坑に後続する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の土壙墓であろう。

23号土坑（第139図、図版18）

D－10グリッドに位置する。平面形は円形で、直径47㎝、深さ43㎝を測る。断面形は箱状を呈する。壁は急角度で立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、8点で37.1ｇの遺物が出土した。内訳は、須恵器は坏が2点、土師器は坏が2点、甕・壷が4点出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は42号ピットに先行して、22・24号住居跡に先行する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の所産であろうが性格は不明である。

24号土坑（第140図、図版18）

D－11グリッドに位置する。本跡北側1/5が調査区外である。平面形は楕円形で、長径128㎝、短径、103㎝以上、深さ30㎝を測る。主軸方位はN－75°－Eを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は急角度で立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は3層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、38点で307.4ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が2点、須恵器は坏が8点、土師器は坏が4点、高台付坏が1点、甕・壷が23点出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は204号ピットに先行する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の土壙墓であろう。

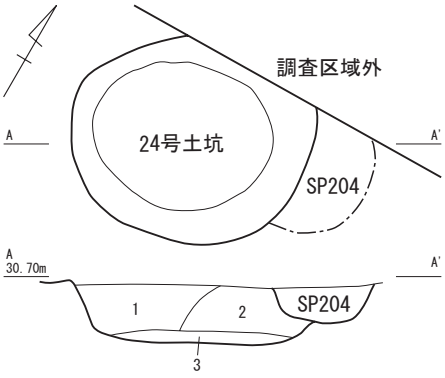
25号土坑（第140図、図版18）

D－11グリッドに位置する。平面形は円形で、直径97㎝、深さ12～15㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は2層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。遺物は覆土中から、6点で33.0ｇの遺物が出土した。内訳は、弥生土器は壷が2点、土師器は坏が2点、甕・壷が1点、鉄滓は1点出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は27号住居跡に後続する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の土壙墓であろう。

26号土坑（第140図、図版18）

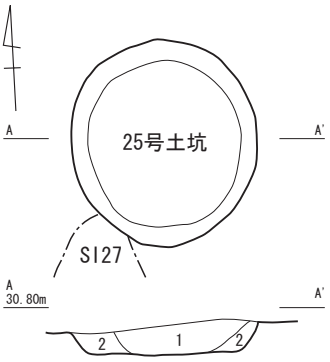
D－11グリッドに位置する。平面形は円形で、直径152㎝、深さ77㎝を測る。断面形は箱状を呈する。壁は垂直に立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は5層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、41点で536.9ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が2点、弥生土器は壷が1点、須恵器は坏が2点、鉢が2点、甕が3点、蓋が1点、土師器は坏が8点、高台付坏が2点、甕・壷が18点、平瓦は2点出土している。このうち須恵器の蓋、土師器の坏、平瓦を3点図示することが出来たが、どれも本土坑に伴わない遺物であるため、第9節においてまとめて図示することとする。切り合い関係



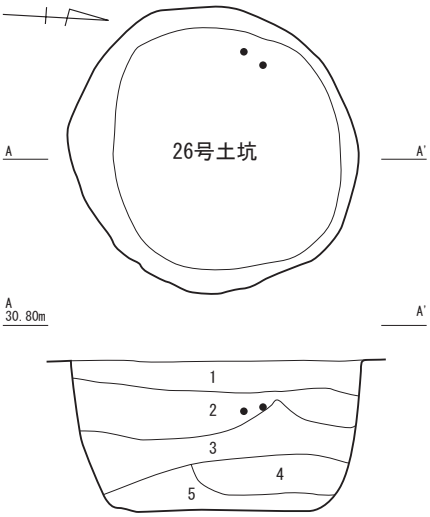
24号土坑

1	10YR3/4	暗褐色土	ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。



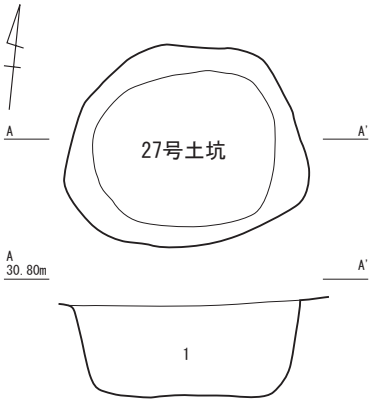
25号土坑

1	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR3/3	暗褐色土	ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。



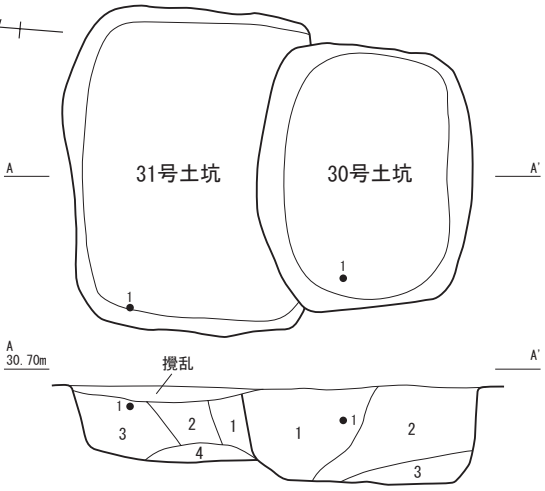
26号土坑

1	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロック・ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
2	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
3	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
4	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。



27号土坑

1	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒・粘土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

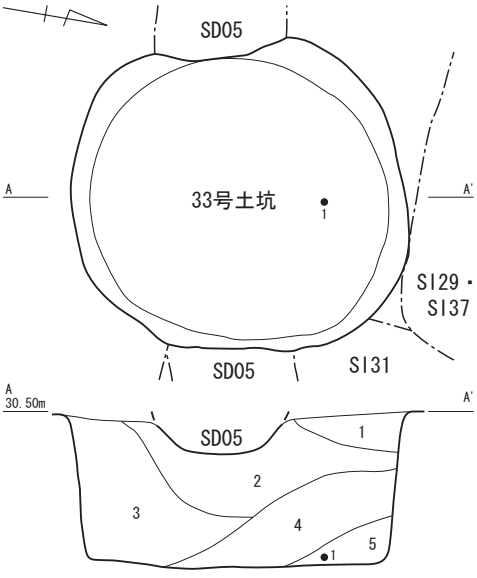


30号土坑

1	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2	10YR4/4	褐色土	ローム粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
3	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

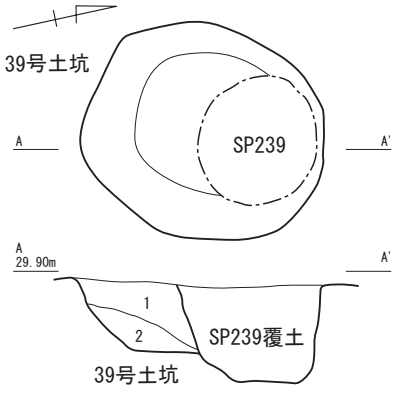
31号土坑

1	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
3	10YR4/4	褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。



33号土坑

1	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロックを多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2	10YR4/4	褐色土	ローム粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まる。
3	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
4	10YR4/4	褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
5	10YR4/4	褐色土	ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。



39号土坑

1	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

0 (1:40) 1m

第 140 図　24 ～ 27・30・31・33・39 号土坑（ 1 : 40 ）

は 25・26 号住居跡に後続する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の土壙墓であろう。

27 号土坑（第 140 図、図版 18）

D－10･D－11 グリッドに位置する。平面形は不整円形で、長径 125 ㎝、短径 109 ㎝、深さ 46 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 66°－Ｅを示す。断面形は箱状を呈する。壁は垂直に立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は単一層で、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、21 点で 171.2 ｇの遺物が出土した。内訳は、弥生土器は壷が３点、須恵器は鉢が２点、土師器は坏が４点、高台付坏が１点、甑が１点、甕・壷が 10 点出土している。このうち土師器の坏を１点図示することが出来たが、本土坑に伴わない遺物であるため、第９節においてまとめて図示することとする。切り合い関係は 27 号住居跡に後続する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の土壙墓であろう。

30 号土坑（第 140・141 図、第 71 表、図版 19・44）

Ｅ－11･Ｅ－12 グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で、長軸 137 ㎝、短軸 113 ㎝、深さ 48 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 86°－Ｅを示す。断面形は箱状を呈する。壁は垂直に立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は３層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、23 点で 245.1 ｇの遺物が出土した。内訳は、須恵器は坏が１点、鉢が１点、土師器は坏が４点、甕が 15 点、土師質土器小皿は２点出土している。このうち土師質土器小皿１点を図示することが出来た。１は体部の中位で膨らみを持つ土師質土器小皿である。切り合い関係は 31 号土坑に後続する。出土した土師質土器小皿の器形の特徴や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して 16 世紀中葉～後葉の土壙墓であろう。

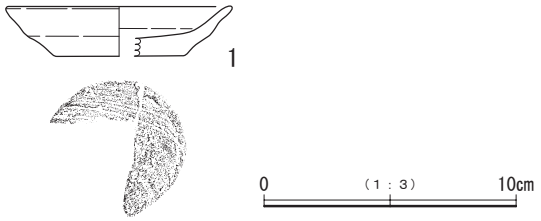
31 号土坑（第 140・142 図、第 72 表、図版 19・44）

Ｅ－11･Ｅ－12 グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で、長軸 174 ㎝、短軸 128 ㎝、深さ 40 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 89°－Ｅを示す。断面形は箱状を呈する。壁は急角度で立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は４層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、26 点で 269.1 ｇの遺物が出土した。内訳は、弥生土器は壷が２点、須恵器は坏が１点、土師器は坏が２点、甕・壷が 18 点、灰釉陶器は壷が１点、土師質土器は小皿が２点出土している。このうち灰釉陶器の壷、土師質土器小皿を２点図示することが出来た。灰釉陶器については本土坑に伴わない遺物であるため、第９節においてまとめて図示することとする。１は体部が膨らみを持つ土師質土器小皿である。切り合い関係は 30 号土坑に先行する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世の土壙墓であろう。

33 号土坑（第 140・143 図、第 73 表、図版 19・44）

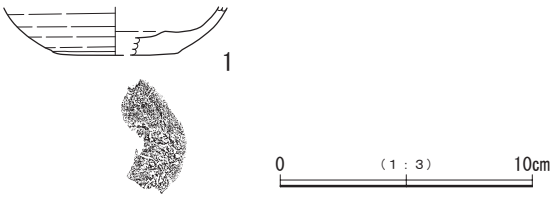
Ｅ－12 グリッドに位置する。平面形は円形で、直径 175 ㎝、深さ 74 ～ 77 ㎝を測る。断面形は箱状を呈する。壁は垂直に立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は５層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。遺物は覆土中から、153 点で 1704.1 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が 10 点、弥生土器は壷が５点、



第 141 図　30 号土坑出土遺物

第 71 表　30 号土坑出土遺物観察表

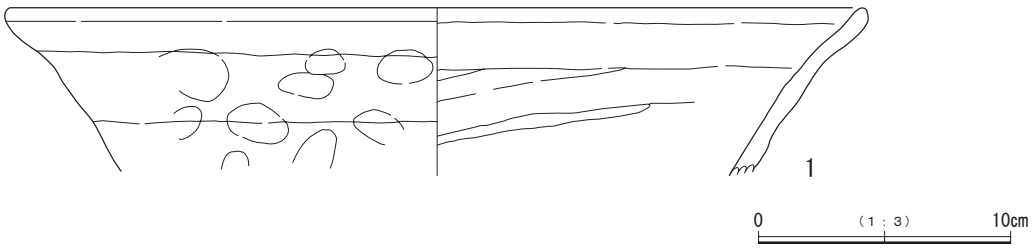
番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師質土器	小皿	口縁部～底部	50	(8.8)	(5.1)	<2.0>	所謂「カワラケ」。体部中位膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ、底部外面切り離し方向不明糸切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	16 世紀中葉～後葉



第 142 図　31 号土坑出土遺物

第 72 表　31 号土坑出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師質土器	小皿	体部～底部	20	－	(5.0)	<1.9>	所謂「カワラケ」。体部膨らみを持つ。体部内外面回転ナデ。底部切り離し技法不明、ナデ。	白・赤色粒子	良好	橙色	



第 143 図　33 号土坑出土遺物

第 73 表　33 号土坑出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	土師質土器	内耳鍋	口縁部～胴部	10	(33.6)	－	<6.7>	器高高い。口唇部丸味を帯びる。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面ナデ、指頭痕、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	不良	にぶい橙色	

須恵器は坏が 10 点、壷が５点、鉢が１点、甕が５点、蓋が３点、土師器は坏が 13 点、高台付坏が２点、甕・壷が 92 点、土師質土器は内耳鍋が１点、黒曜石製の剥片が１点、チャート製の剥片が２点、石英塊が３点出土している。このうち弥生土器の壷、土師器の甕、土師質土器内耳鍋、黒曜石及びチャートの剥片を６点図示することが出来たが、弥生土器の壷と土師器の甕、剥片については本土坑に伴わない遺物であるため、第９節においてまとめて図示することとする。１は土師質土器の内耳鍋であるが､内耳部は残存していない。切り合い関係は５号溝に先行して、29・31・37 号住居跡に後続する。出土した土師質土器内耳鍋の器形の特徴や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して 15 世紀から 16 世紀頃の土壙墓であろう。

39 号土坑（第 140 図、図版 20）

Ｄ－ 14 グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径 127 ㎝、短径 113 ㎝、深さ 36 ㎝を測る。主軸方位はＮ－ 32° －Ｅを示す。断面形は逆台形状を呈する。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。

遺物は覆土中から、８点で 59.5 ｇの遺物が出土した。内訳は、須恵器は坏が２点、蓋が１点、土師器は坏が２点、甕・壷が３点出土しているが、すべて細片のため図示することは出来なかった。切り合い関係は 239 号ピットに先行する。出土遺物や遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して中世期の土壙墓であろう。

３－７　近世以降

（１）溝

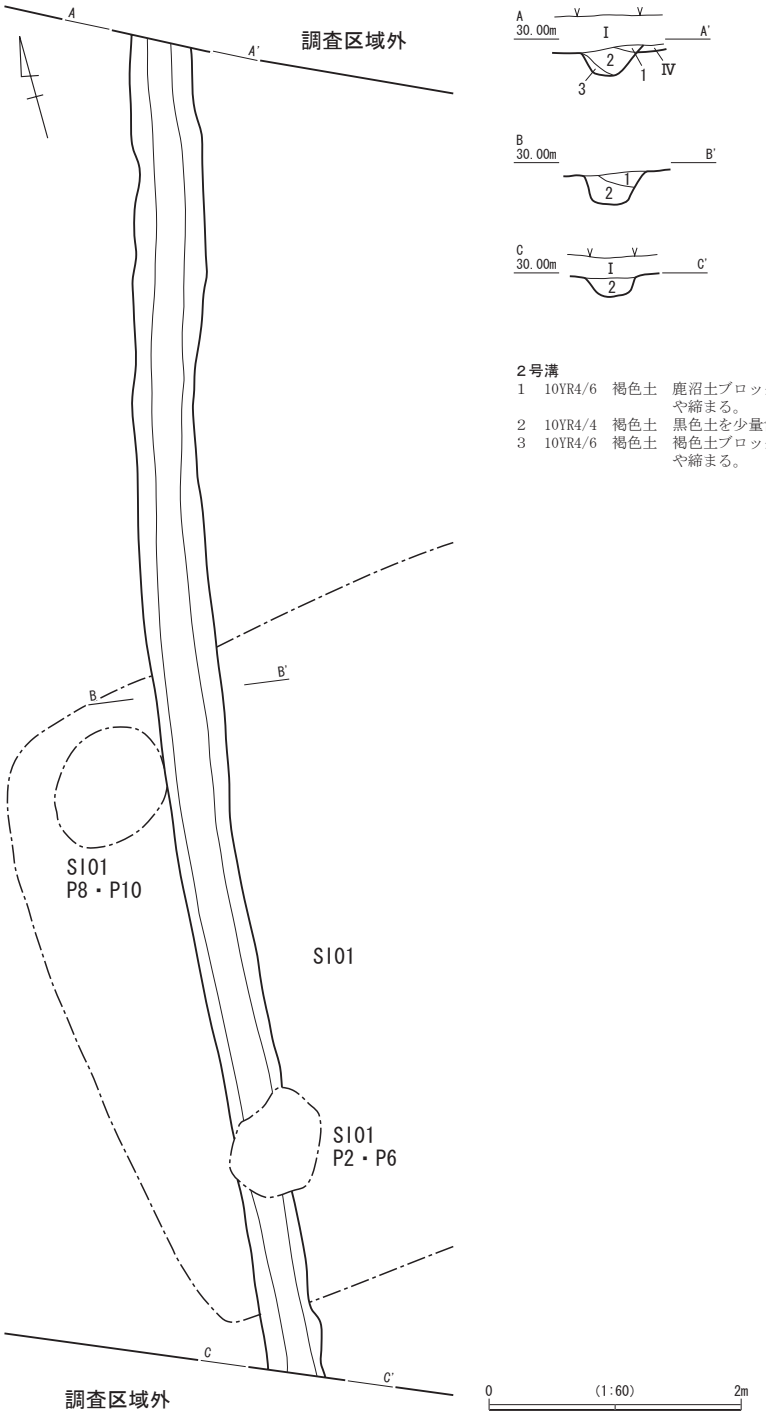
２号溝（第 144 図、図版 15）

Ｂ－２・Ｃ－２グリッドに位置して、調査区の西側を北から南方向に直進して、調査区外へ至る。１・２号住居跡が重複する。溝の北側・南側は調査区外であるため全容は不明である。確認部分の全長は 10.7 ｍ、上幅 47 ㎝～ 68 ㎝、底面幅 19 ～ 27 ㎝、深さ 15 ～ 33 ㎝を測る。主軸方位はＮ－８° －Ｗを示す。断面形は箱状を呈する。底面は起伏を持ち、壁は急角度で立ち上がる。覆土は３層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。遺物は覆土中から､28 点で 228.0 ｇの遺物が出土した。内訳は､須恵器は坏が１点､土師器は坏が６点、甕・壷が 19 点、土製品は紡錘車が１点、焼成土塊は１点出土している。このうち土製紡錘車を図示することが出来たが、本溝に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。切り合い関係は１・２号住居跡に後続する。出土遺物や遺構の位置、覆土の状況、切り合い関係などから判断して近・現代の畑地区画溝であろう。

３号溝（第 145・146 図、第 74 表、図版 15・44）

Ｂ－４・Ｃ－４グリッドに位置して、調査区の西側を北から南方向に直進して、調査区外へ至る。６号住居跡が重複する。溝の北側・南側は調査区外であるため全容は不明である。確認部分の全長は 10.0 ｍ、上幅 80 ～ 127 ㎝、底面幅 22 ～ 63 ㎝、深さ 27 ～ 40 ㎝を測る。主軸方位はＮ－１° －Ｗを示す。断面形は逆台形状を呈する。底面はやや起伏を持ち、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、55 点で 663.0 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が２点、須恵器は坏が１点、甕が１点、蓋が１点、土師器は坏が 13 点、甕・壷が 32 点、陶器は皿が１点、磁器は碗が１点、近代瓦

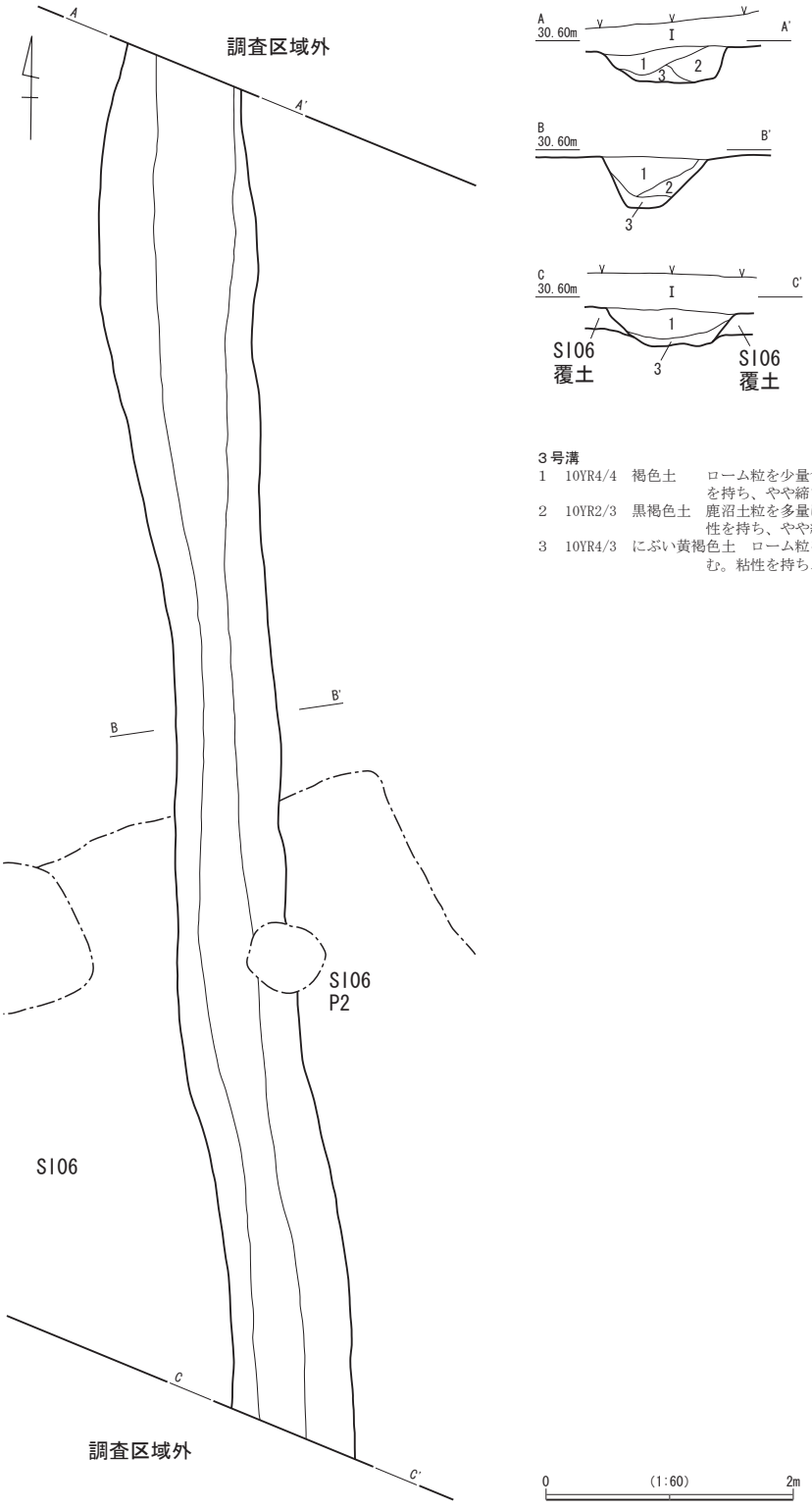


2号溝

1　10YR4/6　褐色土　鹿沼土ブロックを微量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/4　褐色土　黒色土を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
3　10YR4/6　褐色土　褐色土ブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

第144図　2号溝（1：60）

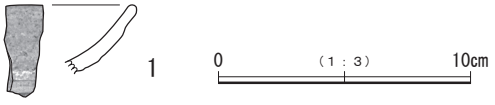
は1点、石英塊は1点、焼成土塊は1点出土している。このうち須恵器の蓋、土師器の坏、陶器の皿を図示することが出来たが、須恵器の蓋、土師器の坏は本溝に伴わないと考えられるため、一括して第9節に図示することとする。1は瀬戸美濃系の陶器皿である。切り合い関係は6号住居跡に後続する。出土遺物や遺構の位置、覆土の状況、切り合い関係などから判断して近・現代の畑地区画溝であろう。



3号溝

1	10YR4/4	褐色土	ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2	10YR2/3	黒褐色土	鹿沼土粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
3	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

第145図　3号溝（1：60）



第146図　3号溝出土遺物

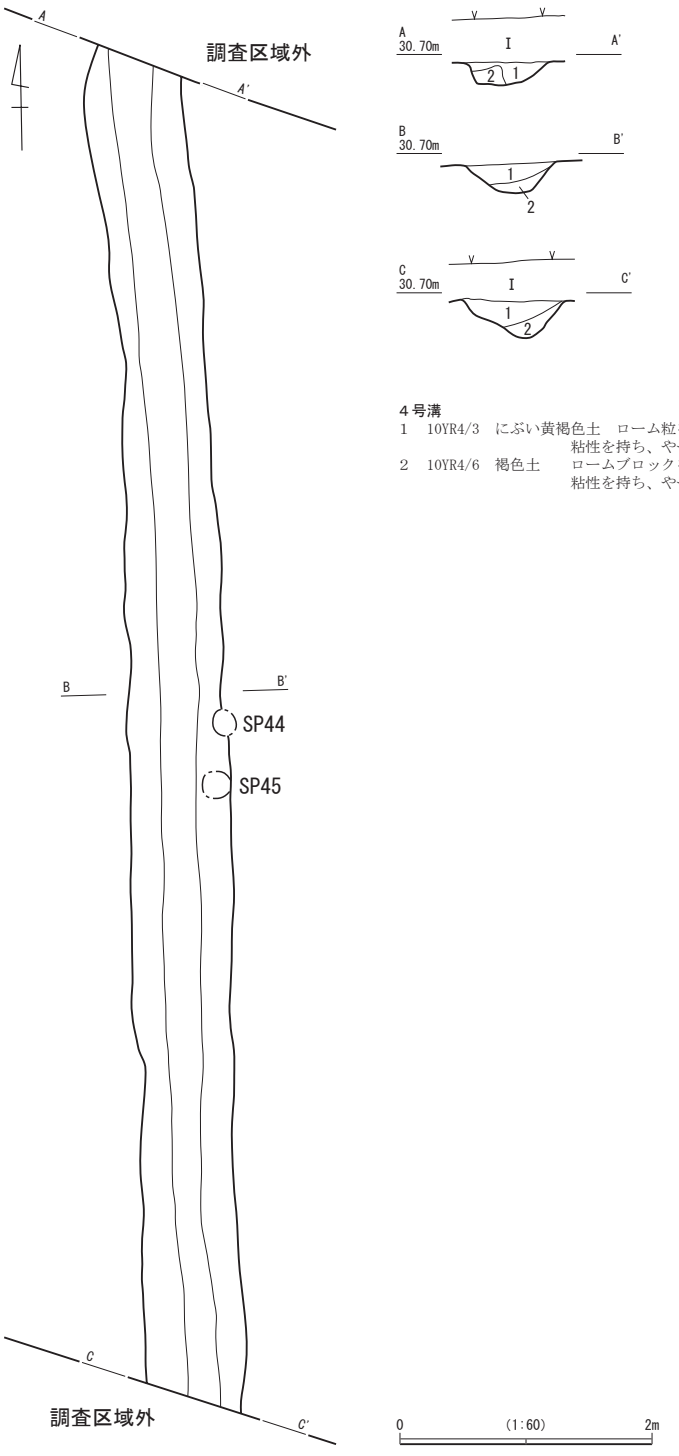
第 74 表　３号溝出土遺物観察表

番号	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
					口径	底径	器高					
1	陶器	皿	口縁部～胴部	細片	－	－	<2.6>	内外面灰釉。	白色粒子	良好	灰白色	瀬戸美濃系

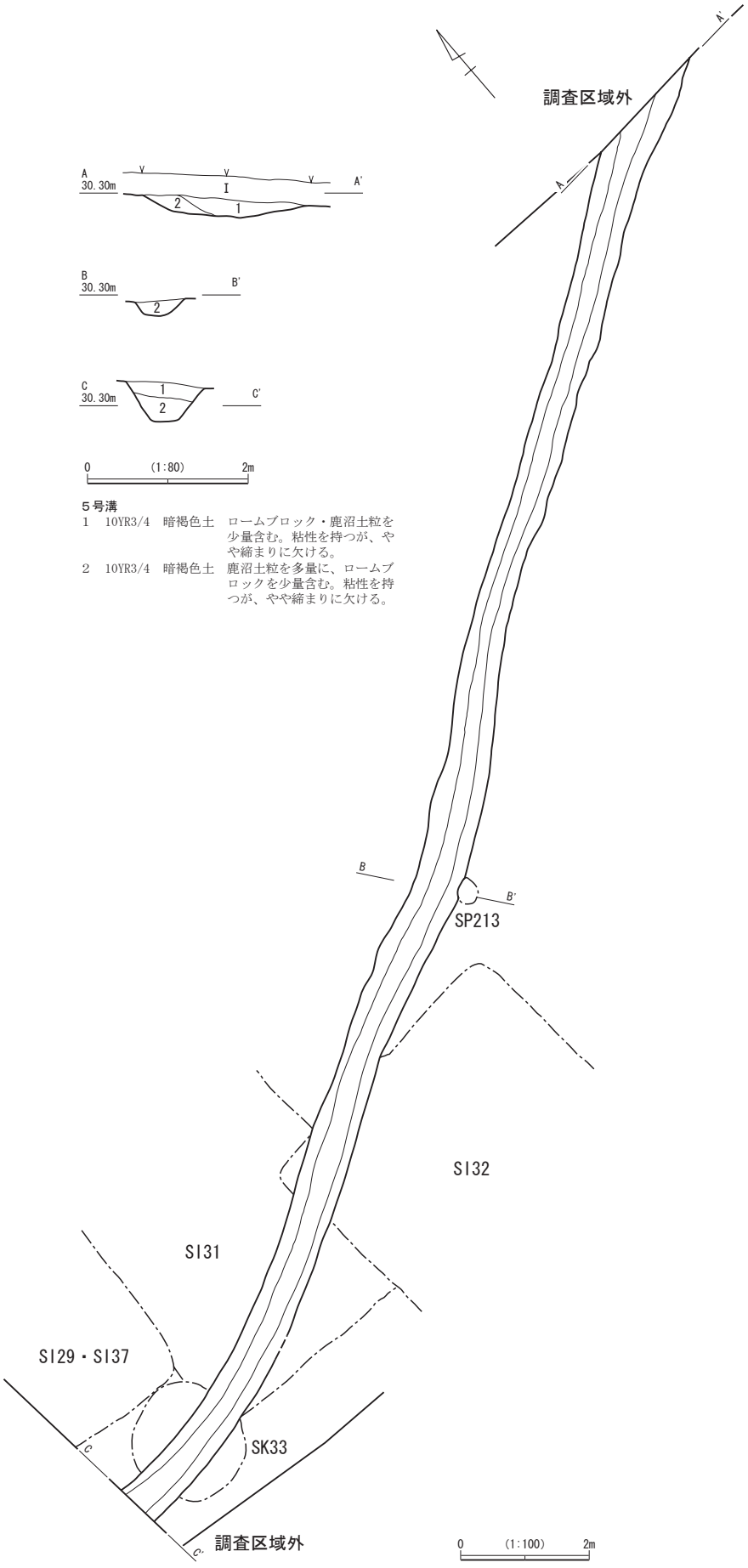
４号溝（第 147 図、図版 15）

Ｂ－４・Ｃ－４・Ｄ－４グリッドに位置して、調査区の西側を北から南方向に直進して、調査区外へ至る。44･45 号ピットが重複する。溝の北側･南側は調査区外であるため全容は不明である。確認部分の全長は 10.7 ｍ、上幅 65 ～ 75 ㎝、底面幅 19 ～ 33 ㎝、深さ 18 ～ 30 ㎝を測る。主軸方位はＮ－２°－Ｗを示す。断面形は逆台形状を呈する。底面はやや起伏を持ち、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は覆土中から、29 点で 172.4 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が１点、弥生土器は壷が１点、土師器は坏が４点、甕・壷が 22 点、灰釉陶器の壷が１点出土している。このうち弥生土器の壷、灰釉陶器の壷を図示することが出来たが、本溝に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。切り合い関係は 44・45 号ピットに後続する。出土遺物や遺構の位置、覆土の状況、切り合い関係などから判断して近・現代の畑地区画溝であろう。



第 147 図　４号溝（１：60）



第148図　5号溝（1：100、1：80）

5号溝（第148図、図版15）

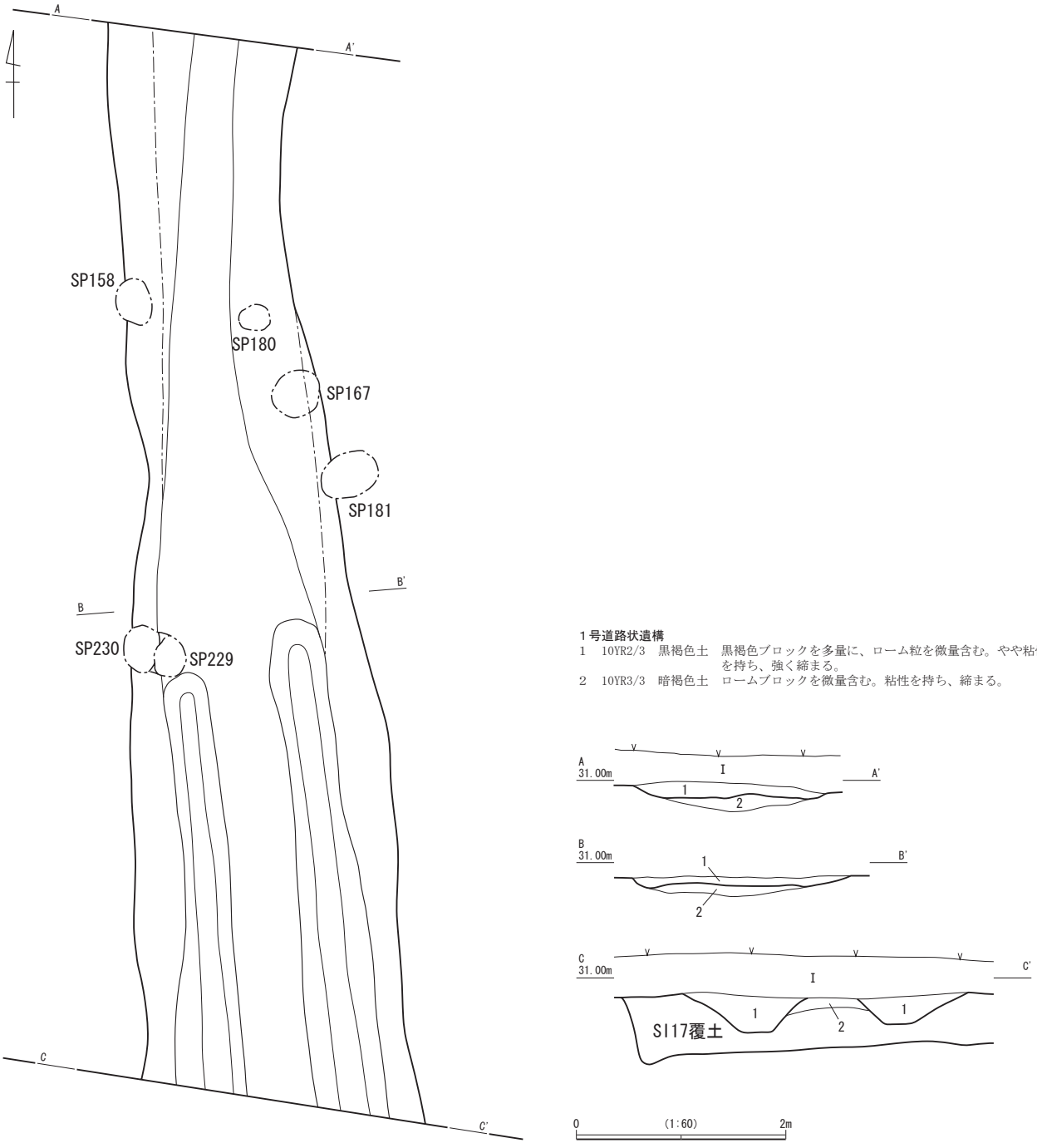
D－13・D－14・E－12・E－13グリッドに位置して、調査区の東側を北東から南西方向に直進して、調査区外へ至る。29・31・32・37号住居跡、33号土坑、213号ピットが重複する。溝の北東側・南西側は調査区外であるため全容は不明である。確認部分の全長は25.1ｍ、上幅30～72㎝、底面幅15～42㎝、深さ18～47㎝を測る。主軸方位はN－57°－Eを示す。断面形は逆台形状を呈する。底面はやや起伏を持ち、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は2層に分けられ、人為的な埋没状況を示す。

遺物は出土していない。切り合い関係は29・31・32・37号住居跡、33号土坑、213号ピットに後続する。遺構の位置、覆土の状況、切り合い関係などから判断して近・現代の畑地区画溝であろう。

（２）道路状遺構

１号道路状遺構（第 149 図、図版 20）

Ｄ－９・Ｅ－９グリッドに位置して、調査区の中央部を北から南方向に直進して、調査区外へ至る。16・17 号住居跡、16・18 号土坑、158・161・162・166・167・170・171・178・180・181・229・230 号ピットが重複する。本遺構の北側・南側は調査区外であるため全容は不明である。確認部分の全長は 10.5 ｍ、幅 172 ～ 247 ㎝を測る。主軸方位はＮ－４°－Ｗを示す。南側で幅 45 ～ 60 ㎝の轍状の窪みが２条（轍間 1.2 ｍ程）が検出されている。道路面は強く硬化していて、皿状の掘り方を持つ。掘り方底面は概ね平坦で、緩やかに



第 149 図　１号道路状遺構（１：60）

立ち上がる。覆土は２層に分けられる。

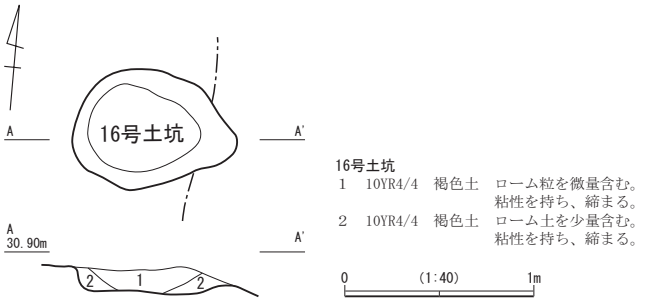
遺物は覆土中から、261 点で 2218.2 ｇの遺物が出土した。内訳は、縄文土器は深鉢が３点、弥生土器は壷が７点、須恵器は坏が 13 点、鉢が１点、壷が２点、甕が２点、土師器は坏が 24 点、高台付坏が１点、甕・壷が 197 点、高坏が２点、平瓦は１点、土製品は勾玉が１点、石製品は軽石が１点、片岩片は１点、石英塊は４点出土している。このうち須恵器の坏､土師器の台付甕､土製勾玉､軽石を４点図示することが出来たが、本遺構に伴わないと考えられるため、一括して第９節に図示することとする。切り合い関係は 16・17 号住居跡、16・18 号土坑、158・161・162・166・167・170・171・178・180・181・229・230 号ピットに後続する。出土遺物や遺構の位置、覆土の状況、切り合い関係などから判断して近・現代の所産であろう。

（３）土坑

16 号土坑（第 150 図、図版 17）

Ｄ－８・Ｄ－９グリッドに位置する。平面形は不整楕円形で、長径 85 ㎝、短径 65 ㎝、深さ 11 ㎝を測る。断面形は逆台形状を呈する。主軸方位はＮ－ 85° －Ｗを示す。壁は緩やかに立ち上がり、底面は概ね平坦である。覆土は２層に分けられ、自然な埋没状況を示す。

遺物は出土していない。切り合い関係は１号道路状遺構に後続する。遺構の形状、覆土の状況、切り合い関係から判断して近世以降の所産であろうが性格は不明である。

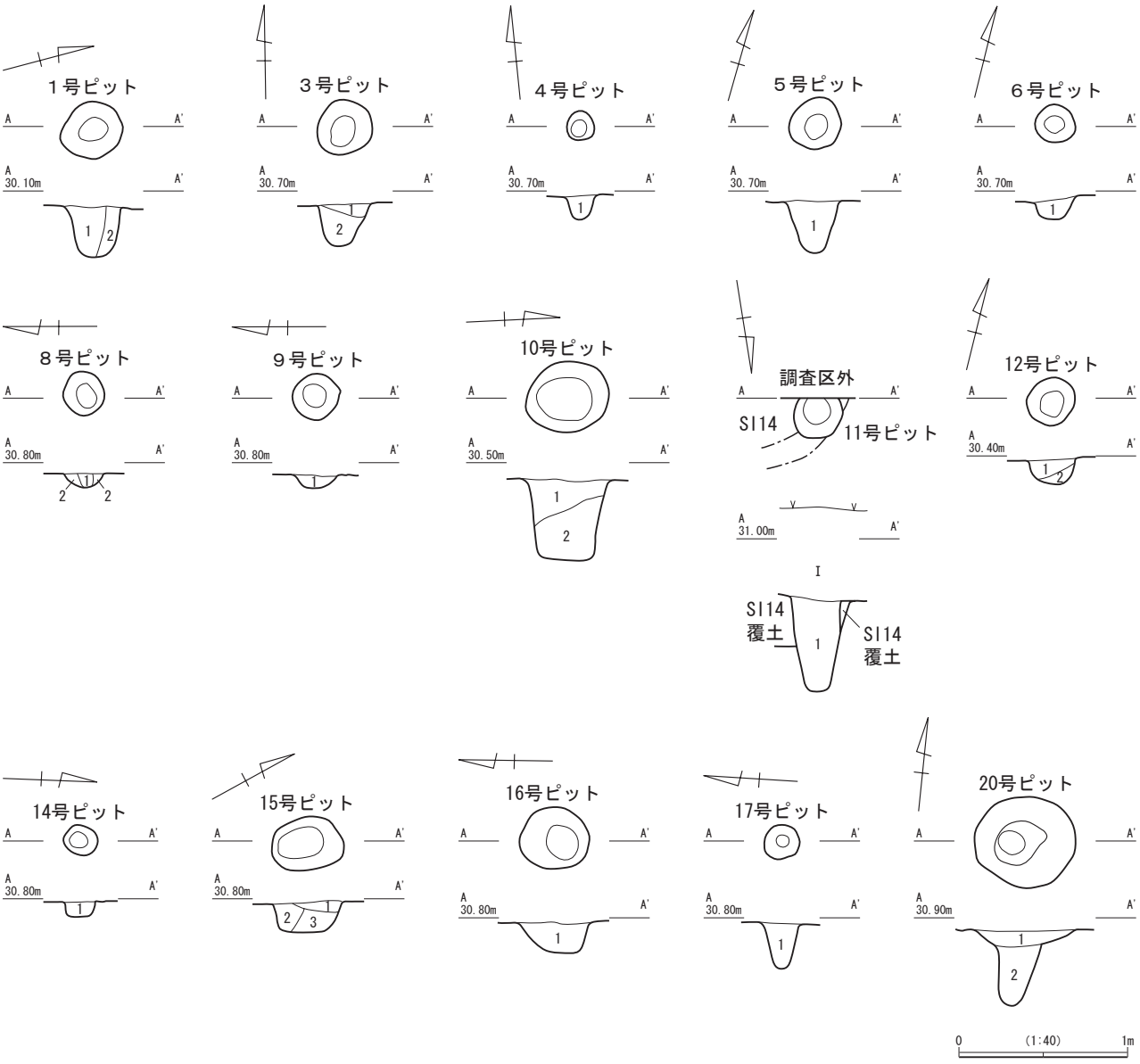


第 150 図　16 号土坑（１：40）

３－８　ピット

（１）ピット（第 151 ～ 161 図、第 75 表、図版 15・17・18・20）

合計 239 基のピットが検出された。ピットから遺物の出土は少なく且つ小片であるため、時期を明確に出来たものは少なかった。平面分布を見ると、1 号溝に囲繞された箇所に多くみられる。残念ながらこれらピットは規則的な配列は確認できなかった。ただ、長期間に同一の場所を利用されていたことが確認できた。各ピットのデータについては、第 75 表に掲載した。



1号ピット
1　10YR4/4　褐色土　黒色土を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/4　褐色土　鹿沼土ブロック・黒色土を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

3号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

4号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

5号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

6号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

8号ピット
1　10YR3/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

9号ピット
1　10YR3/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

10号ピット
1　10YR4/6　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

11号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

12号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　暗褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

14号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

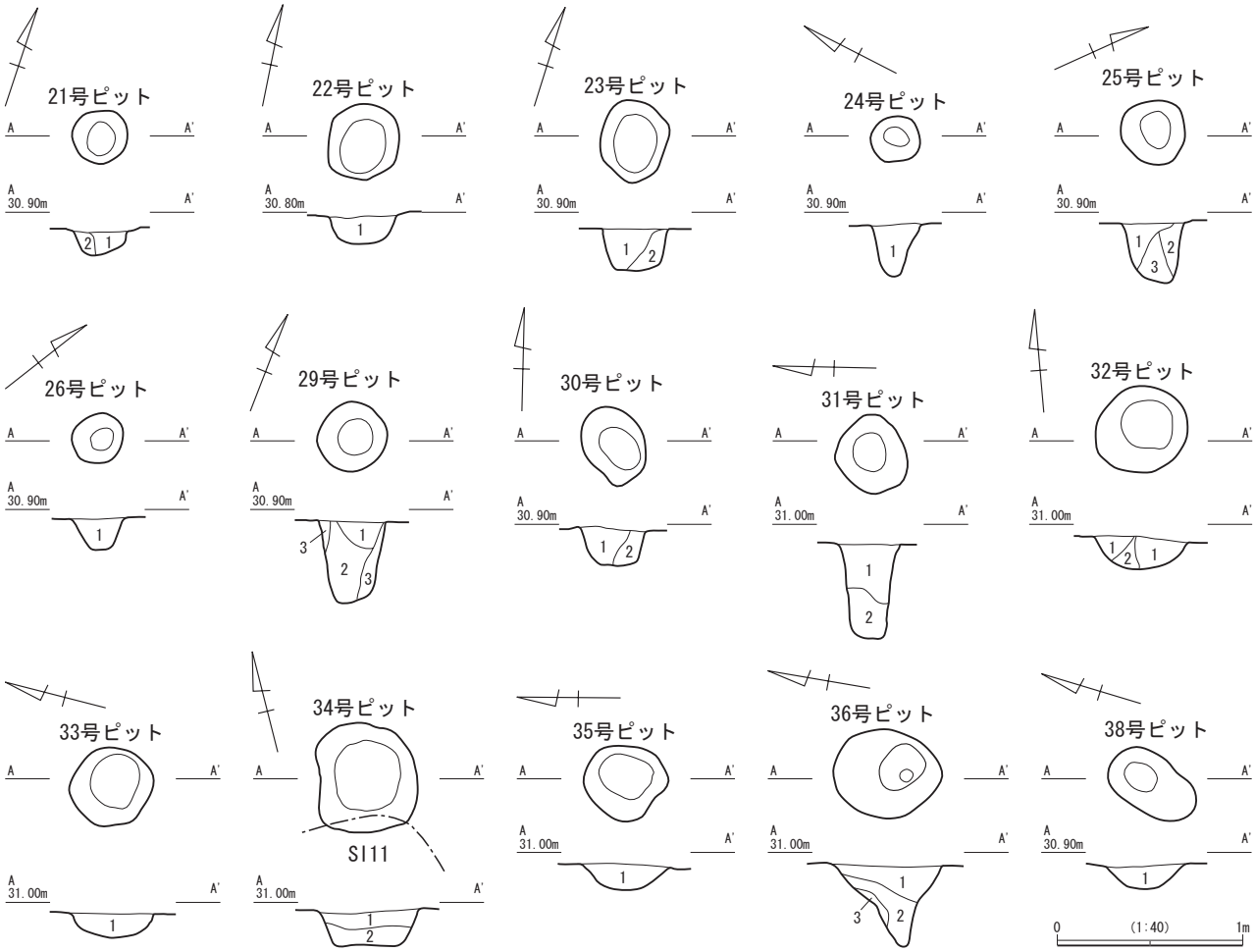
15号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

16号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

17号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

20号ピット
1　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第151図　1・3～6・8～12・14～17・20号ピット（1：40）



21号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

22号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

23号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

24号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

25号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

26号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

29号ピット
1　10YR2/1　黒色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/2　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

30号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

31号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

32号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR6/6　明黄褐色土　ローム土主体。粘性を持ち、やや締まる。

33号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

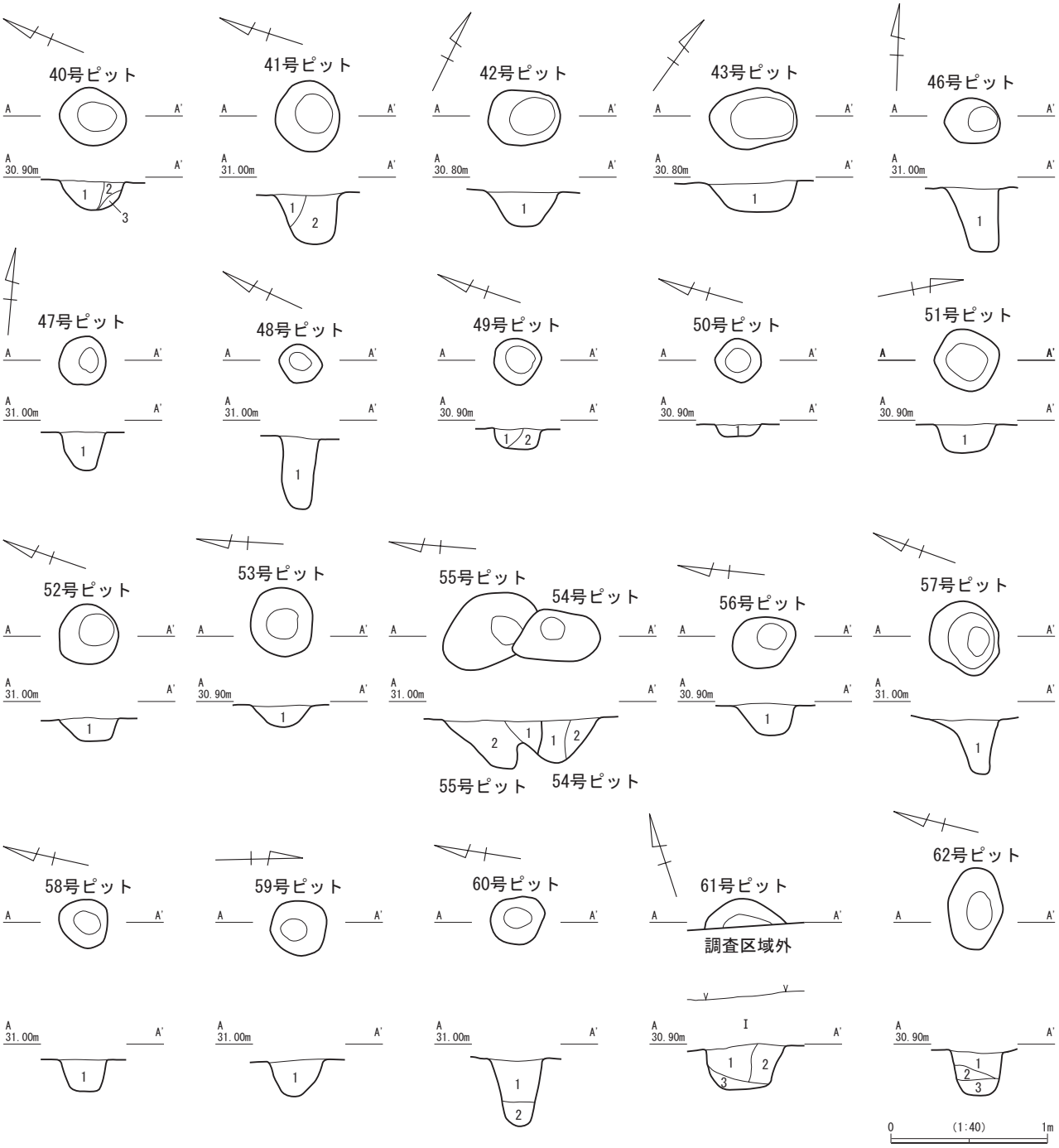
34号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

35号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

36号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR6/6　明黄褐色土　ローム土を多量に、黒色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

38号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

第 152 図　21 ～ 26・29 ～ 36・38 号ピット（ 1：40 ）



40号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR6/6　明黄褐色土　ローム土主体。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

41号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

42号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　焼土粒を少量、ローム粒を微量含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。

43号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。

46号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

47号ピット
1　10YR4/4　褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

48号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

49号ピット
1　10YR4/4　褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

50号ピット
1　10YR4/4　褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

51号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

52号ピット
1　10YR4/4　褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

53号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

54号ピット
1　10YR4/4　褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

55号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

56号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

57号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

58号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

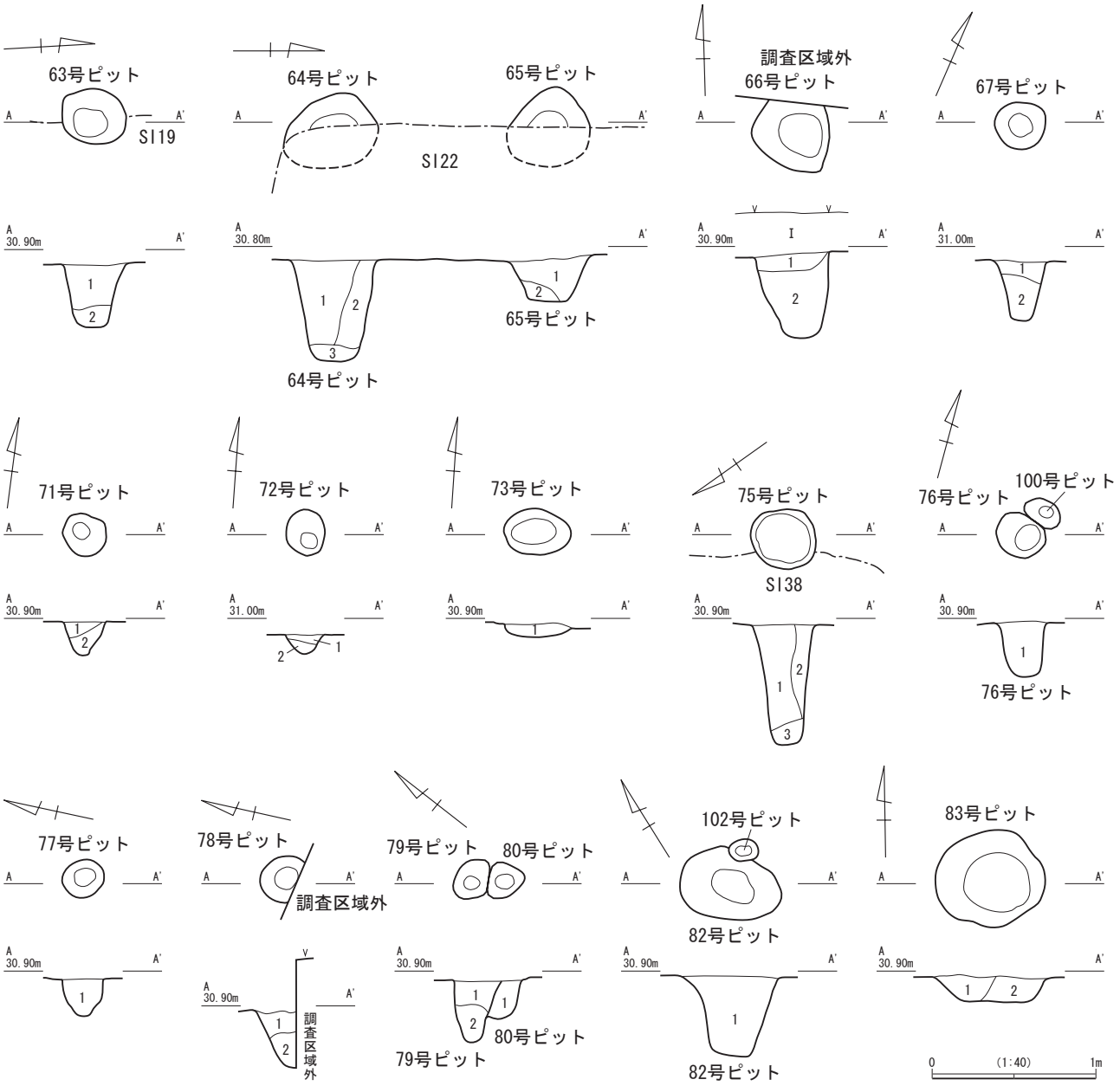
59号ピット
1　10YR4/4　褐色土　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

60号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　　黒褐色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

61号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　　ローム土を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

62号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性持ち、締まる。

第153図　40～43・46～62号ピット（1：40）



63号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

64号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

65号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

66号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　暗褐色土を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

67号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

71号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

72号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

73号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

75号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。

76号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

77号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

78号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。

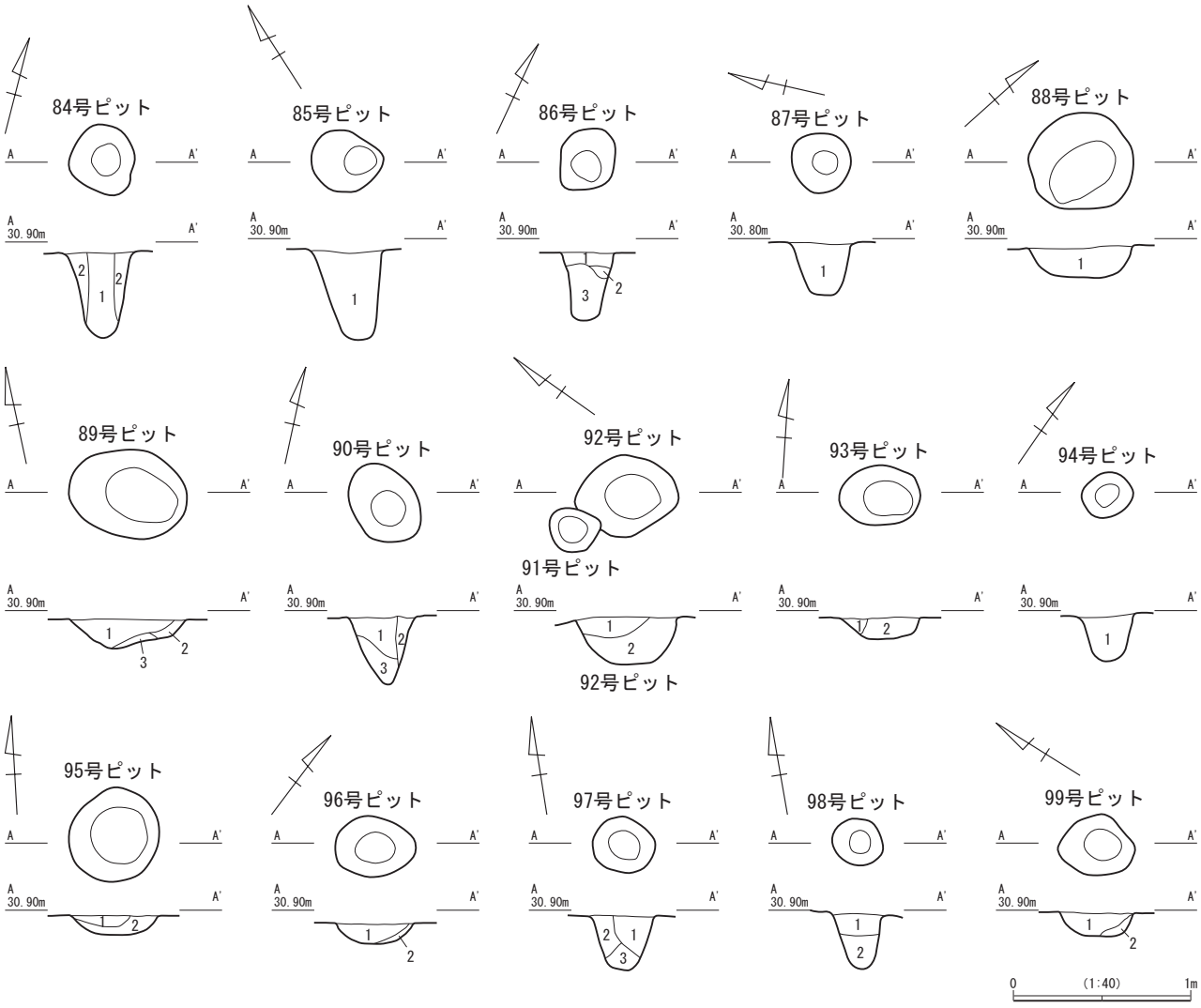
79号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。

80号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

82号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

83号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第 154 図　63 ～ 67・71 ～ 73・75 ～ 80・82・83 号ピット（ 1：40 ）



84号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

85号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

86号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

87号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

88号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

89号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR7/6　明黄褐色土　ロームブロック主体。粘性を持ち、やや締まる。

90号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を多量に、ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ローム粒主体。粘性を持ち、締まりに欠ける。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

92号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

93号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

94号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

95号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

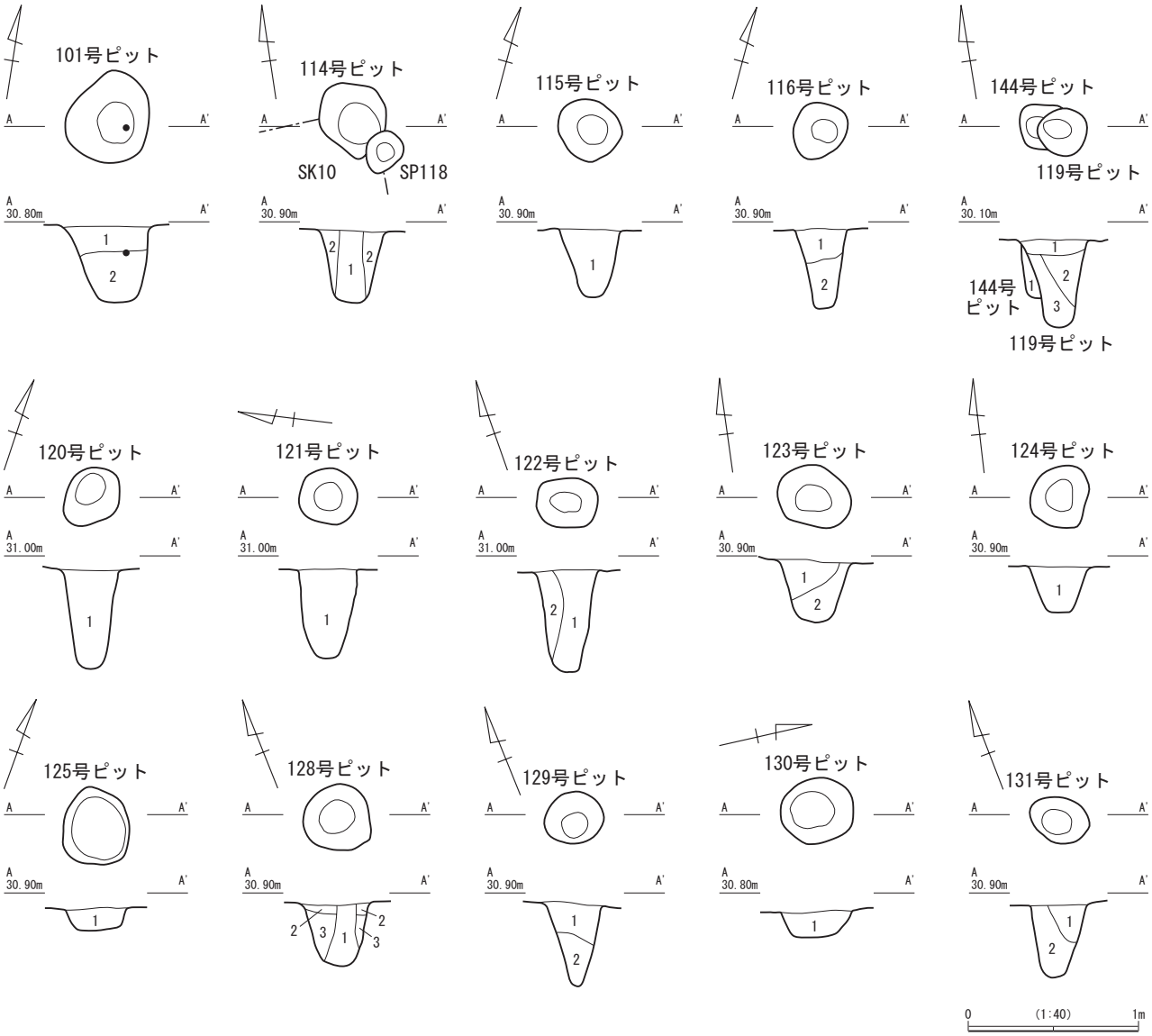
96号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

97号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

98号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

99号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まりに欠ける。

第155図　84～90・92～99号ピット（1：40）



101号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

114号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

115号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

116号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

119号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

144号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

120号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

121号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

122号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

123号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

124号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

125号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

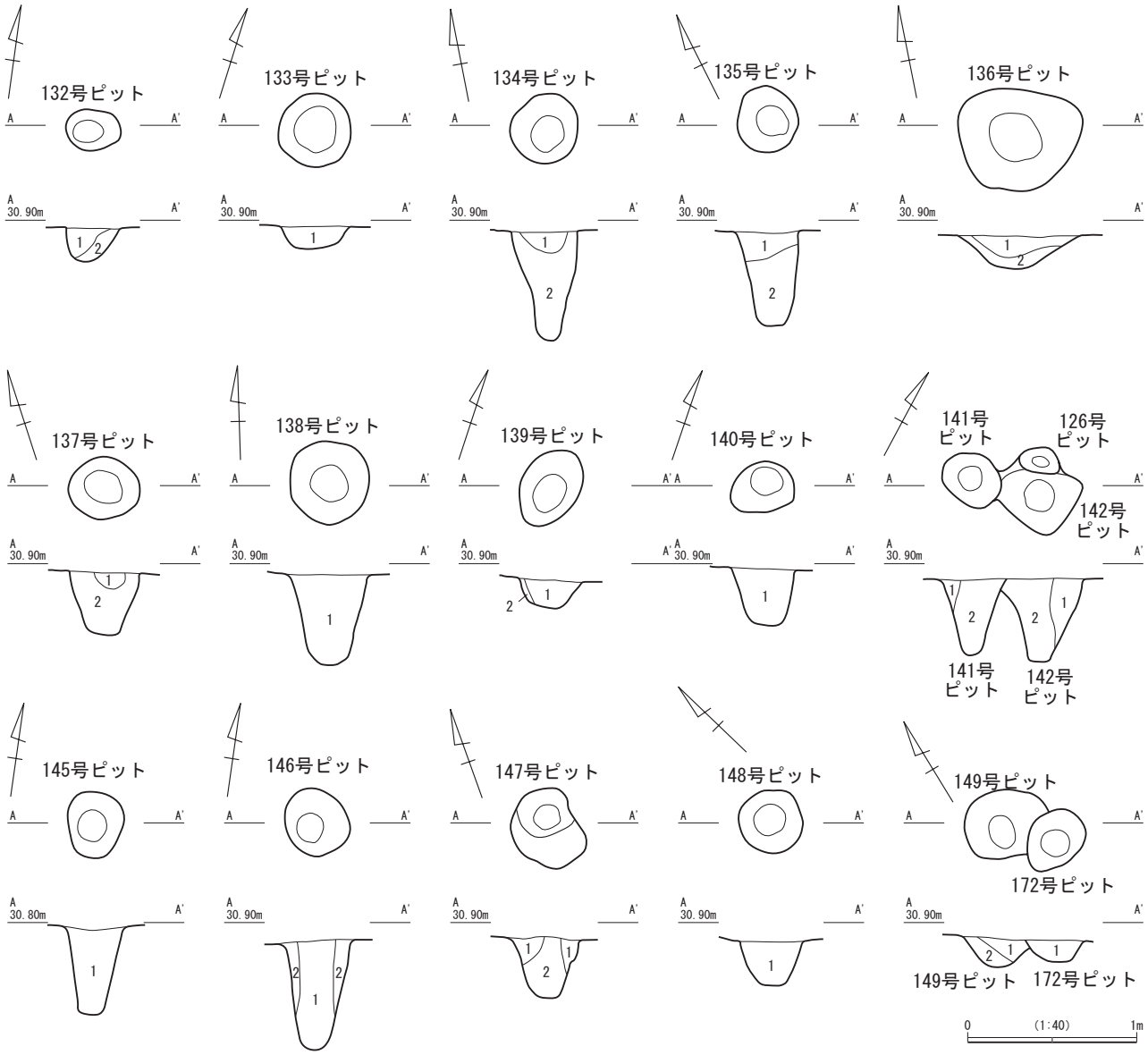
128号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

129号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム土・ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

130号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム土・ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

131号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量、炭化粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第 156 図　101・114 ～ 116・119 ～ 125・128 ～ 131・144 号ピット（ 1：40 ）



132号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

133号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

134号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量、炭化粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

135号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

136号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム土・ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

137号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

138号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

139号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ローム土・ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

140号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

141号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

142号ピット
1　10YR4/4　褐色土　　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

145号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

146号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

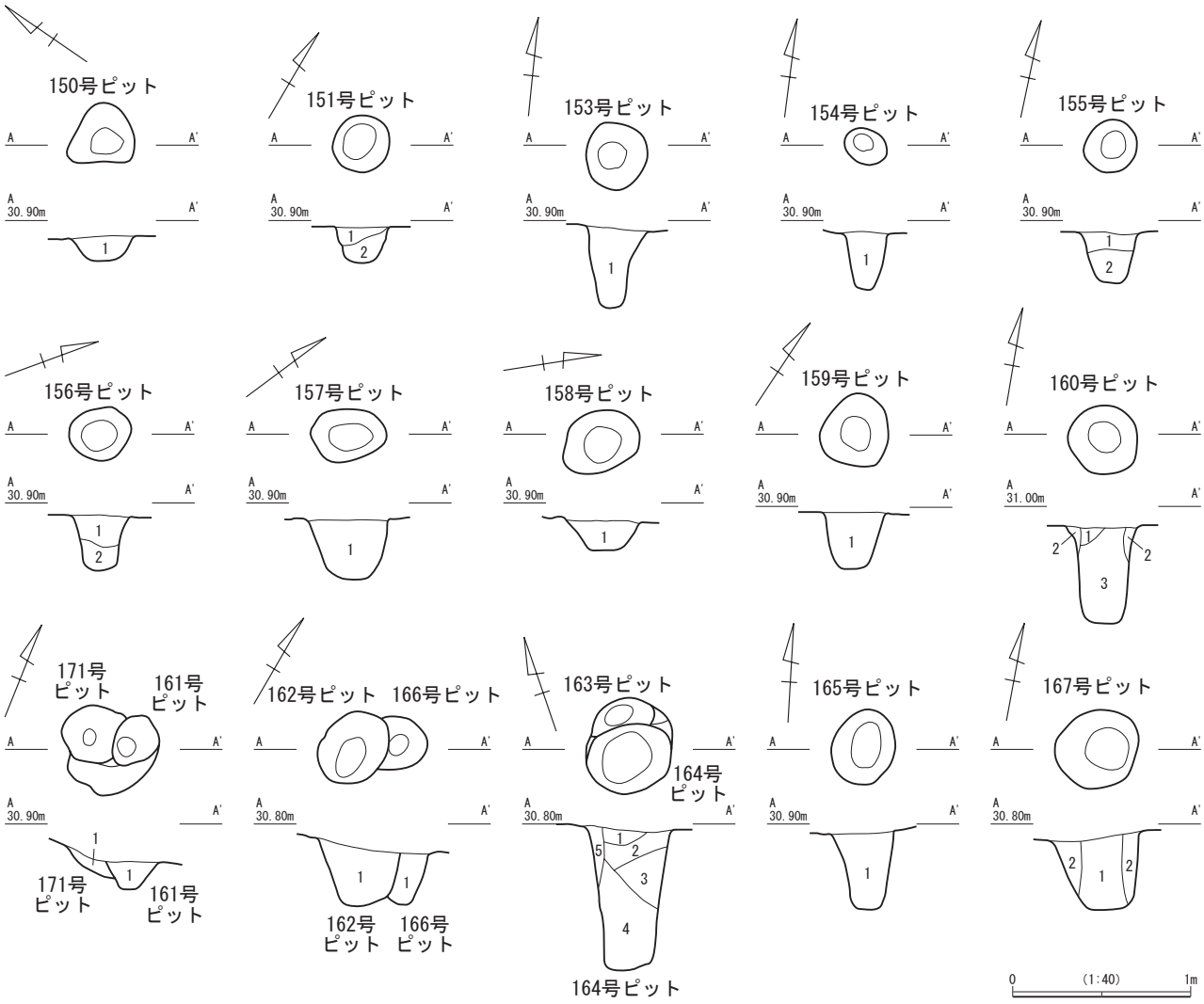
147号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・黒色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

148号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

149号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

172号ピット
1　10YR4/6　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

第157図　132～142・145～149・172号ピット（1：40）



150号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

151号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

153号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

154号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

155号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・黒色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

156号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・黒色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

157号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・黒色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

158号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量、褐色土を微量含む。粘性を持ち、締まる。

159号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

160号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒・黒色土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒・黒色土ブロックを少量含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

161号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

171号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

162号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム土・ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

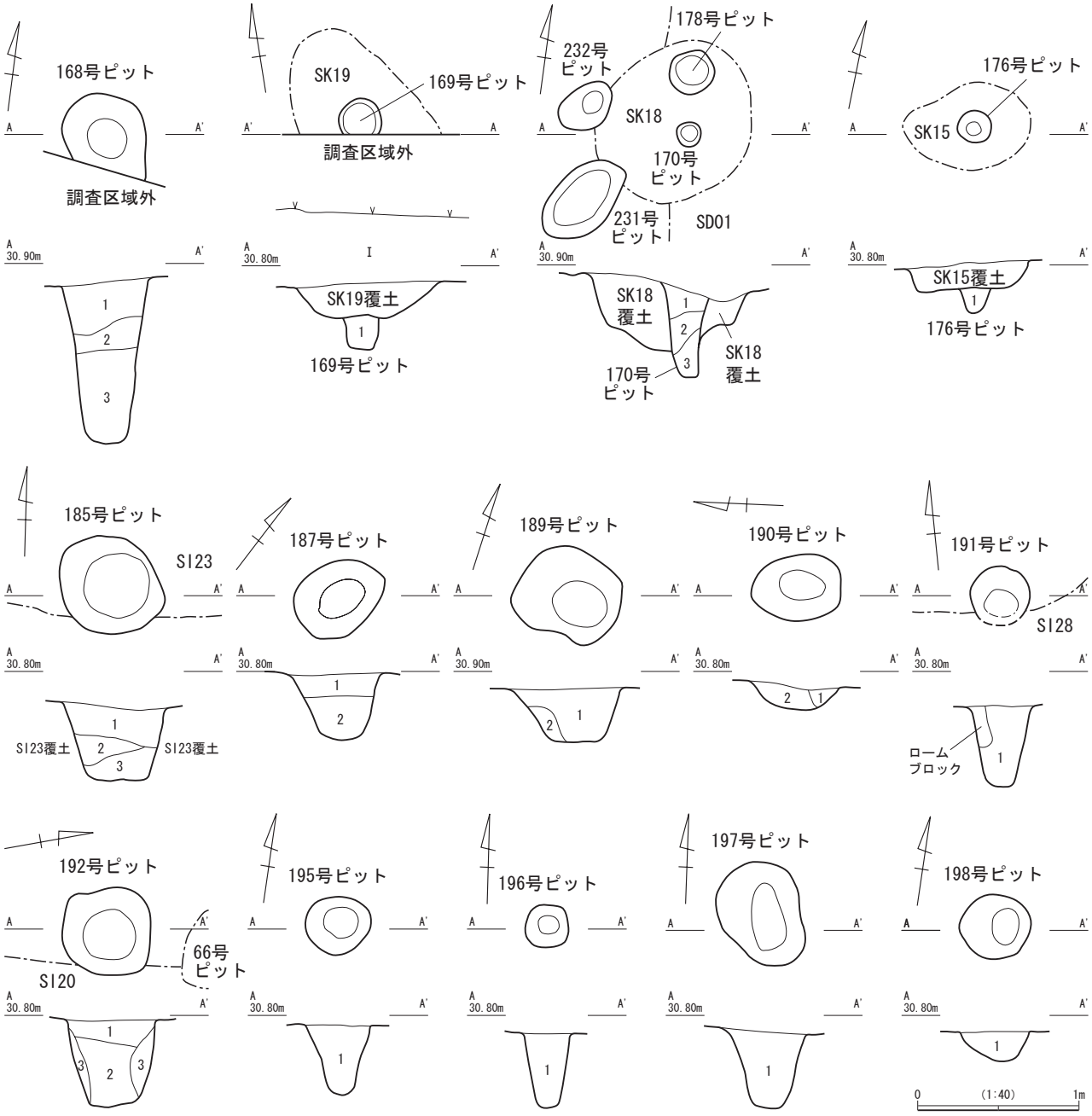
166号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

164号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。
5　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

165号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　暗褐色土を少量、ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

167号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　暗褐色土を少量、ローム粒を少量含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム土・ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

第158図　150・151・153～162・164～167・171号ピット（1：40）



168号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/2　黒色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
3　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

169号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

170号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

176号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

185号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に、ロームブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

187号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

189号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

190号ピット
1　10YR4/6　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

191号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを微量含む。粘性を持ち、締まる。

192号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/4　暗褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

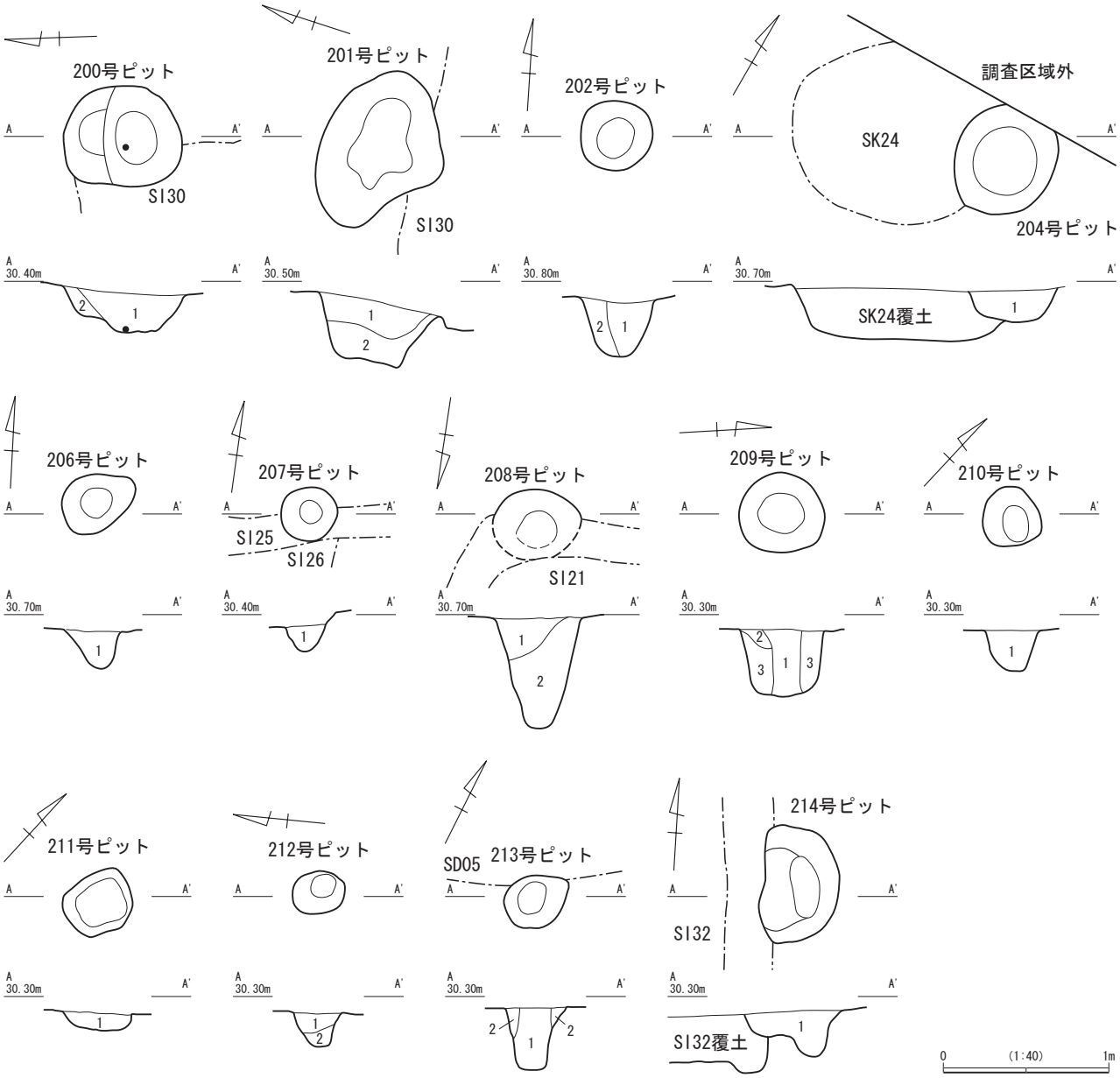
195号ピット
1　10YR4/4　褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

196号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

197号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

198号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

第159図　168～170・176・185・187・189～192・195～198号ピット（1：40）



200号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

201号ピット
1　10YR4/6　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

202号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

204号ピット
1　10YR4/6　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

206号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

207号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

208号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、締まる。

209号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に、ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

210号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

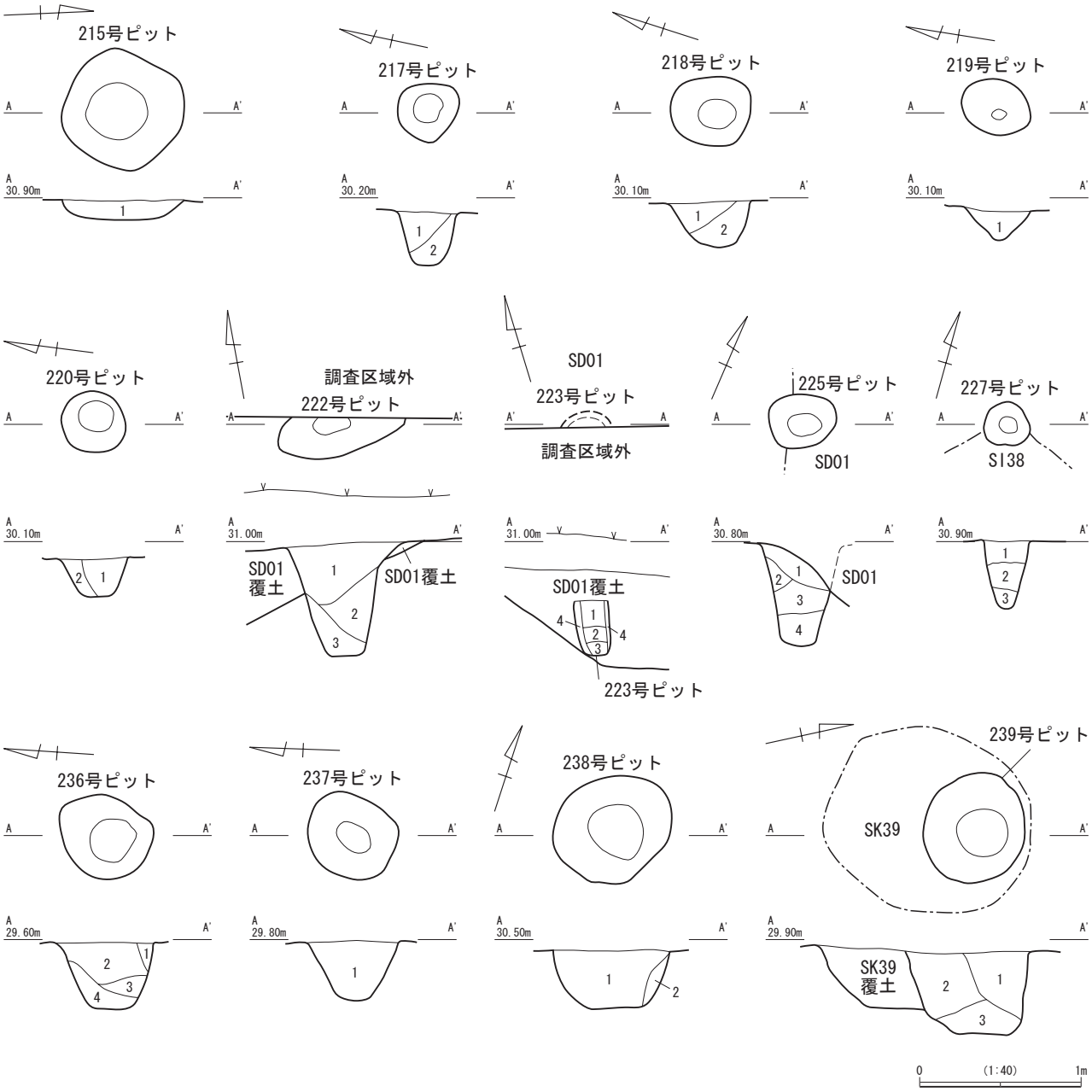
211号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

212号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR6/8　明黄褐色土　ロームブロック主体。粘性を持ち、やや締まる。

213号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に、ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。

214号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

第 160 図　200 ～ 202・204・206 ～ 214 号ピット（ 1：40 ）



215号ピット
1　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。

217号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

218号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

219号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

220号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

222号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/4　褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

223号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム土・ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR3/3　暗褐色土　ローム土を少量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR3/4　暗褐色土　焼土粒を多量に、ロームブロックを少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

225号ピット
1　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。
3　10YR4/4　褐色土　ロームブロックを多量に含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。
4　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、やや締まる。

227号ピット
1　10YR4/6　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒を多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR4/6　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、やや締まる。

236号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
4　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土粒を少量含む。粘性を持つが、やや締まりに欠ける。

237号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒・鹿沼土粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。

238号ピット
1　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR4/6　褐色土　ローム土を多量に含む。粘性を持ち、締まる。

239号ピット
1　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒を少量含む。粘性を持ち、締まる。
2　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック・鹿沼土ブロックを多量に含む。粘性を持ち、締まる。
3　10YR2/3　黒褐色土　鹿沼土粒を微量含む。粘性を持ち、締まる。

第 161 図　215・217 ～ 220・222・223・225・227・236 ～ 238・239 号ピット（1：40）

第 75 表　ピット計測表

ピット番号	位置	平面形	規模（cm）			断面形	底部標高（m）	底部状況	時代	出土遺物	切り合い関係	備考
			長軸	短軸	深さ							
1 号ピット	C－2	円形	36	－	29	筒状	29.72	丸味	中世以降	土師器高台付坏・甕		
2 号ピット	C－6	楕円形	38	34	11	筒状	30.55	平坦	弥生時代以降	弥生土器壷	3 号土坑に先行、37 号ピットに後続	
3 号ピット	D－4	円形	33	－	24	筒状	30.37	丸味	時代不明			
4 号ピット	C－5	円形	15	－	11	筒状	30.54	平坦	時代不明			
5 号ピット	D－5	円形	30	－	21	筒状	30.35	丸味	時代不明			
6 号ピット	C－4	円形	23	－	12	筒状	30.52	丸味	時代不明			
7 号ピット	C－4	楕円形	20	18	18	筒状	30.46	丸味	中世以降			
8 号ピット	C－4	円形	23	－	7	筒状	30.67	丸味	中世以降			
9 号ピット	C－4	円形	26	－	6	筒状	30.67	丸味	古墳時代以降			
10 号ピット	C－3	楕円形	50	43	45	筒状	29.94	平坦	縄文時代	縄文土器深鉢		
11 号ピット	D－8	円形	32	－	53	筒状	30.04	平坦	中世以降		14 号住居跡に後続	南側 1/5 が調査区外
12 号ピット	D－5	円形	27	－	14	筒状	30.21	丸味	時代不明			
13 号ピット	D－5	不整楕円形	31	23	18	逆台形状	30.61	丸味	中世以降			
14 号ピット	C－5	不整円形	20	16	10	箱状	30.69	平坦	時代不明			
15 号ピット	C－5	不整楕円形	40	30	21	逆台形状	30.58	平坦	古墳時代以降	縄文土器深鉢、土師器甕		
16 号ピット	C－5	円形	36	－	18	逆台形状	30.60	丸味	時代不明			
17 号ピット	C－5	円形	21	－	26	逆円錐状	30.50	丸味	時代不明			
18 号ピット	C－5	円形	20	－	8	逆円錐状	30.72	丸味	中世以降			
19 号ピット	C－5	楕円形	17	15	9	筒状	30.71	丸味	中世以降			
20 号ピット	C－5	楕円形	60	51	44	有段筒状	30.39	丸味	時代不明			
21 号ピット	C－5	円形	30	－	12	筒状	30.66	丸味	時代不明			
22 号ピット	C－5	楕円形	41	37	18	筒状	30.62	丸味	時代不明			
23 号ピット	C－5	楕円形	45	36	22	箱状	30.59	平坦	古墳時代以降	土師器甕		
24 号ピット	C－5	円形	25	－	28	筒状	30.56	丸味	時代不明			
25 号ピット	C－5	円形	35	－	32	筒状	30.51	丸味	時代不明			
26 号ピット	C－5	円形	28	－	16	逆台形状	30.69	平坦	時代不明			
27 号ピット	C－5	楕円形	23	18	21	筒状	30.66	丸味	中世以降			
28 号ピット	C－5	不整楕円形	29	25	32	筒状	30.54	丸味	中世以降			
29 号ピット	C－5	円形	35	－	45	筒状	30.38	丸味	中世以降			柱跡あり
30 号ピット	D－6	不整楕円形	42	33	21	箱状	30.66	平坦	古墳時代以降		1 号溝に後続	
31 号ピット	C－5	不整円形	40	35	51	筒状	30.36	平坦	時代不明			底面アタリ
32 号ピット	C－6	楕円形	51	45	18	筒状	30.73	丸味	縄文時代以降	縄文土器深鉢、石英塊		
33 号ピット	C－6	円形	42	－	12	筒状	30.81	丸味	時代不明			
34 号ピット	C－6	不整方形	53	51	20	逆台形状	30.74	平坦	中世以降	土師器坏・甕	11 号住居跡に後続	
35 号ピット	C－6	不整円形	40	39	13	皿状	30.80	丸味	中世以降			
36 号ピット	C－6	楕円形	57	48	42	有段逆円錐状	30.50	丸味	時代不明			
37 号ピット	C－6	円形	39	－	4	筒状	30.61	平坦	古墳時代～中世	土師器甕	3 号土坑・2 号ピットに先行	
38 号ピット	D－6	楕円形	51	31	12	筒状	30.68	丸味	時代不明			
39 号ピット	D－6	円形	20	－	38	筒状	30.37	平坦	中世以降		2 号土坑に後続	
40 号ピット	D－6	楕円形	43	36	17	筒状	30.68	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
41 号ピット	D－6	楕円形	45	40	37	筒状	30.59	丸味	時代不明			
42 号ピット	D－10	楕円形	46	35	17	筒状	30.55	丸味	近世以降	縄文土器深鉢、須恵器蓋、土師器坏・甕	22・24・27 号住居跡・23 号土坑に後続	
43 号ピット	D－10	不整方形	58	42	19	箱状	30.57	平坦	近世以降			
44 号ピット	C－4	円形	18	－	42	筒状	30.18	丸味	中世以降		4 号溝に先行	
45 号ピット	C－4	円形	22	－	31	筒状	29.99	丸味	中世以降		4 号溝に先行	
46 号ピット	C－6	楕円形	33	28	41	筒状	30.52	丸味	時代不明			
47 号ピット	C－6	円形	29	－	24	筒状	30.68	丸味	時代不明			
48 号ピット	C－6	円形	26	－	46	筒状	30.43	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
49 号ピット	D－6	円形	30	－	12	箱状	30.71	平坦	時代不明			
50 号ピット	D－6	円形	26	－	8	逆台形状	20.80	平坦	古墳時代以降	土師器坏		
51 号ピット	D－6	円形	40	－	19	逆台形状	30.69	平坦	古墳時代以降	土師器甕		

ピット番号	位置	平面形	規模（cm）			断面形	底部標高（m）	底部状況	時代	出土遺物	切り合い関係	備考
			長軸	短軸	深さ							
52 号ピット	D－6	円形	37	－	15	逆台形状	30.75	平坦	時代不明			
53 号ピット	D－6	楕円形	45	38	13	皿状	30.74	丸味	時代不明			
54 号ピット	D－6	不整楕円形	55	32	27	筒状	30.61	丸味	中世以降		55 号ピットに先行	
55 号ピット	D－6	不整楕円形	66	44	31	筒状	30.59	丸味	中世以降		54 号ピットに後続	
56 号ピット	D－6	楕円形	41	33	20	筒状	30.70	平坦	時代不明			
57 号ピット	D－7	不整円形	49	39	34	有段筒状	30.54	丸味	時代不明			
58 号ピット	D－7	楕円形	35	30	19	逆台形状	30.70	平坦	時代不明			
59 号ピット	D－7	楕円形	38	35	23	筒状	30.68	丸味	時代不明			
60 号ピット	D－7	楕円形	35	30	41	筒状	30.47	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
61 号ピット	D－6	推定楕円形	51	18以上	27	逆台形状	30.60	平坦	時代不明			南側 1/2 が調査区外
62 号ピット	D－7	楕円形	52	35	27	筒状	30.57	丸味	時代不明			
63 号ピット	D－10	楕円形	38	33	38	筒状	30.43	平坦	中世以降		19 号住居跡に後続	
64 号ピット	D－10	楕円形	58	21以上	60	筒状	30.11	平坦	縄文時代		22 号住居跡に先行	
65 号ピット	E－10	不整円形	50	25以上	27	逆台形状	30.47	平坦	縄文時代		22 号住居跡に先行	
66 号ピット	D－10	不整楕円形	53	45	55	筒状	30.35	丸味	中世以降	弥生土器壷		北側 1/4 が調査区外
67 号ピット	D－7	楕円形	31	28	36	筒状	30.55	平坦	中世以降	土師器甕		
68 号ピット	D－7	不整円形	31	27	16	有段筒状	30.74	丸味	中世以降			
69 号ピット	D－7	楕円形	25	23	39	筒状	30.51	丸味	中世以降	須恵器坏		
70 号ピット	D－7	楕円形	21	17	25	筒状	30.65	丸味	中世以降			
71 号ピット	D－7	円形	26	－	20	筒状	30.68	丸味	時代不明			
72 号ピット	D－7	楕円形	28	23	11	筒状	30.79	丸味	時代不明			
73 号ピット	D－7	楕円形	40	28	7	皿状	30.78	丸味	時代不明			
74 号ピット	D－7	楕円形	30	27	14	筒状	30.70	丸味	中世以降			
75 号ピット	D－7	円形	40	－	20	筒状	30.65	丸味	弥生時代以降		38 号住居跡に後続	底面アタリ
76 号ピット	D－7	楕円形	31	24	34	筒状	30.53	平坦	中世以降	土師器甕	100 号ピットに後続	
77 号ピット	D－7	円形	25	－	26	筒状	30.62	丸味	時代不明			
78 号ピット	D－7	推定円形	30	－	34	筒状	30.52	丸味	中世以降			
79 号ピット	D－7	不整円形	27	21	37	筒状	30.46	丸味	中世以降	土師器甕	80 号ピットに後続	
80 号ピット	D－7	不整円形	21	20	22	筒状	30.61	丸味	中世以降	土師器甕	79 号ピットに先行	
81 号ピット	D－7	楕円形	29	21	31	筒状	30.59	丸味	中世以降			
82 号ピット	D－7・D－8	楕円形	62	43	49	逆台形状	30.39	平坦	奈良時代以降	須恵器蓋	102 号ピットに先行	
83 号ピット	D－7・D－8	不整円形	66	60	16	皿状	30.71	平坦	時代不明			
84 号ピット	D－8	不整楕円形	40	35	48	筒状	30.36	丸味	時代不明			柱痕あり
85 号ピット	D－8	不整楕円形	40	33	50	逆台形状	30.33	平坦	時代不明			
86 号ピット	D－8	不整楕円形	38	33	39	筒状	30.43	丸味	時代不明			
87 号ピット	D－8	円形	32	－	29	逆台形状	30.48	平坦	時代不明			
88 号ピット	D－8	不整円形	57	55	16	筒状	30.68	丸味	時代不明			
89 号ピット	D－8	楕円形	67	49	17	皿状	30.69	丸味	時代不明			
90 号ピット	D－8	楕円形	46	35	36	筒状	30.49	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
91 号ピット	D－8	不整円形	27	25	38	筒状	30.49	丸味	中世以降		92 号ピットに後続	
92 号ピット	D－8	楕円形	58	45	25	筒状	30.60	丸味	中世以降		91 号ピットに先行	
93 号ピット	D－8	楕円形	45	33	10	筒状	30.75	丸味	時代不明			
94 号ピット	D－8	楕円形	26	23	25	逆台形状	30.61	平坦	時代不明			
95 号ピット	D－8	円形	53	－	11	皿状	30.77	丸味	時代不明			
96 号ピット	D－8	楕円形	45	35	11	皿状	30.71	丸味	時代不明			
97 号ピット	D－8	楕円形	35	30	31	筒状	30.55	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
98 号ピット	D－8	円形	27	－	30	筒状	30.59	平坦	時代不明			
99 号ピット	D－8	不整楕円形	38	35	15	筒状	30.71	丸味	時代不明			
100 号ピット	D－7	楕円形	23	15	36	逆円錐状	30.50	丸味	中世以降		76 号ピットに先行	
101 号ピット	D－8	不整円形	51	46	45	筒状	30.31	丸味	古墳時代以降	土師器甕		

ピット番号	位置	平面形	規模（cm）			断面形	底部標高（m）	底部状況	時代	出土遺物	切り合い関係	備考
			長軸	短軸	深さ							
102号ピット	D－7・D－8	楕円形	17	12	28	筒状	30.62	丸味	中世以降		82号ピットに後続	
103号ピット	D－8	不整円形	31	30	21	筒状	30.69	丸味	中世以降			
104号ピット	D－8	楕円形	43	39	21	筒状	30.69	丸味	中世以降			
105号ピット	D－8	楕円形	33	27	18	筒状	30.72	丸味	中世以降			
106号ピット	D－8	楕円形	32	28	18	筒状	30.72	丸味	中世以降			
107号ピット	D－8	円形	37	－	69	筒状	30.21	平坦	古墳時代～平安時代			底面アタリ
108号ピット	D－8	楕円形	38	27	32	筒状	30.49	丸味	中世以降	土師器甕		
109号ピット	D－8	楕円形	37	23	29	逆台形状	30.52	丸味	中世以降	須恵器坏		
110号ピット	D－8	楕円形	47	40	38	筒状	30.52	平坦	中世以降			底面アタリ
111号ピット	D－8	楕円形	27	23	32	逆円錐状	30.49	丸味	中世以降			
112号ピット	D－8	円形	32	－	42	筒状	30.42	丸味	古墳時代～平安時代			
113号ピット	D－8	円形	22	－	16	筒状	30.70	丸味	中世以降			
114号ピット	D－8	不整円形	44	38	41	筒状	30.45	丸味	中世以降		10号土坑・118号ピットに後続する	柱痕あり
115号ピット	D－8	円形	36	－	40	筒状	30.45	丸味	中世以降	土師器甕		
116号ピット	D－8	不整円形	34	30	49	筒状	30.38	平坦	古墳時代～平安時代	弥生土器壷		底面アタリ
117号ピット	D－8	楕円形	28	31	15	筒状	30.74	丸味	時代不明			
118号ピット	D－8	楕円形	25	20	45	筒状	30.41	丸味	平安時代以降		118号ピットに先行・10号土坑に後続	
119号ピット	D－8	隅丸方形	23	22	50	筒状	30.39	平坦	古墳時代以降	須恵器坏、土師器甕、石英塊	144号ピットに後続	
120号ピット	D－8	不整楕円形	37	31	58	筒状	30.34	丸味	弥生時代以降	弥生土器壷		
121号ピット	D－8	円形	34	－	51	筒状	30.39	丸味	時代不明			底面アタリ
122号ピット	D－8	楕円形	36	28	61	筒状	30.31	丸味	時代不明			
123号ピット	D－8	楕円形	45	35	33	筒状	30.52	平坦	古墳時代以降	須恵器提瓶、土師器甕、焼成土塊		
124号ピット	D－8	不整円形	37	31	27	筒状	30.58	丸味	時代不明			
125号ピット	D－8	不整楕円形	43	38	13	筒状	30.69	丸味	時代不明			
126号ピット	D－8	楕円形	26	15	30	筒状	30.60	丸味	古墳時代～平安時代	弥生土器壷、土師器坏・甕		
127号ピット	D－8	楕円形	31	23	31	筒状	30.59	丸味	中世以降	土師器甕		
128号ピット	D－8	不整円形	39	38	35	筒状	30.49	丸味	古墳時代以降	土師器坏・甕、礫		柱痕あり
129号ピット	D－8	楕円形	35	30	50	筒状	30.36	丸味	奈良時代以降	土師器坏		
130号ピット	D－8	楕円形	43	36	14	逆台形状	30.54	平坦	中世以降			
131号ピット	D－8	楕円形	37	25	42	筒状	30.40	丸味	奈良時代以降	須恵器鉢、土師器甕		底面アタリ
132号ピット	D－8	楕円形	33	24	19	筒状	30.65	丸味	時代不明			
133号ピット	D－8	円形	43	－	12	筒状	30.73	丸味	時代不明			
134号ピット	D－8	円形	40	－	64	筒状	30.20	丸味	古墳時代以降	土師器甕		底面アタリ
135号ピット	D－8	円形	36	－	53	筒状	30.29	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
136号ピット	D－8	不整楕円形	72	64	20	皿状	30.60	丸味	中世以降	縄文土器深鉢		
137号ピット	D－8	楕円形	41	37	38	筒状	30.48	平坦	古墳時代以降	土師器甕		
138号ピット	D－8	円形	49	－	52	筒状	30.30	丸味	奈良時代以降	須恵器壷		底面アタリ
139号ピット	D－8	楕円形	50	36	16	筒状	30.64	丸味	中世以降	土師器甕		
140号ピット	D－8	不整楕円形	38	30	33	筒状	30.53	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
141号ピット	D－8	楕円形	37	29	42	筒状	30.37	丸味	奈良時代以降	土師器坏・甕		底面アタリ
142号ピット	D－8	不整楕円形	52	38	49	筒状	30.33	丸味	時代不明			柱痕あり・底面アタリ
143号ピット	D－8	楕円形	34	26	35	筒状	30.55	丸味	中世以降			
144号ピット	D－8	不整円形	25	12以上	34	筒状	30.57	平坦	古墳時代以降		119号ピットに先行	
145号ピット	D－8	楕円形	39	32	50	筒状	30.27	丸味	時代不明			底面アタリ
146号ピット	D－8	不整円形	41	38	62	筒状	30.17	丸味	平安時代以降	縄文土器深鉢、須恵器高台付坏・壷		柱痕あり・底面アタリ
147号ピット	D－8	不整楕円形	49	39	36	有段筒状	30.45	丸味	時代不明			
148号ピット	D－8	円形	38	－	25	筒状	30.52	平坦	時代不明			
149号ピット	D－8	楕円形	49	40	16	筒状	30.64	平坦	中世以降		172号ピットに先行	

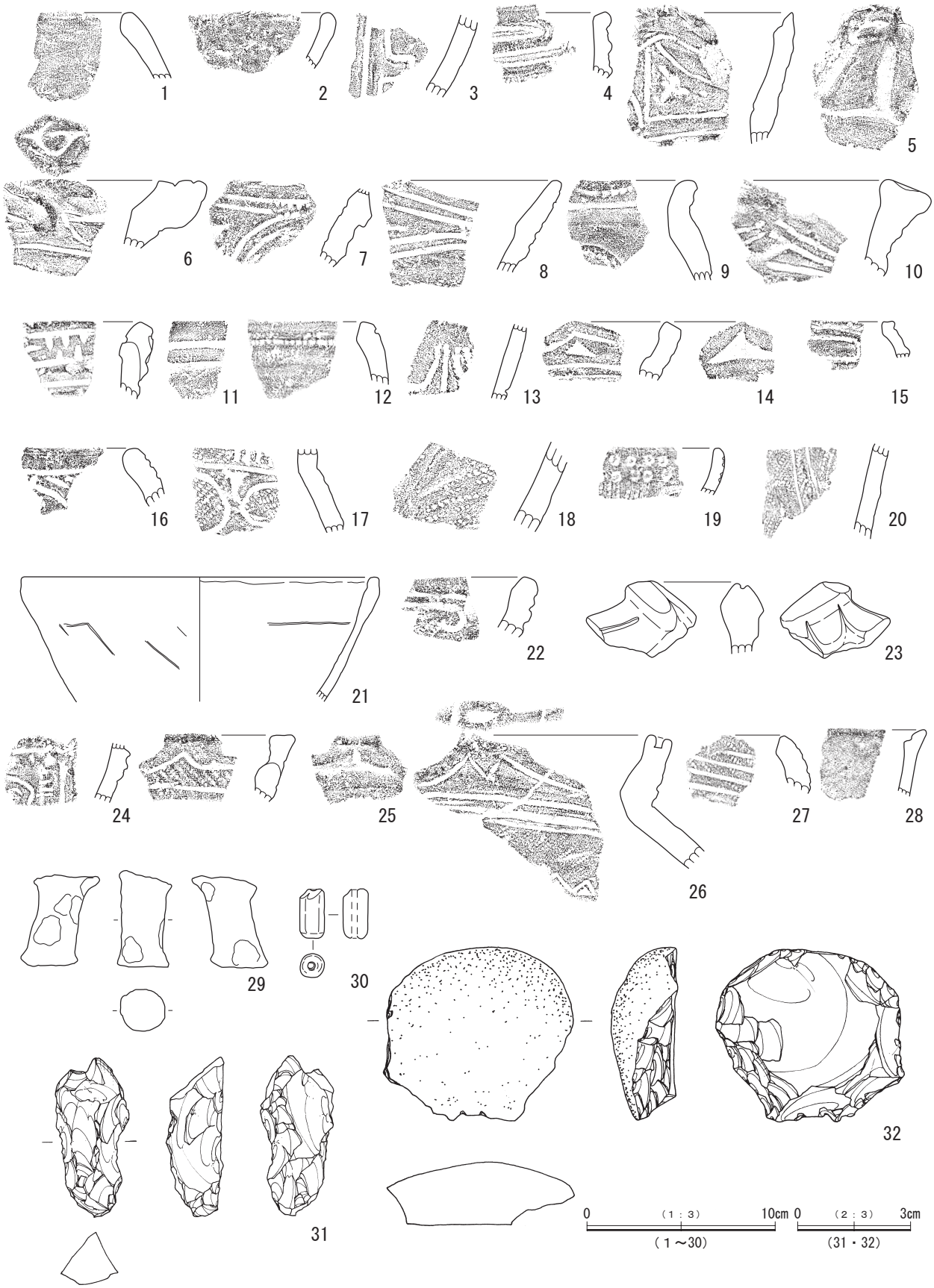
ピット番号	位置	平面形	規模（cm）			断面形	底部標高（m）	底部状況	時代	出土遺物	切り合い関係	備考
			長軸	短軸	深さ							
150 号ピット	D－8	不整円形	39	37	13	筒状	30.67	平坦	時代不明			
151 号ピット	D－8	円形	33	－	20	筒状	30.65	丸味	時代不明			
152 号ピット	D－8	楕円形	55	44	35	筒状	30.53	平坦	中世以降		17 号土坑に後続	
153 号ピット	D－8	円形	37	－	46	筒状	30.41	丸味	時代不明			柱痕あり・底面アタリ
154 号ピット	D－8	楕円形	23	19	31	筒状	30.51	丸味	時代不明			
155 号ピット	D－8	円形	29	－	28	筒状	30.56	平坦	古墳時代以降	土師器甕		
156 号ピット	D－8	楕円形	35	30	31	筒状	30.51	平坦	時代不明			
157 号ピット	D－8	楕円形	43	29	32	筒状	30.48	平坦	奈良時代以降	須恵器坏		
158 号ピット	D－9	楕円形	45	33	15	逆台形状	30.64	平坦	時代不明		1 号道路状遺構に先行	
159 号ピット	D－8	不整円形	40	37	31	筒状	30.54	平坦	時代不明			
160 号ピット	D－8	円形	39	－	52	筒状	30.35	平坦	奈良時代以降	弥生土器壷、土師器坏・甕		底面アタリ
161 号ピット	D－9	円形	27	－	15	筒状	30.53	平坦	時代不明		1 号道路状遺構に先行、171 号ピットに後続	
162 号ピット	D－9	楕円形	43	31	32	筒状	30.34	丸味	時代不明		1 号道路状遺構に先行、166 号ピットに後続	
163 号ピット	D－8	楕円形	38	推定 20	69	筒状	30.11	平坦	中世以降	土師器甕	164 号ピットに先行	底面アタリ
164 号ピット	D－8	楕円形	50	38	79	筒状	29.99	平坦	中世以降		163 号ピットに後続	底面アタリ
165 号ピット	D－8	楕円形	43	35	42	筒状	30.42	平坦	時代不明			底面アタリ
166 号ピット	D－9	円形	30	－	29	筒状	30.34	丸味	時代不明		1 号道路状遺構に先行、162 号ピットに後続	
167 号ピット	D－9	円形	47	－	44	筒状	30.31	丸味	中世以降	土師器甕	1 号道路状遺構に先行	柱痕あり・底面アタリ
168 号ピット	D－8	不整円形	49	－	102	筒状	29.79	平坦	古墳時代以降	土師器甕		底面アタリ 南側 1/3 が調査区外
169 号ピット	D－8	円形	25	－	20	筒状	30.30	平坦	時代不明		19 号土坑に先行	南側 1/3 が調査区外
170 号ピット	D－9	円形	30	－	54	筒状	30.18	平坦	中世以降		1 号道路状遺構に先行、18 号土坑に後続	
171 号ピット	D－9	円形	30	－	22	逆円錐状	30.60	丸味	時代不明		1 号道路状遺構､161 号ピットに先行	
172 号ピット	D－8	不整円形	39	30	12	筒状	30.68	丸味	中世以降		149 号ピットに後続	
173 号ピット	D－9	円形	17	－	20	筒状	30.55	丸味	中世以降		16 号住居跡に後続	
174 号ピット	D－9	円形	17	－	23	筒状	30.52	丸味	中世以降		16 号住居跡に後続	
175 号ピット	D－9	円形	37	－	43	筒状	30.36	丸味	奈良時代以降	土師器高台付坏		
176 号ピット	D－8	円形	21	－	30	筒状	30.50	丸味	縄文時代		15 号土坑に先行	
177 号ピット	D－8	不整円形	35	29	40	筒状	30.50	丸味	中世以降		1 7 号土坑に後続	
178 号ピット	D－9	円形	28	－	41	筒状	30.09	平坦	近世以降		1 号道路状遺構に先行、18 号土坑に後続	
179 号ピット	D－9	楕円形	46	36	58	筒状	30.21	平坦	古墳時代～平安時代		182 号ピットに先行、186 号ピットに後続	底面アタリ
180 号ピット	D－9	楕円形	29	27	18	筒状	30.60	丸味	古墳時代～平安時代	土師器甕	1 号道路状遺構に先行	
181 号ピット	D－9	楕円形	56	44	31	逆台形状	30.48	平坦	時代不明		1 号道路状遺構に先行	
182 号ピット	D－9	円形	35	－	65	筒状	30.14	平坦	古墳時代～平安時代		28 号土坑、179・186 号ピットに後続	底面アタリ

ピット番号	位置	平面形	規模（cm）			断面形	底部標高（m）	底部状況	時代	出土遺物	切り合い関係	備考
			長軸	短軸	深さ							
183 号ピット	D－9	楕円形	76	45	35	逆台形状	30.41	平坦	近世以降	縄文土器深鉢、須恵器坏、土師器甕、土師質土器小皿、陶器皿		
184 号ピット	D－9	楕円形	65	57	29	逆台形状	30.50	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
185 号ピット	E－11	楕円形	70	60	45	逆台形状	30.11	平坦	中世以降	土師器坏	23 号住居跡に後続	
186 号ピット	D－9	円形	35	－	52	筒状	30.27	丸味	古墳時代～平安時代		179・182 号ピットに先行、28 号土坑に後続	
187 号ピット	D－9	楕円形	58	45	41	逆台形状	30.38	平坦	時代不明			
188 号ピット	D－10	楕円形	30	21	54	筒状	30.26	平坦	中世以降	土師器甕	193・194 号ピットに後続	
189 号ピット	D－10	不整楕円形	69	63	31	逆台形状	30.43	平坦	奈良時代以降	土師器坏・甕		
190 号ピット	D－10	楕円形	55	41	19	皿状	30.56	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
191 号ピット	D－11	円形	38	－	50	筒状	30.09	平坦	縄文時代		28 号住居跡に先行	底面アタリ
192 号ピット	D－10	隅丸方形	55	54	43	筒状	30.24	平坦	中世以降	土師器甕	20 号住居跡に後続	底面アタリ
193 号ピット	D－10	不整円形	35	33	41	筒状	30.39	丸味	中世以降		188 号ピットに先行、194 号ピットに後続	
194 号ピット	D－10	楕円形	29	23	66	筒状	30.14	丸味	中世以降		188・193 号ピットに先行	
195 号ピット	D－11	楕円形	41	37	44	筒状	30.29	丸味	中世以降			
196 号ピット	D－11	隅丸方形	28	27	45	筒状	30.21	丸味	中世以降		197 号ピットに後続	底面アタリ
197 号ピット	D－11	不整楕円形	68	52	47	筒状	30.20	丸味	中世以降	縄文土器深鉢、須恵器甕、土師器甕	196 号ピットに先行	
198 号ピット	D－11	楕円形	43	40	17	筒状	30.52	丸味	中世以降			
199 号ピット	E－10	円形	18	－	20	筒状	30.28	丸味	中世以降		24 号住居跡に後続	
200 号ピット	D－13	楕円形	73	63	23	有段逆台形状	30.08	平坦	中世以降	土師器坏・高台付坏・甕	30 号住居跡に後続	
201 号ピット	D－12・D－13	不整楕円形	98	73	44	逆台形状	30.00	起伏に富む	中世以降	縄文土器深鉢、土師器坏・甕	30 号住居跡に後続	
202 号ピット	E－10	円形	43	－	33	筒状	30.35	丸味	奈良時代以降	土師器坏・甕		
203 号ピット	E－10	楕円形	37	33	16	筒状	30.54	丸味	中世以降			
204 号ピット	D－11	楕円形	63以上	56	18	筒状	30.45	丸味	中世以降	土師器甕	24 号土坑に後続	北側 1/3 が調査区外
205 号ピット	D－11	円形	46	－	52	筒状	30.18	丸味	中世以降		14 号土坑に後続	底面アタリ
206 号ピット	E－11・E－12	不整楕円形	48	35	23	筒状	30.37	丸味	時代不明			
207 号ピット	E－11	円形	33	－	15	筒状	30.50	丸味	中世以降		25・26 号住居跡に後続	
208 号ピット	D－11	楕円形	53	42	70	筒状	30.00	丸味	縄文時代		21 号住居跡に先行	
209 号ピット	E－13	円形	51	－	41	箱状	29.80	平坦	奈良時代以降	土師器坏・甕		柱痕あり
210 号ピット	E－13	不整楕円形	37	33	25	箱状	29.95	平坦	時代不明			
211 号ピット	E－13	隅丸方形	42	37	13	箱状	30.09	平坦	奈良時代以降	須恵器坏、土師器坏・甕		
212 号ピット	E－13	楕円形	33	25	20	筒状	29.98	丸味	古墳時代以降	土師器甕		
213 号ピット	E－13	楕円形	42	32	37	筒状	29.87	平坦	中世以降	土師器甕、焼成土塊	５号溝に先行	柱痕あり、底面アタリ
214 号ピット	E－13	楕円形	70	58	27	有段筒状	29.92	丸味	近世以降		32 号住居跡に後続	
215 号ピット	D－7	不整円形	76	－	13	筒状	30.77	平坦	中世以降		１号溝に後続	
216 号ピット	C－6	不整円形	37	－	21	筒状	30.72	丸味	中世以降		１号溝に後続	
217 号ピット	D－14	不整円形	39	37	33	筒状	29.78	丸味	中世以降			
218 号ピット	E－14	楕円形	50	42	28	筒状	29.79	丸味	中世以降			
219 号ピット	E－14	楕円形	43	33	17	逆円錐状	29.84	丸味	中世以降			
220 号ピット	E－14	円形	40	39	23	筒状	29.74	平坦	中世以降	土師器壷		
221 号ピット	D－13	円形	25	－	33	筒状	30.09	平坦	中世以降			

ピット番号	位置	平面形	規模（cm）			断面形	底部標高（m）	底部状況	時代	出土遺物	切り合い関係	備考
			長軸	短軸	深さ							
222 号ピット	D－8	楕円形	80	21以上	70	筒状	30.30	平坦	古墳時代以降		1 号溝に後続	北側 1/2 が調査区外
223 号ピット	D－5	推定円形	32	－	51	筒状	29.81	平坦	4 世紀後葉～5 世紀中葉		1 号溝に後続	南側 1/2 が調査区外 断面で確認 掘り方・柱痕あり
224 号ピット	D－6	楕円形	32	25	38	筒状	30.44	丸味	中世以降		1 号溝に後続	
225 号ピット	D－9	楕円形	41	34	63	筒状	30.16	丸味	古墳時代以降	土師器甕	1 号溝に後続	
226 号ピット	D－9	楕円形	25	18	40	筒状	30.39	丸味	中世以降		1 号溝に後続	
227 号ピット	D－7	円形	29	－	41	筒状	30.49	丸味	弥生時代以降		38 号住居跡に後続	
228 号ピット	D－8	楕円形	32	27	43	筒状	30.41	丸味	中世以降	土師器坏・甕	1 号溝に後続	
229 号ピット	D－9	楕円形	38	32	32	筒状	30.53	平坦	中世～近世		1 号道路状遺構、230 号ピットに先行	
230 号ピット	D－9	楕円形	44	32	35	筒状	30.50	平坦	中世～近世		1 号道路状遺構に先行、229 号ピットに後続	
231 号ピット	D－8・D－9	楕円形	60	37	40	逆台形状	30.45	平坦	中世以降	土師器坏	18 号土坑に後続	
232 号ピット	D－8	楕円形	37	27	28	逆台形状	30.57	丸味	中世以降		18 号土坑に後続	
233 号ピット	D－9	円形	27	－	35	筒状	30.55	丸味	中世以降			
234 号ピット	E－14	円形	26	－	13	筒状	29.41	丸味	中世以降		33 号住居跡に後続	
235 号ピット	D－7	不整楕円形	49	33	76	筒状	30.09	丸味	弥生時代～古墳時代	縄文土器深鉢	38 号住居跡に後続	
236 号ピット	E－14	不整楕円形	58	53	40	筒状	29.15	丸味	奈良時代以降	須恵器坏、土師器坏・甕		
237 号ピット	E－14	不整円形	56	－	32	筒状	29.42	丸味	時代不明			
238 号ピット	D－13	楕円形	77	65	36	逆台形状	30.08	平坦	時代不明			
239 号ピット	D－14	楕円形	77	70	50	逆台形状	29.31	平坦	中世以降		39 号土坑に後続	

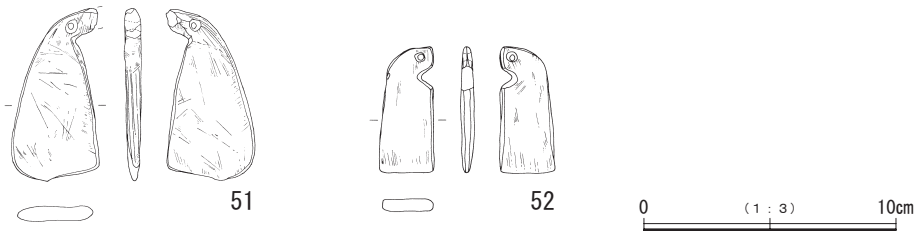
３－９　遺構に伴わない表土の遺物

（１）縄文時代（第 162 ～ 164 図、第 76 表、図版 45）



第 162 図　縄文時代遺構外出土遺物（１）

第 163 図　縄文時代遺構外出土遺物（2）



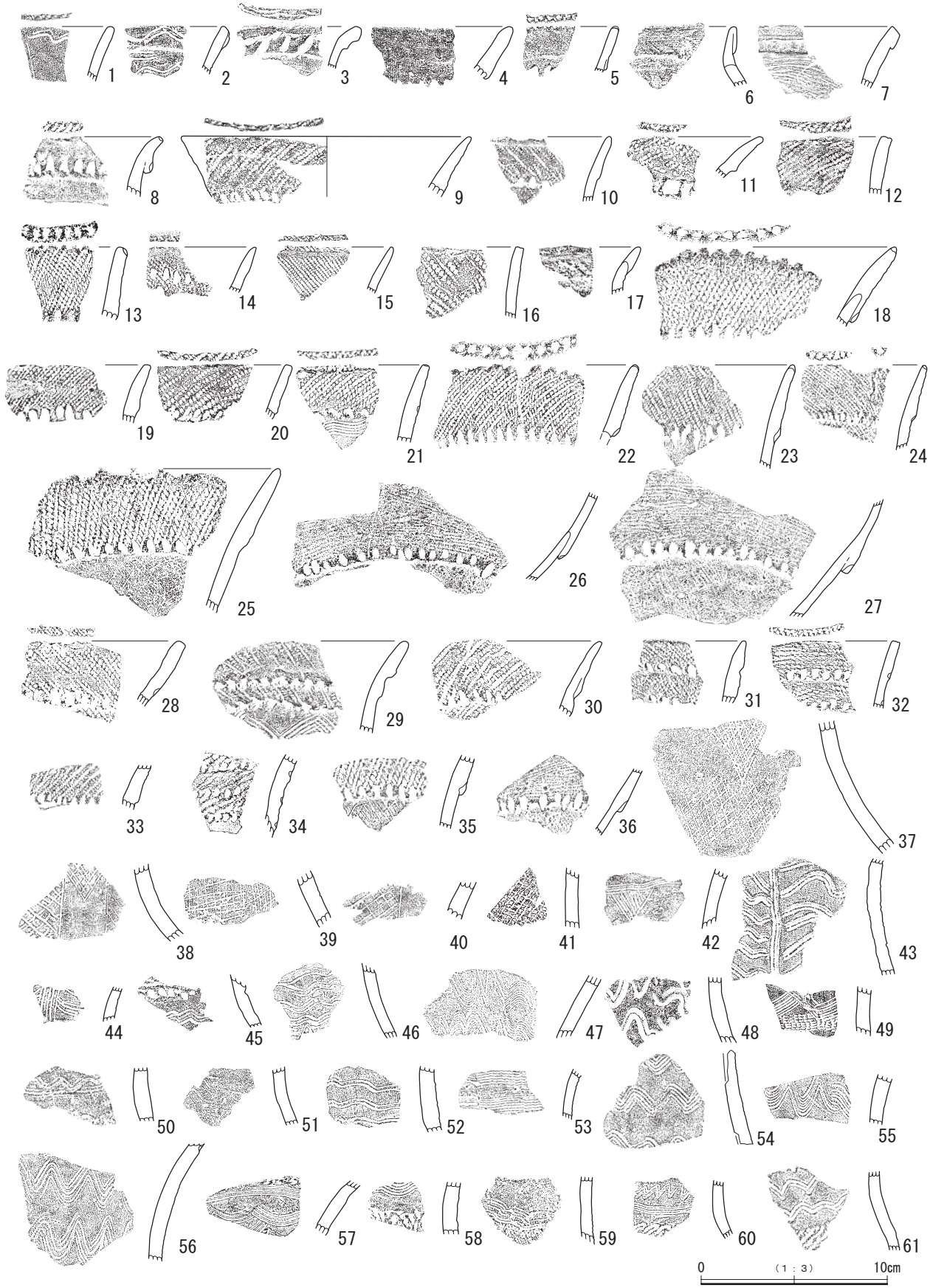
第 164 図　縄文時代遺構外出土遺物（3）

第 76 表　縄文時代遺構外出土遺物観察表

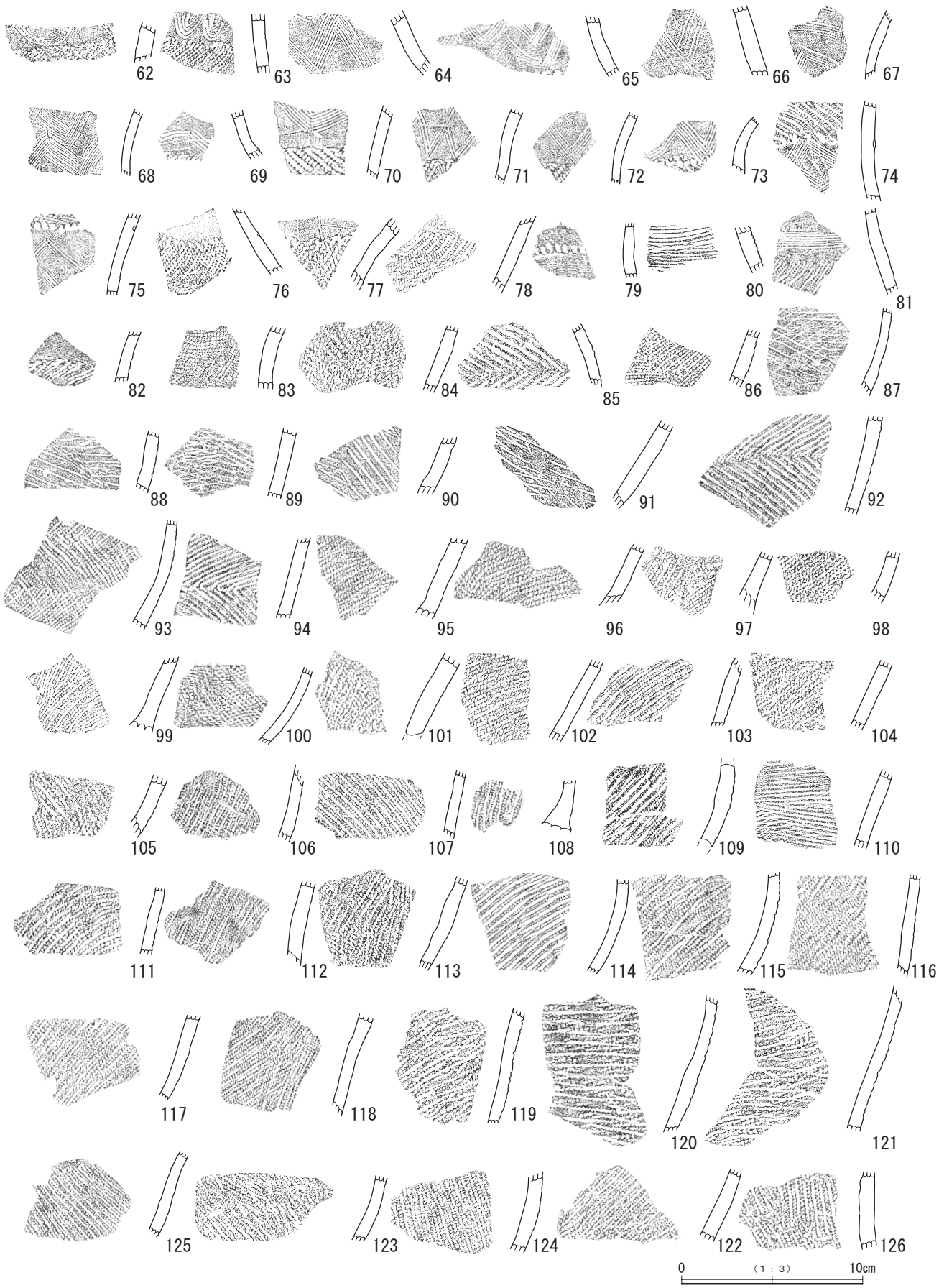
番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
1	SI28	縄文土器	浅鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	外面無文の波状縁浅鉢。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
2	SI32	縄文土器	浅鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	無文の平縁浅鉢。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
3	SI10	縄文土器	深鉢	胴部	細片	－	－	－	沈線でクランク文及び垂下する沈線文。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい褐色	縄文時代中期中葉勝坂式
4	SK18	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	弱い波状縁深鉢。口縁部直下に隆線による長楕円の区画、区画内に隆線に沿って竹管状工具による連続刺突文。区画下位に２条の横走する連続刺突文及び横走する１条の隆線。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	縄文時代中期中葉阿玉台Ⅱ式
5	SI26	縄文土器	深鉢	口縁部突起部	細片	－	－	－	波状縁深鉢の波頂部突起。外面沈線及び押引文で区画、区画内に沈線による三叉文。内面沈線を多方向に施文。突起は潰れた円文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	縄文時代中期中葉阿玉台Ⅲ式
6	西側表土	縄文土器	深鉢	口縁部突起	細片	－	－	－	突起を伴う波状縁深鉢。口縁部外面隆線で渦巻文、沈線で弧線文、横走する沈線を施文。突起部内面は深い切れ込みで玉抱文を施す。	白色粒子・石英粒・金雲母片・黒雲母片	良好	にぶい褐色	縄文時代中期中葉阿玉台Ⅲ式
7	SI10	縄文土器	浅鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	胴部外面平行する沈線を横走・斜走させ、その合流部分に半載竹管による押引文。内面に沈線による玉抱文。	白色粒子･チャート粒・白雲母片・黒雲母片	不良	橙色	縄文時代中期中葉阿玉台Ⅳ式
8	SI10	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	波状縁深鉢。平行する沈線を横走、その合流部分に半載竹管による押引文。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片・黒雲母片	良好	にぶい褐色	縄文時代中期中葉阿玉台Ⅳ式
9	SI28	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	波状縁深鉢、口縁部直下に押引文及び沈線を横走、胴部外面弧状の隆線を貼り付け。	白・黒色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	縄文時代中期中葉阿玉台Ⅳ式
10	SI28	縄文土器	深鉢突起部	口縁部	細片	－	－	－	波状縁深鉢突起部。外面２条１単位の押引文を口縁部に平行して施文。その下位に沈線を横走。突起部形骸化した渦巻文。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい褐色	縄文時代中期中葉阿玉台Ⅳ式
11	SI29	縄文土器	浅鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	平縁浅鉢。口縁部直下数条の沈線を横走して、沈線上を棒状工具で刺突文を施す。内面１条の沈線を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	縄文時代中期中葉阿玉台式
12	西側表土	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	平縁深鉢。口縁部上端内面を面取り、断面三角形。内外面ヨコナデ。口縁部直下に横走する押引文。下位ナデ。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	縄文時代中期中葉阿玉台式
13	西側表土	縄文土器	深鉢	胴部	細片	－	－	－	胴部外面に４条１単位の押引文を弧状や垂下させる。	白色粒子・石英粒	良好	明黄褐色	縄文時代中期中葉阿玉台式
14	西側表土	縄文土器	深鉢突起部	口縁部	細片	－	－	－	低い突起を伴う波状縁深鉢。口縁部直下に横走する沈線を３段以上施し、その間に三叉文。内面沈線による三叉文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	縄文時代中期中葉阿玉台式
15	SI04	縄文土器	浅鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	平縁浅鉢。口縁部断面三角形。外面連続刺突文による横長楕円文。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	縄文時代中期中葉阿玉台式
16	SI23	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	平縁深鉢。口縁部直下に１条の沈線を横走。平行する沈線を弧状に巡らす。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	にぶい赤褐色	縄文時代中期中葉加曽利Ｅ式期連弧文系深鉢ヵ
17	SI10	縄文土器	深鉢	胴部	細片	－	－	－	地文としてＬＲ縄文を斜走、沈線で横長楕円連続して区画、下位に沈線を横走させ、そこから３条１単位の沈線を垂下。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	橙色	縄文時代中期後葉加曽利ＥⅠ式
18	SI11	縄文土器	深鉢	胴部	細片	－	－	－	ＲＬ縄文を斜走、沈線を１条垂下させる。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	灰褐色	縄文時代中期後葉加曽利ＥⅢ式
19	SD01	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	10	－	－	－	口縁部内湾、内外面ヨコナデ。直下に竹管状工具による刺突文を２段横走。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	縄文時代中期後葉加曽利ＥⅢ式期
20	SI11カマド	縄文土器	深鉢	胴部	細片	－	－	－	ＲＬ縄文を斜走、沈線を２条垂下させる。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい橙色	縄文時代中期後葉加曽利ＥⅢ～Ⅳ式
21	SI10カマド	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	10	(18.8)	－	<6.7>	波状となる口縁部の口唇部を押えて平縁化させる。胴部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	縄文時代後期

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
22	SI12	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	口縁部直下に平行する沈線を横走、沈線から短いＪ字文を垂下。地文はＬＲ縄文を斜方向走。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	橙色	縄文時代後期前葉称名寺式
23	SI11	縄文土器	深鉢	口縁部突起部	細片	－	－	－	波状縁深鉢。外面沈線を斜走、内面鋭い山形の切れ込みを２条施文。	白・黒色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	縄文時代後期中葉堀ノ内Ⅰ式
24	SI26	縄文土器	深鉢	胴部	細片	－	－	－	隆線を横走及び垂下させ区画。区画内沈線及びキザミ。隆線の交差点に刺突文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	縄文時代後期中葉堀ノ内１式
25	SD01	縄文土器	深鉢	口縁部	細片	－	－	－	口縁部に小突起を持つ波状縁深鉢。胴部外面に沈線を２条施し、その間をRL縄文を施文。突起は上端を平坦に造り出し、ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	黄褐色	縄文時代後期中葉堀ノ内２式
26	SD01	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	10	－	－	－	小突起を持つ波状口縁深鉢。口縁部直下沿って沈線を施文、頸部直上平行沈線を横走。胴部外面沈線による山形文。突起上面窪む。	白色粒子・石英粒・金雲母片・黒雲母片	良好	にぶい黄褐色	縄文時代後期中葉堀ノ内２式
27	SI24	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	口縁部直下に平行する沈線を数条横走。沈線間に原体不明の縄文を施す。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	灰黄褐色	縄文時代後期中葉加曽利Ｂ１式
28	SD01	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	細片	－	－	－	波状縁深鉢。口縁部内外面ヨコナデ。口縁部内面直下に１条の沈線を横走。ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	縄文時代後期中葉加曽利Ｂ１式
29	SI06	土製品	土偶	脚部	10	長さ<5.0>	幅2.2	厚さ2.2	右脚部ヵ。全面指オサエ及びナデで成形。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	縄文時代 重量36.80 g
30	SK08	土製品	管玉	基部	40	長さ2.7	幅1.3	厚さ1.3	全面ナデ成形。焼成前穿孔。	白色粒子・石英粒	良好	灰褐色	重量5.35 g
31	SK21	石器	石核	－	－	長さ4.2	幅1.9	厚さ1.4	側面全体を細かく調整をする。	－	－	－	黒曜石製 重量9.68 g
32	SD01	石器	石核	－	－	長さ4.6	幅5.0	厚さ2.0	一面に原礫面を大きく残す。	－	－	－	石英製 重量49.49 g
33	SI26	石器	石鏃	－	100	長さ2.8	幅1.0	厚さ0.3	凹基無茎石鏃。	－	－	－	チャート製 重量1.22 g
34	SI11	石器	楔形石器	－	－	長さ2.9	幅2.9	厚さ1.0	表面左側部下位及びその裏面に剥離。	－	－	－	チャート製 重量13.29 g
35	SK33	石器	剥片	－	－	長さ2.8	幅3.2	厚さ0.7	貝殻状に割れている剥片。	－	－	－	チャート製 重量5.46 g
36	SK33	石器	剥片	－	－	長さ2.7	幅3.0	厚さ1.2	貝殻状に割れている剥片。	－	－	－	チャート製 重量9.44 g
37	SD01	石器	剥片	－	－	長さ2.05	幅3.50	厚さ1.15	一部に原礫面を残す。	－	－	－	チャート製 重量8.51 g
38	SI22	石器	剥片	－	－	長さ2.3	幅2.6	厚さ0.7	表面上方からの打撃。	－	－	－	チャート製 重量4.52 g
39	SI37 SP01	石器	剥片	－	－	長さ1.6	幅2.3	厚さ0.8	一面に原礫面を残す。	－	－	－	チャート製 重量3.69 g
40	SD01	石器	剥片	－	－	長さ1.85	幅1.30	厚さ0.75	表面が左側、裏面が左上側からの打撃。	－	－	－	黒曜石製 重量1.55 g
41	SK33	石器	剥片	－	－	長さ1.0	幅1.5	厚さ0.2	一面に原礫面を残す。	－	－	－	黒曜石製 重量0.36 g
42	SP199	石器	剥片	－	－	長さ1.1	幅1.0	厚さ0.2	チップ、微細な剥離片	－	－	－	黒曜石製 重量0.19 g
43	東側表土	石器	剥片	－	－	長さ1.2	幅1.1	厚さ0.3	チップ、微細な剥離片	－	－	－	黒曜石製 重量0.30 g
44	SI32	石器	二次加工のある剥片	－	－	長さ5.9	幅4.0	厚さ1.5	表面上端及び下端を調整した２次加工痕がある剥片。表面に原礫面。	－	－	－	安山岩製 重量104.41 g
45	SI09	石器	二次加工のある剥片	－	－	長さ1.5	幅1.6	厚さ0.7	左下位の微細な調整を伴う。	－	－	－	黒曜石製 重量1.48 g
46	SD01	石器	敲石	－	70	長さ12.1	幅6.4	厚さ4.2	下端に敲打時の微細な剥離。	－	－	－	石英片岩製 重量418.0 g
47	SI32	石器	砥石ヵ	－	－	長さ11.8	幅3.8	厚さ2.0	微細な剥離や擦面を持つ礫	－	－	－	砂岩製 重量101.5 g
48	西側表土	石器	石剣	基部	細片	長さ<6.2>	幅1.9	厚さ1.4	全面を丁寧に整形。	－	－	－	片岩製 重量36.42 g
49	SI19	石器	石皿	－	10	長さ10.1	幅8.6	厚さ4.2	中央部を窪ませる。	－	－	－	安山岩製 重量369.1 g
50	SF01	石製品	軽石	－	－	長さ6.3	幅5.4	厚さ3.2	浮きヵ	－	－	－	軽石製 重量15.18g
51	SD01	石製品	玦状耳飾	左側部	50	長さ6.8	幅<3.0>	厚さ0.5	左側部分。上方で右側部と繋がる。その部分に穿孔。全面を丁寧に磨く。	－	－	－	縄文時代、蛇紋岩製、重量23.33 g
52	SD01	石製品	玦状耳飾	完存	100	長さ5.0	幅2.0	厚さ0.5	上方に穿孔。側面を面取り。全面を丁寧に磨く。	－	－	－	縄文時代、蛇紋岩製、重量11.16 g

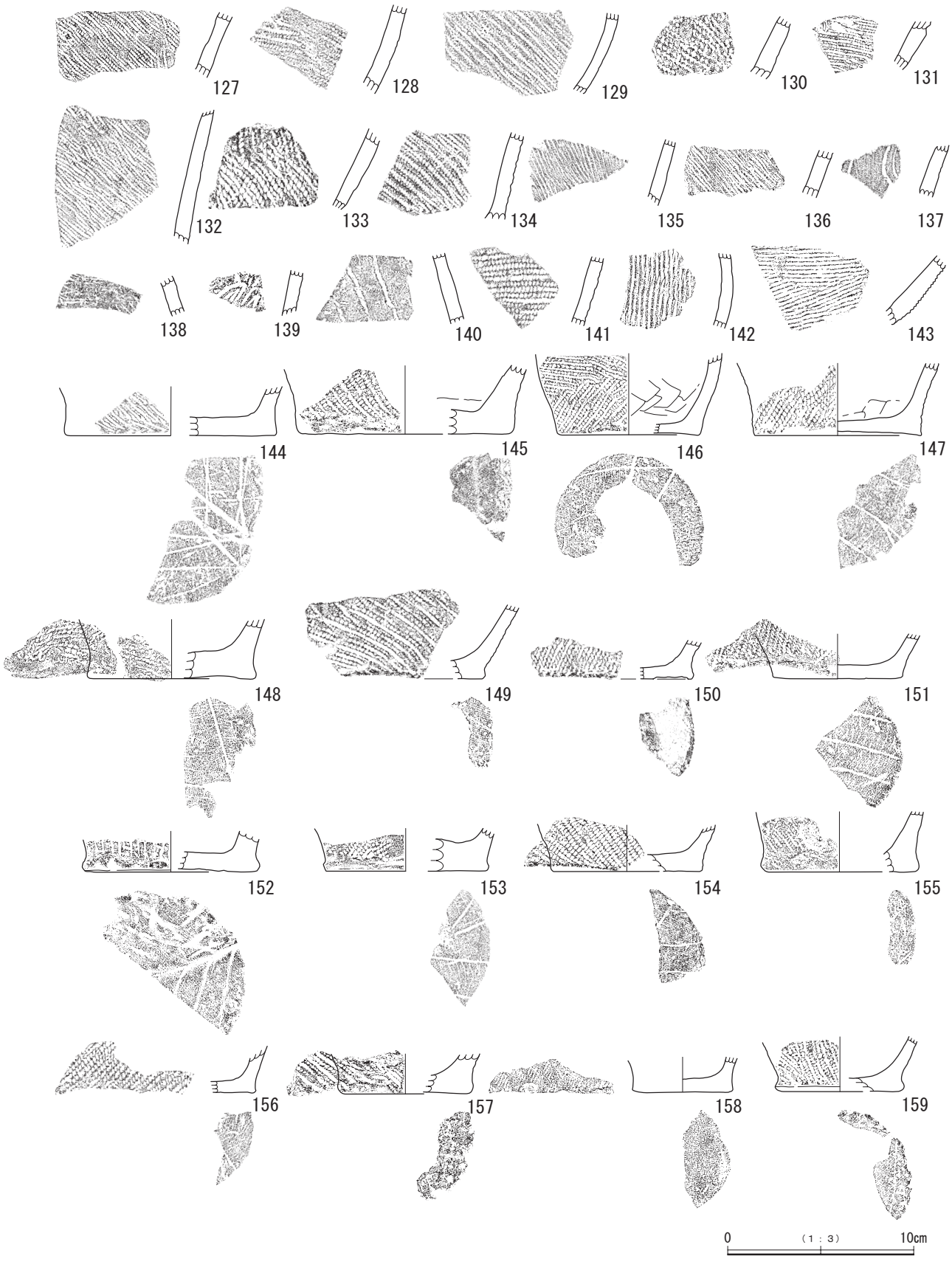
（2）弥生時代（第 165 ～ 168 図、第 77 表、図版 46 ～ 49）



第 165 図　弥生時代遺構外出土遺物（1）



第 166 図　弥生時代遺構外出土遺物（2）



第 167 図　弥生時代遺構外出土遺物（3）

第 168 図　弥生時代遺構外出土遺物（4）

第 77 表　弥生時代遺構外出土遺物観察表

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
1	SI26	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	口縁部より沈線を垂下させ、縦の区画。口縁部上端に２条１単位の波状文を横走。ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	黄褐色	弥生時代中期末
2	SK22	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁部、外面平行する沈線で波状文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
3	SI19	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	複合口縁、直下に横走する隆帯を貼り付け、その上下に横走する沈線を横走。隆帯上に棒状工具による斜方向押圧文。	白色粒子・白雲母片	良好	暗灰黄色	
4	SI32	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	無文の複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
5	SI10	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走、口唇部キザミ。外面無文。	白色粒子・石英粒	良好	褐灰色	
6	西側表土	弥生土器	壷	口縁部～胴部	細片	−	−	−	複合口縁、無文。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	
7	SI12	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	口唇部平坦。口縁部二重口縁部で箱型で側面押引文。頸部横及び斜方向条線文。	白・赤色粒子	良好	にぶい黄橙色	
8	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	多段の複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。口唇部に縄文を押捺。外面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
9	SI32	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走、外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。口唇部縄文を押捺。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄褐色	
10	SI22	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。外面 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
11	西側表土	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による雑な押圧文を横走、外面 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。口唇部縄文を押捺。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄橙色	
12	T129	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、口唇部に縄文を押捺、外面 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	
13	T155	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走。口唇部に縄文を押捺、外面 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
14	SI21	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	多段の複合口縁、段は短い。下端に棒状工具による刺突文を横走。外面は RL 縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	暗灰黄色	
15	SI22	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、上端は無文でその下位は RL（直前段多条？）を斜走。口唇部縄文を押捺。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	暗灰黄色	
16	SD01	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L の附加条縄文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
17	T141	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、全面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
18	SD01	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁。口唇部棒状工具でキザミ、下端に棒状工具による押圧文を横走。口縁部 LR ＋ R･R の附加条縄文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
19	SD01	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	多段となる複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走、外面 LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
20	SD01	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	２段以上となる複合口縁、口唇部に縄文を押捺。下端に LR 縄文を押捺。外面 LR 縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
21	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	１段の複合口縁、下端に雑な刺突文を横走。口唇部に縄文を押捺。外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。頸部５条１単位の櫛歯状工具による波状文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
22	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	段を持つ複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走。口唇部押捺。外面 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
23	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	段を持つ複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。口唇部押捺。外面 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい黄橙色	
24	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	多段の複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。口唇部縄文を押捺。外面 RL（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
25	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	10	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走、外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。頸部斜走する多条線を角度を変えて施文。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
26	SD01	弥生土器	壷	口縁部	10	−	−	−	口縁部複合口縁、下端に棒状工具による雑な刺突文を横走、外面原体不明の附加条縄文を横走、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	27 と同一個体
27	SD01	弥生土器	壷	頸部	10	−	−	−	複合口縁、外面下端に雑な刺突文を横走、外面原体不明の附加条縄文を横走、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	26 と同一個体
28	SI10	弥生土器	壷	口縁部～胴部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走。口唇部に縄文を押捺。外面 RL ＋ L・L 附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
29	SK33	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	２段の複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。外面 RL ＋ L の附加条縄文を斜走。頸部５条以上１単位の山形文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
30	SI32	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	多段の複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走。口唇部に縄文を押捺。外面 LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
31	SD01	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	２段以上となる複合口縁、口唇部に縄文を押捺。下端に棒状工具による刺突文を横走。外面 RL ＋ L・L を斜走。	石英粒・白雲母片	良好	暗灰黄色	
32	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	多段の複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。口唇部に縄文を押捺。外面 L 撚糸文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黒褐色	
33	SI12	弥生土器	壷	口縁部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走、外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子	良好	にぶい黄橙色	
34	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	多段の複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。頸部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
35	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	段を持つ複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。外面 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。頸部斜条線を交差させ逆三角形文を施す。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
36	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	段を持つ複合口縁、下端に棒状工具による押圧文を横走。外面原体不明の縄文を斜走。頸部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
37	SI12	弥生土器	壷	頸部	10	−	−	−	沈線による逆三角形の区画、区画内条線を交差。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	39 と同一個体
38	SI10	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	胴部外面に沈線で逆三角形や長方形の区画、区画内に斜条線を交差。	白色粒子	良好	橙色	
39	SI12	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	沈線による逆三角形の区画、区画内条線を交差。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	37 と同一個体
40	SI30	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	沈線で逆三角形の区画を施文、区画内を交差する多条の沈線文を施文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	
41	SI34	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	沈線で逆三角形の区画、区画内に斜条線を交差させる。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
42	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	３条１単位の櫛歯状工具による弱い波状文を横走して区画。波状文直下に沈線で逆三角の区画を施し、内面に斜条線。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
43	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	３条１単位の雑な条線を垂下させ区画、区画内に同一工具で波状文を６段以上横走（餓鬼塚式）。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
44	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	４条１単位の条線文で縦方向の区画、３条１単位の条線文で連弧文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
45	SI34	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	−	−	−	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。頸部３条１単位の櫛歯状工具による波状文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
46	SI10	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	上位にＶ字状の沈線文。下位に２条１単位の櫛歯状工具で波状文を多段に横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
47	SI26	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	８条１単位の櫛歯状工具で波状文を多段に横走。	白色粒子･チャート粒・白雲母片	良好	橙色	
48	SI27	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	２条１単位の波状文を多段に施文。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄褐色	
49	SI27	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	２本と３本の工具を横走させ押引文を施文して上下に区画、区画上位に７本１単位の櫛歯状工具による波状文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
50	SI12	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	３条１単位の櫛歯状工具による条線文を横走、その上位に同一工具による波状文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
51	SI12	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	数条１単位の櫛歯状工具による波状文を弱く横走。	白色粒子・白雲母片	良好	黄褐色	
52	SI34	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	縦位の擦痕が残る器面に、２条１単位の波状文を多段に施文。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄褐色	
53	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	７条以上１単位の櫛歯状条線文を２段以上僅かな波状文として横走。その間に押引文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
54	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	５条１単位の櫛歯状工具による波状文を多段に施文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
55	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	８条１単位の雑な櫛歯状条線文による波状文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄色	
56	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	８条１単位の波状文を多段に施文。	白色粒子・石英粒	良好	黄橙色	
57	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	−	−	−	７条１単位の櫛歯状条線文を横走させ区画、その下位に同一工具による連弧文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	暗灰黄色	
58	SI17	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	−	−	−	頸部５条以上１単位の波状文を横走、胴部 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白・黒色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	

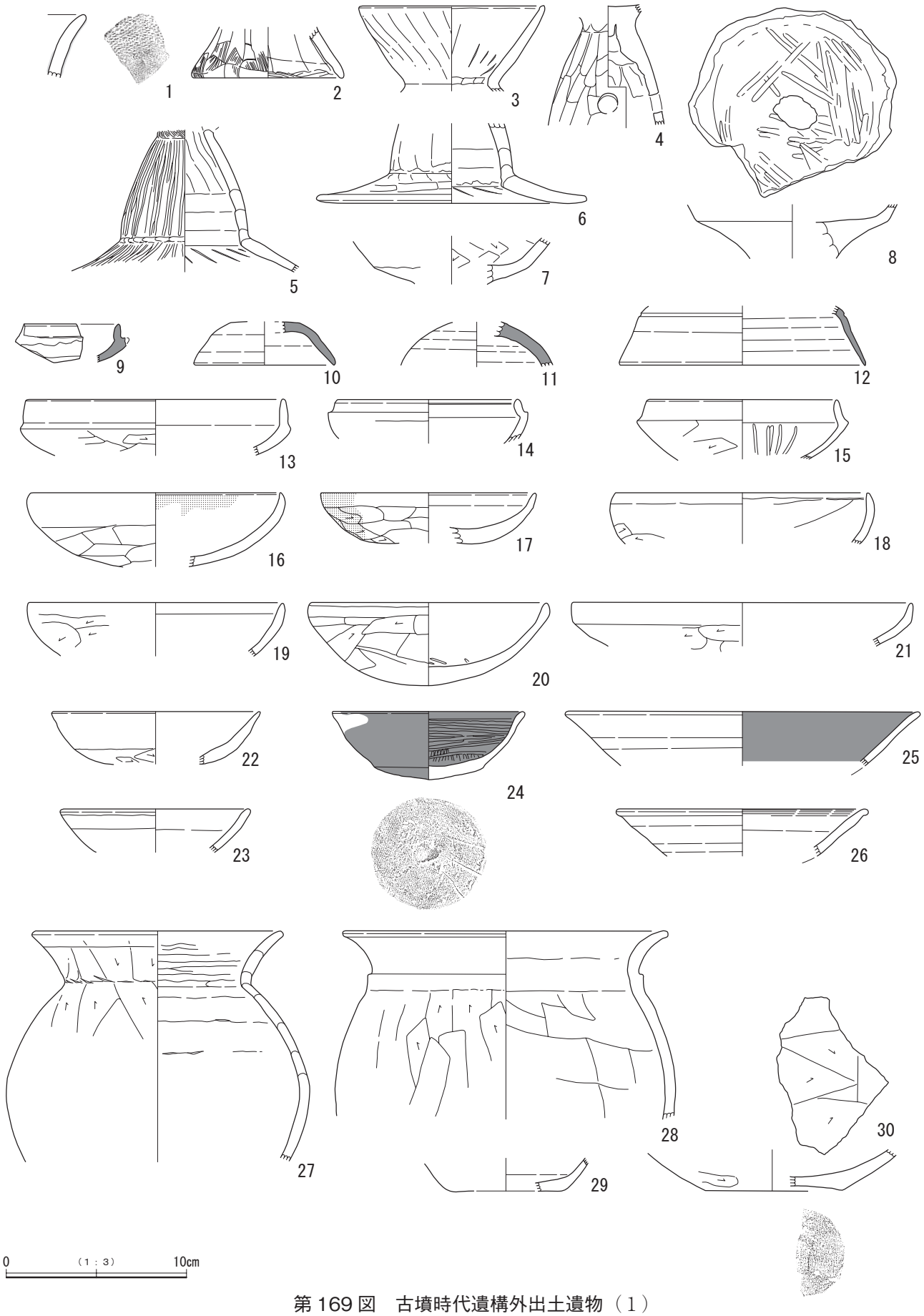
番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
59	SI17	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部５条以上１単位の波状文を横走。胴部原体不明の縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄褐色	
60	西側表土	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部３条１単位の櫛歯状工具による波状文を横走。その下位に同一工具による条線文を横走。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子	良好	にぶい橙色	
61	西側表土	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部３条１単位の櫛歯状工具による波状文を多段に横走。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白・赤色粒子	良好	にぶい黄橙色	
62	SD01	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部２条１単位の連弧文を横走。頸部と胴部との境に RL 縄文を押捺。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
63	SD01	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部６条１単位の櫛歯状工具で波状文を施文。胴部 LR ＋ R・R 附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
64	SI10	弥生土器	壷	頸部	細片	－	－	－	頸部外面に８条１単位の櫛歯状工具による山形文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
65	SI12P6	弥生土器	壷	頸部	細片	－	－	－	頸部外面４～５条１単位の櫛歯状工具による波状文を２段以上に施す。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
66	SI26	弥生土器	壷	頸部	細片	－	－	－	５条１単位の櫛歯状工具で山形文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
67	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	－	－	－	５条１単位の櫛歯状条線文を山形に施文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
68	SD01	弥生土器	壷	頸部	細片	－	－	－	８条１単位の櫛歯状条線文を山形に横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
69	SI12	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部外面４条１単位の波状文を横走。胴部下位原体不明の縄文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	
70	SD01	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部５条１単位の櫛歯状工具による条線文を山形に横走。胴部 RL 縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
71	SD01	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	４条１単位の山形文を多段に横走。LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	黄褐色	
72	SD01	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部５条１単位の櫛歯状条線文を山形文として多段に施文。胴部 LR ＋ R・R ？の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
73	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	－	－	－	口縁部と頸部の境に棒状工具による刺突文を横走。RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。頸部６条１単位の山形文を横走、胴部	白色粒子・石英粒	良好	褐色	
74	SI17	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	－	－	－	複合口縁。口縁部附加条２種の LR ＋ L を施し、その下位に棒状工具による刺突文を横走。頸部は口縁部と同種の縄文を地紋に６条１単位の櫛歯状工具で山形紋を描く。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	
75	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	－	－	－	口縁部複合口縁で下端に棒状工具による刺突文を横走。口縁部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。頸部５条１単位の櫛歯状工具による山形文を多段に横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
76	SD01	弥生土器	壷	口縁部～頸部	細片	－	－	－	口縁部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走、頸部との境に棒状工具による刺突文。頸部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	明黄褐色	
77	SI10	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部沈線で長方形に縦区画、区画内に斜条線を交差。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白・黒色粒子	良好	にぶい黄橙色	
78	SI12	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	上位ナデ、下位 LR ＋ R・R の附加条縄文を縦及び斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
79	SI22	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	複合口縁、下端に棒状工具による刺突文を横走。頸部外面５条以上１単位の波状文を横走。胴部は LR ＋ R・R 附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
80	SI33	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部５条以上１単位の条線文を横走。胴部 R 撚糸文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
81	SD01	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部７条１単位の櫛歯状条線文を横走。胴部 LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい黄褐色	
82	SD01	弥生土器	壷	頸部～胴部	細片	－	－	－	頸部無文。頸部と胴部の境に縄文を押捺後胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
83	SI04	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	LR（直前段３条ヵ）を施す。羽状構成をとる。	白・赤色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
84	SI05	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	RL ＋ L・L の附加条縄文による羽状縄文を斜走。	白色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	橙色	
85	SI06	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	RL ＋ L・L の附加条縄文による羽状縄文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	明黄褐色	
86	SI06	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	LR ＋ R・R と RL ＋ L・L の附加条縄文による羽状縄文を横走。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄橙色	
87	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	軸縄不明の R を付加。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
88	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	軸縄不明の L を付加。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	
89	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	軸縄不明の L を付加。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明黄褐色	
90	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	－	－	－	軸縄不明の R を付加。	白色粒子・石英粒	良好	暗灰黄色	

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
91	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	軸縄不明のRを付加。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	
92	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・RとRL＋L・Lの附加条縄文を結節させ、羽状縄文として横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
93	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	胴部LR＋R・RとRL＋L・Lの附加条縄文による羽状縄文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
94	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・RとRL＋L・Lの附加条縄文による羽状縄文。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい橙色	
95	SI04	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
96	SI04	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文による羽状縄文を斜走。	白・黒色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	
97	SI12	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を横及び斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
98	SI06	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR（直前段多条？）横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
99	SK14	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
100	SI17	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄褐色	
101	SI22	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	胴部LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
102	SI12	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい橙色	
103	SP126	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
104	西側表土	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	明黄褐色	
105	西側表土	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL＋L・Lの附加条縄文を斜走。	白色粒子・チャート粒	良好	にぶい黄橙色	
106	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
107	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL＋L・Lの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
108	SI31	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	胴部LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
109	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	明赤褐色	
110	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	R撚糸文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
111	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
112	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
113	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
114	西側表土	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
115	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	
116	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR（０段多条）を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
117	SI13	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
118	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR（直前段４条）を横及び斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
119	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	明黄褐色	
120	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	121と同一個体
121	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を横走。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	暗灰黄色	120と同一個体
122	東側表土	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文を斜走。	白色粒子・白雲母片	良好	灰黄褐色	
123	西側表土	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL＋L・Lの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	灰黄褐色	
124	SI26	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL＋L・Lの附加条縄文を斜走。	白色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
125	SI30	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL＋L・Lの附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
126	SI12	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL＋L・Lの附加条縄文を縦及び斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
127	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
128	SI12	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR＋R・Rの附加条縄文による羽状縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
129	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL＋L・Lの附加条縄文を斜走。	石英粒・白雲母片	良好	暗灰黄色	

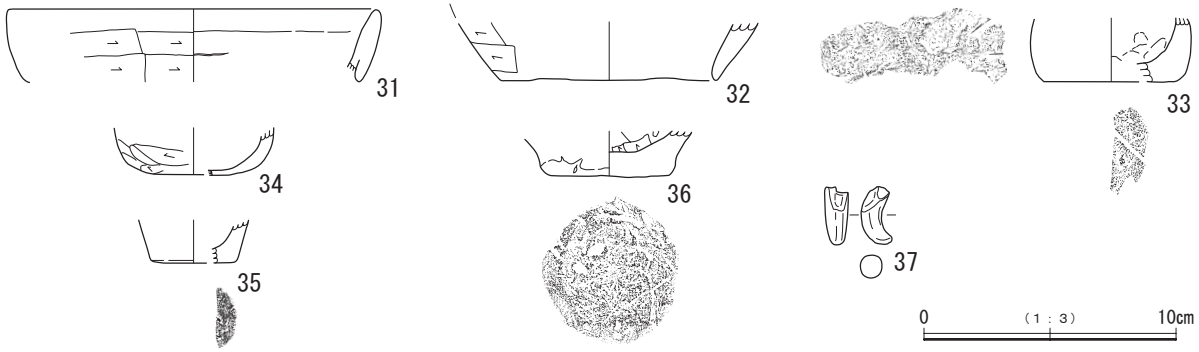
番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
130	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL 縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
131	SI07	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	上方に棒状工具による押圧文を横走。RL ＋ L・L 附加条縄文を斜走。	白色粒子・白雲母片	良好	灰黄褐色	
132	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L の附加条縄文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
133	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L の荒い附加条縄文を横及び斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
134	SD01	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
135	SI17	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	R 撚糸文を斜走。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
136	SI12	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	RL ＋ L・L ？の附加条縄文を斜走。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
137	SI38	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	平行する沈線で渦巻文を描く。地文に多条の条線文。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	明黄褐色	弥生時代中期後葉足洗式ヵ
138	SI19	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	軸縄不明の L を付加。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
139	SD04	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	胴部外面沈線で長楕円文を施文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
140	SI16 カマド	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	軸縄不明の R を付加。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄灰色	
141	SI17	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。	白色粒子・白雲母片	不良	にぶい黄橙色	
142	SI26	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	LR ＋ R・R を縦走。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄褐色	
143	SI33	弥生土器	壷	胴部	細片	−	−	−	R 撚糸文を横走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
144	SI10	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	(10.3)	<2.6>	胴部外面 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。底部外面木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
145	SI25	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	(11.0)	<3.7>	胴部 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走。底部ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
146	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	−	−	LR ＋ R・R と RL ＋ L・L の附加条縄文による羽状縄文。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄色	
147	SI31	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	(9.0)	<3.9>	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
148	SI17	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	(9.0)	<3.2>	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
149	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	−	−	胴部 RL（直前段 4 条）を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
150	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。底部剥離。	白色粒子・石英粒	良好	褐色	
151	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	−	−	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
152	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	−	−	胴部外面 L 撚糸文ヵを横走。底部外面木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
153	SI35	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	(8.6)	<2.3>	胴部 LR ＋ R・R ヵの附加条縄文を斜走後ナデ。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
154	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	−	−	胴部 RL 縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
155	SI22	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	(8.0)	<3.2>	胴部 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
156	SI12	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部 LR 縄文を斜走。底部木葉痕。	白・赤色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
157	T144	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	(7.0)	<2.1>	胴部 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走、底部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
158	SI10	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	(5.0)	<1.9>	LR 細縄文を斜走、底部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
159	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部外面 RL ＋ L・L の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	
160	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
161	SI26	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	(6.6)	<1.2>	胴部 LR 縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	にぶい黄褐色	
162	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走。底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄橙色	
163	SI37	弥生土器	壷	胴部～底部	10	−	(5.9)	<1.9>	胴部原体不明の LR 細縄文を斜走後ナデ。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	明黄褐色	
164	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	暗灰黄色	
165	SI19	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
166	SI28	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部 LR 縄文を斜走後ナデ。底部ナデ。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	にぶい黄褐色	
167	SI06	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	LR 縄文斜走、底部木葉痕。	白色粒子･チャート粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
168	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	胴部 RL 縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
169	SI10	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	−	−	−	RL(直前段 4 条)を斜走。底部木葉痕。	白色粒子･チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
170	西側表土	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走後ナデ。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・黒雲母片	良好	にぶい橙色	
171	SP02	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	底部突出。接地面外側へ開く。胴部 LR ＋ R・R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	
172	SI28	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走、底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
173	東側表土	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR（０段多条）を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
174	SI23	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR 縄文を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	
175	SI22	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR（直前段４条）を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	
176	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR ＋ R・R ？の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
177	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	10	－	－	－	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を横走。底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
178	SI19	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
179	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR 縄文を斜走。底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
180	SK21	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	
181	SI07	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走、底部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
182	SI10	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR（直前段４条）を斜走、底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
183	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR 縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
184	SK22	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 RR 縄文ヵを斜走後ナデ。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
185	SI19	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子･チャート粒	良好	にぶい黄橙色	
186	SI12	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	RL 縄文を斜走、底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
187	SI06	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部外面 RL 縄文。底部木葉痕。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
188	SI19	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部無節 L を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい褐色	
189	SI11	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR 縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい橙色	
190	SI12	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR 縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
191	西側表土	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR 縄文を斜走。底部ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
192	SI10	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 RL ＋ L･L の附加条縄文を斜走、底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
193	SI10	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR 縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
194	SI25	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR（直前段４条）を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
195	SI35	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
196	SI11	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR ＋ R･R の附加条縄文を斜走。底部木葉痕。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
197	SI10	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部 LR（直前段４条）を斜走。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄褐色	
198	SD01	弥生土器	壷	胴部～底部	細片	－	－	－	軸縄不明の R を付加。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
199	SD01	弥生土器	器台	受け部～裾部	100	13.0	7.9	5.1	脚部短く、受け部坏状となる。受け部上端内外面ヨコナデ、体部外面多方向ヘラケズリ、内面多方向ヘラナデ。脚部外面ヘラナデ後ナデ、内面ナデ。２孔。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	明黄褐色	
200	SD02	土製品	紡錘車	－	100	上面 4.0	下面 4.0	厚さ 1.8	上面に３重、裏面に２重、側面に２重の円状列点文。裏面の２重列点文の外側にそれを囲う沈線文。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	重量 35.53 g
201	SI12P9	土製品	紡錘車	－	40	－	－	－	円柱形。上面及び側面に２～３状１単位の沈線を巡らす。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	重量 13.20 g

（3）古墳時代（第 169・170 図、第 78 表、図版 49・50）



第 169 図　古墳時代遺構外出土遺物（1）



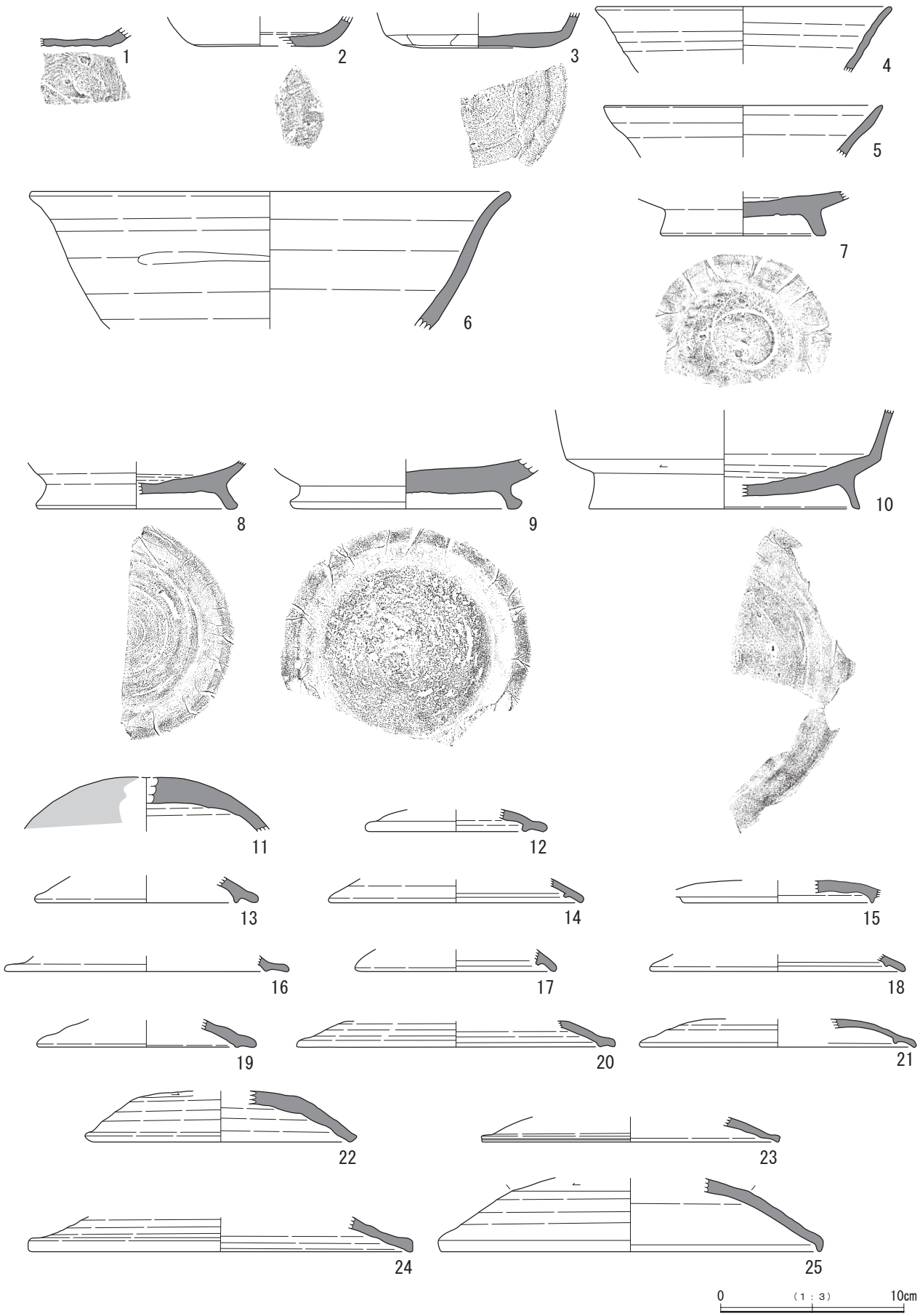
第 170 図　古墳時代遺構外出土遺物（2）

第 78 表　古墳時代遺構外出土遺物観察表

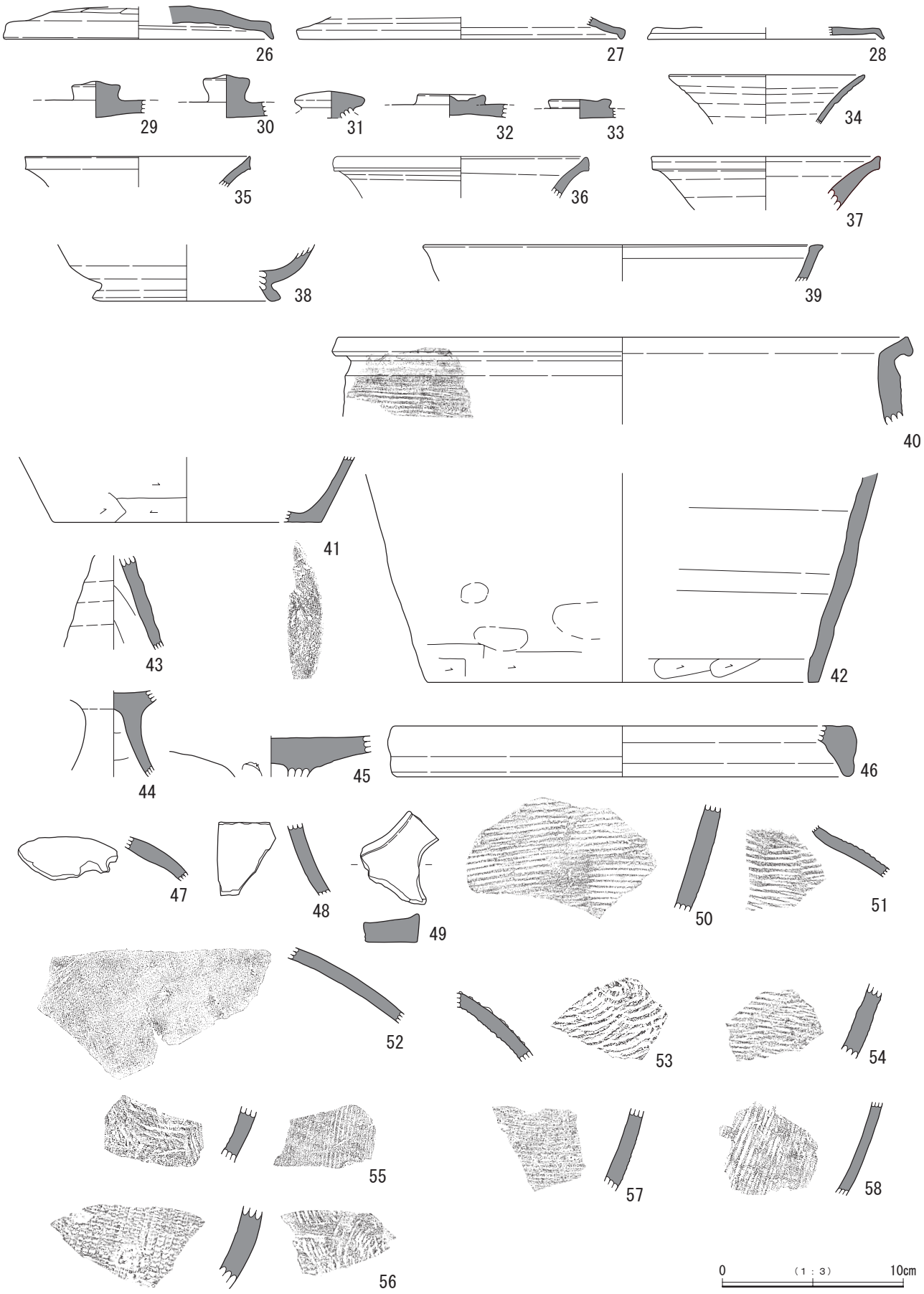
番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
1	SI26 SK01	土師器	壷	頸部	細片	−	−	−	密な網目状撚糸文を縦走。その一部を磨り消し、赤彩。内面ハケ目後ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	赤彩 古墳時代前葉
2	SF01	土師器	台付甕	脚部	細片	−	(8.4)	<2.8>	脚部内外面ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
3	T154	土師器	坩	口縁部	20	−	(10.4)	<4.8>	口縁部長く外反、外面ヨコナデ、内面ヘラナデ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	
4	SI31	土師器	器台	脚部	20	−	−	<6.5>	脚部外面縦方向ヘラケズリ後ナデ、内面絞り痕。受け部からの嵌め込み接合。	白色粒子・石英粒・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	
5	T145	土師器	高坏	脚部～裾部	30	−	−	<7.8>	脚部外面縦方向ミガキ、内面輪積み痕顕著、ナデ。裾部縦方向ミガキ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	明赤褐色	
6	T154	土師器	高坏	脚部～裾部	10	−	(15.0)	<4.5>	脚部外面ナデ、内面輪積み痕顕著、ナデ。裾部外面横方向ヘラナデ後ナデ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片・黒雲母片	良好	にぶい黄橙色	
7	SI10P6	土師器	高坏	坏部体部～接合部	10	−	−	<2.3>	坏部体部外面ナデ、内面斜方向ヘラナデ。脚部貼り付け。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
8	SI10	土師器	高坏	坏部体部～接合部	30	−	−	<3.0>	坏部体部外面斜方向ヘラケズリ、見込み部赤彩後後多方向ミガキ。脚部はめ込み接合。	白色粒子・チャート粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	坏部体部内外面赤彩
9	西側表土	須恵器	坏	口縁部～体部	細片	−	−	<2.1>	口縁部短く内傾、体部との境に明瞭な稜。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子	良好	灰黄色	6 世紀後葉～7 世紀前葉
10	SI01 カマド	須恵器	蓋	天井部～口縁端部	細片	(7.7)	−	<2.4>	蓋坏。天井部と口縁端部との境に不明瞭な稜。天井部外面回転ヘラケズリ、口縁端部ヨコナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	
11	SI32	須恵器	蓋	天井部	10	−	−	<2.5>	蓋坏。内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰褐色	
12	SD01	須恵器	蓋	天井部～端部	10	(13.6)	−	<3.3>	蓋坏。天井部外面と端部との境に1条の沈線。回転ナデ。端部内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄色	
13	SI21	土師器	坏	口縁部～体部	10	(14.2)	−	<3.1>	須恵器模倣坏。口縁部僅かに外傾。体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内面丁寧なナデ、外面横方向ヘラケズリ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	6 世紀後葉
14	西側表土	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(10.0)	−	<2.4>	須恵器模倣坏。口縁部短く直立、体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子	良好	橙色	6 世紀後葉～7 世紀前葉
15	SI16 P5・SI17 カマド	土師器	坏	口縁部～体部	20	(10.5)	−	<3.3>	須恵器模倣坏。丸底。口縁部僅かに内傾、体部との境に明瞭な稜を持つ。内外面ヨコナデ。体部内外面ナデ、内面1条1単位の放射状暗文。	白・黒色粒子・白雲母片	良好	橙色	7 世紀前葉
16	SI23	土師器	坏	口縁部～底部	20	(13.8)	−	<4.1>	丸底。口縁部短く外反。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	口縁部内面に漆状の黒色付着物少量 7 世紀前葉
17	SD03	土師器	坏	口縁部～体部	30	(11.8)	−	<2.7>	口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	6 世紀後葉～7 世紀前葉
18	SP185	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(14.0)	−	<2.8>	口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。口縁部内面直下に1条の沈線。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	7 世紀前葉
19	SI10	土師器	坏	口縁部～体部	10	(14.0)	−	<3.0>	口縁部短く直立、体部との境に稜を持たない。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白・赤色粒子	良好	橙色	体部外面赤彩 6 世紀後葉～7 世紀前葉

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
20	SK26	土師器	坏	口縁部～底部	60	(13.1)	－	4.6	丸底。口縁部短く直立。体部との境に稜を持たない。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ後ナデ、内面ヘラナデ後丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい赤褐色	7世紀前葉
21	SI10	土師器	坏	口縁部～体部	10	(18.8)	－	<2.4>	口縁部短く直立。体部との境に稜を持たない。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	内面一部黒色化 7世紀前葉
22	SI20	土師器	坏	口縁部～体部	10	(11.5)	－	<2.9>	口縁部斜上方に開く。内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	7世紀前葉～中葉
23	SI16P1	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(10.3)	－	<2.4>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	橙色	7世紀前葉
24	SI10	土師器	坏	口縁部～体部	60	(10.3)	(6.0)	<3.8>	内黒坏。丸底状で中央部が突出。口縁部僅かに外反、体部僅かに膨らみを持つ。内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部一方向のミガキ、底部外面切り離し技法不明、一方向ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	灰色	内外面黒色化 7世紀前葉
25	SI11	土師器	高坏	坏部口縁部～体部	10	19.6	－	<3.0>	坏部内面黒色化。口縁部僅かに外反。内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	
26	T116	土師器	坏	口縁部～体部	20	(14.0)	－	<2.6>	口縁部大きく外反、内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・金雲母片	良好	にぶい黄橙色	高坏の坏部ヵ
27	T154	土師器	壷	口縁部～胴部	30	14.0	－	<12.8>	口縁部「く」字状に外反、内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒	良好	にぶい黄橙色	
28	T124	土師器	壷	口縁部～胴部	20	(18.0)	－	<10.4>	口縁部大きく外反、胴部との境に段を持つ。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面縦方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
29	SI03	土師器	甕	底部	細片	－	(6.1)	<1.8>	胴部内外面ナデ。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
30	SI10	土師器	壷	胴部～底部	細片	－	(7.5)	<2.3>	胴部外面丁寧なナデ、内面多方向ヘラナデ。底部中央部上底状、ヘラナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい褐色	
31	SI11	土師器	坏	口縁部～体部	10	(14.6)	－	<2.9>	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面横方向ヘラケズリ、内面ナデ。下端輪積み部分で欠損。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	
32	SI03	土師器	甑	底部	細片	－	(8.7)	<2.3>	下端が若干波打つ。外面横ケズリされる。	白・赤色粒子・石英粒・長石	良好	にぶい黄橙色	
33	SI10	土師器	壷	胴部～底部	20	－	(5.3)	<2.6>	ミニチュア土器。手づくね。胴部内外面ナデ、内面一部指頭痕。底部木葉痕。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	
34	SI10	土師器	壷	胴部～底部	20	－	(2.8)	<1.9>	ミニチュア土器ヵ。胴部外面上位横方向ヘラケズリ後ナデ、内面ナデ。底部内外面ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	明赤褐色	胴部外面赤彩
35	西側表土	土師器	壷	胴部～底部	細片	－	(3.4)	<1.7>	ミニチュア土器。手づくね、ナデ整形。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
36	SK33	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(1.8)	<4.8>	底部突出。胴部外面ナデ、内面ヘラナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・黒雲母片	良好	にぶい褐色	
37	SF01	土製品	勾玉	体部～下端部	80	長さ 2.2	幅 0.9	厚さ 0.9	全面ナデ、先端部欠損。	白色粒子	良好	にぶい黄橙色	重量 2.59 g

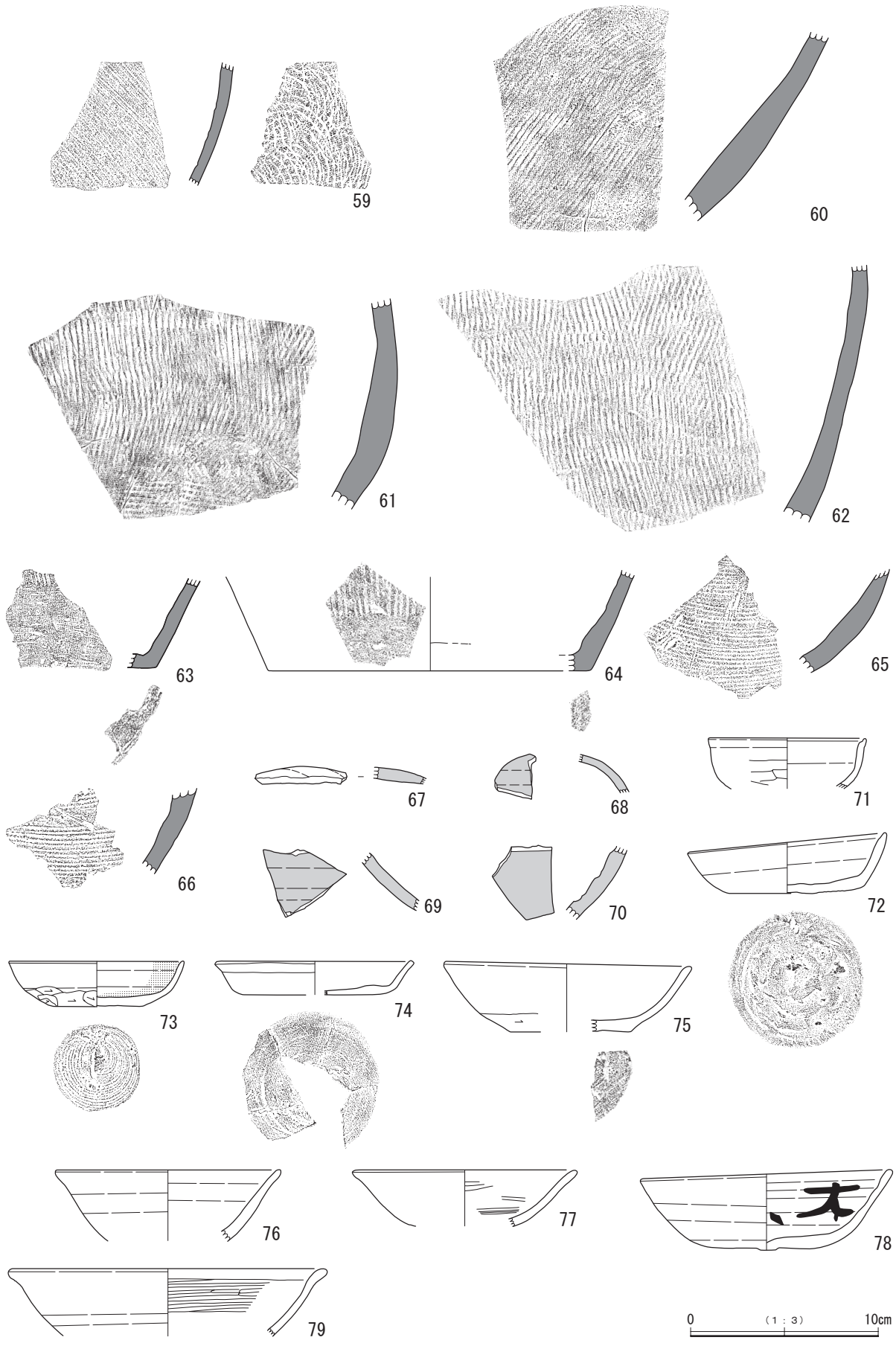
（4）奈良・平安時代（第 171 ～ 175 図、第 79 表、図版 50 ～ 53）



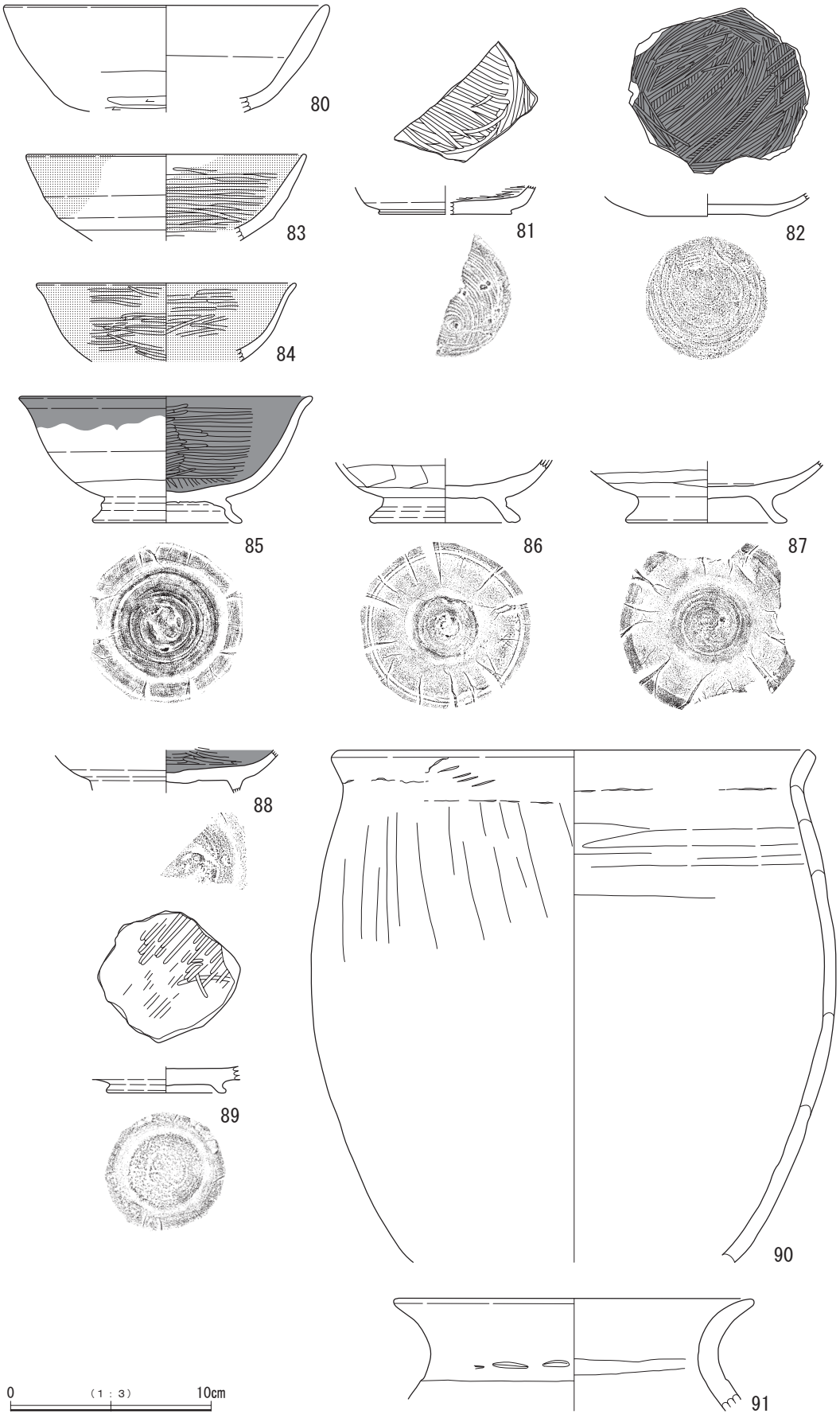
第 171 図　奈良・平安時代遺構外出土遺物（1）



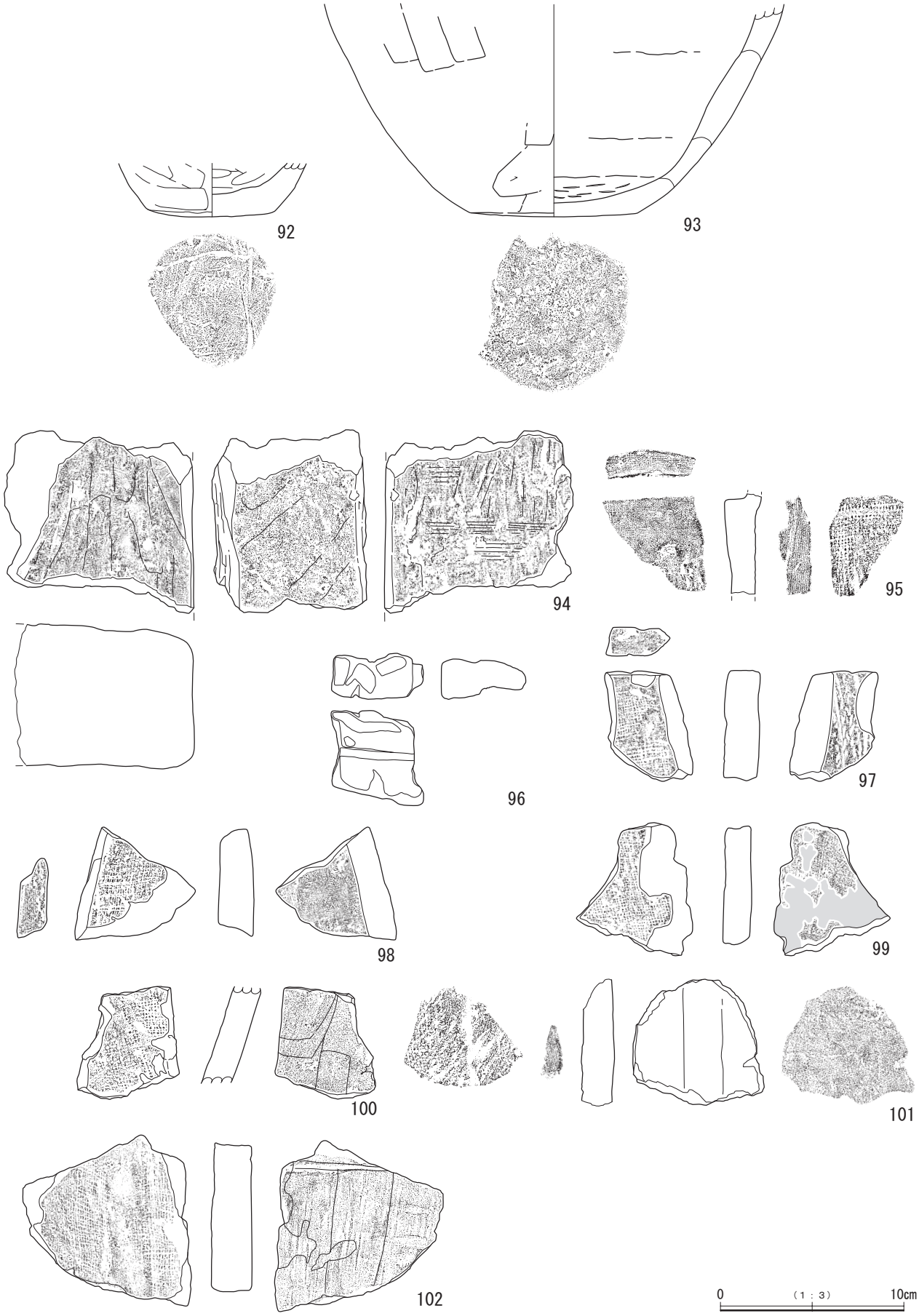
第 172 図　奈良・平安時代遺構外出土遺物（2）



第 173 図　奈良・平安時代遺構外出土遺物（3）



第 174 図　奈良・平安時代遺構外出土遺物（4）



第 175 図　奈良・平安時代遺構外出土遺物（5）

第 79 表　奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表

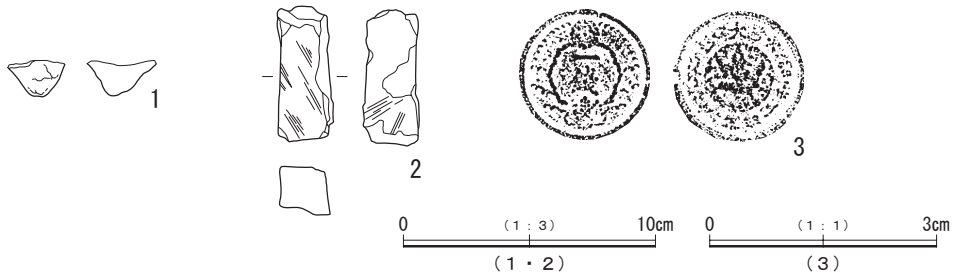
番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
1	SI04	須恵器	坏	底部	10	−	<3.7>	<1.0>	底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。見込み部ヘラナデ。	白・黒色粒子	良好	緑灰色	底部外面文字種不明のヘラ書き。木葉下窯跡群産ヵ
2	SI12	須恵器	坏	体部～底部	細片	−	(6.5)	<1.6>	体部内外面回転ナデ。内面ロクロ目顕著。	白色粒子・石英粒	良好	褐灰色	新治窯跡群産
3	SK13	須恵器	坏	体部～底部	10	−	(5.8)	<2.0>	体部内外面回転ナデ、外面下端横方向手持ちヘラケズリ。見込み部回転ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後周縁部回転ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	新治窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉
4	SI24	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(16.6)	−	<3.6>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。ロクロ目顕著。	白色粒子・白色針状物質	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉
5	SF01	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(15.0)	−	<2.8>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	赤焼け。９世紀前葉～中葉
6	SI24	須恵器	高坏	口縁部～体部	40	(26.0)	−	<7.5>	口縁部僅かに肥厚、内外面ヨコナデ。体部内外面上位回転ナデ、下位左回転ヘラケズリ。内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰白色	新治窯跡群産 ８世紀中葉
7	SI30P1	須恵器	高台付盤	底部	30	−	8.8	<2.4>	見込み部回転ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け。	白色粒子・石英粒	良好	灰白色	木葉下窯跡群産ヵ
8	SP101	須恵器	高台付坏	底部	10	−	(10.8)	<2.6>	底部左回転ヘラ切り離し、未調整。高台部貼り付け。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	木葉下窯跡群産
9	SI20	須恵器	高台付壷	底部	10	−	(12.1)	<2.7>	高台部下端大きく外反。見込み部回転ナデ。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒・白雲母片	良好	黄灰色	底部外面転用硯。新治窯跡群産
10	SI35	須恵器	高台付盤	体部～底部	30	−	(14.7)	<5.4>	体部内外面及び見込み部回転ナデ、下端左回転ヘラケズリ。底部外面回転ヘラ切り離し後未調整。高台部貼り付け。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉
11	SI12	須恵器	壷	胴部	10	−	−	<2.9>	胴部内外面回転ナデ。外面に自然釉。	白・黒色粒子・石英粒	良好	褐灰色	
12	SI19	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(9.6)	−	<1.7>	かえしなし。端部肥厚させ、かえり僅かに内傾。天井部内外面回転ナデ。端部とかえりで接地。	白色粒子・白雲母片	良好	淡黄色	新治窯跡群産 ７世紀後葉
13	SI23	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(12.0)	−	<1.4>	かえしなし。かえり断面三角形で垂下。天井部内外面回転ナデ。かえりと端部で接地。	白色粒子・白雲母片	良好	灰黄色	新治窯跡群産 ７世紀後葉
14	SI34	須恵器	蓋	端部	細片	(14.0)	−	<1.3>	端部かえしなし。かえり短く内傾。端部内外面ヨコナデ。端部接地。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産 ７世紀後葉
15	SI25	須恵器	蓋	天井部	細片	(10.2)	−	<1.3>	端部欠損。かえり断面三角形で垂下。天井部外面上位左回転ヘラケズリ、下位及び内面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	７世紀後葉
16	SI22	須恵器	蓋	端部	細片	(15.4)	−	<0.9>	端部肥厚。かえしなし。かえり僅かに突出。端部内外面ヨコナデ。	白色粒子･チャート粒	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産 ７世紀後葉
17	SI34	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(10.8)	−	<1.2>	端部肥厚、かえしなし。かえり明瞭で内傾。天井部内外面回転ナデ。接地面は端部。	白色粒子	良好	黄灰色	新治窯跡群産 ７世紀後葉
18	表採	須恵器	蓋	端部	細片	(14.0)	−	<1.0>	端部肥厚、かえしなし。かえり断面三角形で外傾。天井部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	黄灰色	新治窯跡群産 ７世紀前葉
19	SI22	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(12.8)	−	<1.5>	端部肥厚、かえしなし。かえり僅かな隆線状。天井部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	浅黄色	新治窯跡群産 ７世紀後葉
20	SI22 カマド	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(17.2)	−	<1.4>	かえしなし。かえりと端部で接地。かえり不明瞭。天井部内外面回転ナデ。	白・黒色粒子・白雲母片	不良	黄灰色	新治窯跡群産 ７世紀後葉
21	SI34	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(15.0)	−	<1.5>	端部肥厚してかえしなし。かえり隆線状で僅かに内傾。端部で接地。天井部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	灰黄褐色	木葉下窯跡群産 ７世紀後葉 赤焼け
22	SI31	須恵器	蓋	天井部～端部	10	(14.0)	−	<2.8>	かえり、かえしなし。端部肥厚させ接地。天井部外面上位左回転ヘラケズリ、下位及び内面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	灰白色	新治窯跡群産
23	SI05	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(16.2)	−	<1.3>	かえしを垂下させる。天井部端部内外面ヨコナデ。	白・黒色粒子	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産ヵ
24	SP82	須恵器	蓋	天井部～端部	10	(10.8)	−	<1.9>	端部僅かに垂下させかえしとする、かえりなし。天井部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産
25	SD03	須恵器	蓋	天井部～端部	30	(20.8)	−	<4.0>	かえし垂下させる。かえりなし。天井部外面上位左回転ヘラケズリ、下位回転ナデ。内面丁寧なナデ。	白・黒色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	黄灰色	
26	東側表土	須恵器	蓋	天井部～端部	10	(14.8)	−	<1.8>	端部垂下させ接地面で僅かに外反。かえりなし。天井部外面上位左回転ヘラケズリ、下位及び内面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	新治窯跡群産
27	SI22	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(18.0)	−	<1.2>	かえりなし。かえし垂下。天井部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	木葉下窯跡群産
28	SI10	須恵器	蓋	天井部～端部	細片	(13.0)	−	<0.7>	かえりなし。端部斜方向に折れ、先端を外反させる。内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒	良好	褐灰色	
29	SK26	須恵器	蓋	鈕部	細片	−	−	<2.0>	偏平擬宝珠状鈕、上面は僅かに窪む。側面は内傾。全面ナデ。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	灰色	木葉下窯跡群産

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
30	T127	須恵器	蓋	鈕部	細片	−	−	<2.35>	擬宝珠状鈕、上面突出。側面は内傾。全面ナデ。	白・黒色粒子	良好	黄灰色	
31	SI12P2	須恵器	蓋	鈕部	10	−	−	<1.4>	偏平擬宝珠状鈕、上面は突出。ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	オリーブ灰色	木葉下窯跡群産
32	T133	須恵器	蓋	鈕部	10	−	−	<1.3>	偏平擬宝珠状鈕、ナデ。中央部大きく窪む、側面垂下。天井部外面回転ヘラケズリ、内面回転ナデ。	白色粒子・金雲母片	不良	灰白色	新治窯跡群産
33	SK21	須恵器	蓋	鈕部	細片	−	−	<1.05>	偏平擬宝珠状鈕、上面突出。側面は僅かに内傾。全面ナデ。天井部外面回転ヘラケズリ、内面ナデ。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	黄灰色	木葉下窯跡群産
34	SI04	須恵器	坏	口縁部～体部	10	(10.8)	−	<2.7>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白・黒色粒子	良好	灰白色	新治窯跡群産 ９世紀前葉～中葉
35	SI04	須恵器	壷	口縁部	細片	(12.4)	−	<1.7>	口唇部上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。	白色粒子・石英粒	良好	青灰色	
36	SI17	須恵器	壷	口縁部	細片	(14.0)	−	<2.3>	口縁部大きく外反、口唇部上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。	白・黒色粒子	良好	褐灰色	
37	SI05	須恵器	甕ヵ	口縁部	細片	(12.6)	−	<3.0>	口唇部上下に摘み出され、上端を平坦にする。口縁部内外面ヨコナデ。	白色粒子・白雲母片	良好	オリーブ灰色	
38	西側表土	須恵器	高台付坏	口縁部～胴部	10	−	(10.1)	<3.1>	体部内外面ヨコナデ。高台部短く「八」の字にひらく。高台部ヨコナデ。	白色粒子・石英粒・チャート粒	良好	灰色	木葉下窯跡群産 ８世紀後葉～９世紀前葉
39	SI12	須恵器	壷	口縁部	細片	(22.0)	−	<2.0>	口唇部上面を平坦。端部を外側に摘み出す。内外面ヨコナデ。	白色粒子･チャート粒・白色針状物質	良好	褐灰色	木葉下窯跡群産
40	SI30	須恵器	鉢	口縁部～胴部	細片	(31.3)	−	<4.8>	口縁部上端「く」字状に折れる。口唇部肥厚させ端部を上下に摘み出す。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面横方向平行叩き、内面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰色	新治窯跡群産
41	SI29	須恵器	鉢	胴部～底部	細片	−	(15.0)	<3.6>	胴部外面多方向ヘラケズリ、内面丁寧なナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・白色針状物質	良好	灰色	木葉下窯跡群産
42	SI29 カマド	須恵器	甑	胴部	10	−	(21.5)	<11.5>	胴部外面ナデ、下端横方向ヘラケズリ、指頭痕、内面横方向ヘラナデ、下端横方向手持ちヘラケズリ。単孔。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	灰黄褐色	新治窯跡群産 赤焼け
43	SI31	須恵器	高坏	脚部	細片	−	−	<5.2>	全面ナデ。	白色粒子･チャート粒・白色針状物質	良好	灰色	木葉下窯跡群産
44	西側表土	須恵器	高盤	脚部	10	−	−	<4.7>	盤部内面及び脚部外面丁寧なナデ、脚部内面回転ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	
45	東側表土	須恵器	高盤	接合部	10	−	−	<2.2>	盤部外面回転ナデ、内面丁寧なナデ。脚部透かしあり。	白色粒子・石英粒	良好	青灰色	木葉下窯跡群産ヵ
46	SD01	須恵器	円面硯	周堤部～底部	20	(25.0)	(25.2)	2.8	岡部平坦、脚部低く断面三角形。	白色粒子・石英粒・白雲母片	不良	灰黄色	新治窯跡群産
47	西側表土	須恵器	壷	胴部	細片	−	−	−	胴部内外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	暗灰黄色	木葉下窯跡群産
48	表採	須恵器	高盤	脚部	細片	−	−	−	側面面取り、脚部の透かし部分ヵ。内外面回転ナデ。	白・黒色粒子・石英粒	良好	黄灰色	
49	東側表土	須恵器	甑	底部	細片	−	−	−	全面ナデ。５孔。	白色粒子・白雲母片	良好	暗灰黄色	新治窯跡群産
50	SP131	須恵器	壷	胴部	細片	−	−	−	胴部外面横方向平行叩き、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	暗灰黄色	新治窯跡群産
51	SI29	須恵器	壷	胴部	細片	−	−	<2.9>	胴部外面横方向平行叩き、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	
52	SI20	須恵器	甕	胴部	細片	−	−	<4.2>	胴部内外面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒・砂粒・白色針状物質	良好	暗灰黄色	胴部外面文字種不明のヘラ書き。木葉下窯跡群産
53	SI04	須恵器	甕	胴部	細片	−	−	<3.8>	胴部外面焼成時の窯壁付着。内面青海波文。	白・黒色粒子	良好	黄灰色	
54	SI31	須恵器	甕	胴部	細片	−	−	−	胴部外面横方向平行叩き、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	暗灰色	
55	SI04	須恵器	甕	胴部	細片	−	−	<3.1>	胴部外面縦方向平行叩き後ナデ。内面青海波文。	白・黒色粒子・白雲母片	不良	灰白色	新治窯跡群産
56	SI31	須恵器	甕	胴部	細片	−	−	−	胴部外面格子目状叩き、内面青海波文後ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰白色	
57	SI12	須恵器	提瓶	胴部	細片	−	−	<4.6>	胴部外面弧状のカキ目。	白色粒子・石英粒	良好	灰色	
58	SI17	須恵器	鉢	胴部	細片	−	−	<5.3>	胴部外面縦方向平行叩き、内面丁寧なナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄色	新治窯跡群産
59	SP123	須恵器	提瓶	胴部	細片	−	−	<6.5>	胴部外面格子目状叩き後丁寧なナデ、同心円状のカキ目、内面青海波文。	白色粒子・石英粒	良好	青灰色	
60	SI29	須恵器	甕	胴部	細片	−	−	<9.5>	胴部外面斜方向平行叩き、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	灰黄色	外面黒色湧出物少量
61	T127	須恵器	甕	胴部	10	−	−	−	胴部外面縦方向平行叩き、内面ナデ。	白色粒子･チャート粒・白色針状物質	良好	灰色	木葉下窯跡群産
62	T128	須恵器	甕	胴部	10	−	−	−	胴部外面縦方向平行叩き、内面ナデ。	白色粒子･チャート粒・白色針状物質	良好	灰色	木葉下窯跡群産

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
63	SI29	須恵器	甑	胴部～底部	細片	－	－	－	胴部外面縦方向平行叩き、下端横方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。底部ブリッジ有り。２～３孔。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	新治窯跡群産
64	SI24	須恵器	甕	胴部	細片	－	－	<5.4>	胴部外面縦方向平行叩き、内面ナデ。底部外面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	褐灰色	
65	SI32P4	須恵器	提瓶	体部	細片	－	－	<5.4>	胴部内外面同心円状のカキ目、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	
66	SI32P4	須恵器	提瓶	体部	細片	－	－	<4.5>	胴部内外面同心円状のカキ目、内面ナデ。	白色粒子・石英粒	良好	黄灰色	
67	SI12	灰釉陶器	壷	肩部	細片	－	－	<0.9>	内外面ナデ。外面施釉。	白・黒色粒子	良好	灰白色	東海系ヵ
68	SD04	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	<2.0>	胴部内外面回転ナデ。外面施釉。	白色粒子	良好	灰白色	湖西産ヵ
69	SK31	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	<3.1>	体部内外面回転ナデ。内外面施釉。	白・黒色粒子	良好	灰白色	
70	西側表土	灰釉陶器	壷	胴部	細片	－	－	－	胴部内外面回転ナデ。	白色粒子・石英粒・白色針状物質	良好	灰黄色	東海系
71	西側表土	土師器	坏	口縁部～体部	細片	(8.3)	－	<1.7>	口縁部上端が僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内面直下に１条の沈線。内外面ヨコナデ。体部内外面丁寧なナデ。	白色粒子	良好	橙色	８世紀前葉～中葉
72	SI28	土師器	坏	口縁部～底部	100	10.5	7.0	3.2	口縁部僅かに外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	９世紀後葉
73	SK21	土師器	坏	口縁部～底部	70	(9.2)	(4.6)	<2.4>	器高低い。体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ、外面下位横方向ヘラケズリ。底部外面左回転ヘラ切り離し後未調整。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	橙色	10 世紀後葉
74	SP200	土師器	坏	口縁部～底部	40	－	(7.3)	<1.8>	器高低い。口縁部外反、内外面ヨコナデ。体部内外面及び見込み部回転ナデ。底部外面切り離し技法不明、丁寧なナデ。	白色粒子・白雲母片・白色針状物質	良好	橙色	10 世紀後葉
75	SI37P1	土師器	坏	口縁部～底部	30	(13.1)	(6.0)	3.7	体部僅かに膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端左回転ヘラケズリ。見込み部ナデ、底部外面切り離し技法不明、一方向ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	９世紀後葉～10 世紀前葉
76	SI30	土師器	坏	口縁部～体部	10	(11.8)	－	<3.8>	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。	白色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	橙色	９世紀前葉
77	SI31	土師器	坏	口縁部～体部	10	－	(11.8)	<3.0>	口縁部僅かに外反、内外面ヨコナデ。体部外面ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	明赤褐色	９世紀中葉
78	SI37・SI31	土師器	坏	口縁部～底部	70	13.2	6.0	4.3	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ。見込み部ナデ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒・金雲母片	良好	橙色	体部内面「木」墨書 ９世紀中葉～後葉
79	SI35	土師器	坏	口縁部～体部	10	(16.7)	－	<3.6>	口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい橙色	10 世紀前葉～中葉
80	西側表土	土師器	坏	口縁部～体部	20	(16.0)	－	<5.3>	体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面回転ナデ、外面下端左方向手持ちヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	橙色	10 世紀前葉～中葉
81	SK27	土師器	坏	体部～底部	10	－	(6.6)	<1.4>	底部僅かに突出。体部外面ナデ、内面横方向ミガキ。底部外面左回転糸切り離し後未調整。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
82	SD01	土師器	坏	体部～底部	20	－	6.0	<1.1>	体部外面ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ、底部外面左回転糸切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
83	T117	土師器	坏	口縁部～体部	30	(14.0)	－	<4.3>	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、下端回転ヘラケズリ、内面横方向ミガキ。	白色粒子・白雲母片	不良	橙色	
84	T127	土師器	坏	口縁部～体部	10	(13.0)	－	<3.9>	内黒坏。口縁部外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面横方向ミガキ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄褐色	10 世紀中葉～後葉
85	SP01	土師器	高台付坏	口縁部～底部	60	(14.5)	7.4	<6.3>	ロクロ成形。内黒高台付坏。口縁部大きく外反、体部膨らみを持つ。口縁部内外面ヨコナデ。体部外面回転ナデ、下端左方向回転ヘラケズリ、内面横方向ミガキ。見込み部一方向ミガキ。底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け。	白色粒子・白雲母片	良好	橙色	10 世紀中葉～後葉
86	SD01	土師器	高台付坏	体部～底部	20	－	(7.2)	<3.1>	内黒高台付坏。体部外面横方向手持ちヘラケズリ、下端回転ヘラケズリ後ナデ。見込み部多方向ミガキ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け、外側へ大きく開く。接地面に一条の沈線。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい橙色	10 世紀中葉
87	SD01	土師器	高台付坏	体部～底部	20	－	(9.0)	<3.1>	内黒高台付坏。体部膨らみを持つ。体部外面回転ヘラケズリ後ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部分多方向ミガキ、底部左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部貼り付け、外側に開く。	白色粒子・白雲母片・金雲母片	良好	にぶい褐色	10 世紀中葉
88	SI29	土師器	高台付坏	体部～底部	20	－	－	<2.1>	体部膨らみを持つ。外面回転ナデ、内面横方向ミガキ。見込み部多方向ミガキ、底部外面回転切り離し後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	９世紀～10 世紀代

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
89	SI35	土師器	高台付坏	底部	10	－	(5.8)	<1.8>	見込み部一方向ミガキ、底部外面左回転ヘラ切り離し後ナデ。高台部短く玉縁状。	白色粒子・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
90	SI35	土師器	甕	口縁部～胴部	30	23.4	－	<25.5>	口縁部外反、口唇部平坦。口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面斜方向ヘラケズリ後ナデ、内面上位横方向ヘラナデ、下位ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片。金雲母片	良好	黒褐色	
91	西側表土	土師器	甕	口縁部～胴部	10	(17.7)	－	<5.6>	口縁部長く大きく外反、内外面ヨコナデ。口縁部外面下位に胴部ヘラケズリ時のヘラ痕顕著。胴部外面横方向ヘラケズリ、内面横方向ヘラナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
92	東側表土	土師器	甕	胴部～底部	10	－	7.0	<2.9>	胴部外面多方向ヘラケズリ、内面斜方向ヘラナデ。底部外面多方向ヘラケズリ。	白色粒子；石英粒・白雲母片	良好	橙色	
93	T113	土師器	甕	胴部～底部	10	－	(9.0)	<11.5>	胴部外面上位縦方向ヘラナデ後ナデ、下位斜方向ヘラナデ後ナデ、下端横方向ヘラケズリ、内面ナデ。底部内面多方向ヘラナデ、外面ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい褐色	
94	T131	瓦製品	塼	基部	30	長さ<9.9>	幅<10.3>	厚さ 8.4	4面ヘラケズリ後ナデで整形。指頭痕。	白・赤色粒子・石英粒・金雲母片	不良	浅黄橙色	被熱
95	T127	瓦	丸瓦	右側部	細片	長さ<5.4>	幅<4.6>	厚さ 1.6	玉縁付丸瓦。凸面ヘラナデ後ナデ、凹面布目。側部ヘラケズリ後ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	浅黄橙色	
96	西側表土	瓦	軒平瓦	瓦当面	細片	長さ<2.5>	幅<4.5>	厚さ 4.6	段顎。瓦当面ナデ、平瓦部ナデ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	型式不明。
97	SI31	瓦	平瓦	狭端部～左面側部	細片	長さ<6.1>	幅<4.9>	厚さ 1.9	凸面長縄圧痕、凹面布面。狭端部ヘラケズリ、左側部ヘラケズリ、面取り２回。	白・赤色粒子・石英粒	不良	にぶい褐色	
98	SI31	瓦	平瓦	左側部	細片	長さ<6.2>	幅<6.7>	厚さ 1.9	凸面ヘラナデ、凹面布目。左側面ヘラケズリ。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	
99	SI35	瓦	平瓦	基部	細片	長さ<7.3>	幅<6.3>	厚さ 2.3	凸面縦方向ヘラナデ、凹面布目。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	褐灰色	凸面赤色付着物多量
100	SK26	瓦	平瓦	基部	細片	長さ<5.3>	幅<5.5>	厚さ 1.6	凸面縦方向ヘラナデ後ナデ、凹面布目。	白色粒子・白雲母片・小礫	良好	橙色	
101	西側表土	瓦	平瓦	基部	細片	長さ<6.9>	幅<6.9>	厚さ 1.8	凸面縦方向ヘラナデ、凹面布目。	白・赤色粒子・石英粒・白雲母片	不良	橙色	全面被熱
102	東側表土	瓦	平瓦	基部	10	長さ<9.3>	幅<9.2>	厚さ 2.2	凸面縦方向平行叩き後縦方向ヘラナデ。凹面布目。	白色粒子・石英粒・白雲母片	良好	にぶい黄橙色	

（５）中世（第 176 図、第 80 表、図版 53）



第 176 図　中世遺構外出土遺物

第 80 表　中世遺構外出土遺物観察表

番号	出土遺構	種別	器種	部位	残存率（%）	法量（cm）			特徴・手法	胎土	焼成	色調	備考
						口径	底径	器高					
1	西側表土	土製品	不明	脚部ヵ	細片	－	－	－	脚状の突起。手づくね、ナデ整形。	白色粒子	良好	灰黄色	重量 4.78 g
2	西側表土	石製品	砥石	基部	－	長さ 5.4	幅 1.9	厚さ 2.0	仕上げ砥。使用面は１面。	－	－	－	凝灰岩製 重量 34.2 g
3	西側表土	金属製品	銭貨	－	100	長さ 1.7	幅 1.7	厚さ 0.17	昭和 15 年鋳造、１銭アルミ貨。	－	－	－	重量 2.0 g

第 81 表　出土遺物計量表

出土地点			1号住居跡		2号住居跡		3号住居跡		4号住居跡		5号住居跡		6号住居跡		7号住居跡		8号住居跡		9号住居跡		10号住居跡		11号住居跡	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢	2	12.5					4	42.7	1	22.4	3	52.5			2	18.3	1	16.1	36	523.7	23	251.3
		浅鉢							1	6.8													1	35.0
		小　計	2	12.5					5	49.5	1	22.4	3	52.5			2	18.3	1	16.1	36	523.7	24	286.3
	石器	石皿																						
		磨石																						
		敲石																						
		石錘																						
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																					1	13.3
		RF																	1	1.5				
		黒曜石製石核																						
		石英製石核																						
		黒曜石製剥片																						
		チャート製剥片																						
		玦状耳飾																						
		石剣																						
		小　計																	1	1.5			1	13.3
	土製品	土偶											1	36.8										
		管玉																						
		小　計											1	36.8										
小　計			2	12.5					5	49.5	1	22.4	4	89.3			2	18.3	2	17.6	36	523.7	25	299.6
弥生時代	弥生土器	壺	2	16.2					23	155.2	4	37.9	22	195.2	5	33.9	3	14.0	3	14.4	62	561.3	37	182.7
		高坏																						
		小　計	2	16.2					23	155.2	4	37.9	22	195.2	5	33.9	3	14.0	3	14.4	62	561.3	37	182.7
	土製品	紡錘車																						
		小　計																						
小　計			2	16.2					23	155.2	4	37.9	22	195.2	5	33.9	3	14.0	3	14.4	62	561.3	37	182.7
古墳時代・古代	須恵器	坏	2	6.0					19	77.6	1	9.9	2	70.9	4	19.1	5	16.3	4	14.6	9	18.3	12	63.3
		高台付坏																	1	9.3	1	8.3		
		高台付皿																						
		高台付盤																						
		高坏																						
		高盤																						
		鉢																	1	21.0	1	10.0		
		壺											1	8.0										
		高台付壺																						
		小型壺																						
		長頸壺																						
		甑																					6	248.7
		甕							5	122.6	1	13.1							1	11.1			3	57.3
		提瓶																						
		蓋	1	6.3							1	10.3									1	6.7	3	16.1
		円面硯																						
		小　計	3	12.3					24	200.2	3	33.3	3	78.9	4	19.1	5	16.3	7	56.0	12	43.3	24	385.4
	土師器	坏	26	235.9	3	14.1	1	4.8	150	914.2	32	654.2	61	361.8	10	95.8	14	48.2	12	54.3	81	578.5	113	702.9
		埦	1	14.8																	1	10.0		
		高台付坏													3	130.1			1	29.5			6	212.1
		高台付埦																						
		高台付皿																						
		高坏					1	7.3	9	150.1	47	3203.4	3	45.2							9	68.7	1	15.2
		器台							3	189.1														
		鉢																						
		台付甕																						
		小型壺																						
		坩																						
		甑																					2	95.0
		甕・壺	32	370.7	5	68.3	2	29.9	414	3472.7	157	1483.6	79	729.9	27	280.9	19	86.9	46	481.4	181	1793.0	132	1284.4
		蓋																						
		小　計	59	621.4	8	82.4	4	42.0	576	4726.1	236	5341.2	143	1136.9	43	506.8	33	135.1	59	565.2	272	2450.2	254	2309.6
	灰釉陶器	壺																						
		長頸壺																						
		高台付皿																						
		蓋																						
		小　計																						
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																					1	21.8
		凸面長縄圧痕													2	328.0								
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																						
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
		小　計													2	328.0							1	21.8
	土製品	ミニチュア土器壺・坩							1	63.4	3	165.4									2	31.0		
		移動式カマド																					1	255.9
		支脚																						
		紡錘車																						
		土玉																						
		勾玉																						
		羽口																						
		不明																						
		小　計							1	63.4	3	165.4									2	31.0	1	255.9
	石製品	支脚																					1	1451.6
		小　計																					1	1451.6
	鉄製品	釘																					1	1.2
		紡錘車																						
		鉄鏃																						
		刀子			1	5.9			1	8.1											1	9.9		
		不明																						
		小　計			1	5.9			1	8.1											1	9.9	1	1.2
	銅製品	銅鏡																						
		小　計																						
小　計			62	621.4	9	88.3	4	42.0	602	4997.8	242	5539.9	146	1215.8	49	853.9	38	151.4	66	621.2	287	2534.4	282	4425.5
中世	土師質土器	小皿																						
		内耳鍋																						
		小　計																						
小　計																								
近世	陶器	埦											1	7.1										
		皿																						
		壺																						
		擂鉢																						
		急須																						
		小　計											1	7.1										
	磁器	碗																						
		皿																						
		小　計																						
	瓦	軒桟瓦																						
		小　計																						
	金属製品	銭貨																						
		小　計																						
小　計													1	7.1										
時代不明	土製品	炉壁																						
		焼成土塊	1	11.3					11	45.3			7	10.3	1	4.5	2	4.8	2	13.8				
		不明																						
		小　計	1	11.3					11	45.3			7	10.3	1	4.5	2	4.8	2	13.8				
	石製品	砥石																						
		軽石																						
		小　計																						
	鉄製品	釘																						
		不明																						
		鉄滓																					2	5.0
		小　計																					2	5.0
	礫	石英									2	650.2	4	46.5							4	77.7	1	72.1
		片岩																			6	325.1		
		その他															3	2372.5	1	48.7	3	1240.1		
		小　計									2	650.2	4	46.5			3	2372.5	1	48.7	13	1642.9	1	72.1
小　計			1	11.3					11	45.3	2	650.2	11	56.8	1	4.5	5	2377.3	3	62.5	13	1642.9	3	77.1
総　計			67	673.7	9	88.3	4	42.0	641	5247.8	249	6250.4	184	1557.1	55	892.3	48	2561.0	74	715.7	398	5262.3	347	4984.9

出土地点			12号住居跡		13号住居跡		14号住居跡		15号住居跡		16号住居跡		17号住居跡		19号住居跡		20号住居跡		21号住居跡		22号住居跡		23号住居跡	
出土遺物			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
縄文時代	縄文土器	深鉢	16	172.5	2	10.6			1	11.8	2	7.7	2	35.8	12	64.1	9	67.7	6	44.5	10	84.4	3	25.1
		浅鉢																						
		小計	16	172.5	2	10.6			1	11.8	2	7.7	2	35.8	12	64.1	9	67.7	6	44.5	10	84.4	3	25.1
	石器	石皿													1	369.1								
		磨石																						
		敲石																						
		石錘																						
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																						
		RF																						
		黒曜石製石核																						
		石英製石核																						
		黒曜石製剥片																						
		チャート製剥片																			1	4.5		
		玦状耳飾																						
		石剣																						
		小計													1	369.1					1	4.5		
	土製品	土偶																						
		管玉																						
		小計																						
	小計		16	172.5	2	10.6			1	11.8	2	7.7	2	35.8	13	433.2	9	67.7	6	44.5	11	88.9	3	25.1
弥生時代	弥生土器	壺	72	557.1	2	33.8			2	7.0	10	72.8	37	405.6	18	139.2	3	19.5	8	47.2	27	176.3	4	35.5
		高坏																						
		小計	72	557.1	2	33.8			2	7.0	10	72.8	37	405.6	18	139.2	3	19.5	8	47.2	27	176.3	4	35.5
	土製品	紡錘車	1	13.2																				
		小計	1	13.2																				
	小計		73	570.3	2	33.8			2	7.0	10	72.8	37	405.6	18	139.2	3	19.5	8	47.2	27	176.3	4	35.5
古墳時代・古代	須恵器	坏	10	54.7	12	95.2	1	10.1			5	19.8	2	15.4	14	82.4	1	6.4	15	95.3	111	1143.7	10	47.8
		高台付坏			2	33.8									1	6.1	1	26.7			3	43.4		
		高台付皿																						
		高台付盤																			4	103.7		
		高坏																						
		高盤																						
		鉢			1	26.2	1	21.3					1	28.8	4	80.2					5	166.7		
		壺	4	145.0	1	9.2							1	8.5					1	14.3	4	43.0		
		高台付壺															1	278.3						
		小型壺																						
		長頸壺																						
		甑																						
		甕	1	17.8	8	235.4					1	3.9			4	260.1	5	90.4	6	57.5	73	2787.5	2	5.8
		提瓶	1	26.4																				
		蓋	1	15.6									1	21.2	4	74.0					9	85.8	1	4.1
		円面硯																						
		小計	17	259.5	24	399.8	2	31.4			6	23.7	5	73.9	27	502.8	8	401.8	22	167.1	209	4373.8	13	57.7
	土師器	坏	154	1047.2	80	538.0	9	37.1	13	79.3	40	197.0	35	483.3	33	174.8	78	670.6	24	152.4	79	439.8	57	738.6
		埦																					1	4.9
		高台付坏			6	224.6	1	20.7			3	137.7	1	11.9			20	402.1			3	43.5	19	383.2
		高台付埦									9	167.8												
		高台付皿															1	6.3					3	61.0
		高坏	73	2339.2	13	307.0	2	23.1					25	332.3	2	24.8					2	34.0		
		器台	2	41.1																				
		鉢			4	142.2							1	23.2	1	38.2			1	28.5				
		台付甕																						
		小型壺																						
		坩																						
		甑	2	64.9							5	218.6												
		甕・壺	797	11130.2	399	5148.3	31	217.7	67	696.0	347	6916.7	340	4244.2	106	652.1	125	1268.6	88	1904.6	325	5685.2	100	115.6
		蓋																						
		小計	1028	14622.6	502	6360.1	43	298.6	80	775.3	404	7637.8	402	5094.9	142	889.9	224	2347.6	113	2085.5	409	6202.5	180	1303.3
	灰釉陶器	壺	1	13.7																	3	14.2	1	167.1
		長頸壺																						
		高台付皿																						
		蓋																						
		小計	1	13.7																	3	14.2	1	167.1
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ			2	465.8															1	64.5		
		凸面長縄圧痕					1	87.5			1	38.0					1	745.6						
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																						
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
	小計				2	465.8	1	87.5			1	38.0					1	745.6			1	64.5		
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																						
		移動式カマド																						
		支脚																			2	540.7	4	673.8
		紡錘車	1	9.9																				
		土玉																						
		勾玉																						
		羽口											1	38.8										
		不明																			2	11.9		
		小計	1	9.9									1	38.8							4	552.6	4	673.8
	石製品	支脚			1	3322.1															1	140.2		
		小計			1	3322.1															1	140.2		
	鉄製品	釘	2	3.6							1	5.2											1	2.2
		紡錘車																						
		鉄鏃																						
		刀子																						
		不明															1	45.1						
		小計	2	3.6							1	5.2					1	45.1					1	2.2
	銅製品	銅鏡																						
		小計																						
	小計		1049	14909.3	529	10547.8	46	417.5	80	775.3	412	7704.7	408	5207.6	169	1392.7	234	3540.1	135	2252.6	627	11347.8	199	2204.1
中世	土師質土器	小皿																						
		内耳鍋																						
		小計																						
	小計																							
近世	陶器	埦																						
		皿																						
		壺																						
		擂鉢																						
		急須																						
		小計																						
	磁器	碗																						
		皿																						
		小計																						
	瓦	軒桟瓦																						
		小計																						
	金属製品	銭貨																						
		小計																						
	小計																							
時代不明		炉壁																					1	93.3
	土製品	焼成土塊	12	55.7	2	21.7							3	44.5	2	10.3	1	6.1	4	21.2	15	67.2	2	24.4
		不明																						
		小計	12	55.7	2	21.7							3	44.5	2	10.3	1	6.1	4	21.2	15	67.2	3	117.7
	石製品	砥石																						
		軽石																						
		小計																						
	鉄製品	釘																						
		不明																						
		鉄滓											1	11.7			1	18.6					2	14.5
		小計											1	11.7			1	18.6					2	14.5
	礫	石英	2	173.1									1	3.2	3	15.6	3	16.2	1	3.2				
		片岩																						
		その他							1	24.1					1	161.6	1	3800.5						
		小計	2	173.1					1	24.1			1	3.2	4	177.2	4	3816.7	1	3.2				
	小計		14	228.8	2	21.7			1	24.1			5	59.4	6	187.5	6	3825.2	5	24.4	15	67.2	5	132.2
総計			1152	15880.9	535	10613.9	46	417.5	84	818.2	424	7785.2	452	5708.4	206	2152.6	252	7452.5	154	2368.7	680	11680.2	211	2396.9

出土地点			24号住居跡		25号住居跡		26号住居跡		27号住居跡		28号住居跡		29号住居跡		30号住居跡		31号住居跡		32号住居跡		33号住居跡		34号住居跡	
出土遺物			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
縄文時代	縄文土器	深鉢	16	260.0	18	243.5	56	577.1			47	767.0	16	158.8	7	59.0	26	178.9	13	148.1	17	142.9	17	97.5
		浅鉢									1	46.5	1	26.0					1	19.4				
		小計	16	260.0	18	243.5	56	577.1			48	813.5	17	184.8	7	59.0	26	178.9	14	167.5	17	142.9	17	97.5
	石器	石皿																						
		磨石																						
		敲石																						
		石鏃					1	1.2																
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																						
		RF																	1	104.4				
		黒曜石製石核																						
		石英製石核																						
		黒曜石製剥片																						
		チャート製剥片																						
		玦状耳飾																						
		石剣																						
		小計					1	1.2											1	104.4				
	土製品	土偶																						
		管玉																						
		小計																						
	小計		16	260.0	18	243.5	57	578.3			48	813.5	17	184.8	7	59.0	26	178.9	15	271.9	17	142.9	17	97.5
弥生時代	弥生土器	壺	8	37.2	16	156.6	33	364.0	4	35.3	13	143.5	12	56.2	20	130.8	27	245.0	18	130.5	7	66.4	8	37.8
		高坏																						
		小計	8	37.2	16	156.6	33	364.0	4	35.3	13	143.5	12	56.2	20	130.8	27	245.0	18	130.5	7	66.4	8	37.8
	土製品	紡錘車																						
		小計																						
	小計		8	37.2	16	156.6	33	364.0	4	35.3	13	143.5	12	56.2	20	130.8	27	245.0	18	130.5	7	66.4	8	37.8
古墳時代・古代	須恵器	坏	26	78.5	45	304.3	3	24.5	1	5.5	49	819.3	10	76.8	13	51.2	23	266.0	14	150.4	2	4.1	3	19.7
		高台付坏			16	132.3					1	33.9	1	2.7	2	36.3								
		高台付皿																						
		高台付盤													1	125.0								
		高坏	2	23.5													1	18.3						
		高盤																						
		鉢	6	54.5	3	54.1			1	22.2	4	152.2	4	74.9	1	63.2								
		壺									1	50.7	1	10.5					1	9.1				
		高台付壺																						
		小型壺																						
		長頸壺																	1	273.2				
		甑											6	160.1										
		甕	6	134.4			2	128.4	2	59.4	27	498.5	14	615.0	10	52.2	7	159.8	2	282.3			2	92.9
		提瓶															1	76.0	2	104.9				
		蓋			3	22.5			2	32.1	5	88.1	5	112.4	2	4.3	3	44.2	4	40.6			3	18.5
		円面硯																	1	134.6				
		小計	40	290.9	67	513.2	5	152.9	6	119.2	87	1642.7	41	1052.4	29	332.2	35	564.3	25	995.1	2	4.1	8	131.1
	土師器	坏	218	808.2	151	1243.2	190	1141.3	10	82.1	43	648.9	124	738.4	104	445.1	104	758.2	39	286.3	11	29.1	13	31.3
		埦					1	21.1					1	195.0			3	152.0						
		高台付坏	31	721.9	8	327.4			3	106.6	5	72.3	8	107.5	15	366.5					1	2.0	1	13.5
		高台付埦	4	187.1																				
		高台付皿																						
		高坏					1	2.9													2	21.6	1	9.3
		器台															1	92.3						
		鉢					1	103.2							1	7.1	2	134.9	3	164.4				
		台付甕															1	17.3						
		小型壺															1	76.6						
		坩																						
		甑			1	6.3											3	21.3						
		甕・壺	270	2324.2	356	3271.0	248	3875.2	40	909.7	339	4655.4	306	3002.4	218	1329.5	288	4240.3	106	2052.0	69	468.5	72	1245.7
		蓋							1	5.4														
		小計	523	4041.4	516	4847.9	441	5143.7	54	1103.8	387	5376.6	439	4043.3	338	2148.2	403	5492.9	148	2502.7	83	521.2	87	1299.8
	灰釉陶器	壺			1	27.6			3	21.3	1	9.3	3	21.5	1	23.9							1	10.5
		長頸壺	2	343.7																				
		高台付皿																			1	36.4		
		蓋																					1	6.0
		小計	2	343.7	1	27.6			3	21.3	1	9.3	3	21.5	1	23.9					1	36.4	2	16.5
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ	9	247.9	1	90.1			2	109.6			3	90.2			1	58.2						
		凸面長縄圧痕	3	121.3					1	73.5			1	518.1	1	238.8	1	64.1						
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕							1	42.1														
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
		小計	12	369.2	1	90.1			4	225.2			4	608.3	1	238.8	2	122.3						
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																						
		移動式カマド											5	357.2										
		支脚																						
		紡錘車																						
		土玉					2	3.2																
		勾玉																						
		羽口																						
		不明			2	82.0											1	1.6						
		小計			2	82.0	2	3.2					5	357.2			1	1.6						
	石製品	支脚	2	3768.3					1	4890.2	1	329.1												
		小計	2	3768.3					1	4890.2	1	329.1												
	鉄製品	釘							2	11.0											1	13.3		
		紡錘車	1	8.9																				
		鉄鏃					1	5.6													1	11.1		
		刀子																						
		不明																						
		小計	1	8.9			1	5.6	2	11.0											2	24.4		
	銅製品	銅鏡	6	39.9																				
		小計	6	39.9																				
	小計		586	8862.3	587	5560.8	449	5305.4	70	6370.7	476	7357.7	492	6082.7	368	2743.1	441	6181.1	173	3497.8	88	586.1	97	1447.4
中世	土師質土器	小皿																						
		内耳鍋																						
		小計																						
	小計																							
近世	陶器	埦																						
		皿	1	8.9																	1	2.7		
		壺																						
		擂鉢													1	12.8								
		急須	1	3.1																				
		小計	2	12.0											1	12.8					1	2.7		
	磁器	碗																						
		皿																						
		小計																						
	瓦	軒桟瓦	2	27.6																				
		小計	2	27.6																				
	金属製品	銭貨																						
		小計																						
	小計		4	39.6											1	12.8					1	2.7		
時代不明	土製品	炉壁																						
		焼成土塊			10	30.9			36	154.8	6	56.1	9	29.1			17	64.3	4	18.3				
		不明																						
		小計			10	30.9			36	154.8	6	56.1	9	29.1			17	64.3	4	18.3				
	石製品	砥石																	1	101.5				
		軽石																						
		小計																	1	101.5				
	鉄製品	釘																						
		不明																						
		鉄滓																	1	84.2				
		小計																	1	84.2				
	礫	石英	2	12.5	2	17.9			2	121.2	1	65.1					2	155.1	1	29.1				
		片岩	1	16.1			6	136.5									1	26.2	2	221.2	2	784.3	1	13.2
		その他			3	733.0	2	839.1	2	7333.5														
		小計	3	28.6	5	750.9	8	975.6	4	7454.7	1	65.1					3	181.3	3	250.3	2	784.3	1	13.2
	小計		3	28.6	15	781.8	8	975.6	40	7609.5	7	121.2	9	29.1			20	245.6	9	454.3	2	784.3	1	13.2
総計			617	9227.7	636	6742.7	547	7223.3	114	14015.5	544	8435.9	530	6352.8	365	2945.7	514	6850.6	215	4354.5	115	1582.4	123	1595.9

出土地点			35号住居跡		36号住居跡		37号住居跡		38号住居跡		1号掘立柱建物跡		1号溝		2号溝		3号溝		4号溝		1号道路状遺構		4号土坑	
出土遺物			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
縄文時代	縄文土器	深鉢	3	58.1	2	34.9			24	185.0	1	23.2	120	1591.4			2	30.1	1	8.5	3	28.1		
		浅鉢																						
		小計	3	58.1	2	34.9			24	185.0	1	23.2	120	1591.4			2	30.1	1	8.5	3	28.1		
	石器	石皿																						
		磨石																						
		敲石											1	418.0										
		石錘																						
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																						
		RF																						
		黒曜石製石核																						
		石英製石核											1	49.5										
		黒曜石製剥片							2	2.4			1	1.6										
		チャート製剥片					1	3.7					1	8.5										
		玦状耳飾											2	34.5										
		石剣																						
		小計					1	3.7	2	2.4			6	512.1										
	土製品	土偶																						
		晋玉																						
		小計																						
小計			3	58.1	2	34.9	1	3.7	26	187.4	1	23.2	126	2103.5			2	30.1	1	8.5	3	28.1		
弥生時代	弥生土器	壺	12	137.9	1	27.2	2	24.3	187	2403.0			592	1726.6					1	5.0	7	37.5	1	3.3
		高坏											1	187.0										
		小計	12	137.9	1	27.2	2	24.3	187	2403.0			593	1913.6					1	5.0	7	37.5	1	3.3
	土製品	紡錘車													1	35.5								
		小計													1	35.5								
小計			12	137.9	1	27.2	2	24.3	187	2403.0			593	1913.6	1	35.5			1	5.0	7	37.5	1	3.3
古墳時代・古代	須恵器	坏	15	40.1			1	31.5					5	37.5	1	2.2	1	3.2			13	70.5	1	1.2
		高台付坏																						
		高台付皿																						
		高台付盤	2	190.8																				
		高坏																						
		高盤																						
		鉢	2	10.9																	1	10.0		
		壺																			2	8.7		
		高台付壺																						
		小型壺																						
		長頸壺																						
		甑																						
		甕	6	46.8			2	305.6					2	51.3			1	9.5			2	99.9		
		提瓶																						
		蓋					3	76.9					1	9.1			1	98.3						
		円面硯											1	57.4										
		小計	25	288.6			6	414.0					9	155.3	1	2.2	3	111.0			18	189.1	1	1.2
	土師器	坏	47	683.5	1	6.1	11	75.5	5	16.9			61	1148.1	6	46.7	13	99.4	4	17.2	24	92.1	7	46.0
		埦	2	152.3																				
		高台付坏	9	167.5									1	19.3							1	5.5		
		高台付埦																						
		高台付皿																						
		高坏	5	184.0									228	9502.9							2	21.0		
		器台											11	1165.4										
		鉢					2	54.1																
		台付甕																			1	16.3		
		小型壺											18	1029.2										
		坩											79	1086.5										
		甑											1	187.0										
		甕・壺	405	7211.8	3	15.5	11	145.2	7	136.4	8	411.5	362	7379.8	19	134.5	32	383.2	22	137.5	197	1585.1	17	122.2
		蓋																						
		小計	468	8399.1	4	21.6	24	274.8	12	153.3	8	41.5	761	21518.2	25	181.2	45	482.6	26	154.7	225	1720.0	24	168.2
	灰釉陶器	壺																	1	4.2				
		長頸壺																						
		高台付皿																						
		蓋																						
		小計																	1	4.2				
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ	1	61.4																	1	37.5		
		凸面長縄圧痕																						
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	玻斗瓦	凸面長縄圧痕																						
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
	小計		1	61.4																	1	37.5		
	土製品	ミニチュア土器壺・坩											1	9.4										
		移動式カマド																						
		支脚					1	55.3																
		紡錘車																						
		土玉																						
		勾玉																			1	2.6		
		羽口																						
		不明																						
		小計					1	55.3					1	9.4							1	2.6		
	石製品	支脚																						
		小計																						
	鉄製品	釘																						
		紡錘車																						
		鉄鏃																						
		刀子																						
		不明																						
		小計																						
	銅製品	銅鏡																						
		小計																						
小計			494	8749.1	4	21.6	31	744.1	12	153.3	8	41.5	771	21682.9	26	183.4	48	593.6	27	158.9	245	1949.2	25	169.4
中世	土師質土器	小皿	6	12.0																				
		内耳鍋																						
		小計	6	12.0																				
小計			6	12.0																				
近世	陶器	埦	1	3.1																				
		皿															1	5.2						
		壺																						
		擂鉢																						
		急須																						
		小計	1	3.1													1	5.2						
	磁器	碗	1	4.7													1	2.3						
		皿																						
		小計	1	4.7													1	2.3						
	瓦	軒桟瓦															1	21.5						
		小計															1	21.5						
	金属製品	銭貨																						
		小計																						
小計			2	7.8													3	29.0						
時代不明	土製品	炉壁																						
		焼成土塊	1	7.7					1	3.2			5	41.9	1	9.1	1	4.1						
		不明											1	73.9										
		小計	1	7.7					1	3.2			6	115.8	1	9.1	1	4.1						
	石製品	砥石																						
		軽石																			1	15.2		
		小計																			1	15.2		
	鉄製品	釘																						
		不明											1	17.7										
		鉄滓																						
		小計											1	17.7										
	礫	石英	3	22.4					16	189.5			5	197.0			1	16.2			4	146.0		
		片岩	1	13.0									3	269.1							1	42.2		
		その他	5	3916.8					2	353.2			27	6069.5										
		小計	9	3952.2					18	542.7			35	6535.6			1	16.2			5	188.2		
小計			10	3959.9					19	545.9			42	6669.1	1	9.1	2	20.3			6	203.4		
総計			527	12924.8	7	83.7	34	772.1	244	3289.6	9	64.7	1532	32369.1	28	228.0	55	673.0	29	172.4	261	2218.2	26	172.7

出土地点			5号土坑		6号土坑		8号土坑		9号土坑		10号土坑		12号土坑		13号土坑		14号土坑		15号土坑		18号土坑		20号土坑	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢					2	18.3			5	41.3			1	4.5	8	75.4			2	23.6		
		浅鉢																						
		小　計					2	18.3			5	41.3			1	4.5	8	75.4			2	23.6		
	石器	石皿																						
		磨石																						
		敲石																						
		石錘																						
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																						
		RF																						
		黒曜石製石核																						
		石英製石核																						
		黒曜石製剥片																						
		チャート製剥片																						
		玦状耳飾																						
		石剣																						
		小　計																						
	土製品	土偶																						
		管玉					1	5.4																
		小　計					1	5.4																
小　計							3	23.7			5	41.3			1	4.5	8	75.4			2	23.6		
弥生時代	弥生土器	壺									3	19.1					4	36.0						
		高坏																						
		小　計									3	19.1					4	36.0						
	土製品	紡錘車																						
		小　計																						
小　計											3	19.1					4	36.0						
古墳時代・古代	須恵器	坏					1	26.7			1	1.3			1	35.0	2	5.2					1	1.4
		高台付坏													1	45.8								
		高台付皿																						
		高台付盤																						
		高坏																						
		高盤																						
		鉢													1	17.1								
		壺															1	82.8						
		高台付壺																						
		小型壺																						
		長頸壺																						
		甑																						
		甕							1	13.6							2	5.1						
		提瓶																						
		蓋																						
		円面硯																						
		小　計					1	26.7	1	13.6	1	1.3			3	97.9	5	93.1					1	1.4
	土師器	坏									7	27.4			3	30.7	18	83.4					10	31.9
		埦																						
		高台付坏									1	6.6	1	7.5	2	86.3	15	91.3						
		高台付埦																						
		高台付皿																						
		高坏																			1	2.5		
		器台																						
		鉢																						
		台付甕																						
		小型壺																						
		坩																						
		甑																						
		甕・壺	3	15.8	1	5.9	1	6.7	2	23.0	28	136.1			3	47.2	44	426.5	2	13.2	1	4.2	11	71.3
		蓋																						
		小　計	3	15.8	1	5.9	1	6.7	2	23.0	36	170.1	1	7.5	8	164.2	77	601.2	2	13.2	2	6.7	21	103.2
	灰釉陶器	壺																						
		長頸壺																						
		高台付皿																						
		蓋																						
		小　計																						
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
		凸面長縄圧痕																						
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																						
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
		小　計																						
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																						
		移動式カマド																						
		支脚																						
		紡錘車																						
		土玉																						
		勾玉																						
		羽口																						
		不明																						
		小　計																						
	石製品	支脚																						
		小　計																						
	鉄製品	釘																						
		紡錘車																						
		鉄鏃																						
		刀子																						
		不明																						
		小　計																						
	銅製品	銅鏡																						
		小　計																						
小　計			3	15.8	1	5.9	2	33.4	3	36.6	37	171.4	1	7.5	11	262.1	82	694.3	2	13.2	2	6.7	22	104.6
中世	土師質土器	小皿																						
		内耳鍋																						
		小　計																						
小　計																								
近世	陶器	埦																						
		皿																						
		壺																						
		擂鉢																						
		急須																						
		小　計																						
	磁器	碗																						
		皿																						
		小　計																						
	瓦	軒桟瓦																						
		小　計																						
	金属製品	銭貨																						
		小　計																						
小　計																								
時代不明	土製品	炉壁																						
		焼成土塊									1	13.2												
		不明																						
		小　計									1	13.2												
	石製品	砥石																						
		軽石																						
		小　計																						
	鉄製品	釘																						
		不明																						
		鉄滓																						
		小　計																						
	礫	石英																						
		片岩																						
		その他																						
		小　計																						
小　計											1	13.2												
総　計			3	15.8	1	5.9	5	57.1	3	36.6	46	245.0	1	7.5	12	266.6	94	805.7	2	13.2	4	30.3	22	104.6

出土地点			21号土坑		22号土坑		23号土坑		24号土坑		25号土坑		26号土坑		27号土坑		28号土坑		30号土坑		31号土坑		33号土坑	
出土遺物			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
縄文時代	縄文土器	深鉢			1	7.7			2	36.1			2	12.0									10	84.2
		浅鉢																						
		小計			1	7.7			2	36.1			2	12.0									10	84.2
	石器	石皿																						
		磨石																						
		敲石																						
		石錘																						
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																						
		RF																						
		黒曜石製石核	1	9.7																				
		石英製石核																						
		黒曜石製剥片																					1	0.4
		チャート製剥片																					2	14.9
		玦状耳飾																						
		石剣																						
		小計	1	9.7																			3	15.3
	土製品	土偶																						
		管玉																						
		小計																						
小計			1	9.7	1	7.7			2	36.1			2	12.0									13	99.5
弥生時代	弥生土器	壺	3	32.1	4	21.7					2	10.1	1	3.1	3	9.6					2	6.6	5	53.6
		高坏																						
		小計	3	32.1	4	21.7					2	10.1	1	3.1	3	9.6					2	6.6	5	53.6
	土製品	紡錘車																						
		小計																						
小計			3	32.1	4	21.7					2	10.1	1	3.1	3	9.6					2	6.6	5	53.6
古墳時代・古代	須恵器	坏	2	4.0			2	4.4	8	26.6			2	5.0					1	4.5	1	4.8	10	60.7
		高台付坏																						
		高台付皿																						
		高台付盤																						
		高坏																						
		高盤																						
		鉢											2	46.6	2	33.0			1	6.6			1	5.3
		壺																					5	82.2
		高台付壺																						
		小型壺																						
		長頸壺																						
		甑																						
		甕	1	8.3									3	111.1									5	114.3
		提瓶																						
		蓋	1	14.5									1	14.8									3	22.2
		円面硯																						
		小計	4	26.8			2	4.4	8	26.6			8	177.5	2	33.0			2	11.1	1	4.8	24	284.7
	土師器	坏	13	88.2	16	129.4	2	2.7	4	20.7	2	6.2	8	167.7	4	29.3			4	7.4	2	7.4	13	82.8
		埦			2	11.0																		
		高台付坏	1	10.4					1	10.5			2	8.0	1	1.5							2	28.1
		高台付埦																						
		高台付皿																						
		高坏																						
		器台																						
		鉢																						
		台付甕																						
		小型壺																						
		坩																						
		甑													1	15.2								
		甕・壺	29	197.7	14	72.9	4	30.0	23	213.5	1	8.4	18	100.0	10	82.6	1	7.3	15	186.1	18	210.0	92	920.3
		蓋																						
		小計	43	296.3	32	213.3	6	32.7	28	244.7	3	14.6	28	275.7	16	128.6	1	7.3	19	193.5	20	217.4	107	1031.2
	灰釉陶器	壺																			1	15.6		
		長頸壺																						
		高台付皿																						
		蓋																						
		小計																			1	15.6		
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ											2	68.6										
		凸面長縄圧痕																						
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																						
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
		小計											2	68.6										
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																						
		移動式カマド																						
		支脚																						
		紡錘車																						
		土玉																						
		勾玉																						
		羽口																						
		不明																						
		小計																						
	石製品	支脚																						
		小計																						
	鉄製品	釘																						
		紡錘車																						
		鉄鏃																						
		刀子																						
		不明																						
		小計																						
	銅製品	銅鏡																						
		小計																						
小計			47	323.1	32	213.3	8	37.1	36	271.3	3	14.6	38	521.8	18	161.6	1	7.3	21	204.6	22	237.8	131	1315.9
中世	土師質土器	小皿																	2	40.5	2	24.7		
		内耳鍋																					1	115.2
		小計																	2	40.5	2	24.7	1	115.2
小計																			2	40.5	2	24.7	1	115.2
近世	陶器	埦																						
		皿																						
		壺																						
		擂鉢																						
		急須																						
		小計																						
	磁器	碗																						
		皿																						
		小計																						
	瓦	軒桟瓦																						
		小計																						
	金属製品	銭貨																						
		小計																						
小計																								
時代不明	土製品	炉壁																						
		焼成土塊																						
		不明																						
		小計																						
	石製品	砥石																						
		軽石																						
		小計																						
	鉄製品	釘																						
		不明																						
		鉄滓									1	8.3												
		小計									1	8.3												
	礫	石英																					3	119.9
		片岩																						
		その他																						
		小計																					3	119.9
小計											1	8.3											3	119.9
総計			51	364.9	37	242.7	8	37.1	38	307.4	6	33.0	41	536.9	21	171.2	1	7.3	23	245.1	26	269.1	153	1704.1

出土地点			34号土坑		35号土坑		38号土坑		39号土坑		1号ピット		2号ピット		10号ピット		15号ピット		23号ピット		32号ピット		34号ピット	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢													1	9.1	1	3.4			1	5.6		
		浅鉢																						
		小計													1	9.1	1	3.4			1	5.6		
	石器	石皿																						
		磨石																						
		敲石																						
		石錘																						
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																						
		RF																						
		黒曜石製石核																						
		石英製石核																						
		黒曜石製剥片																						
		チャート製剥片																						
		玦状耳飾																						
		石剣																						
		小計																						
	土製品	土偶																						
		管玉																						
		小計																						
	小計														1	9.1	1	3.4			1	5.6		
弥生時代	弥生土器	壺											1	25.3										
		高坏																						
		小計											1	25.3										
	土製品	紡錘車																						
		小計																						
	小計												1	25.3										
古墳時代・古代	須恵器	坏					2	2.1	2	21.0														
		高台付坏																						
		高台付皿																						
		高台付盤																						
		高坏																						
		高盤																						
		鉢																						
		壺																						
		高台付壺																						
		小型壺																						
		長頸壺																						
		甑																						
		甕																						
		提瓶																						
		蓋							1	2.9														
		円面硯																						
		小計					2	2.1	3	23.9														
	土師器	坏					3	6.0	2	9.0													1	6.0
		塊																						
		高台付坏									1	105.9												
		高台付塊																						
		高台付皿																						
		高坏																						
		器台																						
		鉢																						
		台付甕																						
		小型壺																						
		坩																						
		甑																						
		甕・壺	1	6.0	1	5.2	10	47.0	3	26.6	3	10.7					2	18.4	1	5.9			3	9.3
		蓋																						
		小計	1	6.0	1	5.2	13	53.0	5	35.6	4	116.6					2	18.4	1	5.9			4	15.3
	灰釉陶器	壺																						
		長頸壺																						
		高台付皿																						
		蓋																						
		小計																						
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
		凸面長縄圧痕																						
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																						
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
		小計																						
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																						
		移動式カマド																						
		支脚																						
		紡錘車																						
		土玉																						
		勾玉																						
		羽口																						
		不明																						
		小計																						
	石製品	支脚																						
		小計																						
	鉄製品	釘																						
		紡錘車																						
		鉄鏃																						
		刀子																						
		不明																						
		小計																						
	銅製品	銅鋺																						
		小計																						
	小計		1	6.0	1	5.2	15	55.1	8	59.5	4	116.6					2	18.4	1	5.9			4	15.3
中世	土師質土器	小皿																						
		内耳鍋																						
		小計																						
	小計																							
近世	陶器	塊																						
		皿																						
		壺																						
		擂鉢																						
		急須																						
		小計																						
	磁器	碗																						
		皿																						
		小計																						
	瓦	軒桟瓦																						
		小計																						
	金属製品	銭貨																						
		小計																						
	小計																							
時代不明	土製品	炉壁																						
		焼成土塊																						
		不明																						
		小計																						
	石製品	砥石																						
		軽石																						
		小計																						
	鉄製品	釘																						
		不明																						
		鉄滓																						
		小計																						
	礫	石英																			1	2.2		
		片岩																						
		その他																						
		小計																			1	2.2		
	小計																				1	2.2		
総計			1	6.0	1	5.2	15	55.1	8	59.5	4	116.6	1	25.3	1	9.1	3	21.8	1	5.9	2	7.8	4	15.3

出土地点			37号ピット		40号ピット		42号ピット		48号ピット		50号ピット		51号ピット		60号ピット		66号ピット		67号ピット		69号ピット		76号ピット	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢					1	5.7																
		浅鉢																						
		小　計					1	5.7																
	石器	石皿																						
		磨石																						
		敲石																						
		石錘																						
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																						
		RF																						
		黒曜石製石核																						
		石英製石核																						
		黒曜石製剥片																						
		チャート製剥片																						
		玦状耳飾																						
		石剣																						
		小　計																						
	土製品	土偶																						
		管玉																						
		小　計																						
	小　計						1	5.7																
弥生時代	弥生土器	壺															1	8.3						
		高坏																						
		小　計															1	8.3						
	土製品	紡錘車																						
		小　計																						
	小　計																1	8.3						
古墳時代・古代	須恵器	坏																			1	4.0		
		高台付坏																						
		高台付皿																						
		高台付盤																						
		高坏																						
		高盤																						
		鉢																						
		壺																						
		高台付壺																						
		小型壺																						
		長頸壺																						
		甑																						
		甕													3	21.2								
		提瓶																						
		蓋					1	4.2																
		円面硯																						
		小　計					1	4.2							3	21.2					1	4.0		
	土師器	坏					2	9.8			1	13.1												
		埦																						
		高台付坏																						
		高台付埦																						
		高台付皿																						
		高坏																						
		器台																						
		鉢																						
		台付甕																						
		小型壺																						
		坩																						
		甑																						
		甕・壺	1	1.1	2	11.3	5	22.1	1	19.3			1	3.1					1	1.1			1	15.1
		蓋																						
		小　計	1	1.1	2	11.3	7	31.9	1	19.3	1	13.1	1	3.1					1	1.1			1	15.1
	灰釉陶器	壺																						
		長頸壺																						
		高台付皿																						
		蓋																						
		小　計																						
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
		凸面長縄圧痕																						
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																						
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
		小　計																						
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																						
		移動式カマド																						
		支脚																						
		紡錘車																						
		土玉																						
		勾玉																						
		羽口																						
		不明																						
		小　計																						
	石製品	支脚																						
		小　計																						
	鉄製品	釘																						
		紡錘車																						
		鉄鏃																						
		刀子																						
		不明																						
		小　計																						
	銅製品	銅鏡																						
		小　計																						
	小　計		1	1.1	2	11.3	8	36.1	1	19.3	1	13.1	1	3.1	3	21.2			1	1.1	1	4.0	1	15.1
中世	土師質土器	小皿																						
		内耳鍋																						
		小　計																						
	小　計																							
近世	陶器	埦																						
		皿																						
		壺																						
		擂鉢																						
		急須																						
		小　計																						
	磁器	碗																						
		皿																						
		小　計																						
	瓦	軒桟瓦																						
		小　計																						
	金属製品	銭貨																						
		小　計																						
	小　計																							
時代不明		炉壁																						
	土製品	焼成土塊																						
		不明																						
		小　計																						
	石製品	砥石																						
		軽石																						
		小　計																						
	鉄製品	釘																						
		不明																						
		鉄滓																						
		小　計																						
	礫	石英																						
		片岩																						
		その他																						
		小　計																						
	小　計																							
総　計			1	1.1	2	11.3	9	41.8	1	19.3	1	13.1	1	3.1	3	21.2	1	8.3	1	1.1	1	4.0	1	15.1

出土地点			79号ピット		80号ピット		82号ピット		90号ピット		97号ピット		101号ピット		108号ピット		109号ピット		115号ピット		116号ピット	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢																				
		浅鉢																				
		小　計																				
	石　器	石皿																				
		磨石																				
		敲石																				
		石錐																				
		スクレイパー																				
		チャート製楔形石器																				
		RF																				
		黒曜石製石核																				
		石英製石核																				
		黒曜石製剥片																				
		チャート製剥片																				
		玦状耳飾																				
		石剣																				
		小　計																				
	土　製　品	土偶																				
		管玉																				
		小　計																				
	小　計																					
弥生時代	弥生土器	壺																			1	5.9
		高坏																				
		小　計																			1	5.9
	土　製　品	紡錘車																				
		小　計																				
	小　計																				1	5.9
古墳時代・古代	須　恵　器	坏															1	4.4				
		高台付坏																				
		高台付皿																				
		高台付盤																				
		高坏																				
		高盤																				
		鉢																				
		壺																				
		高台付壺																				
		小型壺																				
		長頸壺																				
		甕																				
		甑																				
		提瓶																				
		蓋					1	17.4														
		円面硯																				
		小　計					1	17.4									1	4.4				
	土　師　器	坏																				
		埦																				
		高台付坏																				
		高台付埦																				
		高台付皿																				
		高坏																				
		器台																				
		鉢																				
		台付甕																				
		小型壺																				
		坩																				
		甑																				
		甕・壺	1	1.6	2	21.3			1	2.9	1	2.9	22	354.4	2	5.4			1	11.1		
		蓋																				
	小　計		1	1.6	2	21.3			1	2.9	1	2.9	22	354.4	2	5.4			1	11.1		
	灰釉陶器	壺																				
		長頸壺																				
		高台付皿																				
		蓋																				
		小　計																				
	平　瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
		凸面長縄圧痕																				
		凸面平行叩き																				
	丸　瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																				
	軒平瓦	型式不明																				
	瓦製品	塼																				
	小　計																					
	土　製　品	ミニチュア土器壺・坩																				
		移動式カマド																				
		支脚																				
		紡錘車																				
		土玉																				
		勾玉																				
		羽口																				
		不明																				
		小　計																				
	石　製　品	支脚																				
		小　計																				
	鉄　製　品	釘																				
		紡錘車																				
		鉄鏃																				
		刀子																				
		不明																				
		小　計																				
	銅　製　品	銅鏡																				
		小　計																				
	小　計		1	1.6	2	21.3	1	17.4	1	2.9	1	2.9	22	354.4	2	5.4	1	4.4	1	11.1		
中世	土師質土器	小皿																				
		内耳鍋																				
		小　計																				
	小　計																					
近世	陶　器	埦																				
		皿																				
		壺																				
		擂鉢																				
		急須																				
		小　計																				
	磁　器	碗																				
		皿																				
		小　計																				
	瓦	軒桟瓦																				
		小　計																				
	金属製品	銭貨																				
		小　計																				
	小　計																					
時代不明	土　製　品	炉壁																				
		焼成土塊																				
		不明																				
		小　計																				
	石　製　品	砥石																				
		軽石																				
		小　計																				
	鉄　製　品	釘																				
		不明																				
		鉄滓																				
		小　計																				
	礫	石英																				
		片岩																				
		その他																				
		小　計																				
	小　計																					
総　計			1	1.6	2	21.3	1	17.4	1	2.9	1	2.9	22	354.4	2	5.4	1	4.4	1	11.1	1	5.9

出土地点			119号ピット		120号ピット		123号ピット		126号ピット		127号ピット		128号ピット		129号ピット		131号ピット		134号ピット		135号ピット	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢																				
		浅鉢																				
		小　計																				
	石　器	石皿																				
		磨石																				
		敲石																				
		石錘																				
		スクレイパー																				
		チャート製楔形石器																				
		ＲＦ																				
		黒曜石製石核																				
		石英製石核																				
		黒曜石製剥片																				
		チャート製剥片																				
		玦状耳飾																				
		石剣																				
		小　計																				
	土　製　品	土偶																				
		管玉																				
		小　計																				
	小　計																					
弥生時代	弥生土器	壺			1	3.5			2	22.9												
		高坏																				
		小　計			1	3.5			2	22.9												
	土　製　品	紡錘車																				
		小　計																				
	小　計				1	3.5			2	22.9												
古墳時代・古代	須　恵　器	坏	1	5.1																		
		高台付坏																				
		高台付皿																				
		高台付盤																				
		高坏																				
		高盤																				
		鉢															1	85.6				
		壺																				
		高台付壺																				
		小型壺																				
		長頸壺																				
		甕																				
		甑																				
		提瓶					1	37.0														
		蓋																				
		円面硯																				
		小　計	1	5.1			1	37.0									1	85.6				
	土　師　器	坏							1	26.3			1	4.9	1	3.3						
		埦																				
		高台付坏																				
		高台付埦																				
		高台付皿																				
		高坏																				
		器台																				
		鉢																				
		台付甕																				
		小型壺																				
		坩																				
		甑																				
		甕・壺	1	6.1			1	8.2	2	9.0	1	2.9	2	12.0			1	13.0	2	19.0	2	17.9
		蓋																				
	小　計		1	6.1			1	8.2	3	35.3	1	2.9	3	16.9	1	3.3	1	13.0	2	19.0	2	17.9
	灰釉陶器	壺																				
		長頸壺																				
		高台付皿																				
		蓋																				
		小　計																				
	平　瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
		凸面長縄圧痕																				
		凸面平行叩き																				
	丸　瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																				
	軒平瓦	型式不明																				
	瓦製品	塼																				
		小　計																				
	土　製　品	ミニチュア土器壺・坩																				
		移動式カマド																				
		支脚																				
		紡錘車																				
		土玉																				
		勾玉																				
		羽口																				
		不明																				
		小　計																				
	石　製　品	支脚																				
		小　計																				
	鉄　製　品	釘																				
		紡錘車																				
		鉄鏃																				
		刀子																				
		不明																				
		小　計																				
	銅　製　品	銅鏡																				
		小　計																				
	小　計		2	11.2			2	45.2	3	35.3	1	2.9	3	16.9	1	3.3	2	98.6	2	19.0	2	17.9
中世	土師質土器	小皿																				
		内耳鍋																				
		小　計																				
	小　計																					
近世	陶　器	埦																				
		皿																				
		壺																				
		擂鉢																				
		急須																				
		小　計																				
	磁　器	碗																				
		皿																				
		小　計																				
	瓦	軒桟瓦																				
		小　計																				
	金属製品	銭貨																				
		小　計																				
	小　計																					
時代不明	土　製　品	炉壁																				
		焼成土塊					1	4.3														
		不明																				
		小　計					1	4.3														
	石　製　品	砥石																				
		軽石																				
		小　計																				
	鉄　製　品	釘																				
		不明																				
		鉄滓																				
		小　計																				
	礫	石英	1	161.8																		
		片岩																				
		その他											3	140.4								
		小　計	1	161.8									3	140.4								
	小　計		1	161.8			1	4.3					3	140.4								
総　計			3	173.0	1	3.5	3	49.5	5	58.2	1	2.9	6	157.3	1	3.3	2	98.6	2	19.0	2	17.9

出土地点			136号ピット		137号ピット		138号ピット		139号ピット		140号ピット		141号ピット		146号ピット		155号ピット		157号ピット		160号ピット	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢	1	16.3											1	4.5						
		浅鉢																				
		小　計	1	16.3											1	4.5						
	石器	石皿																				
		磨石																				
		敲石																				
		石錘																				
		スクレイパー																				
		チャート製楔形石器																				
		RF																				
		黒曜石製石核																				
		石英製石核																				
		黒曜石製剥片																				
		チャート製剥片																				
		玦状耳飾																				
		石剣																				
		小　計																				
	土製品	土偶																				
		管玉																				
		小　計																				
	小　計		1	16.3											1	4.5						
弥生時代	弥生土器	壺																			1	3.6
		高坏																				
		小　計																			1	3.6
	土製品	紡錘車																				
		小　計																				
	小　計																				1	3.6
古墳時代・古代	須恵器	坏																	2	15.9		
		高台付坏													1	4.2						
		高台付皿																				
		高台付盤																				
		高坏																				
		高盤																				
		鉢																				
		壺					1	21.7							1	5.1						
		高台付壺																				
		小型壺																				
		長頸壺																				
		甑																				
		甕																				
		提瓶																				
		蓋																				
		円面硯																				
		小　計					1	21.7							2	9.3			2	15.9		
	土師器	坏											1	4.1							1	7.3
		埦																				
		高台付坏																				
		高台付埦																				
		高台付皿																				
		高坏																				
		器台																				
		鉢																				
		台付甕																				
		小型壺																				
		坩																				
		甑																				
		甕・壺			1	11.1			1	3.1	2	13.9	5	39.8			1	5.0			1	5.5
		蓋																				
		小　計			1	11.1			1	3.1	2	13.9	6	43.9			1	5.0			2	12.8
	灰釉陶器	壺																				
		長頸壺																				
		高台付皿																				
		蓋																				
		小　計																				
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
		凸面長縄圧痕																				
		凸面平行叩き																				
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																				
	軒平瓦	型式不明																				
	瓦製品	塼																				
		小　計																				
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																				
		移動式カマド																				
		支脚																				
		紡錘車																				
		土玉																				
		勾玉																				
		羽口																				
		不明																				
		小　計																				
	石製品	支脚																				
		小　計																				
	鉄製品	釘																				
		紡錘車																				
		鉄鏃																				
		刀子																				
		不明																				
		小　計																				
	銅製品	銅鏡																				
		小　計																				
	小　計				1	11.1	1	21.7	1	3.1	2	13.9	6	43.9	2	9.3	1	5.0	2	15.9	2	12.8
中世	土師質土器	小皿																				
		内耳鍋																				
		小　計																				
	小　計																					
近世	陶器	埦																				
		皿																				
		壺																				
		擂鉢																				
		急須																				
		小　計																				
	磁器	碗																				
		皿																				
		小　計																				
	瓦	軒桟瓦																				
		小　計																				
	金属製品	銭貨																				
		小　計																				
	小　計																					
時代不明	土製品	炉壁																				
		焼成土塊																				
		不明																				
		小　計																				
	石製品	砥石																				
		軽石																				
		小　計																				
	鉄製品	釘																				
		不明																				
		鉄滓																				
		小　計																				
	礫	石英																				
		片岩																				
		その他																				
		小　計																				
	小　計																					
総　計			1	16.3	1	11.1	1	21.7	1	3.1	2	13.9	6	43.9	3	13.8	1	5.0	2	15.9	3	16.8

出土地点			163号ピット		167号ピット		168号ピット		175号ピット		180号ピット		183号ピット		184号ピット		185号ピット		188号ピット		189号ピット	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢											1	16.4								
		浅鉢																				
		小　計											1	16.4								
	石　器	石皿																				
		磨石																				
		敲石																				
		石錘																				
		スクレイパー																				
		チャート製楔形石器																				
		RF																				
		黒曜石製石核																				
		石英製石核																				
		黒曜石製剥片																				
		チャート製剥片																				
		玦状耳飾																				
		石剣																				
		小　計																				
	土　製　品	土偶																				
		管玉																				
		小　計																				
	小　計												1	16.4								
弥生時代	弥生土器	壺																				
		高坏																				
		小　計																				
	土　製　品	紡錘車																				
		小　計																				
	小　計																					
古墳時代・古代	須　恵　器	坏											1	7.9								
		高台付坏																				
		高台付皿																				
		高台付盤																				
		高坏																				
		高盤																				
		鉢																				
		壺																				
		高台付壺																				
		小型壺																				
		長頸壺																				
		甑																				
		甕																				
		提瓶																				
		蓋																				
		円面硯																				
		小　計											1	7.9								
	土　師　器	坏															1	7.8			1	1.5
		埦																				
		高台付坏							1	4.1												
		高台付埦																				
		高台付皿																				
		高坏																				
		器台																				
		鉢																				
		台付甕																				
		小型壺																				
		坩																				
		甑																				
		甕・壺	3	12.8	1	2.9	1	29.2			3	12.8	4	28.7	1	6.0			1	3.0	2	37.7
		蓋																				
		小　計	3	12.8	1	2.9	1	29.2	1	4.1	3	12.8	4	28.7	1	6.0	1	7.8	1	3.0	3	39.2
	灰釉陶器	壺																				
		長頸壺																				
		高台付皿																				
		蓋																				
		小　計																				
	平　瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
		凸面長縄圧痕																				
		凸面平行叩き																				
	丸　瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																				
	軒平瓦	型式不明																				
	瓦製品	塼																				
		小　計																				
	土　製　品	ミニチュア土器壺・坩																				
		移動式カマド																				
		支脚																				
		紡錘車																				
		土玉																				
		勾玉																				
		羽口																				
		不明																				
		小　計																				
	石　製　品	支脚																				
		小　計																				
	鉄　製　品	釘																				
		紡錘車																				
		鉄鏃																				
		刀子																				
		不明																				
		小　計																				
	銅　製　品	銅鏡																				
		小　計																				
	小　計		3	12.8	1	2.9	1	29.2	1	4.1	3	12.8	5	36.6	1	6.0	1	7.8	1	3.0	3	39.2
中世	土師質土器	小皿											2	9.8								
		内耳鍋																				
		小　計											2	9.8								
	小　計												2	9.8								
近世	陶　器	埦																				
		皿											1	3.7								
		壺																				
		擂鉢																				
		急須																				
		小　計											1	3.7								
	磁　器	碗																				
		皿																				
		小　計																				
	瓦	軒桟瓦																				
		小　計																				
	金属製品	銭貨																				
		小　計																				
	小　計												1	3.7								
時代不明	土　製　品	炉壁																				
		焼成土塊																				
		不明																				
		小　計																				
	石　製　品	砥石																				
		軽石																				
		小　計																				
	鉄　製　品	釘																				
		不明																				
		鉄滓																				
		小　計																				
	礫	石英																				
		片岩																				
		その他																				
		小　計																				
	小　計																					
総　計			3	12.8	1	2.9	1	29.2	1	4.1	3	12.8	9	66.5	1	6.0	1	7.8	1	3.0	8	39.2

出土地点			190号ピット		192号ピット		197号ピット		199号ピット		200号ピット		201号ピット		202号ピット		204号ピット		209号ピット		211号ピット	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢					2	12.4					1	6.6								
		浅鉢																				
		小計					2	12.4					1	6.6								
	石器	石皿																				
		磨石																				
		敲石																				
		石錘																				
		スクレイパー																				
		チャート製楔形石器																				
		RF																				
		黒曜石製石核																				
		石英製石核																				
		黒曜石製剥片							1	0.2												
		チャート製剥片																				
		玦状耳飾																				
		石剣																				
		小計							1	0.2												
	土製品	土偶																				
		管玉																				
		小計																				
	小計						2	12.4	1	0.2			1	6.6								
弥生時代	弥生土器	壺																				
		高坏																				
		小計																				
	土製品	紡錘車																				
		小計																				
	小計																					
古墳時代・古代	須恵器	坏																			1	2.7
		高台付坏																				
		高台付皿																				
		高台付盤																				
		高坏																				
		高盤																				
		鉢																				
		壺																				
		高台付壺																				
		小型壺																				
		長頸壺																				
		甑																				
		甕					2	19.7														
		提瓶																				
		蓋																				
		円面硯																				
		小計					2	19.7													1	2.7
	土師器	坏									7	43.5	1	3.4	1	2.1			1	3.3	1	1.4
		埦																				
		高台付坏									7	11.5										
		高台付埦																				
		高台付皿																				
		高坏																				
		器台																				
		鉢																				
		台付甕																				
		小型壺																				
		坩																				
		甑																				
		甕・壺	1	2.4	1	14.4	4	83.0			1	5.0	2	7.6	1	3.6	1	5.2	1	8.9	2	5.8
		蓋																				
		小計	1	2.4	1	14.4	4	83.0			15	60.0	3	11.0	2	5.7	1	5.2	2	12.2	3	7.2
	灰釉陶器	壺																				
		長頸壺																				
		高台付皿																				
		蓋																				
		小計																				
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
		凸面長縄圧痕																				
		凸面平行叩き																				
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																				
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																				
	軒平瓦	型式不明																				
	瓦製品	塼																				
		小計																				
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																				
		移動式カマド																				
		支脚																				
		紡錘車																				
		土玉																				
		勾玉																				
		羽口																				
		不明																				
		小計																				
	石製品	支脚																				
		小計																				
	鉄製品	釘																				
		紡錘車																				
		鉄鏃																				
		刀子																				
		不明																				
		小計																				
	銅製品	銅鏡																				
		小計																				
	小計		1	2.4	1	14.4	6	102.7			15	60.0			2	5.7	1	5.2	2	12.2	4	9.9
中世	土師質土器	小皿																				
		内耳鍋																				
		小計																				
	小計																					
近世	陶器	埦																				
		皿																				
		壺																				
		擂鉢																				
		急須																				
		小計																				
	磁器	碗																				
		皿																				
		小計																				
	瓦	軒桟瓦																				
		小計																				
	金属製品	銭貨							1	2.0												
		小計							1	2.0												
	小計								1	2.0												
時代不明	土製品	炉壁																				
		焼成土塊																				
		不明																				
		小計																				
	石製品	砥石																				
		軽石																				
		小計																				
	鉄製品	釘																				
		不明																				
		鉄滓																				
		小計																				
	礫	石英																				
		片岩																				
		その他																				
		小計																				
	小計																					
総計			1	2.4	1	14.4	8	115.1	2	2.2	15	60.0	4	17.6	2	5.7	1	5.2	2	12.2	4	9.9

出土地点			212号ピット		213号ピット		220号ピット		225号ピット		228号ピット		231号ピット		235号ピット		236号ピット		T－45		T－102		T－104	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢													1	14.3			1	5.7				
		浅鉢																						
		小　計													1	14.3			1	5.7				
	石器	石皿																						
		磨石																						
		敲石																						
		石錘																						
		スクレイパー																						
		チャート製楔形石器																						
		RF																						
		黒曜石製石核																						
		石英製石核																						
		黒曜石製剥片																						
		チャート製剥片																						
		玦状耳飾																						
		石剣																						
		小　計																						
	土製品	土偶																						
		管玉																						
		小　計																						
	小　計														1	14.3			1	5.7				
弥生時代	弥生土器	壺																	1	8.3				
		高坏																						
		小　計																	1	8.3				
	土製品	紡錘車																						
		小　計																						
	小　計																		1	8.3				
古墳時代・古代	須恵器	坏															1	1.6			4	22.2		
		高台付坏																						
		高台付皿																						
		高台付盤																						
		高坏																						
		高盤																						
		鉢																						
		壺																	1	8.7				
		高台付壺																						
		小型壺																						
		長頸壺																						
		甑																						
		甕																			2	53.9	3	48.8
		提瓶																						
		蓋																						
		円面硯																						
		小　計															1	1.6	1	8.7	6	76.1	3	48.8
	土師器	坏									1	4.4	1	1.9			2	5.1	9	44.1	10	32.5	3	24.4
		埦																						
		高台付坏																						
		高台付埦																						
		高台付皿																						
		高坏																						
		器台																						
		鉢																						
		台付甕																						
		小型壺																						
		坩																						
		甑																						
		甕・壺	1	1.9	1	6.2	1	3.6	1	20.1	2	11.8					11	38.0	7	78.9	25	227.8	4	38.1
		蓋																						
		小　計	1	1.9	1	6.2	1	3.6	1	20.1	3	16.2	1	1.9			13	43.1	16	123.0	35	260.3	7	62.5
	灰釉陶器	壺																						
		長頸壺																						
		高台付皿																						
		蓋																						
		小　計																						
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
		凸面長縄圧痕																						
		凸面平行叩き																						
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																						
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																						
	軒平瓦	型式不明																						
	瓦製品	塼																						
		小　計																						
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																						
		移動式カマド																						
		支脚																						
		紡錘車																						
		土玉																						
		勾玉																						
		羽口																						
		不明																						
		小　計																						
	石製品	支脚																						
		小　計																						
	鉄製品	釘																						
		紡錘車																						
		鉄鏃																						
		刀子																						
		不明																						
		小　計																						
	銅製品	銅鏡																						
		小　計																						
	小　計		1	1.9	1	6.2	1	3.6	1	20.1	3	16.2	1	1.9			14	44.7	17	131.7	41	336.4	10	111.3
中世	土師質土器	小皿																						
		内耳鍋																						
		小　計																						
	小　計																							
近世	陶器	埦																						
		皿																						
		壺																						
		擂鉢																						
		急須																						
		小　計																						
	磁器	碗																						
		皿																						
		小　計																						
	瓦	軒桟瓦																						
		小　計																						
	金属製品	銭貨																						
		小　計																						
	小　計																							
時代不明		炉壁																						
	土製品	焼成土塊			1	6.0																		
		不明																						
		小　計			1	6.0																		
	石製品	砥石																						
		軽石																						
		小　計																						
	鉄製品	釘																						
		不明																						
		鉄滓																						
		小　計																						
	礫	石英																	1	110.0				
		片岩																						
		その他																			1	4.6		
		小　計																	1	110.0	1	4.6		
	小　計				1	6.0													1	110.0	1	4.6		
総　計			1	1.9	2	12.2	1	3.6	1	20.1	3	16.2	1	1.9	1	14.3	14	44.7	20	255.7	42	341.0	10	111.3

出土地点			T－105		T－106		T－108		T－112		T－113		T－115		T－116		T－117		T－118		T－121		T－122		T－123	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢					1	9.1													4	23.5				
		浅鉢																								
		小　計					1	9.1													4	23.5				
	石器	石皿																								
		磨石																								
		敲石																								
		石錘																								
		スクレイパー																								
		チャート製楔形石器																								
		RF																								
		黒曜石製石核																								
		石英製石核																								
		黒曜石製剥片																								
		チャート製剥片																								
		玦状耳飾																								
		石剣																								
		小　計																								
	土製品	土偶																								
		管玉																								
		小　計																								
	小　計						1	9.1													4	23.5				
弥生時代	弥生土器	壺							1	4.2											1	3.1				
		高坏																								
		小　計							1	4.2											1	3.1				
	土製品	紡錘車																								
		小　計																								
	小　計								1	4.2											1	3.1				
古墳時代・古代	須恵器	坏					1	6.0	2	5.5									3	12.3	5	11.9				
		高台付坏									1	5.7									1	2.0				
		高台付皿																								
		高台付盤																								
		高坏																								
		高盤																								
		鉢																								
		壺																								
		高台付壺																								
		小型壺																								
		長頸壺																								
		甑																								
		甕							1	4.8							4	269.5	2	122.1	3	12.4				
		提瓶																								
		蓋									1	30.7									1	2.2				
		円面硯																								
		小　計					1	6.0	3	10.3	2	36.4					4	269.5	5	134.4	10	28.5				
	土師器	坏	2	14.1	1	12.5			9	54.8	6	18.1			1	13.3	1	46.5	3	60.9	18	43.2				
		埦																								
		高台付坏									1	30.9	4	64.9												
		高台付埦																								
		高台付皿																								
		高坏																								
		器台																								
		鉢																								
		台付甕																								
		小型壺																								
		坩																								
		甑																								
		甕・壺	2	13.2			1	4.9			16	649.7			6	68.0	4	37.9	11	63.0	64	295.0	2	17.0	1	40.5
		蓋																								
		小　計	4	27.3	1	12.5	1	4.9	9	54.8	23	698.7	4	64.9	7	81.3	5	84.4	14	123.9	82	338.2	2	17.0	1	40.5
	灰釉陶器	壺																								
		長頸壺																								
		高台付皿																								
		蓋																								
		小　計																								
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																								
		凸面長縄圧痕																								
		凸面平行叩き																								
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																								
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																								
	軒平瓦	型式不明																								
	瓦製品	塼																								
		小　計																								
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																								
		移動式カマド																								
		支脚																								
		紡錘車																								
		土玉																								
		勾玉																								
		羽口																								
		不明																								
		小　計																								
	石製品	支脚																								
		小　計																								
	鉄製品	釘																								
		紡錘車																								
		鉄鏃																								
		刀子																								
		不明																								
		小　計																								
	銅製品	銅鏡																								
		小　計																								
	小　計		4	27.3	1	12.5	2	10.9	12	65.1	25	735.1	4	64.9	7	81.3	7	353.9	19	258.3	92	366.7	2	17.0	1	40.5
中世	土師質土器	小皿																								
		内耳鍋																								
		小　計																								
	小　計																									
近世	陶器	埦																								
		皿																								
		壺																								
		擂鉢																								
		急須																								
		小　計																								
	磁器	碗																								
		皿																								
		小　計																								
	瓦	軒桟瓦																								
		小　計																								
	金属製品	銭貨																								
		小　計																								
	小　計																									
時代不明		炉壁																								
	土製品	焼成土塊																								
		不明																								
		小　計																								
	石製品	砥石																								
		軽石																								
		小　計																								
	鉄製品	釘																			1	2.6				
		不明																								
		鉄滓																								
		小　計																			1	2.6				
	礫	石英																			3	16.1				
		片岩																								
		その他							2	5.1	1	6.3			1	4.4					12	132.3				
		小　計							2	5.1	1	6.3			1	4.4					15	148.4				
	小　計								2	5.1	1	6.3			1	4.4					16	151.0				
総　計			4	27.3	1	12.5	3	20.0	15	74.4	26	741.4	4	64.9	8	85.7	7	353.9	19	258.3	112	544.3	2	17.0	1	40.5

出土地点			T－124		T－126		T－127		T－128		T－129		T－131		T－132		T－133		T－134		T－135		T－136		T－137	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢									1	4.5							1	13.4	1	6.1				
		浅鉢																								
		小計									1	4.5							1	13.4	1	6.1				
	石器	石皿																								
		磨石																								
		敲石																								
		石錐																								
		スクレイパー																								
		チャート製楔形石器																								
		RF																								
		黒曜石製石核																								
		石英製石核																								
		黒曜石製剥片																								
		チャート製剥片																								
		玦状耳飾																								
		石剣																								
		小計																								
	土製品	土偶																								
		管玉																								
		小計																								
	小計										1	4.5							1	13.4	1	6.1				
弥生時代	弥生土器	壺									4	22.8					1	8.0	1	6.0						
		高坏																								
		小計									4	22.8					1	8.0	1	6.0						
	土製品	紡錘車																								
		小計																								
	小計										4	22.8					1	8.0	1	6.0						
古墳時代・古代	須恵器	坏							2	5.2	1	5.1	2	19.1	1	4.7	2	11.3	2	11.0	2	6.2				
		高台付坏																								
		高台付皿																								
		高台付盤																								
		高坏																								
		高盤																								
		鉢																								
		壺									1	18.7														
		高台付壺																								
		小型壺																								
		長頸壺																								
		甑																								
		甕			1	10.0	1	325.0	3	310.6			1	16.2												
		提瓶																								
		蓋					1	21.3																		
		円面硯																								
		小計			1	10.0	2	346.3	5	315.8	2	23.8	3	35.3	1	4.7	2	11.3	2	11.0	2	6.2				
	土師器	坏			2	9.2	1	11.2	2	4.1	4	19.6			3	30.3			1	2.9			1	11.8		
		埦																								
		高台付坏													1	41.8										
		高台付埦																								
		高台付皿																								
		高坏			1	41.5																				
		器台																								
		鉢																								
		台付甕																								
		小型壺																								
		坩																								
		甑																								
		甕・壺	2	173.2	11	248.6			17	116.7	7	101.2	9	169.4					4	61.1	7	72.3			1	21.7
		蓋																								
	小計		2	173.2	14	299.3	1	11.2	19	120.8	11	120.8	9	169.4	4	72.1			5	64.0	7	72.3	1	11.8	1	21.7
	灰釉陶器	壺																								
		長頸壺																								
		高台付皿																								
		蓋																								
		小計																								
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ											1	56.9					1	33.2						
		凸面長縄圧痕																								
		凸面平行叩き																								
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ					1	51.8																		
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																								
	軒平瓦	型式不明																								
	瓦製品	塼											1	860.0												
		小計					1	51.8					2	916.9					1	33.2						
	土製品	ミニチュア土器壺・坩																								
		移動式カマド																								
		支脚																								
		紡錘車																								
		土玉																								
		勾玉																								
		羽口																								
		不明																								
		小計																								
	石製品	支脚																								
		小計																								
	鉄製品	釘																								
		紡錘車																								
		鉄鏃																								
		刀子																								
		不明																								
		小計																								
	銅製品	銅鏡																								
		小計																								
	小計		2	173.2	15	309.3	4	409.3	24	436.6	13	144.6	14	1121.6	5	76.8	2	11.3	8	108.2	9	78.5	1	11.8	1	21.7
中世	土師質土器	小皿																								
		内耳鍋																								
		小計																								
	小計																									
近世	陶器	埦																								
		皿																								
		壺																								
		擂鉢																								
		急須																								
		小計																								
	磁器	碗																								
		皿																								
		小計																								
	瓦	軒桟瓦																								
		小計																								
	金属製品	銭貨																								
		小計																								
	小計																									
時代不明	土製品	炉壁																								
		焼成土塊																	1	10.7						
		不明																								
		小計																	1	10.7						
	石製品	砥石																								
		軽石																								
		小計																								
	鉄製品	釘																								
		不明																								
		鉄滓																								
		小計																								
	礫	石英																								
		片岩																								
		その他			1	18.3			2	8.8											1	4.2				
		小計			1	18.3			2	8.8											1	4.2				
	小計				1	18.3			2	8.8									1	10.7	1	4.2				
総計			2	173.2	16	327.6	4	409.3	26	445.4	18	171.9	14	1121.6	5	76.8	3	19.3	11	138.3	11	88.8	1	11.8	1	21.7

出土地点			T－139		T－140		T－141		T－142		T－144		T－145		T－146		T－147		T－152		T－153		T－154		T－155	
出土遺物			点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）	点数	重量（g）
縄文時代	縄文土器	深鉢					1	8.2	2	10.8	1	11.1			5	24.6							6	43.1		
		浅鉢																								
		小　計					1	8.2	2	10.8	1	11.1			5	24.6							6	43.1		
	石器	石皿																								
		磨石																								
		敲石																								
		石錘																								
		スクレイパー																								
		チャート製楔形石器																								
		RF																								
		黒曜石製石核																								
		石英製石核																								
		黒曜石製剥片																								
		チャート製剥片																								
		玦状耳飾																								
		石剣																								
		小　計																								
	土製品	土偶																								
		管玉																								
		小　計																								
小　計							1	8.2	2	10.8	1	11.1			5	24.6							6	43.1		
弥生時代	弥生土器	壷					1	5.5			6	50.7	1	11.4	1	2.1	1	2.1					4	38.5	1	14.2
		高坏																								
		小　計					1	5.5			6	50.7	1	11.4	1	2.1	1	2.1					4	38.5	1	14.2
	土製品	紡錘車																								
		小　計																								
小　計							1	5.5			6	50.7	1	11.4	1	2.1	1	2.1					4	38.5	1	14.2
古墳時代・古代	須恵器	坏																					1	11.4		
		高台付坏																								
		高台付皿																								
		高台付盤																								
		高坏																								
		高盤																								
		鉢																								
		壷																								
		高台付壷																								
		小型壷																								
		長頸壷																								
		甑																								
		甕							1	26.0																
		提瓶																								
		蓋																								
		円面硯																								
		小　計							1	26.0													1	11.4		
	土師器	坏					1	3.8	1	7.3	1	13.5			3	7.6	2	6.0					12	24.2		
		埦																								
		高台付坏																								
		高台付埦																								
		高台付皿																								
		高坏											1	185.1									1	77.1		
		器台																								
		鉢																			1	49.9				
		台付甕																								
		小型壷																								
		坩																					1	27.0		
		甑																								
		甕・壷	3	65.3	4	67.2	6	42.1			9	91.2			12	51.7	5	20.3	1	7.9			68	778.7		
		蓋																								
		小　計	3	65.3	4	67.2	7	45.9	1	7.3	10	104.7	1	185.1	15	59.3	7	26.3	1	7.9	1	49.9	82	907.0		
	灰釉陶器	壷																								
		長頸壷																								
		高台付皿																								
		蓋																								
		小　計																								
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																								
		凸面長縄圧痕																								
		凸面平行叩き																								
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ																								
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕																								
	軒平瓦	型式不明																								
	瓦製品	塼																								
		小　計																								
	土製品	ミニチュア土器壷・坩																								
		移動式カマド																								
		支脚																								
		紡錘車																								
		土玉																								
		勾玉																								
		羽口																								
		不明																								
		小　計																								
	石製品	支脚																								
		小　計																								
	鉄製品	釘																								
		紡錘車																								
		鉄鏃																								
		刀子																								
		不明																								
		小　計																								
	銅製品	銅鏡																								
		小　計																								
小　計			3	65.3	4	67.2	7	45.9	2	33.3	10	104.7	1	185.5	15	59.3	7	26.3	1	7.9	1	49.9	83	918.4		
中世	土師質土器	小皿																								
		内耳鍋																								
		小　計																								
小　計																										
近世	陶器	埦							1	25.1																
		皿																								
		壷																								
		擂鉢																								
		急須																								
		小　計							1	25.1																
	磁器	碗																								
		皿																								
		小　計																								
	瓦	軒桟瓦																								
		小　計																								
	金属製品	銭貨																								
		小　計																								
小　計									1	25.1																
時代不明		炉壁																								
	土製品	焼成土塊																								
		不明																								
		小　計																								
	石製品	砥石																								
		軽石																								
		小　計																								
	鉄製品	釘																								
		不明																								
		鉄滓																								
		小　計																								
	礫	石英															1	2.9					1	4.6		
		片岩																								
		その他			1	3.6					1	44.5					1	4.0					4	11.2		
		小　計			1	3.6					1	44.5					2	6.9					5	15.8		
小　計					1	3.6					1	44.5					2	6.9					5	15.8		
総　計			3	65.3	5	70.8	9	59.6	5	69.2	18	211.0	2	196.5	21	86.0	10	35.3	1	7.9	1	49.9	98	1015.8	1	14.2

出土地点			T－161		T－167		T－168		T－170		表採		表土(西・東側)		総計	
出土遺物			点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)
縄文時代	縄文土器	深鉢			2	20.1	1	7.1	1	29.1	2	16.1	101	953.7	698	7633.7
		浅鉢													5	133.7
		小計			2	20.1	1	7.1	1	29.1	2	16.1	101	953.7	703	7767.4
	石器	石皿													1	369.1
		磨石											1	216.5	1	216.5
		敲石													1	418.0
		石錐													1	1.2
		スクレイパー														
		チャート製楔形石器													1	13.3
		RF													2	105.9
		黒曜石製石核													1	9.7
		石英製石核													1	49.5
		黒曜石製剥片											1	0.3	6	4.9
		チャート製剥片													5	31.6
		玦状耳飾													2	34.5
		石剣											1	39.4	1	39.4
		小計											3	256.2	22	1292.1
	土製品	土偶													1	36.8
		管玉													1	5.4
		小計													2	42.2
	小計				2	20.1	1	7.1	1	29.1	2	16.1	104	1209.9	728	9103.2
弥生時代	弥生土器	壺									4	28.6	99	624.2	1474	9564.0
		高坏													1	187.0
		小計									4	28.6	99	624.2	1475	9756.0
	土製品	紡錘車													2	48.7
		小計													2	48.7
	小計										4	28.6	99	624.2	1477	9799.7
古墳時代・古代	須恵器	坏									1	14.5	80	367.4	618	4611.4
		高台付坏											5	72.9	38	463.4
		高台付皿									1	19.0			1	19.0
		高台付盤													7	419.5
		高坏													3	41.8
		高盤									1	17.2	6	205.4	7	222.6
		鉢											3	56.0	47	1112.1
		壺											3	33.0	29	476.4
		高台付壺													1	278.3
		小型壺											1	14.1	1	14.1
		長頸壺													1	273.2
		甕											2	42.8	14	451.6
		甕			1	30.0			1	19.2	3	166.5	42	685.5	281	8592.3
		提瓶													5	244.3
		蓋									1	3.1	7	56.8	73	977.2
		円面硯													2	192.0
		小計			1	30.0			1	19.2	7	220.3	149	1166.5	1129	18638.9
	土師器	坏			1	4.6	1	4.8			3	9.0	294	1364.1	2820	19444.2
		塊													12	561.1
		高台付坏									1	14.2	8	220.7	196	4676.2
		高台付塊													13	354.9
		高台付皿													4	67.3
		高坏									1	15.6	144	200.3	575	16814.1
		器台											1	22.5	18	1510.4
		鉢											1	10.3	18	756.0
		台付甕													2	33.6
		小型壺													19	1105.8
		坩													80	1113.5
		甑											1	18.2	15	611.3
		甕・壺	1	15.2	4	54.0			1	6.4	16	164.9	950	7517.5	8952	108375.7
		蓋													1	5.4
	小計		1	15.2	5	58.6	1	4.8	1	6.4	21	203.7	1399	9353.6	13003	154648.1
	灰釉陶器	壺											1	14.5	18	343.4
		長頸壺													2	343.7
		高台付皿													1	36.4
		蓋													1	6.0
		小計											1	14.5	22	729.5
	平瓦	凸面ヘラナデ・ナデ			1	35.5							2	13.2	28	1454.4
		凸面長縄圧痕													12	2214.9
		凸面平行叩き											1	161.5	1	161.5
	丸瓦	凸面ヘラナデ・ナデ											1	46.6	2	98.4
	熨斗瓦	凸面長縄圧痕													1	42.1
	軒平瓦	型式不明											1	207.7	1	207.2
	瓦製品	塼													1	860.0
		小計			1	35.5							4	429.0	46	5089.2
	土製品	ミニチュア土器壺・坩											1	6.8	8	276.0
		移動式カマド													2	613.1
		支脚													7	1269.8
		紡錘車													1	9.9
		土玉													2	3.2
		勾玉													1	2.6
		羽口													1	38.8
		不明													5	95.5
		小計											1	6.8	31	2308.9
	石製品	支脚													7	13901.5
		小計													7	13901.5
	鉄製品	釘													8	36.5
		紡錘車													1	8.9
		鉄鏃													2	16.7
		刀子													3	23.9
		不明													1	45.1
		小計													15	131.1
	銅製品	銅鏡													6	39.9
		小計													6	39.9
	小計		1	15.2	7	124.1	1	4.8	2	25.6	28	424.0	1554	10729.9	13769	192898.9
中世	土師質土器	小皿													12	87.0
		内耳鍋													1	115.2
		小計													13	202.2
	小計														13	202.2
近世	陶器	塊											6	26.7	9	62.0
		皿											2	17.0	6	37.5
		壺											4	31.1	4	31.1
		擂鉢													1	12.8
		急須													1	3.1
		小計											12	74.8	21	146.5
	磁器	碗											1	4.1	3	11.1
		皿											1	8.0	1	8.0
		小計											2	12.1	4	19.1
	瓦	軒桟瓦													3	49.1
		小計													3	49.1
	金属製品	銭貨											1	2.0	1	2.0
		小計											1	2.0	1	2.0
	小計												15	88.9	29	216.7
時代不明		炉壁													1	93.3
	土製品	焼成土塊											4	54.5	163	849.3
		不明											1	5.1	2	79.0
		小計											5	59.6	166	1021.6
	石製品	砥石											2	70.6	3	172.1
		軽石													1	15.2
		小計											2	70.6	4	187.3
	鉄製品	釘													3	166.6
		不明													1	17.7
		鉄滓											1	47.4	12	330.1
		小計											1	47.4	16	514.4
	礫	石英													71	2447.3
		片岩											2	443.7	26	2290.6
		その他					1	20.5					1	120.3	84	27421.1
		小計					1	20.5					3	564.0	181	27889.4
	小計						1	20.5					11	741.6	367	29612.7
総計			1	15.2	9	144.2	3	32.4	3	54.7	34	468.7	1783	13394.5	16617	247722.1

第４章　総括

1. 縄文時代

縄文時代では、中期前半から後期中葉の土器が調査区内から出土している。何れも破片が多く、分布も散漫である。石器は狩猟具である石鏃が１点、加工具の敲石・石皿が出土している。その他は剥片に若干の調整を加えたものが出土しているに過ぎない。打製石斧や磨製石斧の土掘具や伐採具の出土はない。

その中にあって玦状耳飾が２点出土しているのは特筆に価する。何れも中央孔の上端部で欠損しているが、樋口清之氏の分類では、A 類及び E 類にあたるものである（樋口 1933）。断面は厚みがなく平坦である。また、中央孔以外に小孔が穿たれている。これは欠損した玦状耳飾に通有な特徴であり、垂飾として新たに利用したものであろうか。第 164 図 52 は欠損部分を再研磨していることからも垂飾として新たに利用された蓋然性が高い。

茨城県内では、國重佐夜子氏の集成によると A 類が五霞町の冬木 A 貝塚や花輪台貝塚で類例がある一方で、E 類に関しては類例がない（國重 2001）。冬木 A 貝塚のそれは堀之内式から加曽利 B 式が出土した住居の覆土から出土している（高村ほか 1980）。平面は全長に比べ幅が極端に狭いことや、やや膨らみをもつ断面形など同じ類型であるが、本遺跡出土のものと大きく異なる。本遺跡のものは、共伴遺物はないが平面形及び断面形態から前期後半から中期前半に盛行したものととらえたい。

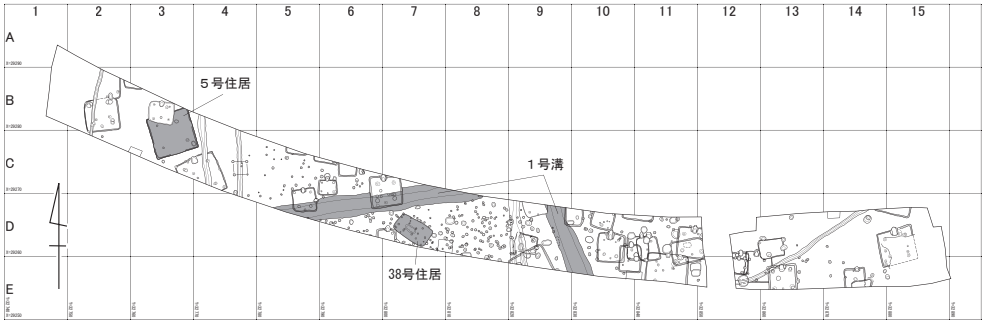
2. 弥生時代

①住居跡について

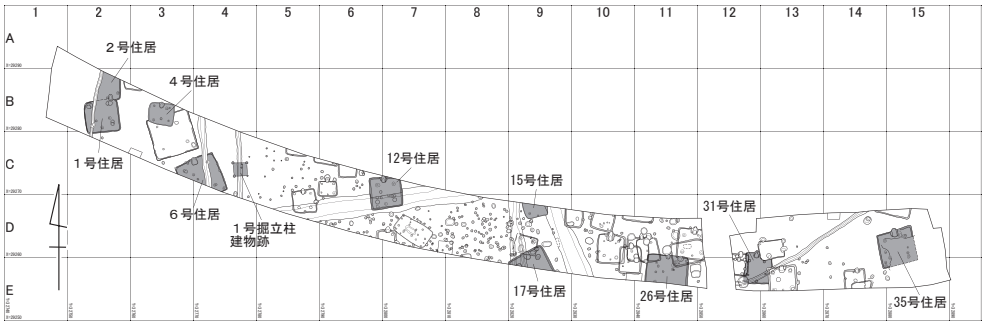
38 号住居跡とその他の遺構の覆土から弥生時代後期を主体とした土器が出土している。ただし、38 号住居跡出土の第 13 図 48 や遺構外から出土した第 165 図 1 や第 167 図 137 など中期末の資料も若干出土している。住居跡以外からも相当量の後期の遺物が出土しており、住居以外にも遺構が存在したと思われる。旧八郷町内では、弥生時代の遺跡は少なく少量の遺物が知られているに過ぎない（曾根 2013）。今回の調査では遺構に伴って遺物が出土しており、恋瀬川流域の弥生時代後期を知る上で重要な資料となろう。

検出された住居跡は長軸 5.81 m、短軸 3.45 m の隅丸長方形で柱跡及び炉の重複から建て替えが予想される。壁溝が存在しないため拡張以前の平面形と規模は不明である。ただし、住居内ピットが重複している P 1・P20 及び P4・P5 では何れも東側のピットが新しく、炉は重複しつつ南側にずらしている。これらの調査所見からすると相似形の拡張ではない可能性が高い。

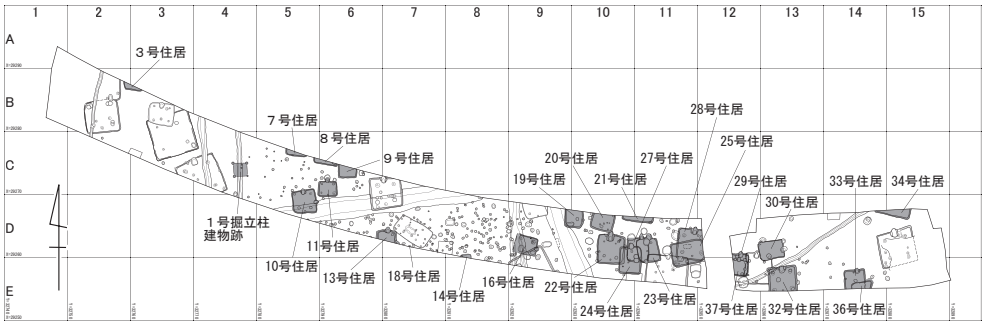
38 号住居跡の最終形態は長方形を基調としたもので、その長軸／短軸比は 1.68 である。恋瀬川右岸の台地上に立地するかすみがうら市志筑遺跡では、住居規模に違いは見られるが、長軸／短軸比は低く 1.16 ～ 1.35 程である。同時期に複数の住居形態が存在していたと思われる。美浦村根本遺跡では、柱穴間の距離を基準に住居の分類が試みられ、類型が抽出されている（中村 1995）。同時期に複数の住居形態が存在したとされている。ただし、38 号住居跡のような非相似形の拡張が行われているのを見ると、それらの住居形態の類型は不動のものではなく、フレキシブルなものと捕らえることができる。



弥生後期から古墳時代中期



古墳時代後期



平安時代

第 177 図　時代別遺構配置（ 1：1,200 ）

②遺物について

38 号住居跡出土遺物についてみていきたい。住居跡から出土した土器は完形に復元できた個体は存在していない。ここでは各部位ごとにその特徴を見ていきたい。口縁部は複合口縁を呈するものが主体である。何れも幅は狭く、下端が刺突されるが、段差はあまり明瞭ではない。また、複合口縁が二段にわたるものも見られる。口唇部は縄文あるいは刺突が施されている。頸部は無文地に横位展開の櫛描の波状文・山形文・弧線文が描かれる。大きめな破片から判断するとやや間隔をあけ数段施されるようである。口縁部境或いは胴部との境に区画文を施すものも若干見られる。櫛歯は細く 5 本一単位前後である。ただし、第 12 図 14 のように櫛歯が太めで、本数の少ないものも存在する。この点に関しては、後述したい。

第 12 図 15 は頸部に格子目文を施したものであるが、小破片のため縦位の区画線を伴うものかどうかは不明である。これを除くと縦区画・スリットを伴う土器は認められない。

胴部は付加条１種付加２条の交互付加の縄を主体とする。口縁部同様羽状構成をとるものも認められるが、斜縄文が主体である。底部は木葉痕を付すものがある。以上が住居跡出土土器の大まかな特徴である。

石岡市周辺では、海老沢稔氏や小玉秀成氏により、後期の土器編年が打ち立てられている。海老沢氏は、恋瀬川流域の弥生後期の土器群を那珂川流域の土器と比較検討しその変遷を追っている（海老沢 1989）。

小玉氏は霞ヶ浦沿岸地域の後期土器群を口縁部に注目し段階設定を行っている（小玉 2008）。上山系列や宮ノ台式の系譜下にある複合口縁の土器を後期初頭とし、後期末の上稲吉式へ至る変化をたどっている。そこでの型式学的変化の方向性は口縁部幅の幅広化、複合口縁下端の低平化および下端の処理の違いを指標としている。これに縄文施文の有無及び口縁部の段数により４つの系統を設けその変化組み合わせで、７段階の変遷を示している。

海老沢氏、小玉氏の変遷観では細分数に５段階と７段階と違いが見られるが、後期初頭の土器に餓鬼塚遺跡出土土器（餓鬼塚式）を当てることでは共通している。ただし那珂川流域の土器型式との並行関係では、海老沢氏が伊勢林前並行の土器を想定しているの対して、小玉氏は海老沢氏が伊勢林前並行の土器の次段階に位置づけた東中根１式が餓鬼塚式と並行するとし、違いが見られる。

小玉氏の編年観からすれば、住居跡資料は、縄文施文される二段の複合口縁の存在から、Ⅲ期以降に位置づけられる資料であろう。櫛歯本数が５本のものが主体を示す点でも矛盾しない。一方で前述のように、これらの資料と共にやや太目の３本単位の櫛歯で下向きの連弧文を描く土器が住居跡から出土している。東中根１式と思われる資料である。東中根１式は、海老沢・小玉両氏の変遷観でも本住居跡より前に位置づけられる資料であり、混入の可能性がある。ここでは、共伴・混入の判断を一旦保留し、遺構外出土遺物とした弥生土器群を見て行きたい。

特に頸部文様帯に注目し、遺構外遺物から住居跡遺物の土器を引き算すると、縦区画を伴う格子目文やその間に格子目文が充填された三角文を配する土器や、２本描き、３本描きの波状文の土器が見られる。また、縦区画を伴う３本描きの波状文も存在する。これは餓鬼塚式に当たるものであろう。このことから、今回の調査区で弥生時代後期の遺構は竪穴住居跡１軒のみが検出されたに過ぎないが、それ以前に少ないながらも生活の痕跡が伺える。また、前述のように中期末の資料も存在することから、今回出土した土器は一時期のものではなく、複数時期に渡るものであることが分る。

以上のことからも、38 号住居跡の一括性は確実には保障できない。即ち、二段の複合口縁が東中根１式段階にも認められるかは、今後の資料の増加を待ちたい。

③住居跡出土石英塊について

第 82 表　時代別石英含有率

	総数	含石英	百分率
弥生時代	249	222	89.17%
古墳時代	193	139	72.02%
平安時代	159	84	52.83%

霞ヶ浦沿岸の土器に石英粒が胎土に入ることは広く知られている事実であろう。今回 38 号住居跡から石英塊が 2 点出土した。38 号住居跡では図示した土器片 48 点中 47 点に、遺構外では 201 点中 178 点に石英粒が認められる。本遺跡では、古墳時代中期以降の多くの土器でも石英粒の混和が認められる。第 82 表は掲載した弥生土器及び土師器における割合であるが、弥生時代が最も高い。

粒径・混和率に関しては、明確に示しえないが、石英が多量に認められるものは、粒径が大きく尖ったものが多い。これは、破砕されてから時間がたっていないことを示している。川砂などを採取し混和材とした

時に入る石英は、その成因からも分るように外形が磨滅し丸みを帯びる。このことから、人為的に砕いて、胎土に混ぜたと思われる。38 号住居跡から出土した石英塊はこうした混和材の原石であった思われる。

3. 古墳時代前期から中期

①1 号溝跡出土土器について

前述のように 1 号溝跡では上層と下層に分かれて土器が出土している。第 49 ～ 52 図に示したように平面分布･垂直分布に差が認められる。ここでは､溝上層土器群と溝下層土器群と仮称しその特徴を見て行きたい。

出土器種は共に高坏・坩・器台・甕・壷である。壷は、図示しえたものは胴部破片であるため、口縁部形態は不明である。これは、残存率の問題もあろうが、他の器種と比べもともと出土量が少なかったことを意味していると思われる。一方甕・高坏・坩は、溝上層・下層のいずれでも一定量が出土している。特に甕はその器形・外面調整が明確に分かれる。溝下層では胴部中央付近に最大径を持ち、外面にハケ調整を明瞭に残している。溝上層では全形をうかがい知ることのできる資料は少ないが、やや長胴化しているものと思われる。また、外面調整もナデ或いはヘラケズリされている。

次に高坏であるが､溝上層では多量の高坏が出土しているのに対して下層では全形を知りうる資料はない。しかし、残存している部位から見ると、坏部は大きく外方に広がり、脚部は接合部から末広がりになるようである。東海西部の元屋敷式の高坏にその系譜が求められるものであろう。ただし坏部の立ち上がり角度が緩やかなことや坏部下端に明確な稜を持たないことから、かなり在地化したものであろう。溝上層では脚部が長脚化したものが主体をなす。脚部中央部部分に膨らみを持つものも多い。第 56 図 37 のように裾部が広がらないものも存在するが、多くは裾部が広がる。

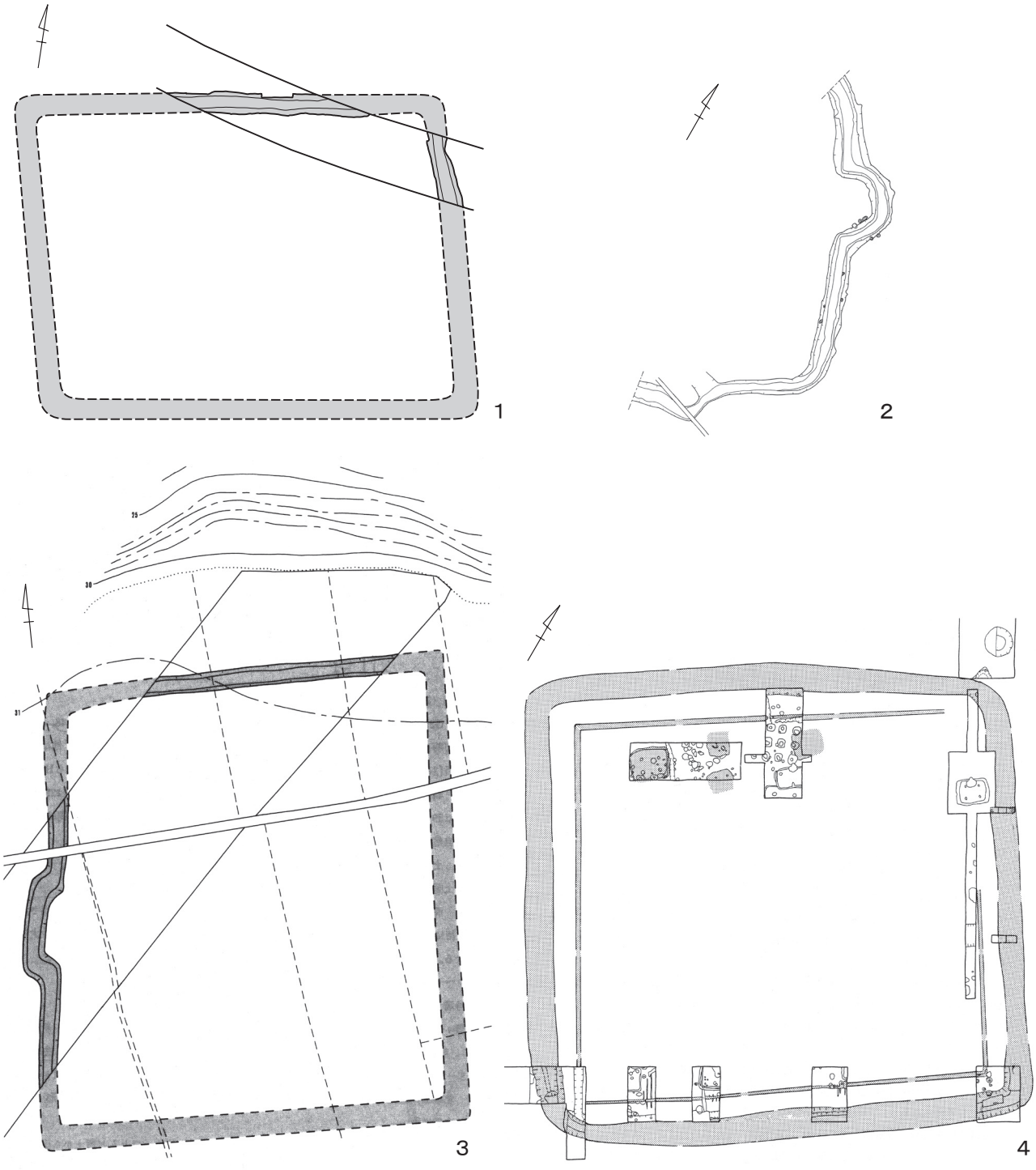
坩は溝下層・上層共に丸底ではなく平底化している。ただし、下層の 2 点の方が溝上層のそれに比べ、底部から胴部への移行が緩やかである。また、第 55 図 25 は頚部が括れ部から直線的に外側に開いたあとに屈曲し稜を持ち口縁部にいたる器形をとる。胴部に穿孔がないことから坩としたが、須恵器のハソウを模倣したものと捕らえる考え方もある（坂野 1991)。

これらのことから、溝下層土器群は古墳時代前期の五領式に、溝上層土器群は中期の和泉式の土器にそれぞれ比定できる。五領式土器に関しての細分にはさまざまな意見がある。地域的な状況も考慮しなければならないが、学史的な検討も踏まえ通時的に扱っている大村氏の編年（大村 1982）を参考にすると五領 2 式古段階の資料と思われる。即ち、溝下層土器群と溝上層土器群では、ヒアタスが存在する。

また、溝上層出土の器台（第 56 図 45・48）は霞ヶ浦型器台結合土器（熊野 1992）と考えられる。霞ヶ浦型器台結合土器は通常古墳時代前期に興隆すると言われているが、美浦村陣屋敷遺跡では鬼高式に下ると思われる資料も出土している（熊野 1992)。本遺跡の資料は、古墳時代中期和泉式の時期の資料であり、古墳時代前期と後期との資料を繋ぐ上でも重要であろう。

②堀跡について

群馬県の三ツ寺遺跡で豪族居館跡が調査されて以来、各地で同種の遺構が調査されている。1998 年には東日本埋蔵文化財研究会主催のシンポジウムが行われ、威信財や大形住居跡と共にこの種の豪族居館の集成も行われた。そこでは、各地の豪族居館の立地に共通点があることが、強調されている（橋本澄 1998･樫村･川井 1998)。即ち、中小河川に近接した低台地の先端部に立地するという共通性である。佐久上ノ内遺跡も



１：佐久上ノ内遺跡　２：奥谷遺跡　３：森戸遺跡　４：国生本屋敷遺跡

第 178 図　茨城県内の豪族居館（１：1,000）

これらの指摘と同様に、恋瀬川と稲荷川に挟まれた狭隘の台地南端部付近の東端に立地し、低地との比高差は５ｍ程である。

今回の調査では前述のように北側の溝と東側の溝が検出されたに過ぎず、その全形は不明である。１号溝跡北側と東側は調査区外のＣ－９グリッド付近で交わり、北東隅部が同所に位置すると思われる。調査区南

側は約 50 mほどで段差が認められることと畑に残されたソイルマーク（図版１・２）から東西 73m、南北 53 mほどの範囲を囲繞したものと思われる。

茨城県内では古墳時代前期から中期初頭の時期に築かれた豪族居館の堀跡が那珂市森戸遺跡（西野ほか 1990）・茨城町奥谷遺跡（鯉渕 1989）・常総市国生本屋敷遺跡（阿部 2006）で知られている。何れも調査範囲が限られているので堀跡の全形を把握するのは難しいが、凡その大きさは判明している（第 178 図）。これらの遺跡と比べ遜色ない規模になると思われる。森戸遺跡（第 178 図３）と奥谷遺跡（第 178 図２）では張り出し部を持っている。栃木県内でも、古墳時代前期のさくら市四斗蒔遺跡１号遺構のように対になる二ヶ所で張り出し部が認められる遺跡もある（仲山 1998）。その一方で、その全形がほぼ判明している矢板市の堀越遺跡では、張り出し部を持たない（芹沢 2005）。本遺跡は調査範囲が特に限られたため、張り出し部が存在するか否かについては、今後の調査によるところが大きい。また、その一方で古墳時代前期の豪族居館と言われるものに幾つかの系統や類型がある可能性も否定できない。このため次では内部施設について見て行きたい。

③内部施設について

豪族居館と言われるものは、住居跡、柵列･土塁等の施設を伴っている。これらについて検討してみたい。

本遺跡では、１号溝跡に囲繞された内側では、溝下層・上層土器群と並行する時期の住居跡は見つかっていない。囲繞外では、溝上層土器群と並行する５号住居跡が溝の北側に存在する。北溝の走向方位と住居跡の辺とがほぼ一致する。

溝に囲繞された内部では、出土遺物が少ないたため、時期決定が困難であるが、ピットが多数存在する。調査区内でのピットの分布を見ると、溝の内外に集中することが見て取れる。溝周辺の全てのピットが溝に関係するとはいえないであろうが、多くのピット、特に溝の内側のピットは溝と有機的な関係があったと想定できるだろう。国生本屋敷遺跡（第 178 図４）では、堀の内側に布掘り溝が検出されている。これは柵列と想定されているものである。同様な溝は前述の四斗蒔遺跡・堀越遺跡でも認められる。また、ピット列が巡る遺跡も存在する。本遺跡のピットを見ると、その配置に溝との連動性を見出すことは難しい。

土塁に関しては、国生本屋敷遺跡や四斗蒔遺跡で想定されている。その根拠となるのは、溝内に流れ込んだと思われるローム土やピットの深さ等から推定されるものである。四斗蒔遺跡では溝の外側に、国生本屋敷遺跡では溝の内外にそれぞれ土塁が想定されている。本遺跡では、溝の中層以降に大量のローム土の流入は認められない。ローム土を主体或いは多く含む土は溝底面上の土層や溝の壁際に堆積した土層に限られている。溝埋没後も土塁が残っていたと想定することも可能であるが、12 号住居跡や 15 号住居跡などの古墳時代後期の住居跡が溝跡と重複して存在することから、これらの住居が作られた時にはすでに溝は埋没し周辺は起伏が少なかったと想定でき、土塁の存在には否定的である。

調査面積が限られているためか、本遺跡では通常豪族居館に認められる内部施設を見出すことはできない。ただし、同時期の豪族居館としてあげた例でも分るように、張り出し部を持つが、柵列等の施設を伴わないもの（奥谷遺跡・森戸遺跡）、張り出し部は持たないが柵列を持つもの（堀越遺跡・国生本屋敷遺跡）、張り出し部を持ち柵列が伴うもの（四斗蒔遺跡）など幾つかの類型に分けることが可能であろう。これが系統的な違いであるか、居住者の身分の違いや機能に起因するものかは今後の課題であろう。

溝内出土土器は、坩や高坏が多数を占める点は、他の遺跡と共通する。特に霞ヶ浦型器台結合土器など、地域色の強い土器が出土していることから、当地域特有の祭祀が行われていたと思われる。

以上の点から、所謂豪族居館の一つとして考えたい。

④奥津城との関係

本遺跡周辺の恋瀬川流域には丸山古墳（後藤･大塚 1957）、佐自塚古墳（斎藤･大塚 1963）、長堀 2 号墳（早稲田大学考古学研究室 1973、小杉山･曾根 2012）の前期から中期にかけての古墳が存在する。これらの中で、土器を確認できるのは、佐自塚古墳のみである（第 179 図）。佐自塚古墳では、坩・高坏・二重口縁壺が出土している。出土位置は、坩が粘土槨内から、高坏は後円部墳頂部から、二重口縁壺は前方部裾を走る溝から出土したという（大塚 1971）。このうち、二重口縁壺については本遺跡で出土していないので直接比較することはできない。坩と高坏に関しては溝下層・上層共に一定量出土しているので比較が可能である。特に高坏については、長脚の細いもので、所謂畿内系の影響を受けたものであろう。

高坏を基準とした場合

1 号溝跡下層　→　佐自塚古墳出土土器　→　1 号溝跡上層

の時間的な変遷が概ね認められるであろう。

佐自塚古墳を含めた 3 古墳の築造順序及び編年的な位置づけは一致を見ていない（大塚 1977・日高 2005）。調査の進捗状況で 3 古墳との関係をこれ以上追及することはできないが、いずれにせよ、地理的状況や時間的な近似は認められるであろう。ここでは、これら 3 古墳の被葬者のいずれかと関連がある遺構であるとだけしておきたい。

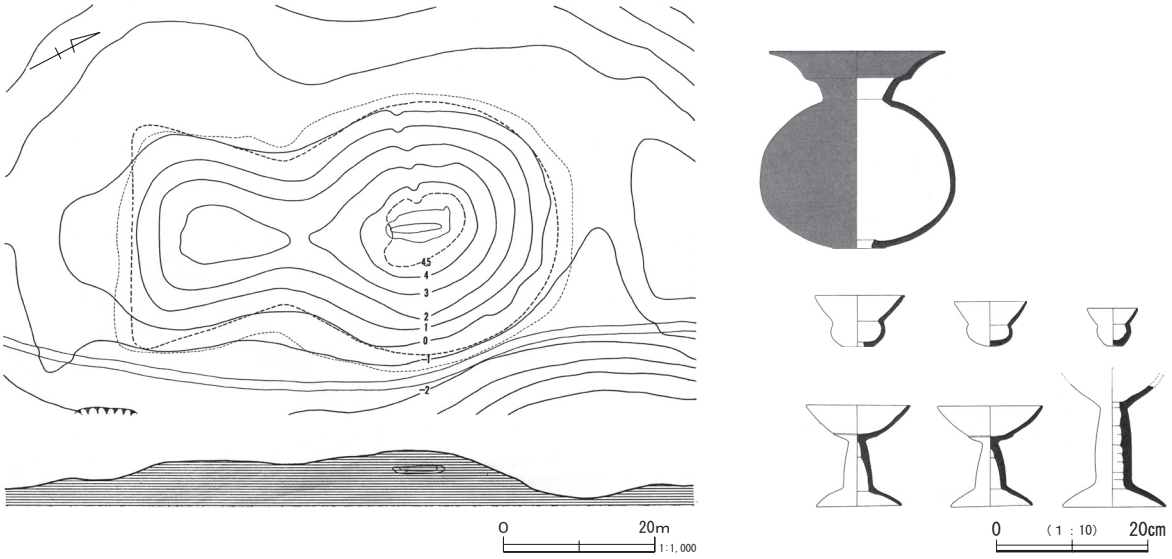
居館と古墳との対応関係は今後の課題であるが、3 古墳のいずれかが最右翼であることは、言うまでもない。地域的な歴史叙述だけでなく、列島規模で見た場合でも、居館と古墳の関係が論じられる稀有な例である。

4. 古墳時代後期～古代

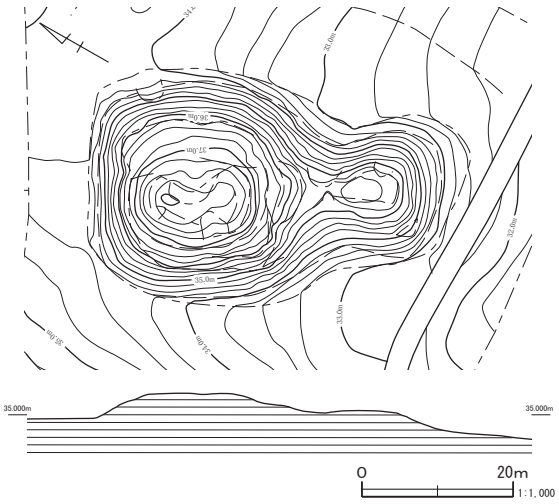
遺構数で見ると古代の竪穴住居跡が本遺跡では、最も多い（第 177 図）。古墳時代後期が 10 軒、平安時代が 26 軒である。平安時代のものは大まかに分けると、須恵器の坏が主体の住居跡とロクロ土師器の高台付坏が主体の住居跡に分れ、前者が須恵器の形態から 8 世紀後葉～ 9 世紀前葉に、後者が 9 世後葉～ 10 世紀前葉のものと思われる。また、ロクロ土師器の高台付坏を伴わず、小形の坏や内面に丁寧なミガキが施された土器を主体とする 29 号住居跡は 10 世紀中葉以降の所産と思われる。調査区内の集落の終焉はこの時期であろう。奈良時代の住居跡が認められないことから、集落に断絶時期が存在する。

古墳時代後期の住居跡は一定の距離を保ちながら存在し、重複は 1・2 号住居跡を除き認められない。平安時代は D・E - 10・11 グリッドを中心として、西側は C - 5 グリッド以西には分布しない。東は調査区外へ分布は続くと思われる。

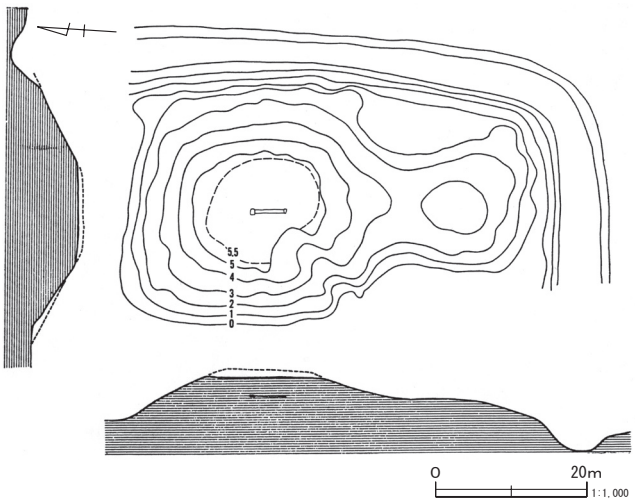
調査区内では集落に断絶が認められるとしたが、カマドの主軸方位は一致している（第 180 図）。古墳時代後期は多少のばらつきはあるが、北カマドを指向している。平安時代も同様であるが、ふれ幅は少なく、北カマドを指向している。一方で東カマドを指向している住居跡も存在する。10・13 号住居跡は東に築かれたカマドが北壁に作り替えられたものである。これらを含めると東カマドを指向する住居跡は 4 軒となる。また、平安時代では、長方形を基調とする住居跡も存在する。これらの住居跡では、カマドは必ず短辺側の



佐自塚古墳（ 測量図 1：1,000・遺物 1：10 ）

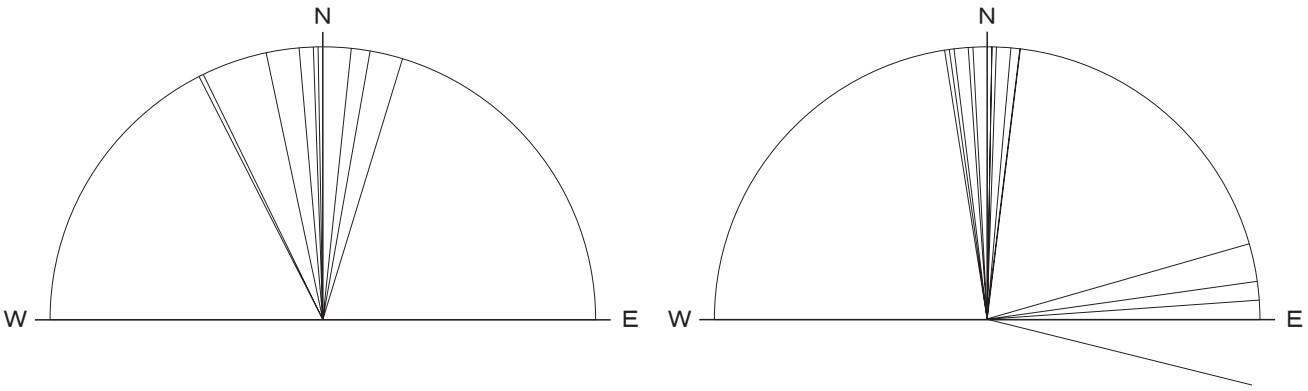


長堀２号墳（ 1：1,000 ）



丸山古墳（ 1：1,000 ）

第 179 図　佐久上ノ内遺跡と恋瀬川流域の前期古墳



古墳時代後期（N＝9）　　平安時代（N＝15）

第 180 図　カマド主軸方位

壁に築かれている。

以上のことから北カマドを指向する傾向が古墳時代後期以降、時代を超えて存在していることが分かる。また、何らかの事情で北カマドを取れないときには、東カマドを築いたものと思われる。その場合には長方形を基調とする住居では、長軸方向もそれに合わせて変えているようである。規格性あるいは規制の高さが伺われる。（林・宅間）

参考・引用文献

阿部義平　2006『茨城県常総市国生本屋敷遺跡発掘調査報告』国立歴史民俗博物館研究報告第 129 集　大学共同利用機関法人人間文化研究機構　国立歴史民俗博物館

海老沢稔　1989「恋瀬川流域における弥生後期の土器の変遷について」『茨城県史研究』第 62 号　茨城県立歴史館

大塚初重　1971「A2 佐自塚古墳出土の土器」『土師式土器集成本編２』　東京堂出版

大塚初重　1977「東国における発生期古墳の様相－とくに関東地方を中心として－」『駿台史學』第 40 号　駿台史学会

大村直　1982「Ⅴ　前野町式・五領式の再評価」『神谷原Ⅲ』　八王子市椚田遺跡調査会

樫村宣行・川井正一　1998「茨城県域における豪族居館について」『古墳時代豪族居館をめぐる諸問題』第 8 回東日本埋蔵文化財研究会　東日本埋蔵文化財調査研究会群馬県実行委員会・群馬県考古学研究所

國重佐夜子　2001「玦状耳飾についての考察」『立命館大学考古学論集Ⅱ』　立命館大学考古学論集刊行会

熊野正也　1992「2. 陣屋敷遺跡出土の古墳時代および古代土器の地域差とその要素」『陣屋敷遺跡』陸平研究所報告 1　茨城県美浦村　陸平調査会

鯉渕和彦　1989『一般国道 6 号改築工事地内埋蔵文化財調査報告書　奥谷遺跡・小鶴遺跡』茨城県教育財団文化財調査報告第 50 集　（財）茨城県教育財団

小杉山大輔・曾根俊雄　2012『市内遺跡調査報告書　第 7 集』　石岡市教育委員会

小玉秀成　2008「霞ヶ浦沿岸における弥生時代後期土器の変遷」『地域と文化の考古学Ⅱ』　明治大学文学部考古学研究室　六一書房

後藤守一・大塚初重　1957『常陸丸山古墳』　丸山古墳顕彰会

斎藤忠・大塚初重　1963『佐自塚古墳調査概要』　佐自塚古墳調査団

芹沢清八　2005『堀越遺跡』　栃木県埋蔵文化財調査報告第 287 集　栃木県教育委員会　（財）とちぎ生涯学習文化財団

曾根俊雄　2013「石岡市八郷地区の弥生時代遺跡」　茨城県考古学協会誌第 25 号

高村勇・根本康弘　1980『冬木地区土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書 - 冬木Ａ貝塚・冬木Ｂ貝塚 - 』　茨城県教育財団文化財調査報告Ｘ　（財）茨城県教育財団

中村哲也　1995『根本遺跡』　陸平研究所報告 2　茨城県美浦村　陸平調査会

仲山英樹　1998「２ 四斗蒔遺跡」『古墳時代豪族居館をめぐる諸問題』　第 8 回東日本埋蔵文化財研究会　東日本埋蔵文化財調査研究会群馬県実行委員会・群馬県考古学研究所

西野則史ほか　1990『一般国道 349 号道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書　北郷Ｃ遺跡・森戸遺跡』　茨城県教育財団文

化財調査報告第 55 集　（財）茨城県教育財団
橋本澄朗　1998「栃木県域における豪族居館について」『古墳時代豪族居館をめぐる諸問題』第 8 回東日本埋蔵文化財研究会　東日本埋蔵文化財調査研究会群馬県実行委員会・群馬県考古学研究所
坂野和信　1991「和泉式土器の成立について - 序論 - 」『土曜考古』第 16 号　土曜考古学研究会
樋口清之　1933「玦状耳飾考」『考古学雑誌』第 23 巻 1・2 号
日高慎　「資料報告２　関東平野東北部－茨城県を中心に－」『東日本における古墳の出現』東北・関東前方後円墳研究会編
早稲田大学考古学研究室　1973「福田古墳群第９号墳・長堀古墳群第２号墳・柏崎古墳群・富士見塚古墳の測量調査報告」『茨城考古学』５

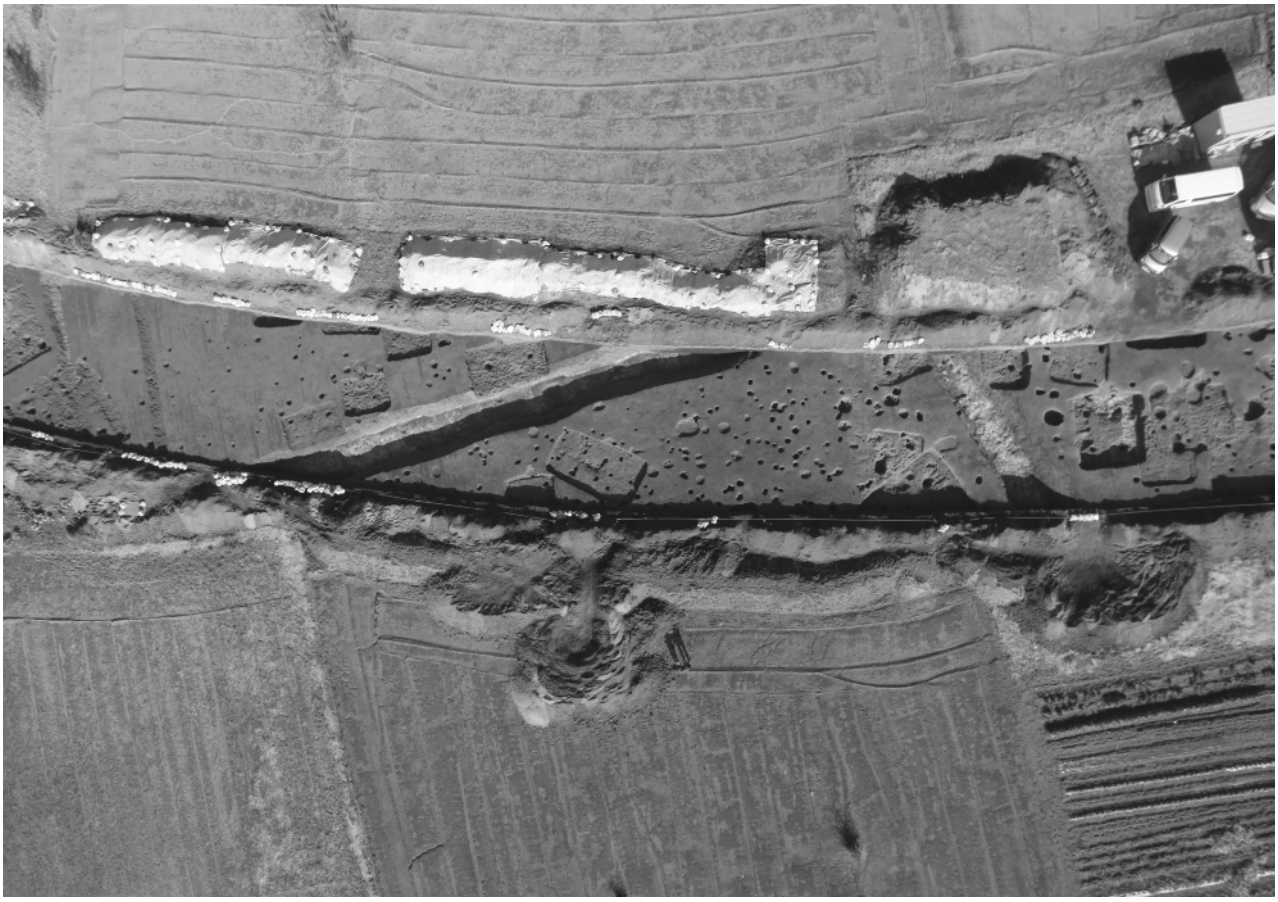
写　真　図　版

調査区全景　垂直

調査区全景（西より）

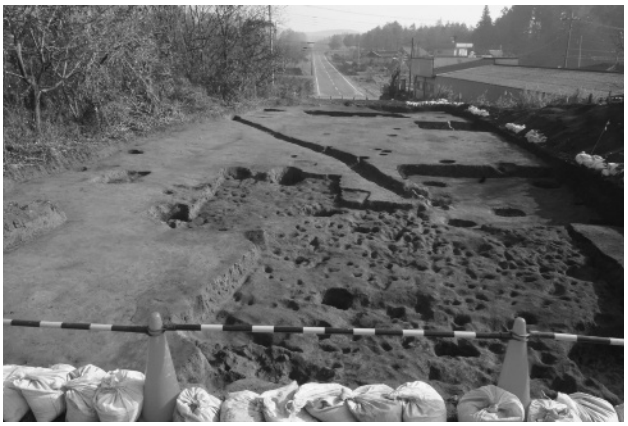
図版２

調査区全景（東より）



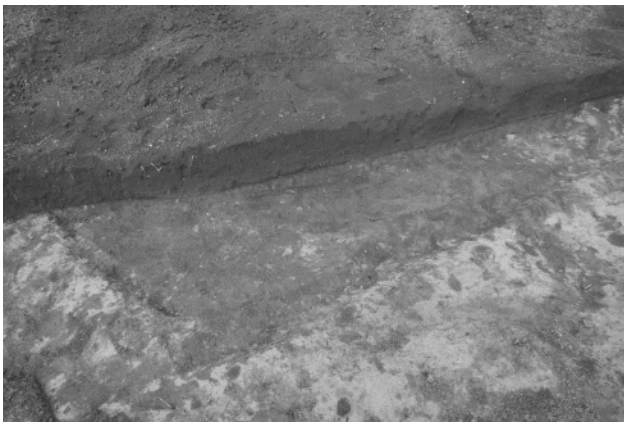
調査区西側

調査区西側完掘（東より）

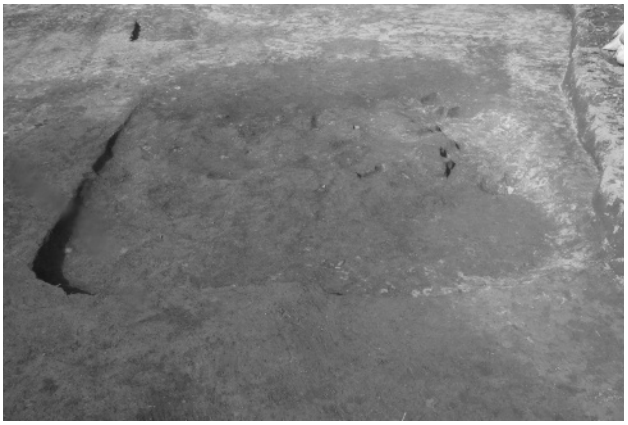


調査区東側完掘（西より）

１・２号住居跡完掘（南より）

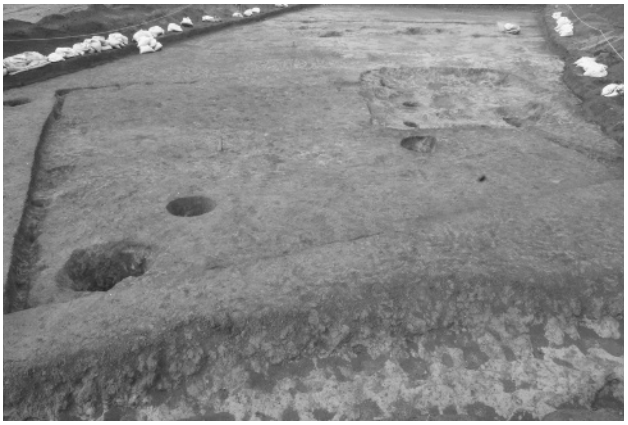


３号住居跡完掘（南より）



４号住居跡完掘（東より）

４号住居跡カマド完掘（南より）



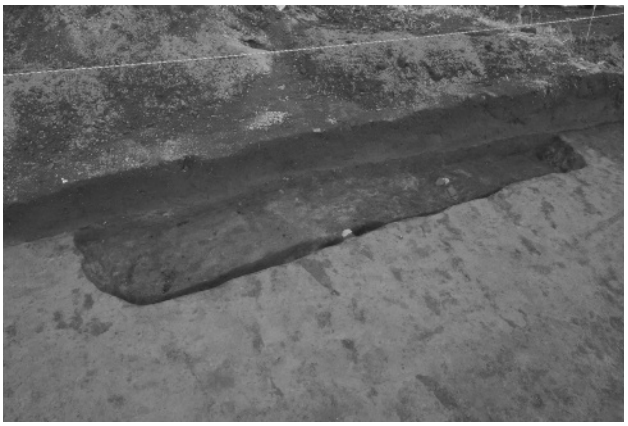
５号住居跡完掘（東より）

５号住居跡遺物出土状況（西より）

図版４

６号住居跡完掘（西より）

７号住居跡完掘（西より）



８号住居跡完掘（南西より）

９号住居跡完掘（南より）

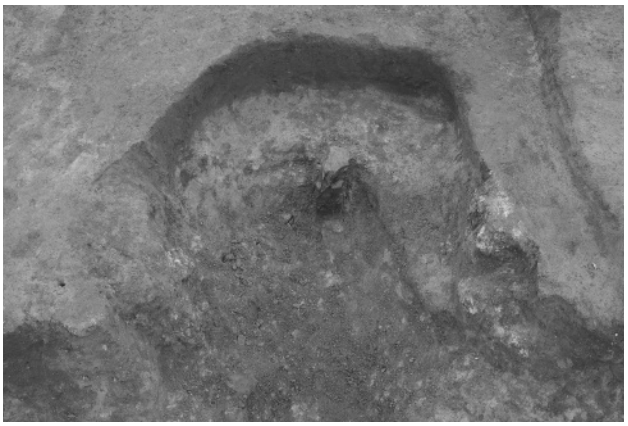
10 号住居跡完掘（西より）

10 号住居跡１号カマド完掘状況（南より）

10 号住居跡２号カマド完掘状況（西より）

11 号住居跡完掘（東より）

11 号住居跡遺物出土状況（南より）



11 号住居跡カマド完掘（南より）

11 号住居跡カマド遺物出土状況（南より）

12 号住居跡完掘（南より）

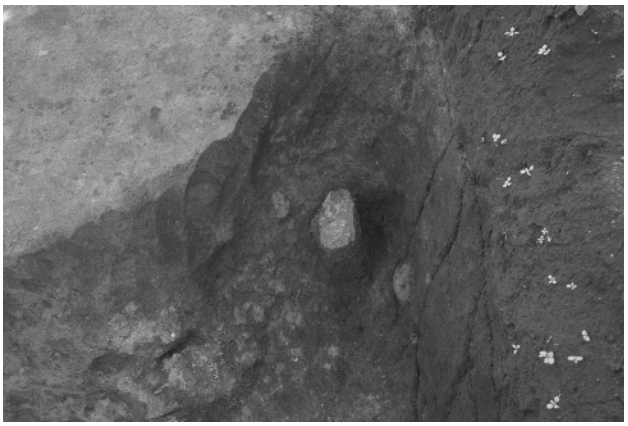
12 号住居跡遺物出土状況（西より）

12 号住居跡カマド完掘（南より）

13 号住居跡完掘（西より）

13 号住居跡遺物出土状況（北東より）

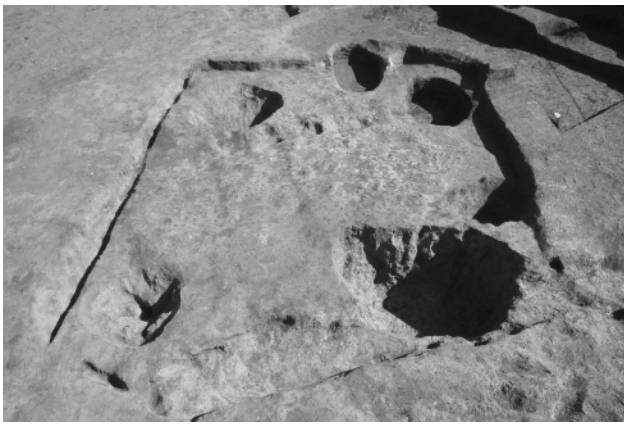
図版６



13 号住居跡２号カマド完掘（西より）

14 号住居跡完掘（北東より）

15 号住居跡完掘（西より）



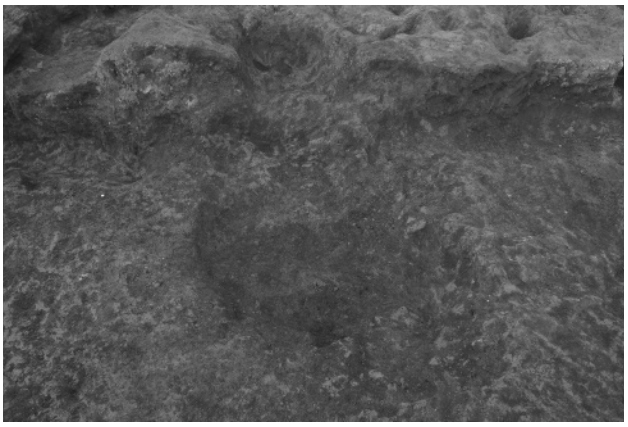
16 号住居跡完掘（西より）

16 号住居跡カマド完掘（西より）

16 号住居跡２号ピット遺物出土状況（北より）

16 号住居跡５号ピット遺物出土状況（北より）

17 号住居跡完掘（南東より）



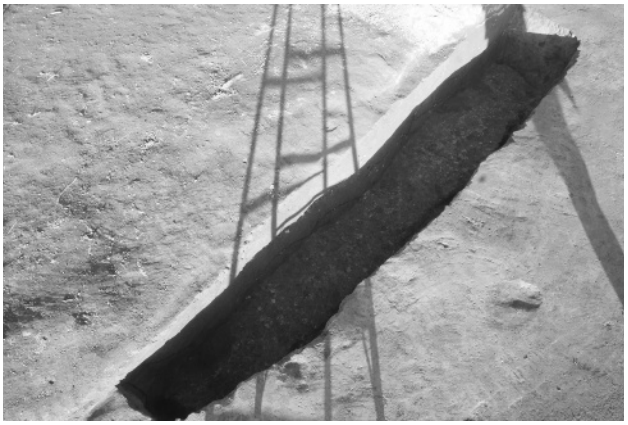
17 号住居跡カマド完掘状況（南より）

18 号住居跡完掘（北より）

19 号住居跡完掘（南より）

20 号住居跡完掘（南西より）

20 号住居跡遺物出土状況（東より）

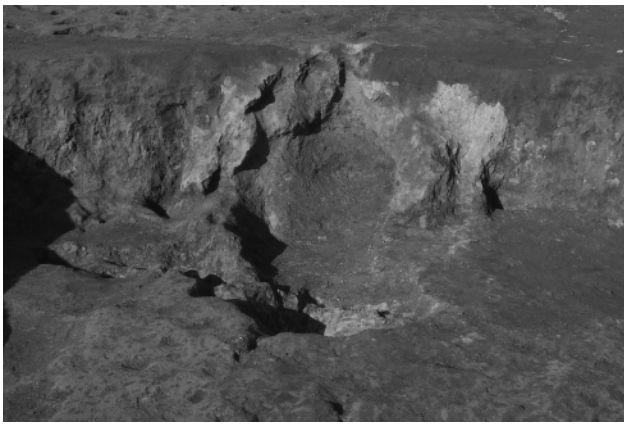


21 号住居跡完掘（南西より）

22 号住居跡完掘（南西より）

22 号住居跡遺物出土状況（南東より）

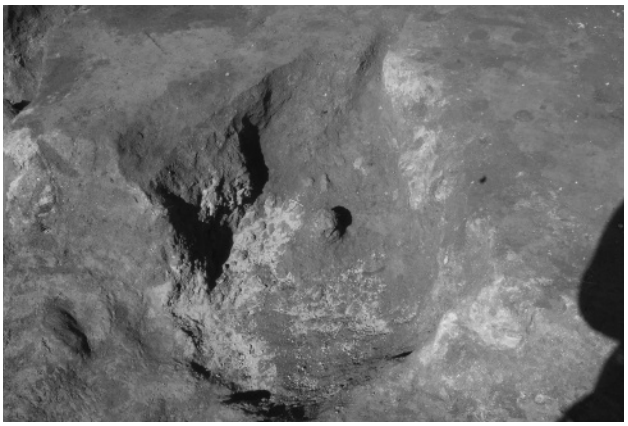
図版８



22 号住居跡カマド完掘（南より）

23・27 号住居跡完掘（南西より）

23 号住居跡遺物出土状況（西より）

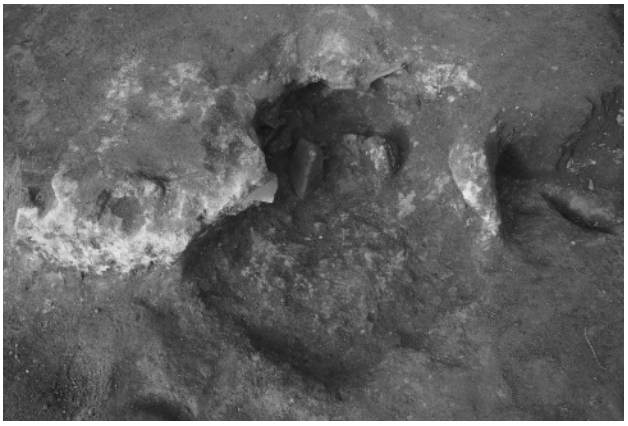


23 号住居跡カマド完掘（南より）

23 号住居跡カマド遺物出土状況（南より）

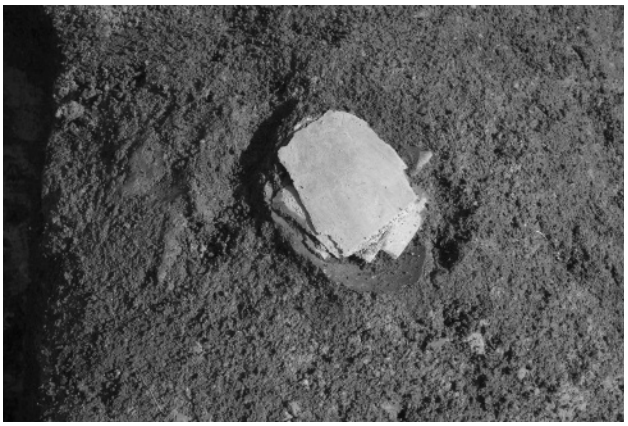
27 号住居跡カマド完掘（南より）

24 号住居跡完掘（南より）



24 号住居跡カマド完掘（南より）

24 号住居跡カマド遺物出土状況（南より）



24 号住居跡銅鏡出土状況（西より）

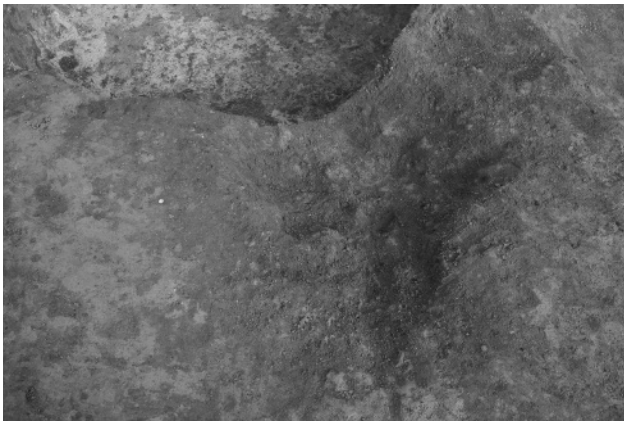
24 号住居跡１・２号地床炉（西より）

25 号住居跡完掘（南西より）

26 号住居跡完掘（北東より）

26 号住居跡遺物出土状況１（南より）

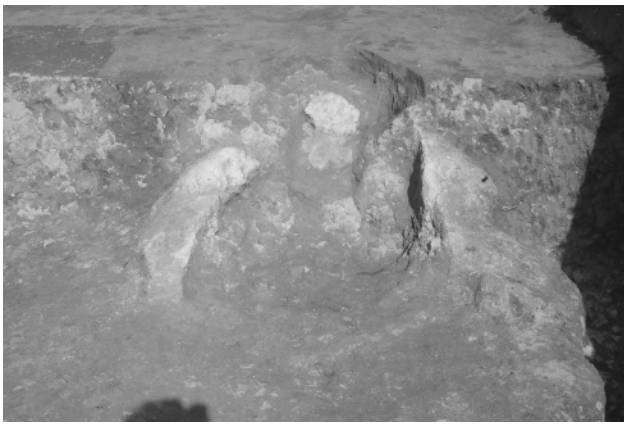
26 号住居跡遺物出土状況２（南より）



26 号住居跡カマド完掘（南より）

図版 10

28 号住居跡完掘（西より）



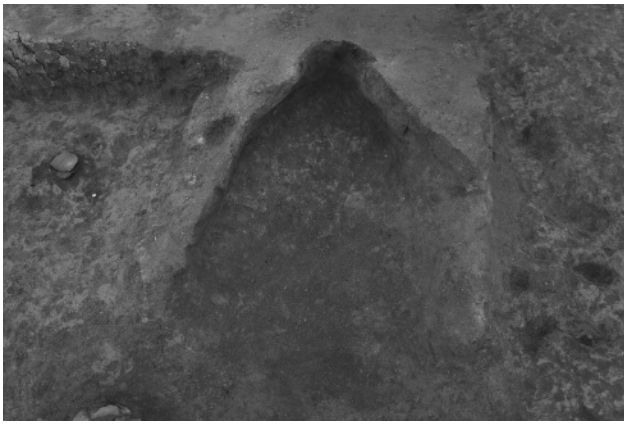
28 号住居跡カマド完掘状況（南より）

29・31 号住居跡完掘（東より）

29・31 号住居跡遺物出土状況（北より）

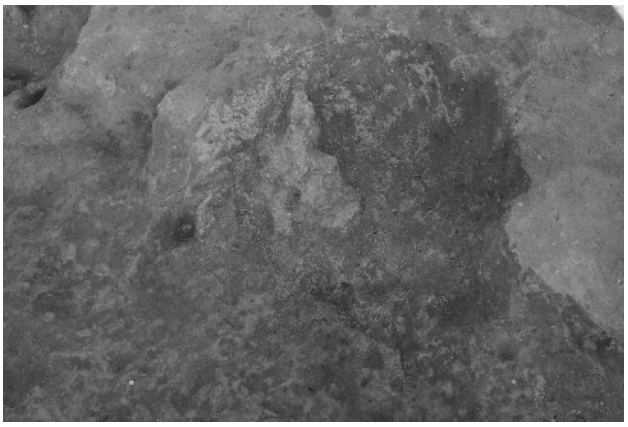
29 号住居跡カマド完掘（南より）

31 号住居跡鉄製品出土状況（北より）

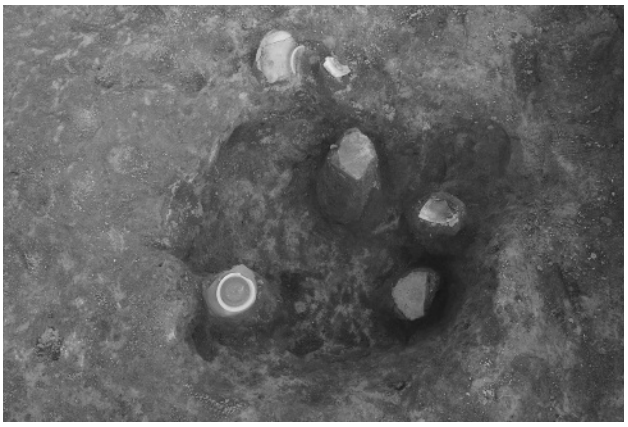


31 号住居跡カマド完掘（南より）

30 号住居跡完掘（西より）



30 号住居跡カマド完掘（西より）



30 号住居跡 4 号ピット遺物出土状況（西より）

32 号住居跡完掘（南より）

32 号住居跡遺物出土状況（北東より）

32 号住居跡カマド完掘（南より）

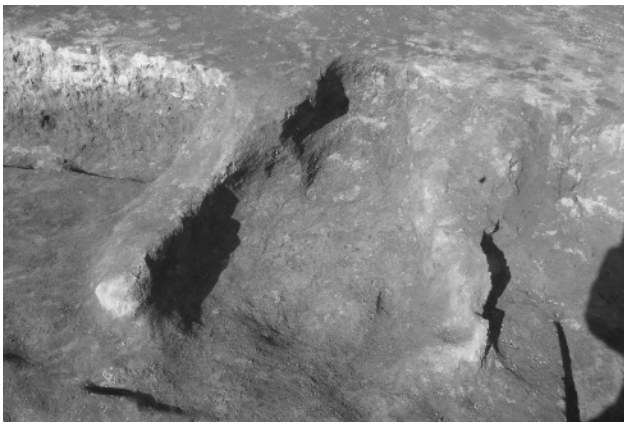
33・36 号住居跡完掘（南西より）

33 号住居跡カマド完掘（南より）

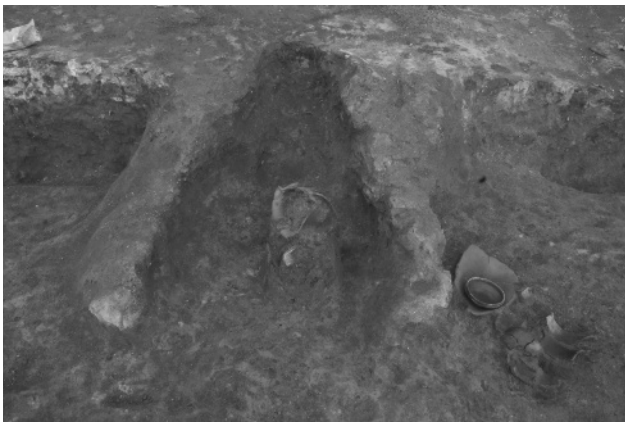
34 号住居跡完掘（東より）

図版 12

35 号住居跡完掘（南より）

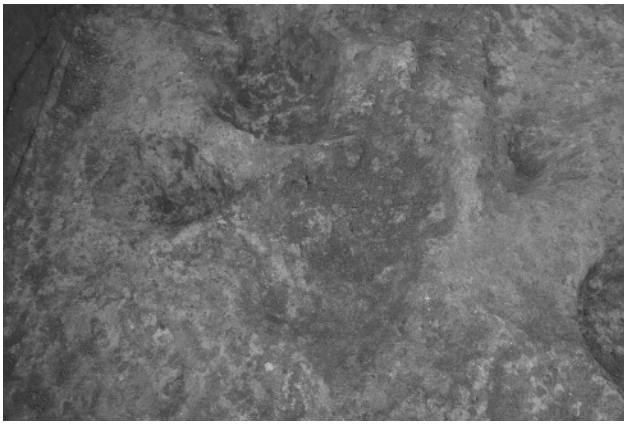


35 号住居跡カマド完掘状況（南より）



35 号住居跡カマド遺物出土状況（南より）

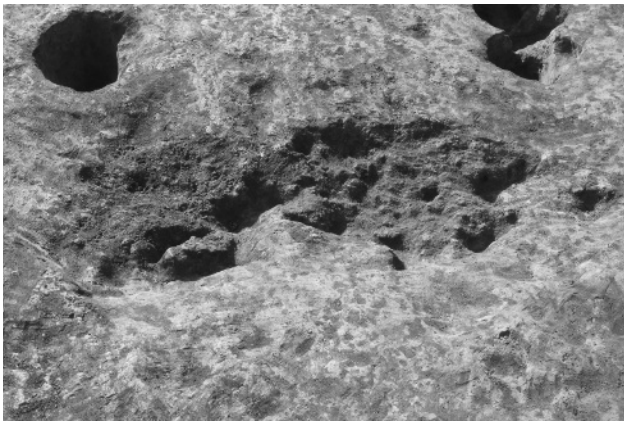
37 号住居跡完掘（東より）



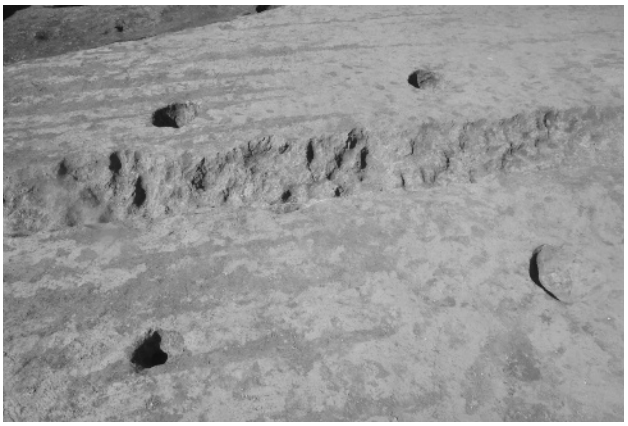
37 号住居跡カマド完掘（南より）

38 号住居跡完掘（南東より）

38 号住居跡遺物出土状況（南東より）



38 号住居跡地床炉完掘（北東より）



1 号掘立柱建物跡完掘（東より）

1 号溝（東溝）完掘（南より）

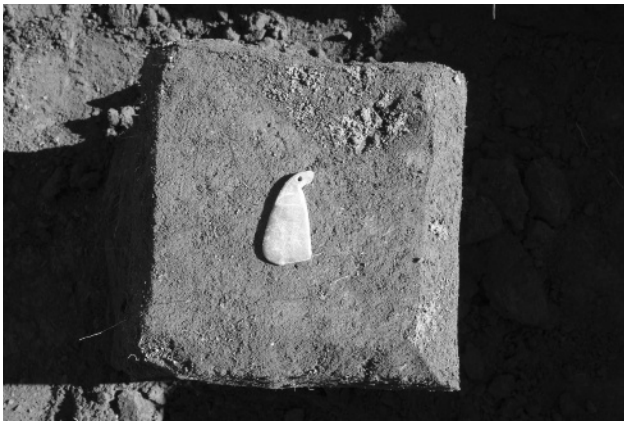
1 号溝（北溝）完掘（西より）

1 号溝遺物集中区検出状況１（南西より）

1 号溝遺物集中区検出状況２（南より）

1 号溝遺物集中区検出状況３（東より）

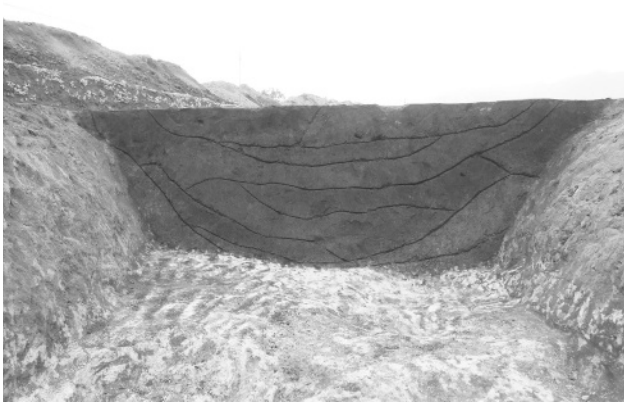
1 号溝石製品出土状況（南より）



1 号溝石製品出土状況（西より）

図版 14

1 号溝 A ～ A ' 土層断面（東より）

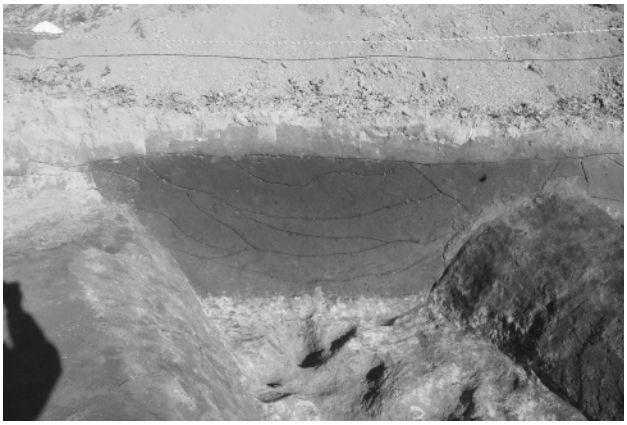


1 号溝 B ～ B ' 土層断面（東より）

1 号溝 C ～ C ' 土層断面（東より）

1 号溝 D ～ D ' 土層断面（西より）

1 号溝 E ～ E ' 土層断面（南より）

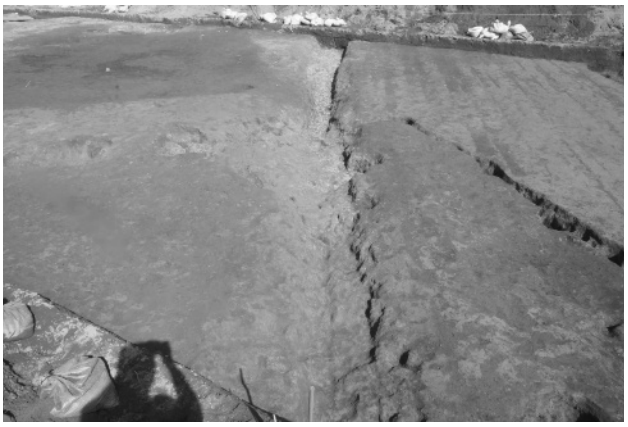


1 号溝 F ～ F ' 土層断面（南より）

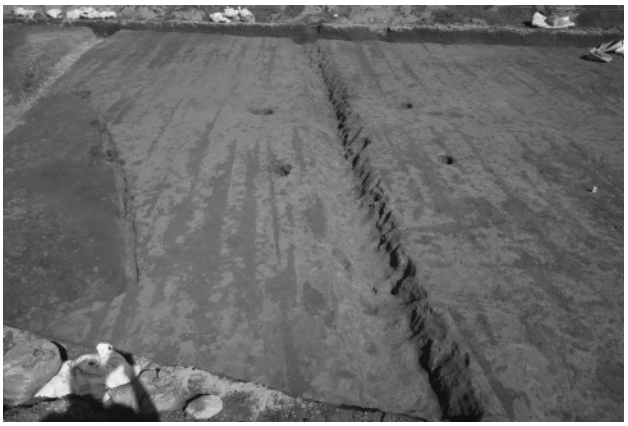
1 号溝 G ～ G ' 土層断面（北より）

1 号溝 H ～ H ' 土層断面（北より）

２号溝完掘（南より）



３号溝完掘（南より）

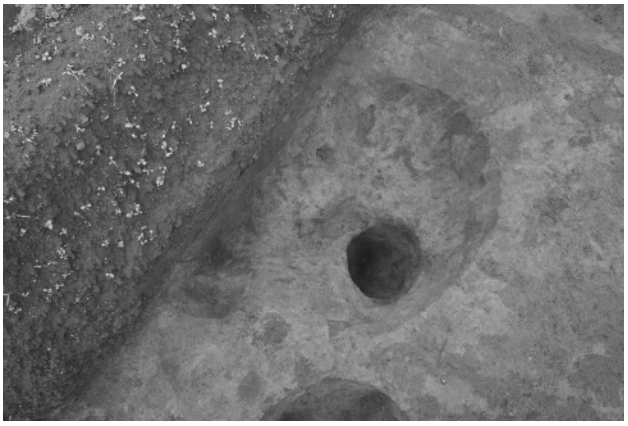


４号溝完掘（南より）

５号溝完掘（南西より）

223 号ピット土層断面（東より）

１号土坑完掘（西より）

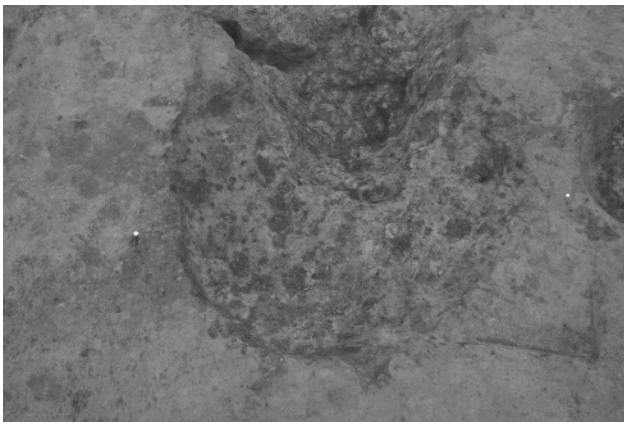


２号土坑・39 号ピット完掘（東より）

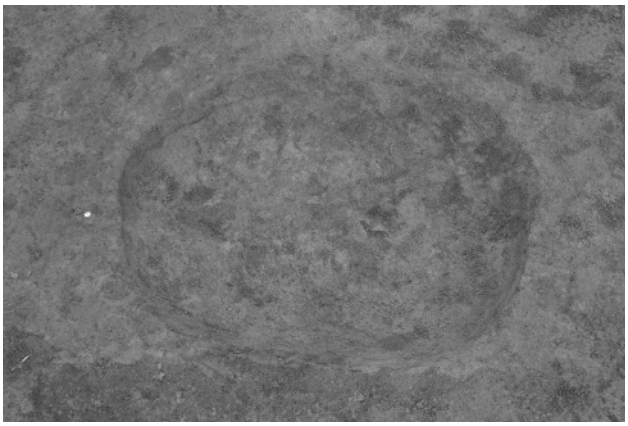
３号土坑・37 号ピット完掘（南より）

図版 16

4号土坑完掘（南より）



5号土坑完掘（北より）

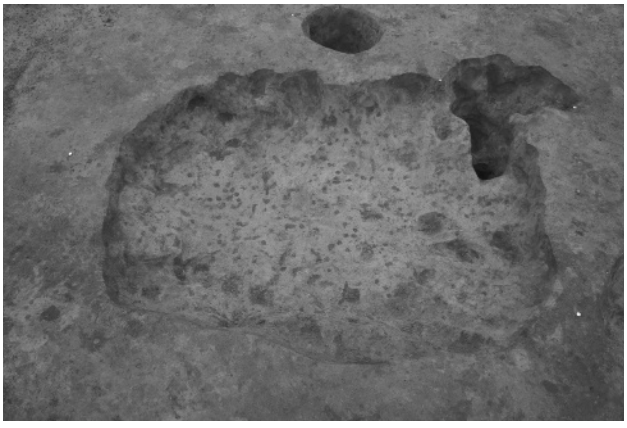


6号土坑完掘（東より）

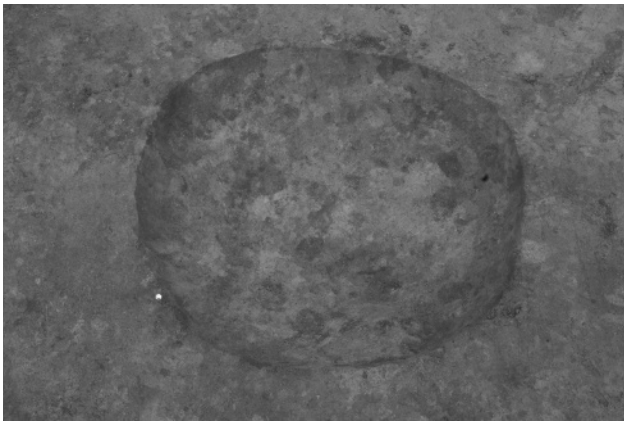
7号土坑完掘（北より）

8号土坑完掘（南より）

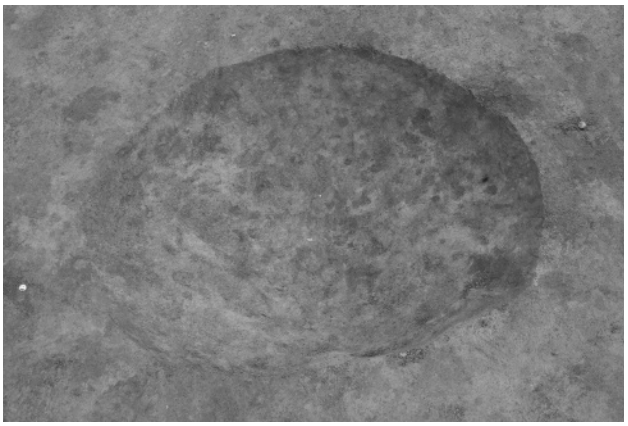
9号土坑完掘（東より）



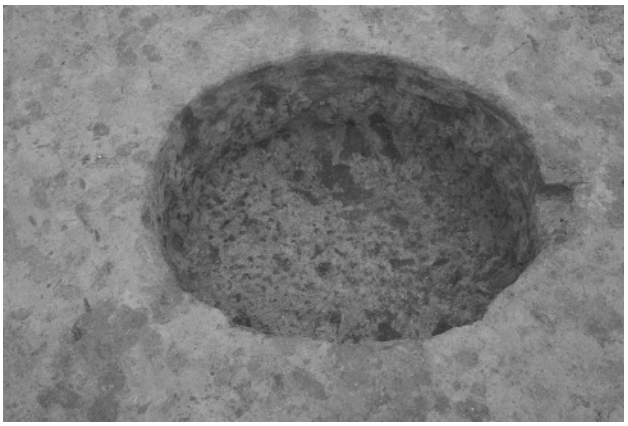
10号土坑完掘（南より）



11号土坑完掘（南より）

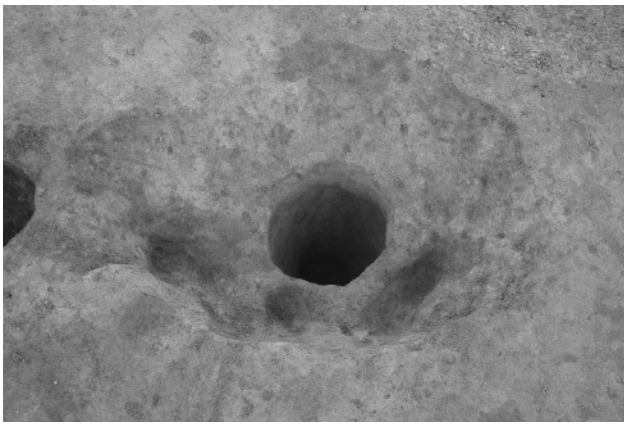


12 号土坑完掘（西より）

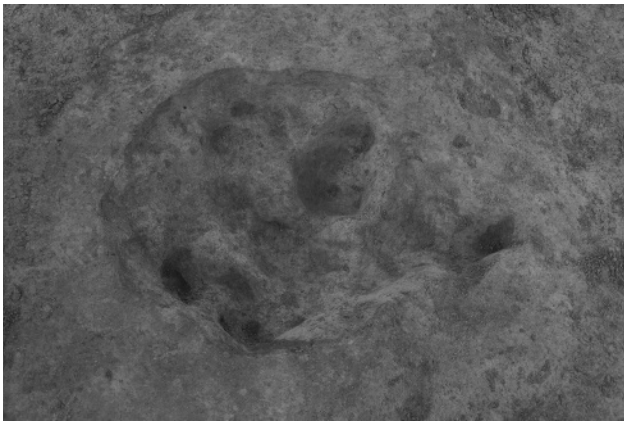


13 号土坑完掘（南より）

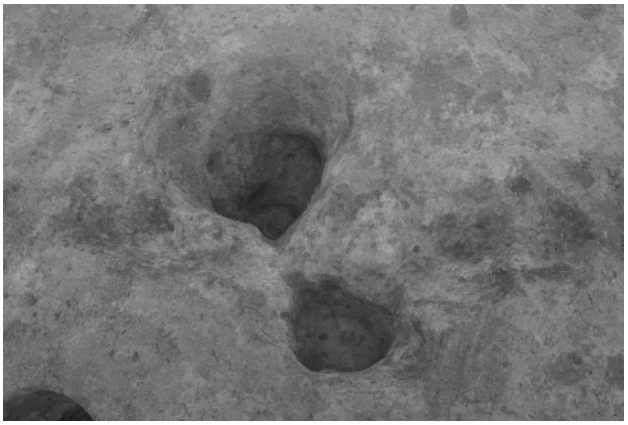
14 号土坑完掘（北より）



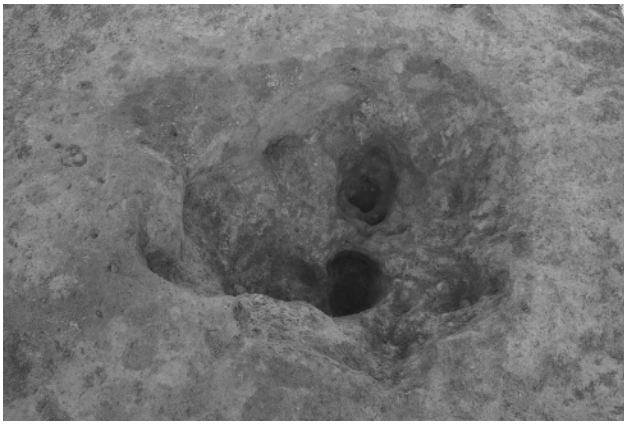
15 号土坑・176 号ピット完掘（南より）



16 号土坑完掘（南より）



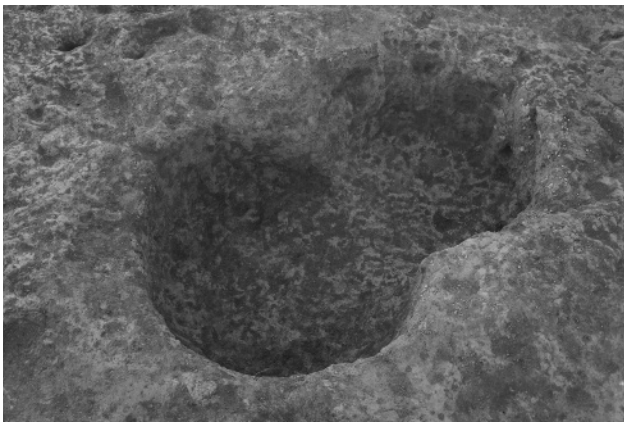
17 号土坑・152・177 号ピット完掘（南より）



18 号土坑・170・178 号ピット完掘（南より）

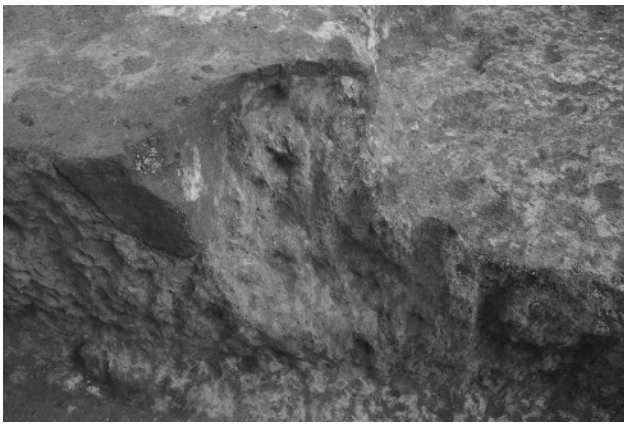
19 号土坑・169 号ピット完掘（北より）

図版 18



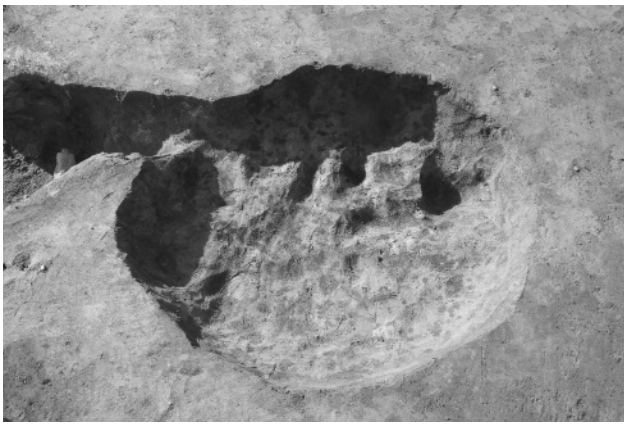
20・21 号土坑完掘（東より）

22 号土坑完掘（北より）



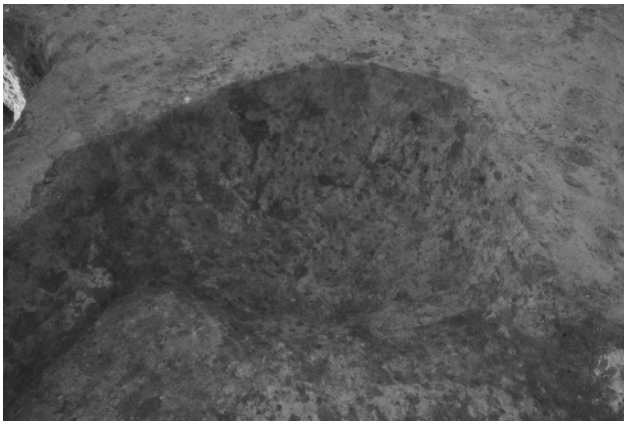
23 号土坑完掘（南より）

24 号土坑完掘（西より）



25 号土坑完掘状況（東より）

26 号土坑完掘（東より）

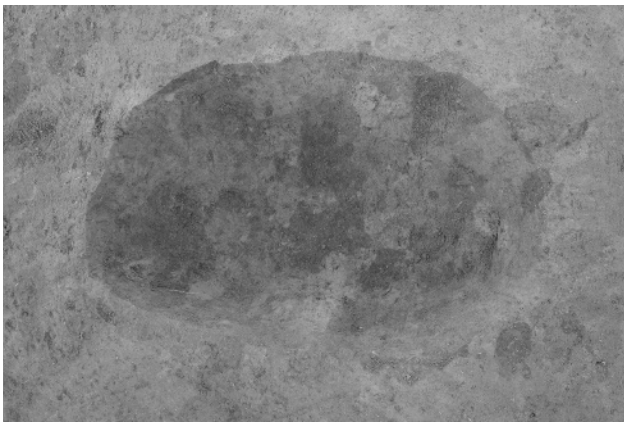


27 号土坑完掘（南より）

28 号土坑・182 号ピット完掘（南より）

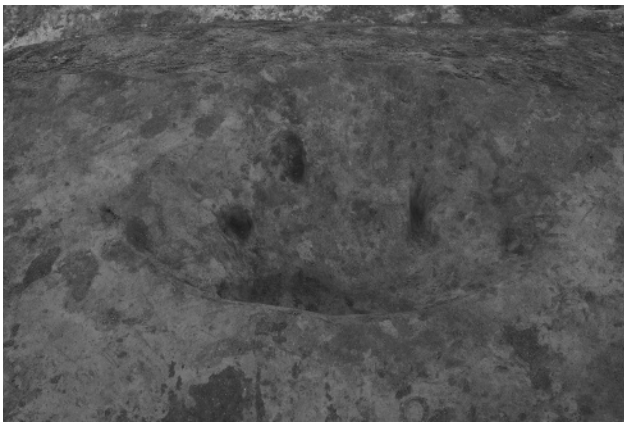
29 号土坑完掘（北より）

30・31 号土坑完掘（東より）



32 号土坑完掘（南より）

33 号土坑完掘（東より）



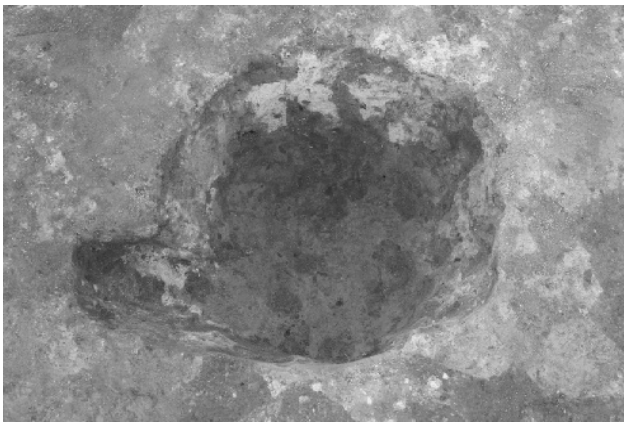
34 号土坑完掘（南より）

35 号土坑完掘（南より）

36 号土坑完掘（南より）

37 号土坑完掘（北より）

図版 20



38 号土坑完掘（東より）

39 号土坑・239 号ピット完掘（東より）

1 号道路状遺構検出状況（南より）

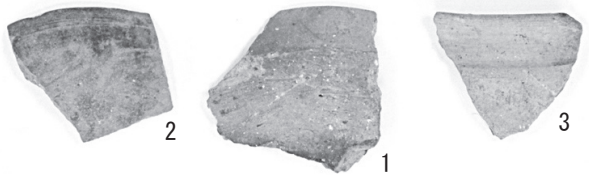
西側調査区中央部ピット群（西より）

1 号テストピット基本土層（北より）

2 号テストピット基本土層（北より）

3 号テストピット基本土層（北より）

4 号テストピット基本土層（南より）



1 号住居跡出土遺物

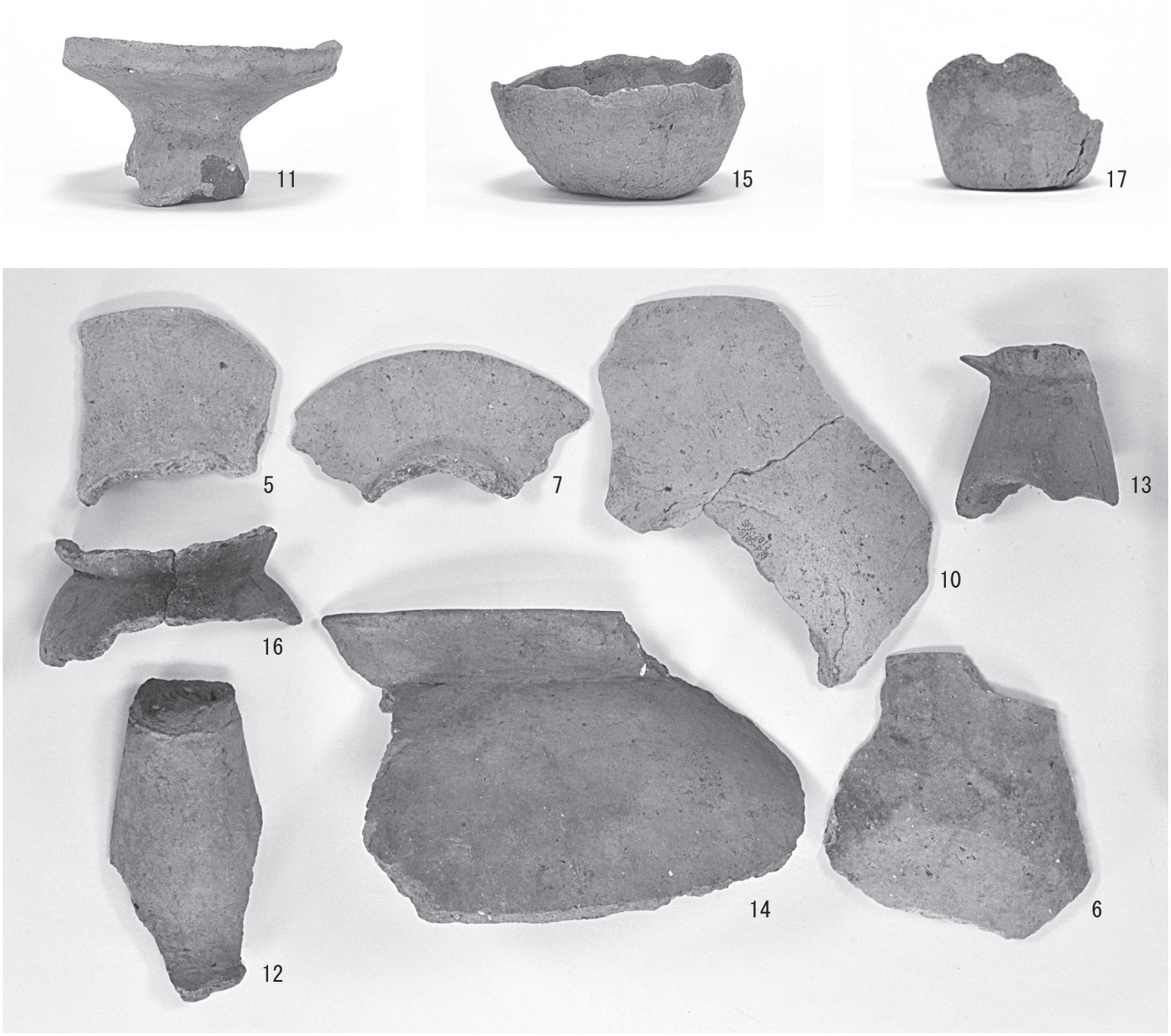
2 号住居跡出土遺物

3 号住居跡出土遺物

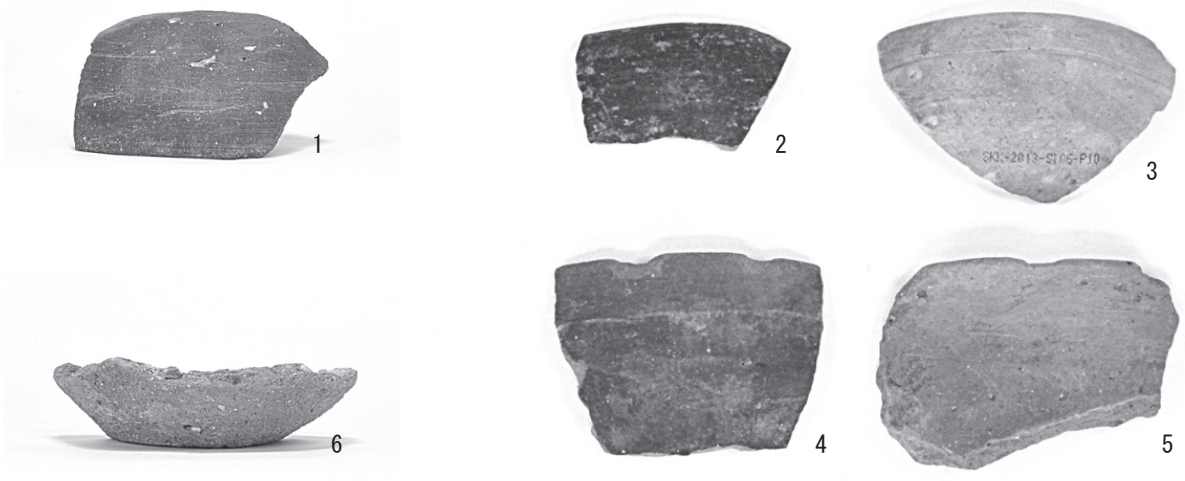
4 号住居跡出土遺物

5 号住居跡出土遺物（1）

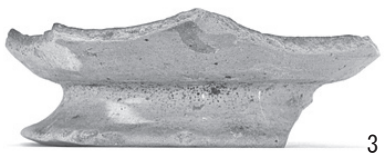
図版 22

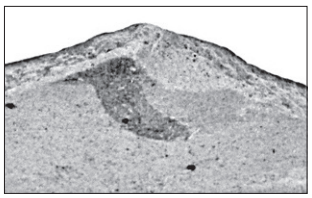


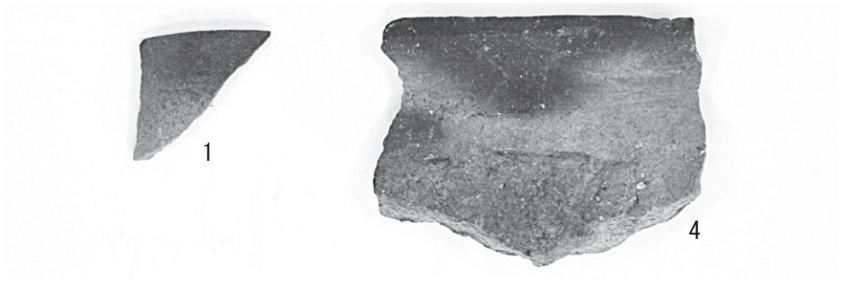
５号住居跡出土遺物（２）



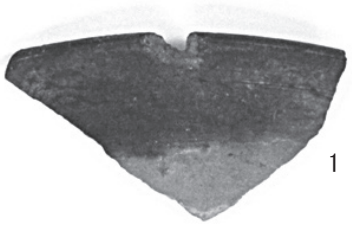
６号住居跡出土遺物







7 号住居跡出土遺物

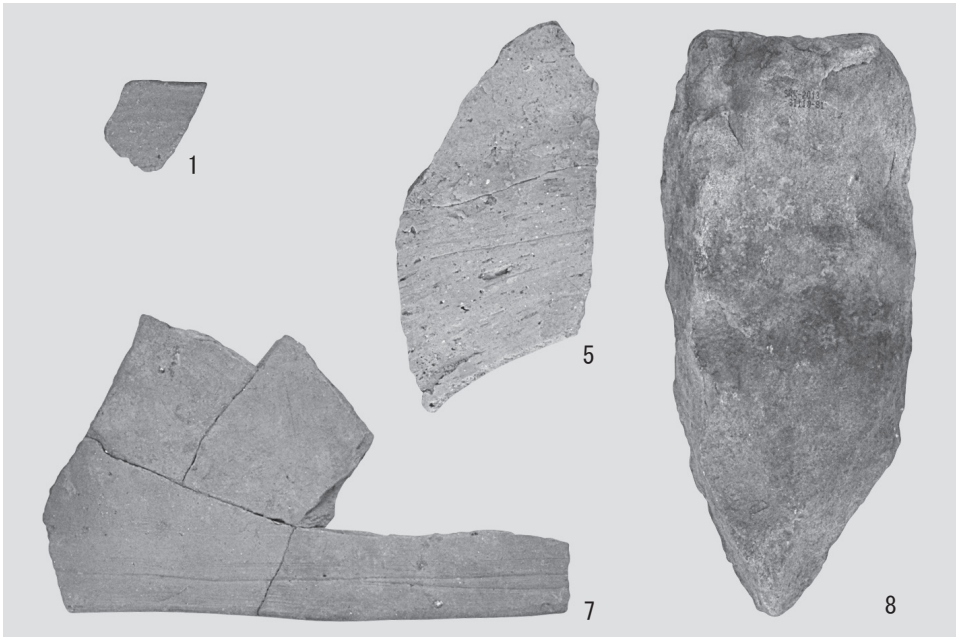


9 号住居跡出土遺物

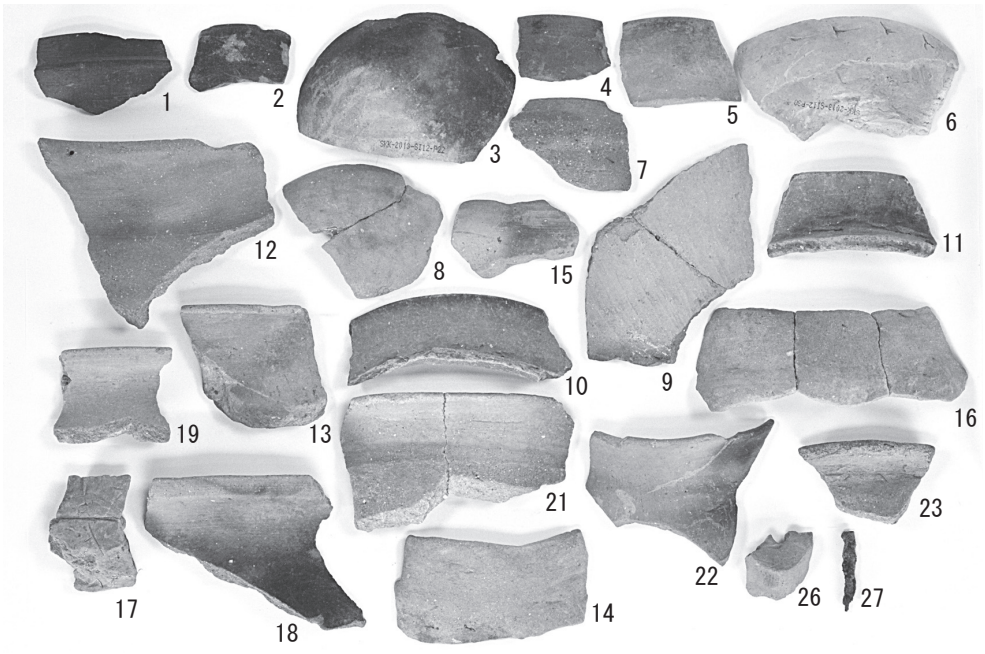
10 号住居跡出土遺物

11 号住居跡出土遺物（1）

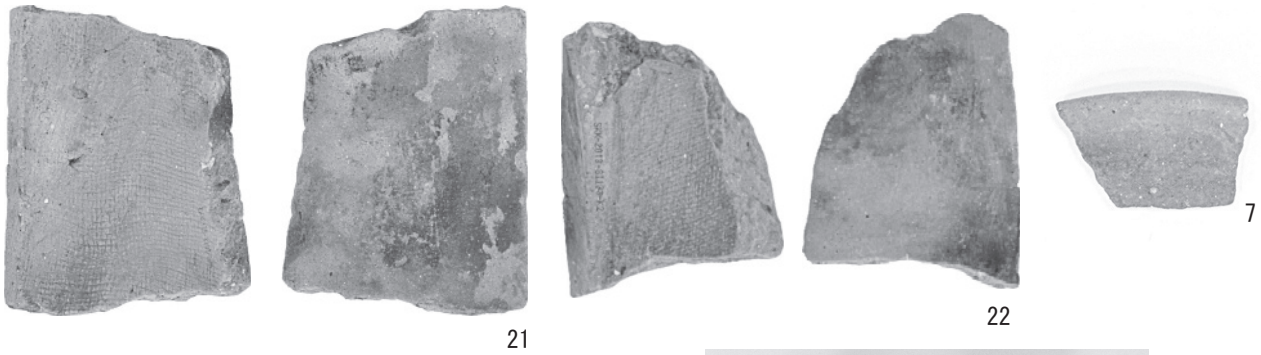
図版 24



11 号住居跡出土遺物（2）

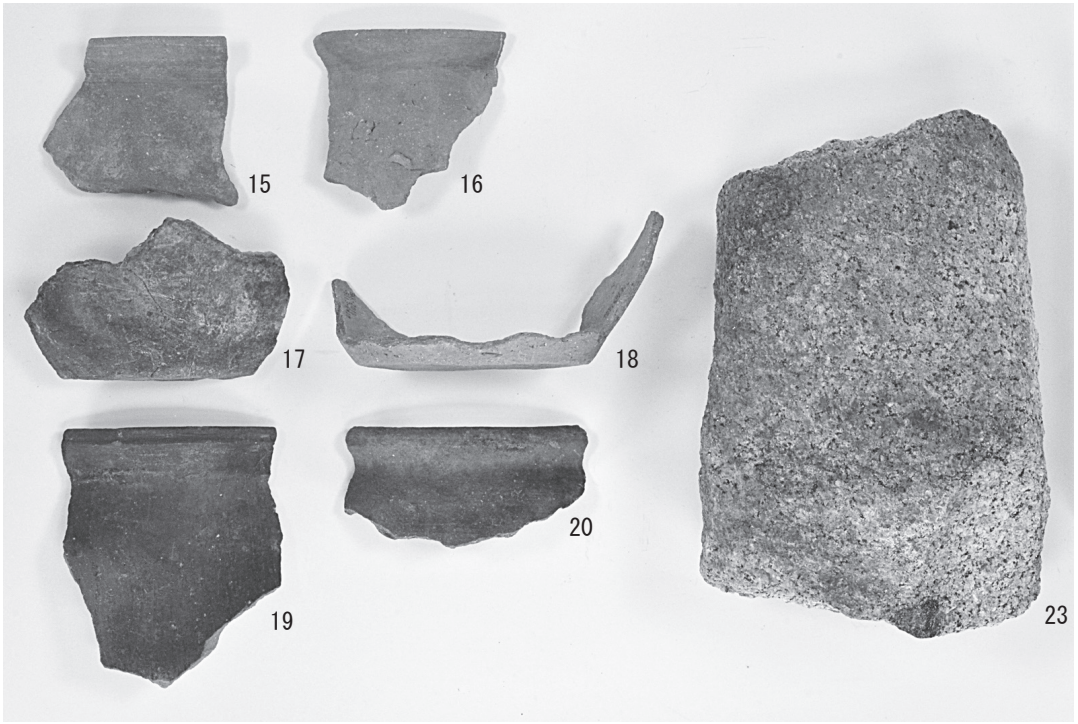


12 号住居跡出土遺物



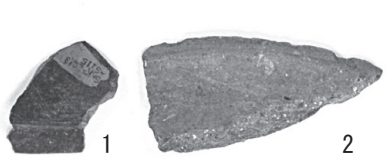
13 号住居跡出土遺物（1）

図版 26



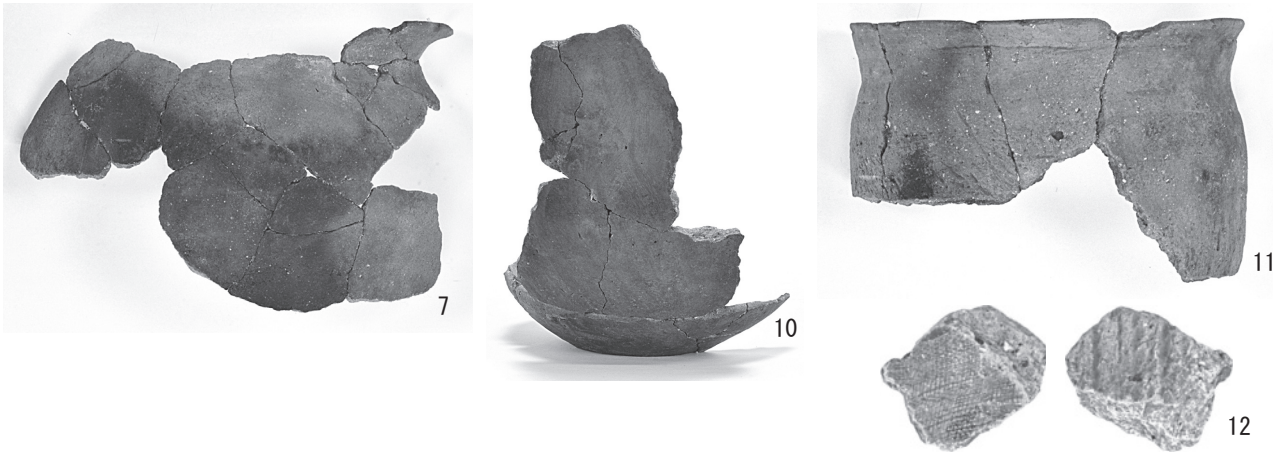
13 号住居跡出土遺物（2）

14 号住居跡出土遺物



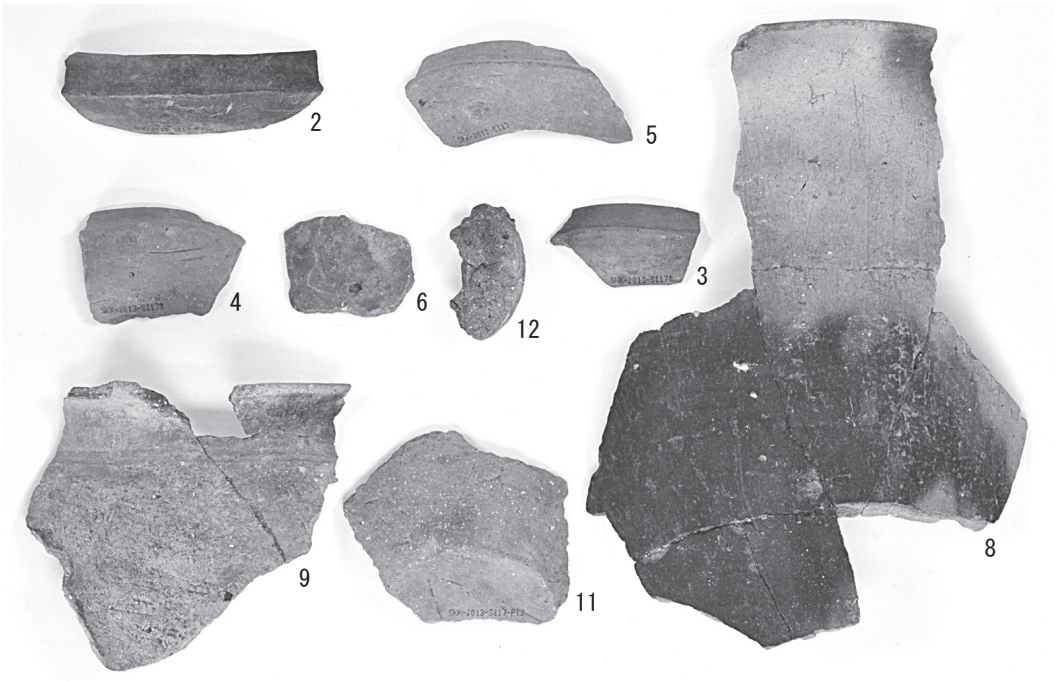
15 号住居跡出土遺物

16 号住居跡出土遺物（1）



16 号住居跡出土遺物（2）

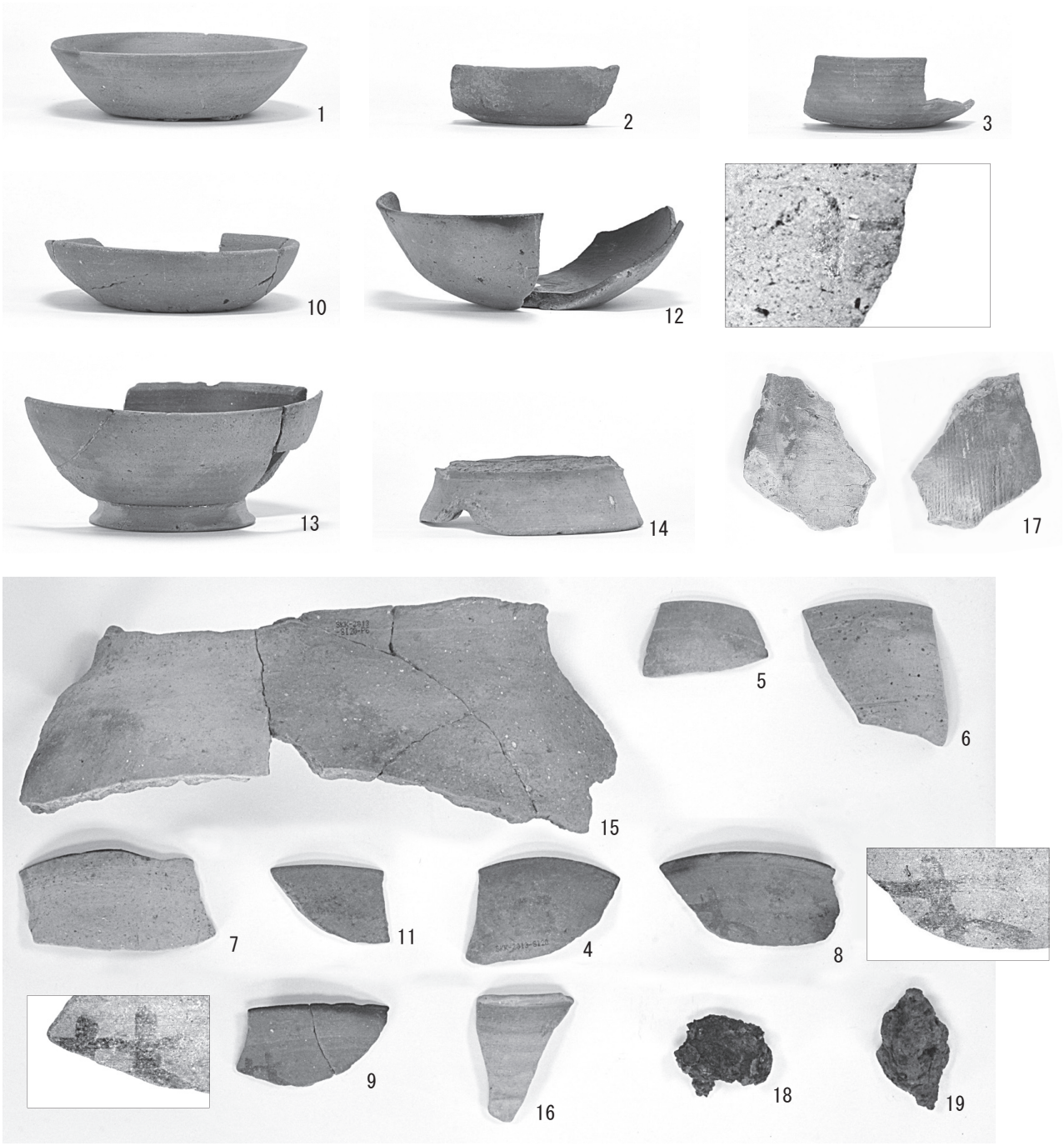
16 号住居跡出土遺物（3）



17 号住居跡出土遺物

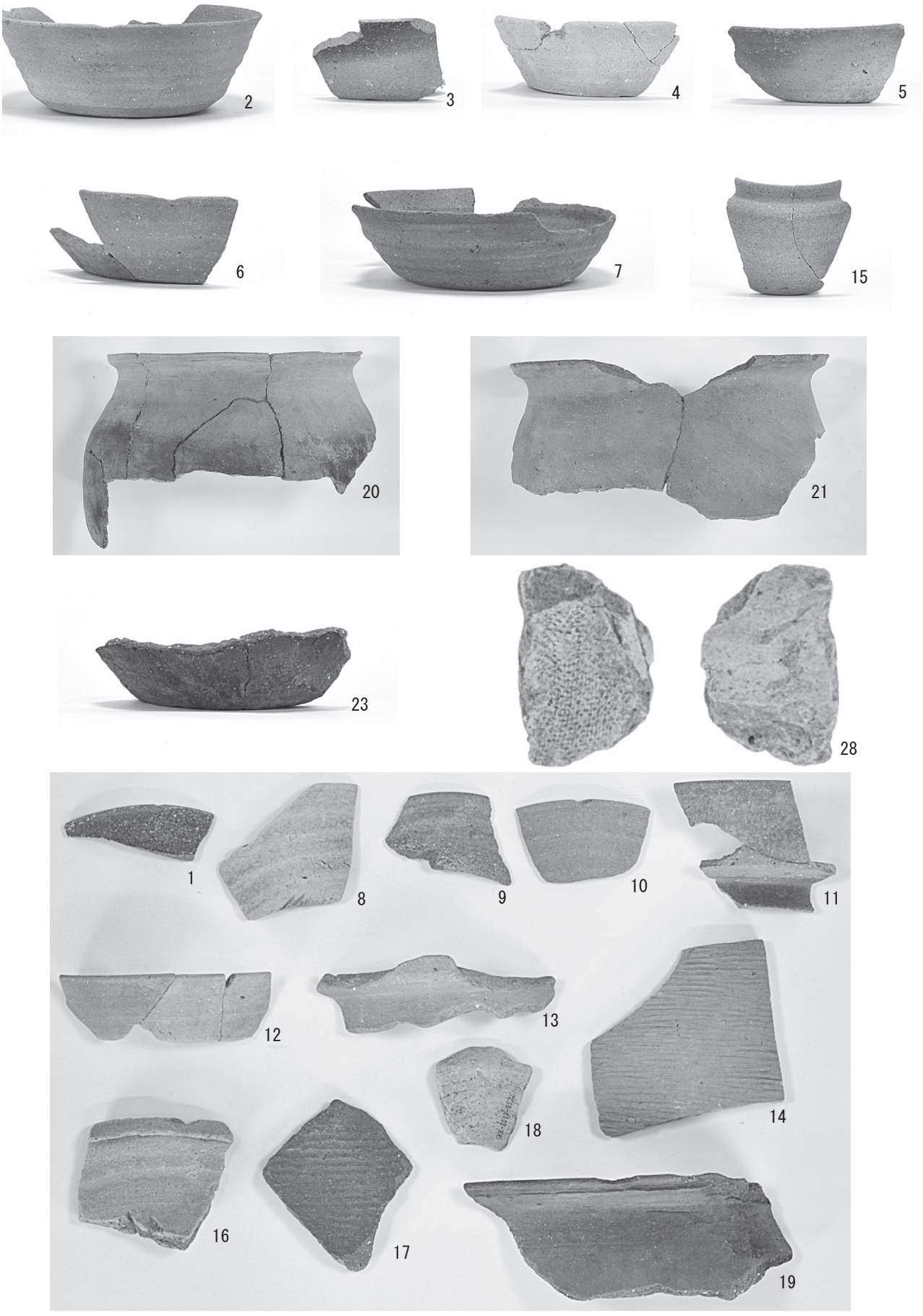
19 号住居跡出土遺物

図版 28



20 号住居跡出土遺物

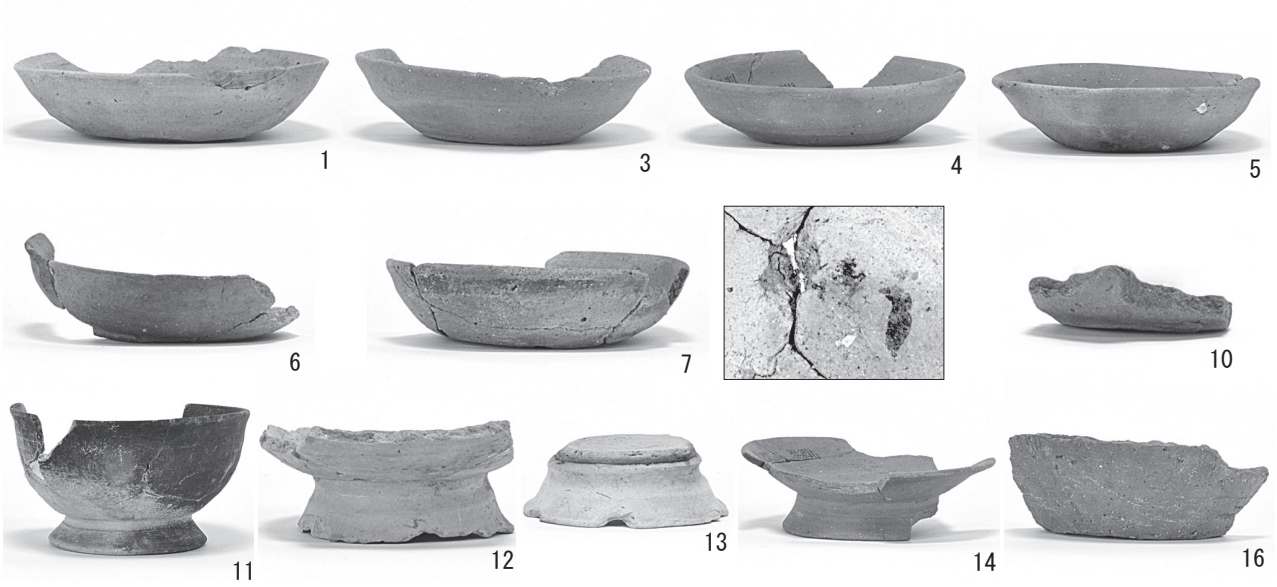
21 号住居跡出土遺物

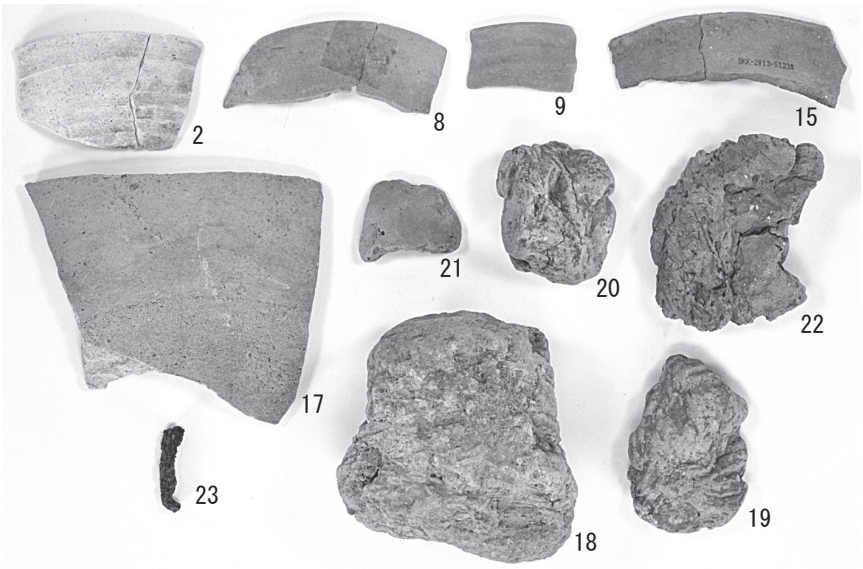


22 号住居跡出土遺物（1）

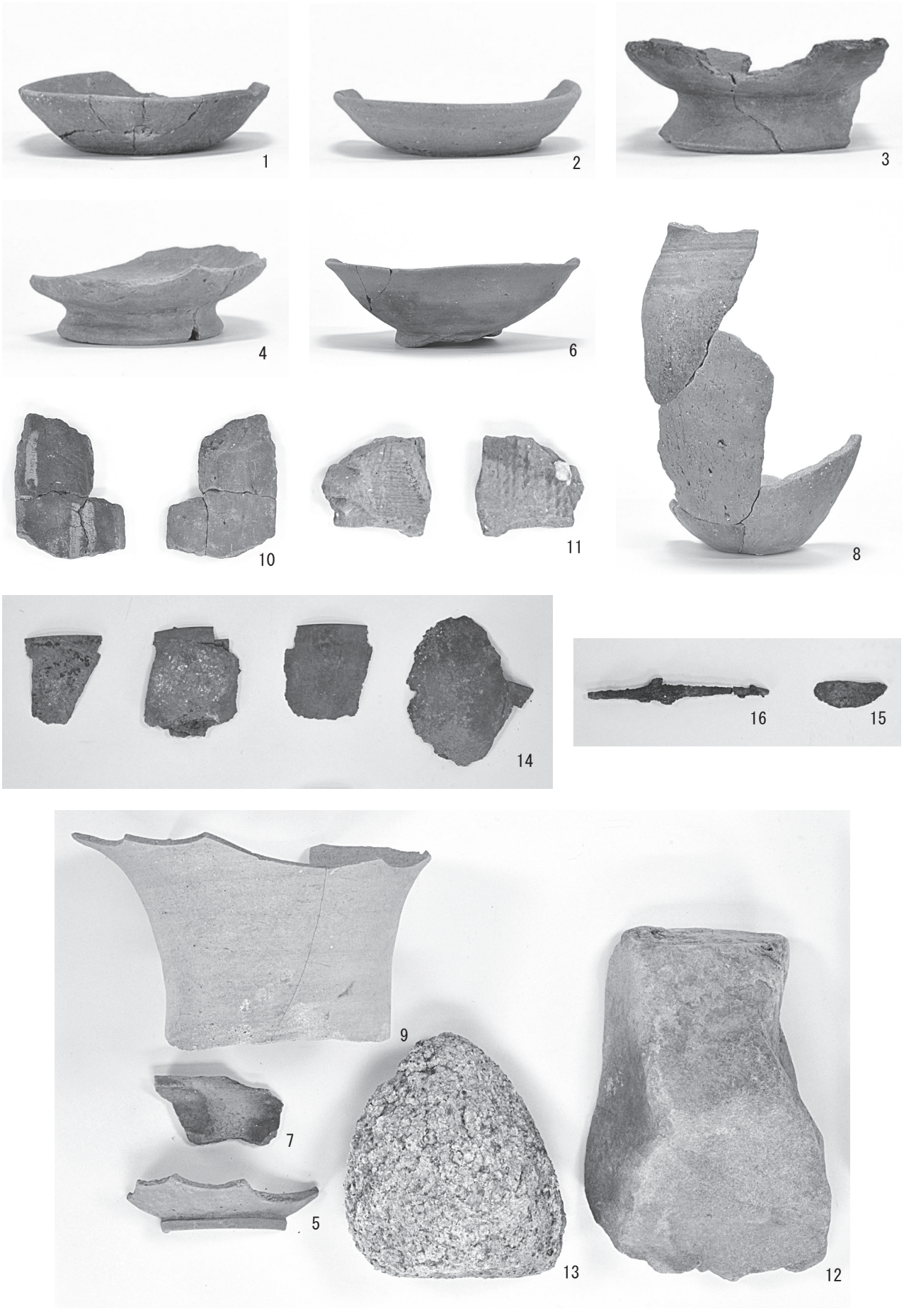
図版 30

22 号住居跡出土遺物（2）



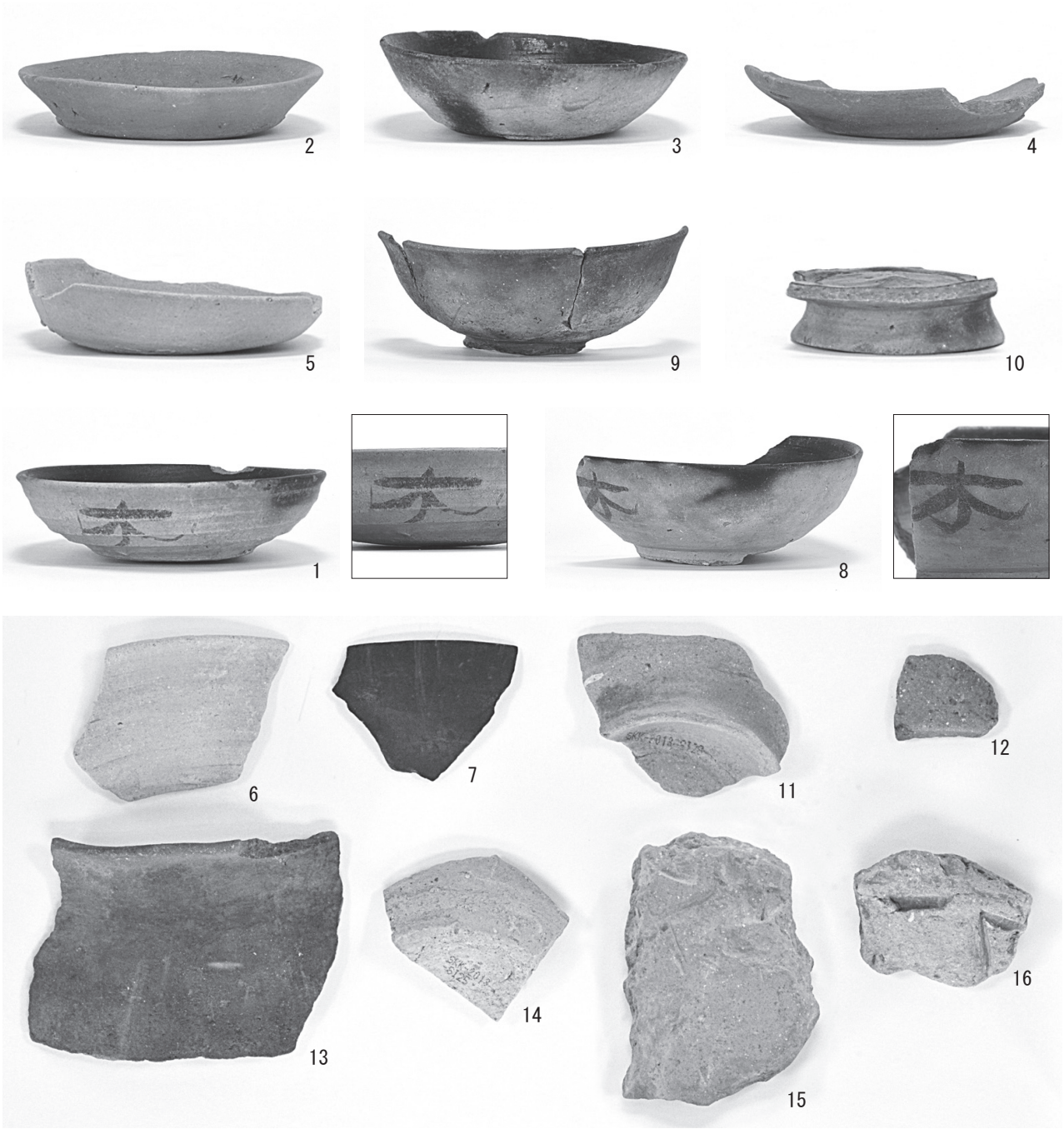


23 号住居跡出土遺物

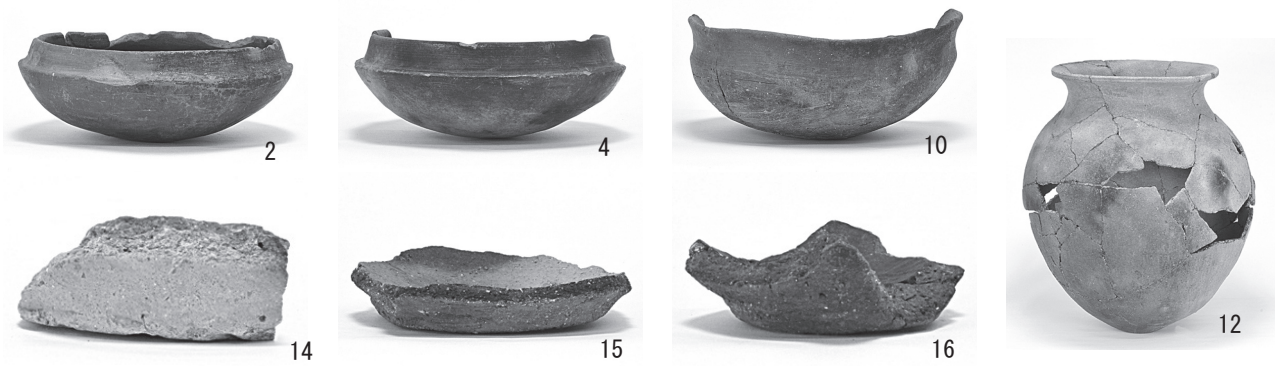


24 号住居跡出土遺物

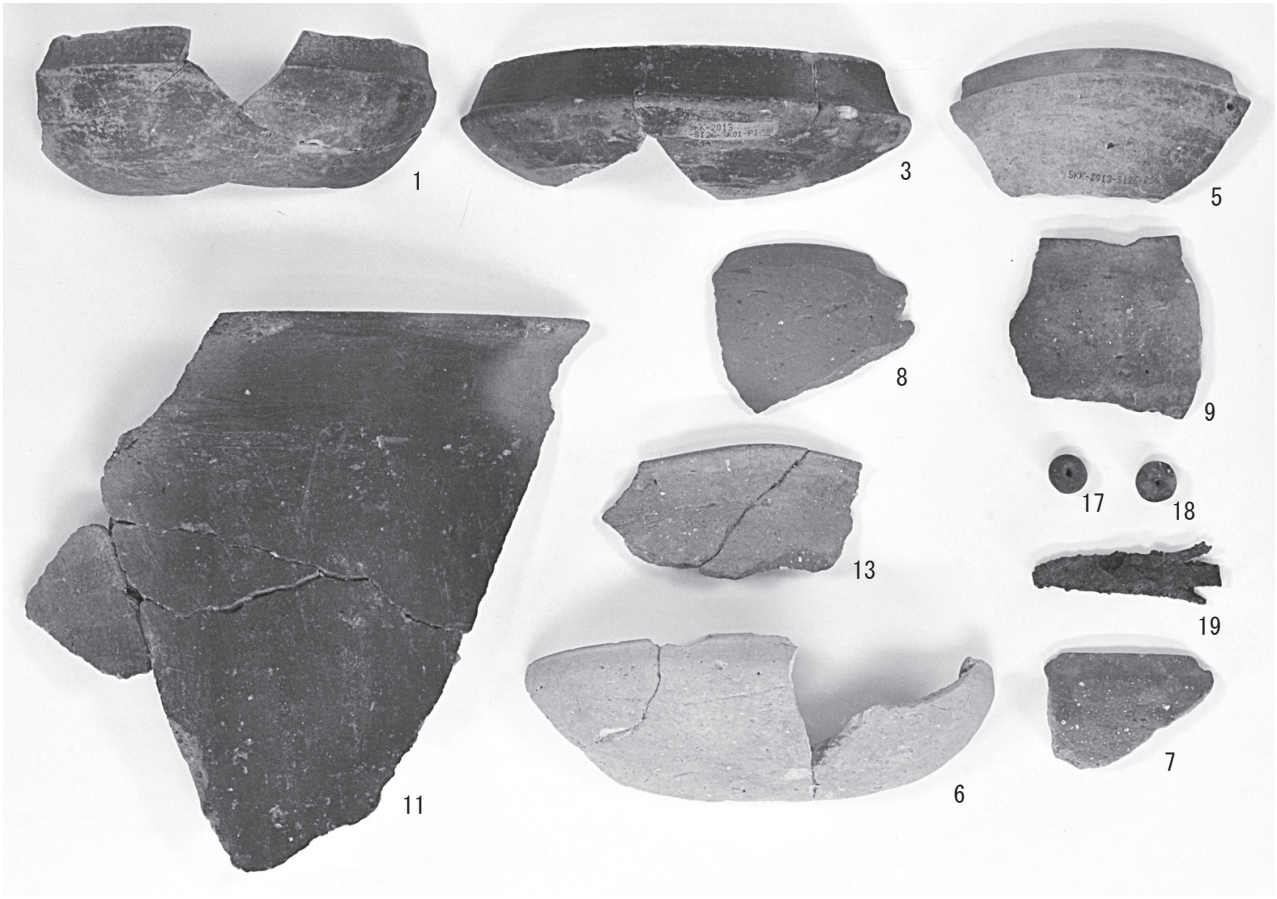
図版 32



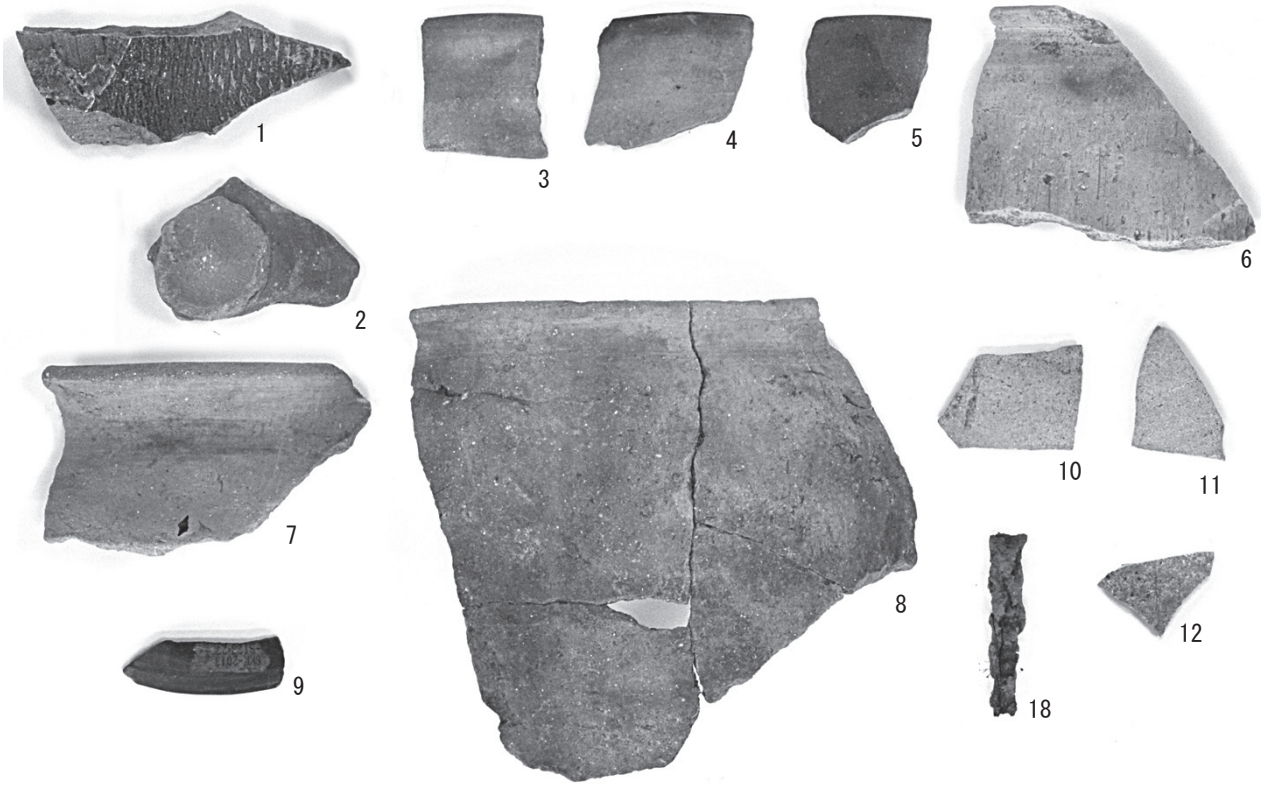
25 号住居跡出土遺物



26 号住居跡出土遺物（1）

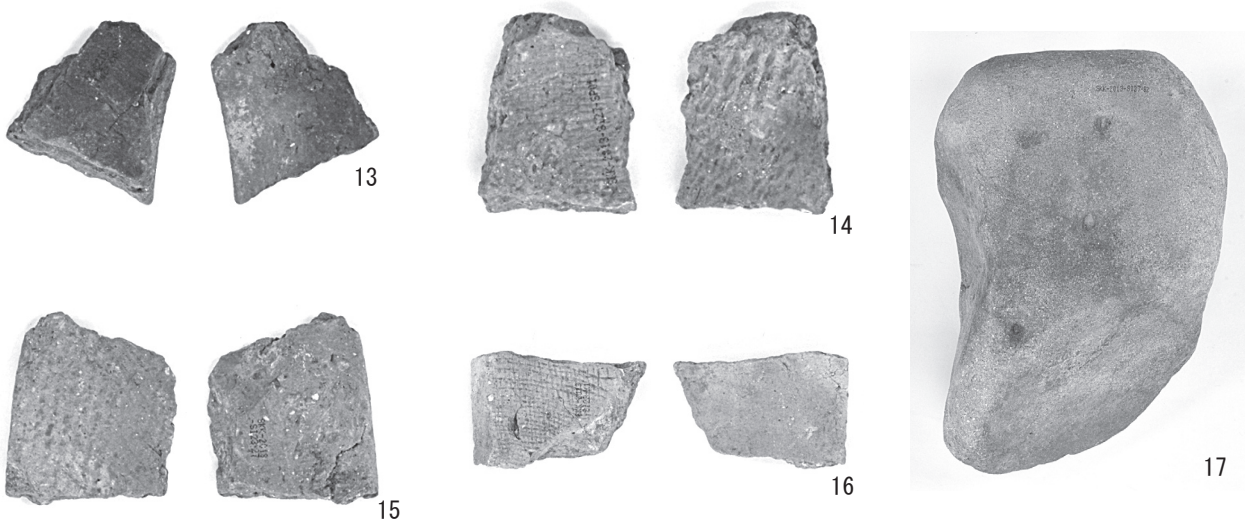


26 号住居跡出土遺物（2）

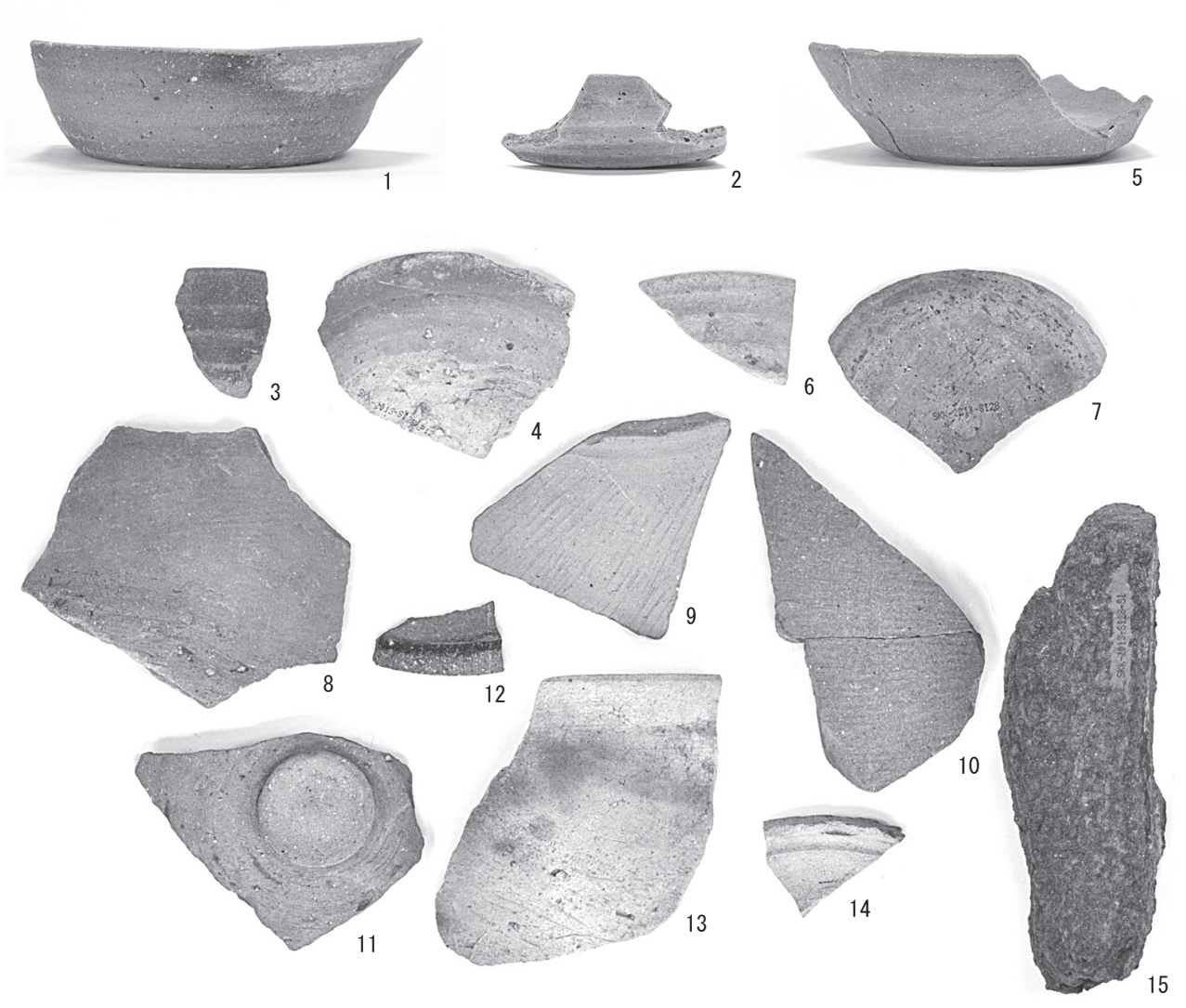


27 号住居跡出土遺物（1）

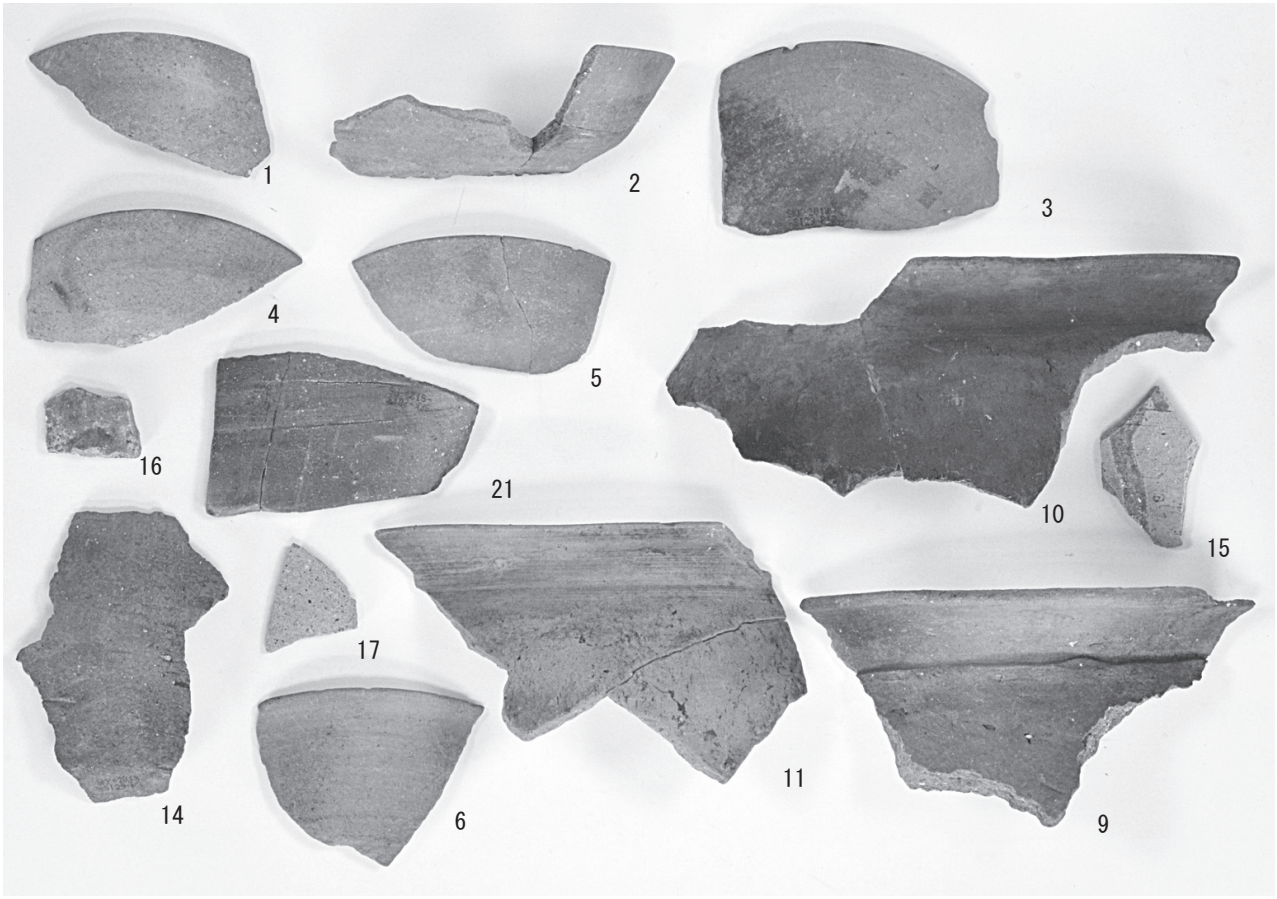
図版 34

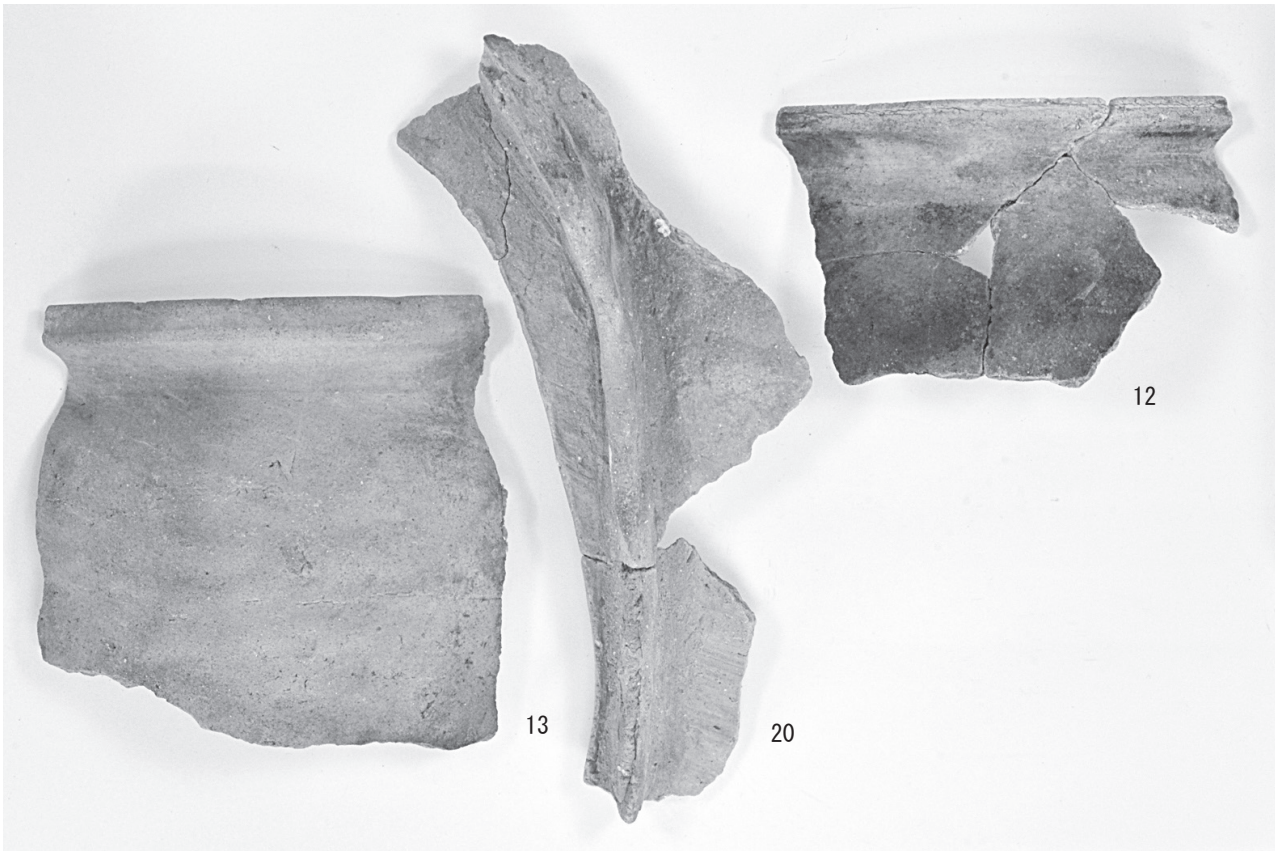


27 号住居跡出土遺物（２）



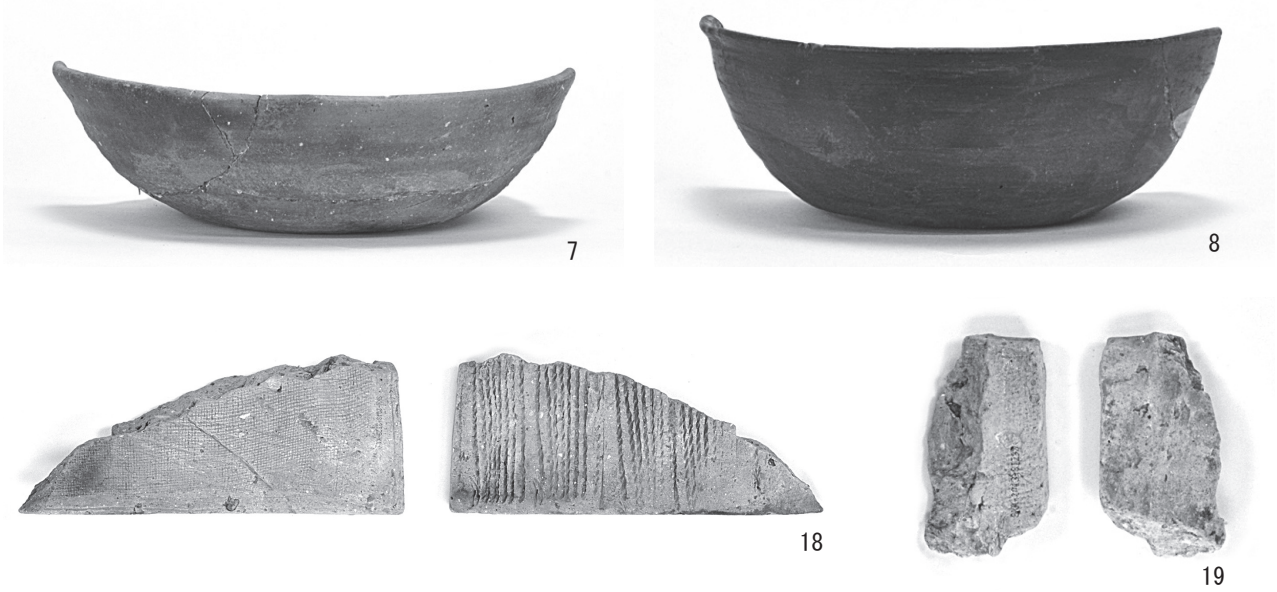
28 号住居跡出土遺物



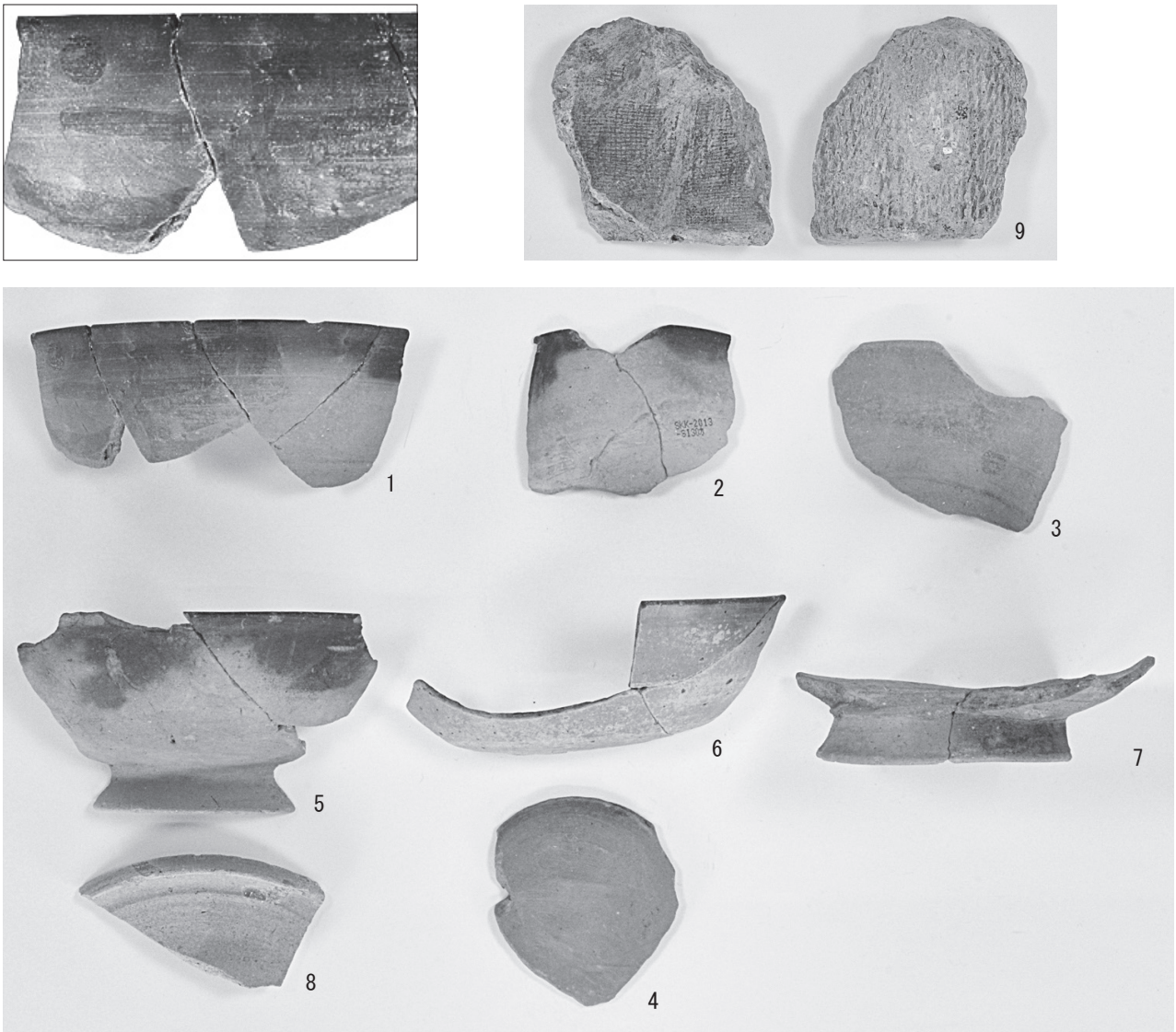


29 号住居跡出土遺物（1）

図版 36



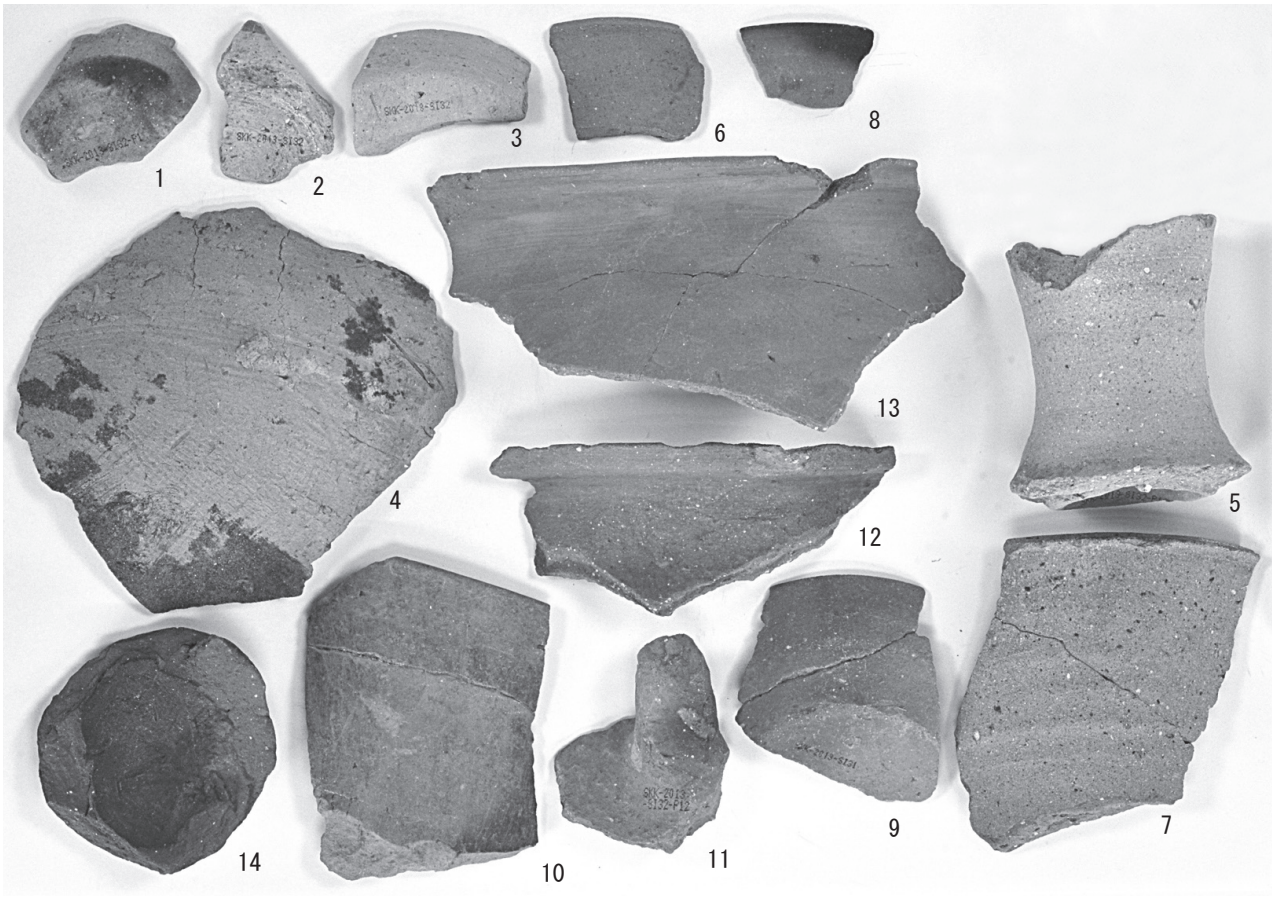
29 号住居跡出土遺物（2）



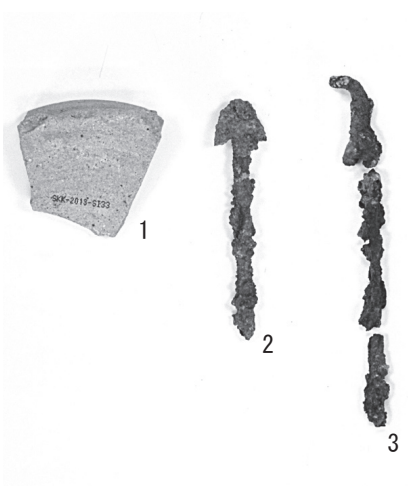
30 号住居跡出土遺物

31 号住居跡出土遺物

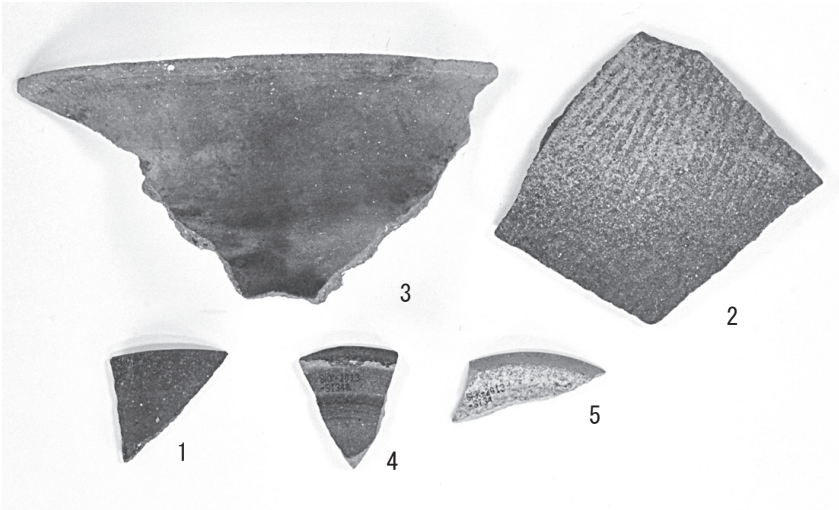
図版 38



32 号住居跡出土遺物

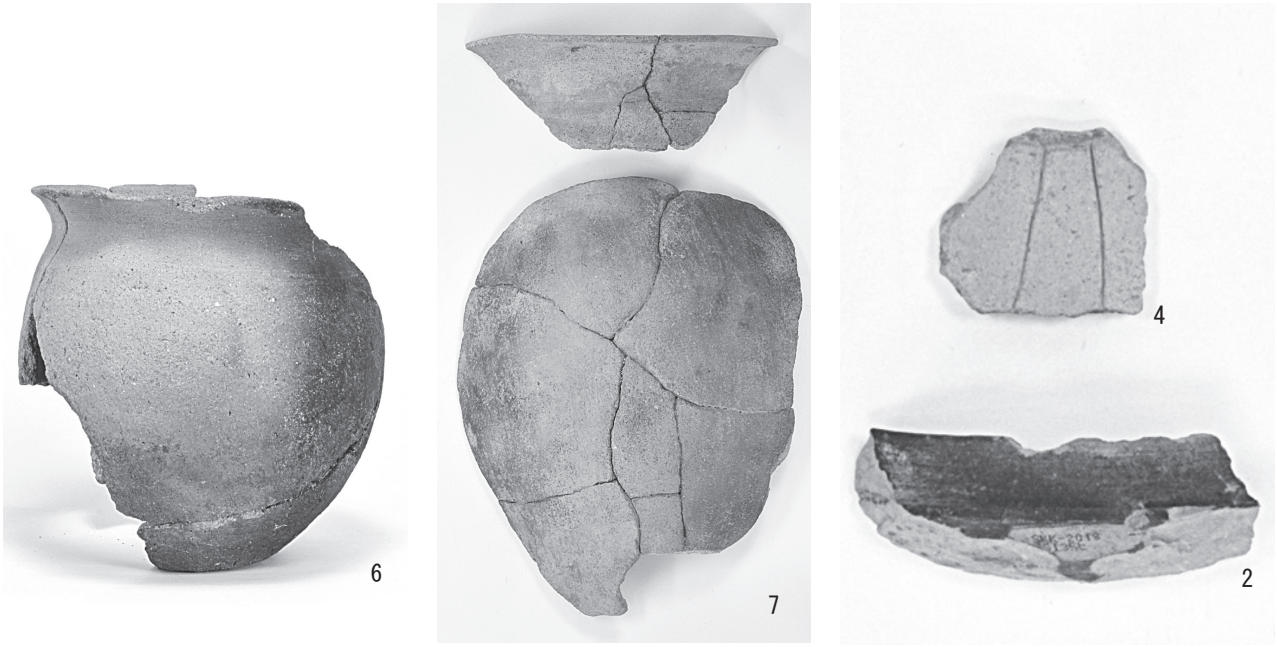


33 号住居跡出土遺物



34 号住居跡出土遺物

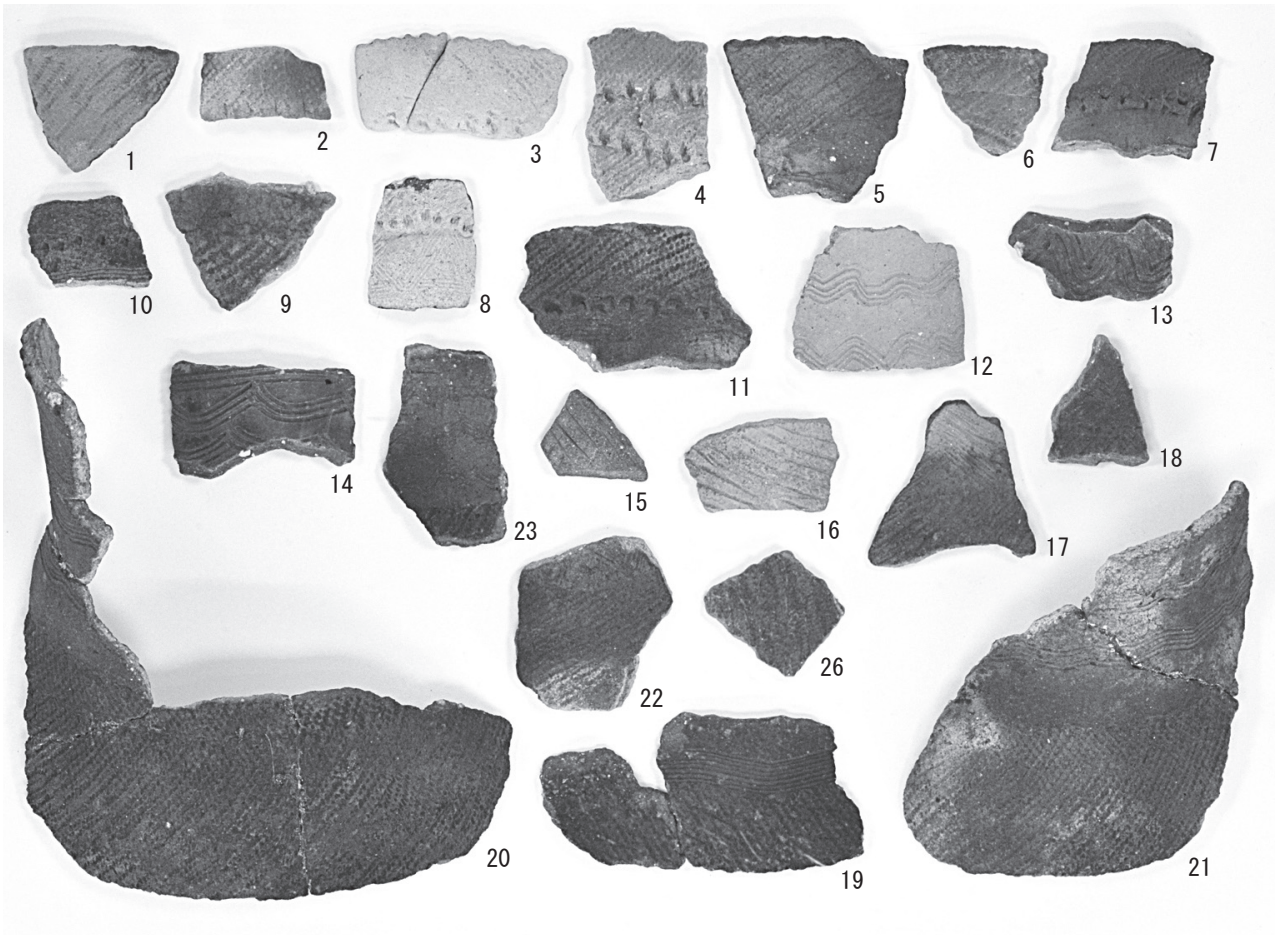
35 号住居跡出土遺物（1）

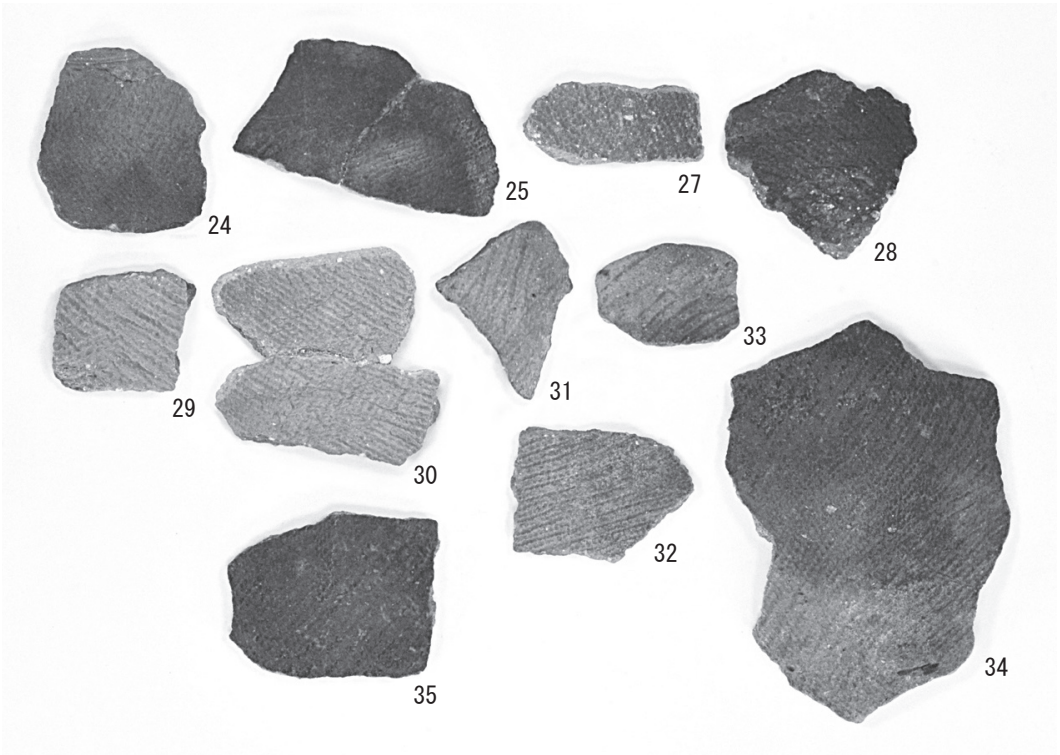


35 号住居跡出土遺物（2）

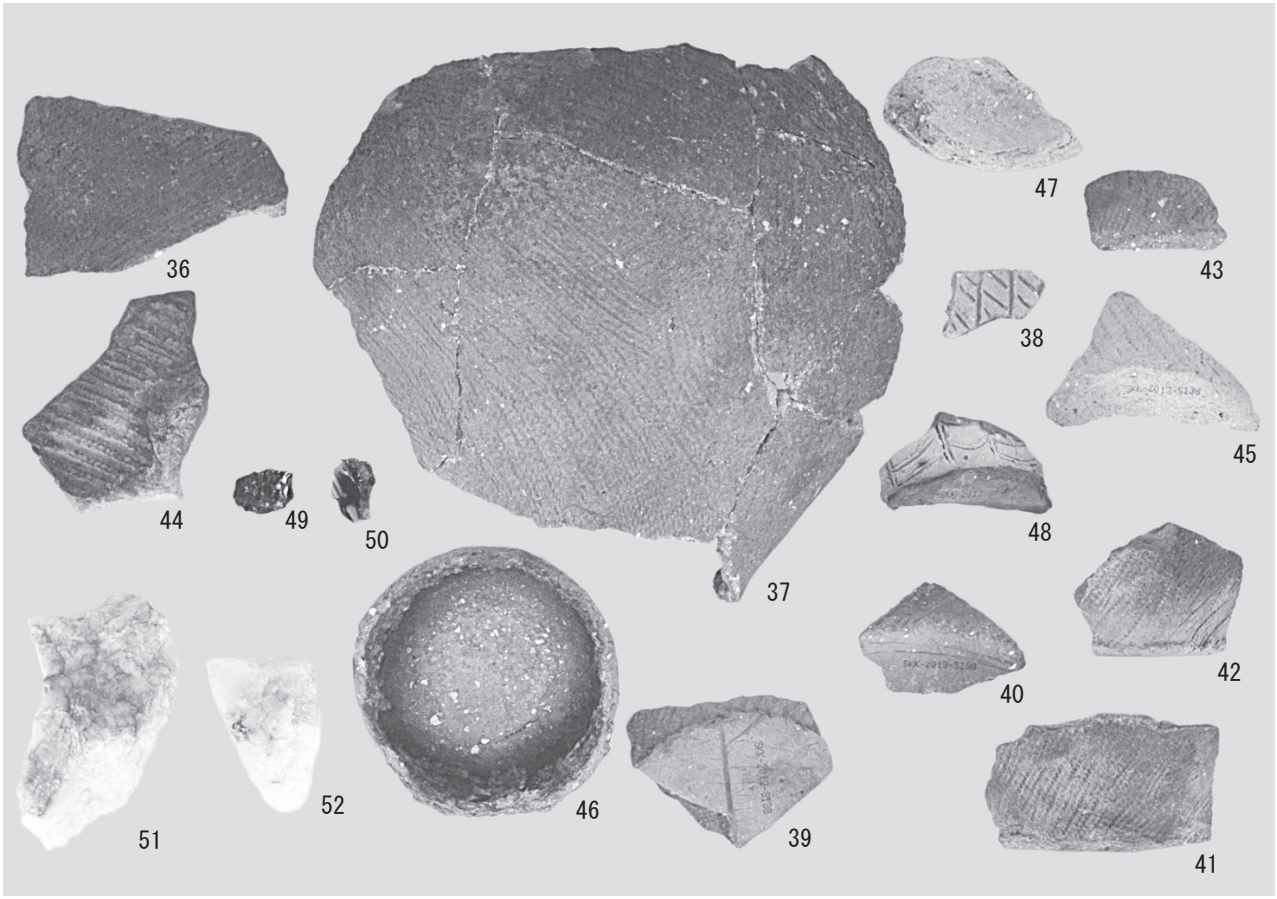
37 号住居跡出土遺物

図版 40





38 号住居跡出土遺物（1）



38 号住居跡出土遺物（2）

1 号溝出土遺物（1）

図版 42

11

12

14

15

16

17

18

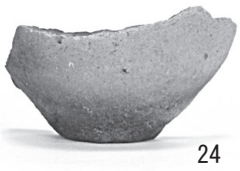
19

20

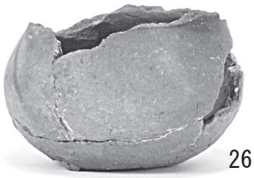
21

22

23


24

25


26

27

28

29

31

36

37

40

41

42

43

44

45

47

1 号溝出土遺物（２）

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

65

67

68

69

70

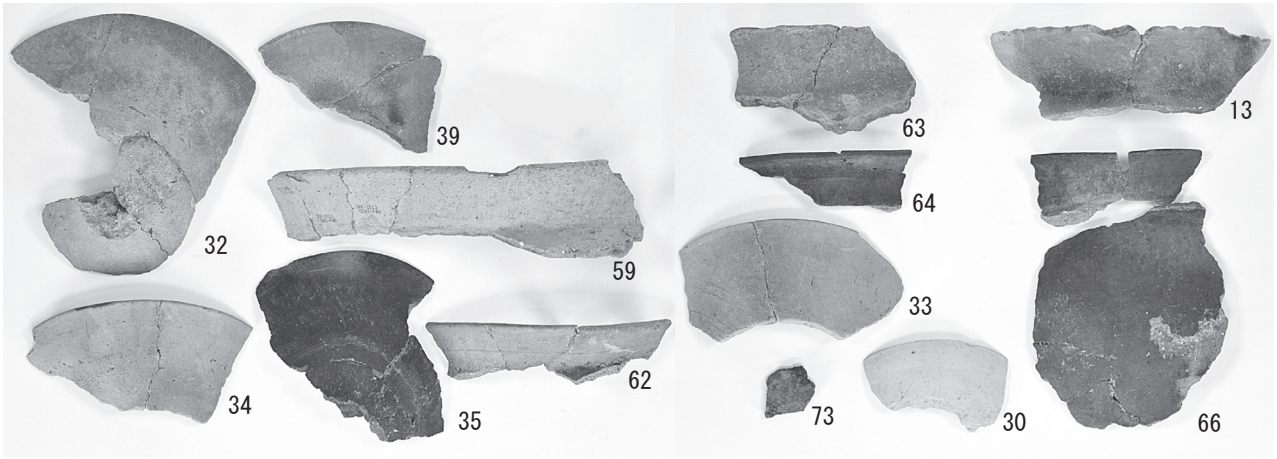
71
（坏部）

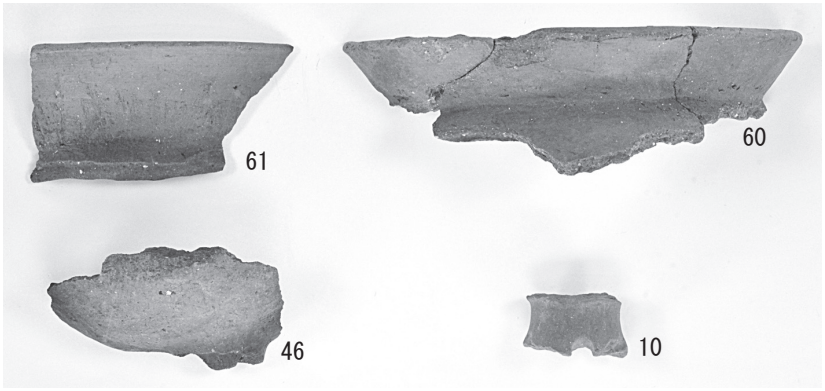
71
（脚部）

72

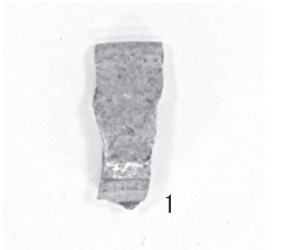
1 号溝出土遺物（３）

図版 44

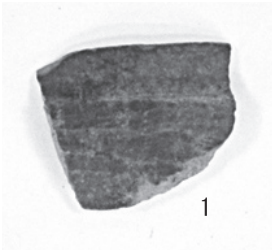




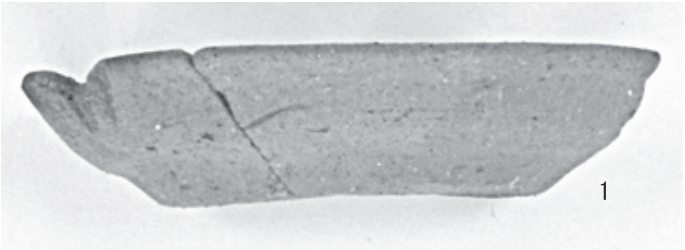
1 号溝出土遺物（4）



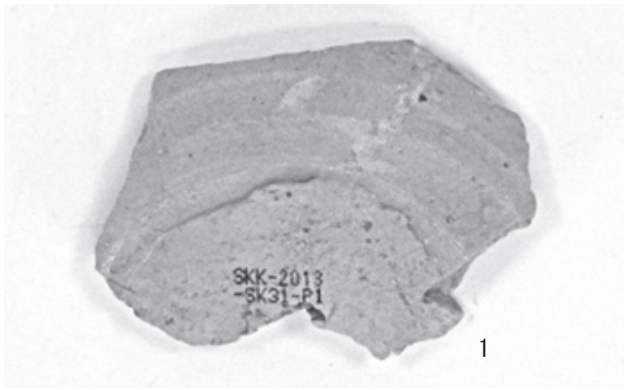
3 号溝出土遺物



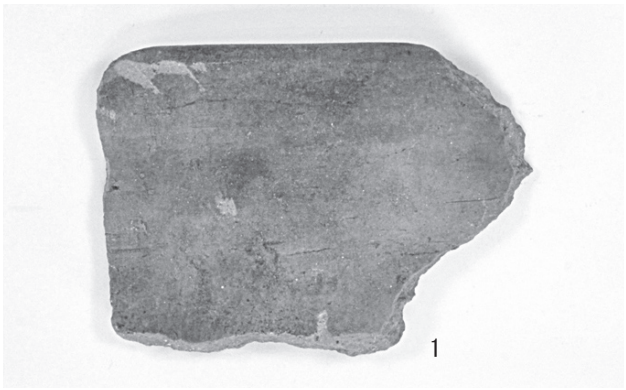
22 号土坑出土遺物



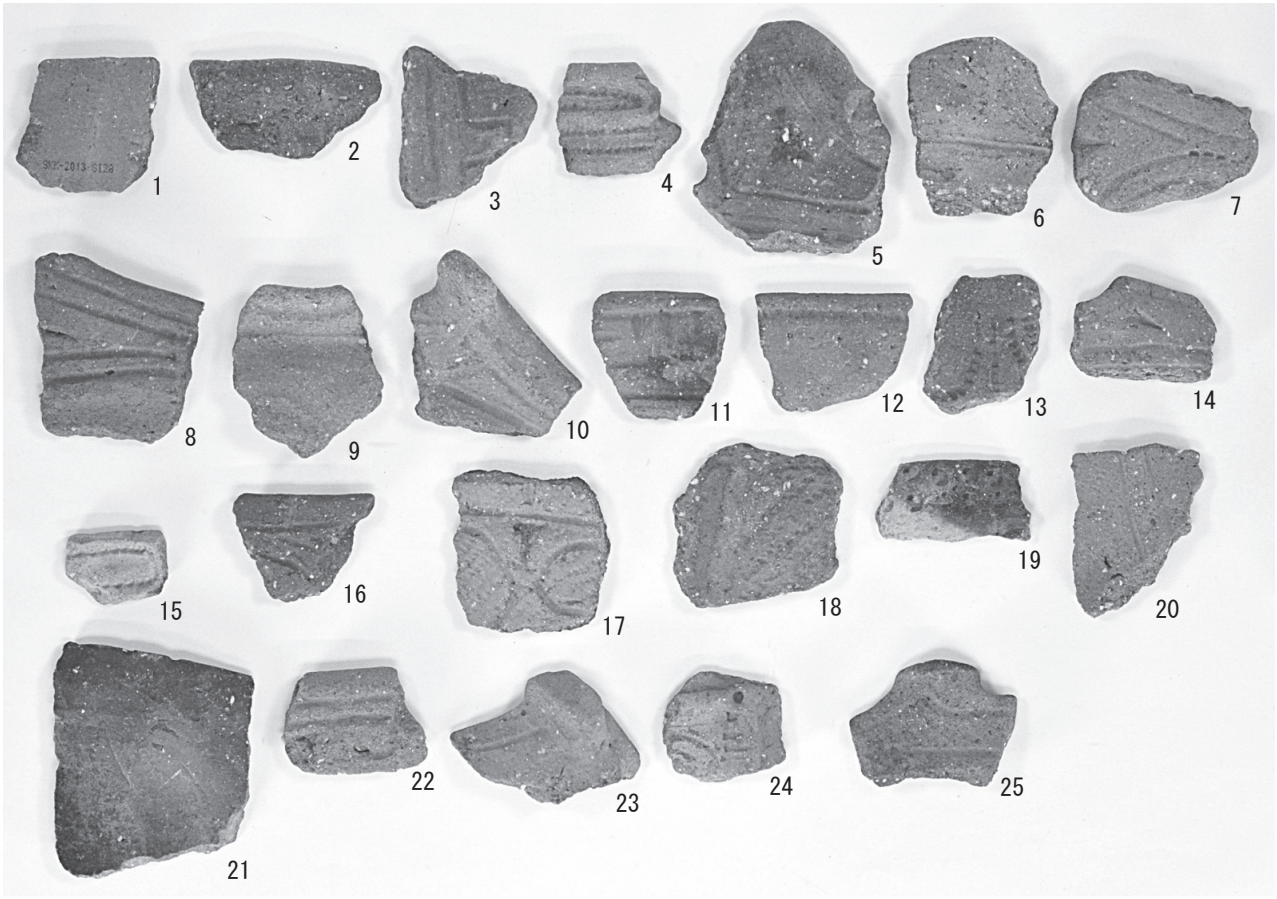
30 号土坑出土遺物

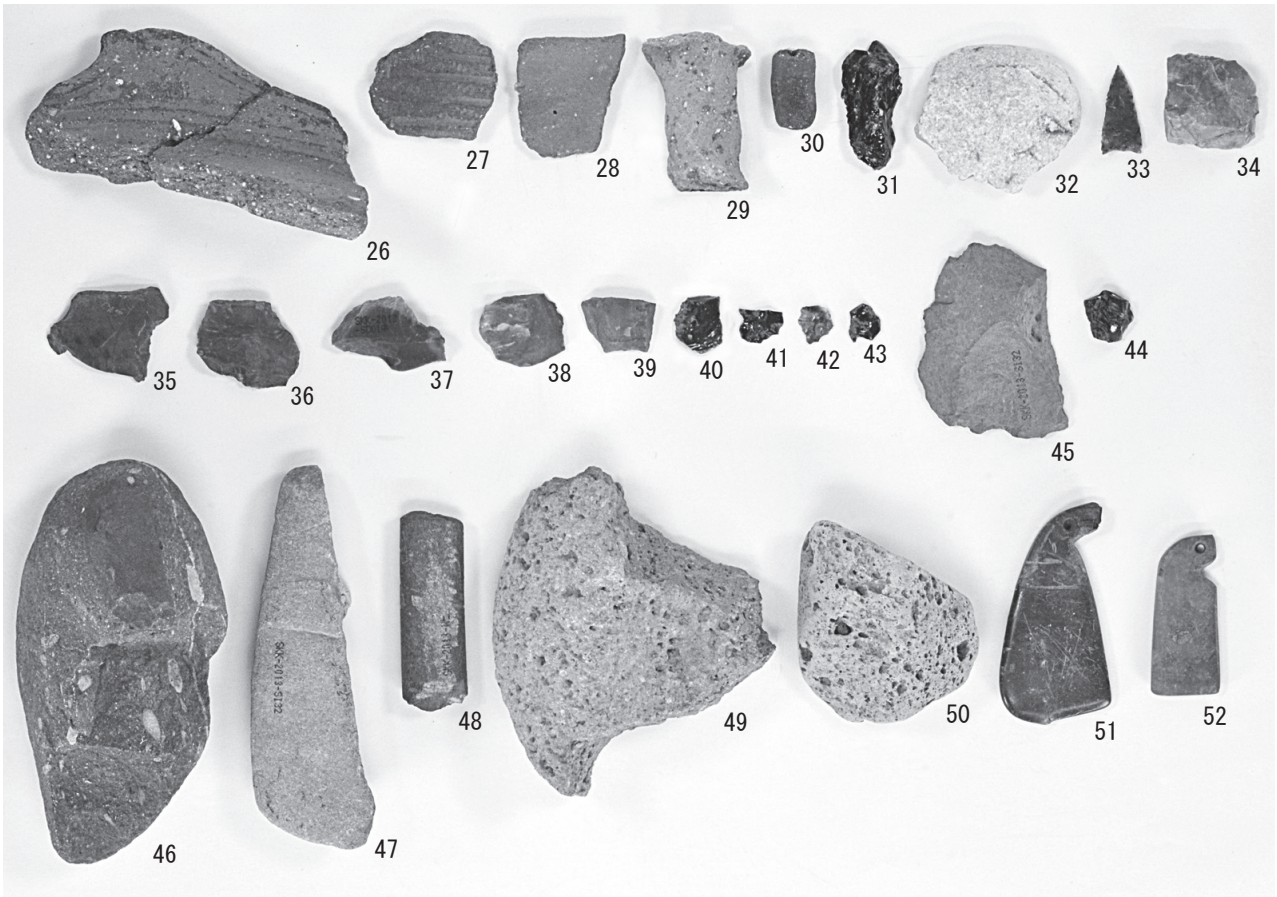


31 号土坑出土遺物



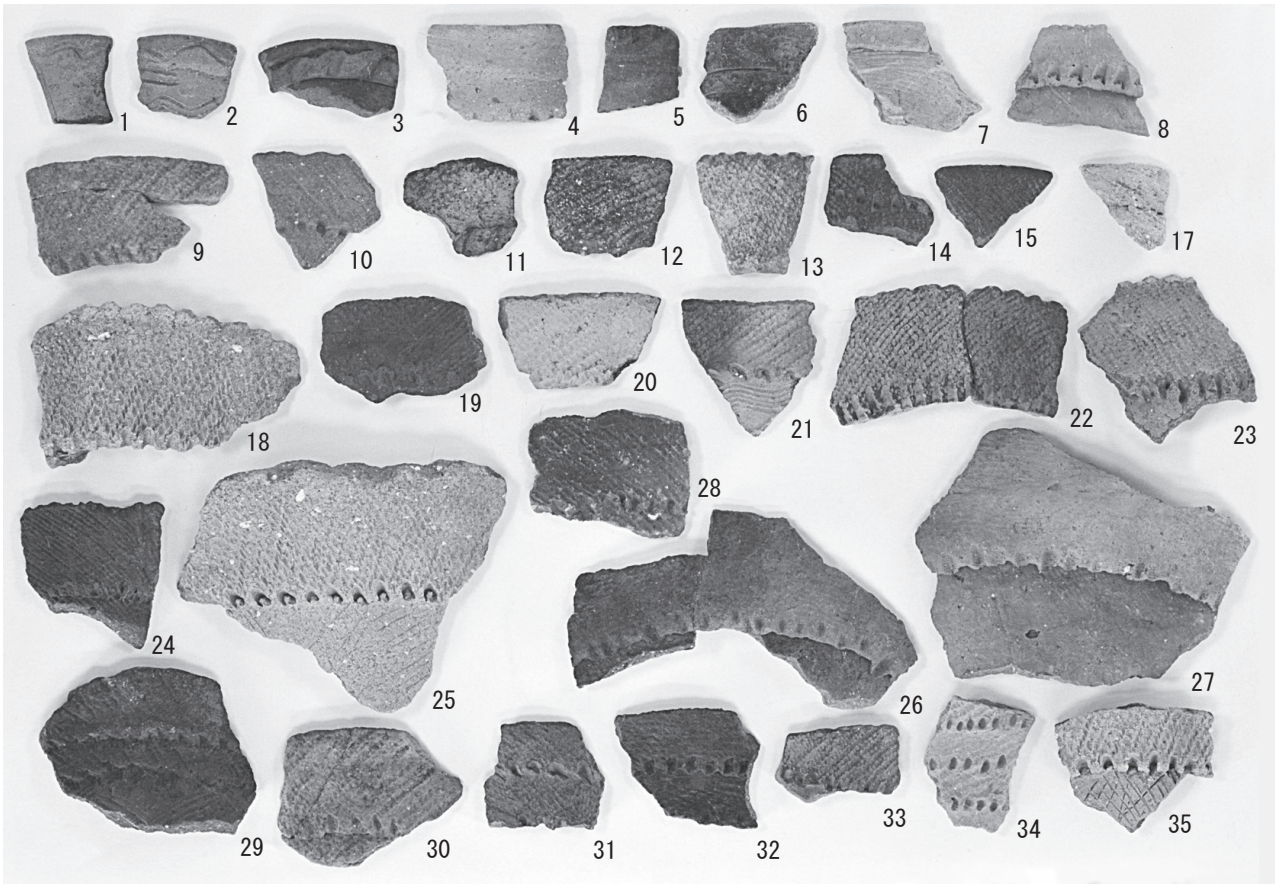
33 号土坑出土遺物

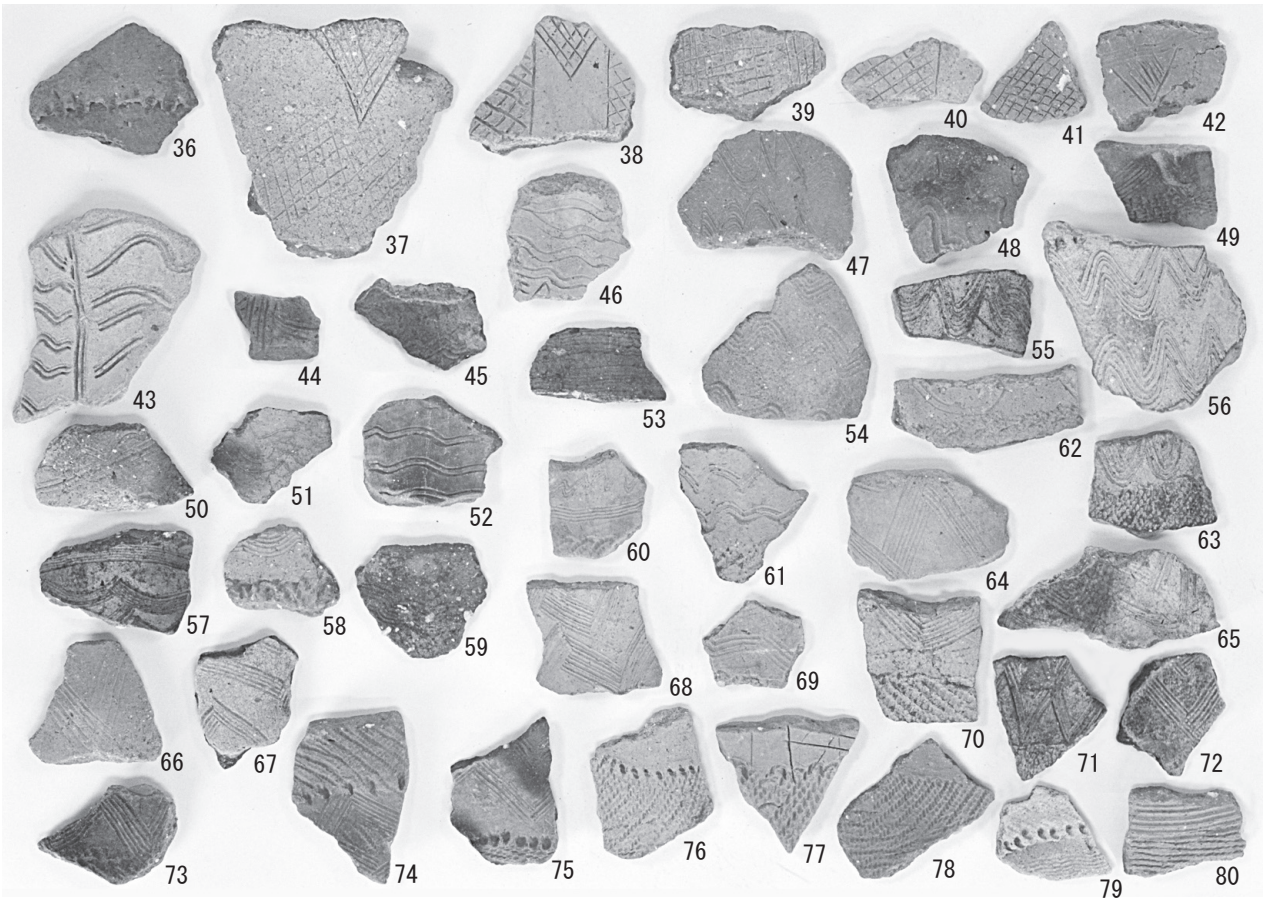




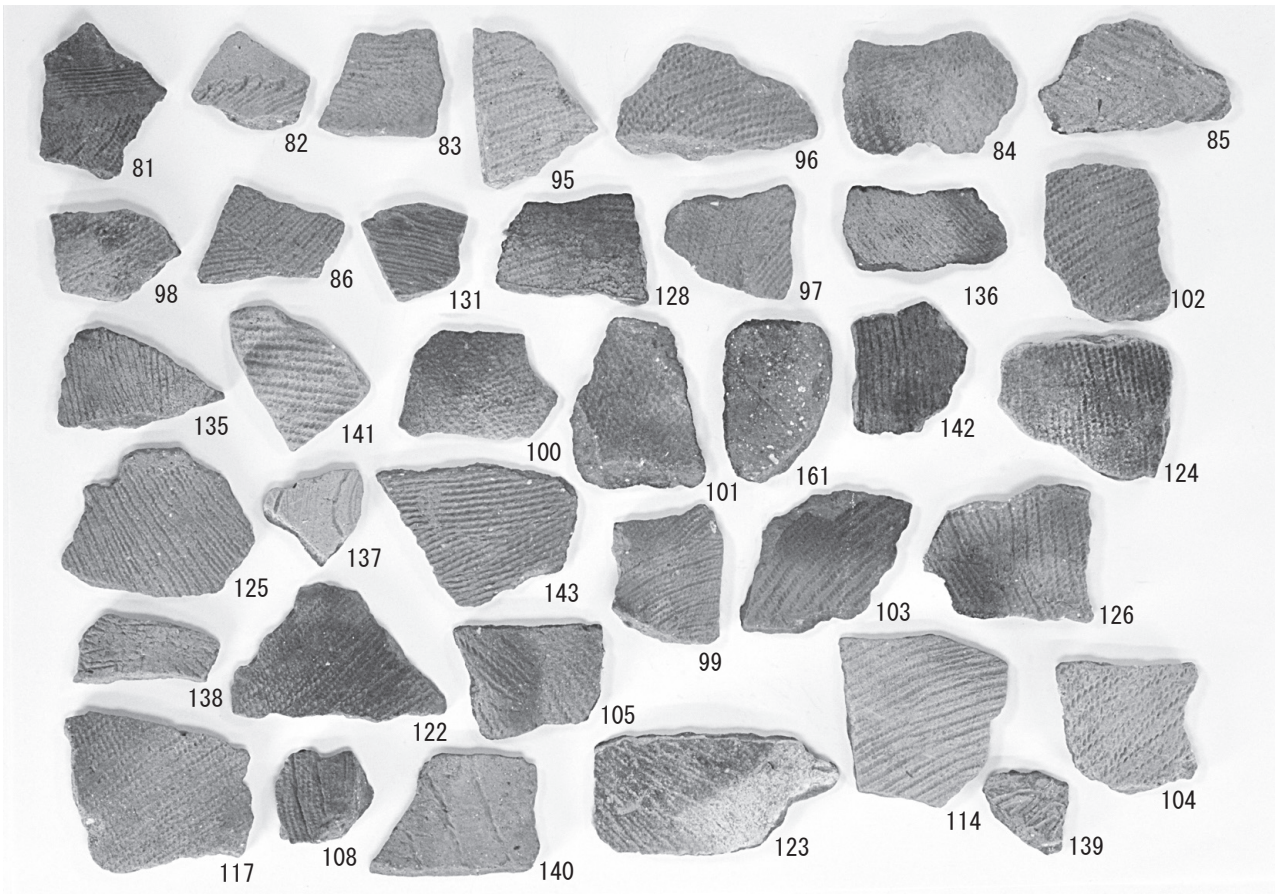
縄文時代遺構外出土遺物

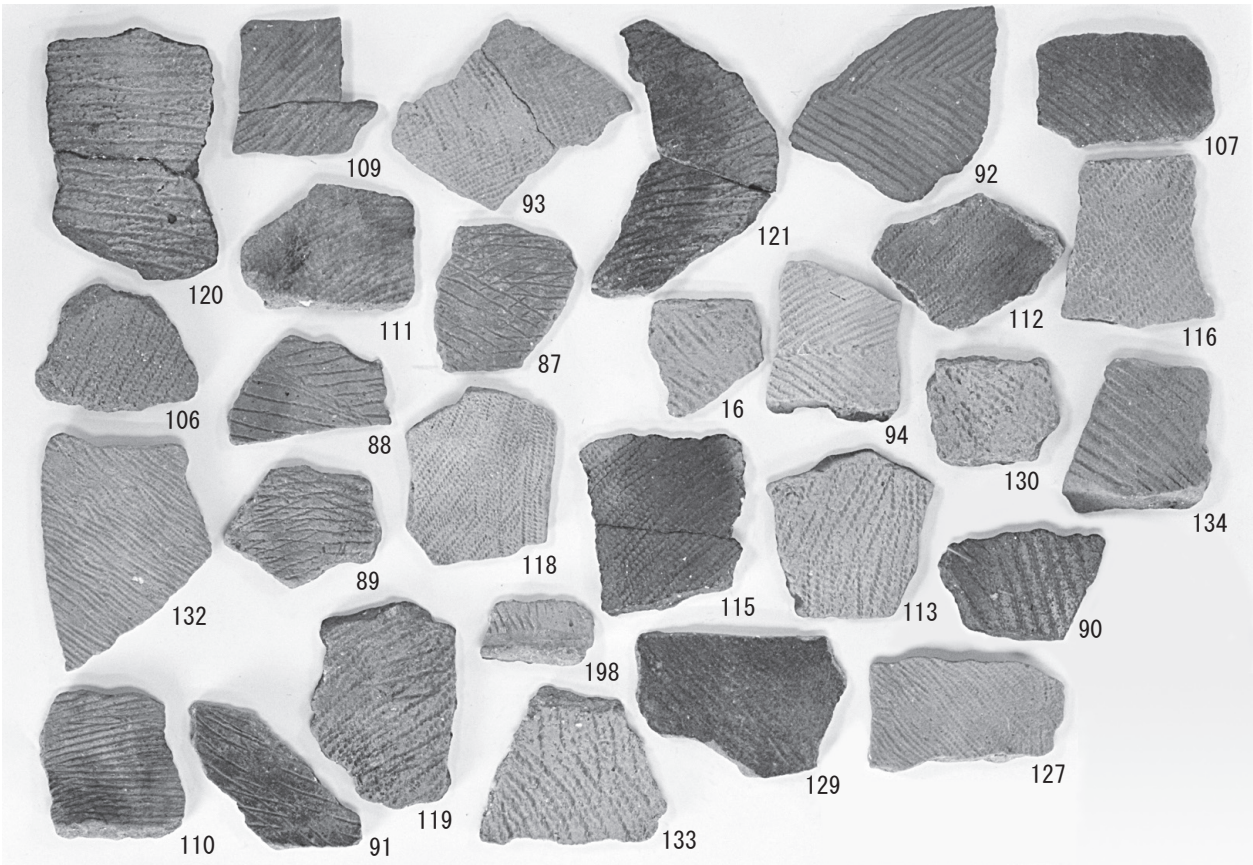
図版 46





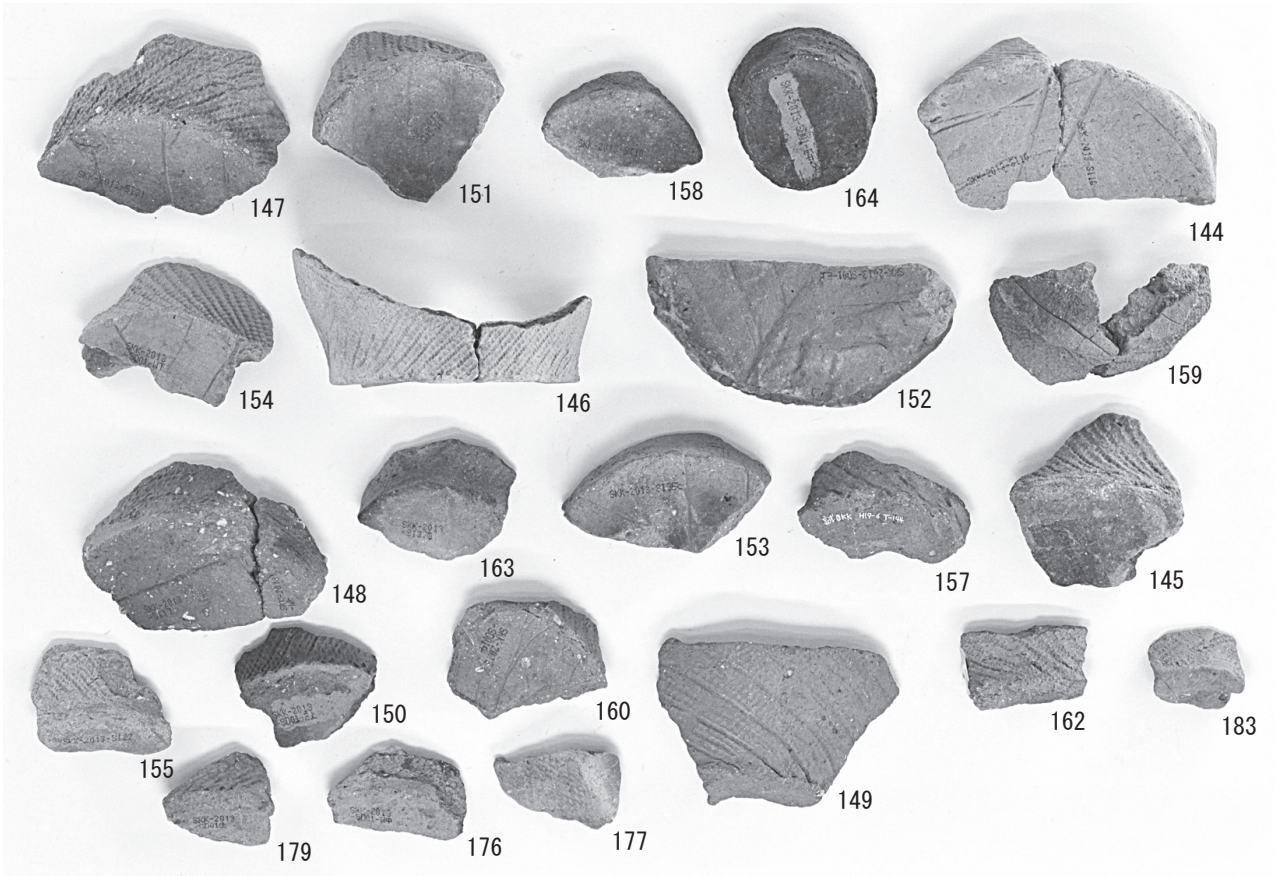
弥生時代遺構外出土遺物（１）

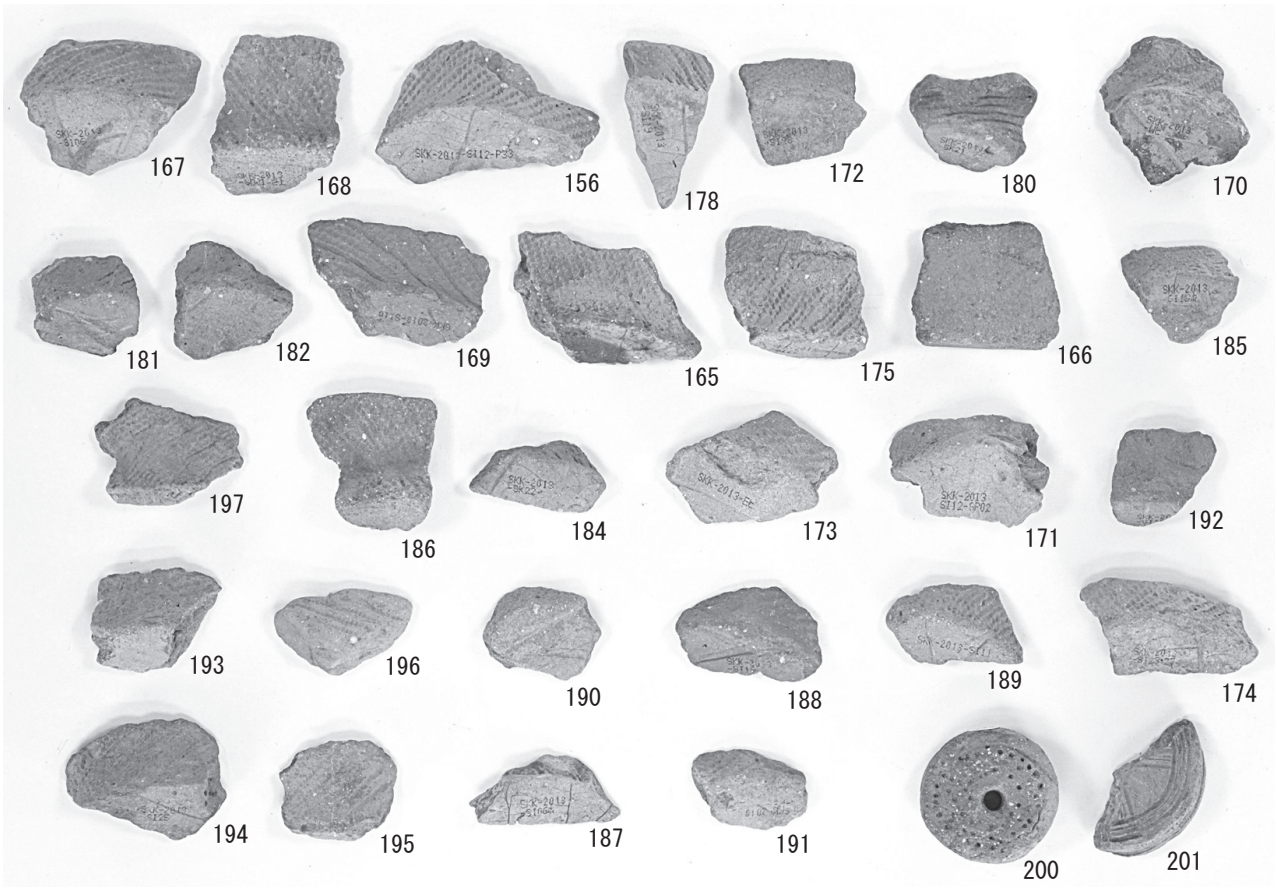




弥生時代遺構外出土遺物（２）

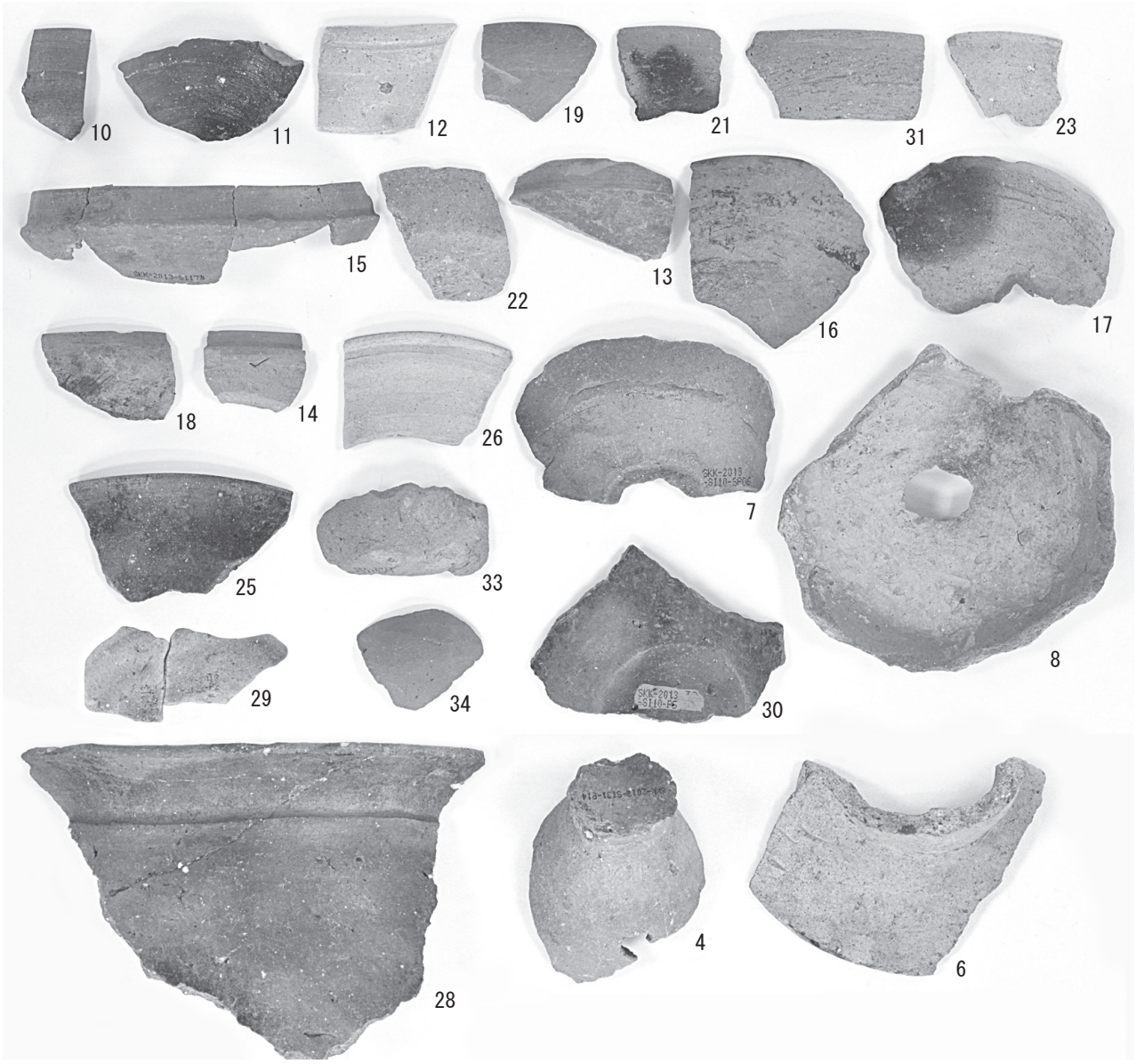
図版 48





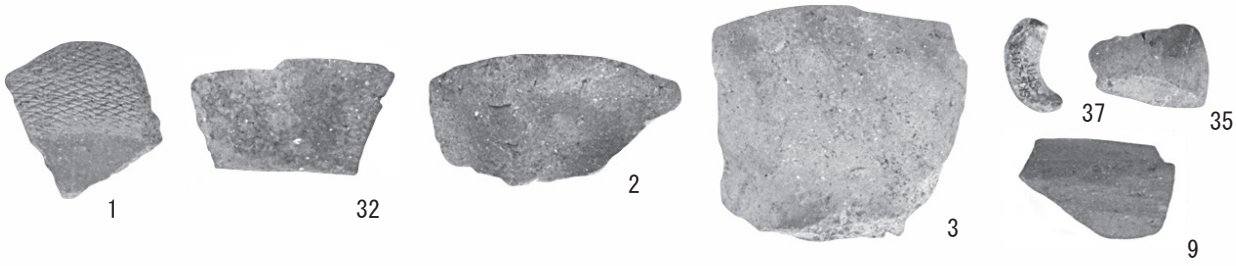
弥生時代遺構外出土遺物（３）

弥生時代遺構外出土遺物（４）

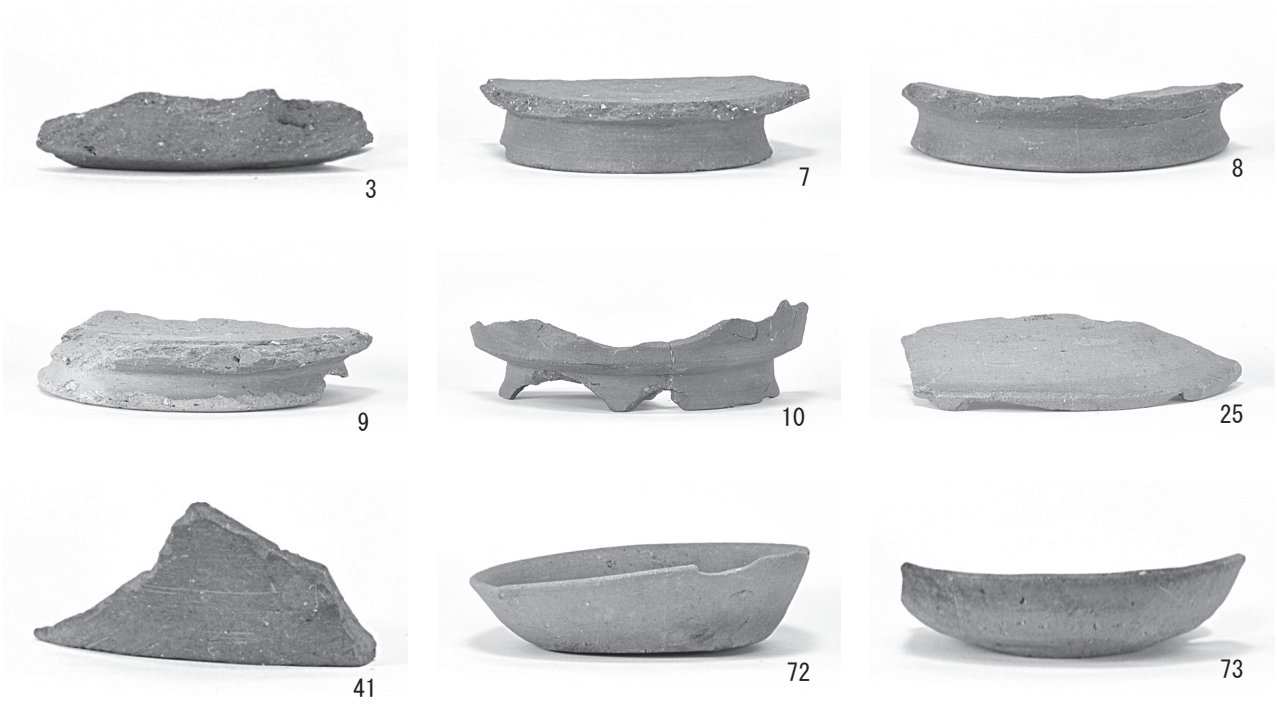


古墳時代遺構外出土遺物（１）

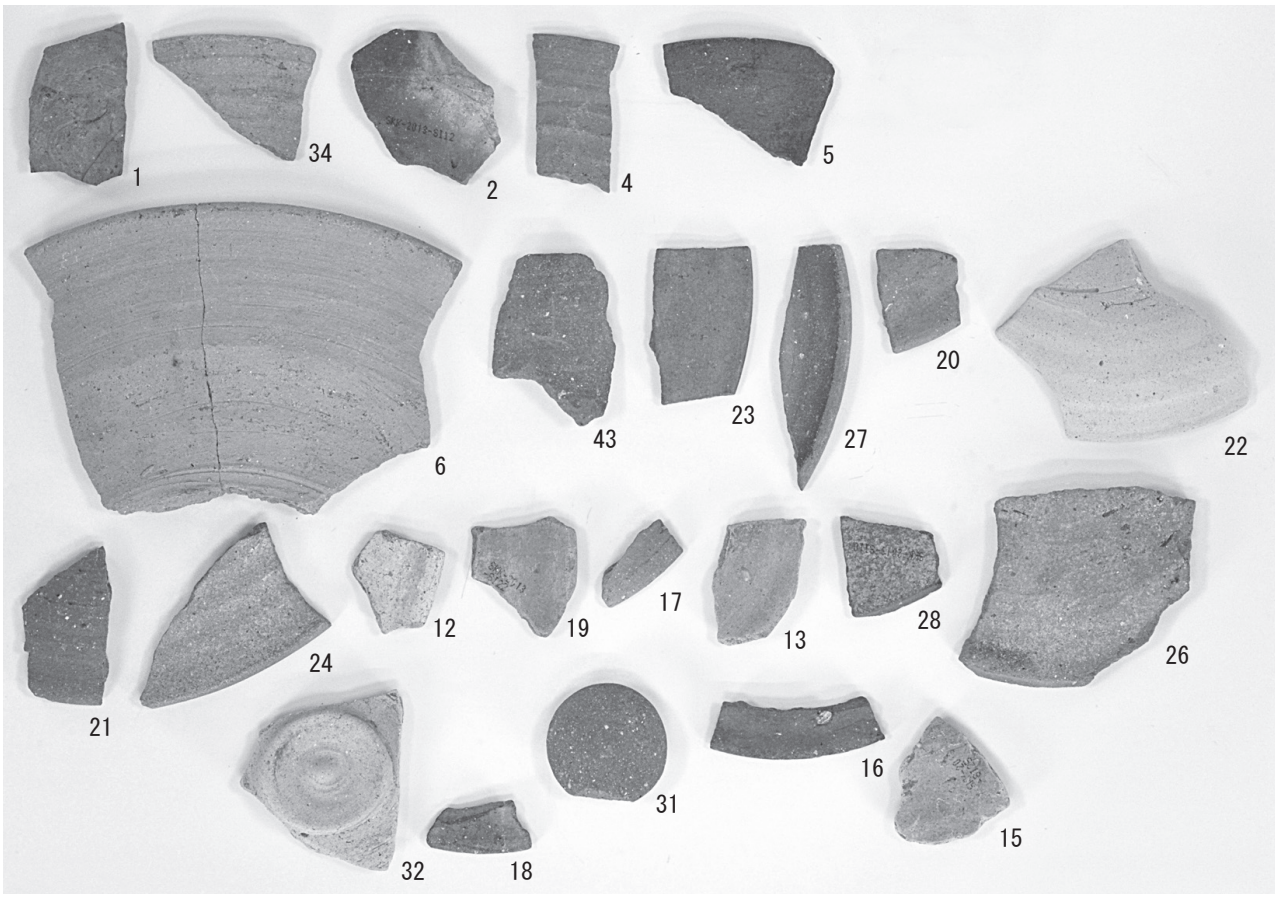
図版 50

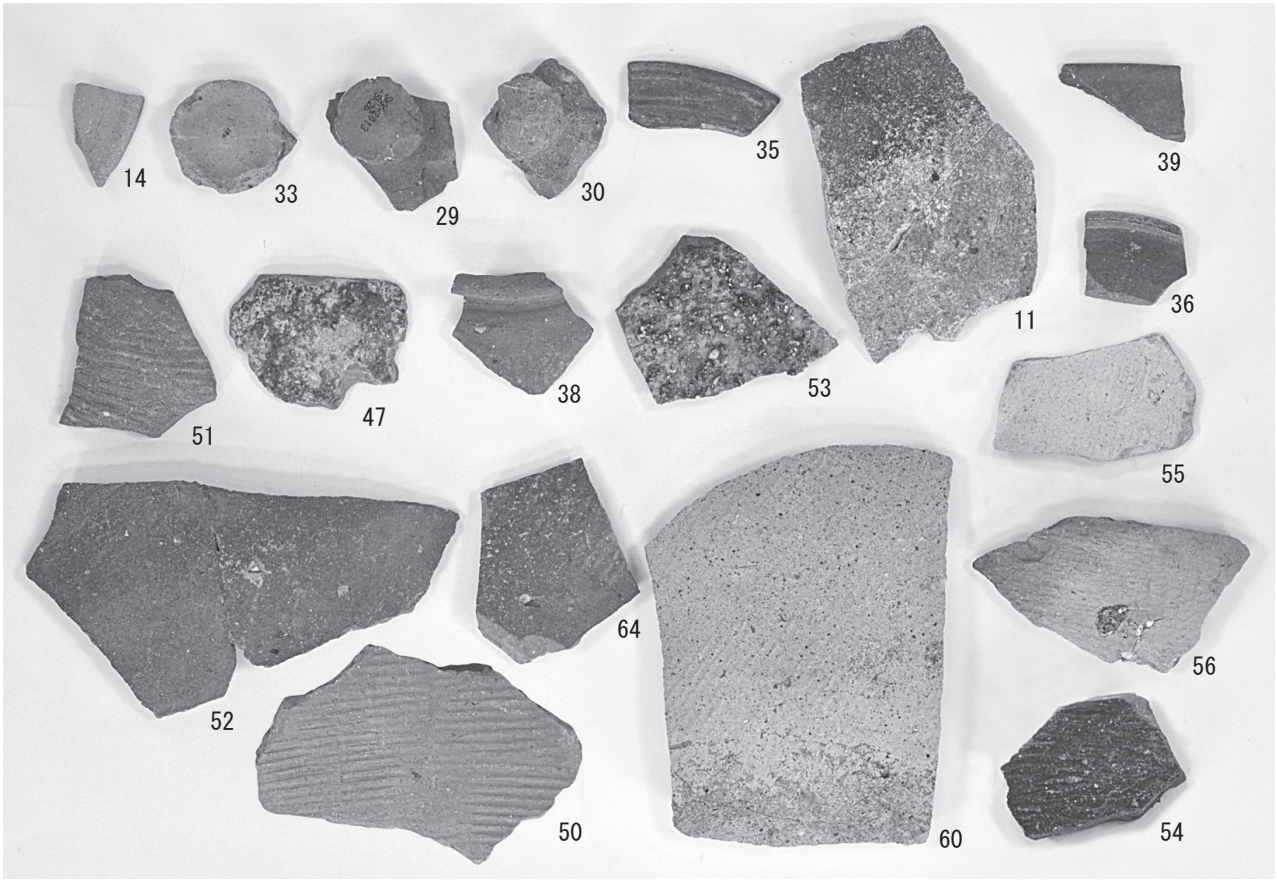


古墳時代遺構外出土遺物（２）



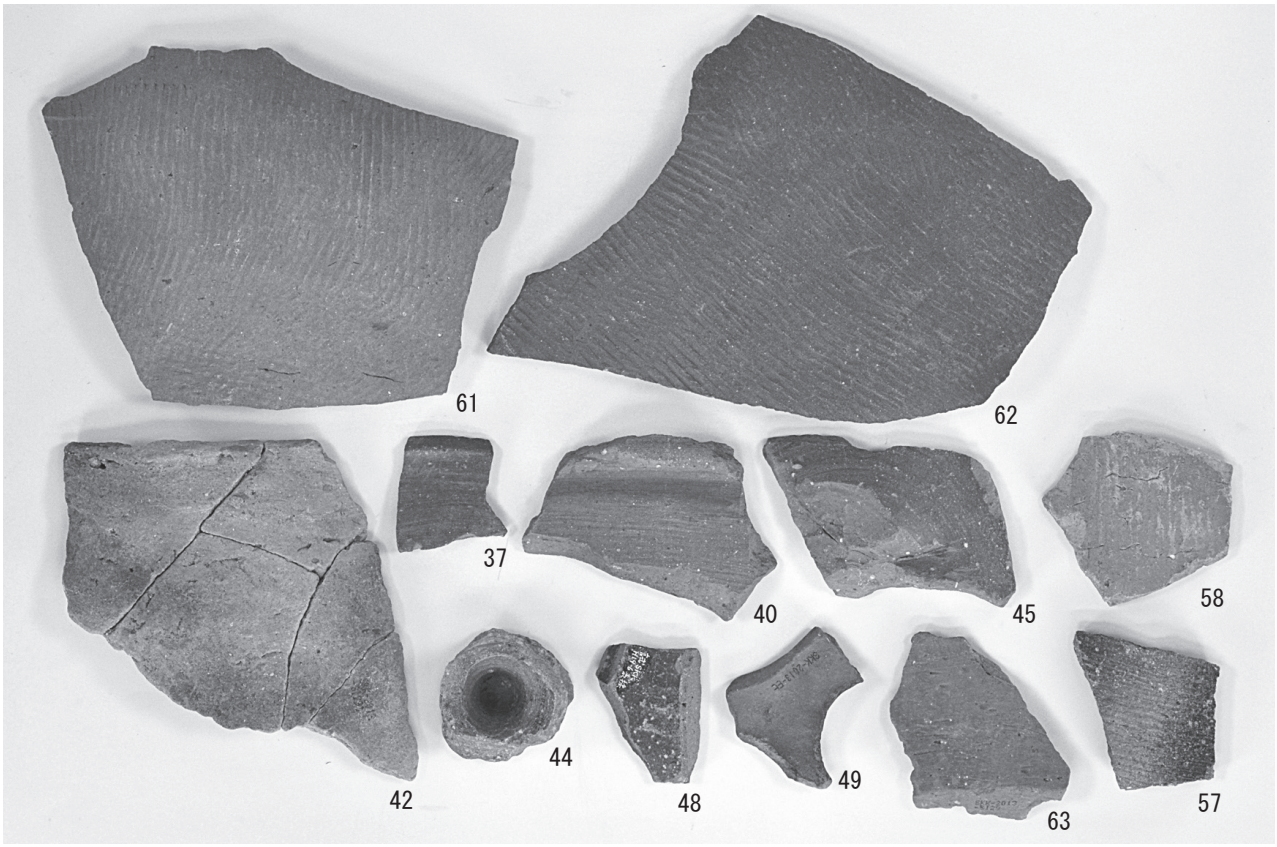
奈良・平安時代遺構外出土遺物（１）

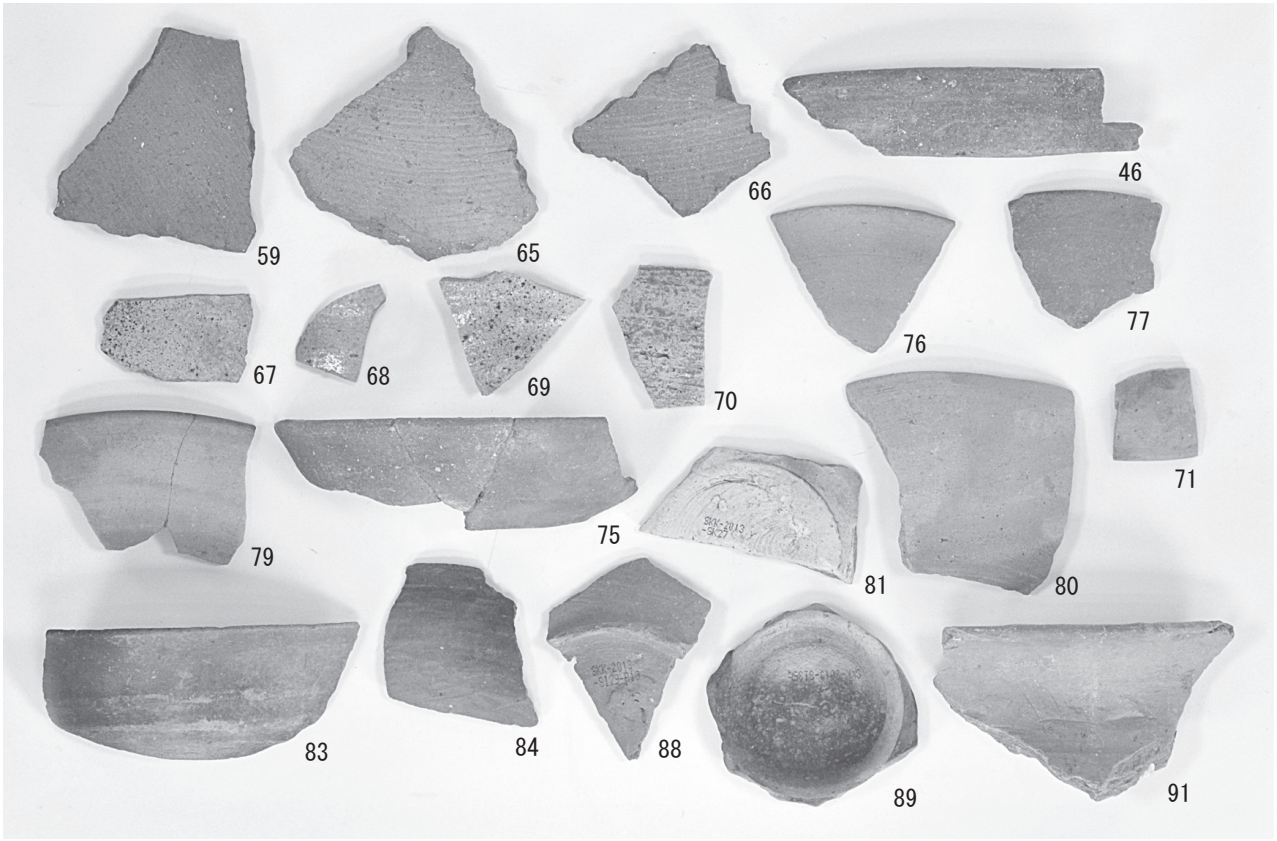




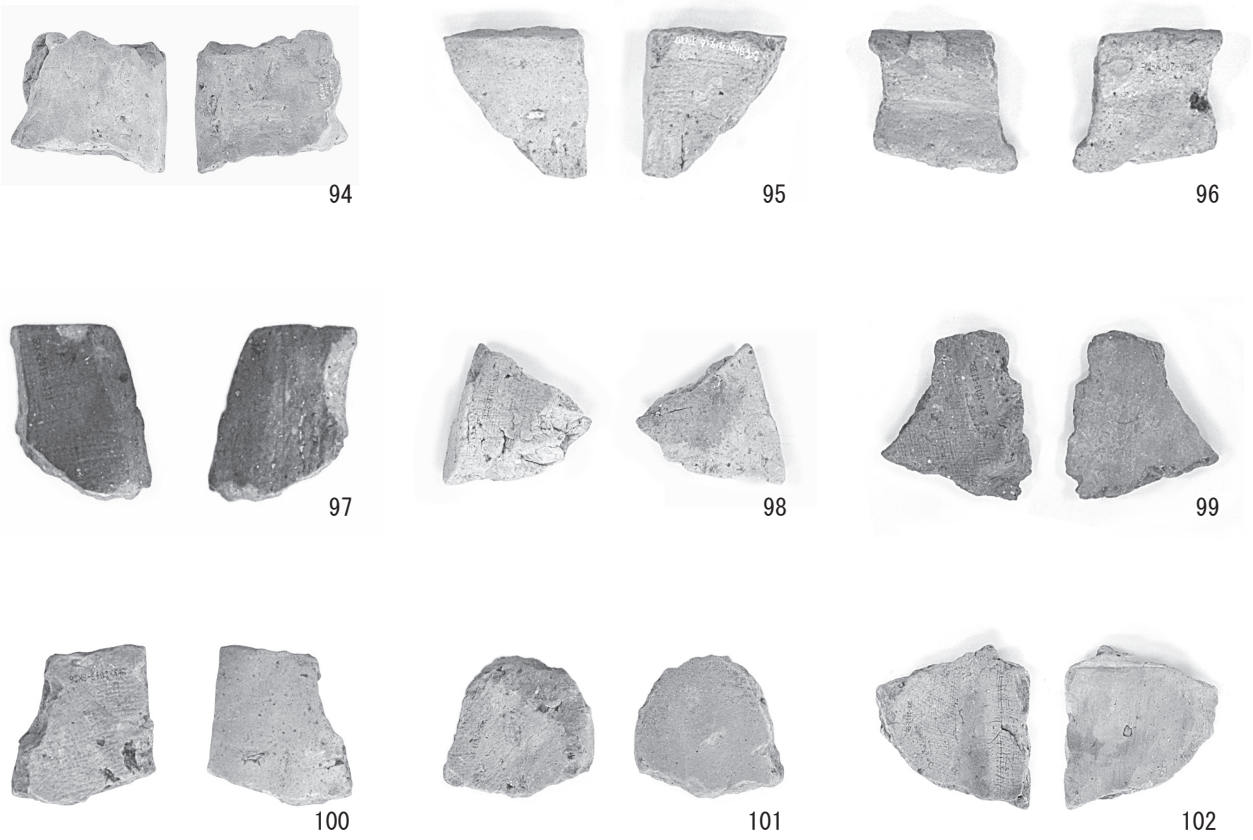
奈良・平安時代遺構外出土遺物（２）

図版 52

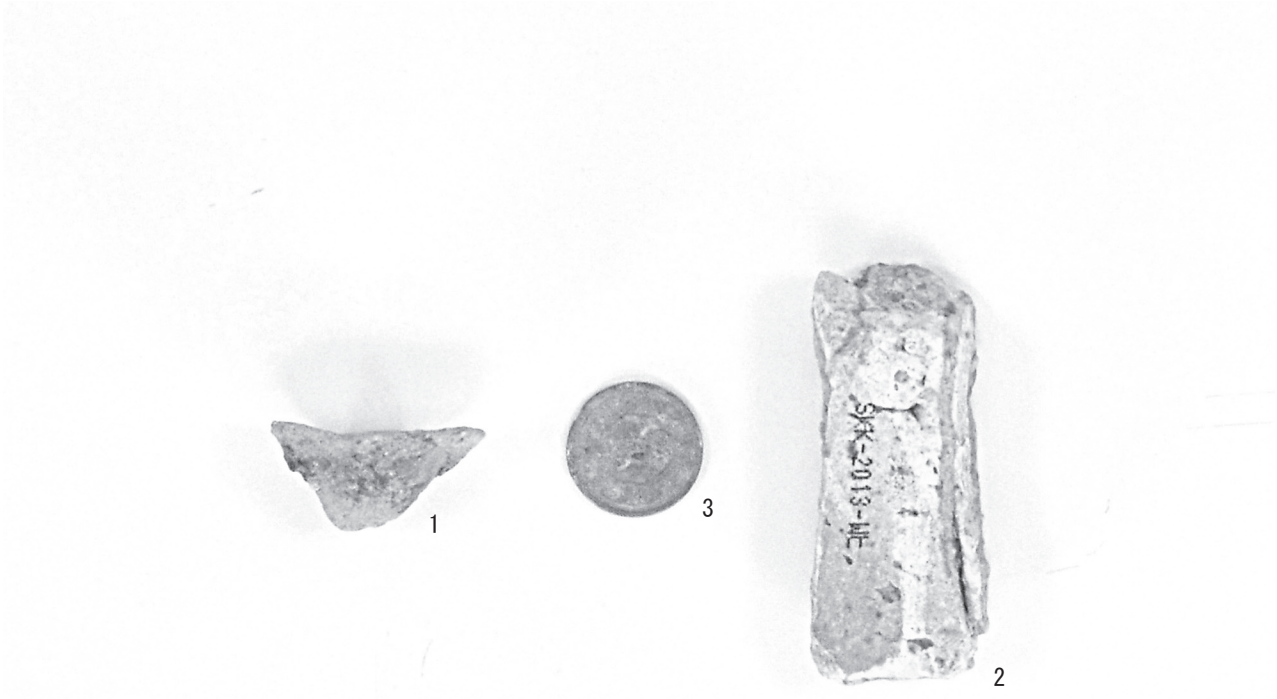




奈良・平安時代遺構外出土遺物（３）



奈良・平安時代遺構外出土遺物（４）



中世遺構外出土遺物

報告書抄録

ふりがな	さくかみのうちいせき
書名	佐久上ノ内遺跡
副書名	H 25 農村交流基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
シリーズ名	石岡市埋蔵文化財調査報告書
編集者名	林　邦雄
著者名	小杉山大輔・谷仲俊雄・林　邦雄・宅間清公
編集機関	株式会社　東京航業研究所　〒350-0855　埼玉県川越市伊佐沼 28-1　TEL 049-229-5771
発行機関	石岡市教育委員会
所在地	〒315-0195　茨城県石岡市柿岡 5680-1　TEL 0299-43-1111
発行年月日	2014（平成 26）年 3 月 19 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
さくかみのうちいせき 佐久上ノ内遺跡	いばらきけんいしおかしさく 茨城県石岡市佐久 ほか 670 － 1 他	08463	135	36° 15′ 47″	140° 11′ 54″	2013.9.25 ～ 2013.12.14	1,600 ㎡	農村交流基盤整備事業に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
佐久上ノ内遺跡	集落跡	縄文時代	土坑 6 基	縄文土器　石器　土製品	前期末～中期初頭の玦状耳飾が 2 点出土した。
		弥生時代	住居跡 1 軒	弥生土器　石器　紡錘車	後期前半の住居に伴って土器や石英塊が出土した。
		古墳時代	住居跡 11 軒 溝 1 条 土坑 7 基	土師器・須恵器（埦・甕・壷・高坏・器台） 鉄製品　土製品	前期末の豪族居館と思われる溝跡から大量の土器が出土した。
		奈良・平安時代	竪穴住居跡 26 軒 掘立柱建物跡 1 棟 土坑 7 基	土師器（坏・埦・高台付坏・甕） 須恵器（坏・高台付坏・甕・鉢・甑・蓋・硯） 灰釉陶器（壷・埦）　瓦（平） 鉄製品　銅製品	9 世紀初頭から 10 世紀中頃にかけての集落跡。
		中世	土坑 18 基	カワラケ　土師質土器　陶器　磁器	墓と考えられる方形の土壙から中世末期のカワラケが出土した。
		近世以降	溝 4 条 道路状遺構 1 条 土坑 1 基	陶器　銭貨	
		時代不明	ピット 239 基		

要約	発掘調査の結果、縄文時代から近世にかけての複合遺跡であった。特に古墳時代では、前期末の豪族居館と思われる溝の一部を調査した．溝下層と上層からは、時期の異なる土器が集中してみつかった。祭祀を行った跡と推定される。平安時代では、時期は異なるが主軸方位が近似する住居を検出した。出土した遺物は、土師器・須恵器の日用品のほかに、硯や銅鋺など一般集落とはやや異なる遺物が出土した。

茨城県石岡市

佐久上ノ内遺跡

－H 25 農村交流基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査－

2014 年 3 月 19 日発行

編集　株式会社東京航業研究所　〒 350 - 0855　埼玉県川越市伊佐沼 28 - 1
TEL049 - 229 - 5771

発行　石岡市教育委員会　〒 315 - 0195　茨城県石岡市柿岡 5680 - 1
TEL0299 - 43 - 1111

印刷　関東図書株式会社　〒 336 - 0021　埼玉県さいたま市南区別所 3 - 1 - 10
TEL048 - 862 - 2901